

ねんきん定期便の作成及び発送準備業務
(令和8年4月～令和9年3月発送分)

[直近 1 年間通知者用]

仕様書

日本年金機構
年金記録業務室

令和7年8月

1 委託業務の概要

(1) 目的

日本年金機構（以下「機構」という。）では、保険料納付の実績や将来の給付に関する情報を分かりやすい形でお知らせするため、現役世代の方に毎年「ねんきん定期便」（以下「定期便」という。）をお送りしている。

この定期便の作成から発送準備までの業務を委託することを目的とする。

(2) 業務概要

委託要領P 1「業務概要図」参照

当該業務の主体的部分は再委託することはできない。再委託可能な一部工程の詳細は別途、委託要領に記載する。

業務の主体的部分を除く一部であっても、個人情報等が目に触れる業務を再委託することはできない。

(3) 定義

本仕様書において、用語の定義は以下のとおりとする。

①個人情報

・年金個人情報

日本年金機構法第 38 条に規定する情報をいう。具体的には、被保険者、年金受給権者等にかかる基礎年金番号、氏名、生年月日等の本人基本情報及び給付や保険料納付等に関する情報であるが、これらの情報により、被保険者又は受給者個人が識別されるものに限る。（性別や生年月日のように、当該情報のみでは個人が識別されないようなものは、年金個人情報にならない。）

・個人情報

年金個人情報及び特定個人情報（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第 2 条第 8 項に規定する情報）をいう。

・個人情報等

個人情報、事業所情報（事業所の名称、所在地等）、債権管理情報（保険料の調定額、収納額等）、滞納処分に関する情報、相談事跡等の機構の基幹業務（公的年金の適用、徴収、年金給付及び相談に関する業務）を行うために作成又は取得する情報及び本委託業務を通じて知り得た情報をいう。

※ 委託業務に従事する者（以下「業務委託員」という。）の労務管理等のために保持している情報は、本仕様書において個人情報等には含まれない。

②電子計算機

・電子計算機

サーバ装置、パソコン、タブレット、スレートPC、プリンタ等の周辺機器及び通信回線装置をいう。

・電子計算組織

電子計算機とネットワークにより構成される情報システムをいう。

③再委託

受託事業者が、業務の一部を他の会社（再委託先が子会社（会社法（平成 17 年法律第 86 号）第 2 条第 3 号に規定する子会社をいう。）である場合を含む。）に請け負わせること。

なお、次のア又はイの場合は再委託に該当しない。

- ア. 運送事業者間で運送約款に基づく連携・協働により運送業務を実施する場合。
イ. 機構の了承を得た上で、グループ企業体が相互連携（業務分担）してそれぞれの事業を実施（共同受託）する場合。

2 委託予定件数

調達区分1 32,414,000 件

調達区分2 23,753,000 件

※月別の内訳については、別紙1-1、別紙1-2、別紙1-3の「月別委託件数一覧」のとおり

※数量は予定数であることから、増減があり得る。

3 委託業務の期間

委託期間 契約締結日～令和9年3月31日（契約終了日）

履行期間 「定期便DVD」初回引渡日（履行開始日）
～令和9年3月24日（履行終了日）

※履行期間とは、委託期間のうち、納品を行うための作業等が可能となる日（履行開始日）から、最終納品の検査合格後に個人情報等の返却・廃棄等を行った旨を機構へ報告する日（履行終了日）までのことをいう。

※「定期便DVD」初回引渡日とは、別紙2「委託スケジュール」の4月誕生月分・3月再発行分の電子媒体等引渡日のことをいう。

4 納品日

別紙2「委託スケジュール」のとおり

5 履行場所

受託事業者が用意する場所（日本国内に限る。）

6 作業手順

仕様書のほか、業務委託契約書及び業務委託契約書に付属する業務の実施方法等について記載された文書（以下「仕様書等」という。）のとおりとする。

7 所管部署（連絡先）

日本年金機構

年金記録業務室 記録管理グループ

〒182-8530

東京都調布市

※住所の詳細は受託事業者決定後に連絡する。

電話：042-429-2808（直通）

担当：辻、長野、山木、安藤

8 受託事業者を求めるサービス水準

目標とすべき業務のサービス品質に関する合意（以下「SLA」という。）は、別紙3「受託事業者を求めるサービス水準」のとおり

9 処理体制の申請等の手続き

処理体制等について、以下に掲げる期日までに必要な申請等の手続きを行うこと。

変更、廃止等を行う場合については、変更、廃止等を行う日の前日までに必要な手続きを行うこと。

業務委託員（具体的には下記（1）①から③及び下記（2）①から③までの者をいう。）については本業務を遂行するために最低限必要な範囲の者とし、受託事業者が直接雇用すること。ただし、繁忙期等の業務履行体制を充足するため、労働者派遣法に基づいた労働者派遣契約による対応を行う場合は、機構が扱う個人情報等の重要性及び特殊性に鑑み、労働者派遣契約においても、個人情報等の取扱いをはじめとする機構と受託事業者との契約内容と同等以上の内容とし、（2）④により、あらかじめ機構の承認を得ること。

（1）個人情報等保護に関する管理体制（下記の①～③は、別紙14-3「管理者等申請書」により提出し、変更する場合は、別紙4-2「業務委託員名簿（変更）」により提出すること。）

① 総括管理責任者の届出

期 限：運用仕様書の提出日

提 出 先：「7 所管部署」

② 部署管理者の届出

期 限：運用仕様書の提出日

提 出 先：「7 所管部署」

※部署管理者は、履行場所ごとに1名配置すること。

③ 点検管理者の届出

期 限：運用仕様書の提出日

提 出 先：「7 所管部署」

※点検管理者は、総括管理責任者、部署管理者、現場責任者及び監査を行う者と異なる者とする。

④ 個人情報等や機密情報の取扱いに関する点検及び監査体制の届出

期 限：運用仕様書の提出日

提 出 先：「7 所管部署」

⑤ 業務委託員と守秘義務契約書を締結したことの報告（別紙5「守秘義務契約締結報告書」）

期 限：令和8年2月6日（金）16時まで

提 出 先：「7 所管部署」

※別紙4-1「業務委託員名簿」に記載した業務委託員と締結した別紙5の付属「守秘義務契約書」の写しを全て添付すること。

※業務委託員の変更がある都度、別紙4-2「業務委託員名簿」に記載した業務委託員と締結した別紙5の付属「守秘義務契約書」の写しを提出すること。

(2) 業務の履行に関する体制(下記の①～③の者は別紙4-1「業務委託員名簿」(変更の場合は別紙4-2)により提出し、上記(1)①～③の者についても記載すること。)

① 現場責任者の届出

期 限：運用仕様書の提出日

提 出 先：「7 所管部署」

② 現場責任者補助者の届出

期 限：運用仕様書の提出日

提 出 先：「7 所管部署」

③ 作業者の届出

期 限：令和8年2月6日(金) 16時まで

提 出 先：「7 所管部署」

④ 労働者派遣契約を行う場合の申請(別紙6「労働者派遣法に基づく労働者派遣契約を行う場合について」により提出)

期 限：労働者派遣契約履行日の30日前まで

提 出 先：「7 所管部署」

(3) 再委託に関する申請

期 限：再委託開始予定日の15日前まで

提 出 先：「7 所管部署」

※運用仕様書提出時に再委託申請書を提出している場合を除く。

(4) 事故発生時の緊急対応体制の届出(別紙14-3「管理者等申請書」により提出し、変更する場合も、別紙14-3「管理者等申請書」により提出すること。)

期 限：運用仕様書の提出日

提 出 先：「7 所管部署」

※事故発生時には事故対応責任者は直ちに事実関係の調査及び原因の究明を行う体制を整備し、機構に報告すること。併せて、再発防止策検討責任者は再発防止策の検討及び決定を行う体制を整備し、報告すること。

(5) 業務の履行場所等に関する届出(別紙14-3「管理者等申請書」により提出し、変更する場合も、別紙14-3「管理者等申請書」により提出すること。)

① 業務の履行場所の申請

期 限：運用仕様書の提出日

提 出 先：「7 所管部署」

② 委託業務で取り扱う個人情報等の保管場所の届出

期 限：運用仕様書の提出日

提 出 先：「7 所管部署」

10 委託条件等

(1) 業務の履行場所に関する事項

- ① 受託事業者は、受託事業者が用意した入退室管理が可能である特定の事務室(以下「特定の事務室」という。)で委託業務を行うこと。なお、入退室管理とは、電子錠、生体認証又はそれに準ずる設備により、関係者のみが知り得る(持ち得る)情報によって入退室が管理されているものとする。

- ② 受託事業者は、特定の事務室への入退室の状況を記録し、当該記録の検査を定期的に行うこと。
- ③ 受託事業者は、サーバ等の機器を設置する場所について入退室の権限を有するものを限定し、入退室記録の管理が可能な措置を講ずること。
- ④ 受託事業者は、特定の事務室の図面等を作成すること。また、機構から事務室の図面等の提出を求められた場合は速やかに提出すること。
- ⑤ 受託事業者は、特定の事務室内の整理整頓に心がけ、火気等には十分留意すること。
- ⑥ 受託事業者は、業務委託員の私物のスマートフォン等の撮影機器及び記録媒体を特定の事務室へ持ち込むことを禁止すること。ただし、業務連絡用として部署管理者が認めたものを除く。その他の私物については必要最低限とするよう努めるものとする。
- ⑦ 受託事業者は、委託業務で使用する電子計算機において、盗難又は紛失等を防止するため、物理的な安全管理措置を講ずること。

(2) 個人情報等の取扱いに関する事項

- ① 受託事業者は、委託業務で取り扱う個人情報等について、受託事業者の役員、受託事業者の親会社、地域統括会社、ブランド・ライセンサー、フランチャイザー、コンサルタントその他の受託事業者に対して指導、監督、業務支援、助言、監査等を行う者等を含め、業務委託員以外の者に伝達又は漏えいを防止する措置を講ずること。また、目的外利用を行ってはならないこと。さらに、受付、搬送等の委託業務の実施に必要な場合を除き、特定の事務室以外の場所へ持ち出してはならないこと。
- ② 受託事業者は、個人情報等の取扱状況にかかる規定等の遵守状況について、定期的に点検・監査を行うとともに、その記録を管理すること。
- ③ 受託事業者は、業務委託員に対し、履行開始日の前日までに又は履行開始日以後に初めて委託業務を行う業務委託員の業務開始前までに、日本年金機構法や個人情報等に関する関係法令にかかる教育を実施すること。さらに、履行開始日以後においても定期的に教育を行い、個人情報等の取扱いを徹底すること。

受託事業者は、日本年金機構法や個人情報等に関する関係法令で定められた守秘義務及び罰則規定、委託業務における遵守事項及び禁止行為、個人情報等の保護にかかる就業規則等に違反した場合の処分、情報漏えいとその影響、インシデントが発生した場合の手順、別紙15「通報窓口のご案内」により受託事業者が契約違反などがある場合の通報窓口の周知、その他必要な留意事項について研修を行うこと。

上記研修の終了日が履行開始より前の場合は、履行開始日の前日までに、上記研修の終了日が履行開始日以降の場合は、研修終了後10日以内に、別紙7「研修実施報告書」により、研修実施日を報告すること。

- ④ 受託事業者は、研修資料等、教育・研修・訓練の実施結果の提出を機構から求められた場合には、速やかに提出すること。なお、受託事業者が実施する研修において、上記③で示す研修項目を全て実施していないと機構が確認した場合、機構は、研修内容の改善及び研修の実施について、総括管理責任者等への指導又は受託事業者への指示を行うことができることとする。

(3) 個人情報等を記録した紙媒体、外部電磁的記録媒体、電子データの取扱い

- ① 受託事業者は、委託業務で取り扱う個人情報等を記録した紙媒体、外部電磁的記録媒体及び電子データの受領、搬送等については、その途上における漏えい、紛失、毀損等が発生しないよう措置を講ずること。
- ② 受託事業者は、個人情報等を記録した紙媒体及び外部電磁的記録媒体の保管又は電子データの保存にあたっては、機構に届出した場所に保管又は保存するとともに、個人情報等の記録がない紙媒体及び外部電磁的記録媒体と混在させないこと。また、管理にあたっては、使用状況等（作成日（受領日）、作成者（受領者）、識別番号、情報の内容、数量、種類、利用目的、複写複製の有無、保管場所（電子データの場合は、電子データを保存した電子計算機の保管場所）、移送日（廃棄日、消去日）移送者（廃棄者、消去者）移送等確認（点検）者等）が分かる別紙8「個人情報等管理台帳」を履行場所ごとに作成するとともに、総括管理責任者及び部署管理者が、紛失・破棄等がないように最善の注意を払うこと。

機構から別紙8「個人情報等管理台帳」の提出を求められた場合は速やかに提出すること。

- ③ 受託事業者は、保管庫の施錠を厳重に管理するとともに、保管庫の鍵の貸出状況等（鍵によらない施錠の場合は施錠状況等）を記録し、定期的に当該記録の検査を行うこと。
- ④ 受託事業者は、個人情報等を記録した紙媒体及び電子データの全部又は一部の複写複製（個人情報等の電子データを電子計算機に格納及びバックアップの取得を含む。）を行うことは、機構の指示があった場合を除き禁止することとし、複写複製の防止措置を講ずること。

ただし、委託業務の実施にあたり、複写複製を行うことが必要である場合については、様式例1「複写複製承認申請書」を提出し、あらかじめ機構の書面による承認を受けること。

- ⑤ 受託事業者は、個人情報等を記録した紙媒体及び電子データの複写複製を行った場合、当該複写複製物等についても、上記②及び③に準じた取扱いを行うこと。
- ⑥ 受託事業者は、外部電磁的記録媒体の受渡し及び移送に際し、電子政府推奨暗号リストに掲載された暗号化方式等を利用し、パスワードの設定を行うこと。なお、具体的な暗号化及びパスワードの設定方法等については、機構から別途提示される方法によること。
- ⑦ 受託事業者は、個人情報等を記録した紙媒体、外部電磁的記録媒体、電子データ及びこれらの複写複製物等について、委託業務の実施にあたり不要となった場合は、当該個人情報等の復元又は判読等が不可能な方法により、完全消去又は廃棄を行うこととし、その結果を機構に報告すること。
- ⑧ 受託事業者は、機構から貸与された紙媒体又は外部電磁的記録媒体について履行終了時又は機構から指示があった場合、速やかに返却すること。
- ⑨ 受託事業者は、履行終了時には別紙9「個人情報等の返却・廃棄等に関する報告書」及び別紙8「個人情報等管理台帳」を提出することとし、提出に当たっては、機構が提供した個人情報等を返却していること及び取り扱った個人情報等が完全消去又は廃棄されていることが確認できる証跡を添付すること。

(4) 業務処理要領等の書類等の貸与

- ① 受託事業者は、機構から貸与された業務処理要領等の書類及びその情報（貸与

後に複写したものを含む。)について、委託業務以外の目的に使用してはならない。

- ② 受託事業者は、機構から貸与された業務処理要領等の書類及びその情報（貸与後に複写したものを含む。）について、特定の事務室に保管するものとし、管理にあたっては、総括管理責任者及び部署管理者が、紛失・破棄等がないように最善の注意を払うこと。
- ③ 受託事業者は、機構から貸与された業務処理要領等の書類及びその情報（貸与後に複写したものを含む。）について、履行終了時又は機構から指示があった場合については、速やかに返還すること。

（５）情報セキュリティ対策にかかる基本的要件

- ① 受託事業者は、機構から提供する個人情報等について、目的外利用を行ってはならないこと。
- ② 受託事業者は、仕様書等で定めた情報セキュリティ対策の実施内容及び管理体制を定め、下記１３（１）で示す運用仕様書により機構に提出すること。
契約締結後、運用仕様書を変更する場合（上記９に関する申請等手続きは除く。）は、あらかじめ機構に申請（様式が定まっていない場合は任意。）を行い、機構の書面による承認を受けること。
- ③ 受託事業者は、情報セキュリティインシデントを含めた障害発生時、迅速に電子計算組織の稼働を回復するための措置又は委託業務を回復するための措置等を講ずること。また、重大な障害発生時においては、委託業務の履行を補完できる体制を構築すること。
- ④ 受託事業者は、仕様書等で定めた内容の履行状況について、別紙１０「受託業務自主点検結果報告書」又は受託事業者が独自に作成する点検様式（別紙１０「受託業務自主点検結果報告書」で示す点検項目の全てが網羅されているものに限る。）により毎月確認すること。点検結果については、当該点検月の翌月までに機構へ報告すること。
- ⑤ 上記④の点検結果又は機構が実施する検査により、情報セキュリティ対策等の履行が不十分であることが判明した場合、機構は、総括管理責任者等へ指導を行い、不十分な対策の改善及び改善の履行を指示することができることとする。

（６）業務品質の維持・向上

- ① 受託事業者は、委託業務の進捗状況等に関して、定期的に機構に報告すること。（定期報告の様式については、別紙１１のとおり）
- ② 受託事業者は、委託業務の円滑な実施を目的として、業務品質の向上、SLA（別紙３）の達成状況等について、機構と定期的な打ち合わせ（以下「定例会議」という。）を行い進捗管理に努めること。
- ③ 定例会議では、受託事業者は業務の進捗（スケジュール調整）、履行体制、SLA達成状況、品質管理、情報セキュリティ対策、懸念事項等に関することについて、機構に報告すること。資料構成、開催場所等は機構と事前に協議すること。ただし、許諾のない再委託を行っていないことが分かるもの（印刷ログのサンプルなど）、別紙１０「受託業務自主点検結果報告書」、別紙１０の付属「（参考）個人情報等保護セルフチェックシート」（業務委託員に対し、本資料により、個人情報等の保護に係る点検を徹底すること。）、上記（１）②の入退室状況が記録されたもの、下記（９）③のウイルススキャンを毎営業日実施したことが分かるも

の、下記(9)④のセキュリティパッチを月1回以上適用したことが分かるもの、及び別紙8「個人情報等管理台帳」については、定例会議の資料として機構へ提出すること。なお、開催時期は、以下記載のとおり。

・履行開始日の10日前までに実施すること。また、履行開始後は、原則、毎月1回実施すること。開催日程については、契約締結後、速やかに機構と協議すること。

- ④ 受託事業者は、上記定例会議の終了後3営業日以内に、別紙11「定例会議議事録」を作成し、機構へ提出すること。
- ⑤ 受託事業者は、業務委託員に対し、履行開始日の前日まで及び随時に業務を実施するために必要な知識を習得するための研修を行い、業務品質の維持・向上に努めること。

(7) 立入検査等の実施

- ① 機構は、運用仕様書に記載された内容（業務の履行体制、業務の履行方法、個人情報等保護及び情報セキュリティ体制）が確保されているか、業務が履行できるか等の観点から、履行開始日の3日前までに、特定の事務室及び本案件に関係する事務所等（以下「特定の事務室等」という。）へ立入検査を実施できるものとする。

立入検査の結果、履行開始に際し改善を要すると判断した場合、又は、上記9（1）⑤で示す「守秘義務契約書」の写し及び上記9（2）で示す「業務委託員名簿」（以下「業務委託員名簿等」という。）が履行開始日の3日前までに機構へ提出されない場合は、履行開始日の前日までに改善すること及び改善結果の報告について、受託事業者に指示を行うことができることとする。

受託事業者は、改善が確認されるまで、又は、業務委託員名簿等が提出されるまでは、業務を履行開始することができない。

なお、受託事業者の責めにより履行期間が短縮された場合は、そのことを理由に履行終了日及び納品日の見直し等についての申し立てはできないものとする。また、機構は、受託事業者が履行開始日までに改善できなかった場合及び改善の見込みがないと認められた場合は、契約書に基づき、契約解除を行うことがある。

- ② 機構は、個人情報等の管理状況の確認、法令の遵守状況の確認、委託業務の進捗状況等の確認、その他随時に特定の事務室等（再委託先を含む）へ立入検査を実施できるものとし（無予告の検査を実施する場合がある）、検査結果をもとに総括管理責任者等への指導、研修の実施、状況の改善及び改善結果の報告について、受託事業者に指示することができることとする。
- ③ 受託事業者は、履行開始日から10日以内に別紙12「法令及び契約内容の遵守状況に関する報告書」を、機構に提出すること。
また、履行開始日から1年を経過するごとに、その当該日から10日以内に別紙12「法令及び契約内容の遵守状況に関する報告書」を機構に提出すること。
- ④ 機構は、通知書等の複写複製物等、その他委託業務の実施に当たり作成、汚損、毀損した個人情報等について、完全消去又は廃棄の実施状況に関し、履行終了日から契約終了日までの間に、特定の事務室等へ立入検査を実施できるもの。

(8) 電子計算組織にかかるアクセス制限

- ① 受託事業者は、委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算組織において、個人

情報等にアクセスできる業務委託員を必要最小限に特定し、当該者についてのみアクセス権限を付与すること。

- ② 受託事業者は、アクセス権限を付与した業務委託員に、個人を識別できるIDを付与した上で、ID及びアクセス権限の付与・停止・抹消の履歴を記録、保存すること。

上記IDを付与する日の前日までに、別紙4-1「業務委託員名簿」（変更の場合には別紙4-2）により、機構へID付与対象者を報告すること。

- ③ 受託事業者は、アクセス記録及び作業ログを取得、分析するとともに、その記録を契約終了日から1年間保存すること。

- ④ 受託事業者は、上記②のIDに紐づくパスワードを、12文字以上で、英大文字、英小文字、数字、記号のうち3種以上を組み合わせた設定とすること。

上記の設定ができない場合は、上記②のIDに紐づくパスワードを90日経過するごとに変更すること。

- ⑤ 受託事業者は、可能な限り、ID及びアクセス権限の付与等、システムの設定変更が可能な権限（管理者権限等）を有する者には、多要素主体認証を採用すること。

※ 多要素主体認証とは、認証の3要素である「知識情報」、「所有情報」及び「生体情報」のうち、2つ以上を組み合わせ、単一要素による主体認証よりも強固な主体認証を行う方式をいう。

（9）電子計算組織にかかる不正アクセスの防止対策

- ① 受託事業者は、委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算組織について、インターネットから物理的に隔離又は論理的に遮断すること。

インターネットから論理的に遮断する場合は、委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算組織において、インターネットへの通信が行われないようにするため、各電子計算機又は通信経路上にある電子計算機においてインターネット通信が完全に遮断される設定を行うこと。

- ② 受託事業者は、委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算組織において通信ネットワークを構築する場合は、閉域網又は専用線を使用すること。この通信経路は、インターネットに接続してはならない。

- ③ 受託事業者は、委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算機のそれぞれにウイルス対策ソフトを導入し、その機能を常に有効にすること。また、毎営業日、ウイルス対策ソフトのパターンファイル及び検索エンジンを適用するとともに、ウイルススキャンを実施すること。

- ④ 受託事業者は、委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算機のセキュリティパッチを月1回以上定期的に適用すること。ただし、著しい脆弱性が発見された等緊急措置が必要な場合には、速やかにセキュリティパッチを適用すること。

- ⑤ 受託事業者は、上記③で示すウイルス対策ソフトのパターンファイル及び検索エンジン、並びに上記④で示すセキュリティパッチ（以下「パターンファイル等」という。）を適用する際には、委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算組織以外の環境において、当該パターンファイル等を取得し、外部電磁的記録媒体を用いて委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算組織に取り込むこと。

- ⑥ 受託事業者は、委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算組織において、サポート契約が終了しているソフトウェアを使用しないこと。

- ⑦ 受託事業者は、委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算機において、動作可能なウイルス対策ソフトが存在しない場合あるいはウイルス対策ソフト及びセキュリティパッチの適用によって動作保証が得られなくなる又は動作に不具合が生じ得る場合は、機構と協議の上、上記③④各々の代替措置を講ずることとし、適用することができなかった理由等を管理し、適用可能となった時点で適用すること。
- ⑧ 受託事業者は、委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算組織のアクセス記録、当該組織の監視を行うとともに、監視状況にかかる監査を定期的に行うこと。また、機構より求めがあった場合は、当該監査結果を報告すること。
- ⑨ 受託事業者は、委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算機において、記録機能を有する機器への不正アクセスを防止するため、外部電磁的記録媒体の物理的又は技術的な接続制限等の措置を講ずること。
- ⑩ 受託事業者は、委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算機において、業務上、外部電磁的記録媒体の接続が必要な場合は、本委託業務のみで使用する外部電磁的記録媒体を用いることとし、その取扱者を限定するとともに、接続する前に外部電磁的記録媒体のウイルススキャンを実施すること。

(10) 委託条件等の準備期限

受託事業者は、令和8年2月6日（金）までに、運用仕様書に記載の委託条件等（履行体制、履行方法、個人情報等保護及び情報セキュリティ体制）を満たすための措置を講ずること。ただし、業務開始後に措置すべき内容は除く。

なお、上記で講ずる措置について、契約締結後に、委託条件等の準備計画書（様式任意）及び準備状況に関する進捗報告書（任意様式）の作成並びに機構への提出を求める場合がある。

その場合は、準備計画書及び準備状況進捗報告書の資料構成や記載すべき内容、提出スケジュール等について、機構と事前に協議すること。

11 業務研修

業務委託に際し、機構が実施する業務研修はない。

12 成果物の納品方法及び検査

成果物の納品方法及び検査については、仕様書等のとおりとする。

13 その他

(1) 技術試験品等の提出

- ① 入札参加希望者は、運用仕様書を郵送にて提出（令和7年10月3日（金）必着）し、審査を受けること。また、機構が貸与する電子媒体等に収録した技術試験品用のテストデータを使用し、別紙16「技術試験品の作成について」を基に技術試験品を作成の上、郵送にて提出（調達区分1：令和7年10月29日（水）必着、調達区分2：令和7年11月6日（木）必着）し、審査を受けること。
- ② 入札希望者に対するテストデータは、令和7年9月3日（水）から令和7年10月3日（金）までの期間に「7 所管部署」より郵送にて貸与する。入札希望者は、テストデータの貸与希望の旨を「7 所管部署」に連絡の上、テストデータを受領すること。

- ③ 技術試験品等の審査において、機構の要求水準を満たしていないと判定された場合は、入札に参加することができない。

(2) 委託業務説明会

令和7年9月16日(火)に委託業務説明会をオンライン(Microsoft Teams)にて開催する。参加希望者は、入札説明書の記載を確認の上、必要な申し込みを行うこと。なお、委託業務説明会の参加は任意とする。

(3) 仕様書等の明確化等

- ① 入札参加希望者は、履行体制、履行方法、個人情報等保護及び情報セキュリティ体制について、運用仕様書を作成の上、明確にすること。
- ② 運用仕様書は、別紙13「運用仕様書作成手順」を基に作成すること。
- ③ 入札参加希望者は、運用仕様書を入札説明書で示す提出期限までに、上記7「所管部署」に提出すること。
- ④ 受託事業者が提出した運用仕様書は契約書の一部とする。
- ⑤ 業務の処理方法等、別途委託要領に定めがある場合は委託要領によることとする。
- ⑥ 仕様書等では業務の処理方法が一義に定まらない事案があることを把握した時、又は仕様書等には定めがないが判断を要する事案がある時には、機構と受託事業者は協議の上、仕様書等の不明瞭な点を明確にするための書面を速やかに取り交わすこととする。
- ⑦ 上記⑥の書面の取り交わしが完了するまでの間の対応方法については、機構と受託事業者が協議の上決定することとする。
- ⑧ 契約締結後、機構は、日本年金機構個人情報保護管理方針（プライバシーポリシー）、日本年金機構情報セキュリティポリシー等の改定により、契約書及び仕様書並びに委託要領に定める情報セキュリティ対策の要求水準を変更させる場合がある。この場合、受託事業者は、機構から求めがあった場合には、情報セキュリティ対策を変更した場合の影響調査を行い、その対処方法を検討することとし、影響調査の結果を書面にて速やかに機構に提出すること。
- ⑨ 機構は、上記⑧の影響調査の結果を踏まえ、受託事業者の対処方法及びその履行について、受託事業者と協議することができる。

(4) 情報セキュリティに関する第三者評価の認証を証明できる書類の提出

受託事業者が委託業務開始前に機構へ提出した情報セキュリティに関する第三者評価の認証を証明できる書類（プライバシーマーク、ISO/IEC27001又はJISQ27001の登録証の写し）において、契約期間中にその認証期間が切れる場合、受託事業者は、その認証期間を更新すること。

受託事業者は、認証終了日から1か月以内に、情報セキュリティに関する第三者評価の認証期間が更新されたことが証明できる書類の写しを機構に提出すること。

(5) 実績及び評価結果の公表

機構は、契約期間終了後、当該業務の実績及び評価結果（受託事業者名、契約実績額等を含む。）を機構のホームページにより公表することがある。

「ねんきん定期便」 調達区分1

〔直近1年間通知者—50歳未満者用帳票〕

月別委託件数一覧

(単位：千件)

発送月	誕生月分 委託件数		再発行分 委託件数	うち 点字対応分 委託件数
	国・厚・船のみ分	共済記録あり者分	国・厚・船のみ分 共済記録あり者分	
4 月 (3月再発行分)	2,568	88	11	1.2
5 月 (4月再発行分)	2,644	91	13	1.4
6 月 (5月再発行分)	2,562	88	17	1.8
7 月 (6月再発行分)	2,769	98	13	1.4
8 月 (7月再発行分)	2,746	95	21	2.2
9 月 (8月再発行分)	2,681	93	11	1.2
10 月 (9月再発行分)	2,649	92	14	1.5
11 月 (10月再発行分)	2,472	85	14	1.6
12 月 (11月再発行分)	2,594	90	15	1.6
1 月 (12月再発行分)	2,612	90	10	1.1
2 月 (1月再発行分)	2,367	81	16	1.7
3 月 (2月再発行分)	2,507	85	12	1.3
合 計	31,171	1,076	167	18

「ねんきん定期便」 調達区分2

〔直近1年間通知者－50歳以上者用帳票〕

月別委託件数一覧

(単位：千件)

発送月	誕生月分 委託件数		再発行分 委託件数	うち 点字対応分 委託件数
	国・厚・船のみ分	共済記録あり者分	国・厚・船のみ分 共済記録あり者分	
4 月 (3月再発行分)	1,658	91	1.9	1.8
5 月 (4月再発行分)	1,564	84	1.8	1.8
6 月 (5月再発行分)	1,481	79	2.2	2.1
7 月 (6月再発行分)	1,633	90	1.8	1.8
8 月 (7月再発行分)	1,632	91	2.3	2.2
9 月 (8月再発行分)	1,585	89	2.1	2.0
10 月 (9月再発行分)	1,564	86	1.9	1.9
11 月 (10月再発行分)	1,500	82	1.9	1.8
12 月 (11月再発行分)	1,646	90	1.8	1.8
1 月 (12月再発行分)	1,775	99	1.7	1.6
2 月 (1月再発行分)	1,611	88	1.8	1.8
3 月 (2月再発行分)	1,659	90	1.8	1.4
合 計	19,308	1,059	23	22

「ねんきん定期便」 調達区分2

〔直近1年間通知者一老齢年金受給者用帳票〕

月別委託件数一覧

(単位：千件)

発送月	誕生月分 委託件数		再発行分 委託件数	うち 点字対応分 委託件数
	国・厚・船のみ分	共済記録あり者分	国・厚・船のみ分 共済記録あり者分	
4 月 (3月再発行分)	247	38	0.11	0.21
5 月 (4月再発行分)	223	35	0.07	0.14
6 月 (5月再発行分)	210	32	0.09	0.18
7 月 (6月再発行分)	233	36	0.09	0.18
8 月 (7月再発行分)	235	34	0.11	0.21
9 月 (8月再発行分)	232	34	0.04	0.09
10 月 (9月再発行分)	232	34	0.05	0.11
11 月 (10月再発行分)	230	34	0.05	0.09
12 月 (11月再発行分)	247	37	0.07	0.14
1 月 (12月再発行分)	305	45	0.09	0.18
2 月 (1月再発行分)	263	39	0.13	0.27
3 月 (2月再発行分)	268	39	0.10	0.20
合 計	2,925	437	1	2

「ねんきん定期便」（直近1年間通知者／誕生月分・再発行分）委託スケジュール

現時点での想定スケジュールであり、日程に変更が生じた場合は別途連絡する。

	調達 区分	年 齢 帯 区 分	電子媒体等（DVD・CD）引渡日 （業務スケジュール反映集約）	納 品 予 定 日
4月誕生月分 3月再発行分	1	15歳～20歳	令和 8年 3月 4日（水）	令和 8年 4月 6日（月）
		30～34・36～39歳	令和 8年 3月 4日（水）	令和 8年 4月 6日（月）
		21～29歳	令和 8年 3月 4日（水）	令和 8年 4月 6日（月）
		15～49歳（共済記録あり者）	令和 8年 3月 9日（月）	令和 8年 4月17日（金）
		40～44・46～49歳	令和 8年 3月 9日（月）	令和 8年 4月17日（金）
	2	61歳以上	令和 8年 3月 4日（水）	令和 8年 4月10日（金）
		50～60歳（共済記録あり者）	令和 8年 3月 4日（水）	令和 8年 4月10日（金）
		61歳以上（共済記録あり者）	令和 8年 3月 4日（水）	令和 8年 4月10日（金）
		50～54歳	令和 8年 3月10日（火）	令和 8年 4月13日（月）
		55～58・60歳	令和 8年 3月10日（火）	令和 8年 4月13日（月）
	—	CD-R（ねんきん定期便 関係情報）	初回電子媒体等引渡日と同日	—
5月誕生月分 4月再発行分	1	15歳～20歳	令和 8年 3月31日（火）	令和 8年 5月 8日（金）
		30～34・36～39歳	令和 8年 3月31日（火）	令和 8年 5月 8日（金）
		21～29歳	令和 8年 3月31日（火）	令和 8年 5月 8日（金）
		15～49歳（共済記録あり者）	令和 8年 4月 2日（木）	令和 8年 5月18日（月）
		40～44・46～49歳	令和 8年 4月 2日（木）	令和 8年 5月18日（月）
	2	61歳以上	令和 8年 3月31日（火）	令和 8年 5月11日（月）
		50～60歳（共済記録あり者）	令和 8年 3月31日（火）	令和 8年 5月11日（月）
		61歳以上（共済記録あり者）	令和 8年 3月31日（火）	令和 8年 5月11日（月）
		50～54歳	令和 8年 4月 3日（金）	令和 8年 5月15日（金）
		55～58・60歳	令和 8年 4月 3日（金）	令和 8年 5月15日（金）
	—	CD-R（ねんきん定期便 関係情報）	初回電子媒体等引渡日と同日	—
6月誕生月分 5月再発行分	1	15歳～20歳	令和 8年 4月28日（火）	令和 8年 6月 8日（月）
		30～34・36～39歳	令和 8年 4月28日（火）	令和 8年 6月 8日（月）
		21～29歳	令和 8年 4月28日（火）	令和 8年 6月 8日（月）
		15～49歳（共済記録あり者）	令和 8年 5月 1日（金）	令和 8年 6月19日（金）
		40～44・46～49歳	令和 8年 5月 1日（金）	令和 8年 6月19日（金）
	2	61歳以上	令和 8年 4月28日（火）	令和 8年 6月12日（金）
		50～60歳（共済記録あり者）	令和 8年 4月28日（火）	令和 8年 6月12日（金）
		61歳以上（共済記録あり者）	令和 8年 4月28日（火）	令和 8年 6月12日（金）
		50～54歳	令和 8年 5月 7日（木）	令和 8年 6月15日（月）
		55～58・60歳	令和 8年 5月 7日（木）	令和 8年 6月15日（月）
	—	CD-R（ねんきん定期便 関係情報）	初回電子媒体等引渡日と同日	—
7月誕生月分 6月再発行分	1	15歳～20歳	令和 8年 6月 1日（月）	令和 8年 7月 6日（月）
		30～34・36～39歳	令和 8年 6月 1日（月）	令和 8年 7月 6日（月）
		21～29歳	令和 8年 6月 1日（月）	令和 8年 7月 6日（月）
		15～49歳（共済記録あり者）	令和 8年 6月 3日（水）	令和 8年 7月17日（金）
		40～44・46～49歳	令和 8年 6月 3日（水）	令和 8年 7月17日（金）
	2	61歳以上	令和 8年 6月 1日（月）	令和 8年 7月10日（金）
		50～60歳（共済記録あり者）	令和 8年 6月 1日（月）	令和 8年 7月10日（金）
		61歳以上（共済記録あり者）	令和 8年 6月 1日（月）	令和 8年 7月10日（金）
		50～54歳	令和 8年 6月 5日（金）	令和 8年 7月13日（月）
		55～58・60歳	令和 8年 6月 5日（金）	令和 8年 7月13日（月）
	—	CD-R（ねんきん定期便 関係情報）	初回電子媒体等引渡日と同日	—
8月誕生月分 7月再発行分	1	15歳～20歳	令和 8年 6月29日（月）	令和 8年 8月 7日（金）
		30～34・36～39歳	令和 8年 6月29日（月）	令和 8年 8月 7日（金）
		21～29歳	令和 8年 6月29日（月）	令和 8年 8月 7日（金）
		15～49歳（共済記録あり者）	令和 8年 7月 1日（水）	令和 8年 8月21日（金）
		40～44・46～49歳	令和 8年 7月 1日（水）	令和 8年 8月21日（金）
	2	61歳以上	令和 8年 6月29日（月）	令和 8年 8月10日（月）
		50～60歳（共済記録あり者）	令和 8年 6月29日（月）	令和 8年 8月10日（月）
		61歳以上（共済記録あり者）	令和 8年 6月29日（月）	令和 8年 8月10日（月）
		50～54歳	令和 8年 7月 2日（木）	令和 8年 8月17日（月）
		55～58・60歳	令和 8年 7月 2日（木）	令和 8年 8月17日（月）
	—	CD-R（ねんきん定期便 関係情報）	初回電子媒体等引渡日と同日	—
9月誕生月分 8月再発行分	1	15歳～20歳	令和 8年 7月29日（水）	令和 8年 9月 7日（月）
		30～34・36～39歳	令和 8年 7月29日（水）	令和 8年 9月 7日（月）
		21～29歳	令和 8年 7月29日（水）	令和 8年 9月 7日（月）
		15～49歳（共済記録あり者）	令和 8年 7月31日（金）	令和 8年 9月18日（金）
		40～44・46～49歳	令和 8年 7月31日（金）	令和 8年 9月18日（金）
	2	61歳以上	令和 8年 7月29日（水）	令和 8年 9月11日（金）
		50～60歳（共済記録あり者）	令和 8年 7月29日（水）	令和 8年 9月11日（金）
		61歳以上（共済記録あり者）	令和 8年 7月29日（水）	令和 8年 9月11日（金）
		50～54歳	令和 8年 8月 3日（月）	令和 8年 9月14日（月）
		55～58・60歳	令和 8年 8月 3日（月）	令和 8年 9月14日（月）
	—	CD-R（ねんきん定期便 関係情報）	初回電子媒体等引渡日と同日	—

「ねんきん定期便」（直近1年間通知者／誕生月分・再発行分）委託スケジュール

現時点での想定スケジュールであり、日程に変更が生じた場合は別途連絡する。

	調達 区分	年 齢 帯 区 分	電子媒体等（DVD・CD）引渡日 （業務スケジュール反映集約）	納 品 予 定 日
10月誕生月分	9月再発行分	15歳～20歳	令和 8年 8月 31日（月）	令和 8年 10月 9日（金）
		30～34・36～39歳	令和 8年 8月 31日（月）	令和 8年 10月 9日（金）
		21～29歳	令和 8年 8月 31日（月）	令和 8年 10月 9日（金）
		15～49歳（共済記録あり者）	令和 8年 9月 2日（水）	令和 8年 10月 19日（月）
		40～44・46～49歳	令和 8年 9月 2日（水）	令和 8年 10月 19日（月）
	2	61歳以上	令和 8年 8月 31日（月）	令和 8年 10月 13日（火）
		50～60歳（共済記録あり者）	令和 8年 8月 31日（月）	令和 8年 10月 13日（火）
		61歳以上（共済記録あり者）	令和 8年 8月 31日（月）	令和 8年 10月 13日（火）
		50～54歳	令和 8年 9月 4日（金）	令和 8年 10月 16日（金）
		55～58・60歳	令和 8年 9月 4日（金）	令和 8年 10月 16日（金）
	—	C D — R（ねんきん定期便 関係情報）	初回電子媒体等引渡日と同日	—
11月誕生月分	10月再発行分	15歳～20歳	令和 8年 9月 30日（水）	令和 8年 11月 6日（金）
		30～34・36～39歳	令和 8年 9月 30日（水）	令和 8年 11月 6日（金）
		21～29歳	令和 8年 9月 30日（水）	令和 8年 11月 6日（金）
		15～49歳（共済記録あり者）	令和 8年 10月 2日（金）	令和 8年 11月 16日（月）
		40～44・46～49歳	令和 8年 10月 2日（金）	令和 8年 11月 16日（月）
	2	61歳以上	令和 8年 9月 30日（水）	令和 8年 11月 9日（月）
		50～60歳（共済記録あり者）	令和 8年 9月 30日（水）	令和 8年 11月 9日（月）
		61歳以上（共済記録あり者）	令和 8年 9月 30日（水）	令和 8年 11月 9日（月）
		50～54歳	令和 8年 10月 6日（火）	令和 8年 11月 13日（金）
		55～58・60歳	令和 8年 10月 6日（火）	令和 8年 11月 13日（金）
	—	C D — R（ねんきん定期便 関係情報）	初回電子媒体等引渡日と同日	—
12月誕生月分	11月再発行分	15歳～20歳	令和 8年 10月 29日（木）	令和 8年 12月 7日（月）
		30～34・36～39歳	令和 8年 10月 29日（木）	令和 8年 12月 7日（月）
		21～29歳	令和 8年 10月 29日（木）	令和 8年 12月 7日（月）
		15～49歳（共済記録あり者）	令和 8年 11月 2日（月）	令和 8年 12月 18日（金）
		40～44・46～49歳	令和 8年 11月 2日（月）	令和 8年 12月 18日（金）
	2	61歳以上	令和 8年 10月 29日（木）	令和 8年 12月 11日（金）
		50～60歳（共済記録あり者）	令和 8年 10月 29日（木）	令和 8年 12月 11日（金）
		61歳以上（共済記録あり者）	令和 8年 10月 29日（木）	令和 8年 12月 11日（金）
		50～54歳	令和 8年 11月 4日（水）	令和 8年 12月 14日（月）
		55～58・60歳	令和 8年 11月 4日（水）	令和 8年 12月 14日（月）
	—	C D — R（ねんきん定期便 関係情報）	初回電子媒体等引渡日と同日	—
1月誕生月分	12月再発行分	15歳～20歳	令和 8年 12月 2日（水）	令和 9年 1月 8日（金）
		30～34・36～39歳	令和 8年 12月 2日（水）	令和 9年 1月 8日（金）
		21～29歳	令和 8年 12月 2日（水）	令和 9年 1月 8日（金）
		15～49歳（共済記録あり者）	令和 8年 12月 7日（月）	令和 9年 1月 18日（月）
		40～44・46～49歳	令和 8年 12月 7日（月）	令和 9年 1月 18日（月）
	2	61歳以上	令和 8年 12月 2日（水）	令和 9年 1月 12日（火）
		50～60歳（共済記録あり者）	令和 8年 12月 2日（水）	令和 9年 1月 12日（火）
		61歳以上（共済記録あり者）	令和 8年 12月 2日（水）	令和 9年 1月 12日（火）
		50～54歳	令和 8年 12月 8日（火）	令和 9年 1月 15日（金）
		55～58・60歳	令和 8年 12月 8日（火）	令和 9年 1月 15日（金）
	—	C D — R（ねんきん定期便 関係情報）	初回電子媒体等引渡日と同日	—
2月誕生月分	1月再発行分	15歳～20歳	令和 8年 12月 28日（月）	令和 9年 2月 8日（月）
		30～34・36～39歳	令和 8年 12月 28日（月）	令和 9年 2月 8日（月）
		21～29歳	令和 8年 12月 28日（月）	令和 9年 2月 8日（月）
		15～49歳（共済記録あり者）	令和 9年 1月 5日（火）	令和 9年 2月 19日（金）
		40～44・46～49歳	令和 9年 1月 5日（火）	令和 9年 2月 19日（金）
	2	61歳以上	令和 8年 12月 28日（月）	令和 9年 2月 12日（金）
		50～60歳（共済記録あり者）	令和 8年 12月 28日（月）	令和 9年 2月 12日（金）
		61歳以上（共済記録あり者）	令和 8年 12月 28日（月）	令和 9年 2月 12日（金）
		50～54歳	令和 9年 1月 7日（木）	令和 9年 2月 15日（月）
		55～58・60歳	令和 9年 1月 7日（木）	令和 9年 2月 15日（月）
	—	C D — R（ねんきん定期便 関係情報）	初回電子媒体等引渡日と同日	—
3月誕生月分	2月再発行分	15歳～20歳	令和 9年 2月 2日（火）	令和 9年 3月 8日（月）
		30～34・36～39歳	令和 9年 2月 2日（火）	令和 9年 3月 8日（月）
		21～29歳	令和 9年 2月 2日（火）	令和 9年 3月 8日（月）
		15～49歳（共済記録あり者）	令和 9年 2月 5日（金）	令和 9年 3月 19日（金）
		40～44・46～49歳	令和 9年 2月 5日（金）	令和 9年 3月 19日（金）
	2	61歳以上	令和 9年 2月 2日（火）	令和 9年 3月 12日（金）
		50～60歳（共済記録あり者）	令和 9年 2月 2日（火）	令和 9年 3月 12日（金）
		61歳以上（共済記録あり者）	令和 9年 2月 2日（火）	令和 9年 3月 12日（金）
		50～54歳	令和 9年 2月 8日（月）	令和 9年 3月 15日（月）
		55～58・60歳	令和 9年 2月 8日（月）	令和 9年 3月 15日（月）
	—	C D — R（ねんきん定期便 関係情報）	初回電子媒体等引渡日と同日	—

受託事業者を求めるサービス水準
（SLA：サービスレベルアグリーメント）
〔直近1年間通知者用〕

1. 業務委託の範囲（役割と責任の分担）

委託業務の範囲には、仕様書、業務委託契約書及び業務委託契約書に付属する業務の実施方法等について記載された文書（以下「仕様書等」という。）のとおりとし、以下の表の「受託事業者」欄に○が付してある作業とする。

業務区分	主な業務内容	日本年金機構	受託事業者
電子媒体等の貸与	電子媒体等の貸与	○	
	電子媒体等の受領（搬送を含む）		○
ねんきん定期便の作成	ねんきん定期便の校正原稿の作成		○
	ねんきん定期便の校正原稿の検証	○	
	ねんきん定期便（帳票）の作成		○
	ねんきん定期便（製品サンプル品）の提出		○
	ねんきん定期便の本番検証品の作成		○
	ねんきん定期便の本番検証品の検証	○	
	検証チェックシートの結果報告		○
	ねんきん定期便の本番品の作成指示	○	
	ねんきん定期便（帳票）の印字		○
	発送準備		○
ねんきん定期便の引抜き	ねんきん定期便の引抜き依頼	○	
	ねんきん定期便の引抜き及び納品		○
事前報告（CD-R）の作成	事前報告の作成及び提出		○
	事前報告の受領	○	
ねんきん定期便の納品 及び電子媒体等の返却	「ねんきん定期便」 差出通数表 の作成		○
	「ねんきん定期便」の納品 （搬送を含む）		○
	電子媒体等の返却（搬送を含む）		○

※作業の詳細は仕様書等を参照のこと。

2. サービス水準評価項目及びサービス水準

サービスレベル評価項目と受託事業者が達成すべきサービス水準は以下のとおりとする。

サービス水準評価項目	サービス水準
業務履行体制の整備	仕様書等のとおり
個人情報等保護に関する体制の整備	仕様書等のとおり
成果物の品質	仕様書等のとおり ※成果物は印字ミス等なく、100%の履行で納品すること。
履行期限	仕様書等のとおり ※納期遅延は0%とすること。

3. サービス水準未達成時の対応等

サービス水準未達成時に受託事業者が果たすべき対応は以下のとおりとする。なお、受託事業者より提供される業務の品質がサービス水準に達しない場合で、かつ、その改善が見込めない場合には、日本年金機構は本契約を解除することができる。

サービス水準評価項目	対応
業務履行体制の整備	業務進捗状況に応じて、受託事業者において随時体制の見直しを行うとともに、体制を変更する場合には、仕様書等に定める体制に関する届出等を日本年金機構へ行うこと。
個人情報等保護に関する体制の整備	日本年金機構からの改善指示に基づき改善を行うとともに、改善結果を書面により日本年金機構へ報告すること。
成果物の品質	成果物に瑕疵が判明した場合には、直ちに影響、範囲及び原因の調査を行い、日本年金機構と事後対策等の協議を行った上で、日本年金機構の指示に基づき、完全な履行となるよう追完を行うこと。また、受託事業者の不完全な処理が瑕疵の原因と認められる場合には、再発防止策等を書面により日本年金機構へ報告すること。
履行期限	履行期限が厳守出来ない場合には、早急に履行するとともに、その原因の調査を行い、必要に応じて体制等の見直しを行うこと。なお、体制等を変更する場合には、仕様書等に定める届出等を日本年金機構へ行うこと。また、原因及び改善の結果について書面により日本年金機構へ提出すること。

4. 運営ルール

業務品質の向上及びサービス水準達成のため、受託事業者は、仕様書等に定める以下の作業報告を日本年金機構に行うこと。

名称	提出期限	様式
業務完了報告書	毎月の最終納品日	委託要領 様式6
個人情報等の返却・廃棄等 に関する報告書	毎月の媒体返却時に提出	仕様書 別紙9
受託業務自主点検結果報告書	日本年金機構が別途指定する日（毎月）	仕様書 別紙10
法令及び契約内容の遵守状況 に関する報告書	委託業務開始後10日以内 （初回データ引渡日を委託業務開始日とする。）	仕様書 別紙12
ねんきん定期便通知情報 対象者一覧表	＜誕生月分・再発行分＞ 納品月の前月15日 （その日が休日の場合はその直前の営業日）	委託要領 様式8
対象者一覧表 （点字対応分）	＜誕生月分・再発行分＞ 納品月の前月15日 （その日が休日の場合はその直前の営業日）	委託要領 様式9-1
対象者一覧表 （国年特別一時金表示者分）	＜誕生月分・再発行分＞ 納品月の前月15日 （その日が休日の場合はその直前の営業日）	委託要領 様式9-2
対象者一覧表 （別送対応分）	＜誕生月分・再発行分＞ 納品月の前月15日 （その日が休日の場合はその直前の営業日）	委託要領 様式9-3
対象者一覧表 （郵便番号不備分）	＜誕生月分・再発行分＞ 納品月の前月15日 （その日が休日の場合はその直前の営業日）	委託要領 様式9-4
対象者一覧表 （厚年・船保・共済重複分）	＜誕生月分・再発行分＞ 納品月の前月15日 （その日が休日の場合はその直前の営業日）	委託要領 様式9-5
作成件数総括表	＜誕生月分＞ 納品月の前月15日 （その日が休日の場合はその直前の営業日）	委託要領 様式10

ねんきん定期便 発送件数内訳表	＜誕生月分＞ 納品月の前月１５日 (その日が休日の場合はその直前の営業日)	委託要領 様式１１
事務所別件数表 (本人直送分)	＜誕生月分・再発行分＞ 納品月の前月１５日 (その日が休日の場合はその直前の営業日)	委託要領 様式１２
作成状況報告書	＜誕生月分・再発行分＞ 納品月の前月１５日 (その日が休日の場合はその直前の営業日)	委託要領 様式７
事前報告（ファイル） (郵便物管理システム用)	委託要領の別添６、Ⅳのとおり	(Ａ) 送付郵便物データ (Ｂ) 送付抑止郵便物データ

日本年金機構と受託事業者は、委託業務の円滑な実施を目的として、以下の打合せ等を行うものとする。

名称	開催日	打合せの目的等
定期打合せ	日本年金機構が別途指定する日	ＳＬＡの達成状況等 自主点検結果報告書等の提出
業務終了時打合せ	日本年金機構が別途指定する日	業務結果報告等

※打合せ等の議事録は受託事業者が作成し、３営業日以内に日本年金機構へ提出すること。

日本年金機構 理事長代理人
年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所在地
法人名又は商号
氏名

印

業務委託員名簿

日本年金機構の「ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）〔直近1年間通知者用〕調達区分1・2」の受託に関し、業務履行体制、個人情報等保護に関する体制の整備等及び貸与された業務端末使用にかかる個人認証等に必要情報を下記のとおり通知します。

（契約書第11条第4項関係）

業務委託員数

項番	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
管理番号	氏名	ふりがな	履行場所	管理者	雇用形態の別 （直接雇用・派遣）	派遣元事業所名	派遣事業登録 許可番号	特定個人情報 取扱者	I D 払出者	貸与端末使用者	共有フォルダ 使用者	備考
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												

- 注】業務委託員名簿は、令和8年2月6日までに提出すること。
- 注】業務委託員名簿が複数枚になる場合は、提出枚数がわかるよう、頁番号を付すこと。
- 注】業務委託員の個人情報等の提出にあたり、あらかじめ本人の同意を得ること（派遣労働者を含む）。
- 注】業務委託員名簿の提出後、ア 業務委託員を新たに従事させる場合、イ 従事している業務委託員の業務を終了させる場合、ウ 従事している業務委託員に関する①から⑫の事項を変更する場合には、変更を行う前日までに「業務委託員名簿（変更）」を提出すること。
- ・「管理番号」欄は、業務委託員を新たに従事させる都度、業務委託員固有の管理番号を払い出した上で、通し番号とすること。
 - ・「③履行場所」欄は、業務委託員が主に業務に従事する場所を記載すること。
 - ・「④管理者」欄は、業務委託員が「総括管理責任者、部署管理者、点検管理者」、「現場責任者、現場責任者補助者」のいずれかに該当する場合、記載すること。
※ 総括管理責任者については、1名指定し、部署管理者については、履行場所ごとに1名指定すること。
 - ・「⑧特定個人情報取扱者」欄は、特定個人情報を取り扱う場合、「○」を記載すること。特定個人情報取扱者については、委託業務を行う上で、必要最小限の範囲で指定すること。
 - ・「⑨I D 払出者」欄は、受託事業者が用意した電子計算機のアクセス時に必要なI Dを払い出した者に、「○」を記載すること。
 - ・「⑩端末使用者」欄は、日本年金機構より貸与した業務端末（WM）又は共通事務端末を使用する者に、「○」を記載すること。
 - ・「⑪共有フォルダ使用者」欄は、日本年金機構が貸与した端末により共有フォルダを使用する者に、「○」を記載すること。

日本年金機構 理事長代理人
年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所在地 東京都杉並区高井戸西〇-〇-〇
法人名又は商号 〇〇印刷株式会社
氏名 高井戸太郎

印

業務委託員名簿

日本年金機構の「ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）〔直近1年間通知者用〕調達区分1・2」の受託に関し、業務履行体制、個人情報等保護に関する体制の整備等及び貸与された業務端末使用にかかる個人認証等に必要な情報を下記のとおり通知します。

（契約書第11条第4項関係）

業務委託員数
8

項番	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
管理番号	氏名	ふりがな	履行場所	管理者	雇用形態の別 （直接雇用・派遣）	派遣元事業所名	派遣事業登録 許可番号	特定個人情報 取扱者	I D 払出者	貸与端末使用者	共有フォルダ 使用者	備考
1	年金太郎	ねんきんたろう	A センター	総括管理責任者	直接雇用							
2	年金花子	ねんきんはなこ	A センター	部署管理者	直接雇用			○				
3	機構和子	きこうかずこ	B 工場	部署管理者	直接雇用							
4	機構知恵	きこうともえ	B 工場	点検管理者	直接雇用			○				
5	年金一郎	ねんきんいちろう	B 工場	現場責任者	直接雇用			○	○			
6	年金二郎	ねんきんじろう	B 工場	現場責任者補助者	直接雇用			○	○			
7	年金三郎	ねんきんさぶろう	B 工場		派遣	× × × 人材派遣株式会	般00-777*7		○			
8	年金四郎	ねんきんしろう	B 工場		直接雇用							

- 注】業務委託員名簿は、令和8年2月6日までに提出すること。
- 注】業務委託員名簿が複数枚になる場合は、提出枚数がわかるよう、頁番号を付すこと。
- 注】業務委託員の個人情報等の提出にあたり、あらかじめ本人の同意を得ること（派遣労働者を含む）。
- 注】業務委託員名簿の提出後、ア 業務委託員を新たに従事させる場合、イ 従事している業務委託員の業務を終了させる場合、ウ 従事している業務委託員に関する①から⑫の事項を変更する場合には、変更を行う前日までに「業務委託員名簿（変更）」を提出すること。
- ・「管理番号」欄は、業務委託員を新たに従事させる都度、業務委託員固有の管理番号を払い出した上で、通し番号とすること。
 - ・「③履行場所」欄は、業務委託員が主に業務に従事する場所を記載すること。
 - ・「④管理者」欄は、業務委託員が「総括管理責任者、部署管理者、点検管理者」、「現場責任者、現場責任者補助者」のいずれかに該当する場合、記載すること。
※ 総括管理責任者については、1名指定し、部署管理者については、履行場所ごとに1名指定すること。
 - ・「⑧特定個人情報取扱者」欄は、特定個人情報を取り扱う場合、「○」を記載すること。特定個人情報取扱者については、委託業務を行う上で、必要最小限の範囲で指定すること。
 - ・「⑨I D 払出者」欄は、受託事業者が用意した電子計算機のアクセス時に必要なI Dを払い出した者に、「○」を記載すること。
 - ・「⑩端末使用者」欄は、日本年金機構より貸与した業務端末（WM）又は共通事務端末を使用する者に、「○」を記載すること。
 - ・「⑪共有フォルダ使用者」欄は、日本年金機構が貸与した端末により共有フォルダを使用する者に、「○」を記載すること。

日本年金機構 理事長代理人
年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所 在 地
法人名又は商号
氏 名

印

業務委託員名簿（変更）

日本年金機構の「ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）〔直近1年間通知者用〕調達区分1・2」の受託に関し、業務履行体制、個人情報等保護に関する体制の整備等及び貸与された業務端末使用にかかる個人認証等に必要な情報として、業務委託員名簿から変更した情報を下記のとおり通知します。

（契約書第11条第4項関係）

i	ii	iii	iv	v
前回までに払い出した最終管理番号	前回までに業務を終了させた業務委託員の総人数	今回、新たに業務に従事させる業務委託員の人数	今回、業務を終了させる業務委託員の人数	変更後の業務委託員数 (= i - ii + iii - iv)

項番	①	②			変更する項番	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
管理番号	氏名	ふりがな	業務従事日	業務終了日		履行場所	管理者	雇用形態の別 (直接雇用・派遣)	派遣元事業所名	派遣事業登録 許可番号	特定個人情報 取扱者	I D 払出者	貸与端末使用者	共有フォルダ 使用者	備考
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															

注】業務委託員名簿（変更）は、変更する日の前日までに提出すること。 なお、業務委託員名簿（変更）については、総括管理責任者の記名押印による提出を可とする。

ア 業務委託員を新たに従事させる場合は、「管理番号」欄に、前回までに払い出した最終管理番号の次の番号を記載した上で、「業務従事日」欄に、研修受講後の業務に従事させる予定日を記載すること。併せて、項番①から⑫の内容を記載すること。

イ 従事している業務委託員の業務を終了させる場合は、「管理番号」欄に、業務委託員に付与している管理番号を記載した上で、「業務終了日」欄に、業務の従事を終える予定日を記載すること。併せて、項番①から⑫の内容を記載すること。

ウ 従事している業務委託員に関する項番①から⑫の内容を変更する場合は、「変更する項番」欄に、変更を行う項番①から⑫の全てを記載した上で、変更後の項番①から⑫の内容を記載すること。

注】業務委託員名簿（変更）が複数枚になる場合は、提出枚数がわかるよう、頁番号を付すこと。

注】項番①から⑫の各欄は、「業務委託員名簿」の注釈を参考として、記載すること。

※ 上記ウの場合において、「①氏名」及び「②ふりがな」欄を変更する場合は、業務委託員の氏名・ふりがなの変更後に「業務委託員名簿（変更）」を提出すること。

日本年金機構 理事長代理人
年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所 在 地 東京都杉並区高井戸西〇-〇-〇
法 人 名 又は 商 号 〇〇印刷株式会社
氏 名 年金太郎

印

業務委託員名簿（変更）

日本年金機構の「ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）〔直近1年間通知者用〕調達区分1・2」の受託に関し、業務履行体制、個人情報等保護に関する体制の整備等及び貸与された業務端末使用にかかる個人認証等に必要な情報として、業務委託員名簿から変更した情報を下記のとおり通知します。

（契約書第11条第4項関係）

i	ii	iii	iv	v
前回までに払い出した最終管理番号	前回までに業務を終了させた業務委託員の総人数	今回、新たに業務に従事させる業務委託員の人数	今回、業務を終了させる業務委託員の人数	変更後の業務委託員数 （＝ i－ii＋iii－iv）
8	0	2	1	9

項番	①	②			変更する項番	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
管理番号	氏名	ふりがな	業務従事日	業務終了日		履行場所	管理者	雇用形態の別 （直接雇用・派遣）	派遣元事業所名	派遣事業登録 許可番号	特定個人情報 取扱者	I D 払出者	貸与端末使用者	共有フォルダ 使用者	備考
9	年金六郎	ねんきんろくろう	31.4.25			B工場		派遣	×××人材派遣株式会社	般00-＊777＊7		○			
10	年金七郎	ねんきんしちろう	31.4.25			B工場		直接雇用			○	○			
3	機構和子	きこうかずこ			⑧⑨	B工場	部署管理者	直接雇用			○	○			
7	年金三郎	ねんきんさぶろう		31.4.30		B工場		派遣	×××人材派遣株式会社	般00-＊777＊7		○			

注】業務委託員名簿（変更）は、変更する日の前日までに提出すること。 なお、業務委託員名簿（変更）については、総括管理責任者の記名押印による提出を可とする。

ア 業務委託員を新たに従事させる場合は、「管理番号」欄に、前回までに払い出した最終管理番号の次の番号を記載した上で、「業務従事日」欄に、研修受講後の業務に従事させる予定日を記載すること。併せて、項番①から⑫の内容を記載すること。

イ 従事している業務委託員の業務を終了させる場合は、「管理番号」欄に、業務委託員に付与している管理番号を記載した上で、「業務終了日」欄に、業務の従事を終える予定日を記載すること。併せて、項番①から⑫の内容を記載すること。

ウ 従事している業務委託員に関する項番①から⑫の内容を変更する場合は、「変更する項番」欄に、変更を行う項番①から⑫の全てを記載した上で、変更後の項番①から⑫の内容を記載すること。

注】業務委託員名簿（変更）が複数枚になる場合は、提出枚数がわかるよう、頁番号を付すこと。

注】項番①から⑫の各欄は、「業務委託員名簿」の注釈を参考として、記載すること。

※ 上記ウの場合において、「①氏名」及び「②ふりがな」欄を変更する場合は、業務委託員の氏名・ふりがなの変更後に「業務委託員名簿（変更）」を提出すること。

令和 年 月 日

日本年金機構 理事長代理人
年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所 在 地
法人名又は商号
氏 名

印

守秘義務契約締結報告書

「ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）
[直近1年間通知者用] 調達区分1・2」に従事している業務委託員と日本年金機構
が指定する守秘義務契約書を締結したことをご報告いたします。

なお、業務委託員名簿に記載した従業員と締結した守秘義務契約書の写しを全て添
付しています。

※本様式により、業務委託員と守秘義務契約を締結すること。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

受託会社名 御中

住所:

氏名: 印

生年月日:

守秘義務契約書

私は日本年金機構の委託業務（「ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）[直近1年間通知者用] 調達区分1・2」（以下「本業務」という。）」に従事するにあたり、下記の秘密保持に関する事項を順守することを誓約いたします。また、私は貴社が本契約書の写しを日本年金機構に提出することに同意します。

記

1. 貴社に在職中、本業務を通じて知り得た一切の情報（以下「秘密情報」とする。）について、第三者（貴社の役員、貴社の親会社、地域統括会社、ブランド・ライセンサー、フランチャイザー、コンサルタントその他の貴社に対して指導、監督、業務支援、助言、監査等を行う者等を含む業務委託員以外の者。以下同じ）に開示、漏えい、目的外利用、又は自ら不正に使用しないこと。
2. 貴社を退職した後においても、前項の秘密情報を第三者に開示、漏洩し、又は自ら不正に使用しないこと。
3. 上記各誓約事項に違反して貴社に損害を与えたときは、その損害を賠償する責任を負うこと。
4. 本業務の実施にあたり、日本年金機構法（平成19年法律第109号）、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）及び個人情報関係諸法令を順守すること。

以上

（参考）日本年金機構法（平成19年法律第109号）より抜粋

- ・守秘義務について（第31条第2項）：受託者等（委託を受けた者（その者が法人である場合にあつては、その役員）若しくはその職員その他の当該委託を受けた業務に従事する者）又はこれらの者であった者は、当該業務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。
- ・罰則規定について（第31条第3項）：受託者等にも、機構役職員に対する刑法その他の罰則の適用を準用する。
- ・罰則（第57条）：秘密を漏らした者は、1年以下の拘禁刑又は100万円以下の罰金に処する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

日本年金機構 理事長代理人
年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所 在 地
法人名又は商号
代 表 者 名

⑨

労働者派遣法に基づく労働者派遣契約を行う場合について

「ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和８年４月～令和９年３月発送分）〔直近１年間通知者用〕調達区分１・２」を履行するにあたり、下記のとおり労働者派遣事業者と労働者派遣法に基づく労働者派遣契約を行うこととしたく、貴機構の承認を求めます。

労働者派遣事業者名			
本社所在地	〒		
設立年月日		資本金	
代表者			
実際に労働者派遣を実施する営業所			
労働者派遣事業許可番号	派〇〇 - 〇〇〇〇〇〇		
厚生年金事業所整理記号・番号 及び管轄年金事務所	厚生年金事業所整理記号・番号	管轄年金事務所	
	〇〇 - ▲▲▲ 〇 〇 〇 〇 〇	〇〇 年金事務所	
労働者派遣を行う期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日から令和〇〇年〇〇月〇〇日まで 〇〇日間		
労働者派遣契約を行う理由			

- ※ １ 本承認申請書提出の際には、①労働者派遣契約書の写し、②労働者派遣事業許可証の写しを添付すること。
- ※ ２ 厚生年金事業所整理記号・番号及び管轄年金事務所は、本契約にかかる派遣労働者が資格取得する事業所を記載すること。

令和 年 月 日

日本年金機構 理事長代理人

年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所 在 地

法人名又は商号

氏 名

印

履行開始日以降に提出する場合は、総括管理責任者の記名押印による提出を可とする。

研修実施報告書

「ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月発送分）〔直近 1 年間通知者用〕調達区分 1・2」に従事中の業務委託員に対して、個人情報等保護等及び情報セキュリティに関する研修を実施したことを報告します。

① 研修実施時期及び期間

（※いずれかの□に✓してください。また、研修を実施した期間を記載してください。）

☐ 履行開始前に実施

☐ 履行開始後に実施

研修実施期間： 年 月 日から 年 月 日まで

注：「研修実施報告書」提出期限

ア 初回の研修は、履行開始日の前日までに実施し、履行開始日の前日までに報告書を提出すること。ただし、履行開始日以降に初めて業務を行う業務委託員に対して、初回の研修を実施した場合は、研修実施日から 10 日以内に報告書を提出すること。

イ 2 回目以降の研修は、定期的に実施し、研修実施日の 10 日以内に報告書を提出すること。

※ 研修を実施した期間が複数日であった場合は、研修を実施した初日から 10 日以内に報告書を提出すること。

② 研修実施者

（※研修を実施した人数を記載し、研修を行った業務委託員の氏名と業務委託員名簿に記載した管理番号がわかる資料を添付してください。）

研修実施人数 名

③ 研修実施内容

（※実施した内容の□の全てに✓してください。）

☐ 日本年金機構法や個人情報等に関する関係法令で定められた守秘義務及び罰則規定

☐ 委託業務における遵守事項及び禁止行為

☐ 個人情報等の保護にかかる就業規則等に違反した場合の処分

☐ 情報漏えいとその影響

☐ インシデントが発生した場合の手順

☐ 機構に設置されている「通報窓口のご案内」の周知

※上記以外の内容を研修した場合は、下記にその研修内容を記載してください。

☐ その他（ ）

個人情報等管理台帳

履行場所: _____

作成(受領)日	作成(受領)者	識別番号	情報の内容	数量	種類	利用目的	複写複製 の有・無	保管場所	移送・廃棄・ 消去の区分	移送(廃棄・ 消去)日	移送(廃棄・ 消去)者	移送等確認 (点検)者

注】「情報の内容」欄は、履行場所において個人情報等を作成（データの加工や照会・利用含む。）、受領又は複写複製したものを記載すること。ただし、電子データの場合は、自拠点の電子計算機（例：サーバ装置、PC等）に保存されていないものであっても、自拠点で管理するものを記載すること。

注】「数量」欄は、助数詞を用いて数量を記載すること。

注】「種類」欄は、紙媒体、外部電磁的記録媒体、電子データの区分を記載すること。また、外部電磁的記録媒体については、更に、DVD、USBメモリ、外付けハードディスクドライブなどの名称を具体的に記載すること。

注】「保管場所」欄は、電子データの場合は、その電子データが保存される電子計算機の設置場所（自拠点又は他拠点）を記載すること。

注】「移送等確認(点検)者」欄は、「移送(廃棄・消去)者」欄に記載した者と異なる者を記載すること。

※複写複製には、個人情報等の電子データを電子計算機に格納及びバックアップの取得などが含まれる。

※個人情報等管理台帳は、「管理者等申請書」で届出された履行場所ごとに作成すること。

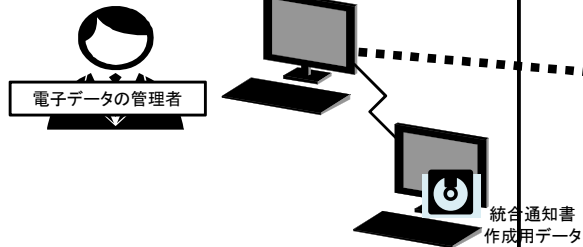
個人情報等管理台帳

<記載例A>

履行場所:東京工場

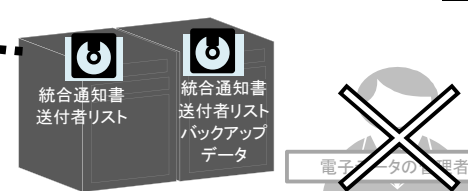
作成(受領)日	作成(受領)者	識別番号	情報の内容	数量	種類	利用目的	複写複製の有・無	保管場所	移送・廃棄・消去の区分	移送(廃棄・消去)日	移送(廃棄・消去)者	移送等確認(点検)者
2018年8月2日	〇〇 〇〇	1	統合通知書送付者リスト	1枚	DVD	データ印字	有・無	東京工場耐火金庫	移送・廃棄・消去	2018年8月3日	〇〇 〇〇	◆◆ ◆◆
2018年8月3日	△△ △△	1 複写	統合通知書送付者リスト	100,000,000件	電子データ	データ印字	有・無	大阪工場サーバ室	移送・廃棄・消去	2018年8月10日	△△ △△	●● ●●
2018年8月3日	△△ △△	1 複写	統合通知書送付者リスト バックアップデータ	100,000,000件	電子データ	バックアップ	有・無	大阪工場サーバ室	移送・廃棄・消去	2018年8月10日	△△ △△	●● ●●
2018年8月5日	□□ □□	1	統合通知書作成用データ	100,000,000件	電子データ	データ印字	有・無	東京工場納品物作成用PC	移送・廃棄・消去	2018年8月10日	〇〇 〇〇	◆◆ ◆◆
2018年8月5日	□□ □□	1	統合通知書	100,000,000件	紙媒体	印刷、納品	有・無	東京工場保管庫	移送・廃棄・消去	2018年8月6日	□□ □□	◆◆ ◆◆

東京工場



電子データの管理イメージ

大阪工場



注】「情報の内容」欄は、履行場所において個人情報等を作成（データの加工や照会・利用含む。）、受領又は複写複製したものを記載すること。ただし、電子データの場合は、自拠点の電子計算機（例：サーバ装置、PC等）に保存されていないものであっても、自拠点で管理するものを記載すること。

注】「数量」欄は、助数詞を用いて数量を記載すること。

注】「種類」欄は、紙媒体、外部電磁的記録媒体、電子データの区分を記載すること。また、外部電磁的記録媒体については、更に、DVD、USBメモリ、外付けハードディスクドライブなどの名称を具体的に記載すること。

注】「保管場所」欄は、電子データの場合は、その電子データが保存される電子計算機の設置場所（自拠点又は他拠点）を記載すること。

注】「移送等確認(点検)者」欄は、「移送(廃棄・消去)者」欄に記載した者と異なる者を記載すること。

※複写複製には、個人情報等の電子データを電子計算機に格納及びバックアップの取得などが含まれる。

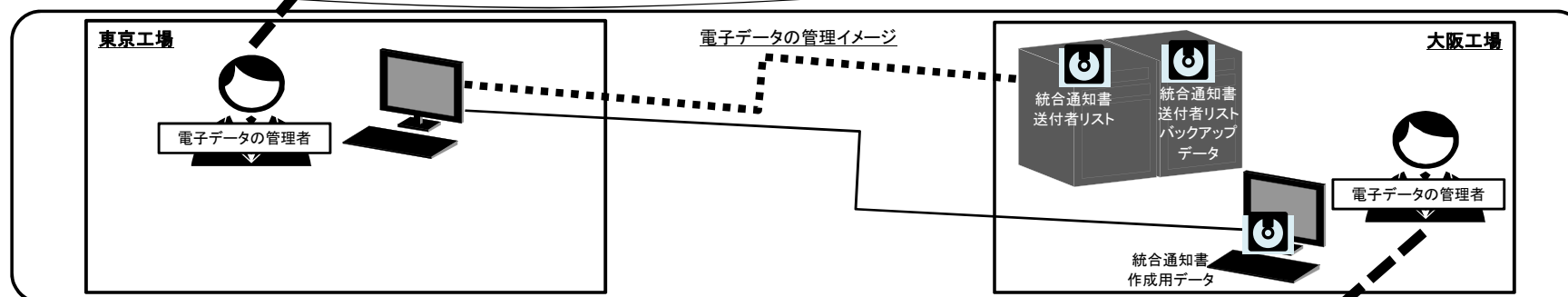
※個人情報等管理台帳は、「管理者等申請書」で届出された履行場所ごとに作成すること。

個人情報等管理台帳

<記載例B>

履行場所:東京工場

作成(受領)日	作成(受領)者	識別番号	情報の内容	数量	種類	利用目的	複写複製の有・無	保管場所	移送・廃棄・消去の区分	移送(廃棄・消去)日	移送(廃棄・消去)者	移送等確認(点検)者
2018年8月2日	〇〇 〇〇	1	統合通知書送付者リスト	1枚	DVD	データ印字	有・無	東京工場耐火金庫	移送・廃棄・消去	2018年8月3日	〇〇 〇〇	◆◆◆◆
2018年8月3日	△△ △△	1複写	統合通知書送付者リスト	100,000,000件	電子データ	データ印字	有・無	大阪工場サーバ室	移送・廃棄・消去	2018年8月10日	△△ △△	●●●●
2018年8月3日	△△ △△	1複写	統合通知書送付者リスト バックアップデータ	100,000,000件	電子データ	バックアップ	有・無	大阪工場サーバ室	移送・廃棄・消去	2018年8月10日	△△ △△	●●●●



履行場所:大阪工場

作成(受領)日	作成(受領)者	識別番号	情報の内容	数量	種類	利用目的	複写複製の有・無	保管場所	移送・廃棄・消去の区分	移送(廃棄・消去)日	移送(廃棄・消去)者	移送等確認(点検)者
2018年8月5日	□□ □□	1	統合通知書作成用データ	100,000,000件	電子データ	データ印字	有・無	大阪工場納品物作成用PC	移送・廃棄・消去	2018年8月10日	〇〇 〇〇	◆◆◆◆
2018年8月5日	□□ □□	1	統合通知書	100,000,000件	紙媒体	印刷、納品	有・無	大阪工場保管庫	移送・廃棄・消去	2018年8月6日	□□ □□	◆◆◆◆

注】「情報の内容」欄は、履行場所において個人情報等を作成（データの加工や照会・利用含む。）、受領又は複写複製したものを記載すること。ただし、電子データの場合は、自拠点の電子計算機（例：サーバ装置、PC等）に保存されていないものであっても、自拠点で管理するものを記載すること。

注】「数量」欄は、助数詞を用いて数量を記載すること。

注】「種類」欄は、紙媒体、外部電磁的記録媒体、電子データの区分を記載すること。また、外部電磁的記録媒体については、更に、DVD、USBメモリ、外付けハードディスクドライブなどの名称を具体的に記載すること。

注】「保管場所」欄は、電子データの場合は、その電子データが保存される電子計算機の設置場所（自拠点又は他拠点）を記載すること。

注】「移送等確認(点検)者」欄は、「移送(廃棄・消去)者」欄に記載した者と異なる者を記載すること。

※複写複製には、個人情報等の電子データを電子計算機に格納及びバックアップの取得などが含まれる。

※個人情報等管理台帳は、「管理者等申請書」で届出された履行場所ごとに作成すること。

令和 年 月 日

日本年金機構 理事長代理人

年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所在地

法人名又は商号

代表者名

印

個人情報等の返却・廃棄等に関する報告書

「ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）〔直近1年間通知者用〕調達区分1・2」が終了しましたので、当該委託業務における個人情報等の返却、廃棄等に関する実施結果について報告します。なお、各項目の証跡は別添のとおりです。

① 返却について

（※いずれかの□に✓してください。）

- ☐ 当該委託業務において、日本年金機構より貸与された個人情報等が記録された紙媒体、外部電磁的記録媒体は全て返却いたしました。

（個人情報等が記録された紙媒体、外部電磁的記録媒体を保管していた場所（保管庫等）の状況が分かるもの（例；返却後の写真等）を添付してください。）

- ☐ 当該委託業務において、日本年金機構より個人情報等が記録された紙媒体、外部電磁的記録媒体は貸与されていません。

② 消去・廃棄、又は移送について

（※いずれかの□に✓してください。）

- ☐ 当該委託業務において、個人情報等を作成・受け取り・複写複製（電子計算機に格納した情報等含む。）したもの、その他汚損、毀損した個人情報等については、その全てを復元又は判読等が不可能な方法により完全消去、廃棄等の処理を実施しました。

どのように完全消去・廃棄等を実施したか、電子データ、紙媒体それぞれ具体的に記載してください。

（消去の場合においては、復元又は判読等が不可能となる方法（例：データ抹消ソフト名、データ消去方式等。※自社開発プログラムの場合は、具体的なデータ消去方式等も明記のこと。）を必ず記載してください。また、消去した際のログが分かるものを添付してください。）

- ☐ 当該委託業務において、個人情報等を作成・受け取り・複写複製したもの、その他汚損、毀損した個人情報等については、その全てを移送しました。

受託業務 自主点検結果報告書（ 月期） 令和 年 月 日報告

*社内規程等で自主的に監査（点検）している様式があり、下記の項目を網羅している場合は、当該様式を使用して差し支えありません。

受託業務名 ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）〔直近1年間通知者用〕 調達区分1・2

受託事業者（報告者）

事業担当部署等（機構）

点検実施日 令和 年 月 日（ ） ～ 令和 年 月 日（ ）

（契約書、仕様書等に点検内容の記載がない場合は、その旨を結果欄に記載し、チェック欄に“不要”と記入する。）

	項目	点 検 内 容	結果	チェック
履行場所の点検	1 履行場所	機構に事前に通知した（指定された）場所で業務を行っている		
		特定個人情報を取り扱うエリア（区域）を定め、そのエリアで特定個人情報を取り扱う業務を行っている		
情報セキュリティの点検	2 情報管理	委託業務で取り扱う個人情報等は、厳重に施錠できる保管庫で保管する等、確実に管理・保管している		
	3 複写複製	複写複製は、事前に機構に通知・承認を受ける等、取り決められた範囲で実施している		
	4 廃棄	棄損した帳票や複写複製したもの等の廃棄は、適切に行っており、点検担当者が必ず確認している		
	5 整理整頓	離席や退社時に机上（作業場）は、完全に片づけられている		
	6 持込制限	機構が承認していない携帯電話、タブレット等の情報端末、又はDVDやUSBメモリ等の外部電磁的記録媒体が、作業室内に持ち込まれていない		
法令遵守等の点検	7 適正労働	時間外勤務や最終退出者の記録簿等、管理者は確実に把握しており問題は発生していない		
	8 事故報告	事故や個人情報等の漏えい（疑いを含む）が発生した際の対応方法が、業務委託員の全員に周知されているか		
		事故や個人情報等の漏えい（疑いを含む）の発生の報告は管理責任者より機構監督職員へ直ちに行われるとともに、その後速やかに文書による報告を行う体制が整っている		
内部不正リスクへの対策（※）	9 入退室			
	10 情報管理			
	11 電子計算組織の安全管理措置			
独自項目	12			
	13			
	14			

（※総合評価落札方式の場合、「内部不正リスクへの対策」欄に提案書で提案した点検項目を追記してください。）

特記事項（検査結果への対応法等ご記入ください。また、機構に対し意見・要望などありましたらご記入ください。）

受託業務 自主点検結果報告書 (月期) 令和 年 月 日報告

*社内規程等で自主的に監査(点検)している様式があり、下記の項目を網羅している場合は、当該様式を使用して差し支えありません。

受託業務名 ねんさん定期便の作成及び発送準備業務(令和8年4月～令和9年3月発送分) [直近1年間通知者用] 調達区分1・2

受託事業者(報告者)

事業担当部署等(機構)

点検実施日 令和 年 月 日() ～ 令和 年 月 日()

(契約書、仕様書等に点検内容の記載がない場合は、その旨を結果欄に記載し、チェック欄に“不要”と記入する。)

		項目	点 検 内 容	結果	チェック
履行場所の点検	1	履行場所	機構に事前に通知した（指定された）場所で業務を行っている	変更なし	適
			特定個人情報を取り扱うエリア（区域）を定め、そのエリアで特定個人情報を取り扱う業務を行っている	変更なし	適
情報セキュリティの点検	2	情報管理	委託業務で取り扱う個人情報等は、厳重に施錠できる保管庫で保管する等、確実に管理・保管している	入退室を制限した保管室内で施錠管理している。	適
	3	複写複製	複写複製は、事前に機構に通知・承認を受ける等、取り決められた範囲で実施している	承認を受けた範囲以外の複写複製は行っていない。	適
	4	廃棄	棄損した帳票や複写複製したもの等の廃棄は、適切に行っており、点検担当者が必ず確認している	棄損した帳票等は廃棄専用BOXに入れ管理責任者が確認の上シュレッダーしている。	適
	5	整理整頓	離席や退社時に机上（作業場）は、完全に片づけられている	退社時のクリアデスクを実施している。	適
	6	持込制限	機構が承認していない携帯電話、タブレット等の情報端末、又はDVDやUSBメモリ等の外部電磁的記録媒体が、作業室内に持ち込まれていない	記録媒体の持ち込みは禁止しており、最低限の私物は支給したクリアバックでのみ持込可としている。	適
法令遵守等の点検	7	適正労働	時間外勤務や最終退出者の記録簿等、管理者は確実に把握しており問題は発生していない	当社の規程により法令順守し管理している。	適
	8	事故報告	事故や個人情報等の漏えい（疑いを含む）が発生した際の対応方法が、業務委託員の全員に周知されているか	職場内に事故発生時の連絡先を掲示して周知している	適
事故や個人情報等の漏えい（疑いを含む）の発生の報告は管理責任者より機構監督職員へ直ちに行われるとともに、その後速やかに文書による報告を行う体制が整っている			8月15日発生した事故は当日中に報告を行い。8月22日再発防止策と報告書を提出した。	適	
内部不正リスクへの対策（※）	9	入退室			
	10	情報管理			
	11	電子計算組織の安全管理措置			
独自項目	12				
	13				
	14				

(※総合評価落札方式の場合、「内部不正リスクへの対策」欄に提案書で提案した点検項目を追記してください。)

特記事項(検査結果への対応法等ご記入ください。また、機構に対し意見・要望などありましたらご記入ください。)

(参考)個人情報等保護セルフチェックシート(フルアウト型委託用)

別紙10
の付属

氏名: ○○ ○○

確認日 令和○○年○月○日

現在の状況を記入して下さい。

(出来ている:○、出来ていない:×、該当の業務が無い:-)

	項目	チェック欄
1	個人情報等は業務に必要な情報を取得し、業務の遂行上必要な限りにおいて利用しており、業務目的以外の理由で使用していない。	
2	業務上知ることができた情報を漏洩すると、○○規程【受託事業者の社内規程等を明記】により、場合によっては、事業者で定めている懲罰の対象になったり、日本年金機構法、個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律により、退職後であっても拘禁刑または罰金が科されることを知っている。	
3	従事する業務における、総括管理責任者、部署管理者【管理責任者等を明記】が誰かを知っている。	
4	個人情報等の漏えい等の発生(疑いを含む)や、事故が発生した際の、報告先を知っている。	
5	個人情報等の取扱いについて疑問がある場合には、独断で判断せず、○○【管理責任者等を明記】に確認し、処理を行っている。	
6	個人情報等に限らず業務上知ることができた情報の職場外への持ち出しや、個人所有の記録媒体の職場内への持ち込みは行っていない。	
7	個人情報等を放置したり、個人の机・引出し、カバン、ロッカー等にしまい込んだりしていない。	
8	個人情報等が記載された書類の複写複製(コピー)は業務の定めに従って行っており、独断で複写複製(コピー)をしていない。	
9	事務室内及び身の回りの整理整頓を常に行い、離席時には個人情報等が含まれる書類その他を机上に放置していない。	
10	複写複製され、不要になった個人情報等は、責任者の管理のもとシュレッダーにかけて裁断する等、確実に処理をしている。	
11	個人情報等に限らず、業務上知ることができた情報について職場以外(飲食店・公共交通機関・家庭等)で話をしていない。	
12	SNSや電子掲示板(フェイスブック・ツイッター等)に職務上知り得た個人情報等を書き込みしていない。	
13	事務室内に私物のスマートフォン等の撮影機器及びUSBメモリ等の外部電磁的記録媒体を許可なく持ち込んでいない。	
14	帰宅時には、鍵のかかるところは施錠するとともに、パソコンをシャットダウンしている。	
15	自分のパソコン等のID・パスワードは他人に知られないよう管理し、他人に教えたり、貸与したりはしていない。	
【以下、業務に応じて追記してください】		
16	(WMの使用がある場合) WMは利用の都度自分のIDでログインし、離席時は画面ロック、退社時にはシャットダウンを行っている。	
17	(WMの使用がある場合) 業務目的以外で、自己や家族、知人等を氏名索引したり、年金記録を閲覧していない。	

○○責任者【管理責任者等を明記】確認欄

自由記載欄(チェック欄に×が付くが、物理的に対応出来ない理由や要望等をご記入ください)

室 長	グループ長	担当者

定例会議議事録（履行開始前）

業務名	ねんきん定期便の作成及び発送準備業務(令和8年4月～令和9年3月発送分)[直近1年間通知者用]調達区分1・2		
会議名称	履行開始前打ち合わせ	会議実施場所	
会議実施日時	令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分		
会議出席者	受託事業者	(株)〇〇	〇〇 〇〇(役職)、〇〇 〇〇(役職)
	日本年金機構	〇〇部〇〇G	〇〇 〇〇(役職)、〇〇 〇〇(役職)
議事録作成者	〇〇 〇〇	議事録提出日	令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇)

※会議実施後3営業日以内に議事録を作成の上、機構へ提出すること。

1. 確認項目

項目	機構の 確認結果 (適・否)	打ち合わせた内容 (※受託事業者が報告した内容について、日本年金機構と相互に確認した内容を記載すること。)
①業務の実施方法		
②業務履行スケジュール		
③業務委託員名簿		
④守秘義務契約書		
⑤点検項目		

2. 上記確認項目において「否」があった場合の受託事業者の対応(約束事項)

--

※打ち合わせの結果「否」となった事項がなく、改善の必要がない場合は、「特になし」と記載すること。

3. その他

--

※上記1の確認項目以外に、打ち合わせた事項が無い場合は、「特になし」と記載すること。

※委託要領等において、契約締結後に示すこととしていた事項がある場合、その内容・進捗状況等について記載すること。

4. 次回定例会議(履行中)の開催予定日

会議実施予定日時	令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分
会議実施予定場所	〇〇会議室

室 長	グループ長	担当者

定例会議議事録（履行中）

業務名	ねんきん定期便の作成及び発送準備業務(令和8年4月～令和9年3月発送分)[直近1年間通知者用]調達区分1・2		
会議名称	定例会議(第〇回)	実施場所	〇〇〇〇〇〇
会議実施日時	令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分		
会議出席者	受託事業者	(株)〇〇	〇〇 〇〇(役職)、〇〇 〇〇(役職)
	日本年金機構	〇〇部〇〇G	〇〇 〇〇(役職)、〇〇 〇〇(役職)
議事録作成者	〇〇 〇〇	議事録提出日	令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇)

※会議実施後3営業日以内に議事録を作成の上、機構へ提出すること。

1. 最新の届出状況及び仕様書に定める情報セキュリティの安全管理状況等

- ・以下の各項目について変更、実施又は提出の有無を確認し、確認結果欄の該当する箇所に○を付すこと。
- ・「変更有」、「未実施」又は「未提出」があった場合は、具体的な内容、約束事項等を次項2に記載すること。

項目		確認結果
(1) 最新の届出状況		
(1)-①	【業務委託員】 業務委託員について前回会議以降変更はないか。	変更無 ・ 変更有
(1)-②	【守秘義務契約書】 (前回会議以降、業務委託員の追加がない場合、確認不要) 業務委託員に変更があった場合に守秘義務契約書は機構に提出されているか。	提出済 ・ 未提出 ・ 確認不要
(1)-③	【再委託・複写複製】 業務の再委託及び個人情報を取り扱う対象物の複写複製について、前回会議以降変更はないか。	変更無 ・ 変更有
(2) 仕様書に定める情報セキュリティの安全管理状況等		
(2)-①	【点検】 前回会議以降、「自主点検結果報告書」及び「個人情報等保護セルフチェックシート」による点検が実施されているか。	実施済 ・ 未実施
(2)-②	【入退室管理】 前回会議以降、履行場所の入退室両方の記録が取得され、点検されているか。	実施済 ・ 未実施 ・ 確認不要
(2)-③	【ネットワーク】 個人情報等を取り扱う電子計算機(※)について、以下の対策が講じられているか。 ・毎営業日ウイルス対策ソフトのパターンファイル及び検索エンジンを適用し、ウイルススキャンを実施している。 ・OSに対してセキュリティパッチを月1回以上更新している。 ・OS以外のソフトウェアに関する脆弱性情報が公開されている場合、セキュリティパッチの更新日が脆弱性情報の公開日から1か月以内である。 (※)個人情報等を取り扱う電子計算機は機構が貸与した電子計算機のみであり、それを機構が管理する場合は確認不要。	実施済 ・ 未実施 ・ 確認不要
(2)-④	【紙媒体、外部電磁的記録媒体、電子データの管理】 個人情報等が記録されている対象物(紙媒体、外部電磁的記録媒体、電子データ)が個人情報等管理台帳により漏れなく管理されているか。	実施済 ・ 未実施

2. 定例会議において話し合われた事項

- ・ 定例会議において話し合われた事項を記載すること。
なお、業務の進捗状況、SLAの達成状況、品質管理に係る施策の取り組み状況については話し合った内容を必ず記載すること。
- ・ 上記1において「変更有」、「未実施」又は「未提出」があった場合は、具体的な内容・約束事項等を記載すること。
- ・ 発言の所在（受託事業者又は日本年金機構）を明記の上、記載すること。

3. 次回定例会議（履行中）の開催予定日

会議実施予定日時	令和〇〇年〇〇月〇〇日（〇） 〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分
会議実施予定場所	〇〇会議室

《受託事業者は定例会議の資料として以下を提出すること。》

- ・ 「受託業務 自主点検結果報告書」
- ・ 「個人情報等保護セルフチェックシート」
- ・ 「個人情報等管理台帳」
- ・ 品質管理に係る施策の取り組み状況が分かるもの
- ・ （通知書等作成業務の場合のみ）許諾のない再委託を行っていないことが分かるもの
- ・ 履行場所の入退室状況が分かるもの
- ・ 委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算機のウイルススキャンを毎営業日実施したことが分かるもの
- ・ 委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算機のセキュリティパッチを月1回以上適用したことが分かるもの
- ・ 委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算機のウイルス対策ソフトのパターンファイル及び検索エンジンが最新のものに更新されていることが分かるもの

室 長	グループ長	担当者

定例会議議事録（履行中）

業務名	ねんきん定期便の作成及び発送準備業務(令和8年4月～令和9年3月発送分)[直近1年間通知者用]調達区分1・2		
会議名称	定例会議(第〇回)	実施場所	〇〇〇〇〇〇
会議実施日時	令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分		
会議出席者	受託事業者	(株)〇〇	〇〇 〇〇(役職)、〇〇 〇〇(役職)
	日本年金機構	〇〇部〇〇G	〇〇 〇〇(役職)、〇〇 〇〇(役職)
議事録作成者	〇〇 〇〇	議事録提出日	令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇)

※会議実施後3営業日以内に議事録を作成の上、機構へ提出すること。

1. 最新の届出状況及び仕様書に定める情報セキュリティの安全管理状況等

- ・ 以下の各項目について変更、実施又は提出の有無を確認し、確認結果欄の該当する箇所に○を付すこと。
- ・ 「変更有」、「未実施」又は「未提出」があった場合は、具体的な内容、約束事項等を次項2に記載すること。

項目		確認結果
(1) 最新の届出状況		
(1)-①	【業務委託員】 業務委託員について前回会議以降変更はないか。	変更無 ・ 変更有
(1)-②	【守秘義務契約書】 (前回会議以降、業務委託員の追加がない場合、確認不要) 業務委託員に変更があった場合に守秘義務契約書は機構に提出されているか。	提出済 ・ 未提出 ・ 確認不要
(1)-③	【再委託・複写複製】 業務の再委託及び個人情報を取り扱う対象物の複写複製について、前回会議以降変更はないか。	変更無 ・ 変更有
(2) 仕様書に定める情報セキュリティの安全管理状況等		
(2)-①	【点検】 前回会議以降、「自主点検結果報告書」及び「個人情報等保護セルフチェックシート」による点検が実施されているか。	実施済 ・ 未実施
(2)-②	【入退室管理】 前回会議以降、履行場所の入退室両方の記録が取得され、点検されているか。	実施済 ・ 未実施 ・ 確認不要

(2)-③	【ネットワーク】 個人情報等を取り扱う電子計算機(※)について、以下の対策が講じられているか。 ・ 毎営業日ウイルス対策ソフトのパターンファイル及び検索エンジンを適用し、ウイルススキャンを実施している。 ・ OSに対してセキュリティパッチを月1回以上更新している。 ・ OS以外のソフトウェアに関する脆弱性情報が公開されている場合、セキュリティパッチの更新日が脆弱性情報の公開日から1か月以内である。 (※)個人情報等を取り扱う電子計算機は機構が貸与した電子計算機のみであり、それを機構が管理する場合は確認不要。	実施済 ・ 未実施 ・ 確認不要 「2. 定例会議において話し合われた事項」の【記載例4】において改善の状況を記載。
(2)-④	【紙媒体、外部電磁的記録媒体、電子データの管理】 個人情報等が記録されている対象物(紙媒体、外部電磁的記録媒体、電子データ)が個人情報等管理台帳により漏れなく管理されているか。	実施済 ・ 未実施

2. 定例会議において話し合われた事項

- ・ 定例会議において話し合われた事項を記載すること。
- ・ なお、業務の進捗状況、SLAの達成状況、品質管理に係る施策の取り組み状況については話し合った内容を必ず記載すること。
- ・ 上記1)において「変更有」、「未実施」又は「未提出」があった場合は、具体的な内容・約束事項等を記載すること。
- ・ 発言の所在(受託事業者又は日本年金機構)を明記の上、記載すること。

【記載例1】業務の進捗及びSLAの達成状況

(受託事業者)

〇月発送分については〇月〇日にデータを受領し、〇月〇日に〇〇郵便局に差出完了。

△月発送分については△月△日にデータを受領し、△月△日に〇〇郵便局に差出予定。

また、品質管理に係る施策として、業務において使用したチェックリストを提示し、データ編集、印字、加工、仕分け・梱包の各工程において点検が行われていることを報告。

(機構)

SLAの達成状況についてはどうか。

(受託事業者)

仕様書に定められたすべての項目において、以下のとおり達成していることを報告。

- ・ 業務履行体制の整備：〇月〇日付業務委託員名簿から変更がなく、運用仕様書のとおりに履行体制が整備されている。

- ・ 個人情報保護に関する体制の整備：体制に変更はなく、運用仕様書のとおりに整備されている。

- ・ 成果物の品質：先の報告のとおりに実施している。

- ・ 履行期限：先の報告のとおりに、差出完了している。

(機構)

すべての項目においてSLAを達成していることを確認した。

【記載例2】品質管理に係る施策の取り組み状況

(受託事業者)

品質管理に係る施策の取り組み状況が分かる資料としてデータ編集、印字、加工、仕分けの各工程において使用するチェックリストを提出。

(機構)

各種チェックリストを確認した。運用仕様書に記載されたスケジュール管理手法が実施されている証拠はあるか。

(受託事業者)

工程別スケジュール表を提出。

【記載例3】前回の約束事項(事件・事故・事務処理誤り)

(受託事業者)

○月発送分において発生した誤封入事案を受けた再発防止策として、厚み検査の公差値を狭めた。また、検査においてエラーが発生した場合、ラインアウトされた製品すべてを開封して目視確認及び重量検査を行うよう運用を変更した。

参考資料として厚み検査、重量検査のログとチェックリストを提示。

(機構)

再発防止策が講じられていることを確認した。引き続き運用を徹底するように。

【記載例4】上記1において未実施の事項が判明

(機構)

前項(2)ー③について、一部のデータ編集用PCにおいて最新のセキュリティパッチの未適用が確認された。本業務で使用するすべての電子計算機の適用を確認し、PCの画面の写しを○月○日までに提出すること。

(受託事業者)

速やかに対応する。

3. 次回定例会議(履行中)の開催予定日

会議実施予定日時	令和○○年○○月○○日(○) ○○時○○分～○○時○○分
会議実施予定場所	○○会議室

《受託事業者は定例会議の資料として以下を提出すること。》

- ・「受託業務 自主点検結果報告書」
- ・「個人情報等保護セルフチェックシート」
- ・「個人情報等管理台帳」
- ・品質管理に係る施策の取り組み状況が分かるもの
- ・(通知書等作成業務の場合のみ)許諾のない再委託を行っていないことが分かるもの
- ・履行場所の入退室状況が分かるもの
- ・委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算機のウイルススキャンを毎営業日実施したことが分かるもの
- ・委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算機のセキュリティパッチを月1回以上適用したことが分かるもの
- ・委託業務で個人情報等を取り扱う電子計算機のウイルス対策ソフトのパターンファイル及び検索エンジンが最新のものに更新されていることが分かるもの

室 長	グループ長	担当者

令和 年 月 日

日本年金機構 理事長代理人

年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所 在 地

法人名又は商号

代 表 者 名

印

法令及び契約内容の遵守状況に関する報告書

「ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）〔直近1年間通知者用〕調達区分1・2」の実施に当たり、法令及び契約内容の遵守状況の点検結果について報告します。

1. 当該委託業務の実施に当たり、契約書のほか、契約書に付属する仕様書及び委託する業務の実施方法等について記載された文書（以下「仕様書等」という。）に従い関係諸法令を守り、自ら業務処理計画を立案し、当該業務に従事する者（以下「業務委託員」という。）を適正に配置していますか。

点検結果： ☐ 適 ☐ 不適（※該当する□に✓してください。以下同じ。）

2. 当該委託業務の実施に当たり、業務委託員への指導監督及び教育指導を行い、業務趣旨に従い誠実かつ善良なる管理者の注意をもって、処理を行っていますか。

点検結果： ☐ 適 ☐ 不適

3. 当該委託業務の実施に当たり、業務委託員に対する雇用者又は使用者として、労働関係法令、社会保険諸法令その他業務委託員に対する法令上の責任を全て負い、責任を持って管理していますか。

点検結果： ☐ 適 ☐ 不適

4. 当該委託業務の実施に当たり、仕様書等において日本年金機構より使用を認められている機器等（機器等の消耗品を含む。以下同じ。）の管理・取扱いは適切に行われていますか。また、使用が認められていない機器等の取扱いを行っている事実はありませんか。

点検結果： ☐ 適 ☐ 不適

運用仕様書作成手順

受託希望者は、別紙 14-1「運用仕様書」を表紙として、機構が審査する下記ⅠからⅣについてそれぞれの資料を調達区分ごとに作成すること。指定する様式にはその様式に沿って記入するとともに、提出する書面の順番はⅠからⅣとした上で、一連の頁番号を付して提出期限までに原本を 1 部提出すること。

なお、提出にあたっては、別紙 14-1 の付属「運用仕様書（提出前）記載及び提出資料確認リスト」に基づき記載及び添付漏れが無いことを確認すること。

Ⅰ. 会社概要

○提出する書類：下記の①～②の事項が記載された書面

① 登記上の法人名、会社名、屋号

② 会社案内（事業内容、企業理念、沿革、主要取引先、主要株主等）

○注 意 事 項 等：上記②会社案内については、会社案内用パンフレット等でも可能

Ⅱ. 業務の履行実績

○提出する書類：別紙 14-2「個人情報等の取扱いを含む業務の受託実績申立書」及びその業務の内容が確認できる書類（契約書（写）、仕様書（写）等）
（※）

※契約の相手方が日本年金機構の場合は、業務の内容が確認できる書類の添付を省略することができる。

○注 意 事 項 等：過去3年以内に、当該業務又は個人情報等の取扱いを含む類似業務であって、当該業務と同規模（業務量及び契約期間）程度又はそれ以上の規模の業務の委託を受け完了させた実績を記載する。

なお、記載にあたっては、契約相手方、契約件名、契約期間、個人情報等を取り扱う業務概要（対象件数含む）及び契約履行に要した総人数及び使用した機器・設備の種類と数量を記載する。

Ⅲ. 業務の履行体制等

1. 業務の履行体制

（1）業務の履行に関する管理体制

○提出する書類：別紙 14-3「管理者等申請書」及び業務履行体制図（※）

※運送業務（業務の工程の一部に含まれる運送業務も含む。）について、運送事業者間で運送約款等に基づく連携・協働により運送業務を実施する場合は、運送工程（運送区間、地域等）の各運送事業者の役割分担を確認できる書面を併せて提出する。（変更があった場合は、履行開始までに再提出すること。）

○注 意 事 項 等：管理者等申請書、業務履行体制図には、仕様書に示す下記①～④の者を記載する。

なお、記載にあたっては、管理者等申請書と業務履行体制図の下記①～②の者の氏名、③～④の者の人数がそれぞれ一致すること。

① 現場責任者

- ② 現場責任者補助者
- ③ 作業者の人数
- ④ 特定個人情報取扱者の人数

(2) 事故発生時の緊急対応体制

○提出する書類：別紙 1 4-3「管理者等申請書」及び事故発生時の機構への報告までの流れを記載した書面

○注 意 事 項 等：事故発生から機構への報告完了までの流れが確認でき、事故対応責任者の役割が確認できること。

なお、当該事故発生時の緊急対応体制を記載した書面については、情報セキュリティに関する体制（下記Ⅳ）とは別に作成すること。

(3) 作業スケジュール

○提出する書類：委託要領に示す各作業工程について、

- ① それぞれの業務量（所要日数又は時間）が記載された書面
- ② 各作業工程を完遂するための作業スケジュールが記載された書面
- ③ 作業スケジュールの進捗管理手法について記載された書面
- ④ 作業スケジュールの遅延発生時の対応方針（方法）について記載された書面

○注 意 事 項 等：業務量を記載するにあたって、「所要日数」を記載する場合は、1 日当たりの作業時間も併せて記載すること。

作業スケジュールの作成にあたっては、下記（ア）～（オ）に留意すること。

（ア）作業スケジュールは、下記（4）作業実施体制により履行可能であることが確認できる記載とすること。

（イ）再委託する工程がある場合は、その旨を上記①及び②の書面に記載すること。

（ウ）作業スケジュールは、令和8年4月の納期（履行）にかかるスケジュールを記載すること。

（エ）複数落札入札制度の案件の場合は、最大受注可能数量を上記①の書面に記載した上で、その数量に対する各作業工程を完遂するための作業スケジュールを記載すること。

（オ）作業スケジュールの管理手法については、具体的に記載すること。

(4) 作業実施体制

○提出する書類：各作業工程に必要となる要員数（作業量）及び機器・設備の必要数、処理可能件数が記載された書面

○注 意 事 項 等：要員数（作業量）については各作業工程における1 日当たりの要員数（作業量）とし、具体的には次の①～②に基づき記載する。

- ① 通常期・繁忙期がある業務については、通常期・繁忙期別に各作業工程の1 日当たりの要員数（作業量）を記載する。
- ② 要員数（作業量）の算出は、各作業工程1 日当たり8時間の作業

時間に対して1人と換算し、「各作業工程1日当たりの延べ作業時間÷8」により1日当たりの要員数(作業量)を算出すること。算出根拠となる資料を添付すること。(様式は任意とする。

少数点が発生する場合は、第三位以下を四捨五入する。

要員(作業量)及び機器・設備による処理可能件数を記載するに当たっては、1日(又は1時間)当たりの処理可能数量を記載すること。

また、要員数(作業量)については、別紙14-3「管理者等申請書」における「2. 業務の履行に関する管理体制」の「履行人数(作業者の人数)」以下となることに留意すること。

(5) 業務履行場所

○提出する書類：別紙14-3「管理者等申請書」及び業務履行場所のレイアウトが分かる図面(事務室レイアウト、座席図等)

○注意事項等：業務履行場所が複数ある場合は、漏れなく複数箇所を記載すること。
業務履行場所が予定の場合は、想定する履行場所を記載し、履行開始日の10日前までに確定した管理者等申請書を機構に再提出すること。

2. 業務の履行方法

(1) 品質管理

○提出する書類：・委託要領に示す作業品質を確保するため、具体的に下記①～⑥がそれぞれ記載された書面

① 受託業務全体のスケジュール管理手法

※ 遅延発生時の対応についても記載すること。

② 各作業工程における作業スケジュール

※ 各作業工程の業務量(所要日数又は時間、処理件数)を記載すること。

③ 各作業工程における品質管理手法

※ 下記④以外の品質管理手法を記載すること。

④ 各作業工程における印刷誤り等の事故防止のための手法

⑤ 各作業工程における設備・機器のエラー発生時の復旧手法

※ エラー検知からその復旧までの対応がわかる手順書等を添付すること。

⑥ 業者ダミー品による品質確認事項

※ ③及び④に関連して、業者ダミー品の作成単位(1ロールに○件等)およびその品質確認内容(汚れ、カスレ、管理番号による表裏または複数帳票同一人の確認、圧着強度、封入封緘検査等)を具体的に記載すること。

・SLAに示されている要求水準・目標値を達成するために実施する施策が記載された書面

・ISO9001の認証があれば認証(写)

○注意事項等：作業品質の確保にかかる書面には、個人情報等を記録した毀損品が生じる可能性がある工程を明記のうえ、再作成の手順について記載すること。

(2) 再委託（再委託を行う場合のみ作成）

○提出する書類：・別紙14-4「再委託承認申請書」
・工程別の役割分担が確認できる書面
・再委託先の履行能力について、機構が要求する内容（「運用仕様書作成手順」のⅢの1（1）から（4）、3及びⅣ）と同等となっていることが分かる書類。また、運送業務を再委託する場合は、上記書類の代わりに、当該業務に係る再委託先の運送約款を提出すること。

○注意事項等：・再委託先が決定していない場合は、再委託開始予定日の15日前までに申請すること。
なお、契約締結後において、機構の承認を受けた場合は、再委託先から当該再委託業務の履行証明として別紙14-5「受託証明書」を徴取し、速やかに機構に提出すること。（再委託を行う業務が運送業務の場合に限り、受託証明書を運送約款に代えることができる。）
・運送業務を再委託する場合、再委託先は、貨物自動車運送事業法（平成元年法律第83号）第3条による一般貨物自動車運送事業の許可を受けていること。
・受託事業者が、業務の一部を他の会社（再委託先が子会社（会社法（平成17年法律第86号）第2条第3号に規定する子会社をいう。）である場合を含む。）に請け負わせる場合は、再委託となるため、必ず申請すること。
なお、次のア又はイの場合は再委託に該当しない。
ア. 運送事業者間で運送約款に基づく連携・協働により運送業務を実施する場合（※）。
※貨物自動車運送事業法に定める貨物軽自動車運送事業を除く。
イ. 機構の了承を得た上で、グループ企業体が相互連携（業務分担）してそれぞれの事業を実施（共同受託）する場合。

3. 個人情報等保護に関する管理体制

○提出する書類：別紙14-3「管理者等申請書」及び仕様書に示す、個人情報等や機密情報の取扱い及び情報セキュリティ対策に関する履行状況の監査体制及び点検体制の記載された書面

○注意事項等：管理者等申請書、上記提出書面には、仕様書に示す下記①～③の者を記載する。

- ① 総括管理責任者
- ② 部署管理者
- ③ 点検管理者

※部署管理者は、履行場所ごとに1名を配置すること。

※点検管理者は、総括管理責任者、部署管理者、現場責任者及び監査を行う者と異なる者とする。

Ⅳ. 情報セキュリティに関する体制

○提出する書類：別紙 1 4-6「情報セキュリティに関する証明事項」に示す内容が記載された書面及びその内容を証明する資料

- 1 情報セキュリティに関する基本方針・取扱規程等
- 2 情報漏えい発生時の対応
- 3 情報セキュリティに関する教育・研修・訓練等の計画
- 4 業務の履行場所に関する安全管理措置計画
- 5 個人情報等を記録した紙媒体、外部電磁的記録媒体及び電子データの取扱いに関する安全管理措置計画
- 6 電子計算組織に関する安全管理措置計画
- 7 情報セキュリティに関する第三者評価の証明

○注意事項等：当該情報セキュリティに関する体制を記載した書面については、事故発生時の緊急対応体制（上記Ⅲ. 1（2））とは別に作成すること。

＜グループ企業体による共同受託の申請等＞

機構の業務（契約）を、グループ内の複数の企業が相互連携（業務分担）しそれぞれの業務を実施することで履行する事（共同受託）を予定している場合については、以下に留意すること。

1. 共同受託が可能なグループ企業体の要件

共同受託により業務を実施するグループ企業体は、以下の①～⑤を全て満たしていること。

- ① （ア）会社法に定める親会社と子会社（親会社の議決権 50%超）の関係、又は（イ）会社法に定める共通の親会社を持つ子会社同士（共に親会社（子会社を含む）の議決権 50%超）の関係であること。（下図「共同受託が可能なグループ企業体の例」参照）
- ② グループ企業体の代表企業は、全省庁統一参加資格の等級がA等級であること。
- ③ グループ企業体の中で、業務の各作業工程の役割分担（作業分担）が明確になっていること。
- ④ 共同受託する業務（契約）の全体の実施責任を負う企業が明確になっていること。
- ⑤ グループ企業体の全ての企業が、Pマーク等の情報セキュリティに関する第三者評価の認証を得ていること。

2. 共同受託にかかる申請

運用仕様書提出時に以下の①～⑤の書類を全て作成等し、機構に対して共同受託することについて申請を行うこと。

- ① グループ企業体の資本関係が確認できる書類
- ② グループ企業体の代表企業の全省庁統一参加資格の写し
- ③ 各作業工程を実施する企業について、役割分担（作業分担）が記載された書類
- ④ 業務（契約）の全体の実施責任を負う企業を明記した申立書（※）
※全体の実施責任を負う企業が作成し、記名、押印すること。
- ⑤ Pマーク等の第三者認証の写し（全ての企業分）

3. 運用仕様書作成にあたっての留意事項

運用仕様書を作成するにあたっては、以下の①～②に留意して作成すること。

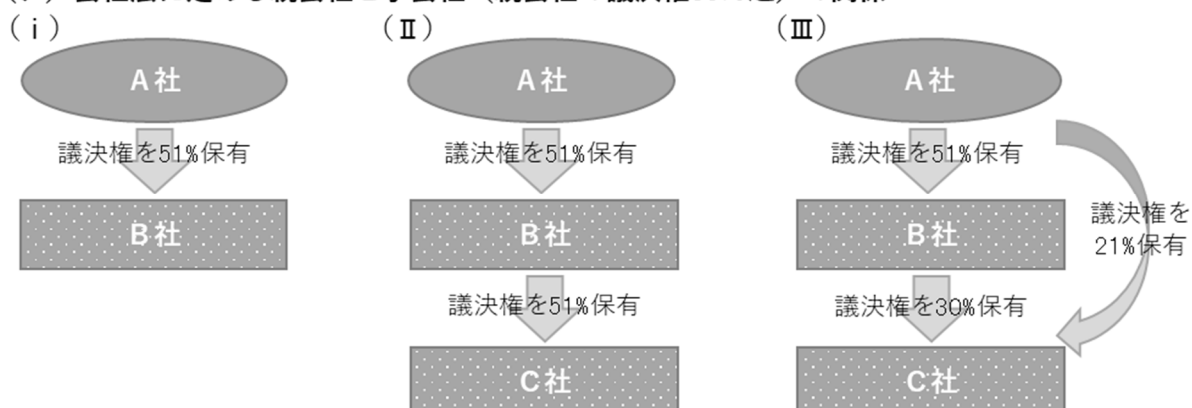
- ① 「Ⅱ. 業務の履行実績」について、グループ企業体としての実績を記載すること。
- ② 「Ⅲ. 1. 業務の履行体制」（1）～（2）及び（5）、「Ⅲ. 2. 業務の履行方法」（1）、「Ⅲ. 3. 個人情報等保護に関する管理体制」、「Ⅳ. 情報セキュリティに関する体制」について、機構の業務を実施するグループ企業体として体制等を記載すること。

4. 共同受託する際の契約方法

グループ企業体で共同受託する際には、機構とグループ企業体の全社と複数社契約を締結する。

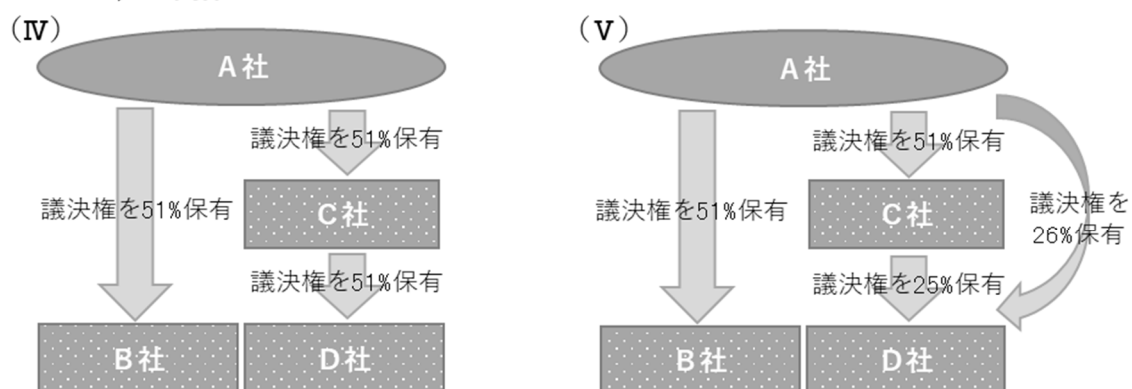
◆共同受託が可能なグループ企業体の例

(ア) 会社法に定める親会社と子会社（親会社の議決権50%超）の関係



➤ (i) ~ (iii) のいずれのケースも、A ~ C 社の全ての組み合わせで共同受託が可能。

(イ) 会社法に定める共通の親会社を持つ子会社同士（共に親会社（子会社を含む）の議決権50%超）の関係



➤ (iv) (v) のいずれのケースも、A ~ D 社の全ての組み合わせで共同受託が可能。

※ (iii) 及び (v) のような場合、間接保有割合が50%超のため、直接保有の議決権と間接保有の議決権は合算されます。

令和 年 月 日

運用仕様書

入札案件名 ねんきん定期便の作成及び発送準備業務(令和8年4月～令和9年3月発送分) [直近1年間通知者用] 調達区分1・2

I. 会社概要	
1. 法人名、会社名、屋号・・・・・・・・・・・・・・・・	頁
2. 会社案内・・・・・・・・・・・・・・・・	頁
II. 業務の履行実績	
・別紙14-2「個人情報等の取扱いを含む業務の受託実績申立書」・	頁
III. 業務の履行体制等	
・別紙14-3「管理者等申請書」・・・・・・・・	頁
1. 業務の履行体制	
(1) 業務の履行に関する管理体制・・・・・・・・	頁
(2) 事故発生時の緊急対応体制・・・・・・・・	頁
(3) 作業スケジュール・・・・・・・・	頁
(4) 作業実施体制・・・・・・・・	頁
(5) 業務履行場所・・・・・・・・	頁
2. 業務の履行方法	
(1) 品質管理・・・・・・・・	頁
(2) 再委託	
別紙14-4「再委託承認申請書」・・・・・・・・	頁
※再委託を行う場合のみ作成	
3. 個人情報等保護に関する管理体制・・・・・・・・	頁
IV. 情報セキュリティに関する体制（情報セキュリティに関する証明事項）	
(1) 情報セキュリティに関する基本方針・取扱規程等・・・・・・・・	頁
(2) 情報漏えい発生時の対応・・・・・・・・	頁
(3) 情報セキュリティに関する教育・研修・訓練等の計画・・・・・・・・	頁
(4) 業務の履行場所に関する安全管理措置計画	
(5) 個人情報等を記録した紙媒体、外部電磁的記録媒体及び電子データの取扱いに関する安全管理措置計画・・・・・・・・	頁
(6) 電子計算組織に関する安全管理措置計画・・・・・・・・	頁
(7) 情報セキュリティに関する第三者評価の証明・・・・・・・・	頁

※運送業務の場合、「IV情報セキュリティに関する体制（情報セキュリティに関する証明事項）」にかかる書類の提出は不要。

運用仕様書（提出前）記載及び提出資料確認リスト

運用仕様書を提出する前に、再度、書類の添付漏れ、記載漏れがないか確認のうえ、提出期限までに提出してください。

Ⅰ. 会社概要

項目	チェック欄
1. 法人名、会社名、屋号を記載した資料を添付したか。	☐
2. 会社案内を記載した資料を添付したか。	☐

Ⅱ. 業務の履行実績

項目	チェック欄
「個人情報等の取扱いを含む業務の受託実績申立書」を添付したか。	☐

Ⅲ. 業務の履行体制等

項目	チェック欄
「管理者等申請書」を添付したか。	☐
1.（１）業務の履行に関する管理体制を記載した資料を添付したか。	☐
1.（２）事故発生時の緊急対応体制を記載した資料を添付したか。	☐
1.（３）作業スケジュールを記載した資料を添付したか。	☐
1.（４）作業実施体制を記載した資料を添付したか。	☐
1.（５）業務履行場所を記載した資料を添付したか。	☐
2.（１）品質管理について記載した資料を添付したか。	☐
2.（２）再委託について記載した資料を添付したか。	☐
3.個人情報等保護に関する管理体制を記載した資料を添付したか。	☐

Ⅳ. 情報セキュリティに関する体制（情報セキュリティに関する証明事項）

項目	チェック欄
（１）情報セキュリティに関する基本方針・取扱規程等を記載した資料を添付したか。	☐
（２）情報漏えい発生時の対応を記載した資料を添付したか。	☐
（３）情報セキュリティに関する教育・研修・訓練等の計画を記載した資料を添付したか。	☐
（４）業務の履行場所に関する安全管理措置計画を記載した資料を添付したか。	☐
（５）個人情報等を記録した紙媒体、外部電磁的記録媒体及びデータの取扱いに関する安全管理措置計画に関する記載をした資料を添付したか。	☐
（６）電子計算組織に関する安全管理措置計画に関する記載をした資料を添付したか。	☐
（７）情報セキュリティに関する第三者評価の証明に関する資料を添付したか。	☐

グループ企業体による共同受託の申請をする場合のみ

項目	チェック欄
グループ企業体による共同受託の申請は、運用仕様書の別冊として作成し同時に提出することとしているか。	☐

※運送業務の場合、「Ⅳ情報セキュリティに関する体制（情報セキュリティに関する証明事項）」にかかる書類の提出は不要。

令和 年 月 日

個人情報等の取扱いを含む業務の受託実績申立書

契約の相手方	契約件名及び数量	契約期間	業務概要	履行に要した総人数及び 使用した機器・設備
	○契約件名 ○数量： 件	年 月～ 年 月		(人数)
				(機器・設備の種類／台数)
	○契約件名 ○数量： 件	年 月～ 年 月		(人数)
				(機器・設備の種類／台数)
	○契約件名 ○数量： 件	年 月～ 年 月		(人数)
				(機器・設備の種類／台数)

※過去3年以内に、当該業務又は個人情報等の取扱いを含む類似業務であって、当該業務と同規模（業務量及び契約期間）程度又はそれ以上の規模の業務の委託を受け完了させた実績を記載する。

※契約の相手方、契約件名、契約期間及び個人情報等を取り扱う業務の概要が確認できる書類（契約書（写）、仕様書（写）等）を添付する。ただし、契約の相手方が日本年金機構の場合は、業務の概要が確認できる書類の添付を省略することができる。

所在地
法人名又は商号
代表者名

印

管理者等申請書

令和 年 月 日

日本年金機構 理事長代理人
年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所在地
法人名又は商号
代表者名

印

1. 個人情報等保護に関する管理体制

	役職名	氏 名	連絡先
総括管理責任者			
部 署 管 理 者			
点 検 管 理 者			

2. 業務の履行に関する管理体制

	役職名	氏 名	連絡先
現 場 責 任 者			
現場責任者補助者			
履行人数（作業者の人数）	名	うち特定個人情報取扱者数	名

※運送業務、文書廃棄業務、文書保管業務（特定個人情報を保管する場合を除く）については、履行人数、特定個人情報取扱者数欄は「一」を記載。

3. 事故発生時の緊急対応体制等

事由	1. 設置 2. 変更	変更事由	
	役職名	氏 名	連絡先
事故対応責任者			
事故対応責任者補助者			
再発防止策検討責任者			
再発防止策検討責任者補助者			

4. 業務の履行場所

事由	1. 新規 2. 変更	変更の場合	変更の事由： 1.移転 2.増改築 3.その他（ ）				
履行場所	所在地	業務内容	延床面積	入退出管理設備 ※該当する設備に○印で囲む		サーバ等機器の 設置場所の有無	保管庫の有無
			m ²	電子錠	・ 生体認証 その他（ ）		
			m ²	電子錠	・ 生体認証 その他（ ）		
			m ²	電子錠	・ 生体認証 その他（ ）		

○サーバ等機器の設置場所

履行場所	入退出管理設備※該当する設備に○印で囲む
	電子錠 ・ 生体認証 ・ その他（ ）
	電子錠 ・ 生体認証 ・ その他（ ）

※上記の業務の履行場所のうち「サーバ等機器の設置場所の有無」欄に「有」とした履行場所について記入

5. 委託業務で取り扱う個人情報等の保管場所

履行場所	延床面積	施錠責任者	火災等に対する設備
	m ²		
	m ²		
	m ²		

※上記4の業務の履行場所のうち「保管庫の有無」欄に「有」とした履行場所について記入

令和 年 月 日

日本年金機構 理事長代理人

年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所在地

法人名又は商号

代表者名

印

再委託承認申請書

下記のねんきん定期便の作成及び発送準備業務(令和8年4月～令和9年3月発送分)[直近1年間通知者用]調達区分1・2の業務のうち主体的部分を除く一部について下記に記載のとおり第三者に請け負わせることを承認願います。

なお、第三者に請け負わせることに伴い、以下の事項について誓約いたします。

- ・下記の業務を含む一切の業務責任は、弊社にあること
- ・第三者に請け負わせる業務を異なる第三者に更に請け負わせないこと
- ・再委託先に対しては、本契約にて弊社に課されている守秘義務等と同等以上の条件(本契約終了後の秘密保持を含む。)を遵守させること及びその遵守状況を定期報告させること
- ・日本年金機構が必要に応じ再委託先に対して調査等を実施する場合は、これに応じさせること

記

(対象案件名) ねんきん定期便の作成及び発送準備業務(令和8年4月～令和9年3月発送分)[直近1年間通知者用]調達区分1・2

(委託部分) _____

(委託先業者名/住所/連絡先)

(委託する理由)

(委託先業者からの報告徴取方法)

※1 上記内容を記載する他、再委託先の履行能力について、機構が要求する内容(「運用仕様書作成手順」のⅢの1(1)から(4)、3及びⅣ)と同等以上となっていることがわかる書類を提出すること。

※2 運送業務を再委託する場合、上記※1に記載する書類は不要とし、当該業務に係る再委託先の運送約款を提出すること。また、再委託先事業者は、貨物自動車運送事業法(平成元年法律第83号)第3条による一般貨物自動車運送事業の許可を受けていること。

令和 年 月 日

日本年金機構 理事長代理人

年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所在地
法人名又は商号
代表者名

印

受託証明書

下記の対象案件の業務のうち、_____業務については、_____
_____から要請がありましたので、必要な業務について、_____との契約に
基づき、責任をもって弊社が行うことを証明いたします。

なお、本契約の履行において知り得た秘密を、他に漏らし又は目的外に使用しないこと（本契約終了後においても同様）、受託する業務を他者に請け負わせないこと及び日本年金機構が必要に応じ弊社に対して調査等を実施する場合はこれに応じることを誓約いたします。

記

（対象案件名） ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）〔直近1年間通知者用〕調達区分1・2

（受託内容等） _____

（履行場所住所及び名称）

情報セキュリティに関する証明事項

1. 情報セキュリティに関する基本方針・取扱規程（情報セキュリティポリシー）等

（１）下記に示す、情報セキュリティに関する規程等又は規程等に記述されている内容を記載する。

- ① 情報セキュリティの基本方針・取扱規程（情報セキュリティポリシー）を定め、情報保護及び情報管理のため社則・就業規則に盛り込むなどの措置を講じているか。
- ② 個人情報等や機密情報の取扱いに関する規程や規則において、以下に掲げる事項が規定されているか。
 - 個人情報等や機密情報の取扱い
 - 個人情報等や機密情報の取扱いに関する従事者等（※）の役割・責任
※従事者等は、仕様書９（１）①～③及び９（２）①～③の管理者及び業務委託員をいう。以下同じ。
 - 個人情報等や機密情報の取扱いに関する事項に違反した場合の処分
 - 個人情報等や機密情報の目的外利用の禁止
 - 個人情報等や機密情報の取扱い及び情報セキュリティ対策に関する履行状況の監査
 - 個人情報等や機密情報の取扱い及び情報セキュリティ対策に関する履行状況の点検
 - 情報セキュリティ対策の履行が不十分な場合の対処方法

2. 情報漏えい発生時の対応

（１）個人情報等や機密情報の漏えいが発生した場合における対応として、以下に掲げる体制を記載する。

- 委託者（機構）への報告体制
- 対応マニュアル等の整備
- 対応部署の指定
- 情報の漏えいによる影響及び原因の調査体制

3. 情報セキュリティに関する教育・研修・訓練等の計画

（１）下記に示す内容を含む情報セキュリティに関する教育・研修・訓練等（以下「研修等」という。）の計画を記載する。

- ① 個人情報等や機密情報の保護及び管理に関する教育・研修・訓練等（以下「研修等」という。）の実施時期については、履行開始日の前日まで（委託業務履行開始後に初めて委託業務を行う業務委託員の業務開始時を含む。）及び委託業務履行開始後定期的に実施しているか。
- ② 研修等において、以下に掲げる内容を実施しているか。
 - 日本年金機構法や個人情報等に関する関係法令で定められている守秘義務及び罰則規定
 - 委託業務における遵守事項及び禁止行為
 - 個人情報等の保護にかかる就業規則等に違反した場合の処分
 - 情報漏えいとその影響

- インシデントが発生した場合の手順
- 受託事業者にて契約違反などがある場合の通報窓口の周知
- その他留意すべき事項

4. 業務の履行場所に関する安全管理措置計画

業務で個人情報等を取り扱う履行場所を用意する場合は、以下の（１）（２）を記載する。

※業務で個人情報等を取り扱う履行場所を用意しない場合は、その旨記載する。

- （１）業務の履行場所における入退室の制限及び管理方法、並びに入退室記録の点検方法を記載する。
- （２）サーバ等の機器を設置する場所における入退室の制限及び管理方法、並びに入退室記録の点検方法を記載する。

※サーバ等の機器を使用しない場合は、その旨記載すること。

5. 個人情報等を記録した紙媒体、外部電磁的記録媒体、及び電子データの取扱いに関する安全管理措置計画

- （１）業務の履行場所における個人情報等を記録した紙媒体及び外部電磁的記録媒体を保管する保管庫の設置場所（箇所）を記載する。

※個人情報等を記録した紙媒体、外部電磁的記録媒体を取り扱わない場合は、その旨記載すること。

※通知書等作成業務においては、個人情報等を記録した毀損品が発生した場合の、保管庫の設置場所（箇所）について、別に記載すること。

- （２）業務の履行場所における個人情報等を記録した電子データを保存又は利用（電子データへのアクセス、参照等含む。）する電子計算機の設置場所（箇所）を記載する。

※個人情報等を記録した電子データを取り扱わない場合は、その旨記載すること。

- （３）保管庫の管理体制として以下を記載する。

- 保管庫の施錠方法
- 保管庫の管理者、保管庫の鍵（鍵によらない施錠の場合は、関係者のみが知り得る情報）の管理者
- 保管庫の鍵の貸出方法及び貸出状況の記録方法（鍵によらない施錠の場合は、関係者のみが知り得る情報の管理方法、施錠状況の記録方法）

- （４）個人情報等を記録した紙媒体及び電子データの複写複製の対象となる内容を記載する。

※複写複製の対象がない場合は、その旨記載する。

※複写複製とは、書類の複写のほか、電子データを電子計算機に格納することや電子データのバックアップの取得等をいう。

※契約締結後において、複写複製を行う前に、あらかじめ機構の書面による承認を受けること。

- （５）個人情報等を記録した紙媒体、外部電磁的記録媒体、電子データ及びこれらの複写複製物等が不要となる場合の、当該個人情報等の復元又は判読等が不可能な方法による完全消去又は廃棄する方法、場所を記載する。

6. 電子計算組織に関する安全管理措置計画

業務で個人情報等を取り扱う電子計算組織を用意する場合は、以下の（１）～（１１）、に掲げる組織的、物理的、及び技術的安全管理措置の計画を記載する。

※業務で個人情報等を取り扱う電子計算組織を用意しない場合は、その旨記載する。

以下の（１２）及び（１３）については、業務で電子計算組織を用意する場合に、当該安全管理措置の計画を記載する。

※業務で電子計算組織を用意しない場合は、その旨記載する。

（１）電子計算組織の管理体制

システム構成図及びシステム管理者を記載する。

また、システム構成図には、個人情報等を取り扱う電子計算機と個人情報等を取り扱わない電子計算機とを明確に区別して記載する。

（２）アクセス権限付与に関する規則等

アクセス記録及び作業ログの保存期間含めて、ＩＤの管理方法を記載する。

（３）ＩＤに紐づいたパスワード設定方法又は変更頻度

パスワードは、１２文字以上で、英大文字、英小文字、数字、記号のうち３種以上を組み合わせた設定となっているか否かを記載する。

上記の設定ができない場合は、パスワードの変更頻度を併せて記載する。

（４）電子計算組織とインターネットとの物理的隔離状況又は論理的遮断状況

インターネットとの接続箇所が認められないネットワーク構成図等を記載する。

なお、インターネットとの接続箇所を論理的に遮断する場合は、委託業務で個人情報等を取り扱う全ての電子計算機において、インターネットとの通信を完全に遮断する方法が確認できる資料を記載又は添付する。

※ 「インターネットからの隔離及び遮断に関するイメージ図」を参考

（５）通信ネットワーク構築時における通信経路の閉域化又は専用線使用

通信経路の閉域化又は専用線使用を確認できる資料を記載又は添付する。

（６）個人情報等を取り扱う電子計算機へのウイルス対策ソフトの導入証明及びウイルススキャンの実施体制

ウイルス対策ソフトの導入を確認できる資料を記載又は添付する。

ウイルススキャンの実施方法を記載する。

インターネットから物理的に隔離又は論理的に遮断された環境において、最新のパターンファイル・検索エンジンに更新するための、外部電磁的記録媒体を用いた適用方法を記載する。

※ 「インターネットからの隔離及び遮断に関するイメージ図」を参考

（７）個人情報等を取り扱う電子計算機へのセキュリティパッチの適用体制

インターネットから物理的に隔離又は論理的に遮断された環境において、最新のセキュリティパッチを適用するための、外部電磁的記録媒体を用いた適用方法を記載する。

※ 「インターネットからの隔離及び遮断に関するイメージ図」を参考

（８）個人情報等を取り扱う電子計算組織で使用するソフトウェアがサポート契約期間中である証明

ソフトウェアがサポート契約期間内であり、アップデートの提供が保証されていることを確認できる資料を記載又は添付する。

※ ソフトウェアは、ＯＳの他、個人情報等を取り扱う電子計算組織で使用するソフトウェア（ウイルス対策ソフト、データの完全消去ソフト等も含む。）の全てを記載する。

(9) 個人情報等を取り扱う電子計算組織の監視体制

個々のファイルへのアクセスが正当な業務であることを担保するための手段・方法を記載する。また、監視に必要な取得するログの内容を記載する。

(10) 個人情報等を取り扱う電子計算機の外部電磁的記録媒体接続制限措置

外部電磁的記録媒体の接続制限にかかる規定及び内容を記載する。

(11) 外部電磁的記録媒体を、個人情報等を取り扱う電子計算機へ接続させる場合における、外部電磁的記録媒体取扱者及び外部電磁的記録媒体を接続させる前のウイルススキャン実施体制

外部電磁的記録媒体の取扱者を記載する。

インターネットから物理的に隔離又は論理的に遮断された環境において、外部電磁的記録媒体をウイルススキャンする方法を記載する。

(12) 電子計算機の盗難又は紛失を防止するための直接かつ物理的な措置

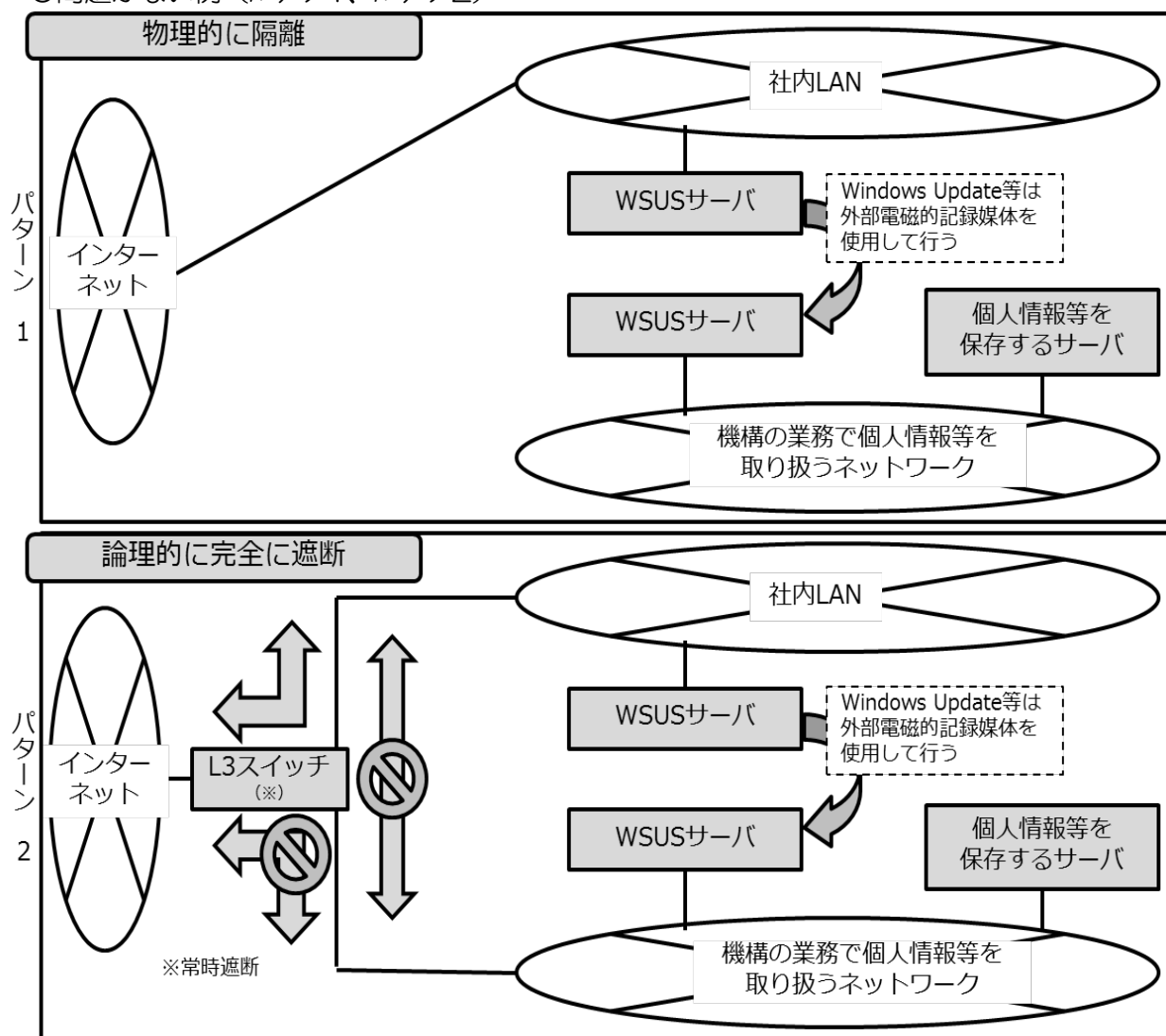
電子計算機に直接ワイヤロック等を講じている手段を記載する。

(13) 情報セキュリティインシデントを含めた障害発生時における電子計算組織の稼働を回復又は委託業務を回復する体制

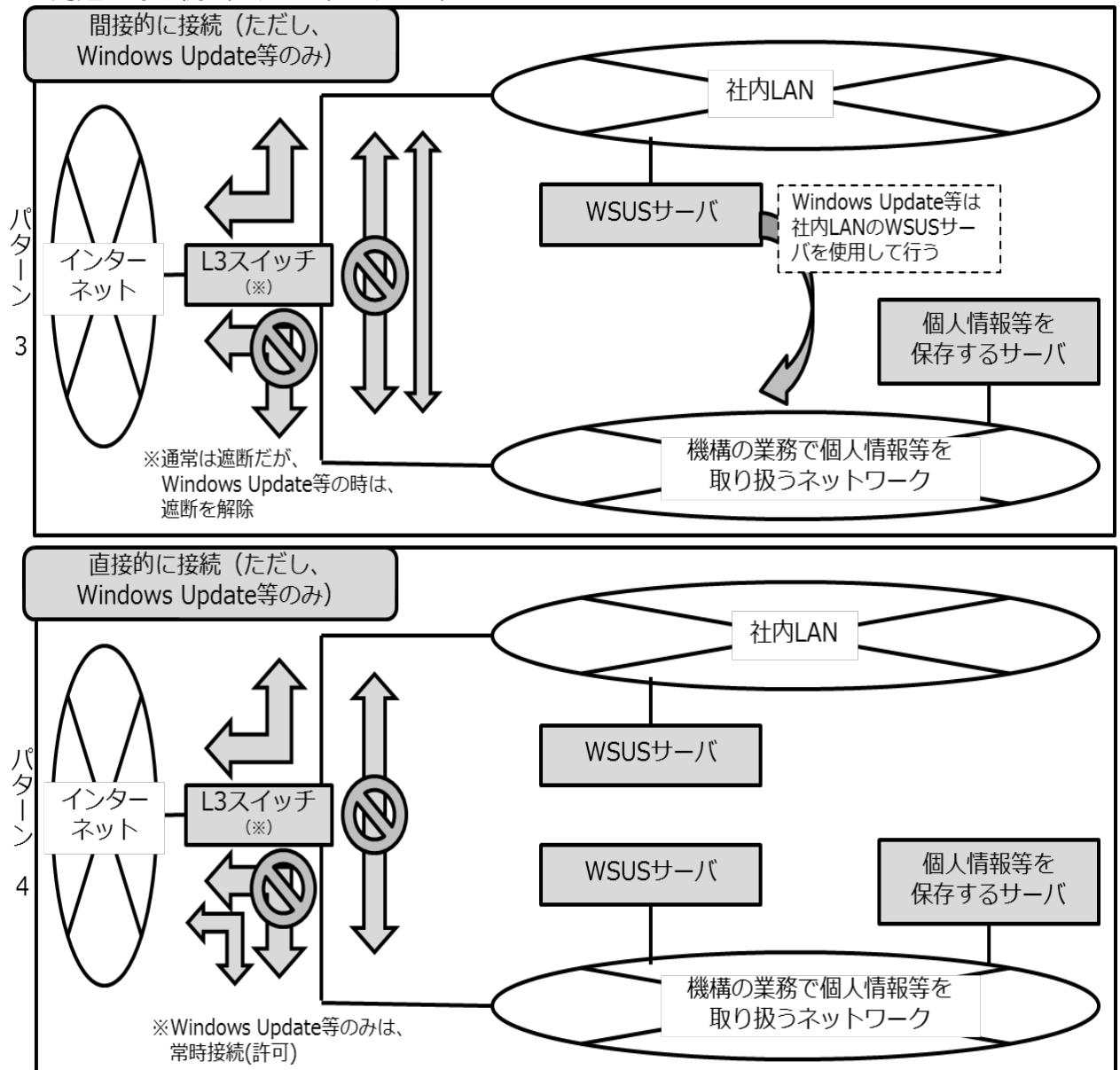
電子計算組織の稼働を回復、電子データの復旧又は委託業務を回復する方法を記載する。

(参考) インターネットからの隔離及び遮断に関するイメージ図

○問題がない例 (パターン1、パターン2)



○問題がある例（パターン3、パターン4）



7. 情報セキュリティに関する第三者評価の証明

ISO/IEC27001又はJISQ27001やプライバシーマークの認証の写しを提出する。（当該認証を証明できる書類の写しでも可）

※上記の第三者評価を取得していない場合は、下記①及び②を提出する。

- ① 個人情報等や機密情報の漏えい及び目的外利用を禁じた契約（契約終了後及び退職後においても有効である旨が記載されていること。）を締結した守秘義務契約書の写し
- ② 上記1から6までの項目について策定及び措置を講じていることを証明できる書類

（当該項目の策定及び措置を講じていない場合は、委託業務の開始までに上記1から6までの項目の策定及び措置を講じることを誓約する書類でも可）

通報窓口のご案内

趣旨

日本年金機構では、契約の適正な履行の確保を目的として、受託事業者に契約違反などがある場合に、受託事業者の社員等からの通報を受け付けることが出来るよう、通報窓口を設置しています。

通報対象

受付の対象となる情報は、「日本年金機構が委託している業務に関する通報」です。
不適正な業務の実施が確認された場合又は疑われる場合があります。通報窓口までご連絡ください。

(注1)「虚偽」「誹謗中傷」「その他の不正な通報」は、固くお断りいたします。

(注2) この窓口では、年金の事務手続きや受給に関するお問い合わせ・ご相談はお受けしていません。また、回答もしていません。「年金に関するお問い合わせ・ご相談」は、ねんきんダイヤルまたは年金事務所へご連絡ください。

通報窓口

日本年金機構へのご意見・ご要望

(注)本通報窓口は、保険料の徴収や年金事務所の窓口における対応など、日本年金機構や年金事務所における「年金に関する業務やサービスの改善・効率化など」につながるようなご意見・ご要望等をお聞かせいただく窓口ですが、受託事業者に契約違反などがある場合の通報窓口も兼ねております。

受付方法

日本年金機構ホームページまたは郵送により、通報を受け付けています。

1.ホームページの場合	日本年金機構ホームページの「日本年金機構へのご意見・ご要望」の投稿フォームにより受け付けています。 https://www2.nenkin.go.jp/do/mail/
2.郵送の場合	〒168-8505 東京都杉並区高井戸西3-5-24 日本年金機構 「日本年金機構へのご意見・ご要望の手紙」宛て にお送りください。

令和 年 月 日

日本年金機構 理事長代理人

年金記録企画部 年金記録業務室長 岡田 仁志 殿

所 在 地

法人名又は商号

代 表 者 名

印

複 写 複 製 承 認 申 請 書

下記のねんきん定期便の作成及び発送準備業務(令和8年4月～令和9年3月発送分)[直近1年間通知者用]調達区分1・2の業務において、委託業務の実施にあたり必要であることから、下記に記載のとおり、個人情報等を記録した対象物について、複写複製を行うことを承認願います。

また、複写複製物については、日本年金機構に届出した保管場所に保全し、「個人情報等管理台帳」による管理を徹底いたします。

記

(対象案件名)

ねんきん定期便の作成及び発送準備業務(令和8年4月～令和9年3月発送分)[直近1年間通知者用]調達区分1・2

(複写複製する内容)

複写複製する対象物	複写複製する事由	複写複製の内容(※該当するものを○で囲むこと)
		格納・バックアップ・その他()
		格納・バックアップ・その他()
		格納・バックアップ・その他()

※ 複写複製の該当事例

【格納】外部電磁的記録媒体に記録された電子データを電子計算機に格納する等。

【バックアップ】電子データの消失・復旧等に備え、バックアップを取得すること等。

【その他】紙媒体をスキャンし、PDFデータ化すること等。

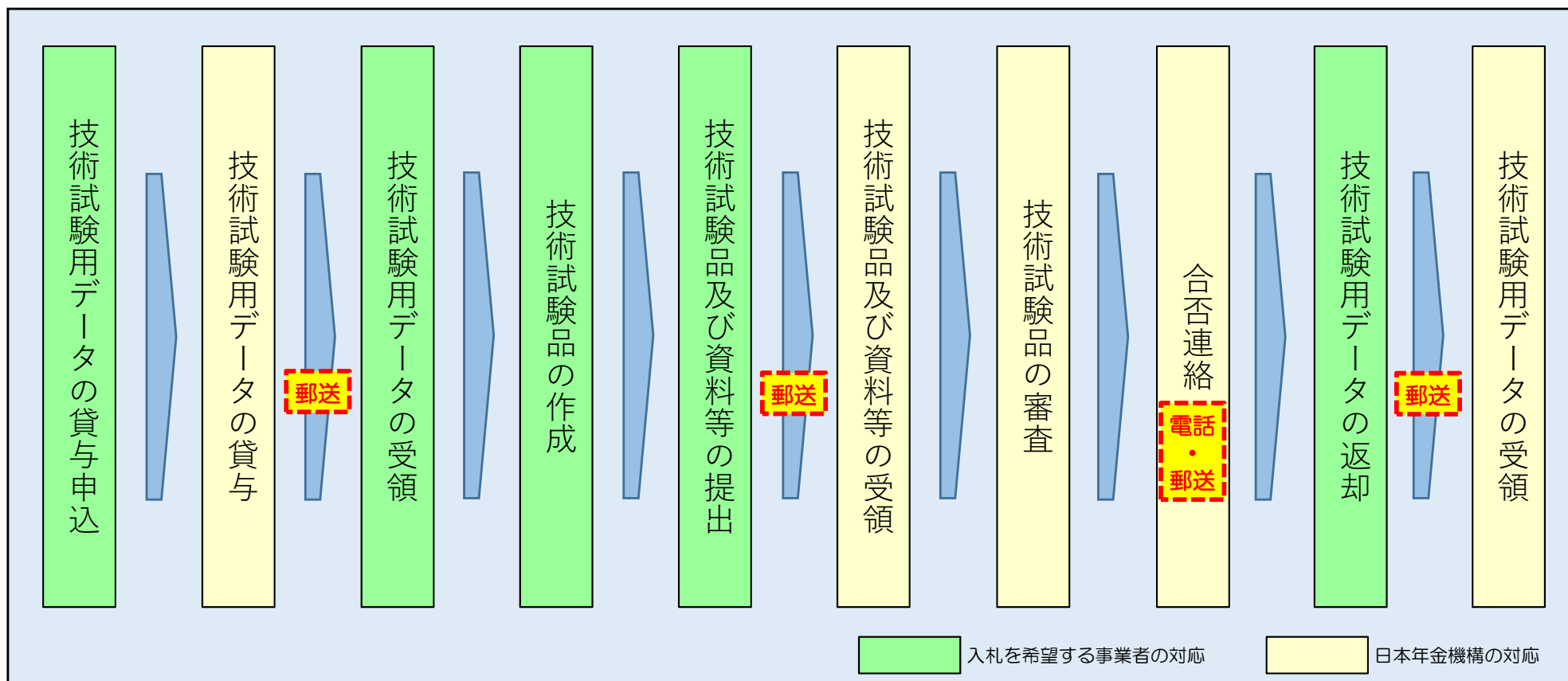
技術試験品の作成について

技術試験について

1. 技術試験の概要

技術試験は、入札を希望する事業者において委託要領等に記載した仕様を満たす「ねんきん定期便」及びその他納品物が技術的に作成可能であることを確認するための重要なイベントです。帳票作成、印字データ作成、データ印字、加工、仕分け、事前報告データ等様々な観点で審査を行います。

2. 技術試験の流れ



技術試験の主な確認ポイント

1. 技術試験における主な確認ポイント

技術試験における主な確認ポイントを以下に示します。なお、帳票及びデータ印字の仕様等の詳細については、「委託要領」を参照してください。

1) ねんきん定期便

共通：ねんきん定期便通知情報DVDデータを読み取り、データ処理が可能であること。
音声コード、二次元コードの作成及び印字が可能であること。
印刷専用社会保険フォントの印字が可能であること。
別送対象者等納品区分別の仕分け、作成対象外者の判定が可能であること。

はがき：使用する用紙の仕様（サイズ、重さ等）において、表裏に多色刷が可能であること。
音声コードの切り欠き、5穴パンチ（またはスリット）等の加工が可能であること。
Z折りの圧着加工が可能であること。

封書：使用する用紙の仕様（サイズ、重さ等）において、表裏に多色刷が可能であること。

2) 事前報告データ（DVD-R）、事前報告データ（郵便物管理システム用）

- ・様式作成における振分け（帳票作成判定及び納品区分）が可能であること。
- ・郵便物管理システム用の送付及び送付抑止の振分けが可能であること。

技術試験品について（１／３）

１．技術試験品の作成

令和４年度発送分までの技術試験においては、技術試験品としてねんきん定期便そのものの作成・提出を求めています。令和５年度発送分以降の技術試験では、ねんきん定期便の作成が可能な技術を有することを示す資料の作成・提出とし、都度見直しを図っています。

種別	提出物		令和 8 年度 発送分の調達	【参考】令和 7 年度 発送分の調達	【参考】令和 4 年度 発送分の調達
ハガキ	校正用原稿		不要	要（表面のみ）	委託要領どおりに作成したねんきん定期便及び 事前報告データ等の CD/DVD
	校正用原稿（キャンセルマーク付）			不要	
	サンプル品（用紙）		不要	要（印字有無は問わない）	
	サンプル品（表裏に多色刷、Z折、5穴パンチまたはスリット、コーナークット、音声コード切り欠き、圧着加工）		要（印字有無は問わない）	要（印字有無は問わない）	
封書	校正用原稿（50歳未満者用）		不要	要 （単色と多色の各 1 頁）	
	校正用原稿（50歳以上者用）			不要	
	校正用原稿（老齢年金受給者用）			不要	
	サンプル品（用紙）		不要	要（印字有無は問わない）	
	サンプル品（表裏に多色刷）		要（印字有無は問わない）	－	
	部材（見方ガイド） ※50歳未満者用	校正用原稿	不要	不要	
		サンプル品（用紙）		要	
		サンプル品（冊子加工）		要（印字有無は問わない）	
	部材（返信用封筒）	校正用原稿	不要	不要	
		サンプル品（封筒）		要（印字有無は問わない）	
	部材（送付用封筒）	校正用原稿	不要	不要	
		校正用原稿（キャンセルマーク付）		不要	
		サンプル品（封筒、水糊、窓枠、切り欠き加工）		要（印字有無は問わない）	
		音声コード印字（固定）		要	
共通	技術試験シート①	ねんきん定期便通知情報DVDの読取及び印字 ※一部のデータ項目のみ	要	要	
		データ判定処理結果の印字 ※一部のデータ項目のみ	要	要	
		データ突合による除外と仕分結果の印字	要（2ファイル）	要（2ファイル）	
	技術試験シート②	・公的年金シミュレータ用QRコード印字（固定） ・音声コード印字（固定） ・印刷専用社会保険フォントの印字（10パターン）	要	要	

技術試験品について（2／3）

2. ねんきん定期便（はがき形式）

1) サンプル品の提出

以下の①～④が確認できるサンプル品を1部提出すること。

- ① 委託要領「6. 委託業務で使用する帳票の仕様（1）共通仕様」記載の用紙表裏に多色刷りしたサンプル品。

※ 印刷の内容及びデータ印字の有無は問いません。ただし、個人情報記載のないよう注意願います。

- ② Z折りはがきに圧着加工が施されたサンプル品。

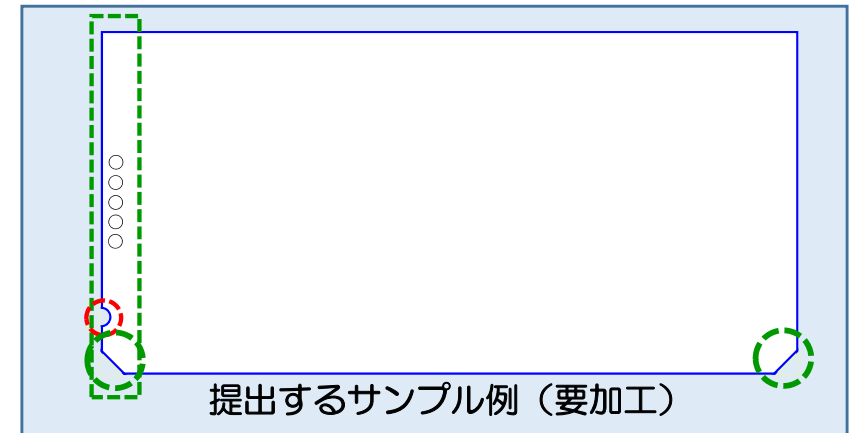
- ③ 音声コードの切り欠き加工が施されたサンプル品。

- ④ 5穴パンチとコーナークット加工、もしくはスリット加工が施されたサンプル品。

※ 調達区分1及び2両方への入札を希望する場合においても、サンプル品1部の提出のみで可。

※ ①～④が全て1つのサンプル品である必要はありません。

※ ②～④について、プレ印刷及びデータ印字の有無は問いません。



2) データ読取及び印字の確認

- 技術試験提出シート①及び②を提出すること。

※ 技術試験提出シート①②の作成については、技術試験提出シートに説明を記載しています。

3) 仕分け及び事前報告データの確認

- 技術試験提出シート①に該当する対象を記載し、提出すること。

※ 技術試験用データを読み取り、関係情報等の突合等を行い、作成の有無及び納品区分を決定し、一覧表にその区分等を記載すること。

4) 封入・封緘の確認

- 封入サンプル等の提出不要。（別途提出の運用仕様書で確認します）

技術試験品について（3／3）

3. ねんきん定期便（封書形式）

1) サンプルの提出

- ・委託要領「6. 委託業務で使用する帳票の仕様（1）共通仕様」記載の用紙表裏に多色刷りしたサンプル品を1部提出すること。

※ 印刷の内容及びデータ印字の有無は問いません。ただし、個人情報の記載のないよう注意願います。

2) データ読取及び印字の確認

- ・技術試験提出シート①及び②を提出すること。

※ 技術試験提出シート①②の作成については、技術試験提出シートに説明を記載しています。

3) 仕分け及び事前報告データの確認

- ・技術試験提出シート①に該当する対象を記載し、提出すること。

※ 技術試験用データを読み取り、関係情報等の突合等を行い、作成の有無及び納品区分を決定し、一覧表にその区分等を記載すること。

4) 封入・封緘の確認

- ・封入サンプル等の提出不要。（別途提出の運用仕様書で確認します）

5) 部材（見方ガイド/返信用封筒/送付用封筒）の確認

- ・部材の提出不要。（別途提出の運用仕様書で確認します）

技術試験用データ等

1. ねんきん定期便通知情報DVD

貸与DVD		ファイル名	レコード数	格納件数	納品日設定 (郵便物管理システム用)	調達区分		
DVD名称	業務名					直近1年間 区分1	直近1年間 区分2	全期間
① ねんきん定期便通知情報DVD (直近1年)	前半者通知	C30Z11.txt	242件	34件	令和8年3月13日	○		
② ねんきん定期便通知情報DVD (直近1年)・再発行	前半者通知	C30Z51.txt	200件	28件	令和8年3月13日	○		
③ ねんきん定期便通知情報DVD (直近1年)	後半者通知	C55K11.txt	239件	33件	令和8年3月16日		○	
④ ねんきん定期便通知情報DVD (直近1年)・再発行	後半者通知	C55K51.txt	176件	24件	令和8年3月16日		○	
⑤ ねんきん定期便通知情報DVD (直近1年)	61歳以上者通知	C61J11.txt	88件	12件	令和8年3月16日		○	
⑥ ねんきん定期便通知情報DVD (直近1年)・再発行	61歳以上者通知	C61J51.txt	74件	10件	令和8年3月16日		○	
⑦ ねんきん定期便通知情報DVD	特定通知	T35T11.txt	265件	35件	令和8年3月19日			○
⑧ ねんきん定期便通知情報DVD	59歳通知	T59G11.txt	644件	30件	令和8年3月19日			○
⑨ ねんきん定期便通知情報DVD・再発行	61歳以上者通知	T61R11.txt	692件	32件	令和8年3月19日			○

2. 関係情報DVD

関係情報	ファイル名	格納件数
① 別添9-1 別送対象者情報	【別添9-1】2601 別送対象者情報.xlsx	25件
② 別添9-2 作成対象外者情報	【別添9-2】2601 作成対象外者情報.txt	54件

3. 印刷専用社会保険フォント ※セキュアUSBに収録

4. 技術試験提出資料等 ※セキュアUSBに収録

技術試験品提出等に必要な様式等を格納しています。

技術試験品の提出

1. 技術試験品の提出

下記①～④の技術試験品及び関係する資料を提出期限までに郵送等にて提出してください。なお、提出いただいた技術試験品等の審査において照会・再提出等のお願いをすることがあります。

① 【別紙 16-1】 技術試験品の提出について 1部

② ねんきん定期便にかかるサンプル品等の技術試験品

③ 【別紙 16-2】 技術試験提出シート① 1部

④ 【別紙 16-3】 技術試験提出シート② 1部

※ ②③④については、入札を希望する調達区分ごとに提出すること。

※ 提出期限までに提出がない場合、事前審査において不合格となります。

2. 提出先及び提出方法

<提出期限>

調達区分1：令和7年10月29日（水）（予定）

調達区分2：令和7年11月 6日（木）（予定）

全期間：令和7年10月22日（水）（予定）

<提出方法>

郵送等による提出 ※ 手渡しによる提出は受け付けできません。

<提出先>

日本年金機構

年金記録業務室 記録管理グループ

〒182-8530

東京都調布市 ※ 住所の詳細は技術試験参加申し込みの際に連絡する。

電話：042-429-2808／FAX：042-429-2810

担当者：辻、長野、山木、安藤

技術試験の合否通知及びテストデータ等の返却

1. 合否通知連絡について

提出された事前審査書類・技術試験品等に係る事前審査の合否の結果については、下記の日程に電話による連絡を予定しています。なお、事前審査不合格の場合、別途書面にて通知します。

<合否連絡>

調達区分1：令和7年11月 4日（火）（予定）

調達区分2：令和7年11月11日（火）（予定）

全期間：令和7年10月28日（火）（予定）

2. 技術試験用データ等の返却

技術試験終了後、技術試験用データ等を収録したDVD-R等の外部電磁的記録媒体を期限までに郵送等にて返却してください。また、返却にあわせて必要な書類の提出していただきます。

<返却対象物及び提出書類>

① 技術試験用データ等を収録した外部電磁的記録媒体 一式

② 個人情報授受管理表（返却） 1部

③ 【別紙16-4】技術試験用データの返却・廃棄について 1部

<返却期限>

令和7年11月14日（金）（予定）

<返却方法>

郵送等による返却 ※ 手渡しによる返却は受け付けできません。

<返却先>

日本年金機構

年金記録業務室 記録管理グループ（提出先と同じ）

担当者：辻、長野、山木、安藤

令和7年 月 日

日本年金機構 年金記録業務室
記録管理グループ ご担当者様法人名又は商号
担 当 者 名

印

技術試験品の提出について

ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）における技術試験品の提出について、下記の調達区分を応札希望のため、該当する技術試験品を提出いたします。

【直近1年間通知者用】

調達区分	サンプル品	技術試験 提出シート①	技術試験 提出シート②
直近1年間通知者用 調達区分1	以下の内容が確認できるサンプル品 ☐ 表裏に多色刷りした帳票 ☐ Z折りはがきを圧着加工したサンプル品 ☐ 音声コードの切り欠き加工のサンプル品	☐ 1部	☐ 1部
直近1年間通知者用 調達区分2	☐ 5穴パンチ及びコーナーカット加工 もしくはスリット加工のサンプル品	☐ 1部	☐ 1部

※ 各調達区分において提出必須の書類です。提出する技術試験品に☑を付けてください。

【全期間通知者用】

調達区分	サンプル品	技術試験 提出シート①	技術試験 提出シート②
全期間通知者用	☐ 1部（表裏に多色刷りした帳票）	☐ 1部	☐ 1部

※ 提出必須の書類です。提出する技術試験品に☑を付けてください。

調達区分〔直近1年間通知者用（調達区分1 / 調達区分2） 全期間通知者用〕

※入札を希望する調達区分毎に提出が必要です。提出する調達区分に○をつけてください。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
項番	再発行表示	基礎年金番号	氏名	老齢年金受給者表示	作成しないもの	作成するもの						事前報告データ (郵便物管理システム用)
					作成対象外者	郵便局納品分 本人直送件数	調布（記録管理G）納品分					
							郵便番号 不備分	国年特別一時金 表示者分	別送対応分	海外居住者分	資格記録 超過者分	
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8	下記説明に基づき、技術試験提出シート①を作成してください。 また、項番1から再発行表示（昇順）＞基礎年金番号（昇順）の優先順位で収録してください。 A列〔項番〕：1～のデータの順序を収録。 B列〔再発行表示〕：「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部／共通表示部＞【9】再発行表示を参照し、収録する。 C列〔基礎年金番号〕：「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部＞【2】基礎年金番号を参照し、収録する。 D列〔氏名〕：「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／基本情報部／氏名情報＞【46】氏名を参照し、収録する。 E列〔老齢年金受給者表示〕：「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部＞【23】老齢年金受給者表示を参照し、収録する。 F列：直近1年間通知者用（調達区分1 / 調達区分2）の場合 ⇒ 委託要領（8.（4）「作成対象外者」の判定、13～14ページ）に基づき、作成対象外者に該当する場合に“1”を設定してください。 （該当しない場合は、空白のままにしてください） 全期間通知者用の場合 ⇒ 委託要領（8.（4）「作成対象外者」の判定、17ページ）に基づき、作成対象外者に該当する場合に“1”を設定してください。 （該当しない場合は、空白のままにしてください） G列～L列：直近1年間通知者用（調達区分1 / 調達区分2）の場合 ⇒ 委託要領（8.（7）発送準備（納品区分「①」～「⑦」の仕分け）、19～21ページ）に基づき、該当する納品区分に“1”を設定してください。（該当しない場合は、空白のままにしてください） 全期間通知者用の場合 ⇒ 委託要領（8.（7）発送準備（納品区分「①」～「⑦」の仕分け）、25～27ページ）に基づき、該当する納品区分に“1”を設定してください。（該当しない場合は、空白のままにしてください） M列〔事前報告データ（郵便物管理システム用）〕： 【別添6】事前報告（ファイル）（郵便物管理システム用）作成仕様書に基づき、以下の内容を設定してください。 1：送付郵便物データに含まれる場合 2：送付抑止郵便物データに含まれる場合 （いずれにも該当しない場合は、空白のままにしてください）											
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												
31												
32												
33												
34												
35												
36												
37												
38												
39												
40												
41												
42												
43												
44												
45												
46												
47												
48												
49												
50												
51												
52												
53												
54												
55												
56												
57												
58												
59												
60												
61												
62												
63												
64												
65												
66												
67												
68												
69												
70												
71												
72												
73												
74												
75												
76												
77												
78												
79												
80												
81												
82												
83												
84												
85												
86												
87												
88												
89												
90												

提出日： 令和 年 月 日
事業者名：

1. QRコードの印字仕様の確認

委託要領【別添5-1-7／別添5-2-7（共通）】の1.（2）二次元コードの作成仕様で示す仕様を満たしたQRコードを下記のデータを使用して作成し、印字すること。

QRコード収録内容
https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp?aa=1&ab=7%94%4e12%8c%8e&ac=&ad=&ae=%94%5b%95%74%8d%cf&af=%95%74%89%c1&ag=%8c%fa%94%4e&ah=500000&ai1=1500000&ai2=1450000&ai3=1400000&ai4=1350000&ai5=1300000&ai6=1250000&ai7=1200000&ai8=1150000&ai9=1100000&ai10=1050000&ai11=1000000&ai12=1000000&ai13=1000000&aj=108&ak=122&al=230&am=100&an=110&ao=128&ap=136&aq=101&ar=365&as=595&at=100&au=695&av=1128000&aw=1228000&ax=1338000&ay=1448000&az=5132000&ba=&bb=&bc=&bd=&be=&bf=&bg=&bh=&bi=&bj=&bk=

< QRコード印字欄 >



Area for QR code printing.

2. 音声コードの印字仕様の確認

委託要領【別添2】で示す仕様を満たした音声コードを下記のデータを使用して作成し、印字すること。

音声コード収録内容
ニッポン年金機構から、令和8年度の年金定期便をお送りします。 年金定期便は、毎年、年金加入記録をご確認頂くとともに、年金制度に対するご理解を深めて頂くことを目的として、厚生労働省から委託を受け、年金加入期間などの年金情報をお知らせするものです。 この年金定期便は、昭和56年4月2日生まれ、のお客様にお送りしたもので、令和7年12月22日時点の年金加入記録にもとづいて作成しています。 これまでの年金加入期間は次の通りです。 国民年金の期間は、未納期間を除く第1号ヒ保険者期間108ツキ、第3号ヒ保険者期間122ツキ、合計230ツキです。 共済制度に加入の場合はこれを含んだ厚生年金保険の期間は365ツキ、船員保険の期間は110ツキ、年金加入期間の合計は705ツキとなります。 また、合算対象期間などが100ツキあり、受給資格期間は805ツキとなります。 これまでの年金加入実績に応じた年金ガクは、老齢基礎年金ガク、年額1118000円、共済制度に加入の場合はこれを含んだ老齢厚生年金ガク、年額4014000円、合計額は、年額5132000円です。 これまでに納付した保険料ガクは、累計ガクで、国民年金1680000円、共済制度に加入の場合はこれを含んだ厚生年金保険21050000円、合計22730000円となります。 この年金定期便の内容に関するお問い合わせは、専用番号へお電話ください。電話番号は、0570-058-555です。 お客様の電話番号が050から始まる場合は、東京03-6700-1144へおかけください。お問い合わせの際は、次の12ケタの照会番号をお知らせください。 お客様の照会番号は、012345678901番です。 お客様の照会番号は、012345678901番です。 お客様の照会番号は、012345678901番です。 お客様の照会番号は、01,2,3,4,5,6,7,8,9,0,1番です。 お客様の照会番号は、0"1"2"3"4"5"6"7"8"9"0"1番です。

< 音声コード印字欄 >



Area for audio code printing.

全角スペース
による区切り

3. 印刷専用社会保険フォントの印字の確認

印刷専用社会保険フォント一覧の項番700～704、7904～7908を10.5pt以上の大きさと、項番の若い順に印字すること。

< 外字印字欄 >

Area for printing special characters.

提出日： 令和 年 月 日
事業者名： _____

1. QRコードの印字仕様の確認

委託要領【別添5-1-7／別添5-2-7（共通）】の1.（2）二次元コードの作成仕様で示す仕様を満たしたQRコードを下記のデータを使用して作成し、印字すること。

QRコード収録内容
https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp?aa=2&ab=7%94%4e12%8c%8e&ac=&ad=&ae=%94%5b%95%74%8d%cf&af=%95%74%89%c1&ag=%8c%fa%94%4e&ah=500000&ai1=1500000&ai2=1450000&ai3=1400000&ai4=1350000&ai5=1300000&ai6=1250000&ai7=1200000&ai8=1150000&ai9=1100000&ai10=1050000&ai11=1000000&ai12=1000000&ai13=1000000&aj=108&ak=122&al=230&am=100&an=110&ao=128&ap=136&aq=101&ar=365&as=595&at=100&au=695&av=&aw=&ax=&ay=&az=&ba=65&bb=1018000&bc=1028000&bd=1000001&be=1038000&bf=1000010&bg=1000020&bh=1048000&bi=1000100&bj=1000200&bk=9132331

< QRコード印字欄 >



Blank area for QR code printing.

2. 音声コードの印字仕様の確認

委託要領【別添2】で示す仕様を満たした音声コードを下記のデータを使用して作成し、印字すること。

音声コード収録内容
ニッポン年金機構から、令和8年度の年金定期便をお送りします。 年金定期便は、毎年、年金加入記録をご確認頂くとともに、年金制度に対するご理解を深めて頂くことを目的として、厚生労働省から委託を受け、年金加入期間などの年金情報をお知らせするものです。 この年金定期便は、 昭和46年4月2日 生まれ、のお客様にお送りしたもので、 令和7年12月22日 時点の年金加入記録にもとづいて作成しています。 これまでの年金加入期間は次の通りです。 国民年金の期間は、未納期間を除く第1号ヒ保険者期間 108 ツキ、第3号ヒ保険者期間 122 ツキ、合計 230 ツキです。 共済制度に加入の場合はこれを含んだ厚生年金保険の期間は 365 ツキ、船員保険の期間は 110 ツキ、年金加入期間の合計は 705 ツキとなります。 また、合算対象期間などが 100 ツキあり、受給資格期間は 805 ツキとなります。 老齢年金の見込ガクは次の通りです。 65 歳になられた時、老齢基礎年金ガクは 1018000 円、共済制度に加入の場合はこれを含んだ老齢厚生年金は 8114331 円、1年間の受取見込ガクは 9132331 円です。 これまでに納付した保険料ガクは、累計ガクで、国民年金 1680000 円、共済制度に加入の場合はこれを含んだ厚生年金保険 21050000 円、合計 22730000 円となります。 この年金定期便の内容に関するお問い合わせは、専用番号へお電話ください。電話番号は、0570-058-555です。 お客様の電話番号が050から始まる場合は、東京03-6700-1144へおかけください。お問い合わせの際は、次の12ケタの照会番号をお知らせください。 お客様の照会番号は、 012345678901 番です。 お客様の照会番号は、 012345678901 番です。 お客様の照会番号は、 012345678901 番です。 お客様の照会番号は、 0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,0,1 番です。 お客様の照会番号は、 0"1"2"3"4"5"6"7"8"9"0"1 番です。

< 音声コード印字欄 >



Blank area for voice code printing.

全角スペース
による区切り

3. 印刷専用社会保険フォントの印字の確認

印刷専用社会保険フォント一覧の**項番700～704、7904～7908**を10.5pt以上の大きさと、項番の若い順に印字すること。

< 外字印字欄 >

Blank area for printing special characters.

提出日：令和 年 月 日

事業者名：

1. QRコードの印字仕様の確認

委託要領【別添5-1-15／別添5-2-15（共通）】の1.（2）二次元コードの作成仕様で示す仕様を満たしたQRコードを下記のデータを使用して作成し、印字すること。

QRコード収録内容
https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp?aa=4&ab=&ac=7%94%4e12%8c%8e&ad=7%94%4e12%8c%8e&ae=%94%5b%95%74%8d%cf&af=%95%74%89%c1&ag=%81%69%8c%fa%94%4e%81%6a&ah=500000&ai1=1500000&ai2=1450000&ai3=1400000&ai4=1350000&ai5=1300000&ai6=1250000&ai7=1200000&ai8=1150000&ai9=1100000&ai10=1050000&ai11=1000000&ai12=1000000&ai13=1000000&aj=108&ak=122&al=230&am=100&an=110&ao=128&ap=136&aq=101&ar=365&as=595&at=100&au=695&av=&aw=&ax=&ay=&az=&ba=65&bb=1018000&bc=1028000&bd=1000001&be=1038000&bf=1000010&bg=1000020&bh=1048000&bi=1000100&bj=1000200&bk=9132331

<QRコード印字欄>

2. 音声コードの印字仕様の確認

委託要領【別添2】で示す仕様を満たした音声コードを下記のデータを使用して作成し、印字すること。

音声コード収録内容
ニッポン年金機構から、令和8年度の年金定期便をお送りします。 年金定期便は、毎年、年金加入記録をご確認頂くとともに、年金制度に対するご理解を深めて頂くことを目的として、厚生労働省から委託を受け、年金加入期間などの年金情報をお知らせするものです。 この年金定期便は、 昭和46年4月2日 生まれ、のお客様にお送りしたもので、 令和7年12月22日 時点の年金加入記録にもとづいて作成しています。 これまでの年金加入期間は次の通りです。 国民年金の期間は、未納期間を除く第1号ヒ保険者期間 108 ツキ、第3号ヒ保険者期間 122 ツキ、合計 230 ツキです。 共済制度に加入の場合はこれを含んだ厚生年金保険の期間は 365 ツキ、船員保険の期間は 110 ツキ、年金加入期間の合計は 705 ツキとなります。 また、合算対象期間などが 100 ツキあり、受給資格期間は 805 ツキとなります。 老齢年金の見込ガクは次の通りです。 65 歳になられた時、老齢基礎年金ガクは 1018000 円、共済制度に加入の場合はこれを含んだ老齢厚生年金は 8114331 円、1年間の受取見込ガクは 9132331 円です。 これまでに納付した保険料ガクは、累計ガクで、国民年金 1680000 円、共済制度に加入の場合はこれを含んだ厚生年金保険 21050000 円、合計 22730000 円となります。 この年金定期便の内容に関するお問い合わせは、専用番号へお電話ください。電話番号は、0570-058-555です。 お客様の電話番号が050から始まる場合は、東京03-6700-1144へおかけください。お問い合わせの際は、次の12ケタの照会番号をお知らせください。 お客様の照会番号は、 012345678901 番です。 お客様の照会番号は、 012345678901 番です。 お客様の照会番号は、 012345678901 番です。 お客様の照会番号は、 0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,0,1 番です。 お客様の照会番号は、 0"1"2"3"4"5"6"7"8"9"0"1 番です。

<音声コード印字欄>

全角スペース
による区切り

3. 印刷専用社会保険フォントの印字の確認

印刷専用社会保険フォント一覧の**項番700～704、7904～7908**を10.5pt以上の大きさと、項番の若い順に印字すること。
<外字印字欄>

令和 年 月 日

日本年金機構 年金記録業務室
記録管理グループ ご担当者様法人名又は商号
担 当 者 名

印

技術試験用テストデータの返却・廃棄について

ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）における技術試験品の提出完了に伴い、令和7年 月 日に郵送にて貸与を受けました技術試験用テストデータの返却・廃棄の実施結果についてご報告いたします。

【返却について】

☐ 当該業務において、日本年金機構より貸与された下記記載の情報等は全て返却いたしました。

- ・令和8年度「ねんきん定期便」技術試験用テストデータ（DVD-R）・・・1枚
- ・令和8年度「ねんきん定期便」技術試験用関係情報データ（DVD-R）・・・1枚
- ・令和8年度「ねんきん定期便」技術試験用関係情報データ（セキュアUSB）・・・1本

【廃棄・消去について】

☐ 当該業務において作成した技術試験品等の複写複製物（サーバ内の情報を含む）、その他汚損、毀損した技術試験品等については、その全てを復元又は判読等が不可能な方法により完全消去、廃棄等の作業を実施しました。

受領日 令和 年 月 日

日本年金機構
年金記録業務室
記録管理グループ

担当者 印

ねんきん定期便の作成及び発送準備業務
(令和8年4月～令和9年3月発送分)
〔直近1年間通知者用〕

委 託 要 領

日本年金機構
年金記録業務室

令和7年8月

目 次

I. 委託業務関係

1. 委託業務名	- 1 -
2. 業務の概要	- 1 -
3. 委託要領の構成	- 2 -
4. 委託業務で使用する電子媒体等の仕様	- 5 -
5. 帳票区分	- 6 -
6. 委託業務で使用する帳票の仕様	- 7 -
7. 部材の受領	- 11 -
8. 「ねんきん定期便」作成業務の実施内容	- 12 -
9. 機構への事前報告	- 27 -

II. 委託条件等

1. 第三者への委託（再委託）	- 31 -
2. 搬送について	- 33 -
3. 作業状況の管理及び問題発生時の対応	- 34 -
4. 外部電磁的記録媒体の取扱い	- 35 -

I. 委託業務関係

1. 委託業務名

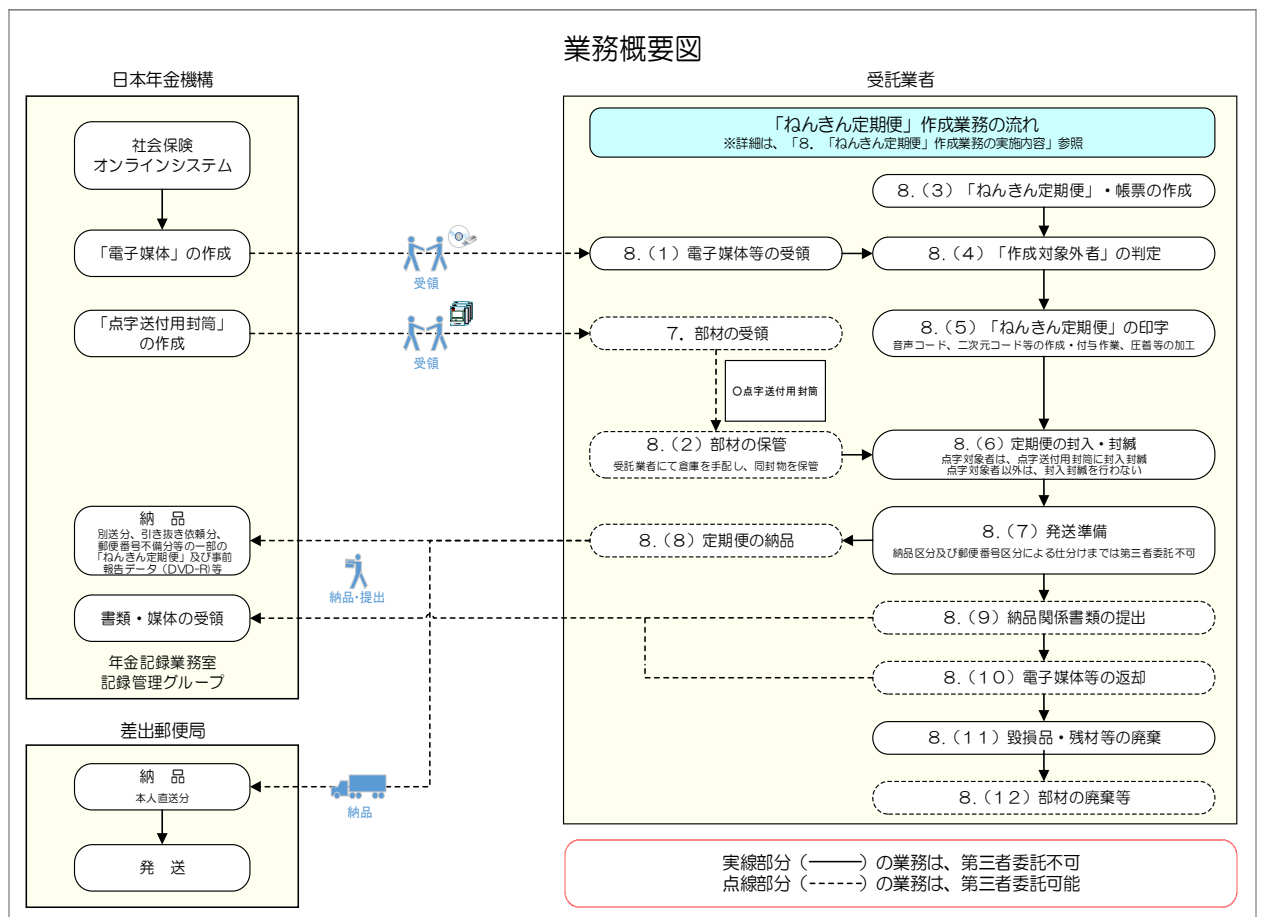
ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和8年4月～令和9年3月発送分）[直近1年間通知者用]
調達区分1・2

2. 業務の概要

「ねんきん定期便」は、年金記録の確認及び年金制度に対する理解を深めていただくことを目的として、年金制度に加入中の方に対して、毎年、誕生月に作成・発送する通知である。

本委託業務は、日本年金機構（以下、「機構」という。）より貸与する作成データを委託要領等に基づき加工・編集し、圧着ハガキ形式の「ねんきん定期便」（直近1年間通知者用）を作成（作成業務）、納品区分及び郵便番号区分による仕分け等を行い、納品するまで工程（発送準備業務）を委託するものである。

（下記の業務概要図を参照）



3. 委託要領の構成

(1) 本紙 . . . (委託要領本体)

(2) 別紙 . . . (「ねんきん定期便」帳票 ※原稿)

別紙	名 称
1	「ねんきん定期便」(直近1年間通知者／50歳未満者用) ※令和8年4月～9月発送分
1ー1	「ねんきん定期便」(直近1年間通知者／50歳未満者用) ※令和8年10月～令和9年3月発送分
2	「ねんきん定期便」(直近1年間通知者／50歳以上者用) ※令和8年4月～9月発送分
2ー1	「ねんきん定期便」(直近1年間通知者／50歳以上者用) ※令和8年10月～令和9年3月発送分
3	「ねんきん定期便」(直近1年間通知者／年金受給者用) ※令和8年4月～9月発送分
3ー1	「ねんきん定期便」(直近1年間通知者／年金受給者用) ※令和8年10月～令和9年3月発送分
4	点字送付用封筒

(3) 別添 . . . (媒体仕様書、出力仕様書、「ねんきん定期便 関係情報」収録ファイル仕様、及び「ねんきん定期便」作成に必要なその他補足資料)

別添	名 称
1	「お知らせ」欄に印字する文言の条件及び内容について
2	音声コード印字要領
3	「ねんきん定期便」のキャンセルマーク付与位置について
4	カスタマバーコードの付与について
5-1-1	出力位置 : 直近1年間通知者/50歳未満者用 表面 ※令和8年4月～9月発送分
5-1-2	出力仕様書: 直近1年間通知者/50歳未満者用 表面 ※令和8年4月～9月発送分
5-1-1-1	出力位置 : 直近1年間通知者/50歳未満者用 表面 ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-1-2-1	出力仕様書: 直近1年間通知者/50歳未満者用 表面 ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-1-3	出力位置 : 直近1年間通知者/50歳未満者用 裏面 ※令和8年4月～9月発送分
5-1-4	出力仕様書: 直近1年間通知者/50歳未満者用 裏面 ※令和8年4月～9月発送分
5-1-3-1	出力位置 : 直近1年間通知者/50歳未満者用 裏面 ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-1-4-1	出力仕様書: 直近1年間通知者/50歳未満者用 裏面 ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-1-5	音声コードへ収録する内容(50歳未満者用)
5-1-6	音声コード仕様書(50歳未満者用) ※令和8年4月～9月発送分
5-1-6-1	音声コード仕様書(50歳未満者用) ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-1-7	出力仕様書: 直近1年間通知者/50歳未満者用 公的年金シミュレーター二次元コード ※令和8年4月～9月発送分
5-1-7-1	出力仕様書: 直近1年間通知者/50歳未満者用 公的年金シミュレーター二次元コード ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-2-1	出力位置 : 直近1年間通知者/50歳以上者用 表面 ※令和8年4月～9月発送分
5-2-2	出力仕様書: 直近1年間通知者/50歳以上者用 表面 ※令和8年4月～9月発送分
5-2-1-1	出力位置 : 直近1年間通知者/50歳以上者用 表面 ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-2-2-1	出力仕様書: 直近1年間通知者/50歳以上者用 表面 ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-2-3	出力位置 : 直近1年間通知者/50歳以上者用 裏面 ※令和8年4月～9月発送分
5-2-4	出力仕様書: 直近1年間通知者/50歳以上者用 裏面 ※令和8年4月～9月発送分
5-2-3-1	出力位置 : 直近1年間通知者/50歳以上者用 裏面 ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-2-4-1	出力仕様書: 直近1年間通知者/50歳以上者用 裏面 ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-2-5	音声コードへ収録する内容(50歳以上者用)
5-2-6	音声コード仕様書(50歳以上者用) ※令和8年4月～9月発送分
5-2-6-1	音声コード仕様書(50歳以上者用) ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-2-7	出力仕様書: 直近1年間通知者/50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード ※令和8年4月～9月発送分
5-2-7-1	出力仕様書: 直近1年間通知者/50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-3-1	出力位置 : 直近1年間通知者/年金受給者用 表面 ※令和8年4月～9月発送分
5-3-2	出力仕様書: 直近1年間通知者/年金受給者用 表面 ※令和8年4月～9月発送分
5-3-1-1	出力位置 : 直近1年間通知者/年金受給者用 表面 ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-3-2-1	出力仕様書: 直近1年間通知者/年金受給者用 表面 ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-3-3	出力位置 : 直近1年間通知者/年金受給者用 裏面 ※令和8年4月～9月発送分
5-3-4	出力仕様書: 直近1年間通知者/年金受給者用 裏面 ※令和8年4月～9月発送分
5-3-3-1	出力位置 : 直近1年間通知者/年金受給者用 裏面 ※令和8年10月～令和9年3月発送分

5-6-4-1	出力仕様書：直近1年間通知者／年金受給者用 裏面 ※令和8年10月～令和9年3月発送分
5-3-5	音声コードへ収録する内容（年金受給者用）
5-3-6	音声コード仕様書（年金受給者用） ※令和8年4月～9月発送分
5-3-6-1	音声コード仕様書（年金受給者用） ※令和8年10月～令和9年3月発送分
6	事前報告（ファイル）（郵便物管理システム用）作成仕様書
7	事前報告データ（DVD-R）ラベル及びディスクケースラベルの作成方法
8	ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者） 仕様書 ※令和8年4月～9月発送分
8-1	ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者） 仕様書 ※令和8年10月～令和9年3月発送分
9-1	別送対象者情報
9-2	作成対象外者情報
9-3	ねんきん特別便情報
9-4	欠番
9-5	点字対象者情報
9-6	郵便番号統一事務所コードテーブル
10	差出可能郵便局一覧

（４） 様式 …… （提出書類及び事前報告の様式等）

様式	名 称
1-1	外部電磁的記録媒体移送許可申請書兼回付書
1-2	個人情報授受管理票（回付書補助票）
1-3	個人情報授受管理票（返却）
2-1	引抜依頼書
2-2	「ねんきん定期便」引抜依頼書（リスト）
3	料金後納郵便物差出票
4	「ねんきん定期便」差出通数票
5	本番検証品にかかる品質保証並びに作成誤り防止にかかる報告書
6	業務完了報告書
7	作成状況報告書
8	「ねんきん定期便」通知情報対象者一覧表
9-1	対象者一覧表（点字対応分）
9-2	対象者一覧表（国年特別一時金表示者分）
9-3	対象者一覧表（別送対応分）
9-4	対象者一覧表（郵便番号不備分）
9-5	対象者一覧表（厚年・船保・共済重複分）
10	作成件数総括表（全件）
10-1	作成件数総括表（点字対応分）
11	「ねんきん定期便」発送件数内訳表
12	事務所別件数表（本人直送分）

4. 委託業務で使用する電子媒体等の仕様

本委託要領では、以下の（１）「定期便DVD」及び「定期便DVD」以外の媒体を併せて「電子媒体等」と定義する。

（１）「定期便DVD」

機構から貸与する【ねんきん定期便通知情報DVD（直近１年出力者）】（以下「定期便DVD」という。）の仕様は以下のとおり。

本紙において、「定期便DVD」に収録される電子情報を総称して、「ねんきん定期便通知情報ファイル（直近１年出力者）」（以下「定期便通知情報」という。）とする。

① 「定期便DVD」の仕様

【別添８】【別添８－１】「ねんきん定期便通知情報DVD（直近１年出力者）仕様書」（以下「DVD仕様書」という。）を参照すること。

② 「定期便DVD」の区分

「定期便DVD」は、年齢帯区分毎に、誕生月に送付する対象者の作成データ（以下「誕生月分」という。）を収録した媒体と、再発行を行う対象者の作成データ（以下「再発行分」という。）を収録した媒体に区分される。（【別添８】【別添８－１】「DVD仕様書」P8表2. 1. 2－5参照。）

上記「定期便DVD」の仕様は同一であるが、年齢帯区分によって出力項目・納品日等に相違点があることから、「定期便DVD」を受領した際には、取り違え等が発生しないよう、取扱いには十分に留意すること。（８.（１）電子媒体等の受領を参照。）

（２）「定期便DVD」以外の電子媒体

① 「ねんきん定期便関係情報」（DVD－R、セキュアUSBメモリ）

ア 【別添９－１】別送対象者情報（Excelブック）（DVD－R）

イ 【別添９－２】作成対象外者情報（テキスト）（DVD－R）

ウ 【別添９－３】ねんきん特別便情報（テキスト）（DVD－R）

エ 【別添９－５】点字対象者情報（テキスト）（DVD－R）

【別添９－６】郵便番号統一事務所コードテーブル（Access データベース）
（セキュアUSBメモリ）

※契約期間中に、定期便DVD以外の電子媒体に収録するファイル及び格納する媒体の追加／仕様の修正等の変更を実施する場合がある。この際には、変更を実施する月の前々々月の１日（その日が休日の場合はその直前の営業日）までに機構より連絡を行うので、変更箇所の確認及び「ねんきん定期便」作成業務及び発送準備業務への対応を行うこと。

② 「印刷専用社会保険フォント」（セキュアUSBメモリ）

「定期便DVD」作成データには「外字」（出力環境依存文字）が含まれている場合がある。

この「外字」を出力するために使用するフォントファイル（印刷専用社会保険フォント）及び印刷専用社会保険フォント一覧をセキュアUSBメモリにて提供する。

印刷専用社会保険フォントは、本契約の全期間について使用すること。

なお、貸与した電子媒体（セキュアUSBメモリ）は、初回媒体返却時に返却すること。

③ 「帳票原稿授受用USB」（セキュアUSBメモリ）初回及び変更時

契約締結後及び帳票レイアウト変更時に、【別紙１】～【別紙３】の正式な帳票原稿のPD

Fファイルを帳票原稿授受用USB（セキュアUSBメモリ）にて提供する。なお、令和8年10月発送分から使用する【別紙1-1】～【別紙3-1】の正式な帳票原稿については、令和8年6月頃の提供を予定している。

受託事業者は、受領した帳票原稿より校正用原稿を作成して書面及びテキスト付PDFファイルにて機構へ提出する。その際、提供された帳票原稿授受用USBにPDFファイルを収録して提出することとし、以降帳票の校正が完了するまで当該媒体を校正用原稿のファイル授受に使用することとする。

5. 帳票区分

「ねんきん定期便」帳票には、種類等に応じて、以下のとおり「帳票区分」が設定されている。改版・引抜依頼等を指示する際には、「帳票区分」を用いて対象となる帳票の指定を行うので、作業時には帳票区分と帳票が一致することを確認すること。

帳票の種類	50歳未満者用	50歳以上者用	年金受給者用
「ねんきん定期便」直近1年間通知者用（ハガキ）	1	2	3
「ねんきん定期便」全期間通知者用（封書）	4	5	6

6. 委託業務で使用する帳票の仕様

(1) 共通仕様

① 紙質

上質紙：糊材塗布後メートル坪量 $127g/m^2$ ($\pm 5g/m^2$) 程度

※白色度 80%以上、且つ圧着式通知の加工が容易にできるものであること。

※グリーン購入法に適合するものであること。(入手が困難な場合は除く)

② サイズ

縦 6.0 インチ (152.4 mm) × 横 12.0 インチ (304.8 mm)

③ 印刷様式

ア オフセット印刷方式(※1)またはオンデマンド印刷方式(※2)

※1 紫外線硬化型インキを使用すること。

※2 5ポイントの文字が明瞭に判別できるようにすること。

イ 「ねんきん定期便」の表裏両面 → 2色刷(色：青色(DIC184程度)

赤色(DIC159又はDIC160程度))

※インクは水濡れにより容易ににじまないものを使用すること。

ウ 定期便の印刷にあたっては、印字のかすれ、ズレ、プレ印刷とのラップ、印字もれ等、印刷品質にかかる検証方法及び運用方法を整備し、印刷不良を防止すること。

エ 帳票原稿の印刷において、印刷に使用する機器・設備の制約により帳票原稿の縁部分の印刷が不可能な場合は、機構に事前に申出を行ったうえで0～5mmの範囲内で必要最小限の余白を設けて印刷することを可とする。

④ 加工

ア 圧着後、はがきサイズとなるように、両端からそれぞれ4.0インチの箇所に、中間縦ミシン加工又はこれと同様の効果のある加工を行うこと。

イ 「ア」で施した加工については、圧着した「ねんきん定期便」を開いた際、容易に切断してしまうことがないようにすること。(中間縦ミシンの両端はアンカットとなるような措置を講ずること)

ウ ハガキ本体には「郵便はがき」の文字を印刷し、その印刷された面に添付物を貼付する場合については、圧着加工等を施した後にハガキ本体の「郵便はがき」の文字が表示されるよう添付物にパンチ加工(5穴)を施すかまたは添付物を幅5mm程度小さく作成するスリット加工を施すこと。

エ ハガキ本体の添付物には、左下及び右下にコーナークットを打ち抜くこと。

ただし、上記ウにて添付物を幅5mm程度小さく作成する方法でハガキを作成した場合には、コーナークットを設けなくてもよいこととする。

オ 音声コード印字位置の右側に切り欠き加工を施すこと。

(「【別添2】音声コード印字要領／【別添5-1-3】【別添5-2-3】【別添5-3-3】【別添5-1-3-1】【別添5-2-3-1】【別添5-3-3-1】出力位置(裏面)」参照)

カ 圧着加工は、日本郵便HPの「はがき作成のガイドライン」で示されている値：

1.84kgf/m (18N/m)を参考に、送達途中の自然剥離・開封時の破損等が発生しないよう作業を行い、適正な圧着強度となっているかの検証を実施すること。

⑤ 注意事項

- ア 圧着加工等を施した後の大きさ及び重さが、第二種郵便物の通常葉書の規格（長辺 14～15.4 cm短辺 9～10.7 cm、重さ 2～6g）に適合すること。
- イ 「ねんきん定期便」の内面に印字されたデータ（圧着された内側に印刷されたデータ）について、外部から容易に判読できてしまうことのないようにすること。

（２） 帳票の種類 及び 対応する「定期便DVD」の区分

① 令和8年4月～令和9年3月 誕生月分及び再発行分

※ 令和8年3月～令和9年2月に貸与されるDVD

- ア 50歳未満者用・・・【別紙1】【別紙1－1】定期便・ハガキ（50歳未満）
・【別添8】【別添8－1】「DVD仕様書」P8の表中、
ボリューム名が「PAT01A・B」～「PATE4A・B」、「PAT71A・B」～
「PAT72A・B」の定期便DVD
- イ 50歳以上者用・・・【別紙2】【別紙2－1】定期便・ハガキ（50歳以上）
・【別添8】【別添8－1】「DVD仕様書」P8の表中、
ボリューム名が「PAT36A・B」～「PAT45A・B」、「PAT73A・B」～
「PAT76A・B」、「PAT51A・B」～「PAT55A・B」の定期便DVD
- ウ 年金受給者用・・・【別紙3】【別紙3－1】定期便・ハガキ（受給者）
・【別添8】【別添8－1】「DVD仕様書」P8の表中、
ボリューム名が「PAT5AA・B」～
「PAT5EA・B」、「PAT7AA・B」～「PAT7BA・B」の定期便DVD

※上記①「イ」：50歳以上者用の「定期便DVD」に年金受給者である対象者がいることが判明した場合、直ちに機構へ報告を行うこと。年金受給者か否かは、以下の定期便DVDに収録されている設定値で識別を行う。

「DVD仕様書」ねんきん定期便通知情報ファイル
<基本レコード／共通部>] [23] 老齢年金受給者表示の設定値
○「0」・・・老齢年金受給者でない
○「1」・・・老齢年金受給者である

① 帳票別の識別ポイント

「ねんきん定期便」表面にグラフが4本あること。

 料金後納郵便	照会番号	公務員共済の加入者番号	私学共済の加入者番号	※お問い合わせの際は、 照会番号をお伝えください。
観覧				

①保険料を納付していただいた方は、「これまでの加入実績に応じた年金額」が昨年よりも増額しています。
②今後も、保険料を納付していただくことで、更に年金額が増額します。
③年金の受給開始時期は、60歳から75歳まで選択できます。
年金支給を遅らせた場合、年金額が増額します。
 （例）70歳を選択した場合、65歳と比較して42％増額
 75歳を選択した場合、65歳と比較して84％増額（最大）

（注）・65歳以降で厚生年金保険の被保険者等である場合は、在職支給停止率を差し引いた額が、算下げによる増額の計算対象となります。
 ・遺族年金や障害年金を受給していることができる場合には、老齢年金の受給開始時期を変更することができないことがあります。



(参考) 今後の増額イメージ

最大の84%増

今後75歳まで遅らせた場合

令和8年度の「ねんきん定期便」です。

開封前にお名前をご確認ください。

お届け先のご住所に、現住、受取人の方がお住まいでない場合には、お手数をおかけしますが、「誤配」、「配達した」と等をメールにてご記入いただきます。開封せずそのままポストに入れてください。


日本年金機構
 Japan Pension Service

〒168-8505 東京都杉並区高井戸西3丁目5番24号

 お知らせは内側にあります。
矢印の方向へゆっくりはがしてご覧ください。

「ねんきん定期便」表面にグラフが3本あること。

[illegible]

「ねんきん定期便」表面にグラフがないこと。

[illegible]

50 歳未満、50 歳以上、年金受給者によって出力位置が異なることから、2 種類以上の帳票を取り扱う場合には、その様式と印刷すべきデータがマッチしているかの検証方法及び運用方法を整備し、用紙の取り違えによる印刷誤りを防止すること。

7. 部材の受領

(1) の部材については、(2) で指定するとおり、機構より受領を行うこと。

(1) 「点字送付用封筒」【別紙4】

- ・サイズ：縦167mm×横113mm 窓開き封筒
- ・材質：色上質紙 厚口（A判 50kg）
- ・加工：音声コード用切り欠き加工有
点字の加工有
糊加工（アドヘア糊）有

(2) 「点字送付用封筒」の受領

(1)「点字送付用封筒」の引き渡しについては、引渡場所を受託事業者にて手配し、令和8年1月30日（予定）の「履行開始前定例会議」において、倉庫の詳細な地図及び引渡（納品）作業の詳細を機構に連絡すること。

機構は、部材の引渡日ごとの数量を事前に受託事業者に連絡するので、受託事業者は、機構の指示のとおり部材を受領すること。受領した部材は、汚損、毀損のないよう厳重に保管し、機構の指示に従って取り扱うこと。

機構より受領した部材については、毎月の最終納品日までに受領済件数・使用件数・書損件数・残数について報告すること。（様式は任意とする）

- ・引渡場所：受託事業者が手配する場所（全国1か所を予定）

※上記の条件を満たす場合は、作業場と同一の場所も可とする。

- ・引渡作業：受託事業者が実施

- ・引渡時期：機構が指定した日

- ① 令和7年12月中旬（予定）
- ② 令和8年 2月下旬（予定）
- ③ 令和8年 4月下旬（予定）
- ④ 令和8年 6月下旬（予定）
- ⑤ 令和8年 8月下旬（予定）
- ⑥ 令和8年10月下旬（予定）
- ⑦ 令和8年12月下旬（予定）

※引渡日及び引渡数量については、3営業日前までに受託事業者に通知予定。

8. 「ねんきん定期便」作成業務の実施内容

「ねんきん定期便」作成業務の実施内容は以下のとおり。

(1) 電子媒体等の受領

① 「定期便DVD」

委託業務で使用する「定期便DVD」について、受託事業者が担当する年齢帯区分毎に、仕様書「別紙2」（委託スケジュール）のとおり貸与するので、受領すること。

電子媒体等の詳細な授受方法は、令和8年1月30日（予定）の「履行開始前定例会議」において連絡する。引渡場所は、日本年金機構 年金記録業務室 記録管理グループ事務室内とする。

② 「ねんきん定期便関係情報」（DVD-RまたはセキュアUSBメモリ）

「ねんきん定期便関係情報」（DVD-RまたはセキュアUSBメモリ）について、仕様書「別紙2」（委託スケジュール）のとおり貸与するので、受領すること。

ア 【別添9-1】XXXX 別送対象者情報

イ 【別添9-2】XXXX 作成対象外者情報

ウ 【別添9-3】XXXX ねんきん特別便情報

エ 【別添9-5】XXXX 点字対象者情報

オ 【別添9-6】XXXX 郵便番号統一事務所コードテーブル

※ア～オのファイル名は、年月の表示以外は、毎月共通。

※XXXXについて、各月最初の媒体貸与日の月とする。（例、2026年2月の場合 → 2602）

※パスワードは、3か月ごとに更新を行う。なお、初回について、令和8年1月30日（予定）の履行開始前定例会議で通知する。

※委託期間内において、「ねんきん定期便関係情報」に収録するファイルを追加／変更する場合がある。

③ 「印刷専用社会保険フォント」（セキュアUSBメモリ）

外字出力に使用する「印刷専用社会保険フォント」（セキュアUSBメモリ）については、令和8年1月30日（予定）の「履行開始前定例会議」で貸与する。「印刷専用社会保険フォント」（セキュアUSBメモリ）の貸与時には、「委託業務において使用する「印刷専用社会保険フォント」の取扱いに関する覚書」を取り交わすものとする。

※パスワードは、令和8年1月30日（予定）の履行開始前定例会議で通知する。

④ 「帳票原稿授受用USB」（セキュアUSBメモリ）

「帳票原稿授受用USB」（セキュアUSBメモリ）については、契約締結後に正式な原稿を提供する際及び帳票レイアウト変更時に貸与するので、受領すること。

⑤ 「外部電磁的記録媒体移送許可申請書兼回付書」の取扱いについて

上記①・②・③・④について、電子媒体等の受領時に、【様式1-1】（外部電磁的記録媒体移送許可申請書兼回付書）に受領年月日、会社名、氏名を記入し、押印すること。機構は、電子媒体等の貸与時に「外部電磁的記録媒体移送許可申請書兼回付書」の写しを手交する。

なお、併せて【様式1-2】（個人情報授受管理票（回付書補助票））を提供する。

(2) 部材の保管

「7. 部材の受領」で指定する「点字送付用封筒」の保管場所（一時保管場所を含む）については、受託事業者が手配するものとする。保管場所については、令和8年1月30日（予定）の履行開始前定例会議までに機構に連絡すること。

(3) 「ねんきん定期便」・帳票の作成

- ① 受託事業者は、「6. 委託業務で使用する帳票の仕様（1）共通仕様」に基づき、担当する年齢帯区分に対応した「帳票の種類」を作成すること。なお、正式な原稿は、契約締結後に「帳票原稿授受用USB」（セキュアUSBメモリ）にPDFファイルを収録して提供する。
- ② 機構において帳票作成前（初回 及び レイアウト変更時）に定期便帳票の校正を行うため、別途指定する日までに製品に使用する紙を用いた校正用原稿を書面及び「帳票原稿授受用USB」（セキュアUSBメモリ）に収録したテキスト付PDFファイルにて提出すること。なお、機構より印刷開始の指示があるまで、受託事業者は印刷作成業務を開始しないものとする。
- ③ 校正完了後、機構の指定する日時までに製品サンプル（校了後の印字のない定期便帳票）を、担当する年齢帯区分で使用する帳票区分毎に各 50 部提出すること。
- ④ 委託期間内にレイアウト変更を行うことがある。その場合には、納品月の前々々月の 1 日（その日が休日の場合は、その直前の営業日）までに機構よりレイアウト変更にかかる連絡を行うので、校正内容等について確認を行うこと。
レイアウト変更時には、変更後の初回納品時までに、製品サンプル各 50 部を提出すること。
バリアブル印刷方式を採用している場合は、機構より校正完了にかかる連絡があるまで、受託事業者は「ねんきん定期便」の作成（帳票・データ印字）作業を開始しないものとする。
オフセット印刷方式を採用している場合は、機構より校正完了にかかる連絡があるまで、受託事業者は「ねんきん定期便」帳票の作成（印刷）作業を開始しないものとする。

(4) 「作成対象外者」の判定

以下の①～④に該当する場合は、「作成対象外者」として定期便を作成しないこと。

- ① 「送付対象外者6」・「送付対象外者7」

「DVD仕様書」ねんきん定期便通知情報ファイル
<基本レコード／共通部／共通表示部> [10] ねんきん特別便通知種別の設定値
○「J」・・・送付対象外6 ○「K」・・・送付対象外7

- ② 「国年不在者」

「DVD仕様書」ねんきん定期便通知情報ファイル
<基本レコード／共通部／共通表示部> [17] 国年不在者表示の設定値
○「1」・・・国年不在者である

③ 「厚年・船保・共済重複分」

「DVD仕様書」ねんきん定期便通知情報ファイル
＜直近1年月別状況レコード/直近1年月別情報部＞【73】対象年・【75】対象月
及び【78】加入制度の設定値
○【78】加入制度に同一年月に2つ以上の加入制度が収録されている場合
※【78】加入制度には、厚年・基金・船保・公共・私学のいずれかが収録される。

④ 「作成対象外者情報」収録者

【別添9-2】作成対象外者情報の対象者

(5) 「ねんきん定期便」の印字（作成データ）

- ① 機構より貸与された電子媒体等に収録された作成データは、ア～カの出力仕様書（出力仕様／出力位置）に基づき、加工・編集し、定期便（帳票）に印字すること。（バリアブル印刷方式を採用している場合は、印刷（印字）を同時に行うこと）
定期便の作成に必要なプログラムの開発及び変更（修正）にあたっては、仕様書、委託要領等
の本業務に関連する仕様が記載された図書（以下「仕様書等」という。）を十分に確認・理解の
うえ、プログラムに起因する誤りを防止するための検証方法及び運用方法を整備すること。

ア 50歳未満者用【別紙1】※令和8年4月～9月発送分

- 【別添5-1-1】出力位置：直近一年間通知者／(50歳未満) 表面
【別添5-1-2】出力仕様：直近一年間通知者／(50歳未満) 表面
【別添5-1-3】出力位置：直近一年間通知者／(50歳未満) 裏面
【別添5-1-4】出力仕様：直近一年間通知者／(50歳未満) 裏面

イ 50歳以上者用【別紙2】※令和8年4月～9月発送分

- 【別添5-2-1】出力位置：直近一年間通知者／(50歳以上) 表面
【別添5-2-2】出力仕様：直近一年間通知者／(50歳以上) 表面
【別添5-2-3】出力位置：直近一年間通知者／(50歳以上) 裏面
【別添5-2-4】出力仕様：直近一年間通知者／(50歳以上) 裏面

ウ 年金受給者用【別紙3】※令和8年4月～9月発送分

- 【別添5-3-1】出力位置：直近一年間通知者／(年金受給者) 表面
【別添5-3-2】出力仕様：直近一年間通知者／(年金受給者) 表面
【別添5-3-3】出力位置：直近一年間通知者／(年金受給者) 裏面
【別添5-3-4】出力仕様：直近一年間通知者／(年金受給者) 裏面

エ 50歳未満者用【別紙1-1】※令和8年10月～令和9年3月発送分

- 【別添5-1-1-1】出力位置：直近一年間通知者／(50歳未満) 表面
【別添5-1-2-1】出力仕様：直近一年間通知者／(50歳未満) 表面
【別添5-1-3-1】出力位置：直近一年間通知者／(50歳未満) 裏面
【別添5-1-4-1】出力仕様：直近一年間通知者／(50歳未満) 裏面

オ 50歳以上者用【別紙2-1】※令和8年10月～令和9年3月発送分

- 【別添5-2-1-1】出力位置：直近一年間通知者／(50歳以上) 表面
【別添5-2-2-1】出力仕様：直近一年間通知者／(50歳以上) 表面
【別添5-2-3-1】出力位置：直近一年間通知者／(50歳以上) 裏面
【別添5-2-4-1】出力仕様：直近一年間通知者／(50歳以上) 裏面

カ 年金受給者用【別紙３－１】※令和８年１０月～令和９年３月発送分

【別添５－３－１－１】出力位置：直近一年間通知者／(年金受給者) 表面

【別添５－３－２－１】出力仕様：直近一年間通知者／(年金受給者) 表面

【別添５－３－３－１】出力位置：直近一年間通知者／(年金受給者) 裏面

【別添５－３－４－１】出力仕様：直近一年間通知者／(年金受給者) 裏面

- ② 印字に使用するインクは、水ぬれ等があった場合でも容易に滲むことのない材質のものを使用すること。バリアブル印刷方式を採用している場合は、帳票と印字データを一括して印刷（印字）し、上記①のとおり作成されていることを確認すること。
- ③ 印字する文字（ブレ印字を除く）については、印刷範囲内でバランスを考慮したうえで、可能な限り大きく見やすいものとする。また、下記④以外の印字にあたっては、ゴシック系のフォントを使用すること。
- ④ 住所、氏名及びお知らせ欄の文言を印字する場合、「４．（２）②」で指定する「印刷専用社会保険フォント」を使用すること。フォントファイルを使用して、外字データが確実に定期便に印字されることを確認すると共に、不具合を確認した場合は速やかに機構へ報告すること。
※特に「外字」の印字にあたっては、文字毎の「止め」、「はね」、「突き抜け」部分等が鮮明に判読できるように留意すること。
- ⑤ カスタマバーコードについては、【別添４】「カスタマバーコードの付与について」を参照し、内国郵便約款別記１４に規定する方法で生成したカスタマバーコードを印字すること。
ただし、「８．（７）発送準備⑤海外居住者分」に該当する場合はカスタマバーコードを印字しないこと。
印字したカスタマバーコードは、日本郵便株式会社において確実に読み取れることを確認し、機構へ報告すること。
- ⑥ 「ねんきん定期便」の表裏に同一の対象者データが出力されていることの検証方法及び運用方法を整備し、印刷誤りを防止すること。
帳票の表裏に管理番号等の通番を印刷し、表裏のデータが同一であるかの検証・確認は OCR 読取等の機械的な方法で行うこととし、さらに最終確認として目視での確認を行うこと。
※検証・確認に使用する管理番号等は、対象者データ１件毎に固有の管理番号等を付与すること。なお、管理番号等に基礎年金番号の全部または一部を使用してはならない。
※管理番号等の重複付与は行わないこと。（例：郵便番号区分ごとの重複付与等）
※表裏の管理番号等は、定期便の圧着後において目視で確認できること。なお、表面の管理番号等は、点字送付用封筒の窓開き部分から目視で確認できること。
※上記とは異なる確認方法を使用することで、同等以上の安全性を確保可能な場合は、別途、申出を行うこと。
- ⑦ 音声コードの出力にあたっては、以下の仕様で作成すること。なお、詳細については、【別添２】音声コード印字要領、【別添５－１－５】【別添５－２－５】【別添５－３－５】音声コードへ収録する内容、【別添５－１－６】【別添５－２－６】【別添５－３－６】【別添５－１－６－１】【別添５－２－６－１】【別添５－３－６－１】音声コード仕様書を参照すること。
サ イ ズ：Ｌサイズ
誤り訂正：強（文字数超過によって、誤り訂正レベルを「強」に設定できない場合は、誤り訂

正レベル「中」で作成すること)

声の種類：男（声の種類が選択できない場合は、声の種類「男」でなくとも可とする）

※スマートフォン（アプリ）において、声の種類はアプリの設定に依存することを可とする。

※付与する音声コードは、印字した音声コードがスマートフォン等で確実に読み取れること、また、音声内容が音声コードへ収録する内容と一致していることを確認し、その検証環境（スマートフォンの機種名、OS のバージョン、使用したアプリ及びそのバージョン等）及び結果を機構へ報告すること。

※音声コードの仕様等詳細については当該コード開発（販売）元に十分確認すること。

- ⑧ 【別添 5-1-2】【別添 5-2-2】【別添 5-3-2】【別添 5-1-2-1】【別添 5-2-2-1】【別添 5-3-2-1】の項番 6 及び【別添 5-3-4】【別添 5-3-4-1】の項番 18 の二次元コードの出力にあたっては、以下の仕様にて出力すること。なお、【別添 5-1-2】【別添 5-1-2-1】の項番 19 及び【別添 5-2-2】【別添 5-2-2-1】の項番 17 の二次元コードについては、【別添 5-1-7】【別添 5-2-7】【別添 5-1-7-1】【別添 5-2-7-1】に記載の仕様にて出力すること。

種 類：QR コード モデル 2

※QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

バージョン：出力仕様書で指定したバージョン

誤 り 訂 正：レベル M

モ ー ド：出力仕様書で指定したモード

セ ル 数：二次元コード種類、バージョン、誤り訂正、モードによって定められたセル数

サ イ ズ：出力仕様書で指定したサイズで作成する ※余白（クワイエットゾーン）除く
なお、1 セル 0.28mm 以上とすること

余 白：クワイエットゾーンとして、2mm もしくは 5 セル分のいずれか大きい方を設ける

※スマートフォンで読み取り可能であることを必ず確認し、その検証環境（スマートフォンの機種名、OS のバージョン、使用したアプリ及びそのバージョン等）及び結果を機構へ報告すること。

- ⑨ 「ねんきん定期便」の印字内容に不具合を確認した場合は速やかに機構へ報告すること。

- ⑩ 委託期間内に印字内容、二次元コード及び音声コードの出力仕様の変更がある場合には、納品月の前々月の 1 日（その日が休日の場合はその直前の営業日）までに機構より連絡を行うので、変更について対応を行うこと。

- ⑪ 初回帳票作成時、レイアウト変更時及び上記⑩の変更・修正を実施した場合、機構は、本番検証用データ等を収録した外部電磁的記録媒体を受託事業者に貸与する。受託事業者は、本番検証用データを使用し、受託事業者が担当する年齢帯区分の帳票（50 歳未満者用・50 歳以上者用・受給者用）毎に、機構が指定する日までに本番検証品を提出すること。

※提出する件数については別途指示する。

また、受託事業者は、ねんきん定期便を作成する印字及び納品物作成に関わるプログラムが、出力仕様書のとおり出力されているかを点検した「点検チェックシート」（任意様式）を作成し、【様式 5】「本番検証品にかかる品質保証並びに作成誤り防止にかかる報告書」と併せて提出し、機構の検査を受けること。本番検証品の検査で合格の場合、機構は「ねんきん定期便」の本番品作成用データの貸与を行うこととする。

※印刷・印字の際に複数台の機械を使用する場合は、それぞれの機械で作成された出力内容等に問題がないことを確認するため、本番検証品は使用する機械ごとに作成したものを必ず提

出すること。また、プログラムが複数の場合もそれぞれのプログラムで作成したものを必ず提出すること。

- ⑫ 上記⑪にて本番検証品合格の場合、機構は、本番品作成用データに「ねんきん定期便」（本番品）の品質を確認するための機構ダミーデータを収録した外部電磁的記録媒体を準備し、受託事業者に貸与する。機構ダミーデータの件数は、帳票区分別もしくは納品日別に 2 件程度とし、受託事業者はこれを使用し、機構ダミーデータを分離することなく「ねんきん定期便」（本番品）を作成し、機構が別途指定する年齢帯区分及び納品日毎の引き抜き対象者のダミー品（＝機構ダミー品）を、機構が指定する期日までに提出し、機構の検査を受けること。機構ダミー品の検査で合格の場合、機構は受託事業者に対し、納品を指示する。機構ダミー品は原則原本を提出するものとし、やむを得ない事情がある場合のみ機構ダミー品を展開したものを FAX 等にて提出し、後日原本を提出すること。

なお、別途引き抜きを依頼する機構ダミー品の対象一覧（ダミーの基礎年金番号等を記載）については、各納品日の 10 営業日前程度（予定）に、郵送等で依頼を行う。

また、機構ダミー品の件数については、変更する場合がある。変更する場合、機構は各納品日の 10 営業日前程度（予定）に、連絡を行う。

- ⑬ 上記⑪及び⑫実施後、作成プログラム等の変更は行わないこと。ただし、やむを得ない事情により、製品の紙の変更、印字データ作成に関わるソフトウェアや印刷機等の印刷環境に関わる変更、あるいは作成プログラム等を変更する場合は、機構に事前に報告し上記⑪及び⑫を必ず実施すること。

- ⑭ 「ねんきん定期便」の本番品の印字にあたっては、本番検証品作成時と同一の印刷環境で作成するなど、不正出力を防止すること。

- ⑮ 受託事業者は、本番検証品や本番品の品質確認を行うため、以下の措置を講じること。なお、本項目については、変更する場合がある。変更する場合、機構は事前に連絡する。

ア 受託事業者は、1 ロールごとに、ダミー品（＝業者ダミー品）を作成すること。

※作成件数やロールでの作成でない場合等については、別途協議の上、決定する。

イ 受託事業者は、業者ダミー品を用いて、表裏の一致、品質（汚れ、擦れ、加工等）の確認を行い、確認した記録を証跡として、毎月の機構ダミー品の納品日までに提出すること。

ウ 受託事業者は、機構から業者ダミー品及び証跡の提出を求められた場合、速やかに提出すること。

エ 受託事業者は、確認した証跡を契約終了時まで保管すること。

- ⑯ 「ねんきん定期便」に設定されている「お知らせ」欄は、【別添 1】「お知らせ」欄に印字する文言の条件及び内容について」を参照し、印字する文言及び印字条件等の仕様に基づいて出力すること。

- ⑰ 以下ア～イについては、郵便料金割引（「特特割」）の対象外となるため、ハガキの料金後納郵便マークの左側（又は左側と上側）にキャンセルマークを付すこと（キャンセルマークの付与位置については、【別添 3】を参照）。ただし、「8.（6）定期便の封入・封緘」で別途封入封緘を行う点字対象者に該当する場合は、点字送付用封筒にはキャンセルマークを付さずに納品すること。

- ア 「定期便DVD」に収録されている「郵便番号」に不備があるもの（郵便番号不備分）
【別添 3】①特特割→基本割引のキャンセルマークを付すこと。

＜キャンセルマーク付与の仕様＞

「DVD仕様書」ねんきん定期便通知情報ファイル

＜基本レコード／共通部＞【7】郵便番号の設定値

○「オールスペース」もしくは「3桁」・「5桁」など「3桁-4桁」の形式を満たさないもの

- イ その他機構より別途指示する場合

上記ア以外でキャンセルマークを付与する必要がある場合は、機構より別途指示するの
で対応すること。また、受託業者において1回の差出通数の合計が特特割の割引数量に
満たない場合は、定期便を作成する前にキャンセルマークの付与について機構に確認を
行うこと。

(6) 定期便の封入・封緘

- ① 印刷（印字）及び圧着作業が終了した「ねんきん定期便」のうち、【別添９－５】点字対象者情報に収録されている対象者の定期便は、点字対応分として、宛名面を表（上側）として「点字送付用封筒」に封入・封緘を行うこと。

※＜参照先＞

「DVD仕様書」ねんきん定期便通知情報ファイル

＜基本レコード／共通部＞【**2**】基礎年金番号

※【別添９－５】点字対象者情報の件数は、原則、毎月第１回目の定期便DVD貸与時に提供する。

- ② 点字送付用封筒への封入・封緘作業の際には、エンボス加工を潰さないよう留意すること。
- ③ 封入・封緘作業においては、バーコード等の識別手段を活用し、【別添９－５】点字対象者情報に収録されている対象者以外の「ねんきん定期便」を封入していないこと及び封筒の窓から宛名面が見えることを確認すること。なお、バーコード等の付与位置については、必ず帳票内の余白部分を利用することとし、バーコード等の識別手段において、基礎年金番号の全部または一部を使用してはならない。
- ④ 封入・封緘作業において、１通の「ねんきん定期便」のみが封入されていること及び不要なものが同梱されていないことを重量または厚み等の検査で確認し、その検査記録を残すこと。
- ⑤ 点字送付用封筒への封入・封緘作業の際には、封入・封緘数と【別添９－５】点字対象者情報の件数とが一致していることを確認し、その記録を残すこと。
- ⑥ 封入・封緘作業の終了後、点字送付用封筒への糊付け・封緘が確実に行われていることについて検査し、その検査記録を残すこと。

(7) 発送準備（納品区分「①」～「⑦」の仕分け）

「(6) 定期便の封入・封緘」終了後、点字対応分と点字対応分以外のそれぞれに対し、納品区分①～⑦の仕分けを行い、郵便局への発送準備や納品準備を行うこと。また、納品区分②～⑦については、点字対応分による区分とは別に、年齢帯区分別かつ誕生月分／再発行分の別毎に区分を行い、割符を添えて結束すること。

なお、「点字送付用封筒」を結束する際は、エンボス加工を潰さないように留意すること。

① 本人直送分

以下の②～⑦を除く定期便（以下「本人直送分」という。）の納品区分については、郵便番号別の区分を行い、所定の割符を添えて結束すること。

発送準備にあたっては、下記の表の留意事項を踏まえた作業を行うこと。

項目	説明
郵便形状	郵便はがき・封書（定形）
郵便割引	郵便はがき…区分郵便特特割 ※1回の差出通数の合計が特特割の割引数量に満たない場合等は、特割または基本割引となる場合がある。 封書（定形）…基本割引
割引に係る区分作業	5ケタ・3ケタの郵便番号区分を行うこと。 ※基本は郵便番号5ケタ区分であるが、支店によっては3ケタの場合もあるので、区分するだけの通数がない場合には、2ケタでの区分を行うこと。
留意事項	紐等（輪ゴムは不可）により確実に「十字」に把束し、搬送時に区分の荷崩れがないように十分に留意すること。 ※郵便局へ納品する際の納品方法等については、(8) ①イにて後述する「差出郵便局」と調整すること。 (例) ○納品時には、標準的なサイズの板パレット（800～1,100 mm×1,100～1,300 mm）、または差出郵便局から貸し出しする郵便ケースを使用すること。 ○パレットを使用する場合、1枚あたりの積載通数を50,000～60,000通程度とすること。50,000～60,000通に満たない場合には、1枚のパレットにまとめること。 ○郵便ケースを使用する場合は、必要な数量を使用する2日前までに差出郵便局へ連絡すること。 ○フォークリフトを運転できる者を配置すること。

② 引抜依頼分

定期便を引き抜く必要が生じた場合、納品日の5営業日前までに【様式2-1】引抜依頼書もしくは【様式2-2】「ねんきん定期便」引抜依頼書（リスト）により「ねんきん定期便」の引抜を依頼する。該当の定期便については、【様式2-1】もしくは【様式2-2】を添付して納品すること。

※受託事業者は引抜依頼先について機構と協議を行い、引抜依頼先を任意の様式で業務開始前までに書面にて報告すること。

※機構からの依頼、結果報告、納品状況の日時等が分かるように管理すること。なお、非該当については、【様式2-1】もしくは【様式2-2】の原本を直ちに返却すること。

③ 国年特別一時金表示者分

以下の対象者については、「国年特別一時金表示者分」として引拔を行い、「国年特別一時金表示者」と記載した割符を添えて結束、納品すること。

「DVD仕様書」ねんきん定期便通知情報ファイル
＜基本レコード／共通部／共通表示部＞【18】国年特別一時金表示の設定値
○「1」・・・国年特別一時金保有者である

④ 別送対応分

【別添9-1】別送対象者情報 に収録されている対象者の定期便は、別送対応分として引拔を行い、以下の「ア」～「イ」の手順で納品すること。

引拔作業時には、別途機構から書面で提示する件数と、作業に使用する「別送対象者情報」ファイルの件数が一致することを確認すること。

なお、本人直送分との区分を確実にを行うため、受託事業者は、「別送対象者情報」に収録されている「基礎年金番号」（全件）と、「定期便DVD」に収録されている作成対象者の「基礎年金番号」（全件）との突合を行うものとする。

機構においては、受託事業者より毎月納品される事前報告（DVD-R）に収録されている【様式9-3】対象者一覧表（別送対応分）と【別添9-1】別送対象者情報の突合を実施する。

ア 引き抜いた「ねんきん定期便」は【別添9-1】別送対象者情報に収録されている「統一事務所コード」を昇順に並べ替えた状態（同一の「統一事務所コード」のものが複数ある場合は、更に「基礎年金番号」で昇順に並べ替えた状態）にして、年齢帯区分ごとに結束を行うこと。

イ 結束した定期便には「別送対応分」と記載した割符を添付して納品すること。

※＜参照先＞
「DVD仕様書」ねんきん定期便通知情報ファイル
＜基本レコード／共通部＞【2】基礎年金番号

※【別添9-1】「別送対象者情報」の件数は、原則、毎月第1回目の定期便DVD貸与時に提供する。

⑤ 海外居住者分

以下の対象者については、海外居住者分として引拔を行い、「海外居住者」と記載した割符を添えて結束、納品すること。

「DVD仕様書」ねんきん定期便通知情報ファイル
＜基本レコード／共通部＞【7】郵便番号の設定値
○「999-9999」・・・海外居住者である

⑥ 資格記録超過者分

以下の対象者については、「資格記録超過者」として引拔を行い、「資格記録超過者」と記載した割符を添えて結束、納品すること。

「DVD仕様書」ねんきん定期便通知情報ファイル
＜基本レコード／共通部＞【19】資格記録数超過表示の設定値
○「1」・・・職歴明細超過者である

⑦ 郵便番号不備分

以下の対象者については、「郵便番号不備分」として引抜を行い、「郵便番号不備分」と記載した割符を添えて結束、納品すること。

「DVD仕様書」ねんきん定期便通知情報ファイル
＜基本レコード／共通部＞【7】郵便番号の設定値
○郵便番号が全く収録されていないもの
○郵便番号が5桁あるいは3桁など「3桁-4桁」の形式を満たさないもの

※納品区分「②」～「⑦」が重複した場合の納品優先順位

(第1順位)・・・② 引抜依頼分
(第2順位)・・・③ 国年特別一時金表示者分
(第3順位)・・・④ 別送対応分
(第4順位)・・・⑤ 海外居住者分
(第5順位)・・・⑥ 資格記録超過者分
(第6順位)・・・⑦ 郵便番号不備分

(8) 定期便の納品

定期便の納品物及び提出書類の期限及び納品場所は下表のとおり。

項番	納品物・提出書類		納品日・提出日	納品場所
8（8） ①	ねんきん定期便 （本人直送分） ※点字対応分を含む	本人直送分	仕様書【別紙 2】の納品日	指定する郵便局
8（8）	郵便局納品時提出書類 【様式 3】料金後納郵便物差出票 【様式 4】ねんきん定期便差出通数票			
	料金後納郵便物差出票（控え） 後納郵便物等取扱票		納品日から 3 営業日程度	年金記録業務室 記録管理 G
8（8） ②～⑦	ねんきん定期便 （本人直送分以外） ※点字対応分を含む	引抜依頼分	仕様書【別紙 2】の納品日 ただし、当該納品日が 18 日より遅い場合は 18 日（休日の場合は、その直前の営業日）	
		国年特別一時金表示者分		
		別送対応分		
		海外居住者分		
		資格記録超過者分		
		郵便番号不備分		
8（8）	機構ダミー品		各月の最初の納品日前の機構が指定する期日まで	
8（9）	納品関係書類 【様式 6】業務完了報告書 ねんきん定期便（本人直送分以外）の受領書の写し		各月の担当年齢帯区分の最終納品日	
9（1） ①～⑥	事前報告ファイル（DVD-R）		仕様書【別紙 2】納品日の前月の 15 日 （休日の場合は、その直前の営業日）	
9（1） ⑦	事前報告ファイル （郵便物管理システム用）		仕様書【別紙 2】の納品日	
9（2）	事前報告書類（郵便・FAX） 【様式 10】作成件数総括表 【様式 11】発送件数内訳表		仕様書【別紙 2】納品日の 3 営業日前 （休日の場合は、その直前の営業日）	
	【様式 7】作成状況報告書		各月のねんきん定期便の作成完了時	

① 本人直送分（誕生月分・再発行分）

ア 納品日 ・ ・ ・ 仕様書【別紙２】（委託スケジュール）に従って納品すること。

なお、納品作業は「イ」の納品場所に納品予定日の 10 時から 14 時までの間に完了すること。

イ 納品場所 ・ ・ ・ 機構が指定する日本郵便株式会社の郵便局（以下「郵便局」という。）

受託事業者は、納品場所の決定にあたり、次の対応を行うこと。

受託事業者は履行開始日までに差し出しを行う郵便局（以下「差出郵便局」という。）を【別添 10】「差出可能郵便局一覧」より決定して、機構へ報告すること。なお、差出郵便局の決定に際しては、持込み数量の限度や梱包単位、納品方法等について受託事業者と差出郵便局との間で事前に協議を行い、差出郵便局側の了解を得ること。また、協議の内容を機構へ報告すること。

また、契約期間中に差出郵便局を変更する場合は、変更しようとする最初の納品予定日の電子媒体等引渡日までに、上記の協議を行ったうえで決定した差出郵便局を機構へ報告すること。

納品日当日、積み下ろし作業を開始する前に、差出郵便局に対して以下の書類を提出すること。

＜日本年金機構が作成し郵便・FAX 等により受託事業者に送付するもの＞

○【様式 3】「料金後納郵便物差出票」

＜受託事業者が作成するもの＞

○【様式 4】「ねんきん定期便」差出通数票」

※【様式 4】「ねんきん定期便」差出通数票に計上する件数は、郵便局に納品する本人直送分の件数とすること。

また、納品後に差出郵便局より渡される料金後納郵便物差出票の控え及び後納郵便物等取扱票は、納品日から概ね 3 営業日程度以内に機構へ提出すること。

ウ 納品方法等の説明

郵便局への具体的な納品方法等については令和 8 年 1 月 30 日（予定）の「履行開始前定例会議」において説明を行う。

② 引抜依頼分（誕生月分・再発行分）

ア 納品日

仕様書【別紙 2】（委託スケジュール）に示す納品日に納品すること。ただし、当該納品日が 18 日より遅い場合は、18 日とする。（その日が休日の場合は、その前営業日）

なお、機構ダミー品の納品日については、＜納品にあたっての留意事項＞記載のとおりとする。

イ 納品場所

日本年金機構 年金記録業務室 記録管理グループ

③ 国年特別一時金表示者分（誕生月分・再発行分） ・ ・ ・ ・ ・ ② 「引抜依頼分」と同じ

④ 別送対応分（誕生月分・再発行分） ・ ・ ・ ・ ・ ② 「引抜依頼分」と同じ

⑤ 海外居住者分（誕生月分・再発行分） ・ ・ ・ ・ ・ ② 「引抜依頼分」と同じ

⑥ 資格記録超過者分（誕生月分・再発行分） ・ ・ ・ ・ ・ ② 「引抜依頼分」と同じ

⑦ 郵便番号不備分（誕生月分・再発行分） ・ ・ ・ ・ ・ ② 「引抜依頼分」と同じ

<納品にあたっての留意事項>

受託事業者は、仕様書【別紙2】（委託スケジュール）に基づいて納品すること。なお、各月の担当年齢帯区分の最初の納品日前の機構が指定する日までに上記①～⑦の納品物より機構ダミー品の原本（圧着加工まで行ったもの）を引き抜き提出すること。なお、やむを得ない事情がある場合は機構ダミー品を開封したものをFAX等にて提出し、後日原本を提出すること。

機構では、毎月の納品物について検査を行う。検査の結果、不合格と決定した場合は、納品物の再納品を行うこと。再納品された納品物について改めて検査を行い、検査に合格するまでは発送は行わないこととする。

（９） 納品関係書類の提出

受託事業者は、担当年齢帯区分の毎月最終納品日に【様式6】業務完了報告書を機構に提出すること。業務完了報告書の作成においては、誕生月分は原則1つの年齢帯区分の郵便局差出件数を1行にまとめて記載し、納品日が異なる場合は2行に分けて記載すること。再発行分は担当年齢帯区分に関わらず納品日毎にまとめて記載すること。

なお、（７）納品区分②「引抜依頼分」の納品にあたっては、【様式6】業務完了報告書の「備考欄」に引抜件数を再掲し、どの納品区分から引き抜いたものであるかを、以下のとおり明記すること。

（例）「本人直送分」より引抜き：1件

また、【様式6】業務完了報告書の提出時には、ねんきん定期便（本人直送分以外）の受領書の写しをあわせて提出すること。

（１０） 電子媒体等の返却

① 「定期便DVD」及び「ねんきん定期便関係情報」（DVD-R、セキュアUSBメモリ）等

当該電子媒体により作成された「ねんきん定期便」の納品日の属する月の翌月10日（その日が休日の場合はその直前の営業日）までに返却すること。ただし、3月誕生月分及び2月再発行分については、令和9年3月19日までに返却すること。

なお、詳細な返却方法は令和8年1月30日（予定）の「履行開始前定例会議」において連絡する。

※ 返却の際には、当該月にかかる電子媒体等を一括して返却すること。

※ 機構では、電子媒体等の返却を確認後、【様式1-3】個人情報授受管理票（返却）に「受領日」・「受領確認」に署名又は押印し、写しを手交する。

※ 受託事業者は、「ねんきん定期便」を納品後、「ねんきん定期便」の作成に使用したデータを復元又は判読が不可能な方法により完全に消去し、【様式1-3】個人情報授受管理票（返却）の提出時に、仕様書【別紙9】「個人情報等の返却・廃棄等に関する報告書」を併せて提出すること。

印刷専用社会保険フォント（セキュアUSBメモリ）

初回電子媒体返却時に併せて返却すること。なお、使用したデータの消去については、電子媒体等の最終返却分（令和9年3月発送分の電子媒体）に併せて、復元又は判読が不可能な方法により完全に消去することとし、完全消去されていることが確認できる証拠を添付すること。

（１１） 毀損品・残材等の廃棄

「ねんきん定期便」作成及び発送準備業務の過程で発生する毀損品・残材等については、上記（１０）

①の仕様書【別紙9】「個人情報等の返却・廃棄等に関する報告書」の提出時までに受託事業者が廃棄を実施すること。廃棄は、裁断・溶解等の方法により、元の形状が判別不能となる状態で行うこと。上

記（１０）①と併せて、仕様書【別紙９】「個人情報等の返却・廃棄等に関する報告書」を提出すること。

※毀損品・残材等に個人情報が含まれている場合は、廃棄にあたって個人情報の漏洩が発生しないよう、特に留意すること。

（１２） 部材の廃棄等

部材の余剰分が発生した場合については、履行期間終了時までに、機構に引き渡し又は受託事業者において廃棄するものとする。

引き渡し又は廃棄の指示は履行期間終了時の１５日前までに機構より指示するので対応すること。なお、部材の引き渡しにあたっては、日本年金機構 年金記録業務室 記録管理グループ（東京都調布市）以外の引渡場所を、東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県のいずれかの範囲内で指定する場合がある。

9. 機構への事前報告

(1) 電子媒体（DVD-R）による事前報告

① 提出期日

仕様書【別紙2】（委託スケジュール）の納品月の前月15日
（その日が休日の場合は、その直前の営業日）

② 電子媒体（DVD-R）作成時の注意点

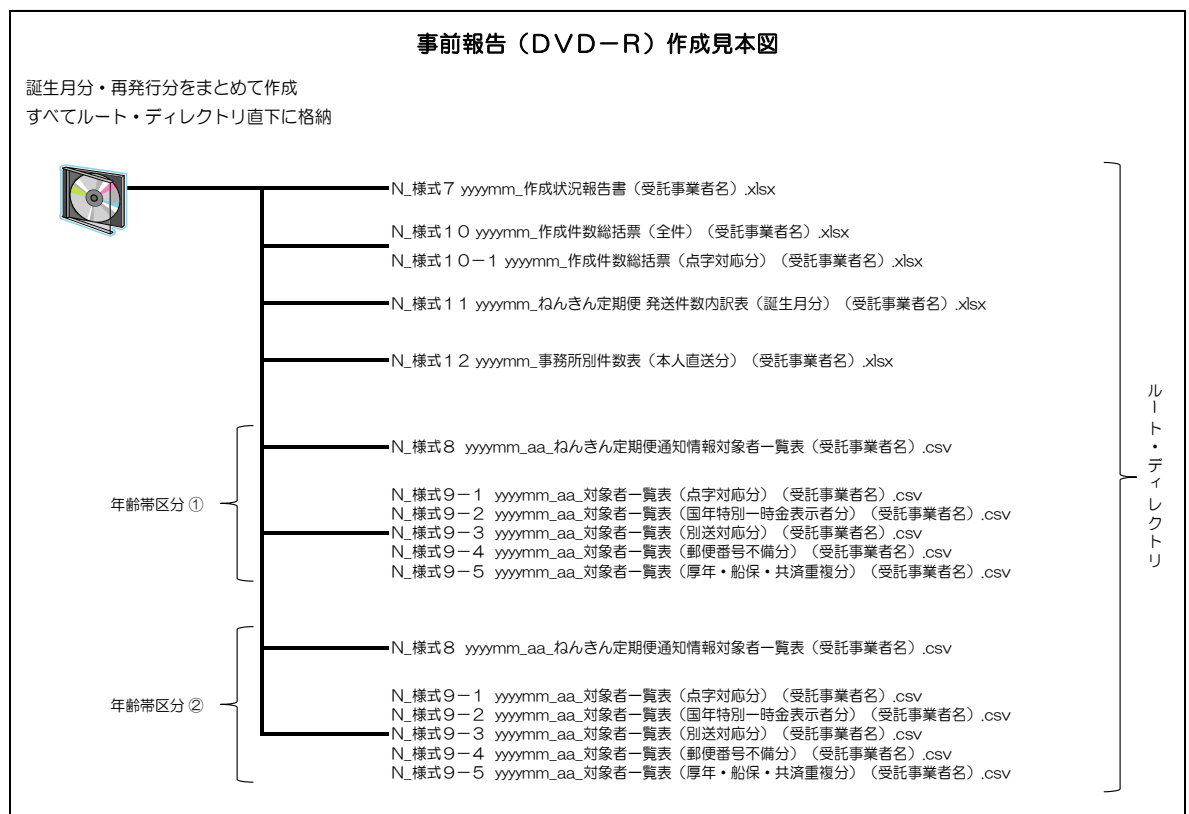
※誕生月分・再発行分を1枚の電子媒体（DVD-R）で作成すること。（別々の電子媒体で作成しない）

※【様式7】、【様式8】、【様式9-1】～【様式9-5】及び【様式10】～【様式12】は、DVD-Rのルート・ディレクトリに収録すること。

※【様式8】、【様式9-1】～【様式9-5】について、担当する年齢帯区分の「定期便DVD」（正・副）を2組以上貸与されている場合は、年齢帯区分毎に一つのファイルにマージ（結合）して作成・収録すること。（※定期便DVD毎にファイルを分割作成しない）

※電子媒体（DVD-R）作成時には、AESに準拠した暗号化（自己解凍形式・EXEファイル）を行うこと。使用するパスワードは3か月ごとに更新を行う。なお、初回について、令和8年1月30日（予定）の履行開始前定例会議において連絡する。

③ 電子媒体（DVD-R）作成見本図



④ 事前報告（ファイル）作成時の注意点

- ア 作成するファイル名は、下記の「⑤ 事前報告（ファイル）の種類」で示す名称を使用すること。
- イ 作成するファイル名の「N_」は該当する調達を識別する半角数字で表示すること。
- ウ 作成するファイル名の「yyyymm」は納品月の年月（西暦）を半角数字で表示すること。
- エ 作成するファイル名の「aa」は該当する年齢帯区分のファイル識別子（下記表参照）を半角数字（漢字1文字を含む場合がある）で表示すること。

調達識別子 (N_)	年齢帯区分	ファイル識別子 (aa_)
1	15 歳～20 歳	15
	21～29 歳	21
	30～34・36～39 歳	30
	15～49 歳（共済記録あり者）	15 共
	40～44・46～49 歳	40
2	50～54 歳	50
	55～58・60 歳	55
	50～60 歳（共済記録あり者）	50 共
	61 歳以上 ※被保険者	61 被
	61 歳以上 ※受給者	61 受
	61 歳以上（共済記録あり者） ※被保険者	61 共被
	61 歳以上（共済記録あり者） ※受給者	61 共受

- オ 作成するファイル名の「(受託事業者名)」は、株式会社等を除いた受託事業者名とすること。
- カ 【様式8】、【様式9-1】～【様式9-5】については、収録件数が0件（データ無し）の場合も、報告ファイルを0件で作成すること。
- キ 【別添7】「事前報告データ（DVD-R）ラベル及びディスクケースラベルの作成方法」を参照し、事前納品データを作成すること。

⑤ 事前報告（ファイル）の種類

ア 【様式7】作成状況報告書（※データ形式：Excelブック）

<ファイル名>

N_様式7 yyyymm_作成状況報告書（受託事業者名）.xlsx

（注）【様式10】作成件数総括表を作成する時点での定期便作成状況を報告すること。

イ 【様式8】「ねんきん定期便」通知情報対象者一覧表（※データ形式：CSV）

<ファイル名>

N_様式8 yyyymm_aa ねんきん定期便通知情報対象者一覧表（受託事業者名）.csv

ウ 【様式9-1】対象者一覧表（点字対応分）（※データ形式：CSV）

<ファイル名>

N_様式9-1 yyyymm_aa_対象者一覧表（点字対応分）（受託事業者名）.csv

エ 【様式9-2】対象者一覧表（国年特別一時金表示者分）（※データ形式：CSV）

<ファイル名>

N_様式9-2 yyyymm_aa_対象者一覧表（国年特別一時金表示者分）（受託事業者名）.csv

オ 【様式9-3】対象者一覧表（別送対応分）（※データ形式：CSV）

<ファイル名>

N_様式9-3 yyyymm_aa_対象者一覧表（別送対応分）（受託事業者名）.csv

（注）対象者一覧表（別送対応分）の「統一事務所コード」には、【別添9-1】別送対象者情報に収録されている「統一事務所コード」を記載すること。【別添9-6】郵便番号統一事務所コードテーブルと突合した「統一事務所コード」ではないので留意すること。

カ 【様式9-4】対象者一覧表（郵便番号不備分）（※データ形式：CSV）

＜ファイル名＞

N_様式 9-4 yyyy-mm-aa_対象者一覧表（郵便番号不備分）（受託事業者名）.csv

キ 【様式9-5】対象者一覧表（厚年・船保・共済重複分）（※データ形式：CSV）

＜ファイル名＞

N_様式 9-5 yyyy-mm-aa_対象者一覧表（厚年・船保・共済重複分）（受託事業者名）.csv

ク 【様式10】作成件数総括表（全件）（※データ形式：Excelブック）

＜ファイル名＞

N_様式 10 yyyy-mm-aa_作成件数総括表（全件）（受託事業者名）.xlsx

（注）再発行分については、担当する全ての年齢帯区分ごとに件数を記載すること。

ケ 【様式10-1】作成件数総括表（点字対応分）（※データ形式：Excelブック）

＜ファイル名＞

N_様式 10-1 yyyy-mm-aa_作成件数総括表（点字対応分）（受託事業者名）.xlsx

（注）再発行分については、担当する全ての年齢帯区分ごとに件数を記載すること。

コ 【様式11】「ねんきん定期便」 発送件数内訳表（※データ形式：Excelブック）

＜ファイル名＞

N_様式 11 yyyy-mm-aa_ねんきん定期便 発送件数内訳表（受託事業者名）.xlsx

（注）再発行分については、担当する全ての年齢帯区分ごとに件数を記載すること。

サ 【様式12】事務所別件数表（本人直送分）（※データ形式：Excelブック）

＜ファイル名＞

N_様式 12 yyyy-mm-aa_事務所別件数表（本人直送分）（受託事業者名）.xlsx

（注1）再発行分については、担当する全ての年齢帯区分の合計数を記載すること。

（注2）「本人直送分」データの「7」郵便番号を【別添9-6】「郵便番号統一事務所コードテーブル」と突合し、該当する「統一事務所コード」ごとに件数を計上すること。

（注3）「郵便番号統一コードテーブル」に該当する郵便番号がない場合は、「該当の郵便番号登録無し」欄に件数を計上すること。

（注4）「本人直送分」データの「7」郵便番号を「郵便番号統一事務所コードテーブル」と突合した結果、「郵便番号統一事務所コードテーブル」に、該当する郵便番号が複数存在する場合は、以下の通りとすること。

※複数の郵便番号に対応する「事務センター名」が同一の事務センター名である場合「事務センター」ごとに件数を計上すること。

※複数の郵便番号に対応する「事務センター名」が複数の事務センター名である場合「該当の事務センター特定不能」欄に件数を計上すること。

⑥ 事前報告（ファイル）の様式、収録内容の変更等

委託契約期間中に、上記⑤ア～サに収録する内容の追加、変更、廃止を行う場合がある。その際は、追加、変更、廃止を行う前々々月の1日（その日が休日の場合はその直前の営業日）までに連絡を行う。

⑦ 事前報告（ファイル）（郵便物管理システム用）の作成

定期便の送付結果について、【別添6】事前報告（ファイル）（郵便物管理システム用）作成仕様書に基づき事前報告（ファイル）（郵便物管理システム用）を作成し、指定の期日に納品すること。

(2) 郵便・FAX 等による事前報告

以下に記載する「ねんきん定期便」にかかる①～③の報告様式については、それぞれの条件に該当する場合、所定の期間までに郵便・FAX 等により機構に提出すること。

① 【様式10】作成件数総括表（全件）及び【様式10-1】作成件数総括表（点字対応分）

・・・「8.（7）②引抜依頼分」の該当者が確定して件数が変更となる場合

上記（1）⑤ ク【様式10】作成件数総括表（全件）及び ケ【様式10-1】作成件数総括表（点字対応分）の「郵便局納品分本人直送件数」または「記録管理 G 納品分」の各納品区分及び「引抜依頼分」に件数を追記・変更すること。（※「郵便局納品分本人直送件数」または「記録管理 G 納品分」の各納品区分から「引抜依頼分」の件数が引いてあるか、合計欄の件数が正しいか注意すること）

引抜該当者確定後、仕様書【別紙2】で定める納品日の3営業日前（その日が休日の場合はその直前の営業日）までに、郵便・FAX 等により機構に提出すること。

② 【様式11】ねんきん定期便 発送件数内訳表

・・・「8.（7）②引抜依頼分」の該当者が確定して件数が変更となる場合

上記（1）⑤ コ【様式11】「ねんきん定期便」 発送件数内訳表の「はがき」6g（BC有）・6g（BC無）「引抜依頼分」に件数を追記・変更すること。（※「はがき」6g（BC有）・6g（BC無）から「引抜依頼分」の件数が引いてあるか、合計欄の件数が正しいか注意すること。）

引抜該当者確定後、仕様書【別紙2】で定める納品日の3営業日前（その日が休日の場合はその直前の営業日）までに、郵便・FAX 等により機構に提出すること。

③ 【様式7】作成状況報告書

・・・「9.（1）電子媒体（DVD-R）による事前報告」時に作業が未了の場合

上記（1）⑤ ア【様式7】作成状況報告書については、提出日時時点で「ねんきん定期便」の作成作業を完了していない場合は、作成完了時に、【様式7】作成状況報告書を再提出すること。提出は、郵便・FAX 等により行うこととする。

Ⅱ. 委託条件等

1. 第三者への委託（再委託）

（１） 第三者への委託（再委託）の制限

- ① 委託業務の実施にあたり、当該業務の全部または主体的部分を、再委託することは認めないものとする。ただし、やむを得ない事情により当該業務の主体的部分を除く一部について再委託をする場合には、事前に機構の書面による承認を得なければならない。
- ② 主体的部分を除く一部の業務であっても、個人情報※が目に触れる業務を再委託することは認めないものとする。
※仕様書 1.（３）定義の①個人情報にて示した定義のとおり。
- ③ 第三者への委託の承認を受けた場合には、再委託先と本契約にて受託事業者課せられている守秘義務等と同等以上の条件で、機構が再委託先に調査等を行える条件が含まれた契約を締結し、その写しを提出すること。

（２） 第三者への委託（再委託）可能な業務

本業務において主体的部分を除く一部とは、次の業務に限る。

- ① 「ねんきん定期便」作成業務のうち、作成データ（電子媒体等）貸与・返却時の搬送
 - ・Ⅰ. 8.（１）電子媒体等の受領
 - ・Ⅰ. 8.（１０）電子媒体等の返却
 - ・Ⅱ. 2. 搬送について
- ② 「ねんきん定期便」発送準備業務のうち、納品時の搬送及び納品関係書類の提出
 - ・Ⅰ. 8.（８）定期便の納品
 - ・Ⅰ. 8.（９）納品関係書類の提出
 - ・Ⅱ. 2. 搬送について
- ③ 部材の保管、廃棄及び搬送
 - ・Ⅰ. 8.（２）部材の保管
 - ・Ⅰ. 8.（１２）部材の廃棄等
 - ・Ⅱ. 2. 搬送について

※再委託が可能となる業務については、「Ⅰ. 2. 業務の概要」の概要図を参照。

（３） 再委託先への監督

機構は、再委託先の監督を受託事業者に求めるものとする。

（４） 再委託を実施する場合の遵守事項

- ① 再委託にあたっては、以下の事項を遵守すること。
 - ア 再委託者に対する委託要領については、この委託要領に定める「委託条件」を必ず規定すること。
 - イ 再委託先との契約には以下の事項を盛り込むこと。
 - 受託事業者の再委託先に対する監督・監査・報告書の提出を求める権限
 - 機構の再委託先に対する監査・報告聴取に関する権限
 - 再委託先における個人情報の漏えい・盗用・改ざん及び目的外利用等の禁止

- 再委託先における個人情報保護のための体制の整備及び安全管理措置
 - 再々委託の禁止
 - 個人情報等の漏えいが発生した場合の受託事業者の責任
- ② 再委託の承認を受けた場合においても、受託事業者は再委託先の行為について全責任を負うものとし、受託業務に違反した場合、機構は再委託の承認を取り消すとともに、受託事業者は機構における全ての損害を再委託先と連帯して補填するものとする。

2. 搬送について

(1) 使用する車両について

搬送に使用する車両は、施錠可能な有蓋車とし、受託事業者の自社便又は配送業者を使用すること。

(2) 搬送時の留意事項

- ① 委託業務以外の他の物品との混載は行わないこと。
- ② 電子媒体等の搬送にあたっては、水漏れや落下等による破損（電子媒体等の記録内容の破壊を含む）、盗難及び紛失等による情報漏えいを防止するため、破損を防止する容器（電子媒体用プラスチックケース等）に収納すると共に、施錠のできる堅固な容器（ジュラルミン製等）を用いる等の所要の措置を講じたうえで複数名にて搬送することとし、必要な物品は受託事業者があらかじめ準備すること。
- ③ 電子媒体以外の搬送にあたっては、指定した保管容器（段ボール箱等）を使用し、集配送に適した梱包を行うこと。

3. 作業状況の管理及び問題発生時の対応

(1) 現場責任者による管理

現場責任者は、作業状況を常に把握し、作成業務（作成データの加工・印刷・圧着作業等）の正常な進捗、発送準備業務における調布納品分や利用者区分割引等に対応した仕分けや取りまとめ、個人情報及び完成品の保管方法等に注意を払うこと。

(2) 事故又は作業工程において問題が発生した場合の対応

- ① 事故又は作業工程において問題が発生した場合は、仕様書9（4）事故発生時の緊急対応体制の届出に応じて発生状況、原因等について把握し、連絡担当窓口を経由し直ちに事故処理状況等を機構に報告し、機構の指示を仰ぐこと。
- ② 機械停止等が発生した場合、ヒューマンエラーを防止するための適切な措置を講じること。
- ③ 完成品として日本郵便株式会社へ差し出された後に不良箇所等が判明した場合、事故発生までの間に完成品として日本郵便株式会社に差し出された「ねんきん定期便」及び、現在作成作業中の「ねんきん定期便」についても、同様の事象が発生していないか点検し、機構に報告すると共に、その後の対応について機構の指示を仰ぐこと。

4. 外部電磁的記録媒体の取扱い

(1) パスワードの設定

外部電磁的記録媒体のパスワードは日本年金機構より通知する。

(2) 外部電磁的記録媒体の送付

本委託要領の外部電磁的記録媒体を機構に送付する際は、追跡可能な方法によることとし、送付物の送付事蹟を記録（送付物、宛先、送付年月日、到着年月日、追跡証書（特定記録郵便追跡番号等））すること。

(3) パスワードの紛失等の対応

受託事業者は、パスワードが本来閲覧できる者以外の者に知られた場合又はパスワード通知書を紛失した場合は、直ちに機構に報告の上、外部電磁的記録媒体を追跡可能な方法により機構へ返却（又は提出）すること。

なお、機構が郵便事故等によりパスワード通知書の紛失を把握した場合は、機構からその旨連絡する。受託事業者は、連絡を受けた後直ちに外部電磁的記録媒体を追跡可能な方法により機構へ返却（又は提出）すること。

(4) ウイルススキャンの実施

機構へ提出又は納品する外部電磁的記録媒体は、最新のウイルスパターンにより、ウイルススキャンを実施の上、ウイルスが検知されなかったものを納品すること。（その結果を納品の際に添付すること）

委託要領
別紙・別添・様式

[直近 1 年間通知者用]

別紙

- 別紙 1 「ねんきん定期便」(直近 1 年間通知者／50 歳未満者用) ※令和 8 年 4 月～9 月発送分
- 別紙 1-1 「ねんきん定期便」(直近 1 年間通知者／50 歳未満者用) ※令和 8 年 10 月～令和 9 年 3 月発送分
- 別紙 2 「ねんきん定期便」(直近 1 年間通知者／50 歳以上者用) ※令和 8 年 4 月～9 月発送分
- 別紙 2-1 「ねんきん定期便」(直近 1 年間通知者／50 歳以上者用) ※令和 8 年 10 月～令和 9 年 3 月発送分
- 別紙 3 「ねんきん定期便」(直近 1 年間通知者／年金受給者用) ※令和 8 年 4 月～9 月発送分
- 別紙 3-1 「ねんきん定期便」(直近 1 年間通知者／年金受給者用) ※令和 8 年 10 月～令和 9 年 3 月発送分
- 別紙 4 点字送付用封筒

別添

- 別添 1 「お知らせ」欄に印字する文言の条件及び内容について
- 別添 2 音声コード印字要領
- 別添 3 「ねんきん定期便」のキャンセルマーク付与位置について
- 別添 4 カスタマバーコードの付与について
- 別添 5 各帳票の出力位置・出力仕様書・音声コード・二次元コード仕様書
(別添 5-1-1～5-3-6) ※令和 8 年 4 月～9 月発送分
(別添 5-1-1-1～5-3-6-1) ※令和 8 年 10 月～令和 9 年 3 月発送分
- 別添 6 事前報告(ファイル)(郵便物管理システム用)作成仕様書
- 別添 7 事前報告データ(DVD-R)ラベル及びディスクケースラベルの作成方法
- 別添 8 「ねんきん定期便」通知情報 DVD(直近 1 年出力者) 仕様書
- 別添 9 別送対象者情報・作成対象外者情報・ねんきん特別便情報・点字対象者情報
郵便番号統一事務所コードテーブル(別添 9-1～9-3、9-5～9-6)
- 別添 10 差出可能郵便局一覧

様式

- 様式 1 外部電磁的記録媒体移送許可申請書兼回付書・個人情報授受管理票(回付書補助票)
・個人情報授受管理票(返却)(様式 1-1～1-3)
- 様式 2 引抜依頼書・「ねんきん定期便」引抜依頼書(リスト)(様式 2-1～2-2)
- 様式 3 料金後納郵便物差出票
- 様式 4 「ねんきん定期便」差出通数票
- 様式 5 本番検証品にかかる品質保証並びに作成誤り防止にかかる報告書
- 様式 6 業務完了報告書
- 様式 7 作成状況報告書
- 様式 8 「ねんきん定期便」通知情報対象者一覧表
- 様式 9 対象者一覧表(様式 9-1～9-5)
- 様式 10 作成件数総括表(全件)(様式 10-1 作成件数総括表(点字対応分))
- 様式 11 「ねんきん定期便」発送件数内訳表
- 様式 12 事務所別件数表(本人直送分)

○ ○ ○ ○ ○

「ねんきん定期便」（直近1年間通知者／50歳未満者用）裏面（令和8年4月～9月発送分）

「ねんきん定期便」記載内容についてのお知らせ

○厚生年金保険料は、被保険者と事業主が折半して負担することとされており、被保険者であった時の賃金や期間に応じて年金額が計算されます。「ねんきん定期便」ではご本人の納付実績として被保険者負担分の保険料納付額を記載しており、お手持ちの給与明細等に記載されている保険料額で確認ができます。

○各項目に関する見方の詳細は、日本年金機構のホームページでご案内しています。

ねんきん定期便 見方

検索

(<https://www.nenkin.go.jp/service/nenkinkiroku/torikumi/teikibin/teikibin.html>)

[データ作成日]

国民年金および 一般厚生年金期間	公務員厚生年金期間 (国家公務員・地方公務員)	私学共済厚生年金期間 (私立学校の教職員)

この定期便は、上記データ作成日時点の前々月までの記録をお知らせしています。納付記録がデータに反映されるまで日数がかかることがあります。

「ねんきんネット」をご利用しませんか？

○「ねんきんネット」は、スマートフォンやPCからご自身の年金記録や電子版「ねんきん定期便」の確認、年金受給開始を遅らせる場合などの年金見込額の試算、持ち主不明の年金記録の検索（亡くなられた方の年金記録を含む）などができるサービスです。

○マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナポータルから簡単に利用登録ができます。また、お持ちでない方も、基礎年金番号と右記の「お客様のアクセスキー」を使用して日本年金機構ホームページから利用登録ができます。

○「ねんきん定期便」は「ねんきんネット」からペーパーレス化の登録ができます。環境への配慮に、ぜひご協力をお願いします。

スマートフォンでのご利用登録はこちら➡

(https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do)

二次元コード

お問い合わせは「ねんきん定期便・ねんきんネット専用番号」へ



0570-058-555

全国一律の通話料金でご利用いただけます。
通話料金定額プランの対象外です。

050から始まる電話からおかけになる場合（東京）03-6700-1144

受付時間	月 曜 日※1	8：30～19：00	※1 月曜日が祝日の場合は、翌日以降の 平日の初日に19：00まで受け付けます。
	火～金曜日	8：30～17：15	
	第2土曜日※2	9：30～16：00	※2 第2土曜日以外の土・日・祝日 12/29～1/3はご利用いただけません。

1. これまでの保険料納付額（累計額）

(1) 国民年金保険料 (第1号被保険者期間)	円
(2) 厚生年金保険料(被保険者負担額)	
一般厚生年金期間	円
公務員厚生年金期間	円
私学共済厚生年金期間	円
(1)と(2)の合計	円

※厚生年金保険料は事業主も上記の被保険者負担額と同額を負担しています。

2. これまでの年金加入期間（老齢年金の受け取りには、原則として120月以上の受給資格期間が必要です）

国民年金（a）			付加保険料 納付済月数	船員保険（c）	年金加入期間 合計 (未納月数を除く) （a+b+c）	合算対象期間等 （d）	受給資格期間 （a+b+c+d）
第1号被保険者 (未納月数を除く)	第3号被保険者	国民年金 計 (未納月数を除く)					
月	月	月	月	月			
厚生年金保険（b）					月	月	月
一般厚生年金	公務員厚生年金	私学共済厚生年金	厚生年金保険 計				
月	月	月	月				

3. これまでの加入実績に応じた年金額（年額）

(今後の加入状況に応じて年金額は増額します※表面の図もご覧ください)

(1) 老齢基礎年金	円
(2) 老齢厚生年金	
一般厚生年金期間	円
公務員厚生年金期間	円
私学共済厚生年金期間	円
(1)と(2)の合計	円

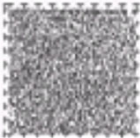
※一般厚生年金期間の報酬比例部分には、厚生年金基金の代行部分を含んでいます。
※基礎年金給付の2分の1相当は国庫から負担されています。

お客様へのお知らせ

ねんきんネットの「お客様のアクセスキー」

※「お客様のアクセスキー」の有効期限は、
左記データ作成日から5カ月後の月末までです。

右のマークは目の不自由な
方のための音声コードです。



[illegible]

「ねんきん定期便」（直近 1 年間通知者／50歳未満者用）裏面 （令和8年10月～令和9年3月発送分）

「ねんきん定期便」記載内容についてのお知らせ

○厚生年金保険料は、被保険者と事業主が折半して負担することとされており、被保険者であった時の賃金や期間に応じて年金額が計算されます。「ねんきん定期便」ではご本人の納付実績として被保険者負担分の保険料納付額を記載しており、お手持ちの給与明細等に記載されている保険料額で確認ができます。

○各項目に関する見方の詳細は、日本年金機構のホームページでご案内しています。

ねんきん定期便 見方

検索

(<https://www.nenkin.go.jp/service/nenkinkiroku/torikumi/teikibin/teikibin.html>)

【データ作成日】

国民年金および一般厚生年金期間	公務員厚生年金期間 (国家公務員・地方公務員)	私学共済厚生年金期間 (私立学校の教職員)

この定期便は、上記データ作成日時点の前々月までの記録をお知らせしています。
納付記録がデータに反映されるまで日数がかかることがあります。

「ねんきんネット」をご利用しませんか？

○「ねんきんネット」は、スマートフォンやPCからご自身の年金記録や電子版「ねんきん定期便」の確認、年金受給開始を遅らせる場合などの年金見込額の試算、持ち主不明の年金記録の検索（亡くなられた方の年金記録を含む）などができるサービスです。

○マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナポータルから簡単に利用登録ができます。また、お持ちでない方も、基礎年金番号と右記の「お客様のアクセスキー」を利用して日本年金機構ホームページから利用登録ができます。

○「ねんきん定期便」は「ねんきんネット」からペーパーレス化の登録ができます。環境への配慮に、ぜひご協力をお願いします。

スマートフォンでのご利用登録はこちら

(https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSOR.do)

お問い合わせは「ねんきん定期便・ねんきんネット専用番号」へ

0570-058-555

全国一律の通話料金でご利用いただけます。
ナビダイヤル。通話料金定額プランの対象外です。

050から始まる電話からおかけになる場合（東京）03-6700-1144

受付時間

月曜日※1 8：30～19：00
火～金曜日 8：30～17：15
第2土曜日※2 9：30～16：00

※1 月曜日が祝日の場合は、翌日以降の平日の初日に19：00まで受け付けます。
※2 第2土曜日以外の土・日・祝日
12/29～1/3はご利用いただけません。

1. これまでの保険料納付額（累計額）

(1) 国民年金保険料 (第1号被保険者期間)	円
(2) 厚生年金保険料(被保険者負担額)	
一般厚生年金期間	円
公務員厚生年金期間	円
私学共済厚生年金期間	円
(1)と(2)の合計	円

※厚生年金保険料は事業主も上記の被保険者負担額と同額を負担しています。

2. これまでの年金加入期間（老齢年金の受け取りには、原則として120月以上の受給資格期間が必要です）

国民年金（a）			付加保険料 納付済月数	船員保険（c）	年金加入期間 合計 (未納月数を除く) (a+b+c)	合算対象期間等 (d)	受給資格期間 (a+b+c+d)
第1号被保険者 (未納月数を除く)	第3号被保険者	国民年金 計 (未納月数を除く)					
月	月	月		月			
厚生年金保険（b）							
月				月		月	月

※一般厚生年金期間の報酬比例部分には、厚生年金基金の代行部分を含んでいます。
※基礎年金給付の2分の1相当は国庫から負担されています。

3. これまでの加入実績に応じた年金額（年額）
(今後の加入状況に応じて年金額は増額します※表面の図もご覧ください)

(1) 老齢基礎年金	円
(2) 老齢厚生年金	
一般厚生年金期間	円
公務員厚生年金期間	円
私学共済厚生年金期間	円
(1)と(2)の合計	円

お客様へのお知らせ

ねんきんネットの「お客様のアクセスキー」

※「お客様のアクセスキー」の有効期限は、
左記データ作成日から5カ月後の月末までです。

右のマークは目の不自由な
方のための音声コードです。



「ねんきん定期便」（直近1年間通知者／50歳以上者用）裏面 （令和8年4月～9月発送分）

「ねんきん定期便」記載内容についてのお知らせ

○厚生年金保険料は、被保険者と事業主が折半して負担することとされており、被保険者であった時の賃金や期間に応じて年金額が計算されます。「ねんきん定期便」ではご本人の納付実績として被保険者負担分の保険料納付額を記載しており、お手持ちの給与明細等に記載されている保険料額で確認ができます。

○各項目に関する見方の詳細は、日本年金機構のホームページでご案内しています。

ねんきん定期便 見方

検索

(https://www.nenkin.go.jp/service/nenkinkiroku/torikumi/teikibin/teikibin.html)

[データ作成日]

国民年金および 一般厚生年金期間	公務員厚生年金期間 (国家公務員・地方公務員)	私学共済厚生年金期間 (私立学校の教職員)

この定期便は、上記データ作成日時点の前々月までの記録をお知らせしています。
納付記録がデータに反映されるまで日数がかかることがあります。

「ねんきんネット」をご利用しませんか？

○「ねんきんネット」は、スマートフォンやPCからご自身の年金記録や電子版「ねんきん定期便」の確認、年金受給開始を遅らせる場合などの年金見込額の試算、持ち主不明の年金記録の検索（亡くなられた方の年金記録を含む）などができるサービスです。

○マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナポータルから簡単に利用登録ができます。また、お持ちでない方も、基礎年金番号と右記の「お客様のアクセスキー」を使用して日本年金機構ホームページから利用登録ができます。

○「ねんきん定期便」は「ねんきんネット」からペーパーレス化の登録ができます。環境への配慮に、ぜひご協力をお願いします。

スマートフォンでのご利用登録はこちら➡

(https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do)

二次元コード

お問い合わせは「ねんきん定期便・ねんきんネット専用番号」へ



0570-058-555

全国一律の通話料金でご利用いただけます。
ナビダイヤル。通話料金定額プランの対象外です。

050から始まる電話からおかけになる場合 （東京）03-6700-1144

受付時間	月曜日※1	8:30～19:00	※1 月曜日が祝日の場合は、翌日以降の 平日の初日に19:00まで受け付けます。
	火～金曜日	8:30～17:15	
	第2土曜日※2	9:30～16:00	
			※2 第2土曜日以外の土・日・祝日 12/29～1/3はご利用いただけません。

2. これまでの年金加入期間（老齢年金の受け取りには、原則として120月以上の受給資格期間が必要です）

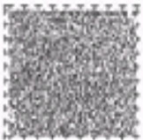
国民年金（a）			付加保険料 納付済月数	船員保険（c）	年金加入期間 合計 (未納月数を除く) (a + b + c)	合算対象期間等 (d)	受給資格期間 (a + b + c + d)
第1号被保険者 (未納月数を除く)	第3号被保険者	国民年金 計 (未納月数を除く)					
月	月	月	月	月			
厚生年金保険（b）					月	月	月
一般厚生年金	公務員厚生年金	私学共済厚生年金	厚生年金保険 計				
月	月	月	月				

3. 老齢年金の種類と見込額（年額）（60歳未満の方は現在の加入条件が60歳まで継続すると仮定して見込額を計算しています）

受給開始年齢	歳～	歳～	歳～	歳～
(1) 基礎年金				老齢基礎年金
				円
(2) 厚生年金	特別支給の老齢厚生年金	特別支給の老齢厚生年金	特別支給の老齢厚生年金	老齢厚生年金
一般厚生年金期間		(報酬比例部分) 円	(報酬比例部分) 円	(報酬比例部分) 円
		(定額部分) 円	(定額部分) 円	(経過的加算部分) 円
公務員厚生年金期間	(報酬比例部分) 円	(報酬比例部分) 円	(報酬比例部分) 円	(報酬比例部分) 円
	(定額部分) 円	(定額部分) 円	(定額部分) 円	(経過的加算部分) 円
私学共済厚生年金期間	(報酬比例部分) 円	(報酬比例部分) 円	(報酬比例部分) 円	(報酬比例部分) 円
	(定額部分) 円	(定額部分) 円	(定額部分) 円	(経過的加算部分) 円
	(経過的加算額) 円	(経過的加算額) 円	(経過的加算額) 円	(経過的加算額) 円
	(経過的加算額) 円	(経過的加算額) 円	(経過的加算額) 円	(経過的加算額) 円
(1) と (2) の合計	円	円	円	円

※年金見込額は今後の加入状況や経済動向などによって変わります。あくまで目安としてください。
※一般厚生年金期間の報酬比例部分には、厚生年金基金の代行部分を含んでいます。
※基礎年金給付の2分の1相当は国庫から負担されています。

右のマークは目の不自由な
方のための音声コードです。



お客様へのお知らせ

ねんきんネットの「お客様のアクセスキー」

※「お客様のアクセスキー」の有効期限は、左記データ作成日から5カ月後の月末までです。



料金後納郵便

親展

照会番号	公務員共済の加入者番号	私学共済の加入者番号	※お問い合わせの際は、 照会番号をお伝えください。

最近の月別状況です

①年金の受給開始時期は、60歳から75歳まで選択できます。
 ②年金受給を遅らせた場合、年金額が増額します。
 (例) 70歳を選択した場合、65歳と比較して42%増額
 75歳を選択した場合、65歳と比較して84%増額(最大)
 (注)・65歳以降で厚生年金保険の被保険者等である場合は、在職支給停止額を差し引いた額が、繰下げによる増額の計算対象となります。
 ・遺族年金や障害年金を受け取ることができる場合には、老齢年金の受給開始時期を遅らせることができないことがあります。

令和8年度の「ねんきん定期便」です。

開封前にあて名をご確認ください。
 お届け先のご住所に、現在、受取人の方がお住まいでない場合には、
 お手数をおかけしますが、「誤配」、「転居した」等をハガキに
 ご記入いただき、開封せずにそのままポストに入れてください。



日本年金機構
Japan Pension Service

〒168-8505 東京都杉並区高井戸西3丁目5番24号

お知らせは内側にあります。
矢印の方向へゆっくりはがしてご覧ください。

令和8年10月より 帳票レイアウト変更予定

1. これまでの保険料納付額（累計額）

(1) 国民年金保険料 (第1号被保険者期間)	円
(2) 厚生年金保険料（被保険者負担額）	
一般厚生年金期間	円
公務員厚生年金期間	円
私学共済厚生年金期間	円
(1) と (2) の合計	円

※厚生年金保険料は事業主も上記の被保険者負担額と同額を負担しています。

下記の月別状況や裏面の年金加入期間に「まれ」や「誤り」とあると思われる方は、お近くの年金事務所にお問い合わせください。

年月 (和暦)	国民年金 (第1号・第3号 納付状況)	厚生年金保険		
		加入区分	標準報酬月額 (千円)	標準賞与額 (千円)

二次元コード

この二次元コードには、「ねんきん定期便」に記載されている年金情報の一部が収録されており、厚生労働省が提供するWEBサイト（公的年金シミュレーター）で年金見込額の簡易試算ができます。
<https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp>



「ねんきん定期便」（直近1年間通知者／年金受給者用）裏面（令和8年4月～9月発送分）

「ねんきん定期便」記載内容についてのお知らせ

○厚生年金保険料は、被保険者と事業主が折半して負担することとされており、被保険者であった時の賃金や期間に応じて年金額が計算されます。「ねんきん定期便」ではご本人の納付実績として被保険者負担分の保険料納付額を記載しており、お手持ちの給与明細等に記載されている保険料額で確認ができます。

○各項目に関する見方の詳細は、日本年金機構のホームページでご案内しています。

ねんきん定期便 見方

検索

(<https://www.nenkin.go.jp/service/nenkinkiroku/torikumi/teikibin/teikibin.html>)

「ねんきんネット」をご利用しませんか？

○「ねんきんネット」は、スマートフォンやPCからご自身の年金記録や電子版「ねんきん定期便」・「年金の支払いに関する通知書」の確認、働きながら年金を受け取る場合の年金見込額の試算、持ち主不明の年金記録の検索（亡くなられた方の年金記録を含む）などができるサービスです。

○マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナポータルから簡単に利用登録ができます。また、お持ちでない方も、基礎年金番号と右記の「お客様のアクセスキー」を使用して日本年金機構ホームページから利用登録ができます。

○「ねんきん定期便」は「ねんきんネット」からペーパーレス化の登録ができます。環境への配慮に、ぜひご協力をお願いします。

スマートフォンでのご利用登録はこちら➡

(https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do)

二次元コード

お問い合わせは「ねんきん定期便・ねんきんネット専用番号」へ



0570-058-555

全国一律の通話料金でご利用いただけます。
ナビダイヤル® 通話料金定額プランの対象外です。

050から始まる電話からおかけになる場合（東京）03-6700-1144

受付時間

月 曜 日※1 8:30～19:00
火～金曜日 8:30～17:15
第2土曜日※2 9:30～16:00

※1 月曜日が祝日の場合は、翌日以降の平日の初日に19:00まで受け付けます。
※2 第2土曜日以外の土・日・祝日12/29～1/3はご利用いただけません。

1. これまでの保険料納付額（累計額）

（1）国民年金保険料（第1号被保険者期間）	円
（2）厚生年金保険料（被保険者負担額）	
一般厚生年金期間	円
公務員厚生年金期間	円
私学共済厚生年金期間	円
（1）と（2）の合計	円

※厚生年金保険料は事業主も上記の被保険者負担額と同額を負担しています。

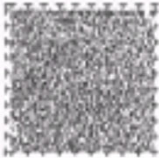
2. これまでの年金加入期間

国民年金（a）			付加保険料 納付済月数	船員保険 （c）	年金加入期間 合計 （未納月数を除く） （a+b+c）	合算対象期間等 （d）	受給資格期間 （a+b+c+d）
第1号被保険者 （未納月数を除く）	第3号被保険者	国民年金 計 （未納月数を除く）					
月	月	月	月	月			
厚生年金保険（b）					月	月	月
一般厚生年金	公務員厚生年金	私学共済厚生年金	厚生年金保険 計				
月	月	月	月				

ねんきんネットの「お客様のアクセスキー」

※「お客様のアクセスキー」の有効期限は、表面に記載のデータ作成日から5カ月後の月末までです。

右のマークは目の不自由な方のための音声コードです。





**料 金 後 納
郵 便**

親 展

照 会 番 号	公務員共済の加入者番号	私学共済の加入者番号

※お問い合わせの際は、
照会番号をお伝えください。

最近の月別状況です

下記の月別状況や裏面の年金加入期間に「もれ」や「誤り」とあると思われる方は、お近くの年金事務所にお問い合わせください。

令和8年10月より 帳票レイアウト変更予定

※年金受給額に関する情報は、「年金振込通知書」「年金額改定通知書」などにより、お知らせします。

この定期便は、下記データ作成日時点の前々月までの記録をお知らせしています。
納付記録がデータに反映されるまで日数がかかることがあります。

お客様へのお知らせ

令和8年度の「ねんきん定期便」です。

開封前であて名をご確認ください。
お届け先のご住所に、現在、受取人の方がお住まいでない場合には、お手数をおかけしますが、「誤配」、「転居した」等を八万千にご記入いただき、開封せずにそのままポストに入れてください。

年月 (和暦)	国民年金 (第1号・第3号) 納付状況	厚生年金保険		
		加入区分	標準報酬月額 (千円)	標準賞与額 (千円)

[データ作成日]

国民年金および 一般厚生年金期間	公務員厚生年金期間 (国家公務員・地方公務員)	私学共済厚生年金期間 (私立学校の教職員)



〒168-8505 東京都杉並区高井戸西3丁目5番24号

お知らせは内側にあります。
矢印の方向へゆっくりとはがしてご覧ください。

※国民年金保険料納付猶予等の承認を受けた期間は、追納が承認された月の前10年以内の猶予等期間に納付することで、年金額を生涯増やすことができます。

「ねんきん定期便」記載内容についてのお知らせ

○厚生年金保険料は、被保険者と事業主が折半して負担することとされており、被保険者であった時の賃金や期間に応じて年金額が計算されます。「ねんきん定期便」ではご本人の納付実績として被保険者負担分の保険料納付額を記載しており、お手持ちの給与明細等に記載されている保険料額で確認ができます。

○各項目に関する見方の詳細は、日本年金機構のホームページでご案内しています。

[ねんきん定期便 見方](#)
[検索](#)

(<https://www.nenkin.go.jp/service/nenkinkiroku/torikumi/teikibin/teikibin.html>)

1. これまでの保険料納付額（累計額）

(1) 国民年金保険料（第1号被保険者期間）		円
(2) 厚生年金保険料（被保険者負担額）		
一般厚生年金期間		円
公務員厚生年金期間		円
私学共済厚生年金期間		円
(1) と (2) の合計		円

※厚生年金保険料は事業主も上記の被保険者負担額と同額を負担しています。

「ねんきんネット」をご利用しませんか？

○「ねんきんネット」は、スマートフォンやPCからご自身の年金記録や電子版「ねんきん定期便」・「年金の支払いに関する通知書」の確認、働きながら年金を受け取る場合の年金見込額の試算、持ち主不明の年金記録の検索（亡くなられた方の年金記録を含む）などができるサービスです。

○マイナンバーカードをお持ちの方は、**マイナポータル**から簡単に利用登録ができます。また、お持ちでない方も、基礎年金番号と右記の「お客様のアクセスキー」を使用して日本年金機構ホームページから利用登録ができます。

○「ねんきん定期便」は「ねんきんネット」からペーパーレス化の登録ができます。環境への配慮に、ぜひご協力をお願いします。

[スマートフォンでのご利用登録はこちら▶](#)

(https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSR.do)

2. これまでの年金加入期間

令和8年10月より
帳票レイアウト変更予定

船員保険 (c)				年金加入期間 合計 (未納月数を除く)	合算対象期間等 (d)	受給資格期間 (a+b+c+d)
月	月	月	月	(a+b+c)	月	月

厚生年金保険 (b)			
一般厚生年金	公務員厚生年金	私学共済厚生年金	厚生年金保険 計
月	月	月	月

0570-058-555

全国一律の通話料金でご利用いただけます。
通話料金定額プランの対象外です。

050から始まる電話からおかけになる場合 (東京) 03-6700-1144

受付時間

月 曜 日 ※ 1 8：30～19：00 ※ 1 月曜日が祝日の場合は、翌日以降の平日の初日に19：00まで受け付けます。

火～金曜日 8：30～17：15

第2土曜日 ※ 2 9：30～16：00 ※ 2 第2土曜日以外の土・日・祝日
 12/29～1/3はご利用いただけません。

ねんきんネットの「お客様のアクセスキー」

※「お客様のアクセスキー」の有効期限は、表面に記載のデータ作成日から5カ月後の月末までです。

右のマークは目の不自由な方のための音声コードです。

料金後納
郵便

親展

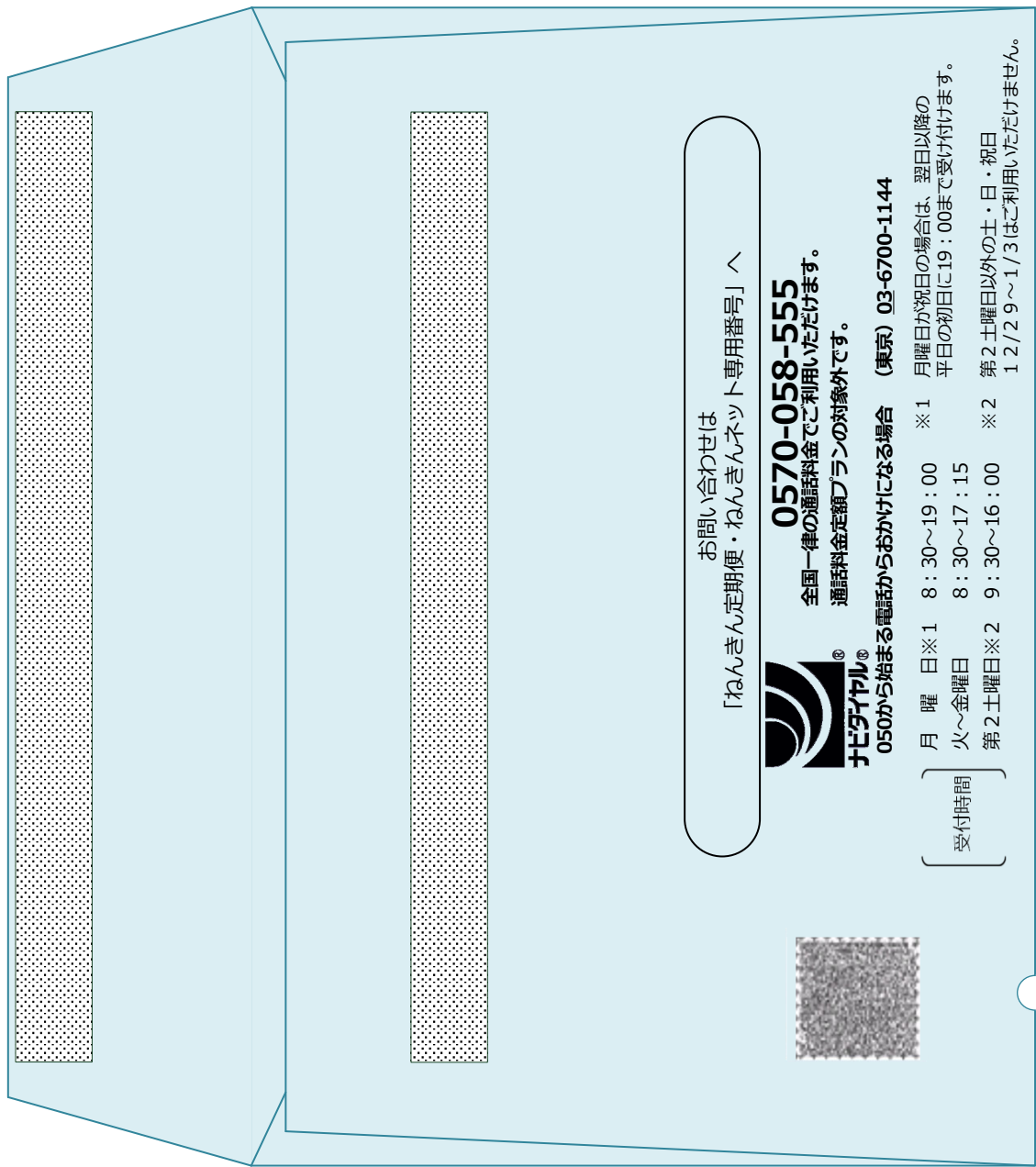
 日本年金機構
Japan Pension Service

〒168-8505
東京都杉並区高井戸西3丁目5番24号

開封前にあて名をご確認ください。
お届け先のご住所に、受取人の方が現在お住まいでない場合には、お手数をおかけしますが「誤配」、「転居した」等を封筒にご記入の上、開封せずにそのままポストに投函してください。

窓加工	点字加工	点字の内容	にっぽん ねんきん きこー ねんきんていきびん
-----	------	-------	----------------------------

糊アヘアド



「お知らせ」欄に印字する文言の条件及び内容について (直近 1 年間通知者用・50 歳未満者用)

I. 条件及び文例

1. 未送達者向けの住所変更意思確認にかかる文言

【印字条件】

以下①の条件に該当する対象者について、〈文例 1〉のとおりに文言を印字すること。なお、文例中の〈A〉、〈B〉は以下〈記号の定義〉に従うこと。

- ① 「ねんきん定期便通知情報ファイル」(直近 1 年出力者)(以下「定期便通知情報」という。)・基本レコード項番〔141〕住所情報塗替え表示 に収録されている値が「1」(＝住所情報塗替え者である)である。

〈記号の定義〉

- ㊦ 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔28〕抽出月が「7」以下の場合

〈A〉:「定期便通知情報」・基本レコード項番〔27〕抽出年の値を印字する。

なお、値が 1 桁の場合は空白スペースを削除して印字する。

〈B〉:「定期便通知情報」・基本レコード項番〔28〕抽出月に 5 を足した値を印字する。

なお、値が 1 桁の場合は空白スペースを含めて印字する。

(例: 4 月の場合は” 4 月”(空白スペース有)、12 月の場合は” 1 2 月”と印字)

- ㊧ 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔28〕抽出月が「8」以上の場合

〈A〉:「9」を印字する。

〈B〉:「定期便通知情報」・基本レコード項番〔28〕抽出月から 7 を引いた値を印字する。

なお、値が 1 桁の場合は空白スペースを含めて印字する。

(例: 4 月の場合は” 4 月”(空白スペース有)、12 月の場合は” 1 2 月”と印字)

〈 文例 1 〉

(重要) 住所の確認のお願い

この「ねんきん定期便」は、住民基本台帳(住民票)の住所宛にお送りしています。今後の送付先を住民票の住所と別の宛先にしたい方は、令和 4 年〈B〉月末日までに「お問い合わせ先」までご連絡ください。特にご希望がない場合は、ご連絡は不要です。

2. 地方公務員共済期間がある旧三公社共済組合加入者の年金見込額等にかかる文言

【印字条件】

以下①～⑤の全ての条件に該当する対象者について、以下の〈文例 2〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔22-1〕地共済未移行(旧三共済)有無表示 に収録されている値が「1」である。

- ② 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔23〕老齢年金受給者表示 に収録されている値が「1」（＝老齢年金受給者である）でない。
- ③ 「定期便通知情報」・簡易見込額レコード項番〔59〕事故内容コード に収録されている値が「スペース」である。
- ④ 「定期便通知情報」・簡易見込額レコード項番〔60〕事故内容サブコード に収録されている値が「スペース」である。
- ⑤ 「定期便通知情報」・簡易見込額レコード項番〔62〕期間重複表示 に収録されている値が「1」でない。

〈 文例2 〉

旧三公社共済（JR、JT、NTT）期間の前に地方公務員共済期間があるお客様の地方公務員共済期間は旧三公社共済期間と一緒に厚生年金に統合されています。ご自身の年金記録を確認する方法については、「お問い合わせ先」にご連絡ください。

3. 「これまでの加入実績に応じた年金額（昨年）」に関する注意事項のお知らせ

【印字条件】

以下①～③の全ての条件に該当する対象者について、以下の〈文例3〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔140〕年齢情報 に収録されている値が「50」未満である。
- ② 「定期便通知情報」・ねんきん定期便簡易見込額レコード項番〔68-2〕昨年簡易見込額が「*****」でない。
- ③ 「定期便通知情報」ねんきん定期便簡易見込額レコード項番〔68-5〕年金見込額減額表示が「1」である。

〈 文例3 〉

表面のイメージ図に表示されている「これまでの加入実績に応じた年金額（今年）」が、「これまでの加入実績に応じた年金額（昨年）」の欄に表示されている年金額よりも低くなっていますが、これは最近1年間に年金記録の訂正や年金額の改定等があったことによるものです。

4. 基礎年金番号とマイナンバーが紐付いていない旨のお知らせにかかる文言

【印字条件】

以下①の条件に該当する対象者について、以下の〈文例4〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔22〕マイナンバー収録状況 に収録されている値が「0」（＝未収録）である。

〈 文例4 〉

日本年金機構では、住所変更届の届出を省略する等の利便性向上を図るため、基礎年金番号とマイナンバーの紐付けを進めていますが、お客様の基礎年金番号とマイナンバーはこの紐付けができておりません。お近くの年金事務所へご相談いただき、マイナンバーのお届けにご協力をお願いいたします。

5. 年金加入記録の確認のお知らせにかかる文言（仮基礎年金番号）

【印字条件】

以下①の条件に該当する対象者について、以下の〈文例5〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔2〕基礎年金番号 を参照し、基礎年金番号の先頭4桁の番号が「9900」～「9909」である。

〈 文例5 〉

この「ねんきん定期便」に記載されている年金記録のほかに、別の基礎年金番号で管理されている年金記録がある可能性があります。お近くの年金事務所でご確認ください。

6. 未統合記録の解明に向けた呼びかけにかかる文言

【印字条件】

以下①～③の全ての条件に該当する対象者について、以下の〈文例6〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「別添9-4 ねんきん特別便情報」に収録されている全ての「基礎年金番号」と、「定期便通知情報」・基本レコード項番〔2〕基礎年金番号 を突合し、一致している。
- ② 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔10〕ねんきん特別便通知種別 に収録されている値が「1」（＝ 受給者名寄せ通知） または、「2」（＝ 被保険者名寄せ通知） である。
- ③ 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔11〕ねんきん特別便確認有無表示 に収録されている値が「スペース」または、「1」（＝ 記録正常） である。

〈 文例6 〉

この「ねんきん定期便」に記載されている年金記録のほかに、お客様のものである可能性がある年金記録があります。年金額が増える可能性がありますので、お近くの年金事務所でご確認ください。

7. 年金加入記録の確認のお知らせにかかる文言（住所変更契機による再発行）

【印字条件】

以下①の条件に該当する対象者について、以下の〈文例7〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔9〕再発行表示 に収録されている値が「2」（再発行（住所変更契機））である。

〈 文例7 〉

前住所宛に送付した「ねんきん定期便」は届きませんでした。この度、新住所が登録されたため、「ねんきん定期便」を送付させていただきます。過去の年金記録を全て確認される際は、「ねんきんネット」をご利用ください。また、郵送を希望される場合は「お問い合わせ先」までご連絡ください。

8. マイナポータルと電子版「ねんきん定期便」の利用による郵送停止の勧奨にかかる文言

【印字条件】

上記1～7のいずれにも該当しない場合、以下〈文例8〉のとおりに文言を印字すること。

〈 文例8 〉

マイナポータルから、「ねんきんネット」を利用することができます。ぜひご利用ください。また、「ねんきんネット」では電子版「ねんきん定期便」の利用と「ねんきん定期便」ペーパーレス化の登録ができます。郵送より1か月程度早く確認でき、紙資源の節約にもなりますので、ペーパーレス化にご協力をお願いします。

Ⅱ. 複数の条件に該当した場合

上記Ⅰ. 1～8の条件に複数該当した場合に、「お知らせ」欄に印字する文言の優先順位は、1、2、3、4、5、6、7、8の順とする。

Ⅲ. その他

- ① 固定文言の印字は黒色とし、明朝体（8ポイント）を使用すること。
- ② 一行の文字数及び改行位置は、文例のとおりとすること。
- ③ 固定文言の種類、印字条件について、契約期間内に追加または変更を行う場合がある。

追加または変更を行う際は、追加または変更にかかる定期便発送月の前々月の1日までに連絡を行うので対応すること。

「お知らせ」欄に印字する文言の条件及び内容について

（直近1年間通知者用・50歳以上者用/年金受給者用）

I. 条件及び文例

1. 未送達者向けの住所変更意思確認にかかる文言

【印字条件】

以下①の条件に該当する対象者について、〈文例1〉のとおりに文言を印字すること。なお、文例中の〈A〉、〈B〉は以下〈記号の定義〉に従うこと。

- ② 「ねんきん定期便通知情報ファイル」（直近1年出力者）（以下「定期便通知情報」という。）・基本レコード項番〔141〕住所情報塗替え表示 に収録されている値が「1」（＝住所情報塗替え者である）である。

〈記号の定義〉

- ㊦ 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔28〕抽出月が「7」以下の場合

〈A〉：「定期便通知情報」・基本レコード項番〔27〕抽出年の値を印字する。

なお、値が1桁の場合は空白スペースを削除して印字する。

〈B〉：「定期便通知情報」・基本レコード項番〔28〕抽出月に5を足した値を印字する。

なお、値が1桁の場合は空白スペースを含めて印字する。

（例：4月の場合は” 4月”（空白スペース有）、12月の場合は”12月”と印字）

- ① 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔28〕抽出月が「8」以上の場合

〈A〉：「9」を印字する。

〈B〉：「定期便通知情報」・基本レコード項番〔28〕抽出月から7を引いた値を印字する。

なお、値が1桁の場合は空白スペースを含めて印字する。

（例：4月の場合は” 4月”（空白スペース有）、12月の場合は”12月”と印字）

〈 文例1 〉

（重要）住所の確認のお願い
この「ねんきん定期便」は、住民基本台帳（住民票）の住所宛にお送りしています。今後の送付先を住民票の住所と別の宛先にしたい方は、令和4年月末日までに「お問い合わせ先」までご連絡ください。特にご希望がない場合は、ご連絡は不要です。

2. 60歳以上65歳未満の方の見込額計算方法にかかる文言（見込額の説明を記載）

【印字条件】

以下①～⑤の全ての条件に該当する対象者について、〈文例2〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔23〕老齢年金受給者表示 に収録されている値が「1」（＝老齢年金受給者である）でない。

- ② 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔140〕年齢情報 に収録されている値が「60」以上「65」未満である。
- ③ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔49〕事故内容コード に収録されている値が「スペース」である。
- ④ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔50〕事故内容サブコード に収録されている値が「スペース」である。
- ⑤ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔52〕期間重複表示 に収録されている値が「1」でない。

〈 文例2 〉

60歳以上65歳未満の方の「3. 老齢年金の種類と見込額（年額）」は、この「ねんきん定期便」の作成日時点の年金加入実績に基づき計算しています。

3. 65歳以上の方の見込額計算方法にかかる文言（見込額の説明を記載）

【印字条件】

以下①～⑥の全ての条件に該当する対象者について、以下の〈文例3〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔23〕老齢年金受給者表示 に収録されている値が「1」（＝老齢年金受給者である）でない。
- ② 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔140〕年齢情報 に収録されている値が「65」以上である。
- ③ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔30〕老基老厚支給開始年齢 に収録されている値が「65」である。
- ④ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔49〕事故内容コード に収録されている値が「スペース」である。
- ⑤ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔50〕事故内容サブコード に収録されている値が「スペース」である。
- ⑥ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔52〕期間重複表示 に収録されている値が「1」でない。

〈 文例3 〉

65歳以上の方の「3. 老齢年金の種類と見込額（年額）」は、65歳時点の年金加入実績に基づき計算しています。

4. 地方公務員共済期間がある旧三公社共済組合加入者の年金見込額等にかかる文言

【印字条件】

以下①～⑤の全ての条件に該当する対象者について、以下の〈文例4〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔22-1〕地共済未移行（旧三共済）有無表示 に収録されている値が「1」である。
- ② 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔23〕老齢年金受給者表示 に収録されている値が「1」
（＝老齢年金受給者である）でない。
- ③ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔49〕事故内容コード に収録されている値が「スペース」である。
- ④ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔50〕事故内容サブコード に収録されている値が「スペース」である。
- ⑤ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔52〕期間重複表示 に収録されている値が「1」でない。

〈 文例4 〉

旧三公社共済（JR、JT、NTT）期間の前に地方公務員共済期間があるお客様の地方公務員共済期間は旧三公社共済期間と一緒に厚生年金に統合されています。ご自身の年金記録を確認する方法については、「お問い合わせ先」にご連絡ください。

5. 65歳を過ぎて初めて年金受給権が発生した方の繰り下げ年金見込額等にかかる文言

【印字条件】

以下①～⑥の全ての条件に該当する対象者について、以下の〈文例5〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔23〕老齢年金受給者表示 に収録されている値が「1」
（＝老齢年金受給者である）でない。
- ② 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔140〕年齢情報 に収録されている値が「66」以上である。
- ③ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔30〕老基老厚支給開始年齢 に収録されている値が「66」以上である。
- ④ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔49〕事故内容コード に収録されている値が「スペース」である。
- ⑤ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔50〕事故内容サブコード に収録されている値が「スペース」である。
- ⑥ 「定期便通知情報」・詳細見込額レコード項番〔52〕期間重複表示 に収録されている値が「1」でない。

〈 文例5 〉

年金見込額のイメージ図の「＊」（アスタリスク）について、年金額が増加となるのは、受給開始時期を65歳から遅らせた場合です。お客様は65歳を過ぎて受給権が発生しており、これに該当しませんので、70歳及び75歳まで遅らせた場合の年金見込額は表示していません。

6. 基礎年金番号とマイナンバーが紐付いていない旨のお知らせにかかる文言

【印字条件】

以下①の条件に該当する対象者について、以下の〈文例6〉のとおりに文言を印字すること。

- ② 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔22〕マイナンバー収録状況 に収録されている値が「0」（＝未収録）である。

〈 文例6 〉

日本年金機構では、住所変更届の届出を省略する等の利便性向上を図るため、基礎年金番号とマイナンバーの紐付けを進めていますが、お客様の基礎年金番号とマイナンバーはこの紐付けができておりません。お近くの年金事務所へご相談いただき、マイナンバーのお届けにご協力をお願いいたします。

7. 年金加入記録の確認のお知らせにかかる文言（仮基礎年金番号）

【印字条件】

以下①の条件に該当する対象者について、以下の〈文例7〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔2〕基礎年金番号 を参照し、基礎年金番号の先頭4桁の番号が「9900」～「9909」である。

〈 文例7 〉

この「ねんきん定期便」に記載されている年金記録のほかに、別の基礎年金番号で管理されている年金記録がある可能性があります。お近くの年金事務所でご確認ください。

8. 未統合記録の解明に向けた呼びかけにかかる文言

【印字条件】

以下①～③の全ての条件に該当する対象者について、以下の〈文例8〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「別添9-4 ねんきん特別便情報」に収録されている全ての「基礎年金番号」と、「定期便通知情報」・基本レコード項番〔2〕基礎年金番号 を突合し、一致している。
- ② 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔10〕ねんきん特別便通知種別 に収録されている値が「1」（＝ 受給者名寄せ通知） または、「2」（＝ 被保険者名寄せ通知） である。
- ③ 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔11〕ねんきん特別便確認有無表示 に収録されている値が「スペース」または、「1」（＝ 記録正常） である。

〈 文例8 〉

この「ねんきん定期便」に記載されている年金記録のほかに、お客様のものである可能性がある年金記録があります。年金額が増える可能性がありますので、お近くの年金事務所でご確認ください。

9. 年金加入記録の確認のお知らせにかかる文言（住所変更契機による再発行）

【印字条件】

以下①の条件に該当する対象者について、以下の〈文例9〉のとおりに文言を印字すること。

- ① 「定期便通知情報」・基本レコード項番〔9〕再発行表示 に収録されている値が「2」（再発行（住所変更契機））である。

〈 文例9 〉

前住所宛に送付した「ねんきん定期便」は届きませんでした。この度、新住所が登録されたため、「ねんきん定期便」を送付させていただきます。過去の年金記録を全て確認される際は、「ねんきんネット」をご利用ください。また、郵送を希望される場合は「お問い合わせ先」までご連絡ください。

10. マイナポータルと電子版「ねんきん定期便」の利用による郵送停止の勧奨にかかる文言

【印字条件】

上記1～9のいずれにも該当しない場合、以下〈文例10〉のとおりに文言を印字すること。

〈 文例10 〉

マイナポータルから、「ねんきんネット」を利用することができます。ぜひご利用ください。また、「ねんきんネット」では電子版「ねんきん定期便」の利用と「ねんきん定期便」ペーパーレス化の登録ができます。郵送より1か月程度早く確認でき、紙資源の節約にもなりますので、ペーパーレス化にご協力をお願いします。

Ⅱ．複数の条件に該当した場合

上記Ⅰ．１～１０の条件に複数該当した場合に、「お知らせ」欄に印字する文言の優先順位は、１、２、３、４、５、６、７、８、９、１０の順とする。

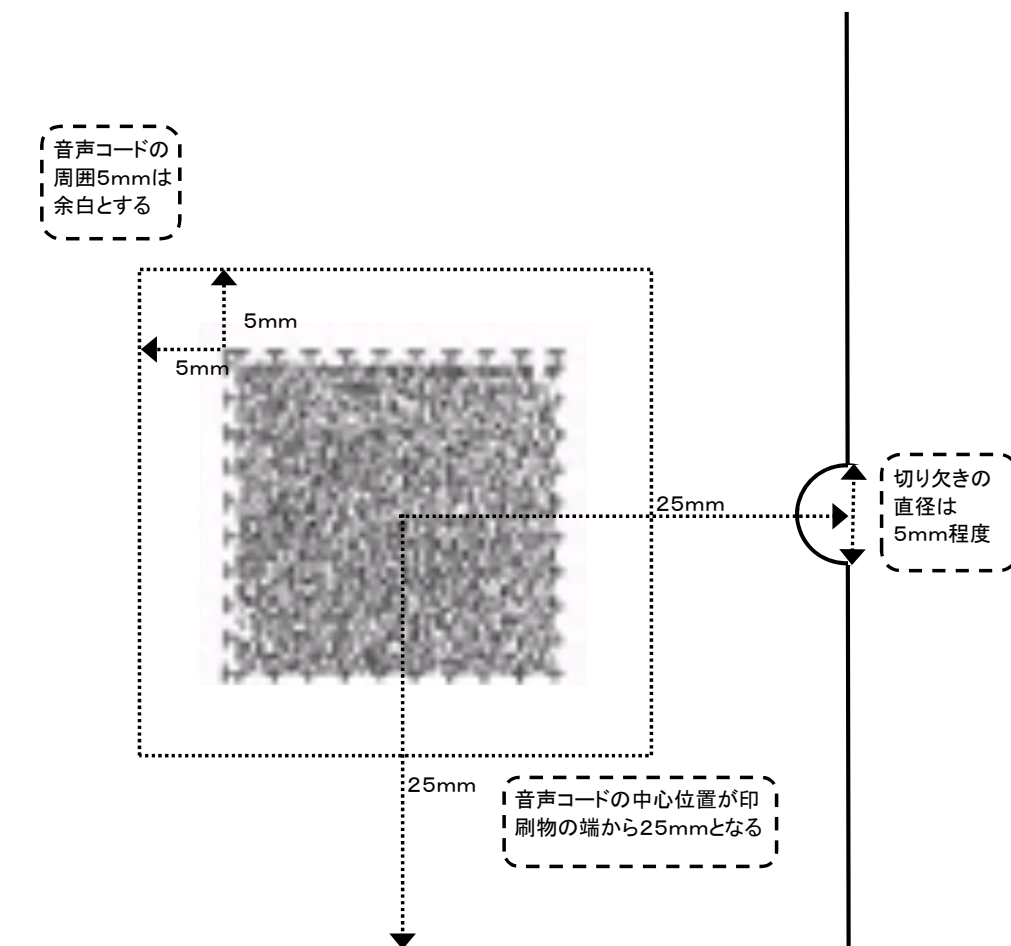
Ⅲ．その他

- ④ 固定文言の印字は黒色とし、明朝体（８ポイント）を使用すること。
- ⑤ 一行の文字数及び改行位置は、文例のとおりとすること。
- ⑥ 固定文言の種類、印字条件について、契約期間内に追加または変更を行う場合がある。

追加または変更を行う際は、追加または変更にかかる定期便発送月の前々々月の１日までに連絡を行うので対応すること。

音 声 コ ー ド 印 字 要 領

(直近1年間通知者用)



※1 付与する音声コードは、「音声コード(専用読み取り装置、携帯電話、スマートフォン等で確実に読み取り可能な形式)」とし、設定情報は以下の表1のとおりとする。

※2 音声コードの仕様等詳細については当該コード開発(販売)元に十分確認すること。

表1

項番	区分	仕様
1	サイズ	Lサイズ
2	誤り訂正	強
3	声の種類	男

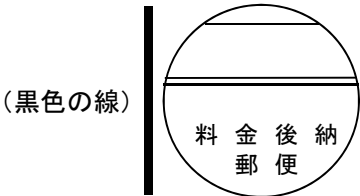
※ 文字数超過によって、誤り訂正レベルを「強」に設定できない場合は、誤り訂正レベル「中」で作成すること。

※ 音声コード作成において、声の種類が選択できない場合は、声の種類「男」でなくとも可とする。

※ スマートフォン(アプリ)において、声の種類はアプリの設定に依存することを可とする。

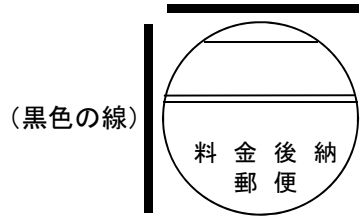
「ねんきん定期便」のキャンセルマーク付与位置について

①特特割→基本割引を表すキャンセルマーク

広告郵便物 区分郵便物		「特特」割引 ↓ 「基本」割引
----------------	---	-----------------------

- 1) キャンセルマークを付す位置は、料金後納郵便マークの左側に縦線を付す。
- 2) キャンセルマークの太さは1mm、長さは「料金後納郵便マーク」の直径と同等の長さに統一する。

②特特割→特割を表すキャンセルマーク

広告郵便物 区分郵便物		「特特」割引 ↓ 「特」割引
----------------	---	----------------------

- 1) キャンセルマークを付す位置は、料金後納郵便マークの左側に縦線及び上側に横線を付す。
- 2) キャンセルマークの太さは1mm、長さは「料金後納郵便マーク」の直径と同等の長さに統一する。

カスタマバーコードの付与について

1. カスタマバーコードの付与対象

「ねんきん定期便」(直近1年間通知者用)ハガキの表面【別添5-1-1】、【別添5-2-1】、【別添5-3-1】(【別添5-1-1-1】、【別添5-2-1-1】、【別添5-3-1-1】)の「項番4」に付与すること。(ただし、「3. カスタマバーコード付与の判定」で付与しないと判定したものを除く。)

2. カスタマバーコードの生成

「DVD仕様書」「定期便通知情報」の以下の項番を参照し、収録内容のうち、郵便番号・住所表示番号等情報から、カスタマバーコードを生成すること。

- ＜基本レコード／基本情報部＞[7] 郵便番号、
- ＜基本レコード／基本情報部／住所情報1行目＞[34] 住所1行目、
- ＜基本レコード／基本情報部／住所情報2行目＞[38] 住所2行目、
- ＜基本レコード／基本情報部／住所情報3行目＞[42] 住所3行目

3. カスタマバーコード付与の判定

(1) カスタマバーコードを付与する場合

「DVD仕様書」「定期便通知情報」＜基本レコード／共通部＞[14] カスタマバーコード有無表示 を参照し、「1」の場合は、「内国郵便約款」及び以下の資料(日本郵便ホームページに掲載)に基づき、カスタマバーコードを付与すること。

(2) カスタマバーコードを付与しない場合

「DVD仕様書」「定期便通知情報」＜基本レコード／共通部＞[14] カスタマバーコード有無表示 を参照し、「0」の場合及び「(1) カスタマバーコードを付与する場合」の作業でカスタマバーコードを生成できなかった場合は、カスタマバーコードを付与しないこと。

4. 「内国郵便約款」及びその他の資料

(1) 内国郵便約款 . . . <http://www.post.japanpost.jp/about/yakkan/>

※別記14 (郵便物の受取人の住所又は居所等をバーコードに変換し記載する方法)

<http://www.post.japanpost.jp/about/yakkan/1-4.pdf>

(2) 郵便番号・バーコードマニュアル . . .

<http://www.post.japanpost.jp/zipcode/zipmanual/index.html>

※バーコード (1/4 ～ 4/4)

<http://www.post.japanpost.jp/zipcode/zipmanual/p10.html>

出力位置：「ねんきん定期便」（直近１年間通知者／５０歳未満者用）表面（令和８年４月～９月発送分）

【別添5-1-1】

料 金 後 納
郵 便

親 展

項番1

項番2

項番3

項番4

項番5

項番6

令和8年度の「ねんきん定期便」です。
開封前にあて名をご確認ください。
お届け先のご住所に、現在、受取人の方がお住まいでない場合には、
お手数をおかけしますが、「誤配」、「転居した」等をハガキに
ご記入いただき、開封せずにそのままポストに入れてください。

日本年金機構

Japan Pension Service

〒168-8505 東京都杉並区高井戸西3丁目5番24号

お知らせは内側にあります。
矢印の方向へゆっくりはがしてご覧ください。

項番1～6及び表面の管理番号の印字範囲

照 会 番 号

項番7

公務員共済の加入者番号

項番8

私学共済の加入者番号

項番9

※お問い合わせの際は、
照会番号をお伝えください。

最近の月別状況です

下記の月別状況や裏面の年金加入期間に「もれ」
や「誤り」があると思われる方は、お近くの年金
事務所にお問い合わせください。

年月 (和暦)	国民年金 (第1号・第3号) 納付状況	厚生年金保険			
		加入区分	標準報酬月額 (千円)	標準賞与額 (千円)	保険料 納付額
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18
項番12	項番13 項番14	項番15	項番16	項番17	項番18

※国民年金保険料納付猶予等の承認を受けた期間は、追納が承認された月の前10
年以内の猶予等期間に納付することで、年金額を生涯増やすことができます。

【公的年金シミュレーター二次元コード】

この二次元コードには、「ねんきん定期便」に記
載されている年金情報の一部が収録されており、
厚生労働省が提供するWEBサイト（公的年金シミ
ュレーター）で年金見込額の簡易試算ができます。
(<https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp>)

二次元コード

項番19

①保険料を納付していただいた方は、「これまでの
加入実績に応じた年金額」が昨年よりも増額して
います。
②今後も、保険料を納付していただくことで、更に
年金額が増額します。
③年金の受給開始時期は、60歳から75歳まで選択
できます。
年金受給を遅らせた場合、年金額が増額します。
(例) 70歳を選択した場合、65歳と比較して42%増額
75歳を選択した場合、65歳と比較して84%増額（最大）
(注)・65歳以降で厚生年金保険の被保険者等である場合は、在職支給停止額を差し
引いた額が、繰下げによる増額の計算対象となります。
・遺族年金や障害年金を受け取ることができる場合には、老齢年金の受給開始
時期を遅らせることができないことがあります。

項番10 円

項番11 円

（参考）
今後の増額
イメージ

今後の加入状況に応じた年金額
（65歳時点）

最大の増額
（75歳まで遅らせた場合）

最大の増額
（75歳まで遅らせた場合）

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 表面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
1	ハガキ 50歳未満 表面	郵便番号	8 × 1	XXX-XXXX	① <基本レコード／共通部>[7]郵便番号を参照し、出力する。 ※郵便番号を7桁にて出力する(XXX-XXXX) ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。 ② [7]郵便番号に「999-9999」が収録されている場合、オールスペースとして出力する。
2	ハガキ 50歳未満 表面	住所	3 行	XXXXXXXXXX～XX XXXXXXXXXX～XX XXXXXXXXXX～XX	① 以下の項番を参照し、出力する。 ＜基本レコード／基本情報部／住所情報1行目＞[34]住所1行目、 ＜基本レコード／基本情報部／住所情報2行目＞[38]住所2行目、 ＜基本レコード／基本情報部／住所情報3行目＞[42]住所3行目、 ※住所は3行にて出力する。 ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。 ② <基本レコード／共通部>[7]郵便番号に「999-9999」が収録されている場合、オールスペースとして出力する。
3	ハガキ 50歳未満 表面	氏名	1行	XXXX～XXXX△様	＜基本レコード／基本情報部／氏名情報＞[45]氏名印字桁数、[46]氏名、[47]様の各項目を参照し、出力する。 ※[47]様の前に“△”を付加して印字する。(△はスペースを表す) ※[45]氏名印字桁数によって、[46]氏名、“△”、[47]様を、バランスを考慮した上で下記に示すポイント数以上で印刷する。(△はスペースを表す) ・[45]氏名印字桁数が22以下の場合、16ポイント以上 ・[45]氏名印字桁数が23以上30文字以下の場合、12ポイント以上 ・[45]氏名印字桁数が31文字以上の場合、8ポイント以上
4	ハガキ 50歳未満 表面	カスタマーバーコード	1行		【別添4】「カスタマーバーコードの付与について」を参照し、カスタマーバーコード付与の判定、カスタマーバーコードの生成・印字を行うこと。
5	ハガキ 50歳未満 表面	共済組合員情報	12 * 1行	XXX-XXXXXXXX	＜基本レコード／基本情報部＞[50]共済組合員情報を参照し、出力する。 ※共済組合員情報を設定、編集する。 XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXXXXXX ※2つめのハイフン以降は出力しない。出力例 XXX-XXXXXXXX ※最大先頭から12桁を出力する。 ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。
6	ハガキ 50歳未満 表面	二次元コード	29 * 1行		以下の項番を参照し、「合計29桁の数字列」を二次元コードに変換、出力する。 ＜基本レコード／QRコード情報＞ [109]識別区分、[110]郵便物区分コード、[111]照会番号、[112]作成年月日、 ※＜二次元コードの仕様＞ QRコード モデル2、バージョン:1、誤り訂正:レベル「M」、モード:数字、 サイズ:1辺が10mm±2mm(クワイエットゾーンを除く)、 余白:二次元コードの各辺から2mm以上もしくは5セル分のいずれか大きい方を余白として確保すること。 スマートフォン、フィーチャーフォン等のデバイスでの読み取りに対応すること。 ※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
7	ハガキ 50歳未満 表面	照会番号	12 * 1行	XXX XXX XXX XXX	＜基本レコード／基本情報部＞[52]照会番号を参照し、出力する。 ※照会番号は3桁ごとにスペースを入れ、以下のとおり印字すること。 XXX XXX XXX XXX ※枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
8	ハガキ 50歳未満 表面	公務員共済の 加入者番号	15 * 1行	X ～ XXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／共済基本情報部／通知番号情報＞[125]第2・3号加入者番号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合、「*****」を出力する。 ※加入者番号は、「1桁」～「15桁」まで存在するが、いずれの桁数の場合も 枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
9	ハガキ 50歳未満 表面	私学共済の 加入者番号	15 * 1行	X ～ XXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／共済基本情報部／通知番号情報＞[126]第4号加入者番号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合、「*****」を出力する。 ※加入者番号は、「1桁」～「15桁」まで存在するが、いずれの桁数の場合も 枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
10	ハガキ 50歳未満 表面	これまでの加入実績に 応じた年金額(昨年)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	＜簡易見込額レコード／昨年簡易見込額情報部＞[68-2]昨年簡易見込額を参照し、出力する。 ※オール“*” (半角アスタリスク) の場合がある。 ※収録されている設定値は“Z.ZZZ.ZZ9”であるが、実在する見込額が 最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 表面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
11	ハガキ 50歳未満 表面	これまでの加入実績に 応じた年金額(今年)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <簡易見込額レコード／表示部>[62]期間重複表示を参照し、「1」が収録されている場合は「*****」を出力する。 ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、[62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢年金見込額(基礎・厚年合計)1> [26]年額(基礎・厚年合計)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
12	ハガキ 50歳未満 表面	対象年月	1行	Z9年Z9月	以下の項番を参照し、対象年月を出力する。 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／年月> [73]対象年、[74]年、[75]対象月、[76]月を参照し、出力する。 ※[73]対象年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※同一年月の記録は、 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>[78]加入制度に設定されている、「厚年」・「基金」・「船保」・「公共」・「私学」より各1記録ずつ収録される可能性があり、最大5記録収録される。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されるが、出力する「対象年月」は常に先頭の1つとする。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。
13	ハガキ 50歳未満 表面	国民年金納付状況	1行	XXXXX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [82]納付状況(上段)を参照し、出力する。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※表3. 1-6において、項番[47]納付状況パターン[三号納付]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△3号△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[48]納付状況パターン[三号未納]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △3号未△(△は全角スペース) ※表3. 1-6において、項番[76]納付状況パターン[学生納付特例]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△学特△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[78]納付状況パターン[納付猶予]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△猶予△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[102]納付状況パターン[産前産後]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △産前産後△(△は半角スペース) ※<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [83]納付状況(下段)が[付加]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △納付済／(△は全角スペース) 産前産後／ ※出力仕様書・「項番13」と「項番14」は、合わせて文字が「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※出力仕様書・「項番13」単独となる場合も、文字が「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※詳細は、「別添5-1-2付属」参照。
14	ハガキ 50歳未満 表面	国民年金納付状況 (付加)	1行	XX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [83]納付状況(下段)を参照し、出力する。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※出力仕様書・「項番13」と「項番14」は、合わせて文字が「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※詳細は、「別添5-1-2付属」参照。
15	ハガキ 50歳未満 表面	加入区分	1行	XX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>[78]加入制度を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※[78]加入制度に収録される項目は、「厚年」・「基金」・「船保」・「公共」・「私学」となる。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※詳細は、「別添5-1-2付属」参照。
16	ハガキ 50歳未満 表面	標準報酬月額	3 * 1行	ZZ9	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚給納付状況> [85]標準報酬月額を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、末尾4桁(カンマを含む)・先頭3桁(カンマを含む)は出力せず、印字形式のとおり出力すること。(標準報酬月額の上限は650千円) ※詳細は、「別添5-1-2付属」参照。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 表面
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
17	ハガキ 50歳未満 表面	標準賞与額	5 * 1行	Z,ZZ9	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> 【86】標準賞与額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ,ZZZ,ZZ9”であるが、末尾4桁(カンマを含む)、先頭1桁は出力せず、 印字形式のとおり出力すること。(標準賞与額の上限は1,500千円) ※詳細は、「別添5－1－2付属」参照。
18	ハガキ 50歳未満 表面	保険料納付額	7 * 1行	ZZZ,ZZ9	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> 【87】納付額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ,ZZZ,ZZ9”であるが、実在する保険料納付額が 最大7桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。 ※詳細は、「別添5－1－2付属」参照。
19	ハガキ 50歳未満 表面	二次元コード	—		【別添5-1-7】出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 公的年金シミュレーター二次元コード 【別添5-1-7／別添5-2-7(共通)】公的年金シミュレーター二次元コードの作成について(直近1年間通知者 用)を参照し、二次元コードを出力する。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 表面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
1	ハガキ 50歳未満 表面	郵便番号	8 × 1	XXX-XXXX	① <基本レコード／共通部>[7]郵便番号を参照し、出力する。 ※郵便番号を7桁にて出力する(XXX-XXXX) ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。 ② [7]郵便番号に「999-9999」が収録されている場合、オールスペースとして出力する。
2	ハガキ 50歳未満 表面	住所	3 行	XXXXXXXXXX~XX XXXXXXXXXX~XX XXXXXXXXXX~XX	① 以下の項番を参照し、出力する。 ＜基本レコード／基本情報部／住所情報1行目>[34]住所1行目、 ＜基本レコード／基本情報部／住所情報2行目>[38]住所2行目、 ＜基本レコード／基本情報部／住所情報3行目>[42]住所3行目、 ※住所は3行にて出力する。 ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。 ② <基本レコード／共通部>[7]郵便番号に「999-9999」が収録されている場合、オールスペースとして出力する。
3	ハガキ 50歳未満 表面	氏名	1行	XXXX~XXXX△様	＜基本レコード／基本情報部／氏名情報>[45]氏名印字桁数、[46]氏名、[47]様の各項目を参照し、出力する。 ※[47]様の前に“△”を付加して印字する。(△はスペースを表す) ※[45]氏名印字桁数によって、[46]氏名、“△”、[47]様を、バランスを考慮した上で下記に示すポイント数以上で印刷する。(△はスペースを表す) ・[45]氏名印字桁数が22以下の場合、16ポイント以上 ・[45]氏名印字桁数が23以上30文字以下の場合、12ポイント以上 ・[45]氏名印字桁数が31文字以上の場合、8ポイント以上
4	ハガキ 50歳未満 表面	カスタマーバーコード	1行		【別添4】「カスタマーバーコードの付与について」を参照し、カスタマーバーコード付与の判定、カスタマーバーコードの生成・印字を行うこと。
5	ハガキ 50歳未満 表面	共済組合員情報	12 * 1行	XXX-XXXXXXXX	＜基本レコード／基本情報部>[50]共済組合員情報を参照し、出力する。 ※共済組合員情報を設定、編集する。 XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXXXXXX ※2つめのハイフン以降は出力しない。出力例 XXX-XXXXXXXX ※最大先頭から12桁を出力する。 ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。
6	ハガキ 50歳未満 表面	二次元コード	29 * 1行		以下の項番を参照し、「合計29桁の数字列」を二次元コードに変換、出力する。 ＜基本レコード／QRコード情報> [109]識別区分、[110]郵便物区分コード、[111]照会番号、[112]作成年月日、 ※＜二次元コードの仕様> QRコード モデル2、バージョン:1、誤り訂正:レベル「M」、モード:数字、 サイズ:1辺が10mm±2mm(クワイエットゾーンを除く)、 余白:二次元コードの各辺から2mm以上もしくは5セル分のいずれか大きい方を余白として確保すること。 スマートフォン、フィーチャーフォン等のデバイスでの読み取りに対応すること。 ※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
7	ハガキ 50歳未満 表面	照会番号	12 * 1行	XXX XXX XXX XXX	＜基本レコード／基本情報部>[52]照会番号を参照し、出力する。 ※照会番号は3桁ごとにスペースを入れ、以下のとおり印字すること。 XXX XXX XXX XXX ※枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
8	ハガキ 50歳未満 表面	公務員共済の 加入者番号	15 * 1行	X ~ XXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／共済基本情報部／通知番号情報>[125]第2・3号加入者番号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合、「*****」を出力する。 ※加入者番号は、「1桁」～「15桁」まで存在するが、いずれの桁数の場合も 枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
9	ハガキ 50歳未満 表面	私学共済の 加入者番号	15 * 1行	X ~ XXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／共済基本情報部／通知番号情報>[126]第4号加入者番号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合、「*****」を出力する。 ※加入者番号は、「1桁」～「15桁」まで存在するが、いずれの桁数の場合も 枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
10	ハガキ 50歳未満 表面	これまでの加入実績に 応じた年金額(昨年)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	＜簡易見込額レコード／昨年簡易見込額情報部>[68-2]昨年簡易見込額を参照し、出力する。 ※オール“*” (半角アスタリスク) の場合がある。 ※収録されている設定値は“Z.ZZZ.ZZ9”であるが、実在する見込額が 最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 表面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
11	ハガキ 50歳未満 表面	これまでの加入実績に 応じた年金額(今年)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <簡易見込額レコード／表示部>[62]期間重複表示を参照し、「1」が収録されている場合は「*****」を出力する。 ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、[62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢年金見込額(基礎・厚年合計)1> [26]年額(基礎・厚年合計)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
12	ハガキ 50歳未満 表面	対象年月	1行	Z9年Z9月	以下の項番を参照し、対象年月を出力する。 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／年月> [73]対象年、[74]年、[75]対象月、[76]月を参照し、出力する。 ※[73]対象年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※同一年月の記録は、 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>[78]加入制度に設定されている、「厚年」・「基金」・「船保」・「公共」・「私学」より各1記録ずつ収録される可能性があり、最大5記録収録される。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されるが、出力する「対象年月」は常に先頭の1つとする。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。
13	ハガキ 50歳未満 表面	国民年金納付状況	1行	XXXXX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [82]納付状況(上段)を参照し、出力する。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※表3. 1-6において、項番[47]納付状況パターン[三号納付]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△3号△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[48]納付状況パターン[三号未納]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △3号未△(△は全角スペース) ※表3. 1-6において、項番[76]納付状況パターン[学生納付特例]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△学特△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[78]納付状況パターン[納付猶予]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△猶予△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[102]納付状況パターン[産前産後]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △産前産後△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[104]納付状況パターン[育児]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△育児△△△(△は半角スペース) ※<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [83]納付状況(下段)が[付加]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △納付済／(△は全角スペース) △産前産後／ △育児／(△は全角スペース) ※出力仕様書「項番13」と「項番14」は、合わせて文字が「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※出力仕様書「項番13」単独となる場合も、文字が「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※詳細は、「別添5-1-2付属」参照。
14	ハガキ 50歳未満 表面	国民年金納付状況 (付加)	1行	XX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [83]納付状況(下段)を参照し、出力する。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※出力仕様書「項番13」と「項番14」は、合わせて文字が「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※詳細は、「別添5-1-2付属」参照。
15	ハガキ 50歳未満 表面	加入区分	1行	XX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>[78]加入制度を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※[78]加入制度に収録される項目は、「厚年」・「基金」・「船保」・「公共」・「私学」となる。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※詳細は、「別添5-1-2付属」参照。
16	ハガキ 50歳未満 表面	標準報酬月額	3 * 1行	ZZ9	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> [85]標準報酬月額を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、末尾4桁(カンマを含む)・先頭3桁(カンマを含む)は出力せず、印字形式のとおり出力すること。(標準報酬月額の上限は650千円) ※詳細は、「別添5-1-2付属」参照。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 表面
(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
17	ハガキ 50歳未満 表面	標準賞与額	5 * 1行	Z,ZZ9	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> 【86】標準賞与額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ,ZZZ,ZZ9”であるが、末尾4桁(カンマを含む)、先頭1桁は出力せず、 印字形式のとおり出力すること。(標準賞与額の上限は1,500千円) ※詳細は、「別添5－1－2付属」参照。
18	ハガキ 50歳未満 表面	保険料納付額	7 * 1行	ZZZ,ZZ9	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> 【87】納付額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ,ZZZ,ZZ9”であるが、実在する保険料納付額が 最大7桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。 ※詳細は、「別添5－1－2付属」参照。
19	ハガキ 50歳未満 表面	二次元コード	—		【別添5-1-7-1】出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 公的年金シミュレーター二次元コード 【別添5-1-7-1／別添5-2-7-1(共通)】公的年金シミュレーター二次元コードの作成について(直近1年間通知者用)を参照し、二次元コードを出力する。

項番 12～18 の仕様について

○出力仕様書の項番 13、14は国民年金にかかる出力部分、項番 15～18は厚生年金保険にかかる出力部分であり、それぞれが独立した出力となります。

○直近 1 年月別状況レコードにおいて、同一年月の記録が複数収録される場合があります。

○同一年月の記録はレコードをまたいで収録される場合があるので、同一の基礎年金番号で連続するすべての直近 1 年月別状況レコードを判定する必要があります。

※同一年月の記録は連続した状態で収録されます（ただし、レコードをまたぐ場合があります）

○出力仕様書の項番 13、14には、「1 つめ（先頭）の記録のみ出力すること。」の指定はないので、対象年月の記録（直近 1 年月別状況レコードの項番 82、83）を出力仕様書のとおり印字します。

○出力仕様書の項番 15～18には、「1 つめ（先頭）の記録のみ出力すること。」の指定があるので、同一年月を判定し、対象年月の記録（直近 1 年月別状況レコードの項番 78、85、86、87）を出力仕様書のとおり印字します。

※あくまでも厚生年金保険にかかる記録を指しています。

○出力例

■直近 1 年月別状況レコード（直近 1 年月別情報部内の記録）

レコード番号	1 記録目						2 記録目						3 記録目					
	項番 73-76	項番 78	項番 82-83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73-76	項番 78	項番 82-83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73-76	項番 78	項番 82-83	項番 85	項番 86	項番 87
①	7年12月	△	未納	△	△	△	7年12月	厚年	△	320,000	△	27,958	8年1月	△	未納	△	△	△
②	8年2月	△	未納	△	△	△	8年2月	公共	△	320,000	500,000	37,958	8年3月	△	未納	△	△	△
③	8年3月	公共	△	320,000	500,000	37,958	8年4月	△	3号	△	△	△	8年5月	△	3号	△	△	△
④	8年6月	△	3号	△	△	△	8年7月	△	3号	△	△	△	8年8月	△	3号	△	△	△
⑤	8年9月	△	3号	△	△	△	8年10月	△	3号	△	△	△	8年11月	△	3号	△	△	△
⑥	8年12月	△	確認中	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

※1レコード3記録が格納され、最小5～最大26レコードが格納されます。

△：半角ALLスペース

■印刷イメージ

年月 (和暦)	国民年金 (第1号・第3号) 納付状況	厚生年金保険			
		加入区分	標準報酬月額	標準賞与額	保険料
出力仕様書 項番 12	出力仕様書 項番 13、14	出力仕様書 項番 15	出力仕様書 項番 16	出力仕様書 項番 17	出力仕様書 項番 18
7年12月	未納	厚年	320		27,958
8年 1月	未納				
8年 2月	未納	公共	320	500	37,958
8年 3月	未納	公共	320	500	37,958
(途 中 、 省 略)					
8年12月	確認中				

出力位置：「ねんきん定期便」（直近１年間通知者／５０歳未満者用）裏面（令和８年４月～９月発送分）

【別添５-１-３】

「ねんきん定期便」記載内容についてのお知らせ

○厚生年金保険料は、被保険者と事業主が折半して負担することとされており、被保険者であった時の賃金や期間に応じて年金額が計算されます。「ねんきん定期便」ではご本人の納付実績として被保険者負担分の保険料納付額を記載しており、お手持ちの給与明細等に記載されている保険料額で確認ができます。

○各項目に関する見方の詳細は、日本年金機構のホームページでご案内しています。

ねんきん定期便 見方

検索

(<https://www.nenkin.go.jp/service/nenkinkiroku/torikumi/teikibin/teikibin.html>)

【データ作成日】

国民年金および一般厚生年金期間				公務員厚生年金期間 (国家公務員・地方公務員)				私学共済厚生年金期間 (私立学校の教職員)			
項番 6	項番 7	項番 8	項番 9	項番 10	項番 11	項番 12	項番 13	項番 14	項番 15	項番 16	項番 17

この定期便は、上記データ作成日時点の前々月までの記録をお知らせしています。
納付記録がデータに反映されるまで日数がかかることがあります。

「ねんきんネット」をご利用しませんか？

○「ねんきんネット」は、スマートフォンやPCからご自身の年金記録や電子版「ねんきん定期便」の確認、年金受給開始を遅らせる場合などの年金見込額の試算、持ち主不明の年金記録の検索（亡くなられた方の年金記録を含む）などができるサービスです。

○マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナポータルから簡単に利用登録ができます。また、お持ちでない方も、基礎年金番号と右記の「お客様のアクセスキー」を使用して日本年金機構ホームページから利用登録ができます。

○「ねんきん定期便」は「ねんきんネット」からペーパーレス化の登録ができます。環境への配慮に、ぜひご協力をお願いします。

スマートフォンでのご利用登録はこちら→

(https://www.3idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do)

お問い合わせは「ねんきん定期便・ねんきんネット専用番号」へ

0570-058-555

全国一律の通話料金でご利用いただけます。
ナビダイヤル® 通話料金定額プランの対象外です。

050から始まる電話からおかけになる場合（東京）03-6700-1144

受付時間

月曜日※1 8：30～19：00
火～金曜日 8：30～17：15
第2土曜日※2 9：30～16：00

※1 月曜日が祝日の場合は、翌日以降の平日の初日に19：00まで受け付けます。
※2 第2土曜日以外の土・日・祝日 12/29～1/3はご利用いただけません。

1. これまでの保険料納付額（累計額）

(1) 国民年金保険料 (第1号被保険者期間)	項番1 円
(2) 厚生年金保険料(被保険者負担額)	
一般厚生年金期間	項番2 円
公務員厚生年金期間	項番3 円
私学共済厚生年金期間	項番4 円
(1)と(2)の合計	項番5 円

※厚生年金保険料は事業主も上記の被保険者負担額と同額を負担しています。

2. これまでの年金加入期間（老齢年金の受け取りには、原則として120月以上の受給資格期間が必要です）

国民年金（a）			付加保険料 納付済月数	船員保険（c）	年金加入期間 合計 (未納月数を除く) (a+b+c)	合算対象期間等 (d)	受給資格期間 (a+b+c+d)
第1号被保険者 (未納月数を除く)	第3号被保険者	国民年金 計 (未納月数を除く)	項番21 月	項番22 月			
項番18 月	項番19 月	項番20 月					
厚生年金保険（b）							
一般厚生年金	公務員厚生年金	私学共済厚生年金	厚生年金保険 計		項番27 月	項番28 月	項番29 月
項番23 月	項番24 月	項番25 月	項番26 月				

※一般厚生年金期間の報酬比例部分には、厚生年金基金の代行部分を含んでいます。
※基礎年金給付の2分の1相当は国庫から負担されています。

3. これまでの加入実績に応じた年金額（年額）
(今後の加入状況に応じて年金額は増額します※表面の図もご覧ください)

(1) 老齢基礎年金	項番30 円
(2) 老齢厚生年金	
一般厚生年金期間	項番31 円
公務員厚生年金期間	項番32 円
私学共済厚生年金期間	項番33 円
(1)と(2)の合計	項番34 円

お客様へのお知らせ

項番36

ねんきんネットの「お客様のアクセスキー」

項番35

※「お客様のアクセスキー」の有効期限は、
左記データ作成日から5カ月後の月末までです。

右のマークは目の不自由な
方のための音声コードです。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 裏面
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
1	ハガキ 50歳未満 裏面	国民年金保険料 (第1号被保険者期間の 保険料納付額)	1行	ZZ,ZZZ,ZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞[91]保険料納付額(国年)を参照し、出力する。
2	ハガキ 50歳未満 裏面	厚生年金保険料 (一般厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ,ZZZ,ZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞[92]保険料納付額(厚船)を参照し、出力する。
3	ハガキ 50歳未満 裏面	厚生年金保険料 (公務員厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ,ZZZ,ZZ9	＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[138]保険料納付額(2・3号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
4	ハガキ 50歳未満 裏面	厚生年金保険料 (私学共済厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ,ZZZ,ZZ9	＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[139]保険料納付額(4号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
5	ハガキ 50歳未満 裏面	これまでの 保険料納付額 国民年金・船員保険・ 厚生年金 計	1行	ZZ,ZZZ,ZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞ [89]保険料納付額合計(国年+厚船+2・3号+4号)1を参照し、出力する。
6	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「年元号」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	XX	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日＞[38]抽出年元号を参照し、出力する。
7	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「年」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9年	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／抽出年月日＞[39]抽出年、[40]年を参照し、出力する。 ※[39]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。
8	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「月」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9月	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／抽出年月日＞[41]抽出月、[42]月を参照し、出力する。
9	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「日」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9日	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／抽出年月日＞[43]抽出日、[44]日を参照し、出力する。
10	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「年元号」 (公務員厚年期間)	1行	XX	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合は、「*****」を出力する。
11	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「年」 (公務員厚年期間)	1行	Z9年	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[116]抽出年を参照し、出力する。 ※[116]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※[116]抽出年の後に「年」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、 収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
12	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「月」 (公務員厚年期間)	1行	Z9月	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[117]抽出月を参照し、出力する。 ※[117]抽出月の後に「月」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、 収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
13	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「日」 (公務員厚年期間)	1行	Z9日	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[118]抽出日を参照し、出力する。 ※[118]抽出日の後に「日」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、 収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
14	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「年元号」 (私学共済厚年期間)	1行	XX	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合は、「*****」を出力する。
15	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「年」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9年	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[121]抽出年を参照し、出力する。 ※[121]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※[121]抽出年の後に「年」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、 収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
16	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「月」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9月	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[122]抽出月を参照し、出力する。 ※[122]抽出月の後に「月」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、 収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
17	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「日」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9日	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[123]抽出日を参照し、出力する。 ※[123]抽出日の後に「日」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、 収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
18	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 第1号被保険者 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64]第1号被保険者加入月数(未納除く)を参照し、出力する。
19	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 第3号被保険者	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [84]第3号被保険者加入月数を参照し、出力する。
20	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 国民年金計 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞[64]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 ＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞[84]第3号被保険者加入月数、 ※＜出力例＞ 第1号被保険者加入月数(未納除く)△△1、第3号被保険者加入月数△△9の場合 → △10 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式の通り印字すること。
21	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 付加保険料 納付済月数	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [73]付加納付月数を参照し、出力する。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 裏面
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知 区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
22	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 船員保険	1行	ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間>[81]船保期間を参照し、出力する。
23	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 一般厚生年金	1行	ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間>[78]厚年期間を参照し、出力する。
24	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 公務員厚生年金 (国家公務員・地方公務員)	1行	ZZ9	<基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [131]厚年期間(第2・3号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
25	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 私学共済厚生年金 (私立学校の教職員)	1行	ZZ9	<基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [135]厚年期間(第4号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
26	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 厚生年金保険 計	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 <基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間>[78]厚年期間、 <基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [131]厚年期間(第2・3号)、[135]厚年期間(第4号)、 ※<出力例> 厚年期間 △△5、厚年期間(第2・3号) △50、厚年期間(第4号) △10の場合 → △65 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式の通り印字すること。
27	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間合計 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部>[62]年金加入期間総合計2を参照し、出力する。
28	ハガキ 50歳未満 裏面	合算対象期間等	1行	ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部>[87]合算対象期間を参照し、出力する。
29	ハガキ 50歳未満 裏面	受給資格期間	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 <基本レコード／加入月数情報部>[62]年金加入期間総合計2、[87]合算対象期間、 ※<出力例> 年金加入期間総合計2 △△9、合算対象期間 △10の場合 → △19 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式の通り印字すること。
30	ハガキ 50歳未満 裏面	<見込額> これまでの加入実績に 応じた老齢基礎年金額	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <簡易見込額レコード／表示部>[62]期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は「*****」を出力する。 ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、 [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢基礎年金見込額> [32]見込額年額(基礎)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が 最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
31	ハガキ 50歳未満 裏面	<見込額> これまでの加入実績に 応じた老齢厚生年金額 (一般厚年期間)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <簡易見込額レコード／表示部>[62]期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は「*****」を出力する。 ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、 [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢基礎年金見込額> [41]見込額年額(老厚)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が 最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
32	ハガキ 50歳未満 裏面	<見込額> これまでの加入実績に 応じた老齢厚生年金額 (公務員厚年期間)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <簡易見込額レコード／表示部>[62]期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は「*****」を出力する。 ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、 [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／共済簡易見込額情報部／老齢厚生年金見込額／2・3号> [66]見込額総合計(2・3号)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が 最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 裏面
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
33	ハガキ 50歳未満 裏面	＜見込額＞ これまでの加入実績に 応じた老齢厚生年金額 (私学共済厚年期間)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <簡易見込額レコード／表示部>[62]期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は「*****」を出力する。 ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、 [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢基礎年金見込額／4号> [68]見込額総合計(4号)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が 最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
34	ハガキ 50歳未満 裏面	＜見込額 計＞ これまでの加入実績に 応じた老齢基礎年金＋ 老齢厚生年金額(年額)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <簡易見込額レコード／表示部>[62]期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は「*****」を出力する。 ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、 [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢年金見込額(基礎・厚年合計)1> [26]年額(基礎・厚年合計)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が 最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
35	ハガキ 50歳未満 裏面	アクセスキー	17 × 1行	XXXXXXXXXXXXXXXXX	<基本レコード／NEKOアクセスキー情報>[107]NEKOアクセスキーを参照し、出力する。 ※枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上づつ余白が出るように出力すること。
36	ハガキ 50歳未満 裏面	お客様へのお知らせ	X行	XXX～XXX	【別添1】「お知らせ」欄に印字する文言の条件・内容について(直近1年間通知者用)を参照し、 指定された固定文言を出力する。
37	ハガキ 50歳未満 裏面	二次元コード	1行		スマートフォン版の「ねんきんネット(申請用トップページ)」へ遷移する二次元コードを生成し、出力する。 遷移先のアドレス:https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do ※<二次元コードの仕様> QRコード モデル2、バージョン5、誤り訂正レベル「M」、モード:バイナリ 二次元コードの各辺から2mm以上の余白を確保すること。 スマートフォンでの読取りに対応すること。 ※ QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

【別添5-1-3-1】

令和8年10月より 帳票レイアウト変更 予定

「ねんきん定期便」記載内容についてのお知らせ

厚生年金保険料(被保険者負担額)と国民年金保険料(第1号被保険者期間)は、日本年金機構の「ねんきんネット」ではご本人の納付情報と保険料額を確認することができます。

各項目の明細は、日本年金機構の「ねんきん定期便」で見ることができます。

(<https://www.nenkin.go.jp/service/nenkin/iroko/tenkumi/tenkumi/tenkumi.html>)

【データ作成日】

国民年金および 一般厚生年金期間				公務員厚生年金期間 (国家公務員・地方公務員)				私学共済厚生年金期間 (私立学校の教職員)			
項番 6	項番 7	項番 8	項番 9	項番 10	項番 11	項番 12	項番 13	項番 14	項番 15	項番 16	項番 17

この定期便は、上記データ作成日時時点の前々月までの記録をお知らせしています。
納付記録がデータに反映されるまで日数がかかることがあります。

「ねんきんネット」をご利用しませんか？

- 「ねんきんネット」は、スマートフォンやPCからご自身の年金記録や電子版「ねんきん定期便」の確認、年金受給開始を遅らせる場合などの年金見込額の試算、持主不明の年金記録の検索（亡くなられた方の年金記録を含む）などができるサービスです。
- マイナンバーカードをお持ちの方は、**マイナポータルから簡単に利用登録**ができます。また、お持ちでない方も、基礎年金番号と右記の「お客様のアクセスキー」を使用して日本年金機構ホームページから利用登録ができます。
- 「ねんきん定期便」は「ねんきんネット」からペーパーレス化の登録ができます。環境への配慮に、ぜひご協力をお願いします。

スマートフォンでのご利用登録はこちら➡

(https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do)

お問い合わせは「ねんきん定期便・ねんきんネット専用番号」へ

0570-058-555

全国一律の通話料金でご利用いただけます。
通話料金定額プランの対象外です。

050から始まる電話からおかけになる場合（東京）03-6700-1144

受付時間

月曜日※1 8:30～19:00

火～金曜日 8:30～17:15

第2土曜日※2 9:30～16:00

※1 月曜日が祝日の場合は、翌日以降の平日の初日に19:00まで受け付けます。

※2 第2土曜日以外の土・日・祝日 12/29～1/3はご利用いただけません。

1. これまでの保険料納付額（累計額）

(1) 国民年金保険料 (第1号被保険者期間)	項番1 円
(2) 厚生年金保険料(被保険者負担額)	
一般厚生年金期間	項番2 円
公務員厚生年金期間	項番3 円
私学共済厚生年金期間	項番4 円
(1)と(2)の合計	項番5 円

※厚生年金保険料は事業主も上記の被保険者負担額と同額を負担しています。

2. これまでの年金加入期間（老齢年金の受け取りには、原則として120月以上の受給資格期間が必要です）

国民年金（a）				付加保険料 納付済月数	船員保険（c）	年金加入期間 合計 (未納月数を除く) (a+b+c)	合算対象期間等 (d)	受給資格期間 (a+b+c+d)
第1号被保険者 (未納月数を除く)	第3号被保険者	国民年金 計 (未納月数を除く)						
項番18 月	項番19 月	項番20 月	項番21 月	項番22 月				
厚生年金保険（b）								
一般厚生年金	公務員厚生年金	私学共済厚生年金	厚生年金保険 計					
項番23 月	項番24 月	項番25 月	項番26 月		項番27 月	項番28 月	項番29 月	

3. これまでの加入実績に応じた年金額（年額） (今後の加入状況に応じて年金額は増額します※表面の図もご覧ください)

(1) 老齢基礎年金	項番30 円
(2) 老齢厚生年金	
一般厚生年金期間	項番31 円
公務員厚生年金期間	項番32 円
私学共済厚生年金期間	項番33 円
(1)と(2)の合計	項番34 円

お客様へのお知らせ

項番36

ねんきんネットの「お客様のアクセスキー」

項番35

※「お客様のアクセスキー」の有効期限は、
左記データ作成日から5カ月後の月末までです。

右のマークは目の不自由な
方のための音声コードです。

項番37

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
1	ハガキ 50歳未満 裏面	国民年金保険料 (第1号被保険者期間の 保険料納付額)	1行	ZZ,ZZZ,ZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞[91]保険料納付額(国年)を参照し、出力する。
2	ハガキ 50歳未満 裏面	厚生年金保険料 (一般厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ,ZZZ,ZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞[92]保険料納付額(厚船)を参照し、出力する。
3	ハガキ 50歳未満 裏面	厚生年金保険料 (公務員厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ,ZZZ,ZZ9	＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[138]保険料納付額(2・3号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
4	ハガキ 50歳未満 裏面	厚生年金保険料 (私学共済厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ,ZZZ,ZZ9	＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[139]保険料納付額(4号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
5	ハガキ 50歳未満 裏面	これまでの 保険料納付額 国民年金・船員保険・ 厚生年金 計	1行	ZZ,ZZZ,ZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞ [89]保険料納付額合計(国年+厚船+2・3号+4号)1を参照し、出力する。
6	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「年元号」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	XX	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日＞[38]抽出年元号を参照し、出力する。
7	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「年」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9年	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／抽出年月日＞[39]抽出年、[40]年を参照し、出力する。 ※[39]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。
8	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「月」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9月	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／抽出年月日＞[41]抽出月、[42]月を参照し、出力する。
9	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「日」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9日	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／抽出年月日＞[43]抽出日、[44]日を参照し、出力する。
10	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「年元号」 (公務員厚年期間)	1行	XX	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合は、「*****」を出力する。
11	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「年」 (公務員厚年期間)	1行	Z9年	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[116]抽出年を参照し、出力する。 ※[116]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※[116]抽出年の後に「年」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、 収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
12	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「月」 (公務員厚年期間)	1行	Z9月	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[117]抽出月を参照し、出力する。 ※[117]抽出月の後に「月」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、 収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
13	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「日」 (公務員厚年期間)	1行	Z9日	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[118]抽出日を参照し、出力する。 ※[118]抽出日の後に「日」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、 収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
14	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「年元号」 (私学共済厚年期間)	1行	XX	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合は、「*****」を出力する。
15	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「年」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9年	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[121]抽出年を参照し、出力する。 ※[121]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※[121]抽出年の後に「年」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、 収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
16	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「月」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9月	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[122]抽出月を参照し、出力する。 ※[122]抽出月の後に「月」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、 収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
17	ハガキ 50歳未満 裏面	作成年月日「日」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9日	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[123]抽出日を参照し、出力する。 ※[123]抽出日の後に「日」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、 収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
18	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 第1号被保険者 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64]第1号被保険者加入月数(未納除く)を参照し、出力する。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
19	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 第3号被保険者	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [84]第3号被保険者加入月数を参照し、出力する。
20	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 国民年金計 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞[64]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 ＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞[84]第3号被保険者加入月数、 ※＜出力例＞ 第1号被保険者加入月数(未納除く)△△1、第3号被保険者加入月数△△9の場合 → △△10として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式の通り印字すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
21	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 付加保険料 納付済月数	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [73]付加納付月数を参照し、出力する。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
22	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 船員保険	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[81]船保期間を参照し、出力する。
23	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 一般厚生年金	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間を参照し、出力する。
24	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 公務員厚生年金 (国家公務員・地方公務員)	1行	ZZ9	＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [131]厚年期間(第2・3号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
25	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 私学共済厚生年金 (私立学校の教職員)	1行	ZZ9	＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [135]厚年期間(第4号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
26	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間 厚生年金保険 計	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [131]厚年期間(第2・3号)、[135]厚年期間(第4号)、 ※＜出力例＞ 厚年期間 △△5、厚年期間(第2・3号) △50、厚年期間(第4号) △10 の場合 → △65 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式の通り印字すること。
27	ハガキ 50歳未満 裏面	年金加入期間合計 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2を参照し、出力する。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
28	ハガキ 50歳未満 裏面	合算対象期間等	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞[87]合算対象期間を参照し、出力する。
29	ハガキ 50歳未満 裏面	受給資格期間	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2、[87]合算対象期間、 ※＜出力例＞ 年金加入期間総合計2 △△9、合算対象期間 △10 の場合 → △19 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式の通り印字すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
30	ハガキ 50歳未満 裏面	＜見込額＞ これまでの加入実績に 応じた老齢基礎年金額	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜簡易見込額レコード／表示部＞[62]期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は「*****」を出力する。 ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、 [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 ＜簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢基礎年金見込額＞ [32]見込額年額(基礎)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が 最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
31	ハガキ 50歳未満 裏面	＜見込額＞ これまでの加入実績に 応じた老齢厚生年金額 (一般厚年期間)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜簡易見込額レコード／表示部＞[62]期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は「*****」を出力する。 ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、 [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 ＜簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢基礎年金見込額＞ [41]見込額年額(老厚)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が 最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
32	ハガキ 50歳未満 裏面	＜見込額＞ これまでの加入実績に 応じた老齢厚生年金額 (公務員厚年期間)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜簡易見込額レコード／表示部＞[62]期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は「*****」を出力する。 ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、 [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 ＜簡易見込額レコード／共済簡易見込額情報部／老齢厚生年金見込額／2・3号＞ [66]見込額総合計(2・3号)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が 最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳未満者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
33	ハガキ 50歳未満 裏面	＜見込額＞ これまでの加入実績に 応じた老齢厚生年金額 (私学共済厚年期間)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜簡易見込額レコード／表示部＞[62]期間重複表示を参照し、「1」が収録されている場合は「*****」を出力する。 ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、[62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、＜簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢基礎年金見込額／4号＞[68]見込額総合計(4号)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
34	ハガキ 50歳未満 裏面	＜見込額 計＞ これまでの加入実績に 応じた老齢基礎年金＋ 老齢厚生年金額(年額)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜簡易見込額レコード／表示部＞[62]期間重複表示を参照し、「1」が収録されている場合は「*****」を出力する。 ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、[62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、＜簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢年金見込額(基礎・厚年合計)1＞[26]年額(基礎・厚年合計)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
35	ハガキ 50歳未満 裏面	アクセスキー	17 × 1行	XXXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／NEKOアクセスキー情報＞[107]NEKOアクセスキーを参照し、出力する。 ※枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上づつ余白が出るように出力すること。
36	ハガキ 50歳未満 裏面	お客様へのお知らせ	X行	XXX～XXX	【別添1】「お知らせ」欄に印字する文言の条件・内容について(直近1年間通知者用)を参照し、指定された固定文言を出力する。
37	ハガキ 50歳未満 裏面	二次元コード	1行		スマートフォン版の「ねんきんネット(申請用トップページ)」へ遷移する二次元コードを生成し、出力する。 遷移先のアドレス:https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do ※＜二次元コードの仕様＞ QRコード モデル2、バージョン5、誤り訂正レベル「M」、モード:バイナリ 二次元コードの各辺から2mm以上の余白を確保すること。 スマートフォンでの読取りに対応すること。 ※ QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

音声コードへ収録する内容（50歳未満者用）

※この「音声コードへ収録する内容」において参照するファイル名は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）」とする。

〔案内文1〕

ニッポン年金機構から、令和8年度の年金定期便をお送りします。
年金定期便は、毎年、年金加入記録をご確認頂くとともに、年金制度に対するご理解を深めて頂くことを目的として、厚生労働省から委託を受け、年金加入期間などの年金情報をお知らせするものです。

121文字

（注）『毎年』の読み上げは、「まいとし」または「まいねん」のいずれでも可とする。

〔これまでの年金加入期間〕

この年金定期便は、[項番1][項番2]年[項番3]月[項番4]日生まれ、のお客様にお送りしたもので、[項番5][項番6]年[項番7]月[項番8]日時点の年金加入記録にもとづいて作成しています。

これまでの年金加入期間は次の通りです。

国民年金の期間は、未納期間を除く第1号被保険者期間[項番9]ツキ、第3号被保険者期間[項番10]ツキ、合計[項番11]ツキです。

共済制度に加入の場合はこれを含んだ厚生年金保険の期間は[項番12]ツキ、船員保険の期間は[項番13]ツキ、年金加入期間の合計は[項番14]ツキとなります。

また、合算対象期間などが[項番15]ツキあり、受給資格期間は[項番16]ツキとなります。

最大252文字

① [項番2] または [項番6] が『1』の場合、漢字『元』に変更すること。

なお、[項番2] または [項番6] に続く漢字『年』を含め、音声コードの読み上げで「がんねん」と読み上げない場合は、[項番2] または [項番6] に続く漢字『年』を含め、カタカナ『ガンネン』に変更すること。

変更例)

変換前：令和1年5月 ⇒ 変換後：令和元年5月

※「元年」を「がんねん」と読み上げない場合 ⇒ 変換後：令和ガンネン5月

〔これまでの加入実績に応じた年金額〕

以下の①及び②の条件に該当する場合は、**見込額** の音声コードを、
③または④の条件に該当する場合は、**見込額算出不可** の音声コードを作成する。

① <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>

[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード が『スペース』の場合

② <簡易見込額レコード／表示部>

[62]期間重複表示 が『1』以外 の場合

⇒ 見込額 の 音声コード

③ <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>

[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード が『スペース』以外 の場合

④ <簡易見込額レコード／表示部>

[62]期間重複表示 が『1』の場合

⇒ 見込額算出不可の 音声コード

見込額

これまでの年金加入実績に応じた年金ガクは、老齢基礎年金ガク、年額 [項番 17] 円、
共済制度に加入の場合はこれを含んだ老齢厚生年金ガク、年額 [項番 18] 円、合計額は、
年額 [項番 19] 円です。

最大96文字

見込額算出不可

これまでの年金加入実績に応じた年金ガクは、加入期間が重複している年金加入記録
があるなどの理由により、計算することができませんでした。つきましては、年金加入
記録の訂正が必要な場合がありますので、大変お手数ですが、お近くの年金事務所にご
相談ください。

123文字

〔これまでの保険料納付額〕

これまでに納付した保険料^{のうふ ほけんりょう}は、累計^{るいけい}で、国民年金^{こくみんねんきん}〔項番 20〕^{えん}円、共済制度^{きょうさいせいど}に加入^{かにゅう}の場合はこれを^{ばあい}含んだ^{ふく}厚生年金保険^{こうせいねんきんほけん}〔項番 21〕^{えん}円、合計^{ごうけい}〔項番 22〕^{えん}円となります。

最大86文字

〔案内文2〕

この年金定期便^{ねんきんていきびん}の内容^{ないよう}に関するお問い合わせは、専用番号^{せんようばんごう}へお電話^{でんわ}ください。
電話番号^{でんわばんごう}は、0570-058-555です。

お客様^{きやくさま}の電話番号^{でんわばんごう}が050から始まる場合は、東京^{とうきょう}03-6700-1144へおかけください。お問い合わせの際は、次の12ケタの照会番号^{しょうかいばんごう}をお知らせください。お客様の照会番号^{しょうかいばんごう}は、〔項番 23〕番^{ばん}です。

また、お近く^{ちか}の年金事務所^{ねんきんじむしょ}にお越しいただければ、書類^{しよるい}の読み上げ^{よあ}や、記入^{きにゅう}の代筆^{だいひつ}などの支援^{しえん}を^{いた}致します。

205文字

合計文字数（見込額ありの場合） 最大760文字

合計文字数（見込額算出不可の場合） 最大787文字

音声コード仕様書(50歳未満者用)
(令和8年4月～9月発送分)

※本音声コード仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	表示形式	仕様
1	ハガキ 50未満	生年元号	XX	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [54]生年元号 を参照し、音声コードを作成する。
2	ハガキ 50未満	生年	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [55]生年 を参照し、音声コードを作成する。 ※[55]生年が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す) ※[55]生年が「△1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。(△はスペースを表す)
3	ハガキ 50未満	生年月	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [56]生年月 を参照し、音声コードを作成する。 ※[56]生年月が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
4	ハガキ 50未満	生年日	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [57]生年日 を参照し、音声コードを作成する。 ※[57]生年日が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
5	ハガキ 50未満	抽出年元号	XX	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [26]抽出年元号 を参照し、音声コードを作成する。
6	ハガキ 50未満	抽出年	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [27]抽出年 を参照し、音声コードを作成する。 ※[27]抽出年が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す) ※[27]抽出年が「△1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。(△はスペースを表す)
7	ハガキ 50未満	抽出月	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [28]抽出月 を参照し、音声コードを作成する。 ※[28]抽出月が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
8	ハガキ 50未満	抽出日	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [29]抽出日 を参照し、音声コードを作成する。 ※[29]抽出日が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
9	ハガキ 50未満	第1号被保険者 (未納期間除く)	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64]第1号被保険者加入月数(未納除く) を参照し、音声コードを作成する。
10	ハガキ 50未満	第3号被保険者	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [84]第3号被保険者加入月数 を参照し、音声コードを作成する。
11	ハガキ 50未満	国民年金 計 (未納期間除く)	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞[64]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 ＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞[84]第3号被保険者加入月数、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で表示すること。
12	ハガキ 50未満	厚生年金保険 計 (共済期間を含む)	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[131]厚年期間(第2・3号)、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[135]厚年期間(第4号)、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で表示すること。
13	ハガキ 50未満	船員保険	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [81]船保期間 を参照し、音声コードを作成する。
14	ハガキ 50未満	年金加入期間合計 (未納期間除く)	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [62]年金加入期間総合計2 を参照し、音声コードを作成する。
15	ハガキ 50未満	合算対象期間	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [87]合算対象期間 を参照し、音声コードを作成する。
16	ハガキ 50未満	受給資格期間	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2、 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[87]合算対象期間、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で表示すること。
17	ハガキ 50未満	これまでの加入実績に 応じた老齢基礎年金額	ZZZZZZ9	＜簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢基礎年金見込額＞ [32]見込額年額(基礎) を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が 最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
18	ハガキ 50未満	これまでの加入実績に 応じた老齢厚生年金額 (共済期間を含む)	ZZZZZZ9	以下の項番を参照し、合計金額を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢厚生年金見込額＞[41]見込額年額(老厚)、 ＜簡易見込額レコード／共済簡易見込額情報部／老齢厚生年金見込額／2・3号＞[66]見込額総合計(2・3号)、 ＜簡易見込額レコード／共済簡易見込額情報部／老齢厚生年金見込額／4号＞[68]見込額総合計(4号)、 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いて合計金額を算出し、 そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”

音声コード仕様書(50歳未満者用)
(令和8年4月～9月発送分)

※本音声コード仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	表示形式	仕様
19	ハガキ 50未満	これまでの加入実績に応じた老齢基礎年金＋老齢厚生年金額(年額)	ZZZZZZ9	＜簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢厚生年金見込額＞ [26]年額(基礎・厚生合計)を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
20	ハガキ 50未満	国民年金 (第1号被保険者期間の保険料納付額)	ZZZZZZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞[91]保険料納付額(国年)を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いた“ZZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12,345”⇒“12345”
21	ハガキ 50未満	厚生年金被保険者期間の保険料納付額 (共済期間を含む)	ZZZZZZZ9	以下の項番を参照し、合計金額を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／保険料納付額情報＞[92]保険料納付額(厚船)、 ＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[138]保険料納付額(2・3号)、 ＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[139]保険料納付額(4号)、 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いて合計金額を算出し、“ZZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12,345”⇒“12345”
22	ハガキ 50未満	これまでの保険料納付額 【国民年金・厚生年金合計】	ZZZZZZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞ [89]保険料納付額合計(国年＋厚船＋2・3号＋4号)1を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いた“ZZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12,345”⇒“12345”
23	ハガキ 50未満	照会番号		＜基本レコード／基本情報部＞ [52]照会番号を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値は“XXXXXXXXXX”であるが、照会番号については、音声コードの仕様に基づき区切り文字(空白を除く)を入れ、数字を1文字ずつ読み上げるように作成すること。

音声コード仕様書(50歳未満者用)

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本音声コード仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	表示形式	仕様
1	ハガキ 50未満	生年元号	XX	<基本レコード／基本情報部／生年月日> [54]生年元号 を参照し、音声コードを作成する。
2	ハガキ 50未満	生年	Z9	<基本レコード／基本情報部／生年月日> [55]生年 を参照し、音声コードを作成する。 ※[55]生年が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す) ※[55]生年が「△1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。(△はスペースを表す)
3	ハガキ 50未満	生年月	Z9	<基本レコード／基本情報部／生年月日> [56]生年月 を参照し、音声コードを作成する。 ※[56]生年月が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
4	ハガキ 50未満	生年日	Z9	<基本レコード／基本情報部／生年月日> [57]生年日 を参照し、音声コードを作成する。 ※[57]生年日が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
5	ハガキ 50未満	抽出年元号	XX	<基本レコード／基本情報部／抽出年月日> [26]抽出年元号 を参照し、音声コードを作成する。
6	ハガキ 50未満	抽出年	Z9	<基本レコード／基本情報部／抽出年月日> [27]抽出年 を参照し、音声コードを作成する。 ※[27]抽出年が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す) ※[27]抽出年が「△1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。(△はスペースを表す)
7	ハガキ 50未満	抽出月	Z9	<基本レコード／基本情報部／抽出年月日> [28]抽出月 を参照し、音声コードを作成する。 ※[28]抽出月が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
8	ハガキ 50未満	抽出日	Z9	<基本レコード／基本情報部／抽出年月日> [29]抽出日 を参照し、音声コードを作成する。 ※[29]抽出日が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
9	ハガキ 50未満	第1号被保険者 (未納期間除く)	ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間> [64]第1号被保険者加入月数(未納除く) を参照し、音声コードを作成する。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
10	ハガキ 50未満	第3号被保険者	ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間> [84]第3号被保険者加入月数 を参照し、音声コードを作成する。
11	ハガキ 50未満	国民年金 計 (未納期間除く)	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 <基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間> [64]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 <基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間> [84]第3号被保険者加入月数、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、「ZZ9」の形式で表示すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
12	ハガキ 50未満	厚生年金保険 計 (共済期間を含む)	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 <基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間> [78]厚年期間、 <基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [131]厚年期間(第2・3号)、 <基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [135]厚年期間(第4号)、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、「ZZ9」の形式で表示すること。
13	ハガキ 50未満	船員保険	ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間> [81]船保期間 を参照し、音声コードを作成する。
14	ハガキ 50未満	年金加入期間合計 (未納期間除く)	ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部> [62]年金加入期間総合計2 を参照し、音声コードを作成する。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
15	ハガキ 50未満	合算対象期間	ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部> [87]合算対象期間 を参照し、音声コードを作成する。
16	ハガキ 50未満	受給資格期間	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 <基本レコード／加入月数情報部> [62]年金加入期間総合計2、 <基本レコード／加入月数情報部> [87]合算対象期間、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、「ZZ9」の形式で表示すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
17	ハガキ 50未満	これまでの加入実績に 応じた年齢基礎年金額	ZZZZZZ9	<簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／年齢基礎年金見込額> [32]見込額年額(基礎) を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値「ZZ.ZZZ.ZZ9」からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、「ZZZZZZ9」の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 <出力例>「△1,234,567」⇒「1234567」

音声コード仕様書(50歳未満者用)
(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本音声コード仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	表示形式	仕様
18	ハガキ 50未満	これまでの加入実績に 応じた老齢厚生年金額 (共済期間を含む)	ZZZZZZ9	以下の項番を参照し、合計金額を算出のうえ音声コードを作成する。 <簡易見込額レコード/簡易見込額情報部/老齢厚生年金見込額>【41】見込額年額(老厚)、 <簡易見込額レコード/共済簡易見込額情報部/老齢厚生年金見込額/2・3号>【68】見込額総合計(2・3号)、 <簡易見込額レコード/共済簡易見込額情報部/老齢厚生年金見込額/4号>【68】見込額総合計(4号)、 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いて合計金額を算出し、 そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 <出力例>“△1,234,567”⇒“1234567”
19	ハガキ 50未満	これまでの加入実績に 応じた老齢基礎年金＋ 老齢厚生年金額(年額)	ZZZZZZ9	<簡易見込額レコード/簡易見込額情報部/老齢厚生年金見込額> 【26】年額(基礎・厚生合計)を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が 最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 <出力例>“△1,234,567”⇒“1234567”
20	ハガキ 50未満	国民年金 (第1号被保険者期間 の保険料納付額)	ZZZZZZ9	<基本レコード/保険料納付額情報>【91】保険料納付額(国年)を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いた“ZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 <出力例>“△△△△△12,345”⇒“12345”
21	ハガキ 50未満	厚生年金被保険者期間の 保険料納付額 (共済期間を含む)	ZZZZZZ9	以下の項番を参照し、合計金額を算出のうえ音声コードを作成する。 <基本レコード/保険料納付額情報>【92】保険料納付額(厚船)、 <基本レコード/共済保険料納付額情報>【138】保険料納付額(2・3号)、 <基本レコード/共済保険料納付額情報>【139】保険料納付額(4号)、 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いて合計金額を算出し、“ZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 <出力例>“△△△△△12,345”⇒“12345”
22	ハガキ 50未満	これまでの保険料納付額 【国民年金・厚生年金合計】	ZZZZZZ9	<基本レコード/保険料納付額情報> 【89】保険料納付額合計(国年＋厚船＋2・3号＋4号)1を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いた“ZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 <出力例>“△△△△△12,345”⇒“12345”
23	ハガキ 50未満	照会番号		<基本レコード/基本情報部> 【52】照会番号を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値は“XXXXXXXXXX”であるが、照会番号については、音声コードの仕様に基づき 区切り文字(空白を除く)を入れ、数字を1文字ずつ読み上げるように作成すること。

出力仕様書：直近1年間通知者／50歳未満者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知 区分	項目名	パラメータ値(URLエンコーディング前)		仕様																																							
			最大桁数 (半角換算)	出力形式																																								
1	ハガキ 50歳未満	50歳未満 ハガキ	1 桁	aa=X	固定値「1」とする。																																							
2	ハガキ 50歳未満	最新記録の年月 (ハガキ)	8 桁	ab=Z9年Z9月	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞[27]抽出年、[28]抽出月を参照し、下記表の最新記録の年月を出力する。 <table><tr><th>抽出年月</th><th>最新記録の年月</th><th>備考</th></tr><tr><td>令和8年2月</td><td>7年12月</td><td>令和7年12月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年3月</td><td>8年1月</td><td>令和8年1月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年4月</td><td>8年2月</td><td>令和8年2月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年5月</td><td>8年3月</td><td>令和8年3月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年6月</td><td>8年4月</td><td>令和8年4月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年7月</td><td>8年5月</td><td>令和8年5月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年8月</td><td>8年6月</td><td>令和8年6月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年9月</td><td>8年7月</td><td>令和8年7月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年10月</td><td>8年8月</td><td>令和8年8月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年11月</td><td>8年9月</td><td>令和8年9月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年12月</td><td>8年10月</td><td>令和8年10月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和9年1月</td><td>8年11月</td><td>令和8年11月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr></table> ※最新記録の年月 にスペースを含めないこと。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。	抽出年月	最新記録の年月	備考	令和8年2月	7年12月	令和7年12月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年3月	8年1月	令和8年1月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年4月	8年2月	令和8年2月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年5月	8年3月	令和8年3月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年6月	8年4月	令和8年4月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年7月	8年5月	令和8年5月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年8月	8年6月	令和8年6月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年9月	8年7月	令和8年7月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年10月	8年8月	令和8年8月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年11月	8年9月	令和8年9月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年12月	8年10月	令和8年10月（＝抽出年月の2か月前）	令和9年1月	8年11月	令和8年11月（＝抽出年月の2か月前）
抽出年月	最新記録の年月	備考																																										
令和8年2月	7年12月	令和7年12月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年3月	8年1月	令和8年1月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年4月	8年2月	令和8年2月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年5月	8年3月	令和8年3月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年6月	8年4月	令和8年4月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年7月	8年5月	令和8年5月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年8月	8年6月	令和8年6月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年9月	8年7月	令和8年7月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年10月	8年8月	令和8年8月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年11月	8年9月	令和8年9月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年12月	8年10月	令和8年10月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和9年1月	8年11月	令和8年11月（＝抽出年月の2か月前）																																										
3	ハガキ 50歳未満	最新記録の年月 (封書_厚船)	—	ac=	データなしとして出力する。																																							
4	ハガキ 50歳未満	最新記録の年月 (封書_国年)	—	ad=	データなしとして出力する。																																							
5	ハガキ 50歳未満	国年納付状況	10桁	ae=XXXXXX	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況＞[82]納付状況(上段)を参照し、出力する。 ※表3. 1－6において、項番[47]納付状況パターン[三号納付]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 3号 ※表3. 1－6において、項番[48]納付状況パターン[三号未納]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 3号未 ※表3. 1－6において、項番[76]納付状況パターン[学生納付特例]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 学特 ※表3. 1－6において、項番[78]納付状況パターン[納付猶予]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 猶予 ※[82]納付状況(上段)に含まれるスペースは出力しない。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。 ※該当する[82]納付状況(上段)に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ae=																																							
6	ハガキ 50歳未満	国年納付状況(付加)	4桁	af=XX	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況＞[83]納付状況(下段)を参照し、出力する。 ※[83]納付状況(下段)に含まれるスペースは出力しない。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。 ※該当する[83]納付状況(下段)に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 af=																																							
7	ハガキ 50歳未満	加入区分	4桁	ag=XX	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度＞[78]加入制度を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、半角オールスペースでない1つめ(先頭)の[78]加入制度を出力すること。 ※[78]加入制度に収録される項目は、「厚年」「基金」「船保」「公共」「私学」となる。 ※[78]加入制度に含まれるスペースは出力しない。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。 ※該当する[78]加入制度に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ag=																																							
8	ハガキ 50歳未満	標準報酬月額	8桁	ah=ZZZZZZZ9	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況＞[85]標準報酬月額を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、 ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度＞[78]加入制度が半角オールスペースでない1つめ(先頭)の[85]標準報酬月額を出力すること。 ※[85]標準報酬月額に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※[85]標準報酬月額は、出力形式の通り下8桁(カンマなし)を出力すること。 ※収録年月に該当する[85]標準報酬月額に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ah=																																							

出力仕様書：直近1年間通知者／50歳未満者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値(URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
9	ハガキ 50歳未満	標準賞与額	8桁	ai1=ZZZZZZZ9 ～ ai13=ZZZZZZZ9	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> [86]標準賞与額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>[78]加入制度 が半角オールスペースでない1つめ(先頭)の[86]標準賞与額 を出力すること。 ※収録年月の新しい順にai1～i3まで格納する。 ※[86]標準賞与額 に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※[86]標準賞与額 は、出力形式の通り下8桁(カンマなし)を出力すること。 ※収録年月に該当する[86]標準賞与額 に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月 の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ai1=& ... &ai13=
10	ハガキ 50歳未満	第1号被保険者 (国民年金)	3桁	aj=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間> [64]第1号被保険者加入月数(未納除く) を参照し、出力する。 ※[64]第1号被保険者加入月数(未納除く) に含まれるスペースは出力しない。
11	ハガキ 50歳未満	第3号被保険者 (国民年金)	3桁	ak=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間> [84]第3号被保険者加入月数 を参照し、出力する。 ※[84]第3号被保険者加入月数 に含まれるスペースは出力しない。
12	ハガキ 50歳未満	国民年金計	3桁	al=ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 <基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間> [64]第1号被保険者加入月数(未納除く) 、 <基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間> [84]第3号被保険者加入月数 ※合計月数に含まれるスペースは出力しない。
13	ハガキ 50歳未満	付加保険料納付済月数	3桁	am=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間> [73]付加納付月数 を参照し、出力する。 ※[73]付加納付月数 に含まれるスペースは出力しない。
14	ハガキ 50歳未満	船員保険	3桁	an=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間> [81]船保期間 を参照し、出力する。 ※[81]船保期間 に含まれるスペースは出力しない。
15	ハガキ 50歳未満	一般厚生年金	3桁	ao=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間> [78]厚年期間 を参照し、出力する。 ※[78]厚年期間 に含まれるスペースは出力しない。
16	ハガキ 50歳未満	公務員厚生年金	3桁	ap=ZZ9	<基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [131]厚年期間(第2・3号) を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。 ※[131]厚年期間(第2・3号) に含まれるスペースは出力しない。
17	ハガキ 50歳未満	私学共済厚生年金	3桁	aq=ZZ9	<基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [135]厚年期間(第4号) を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。 ※[135]厚年期間(第4号) に含まれるスペースは出力しない。
18	ハガキ 50歳未満	厚生年金保険計	3桁	ar=ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 <基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間> [78]厚年期間、 <基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [131]厚年期間(第2・3号)、[135]厚年期間 (第4号) ※合計月数に含まれるスペースは出力しない。 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、下3桁を出力すること。 <出力例> 厚年期間 △△5、厚年期間(第2・3号) △50、厚年期間(第4号) △10 の場合(△はスペースを表す) → 65 として出力
19	ハガキ 50歳未満	年金加入期間 合計	3桁	as=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部> [62]年金加入期間総合計2 を参照し、出力する。 ※[62]年金加入期間総合計2 に含まれるスペースは出力しない。
20	ハガキ 50歳未満	合算対象期間等	3桁	at=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部> [87]合算対象期間 を参照し、出力する。 ※[87]合算対象期間 に含まれるスペースは出力しない。
21	ハガキ 50歳未満	受給資格期間	3桁	au=ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 <基本レコード／加入月数情報部> [62]年金加入期間総合計2、[87]合算対象期間 ※合計月数に含まれるスペースは出力しない。 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、出力形式の通り下3桁を出力すること。 <出力例> 年金加入期間総合計2 △△9、合算対象期間 △10 の場合(△はスペースを表す) → 19 として出力

出力仕様書：直近1年間通知者／50歳未満者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値(URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
22	ハガキ 50歳未満	老齢基礎年金	7桁	av=ZZZZZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 av= ② <簡易見込額レコード／表示部>【62】期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は、データなしとして出力する。 av= ③ 【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコード、【62】期間重複表示を参照し、 【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコードに半角オールスペース、 【62】期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢基礎年金見込額> 【32】見込額年額(基礎)を参照し、出力する。 ※【32】見込額年額(基礎)に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 av= ※【32】見込額年額(基礎)に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※【32】見込額年額(基礎)は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
23	ハガキ 50歳未満	老齢厚生年金 (一般厚生年金期間)	7桁	aw=ZZZZZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 aw= ② <簡易見込額レコード／表示部>【62】期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は、データなしとして出力する。 aw= ③ 【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコード、【62】期間重複表示を参照し、 【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコードに半角オールスペース、 【62】期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢厚生年金見込額> 【41】見込額年額(老厚)を参照し、出力する。 ※【41】見込額年額(老厚)に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 aw= ※【41】見込額年額(老厚)に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※【41】見込額年額(老厚)は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
24	ハガキ 50歳未満	老齢厚生年金 (公務員厚生年金期間)	7桁	ax=ZZZZZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 ax= ② <簡易見込額レコード／表示部>【62】期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は、データなしとして出力する。 ax= ③ 【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコード、【62】期間重複表示を参照し、 【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコードに半角オールスペース、 【62】期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／共済簡易見込額情報部／老齢厚生年金見込額／2・3号> 【66】見込額総合計(2・3号)を参照し、出力する。 ※【66】見込額総合計(2・3号)に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 ax= ※【66】見込額総合計(2・3号)に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※【66】見込額総合計(2・3号)は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
25	ハガキ 50歳未満	老齢厚生年金 (私学共済厚生年金期間)	7桁	ay=ZZZZZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事故コード>【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 ay= ② <簡易見込額レコード／表示部>【62】期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は、データなしとして出力する。 ay= ③ 【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコード、【62】期間重複表示を参照し、 【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコードに半角オールスペース、 【62】期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢厚生年金見込額／4号> 【68】見込額総合計(4号)を参照し、出力する。 ※【68】見込額総合計(4号)に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 ay= ※【68】見込額総合計(4号)に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※【68】見込額総合計(4号)は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。

出力仕様書：直近1年間通知者／50歳未満者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値(URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
26	ハガキ 50歳未満	＜見込額 計＞ これまでの加入実績に応じた老齢基礎年金＋老齢厚生年金額(年額)	7桁	az=ZZZZZ9	① ＜簡易見込額レコード／高井戸検出事事故コード＞[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 az= ② ＜簡易見込額レコード／表示部＞[62]期間重複表示を参照し、「1」が収録されている場合は、データなしとして出力する。 az= ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示を参照し、[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードに半角オールスペース、[62]期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 ＜簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢年金見込額(基礎・厚生合計)1＞ [26]年額(基礎・厚生合計)を参照し、出力する。 ※[26]年額(基礎・厚生合計)に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 az= ※[26]年額(基礎・厚生合計)に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※[26]年額(基礎・厚生合計)は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
27	ハガキ 50歳未満	受給開始年齢	—	ba=	データなしとして出力する。
28	ハガキ 50歳未満	老齢基礎年金	—	bb=	データなしとして出力する。
29	ハガキ 50歳未満	一般厚生年金期間 (報酬比例部分)	—	bc=	データなしとして出力する。
30	ハガキ 50歳未満	一般厚生年金期間 (経過の加算部分)	—	bd=	データなしとして出力する。
31	ハガキ 50歳未満	公務員厚生年金期間 (報酬比例部分)	—	be=	データなしとして出力する。
32	ハガキ 50歳未満	公務員厚生年金期間 (経過の加算部分)	—	bf=	データなしとして出力する。
33	ハガキ 50歳未満	公務員厚生年金期間 (経過の職域加算額)	—	bg=	データなしとして出力する。
34	ハガキ 50歳未満	私学共済厚生年金期間 (報酬比例部分)	—	bh=	データなしとして出力する。
35	ハガキ 50歳未満	私学共済厚生年金期間 (経過の加算部分)	—	bi=	データなしとして出力する。
36	ハガキ 50歳未満	私学共済厚生年金期間 (経過の職域加算額)	—	bj=	データなしとして出力する。
37	ハガキ 50歳未満	＜見込額 合計＞ 老老老厚 開始時	—	bk=	データなしとして出力する。

公的年金シミュレーター二次元コードの作成について

(直近1年間通知者用)

1. 二次元コードの要件

(1) 二次元コードの概要

本二次元コードは、公的年金シミュレーターのURL及び試算に必要なURLクエリパラメータによって構成されるものである。

(2) 二次元コードの作成仕様

- ① 種 類：QRコード モデル2※¹

※¹ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

- ② バージョン：本作成仕様及びデータ仕様で作成した最小となるバージョン

- ③ 誤り訂正レベル：M

- ④ モード：混合モード

- ⑤ セル数：バージョンに応じたセル数

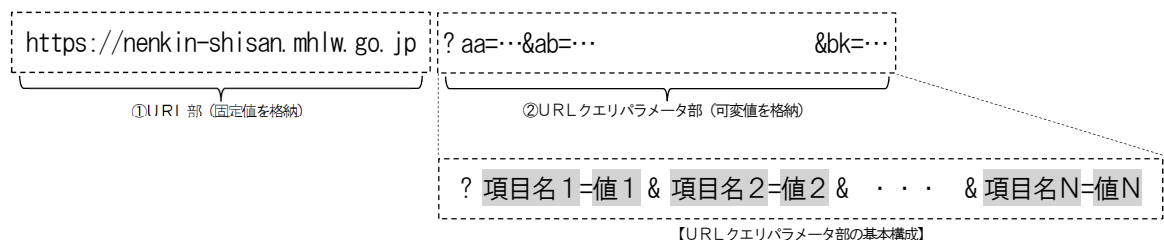
- ⑥ サイズ：二次元コードの1辺は、32mm以内(クワイエットゾーン(余白)を含む)とする。
なお、プリンタの印字性能は、600dpi以上とし、1セルのサイズは、0.29mm以上で作成すること。(600dpiの場合、7dot以上)

- ⑦ その他：スマートフォンで読み取り可能であることを必ず確認すること。

(3) 二次元コードのデータ仕様

- ① 二次元コードに格納するデータはURL及びそれに続くURLクエリパラメータである。
- ② URL部分については、個人に関わらず固定値を格納する。
- ③ URLクエリパラメータ部分については、指定された項目と値のペアで構成され、個人ごとに異なった可変値を格納する。
- ④ 収録されている値が全て空白もしくは半角のアスタリスク(*)、あるいは値が存在しない場合、「項目名=」(=の後ろは何も入れない)の形式で格納すること。
なお、収録されている値が「0」の場合は、「0」を格納すること。
- ⑤ 値に含まれるスペースおよびカンマ(,)は、削除して出力すること。

【基本構成】



名称	説明
URL部	公的年金シミュレーターのURL(固定値): https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp
URLクエリパラメータ部	試算に必要なねんきん定期便の情報(可変値)
?	URLに続くクエリパラメータがあることを示す
項目名1～項目名N	「2. 二次元コードに格納するデータ項目」記載の項目名
=	項目名に値を設定する際に使用する
値1～値N	「2. 二次元コードに格納するデータ項目」記載の内容
&	項目名=値を列挙する際に使用する

2. 二次元コードに格納するデータ項目

(1) データ項目について

内容		項目名	最大桁数 (半角換算)	データ 形式	備考
種別		aa	1	数字	1：50歳未満者用（ハガキ） 2：50歳以上者用（ハガキ）
最近の月別 状況	最新記録の年月（ハガキ）	ab	8	文字	収録されている記録の直近の年月
	最新記録の年月（封書_厚船）	ac	8	文字	データなしとして出力する
	最新記録の年月（封書_国年）	ad	8	文字	データなしとして出力する
	国年納付状況	ae	10(ハガキ)	文字	最新の年月の記録のみ ※対象となる年月は「4. (1)」参照
	国年納付状況(付加)	af	4	文字	最新の年月の記録のみ ※対象となる年月は「4. (1)」参照
	加入区分	ag	4	文字	最新の年月の記録のみ ※対象となる年月は「4. (1)」参照
	標準報酬月額	ah	8	数字	最新の年月の記録のみ ※対象となる年月は「4. (1)」参照
	標準賞与額	ai	8	数字	直近13か月分（ai1～ai13） ※対象となる期間は「4. (1)」参照
これまでの 年金加入期 間	第1号被保険者（国民年金）	aj	3	数字	
	第3号被保険者（国民年金）	ak	3	数字	
	国民年金計	al	3	数字	
	付加保険料納付済月数	am	3	数字	
	船員保険	an	3	数字	
	一般厚生年金	ao	3	数字	
	公務員厚生年金	ap	3	数字	
	私学共済厚生年金	aq	3	数字	
	厚生年金保険計	ar	3	数字	
	年金加入期間 合計	as	3	数字	
	合算対象期間等	at	3	数字	
	受給資格期間	au	3	数字	
これまでの 加入実績に 応じた年金 額	老齢基礎年金	av	7	数字	50歳以上者用は、データなしとして出力
	老齢厚生年金（一般厚生年金期間）	aw	7	数字	50歳以上者用は、データなしとして出力
	老齢厚生年金（公務員厚生年金期間）	ax	7	数字	50歳以上者用は、データなしとして出力
	老齢厚生年金（私学共済厚生年金期間）	ay	7	数字	50歳以上者用は、データなしとして出力
	合計（av～ay の計）	az	7	数字	50歳以上者用は、データなしとして出力
老齢年金の 種類と見込 額	受給開始年齢	ba	2	数字	老齢基礎/厚生部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	老齢基礎年金	bb	7	数字	50歳未満者用は、データなしとして出力
	一般厚生年金期間（報酬比例部分）	bc	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	一般厚生年金期間（経過的加算部分）	bd	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	公務員厚生年金期間（報酬比例部分）	be	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	公務員厚生年金期間（経過的加算部分）	bf	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	公務員厚生年金期間（経過的職域加算額）	bg	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	私学共済厚生年金期間（報酬比例部分）	bh	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	私学共済厚生年金期間（経過的加算部分）	bi	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	私学共済厚生年金期間（経過的職域加算額）	bj	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	合計（bb～bj の計）	bk	7	数字	50歳未満者用は、データなしとして出力

※ 最大桁数はURLエンコード前の桁数

3. URLクエリパラメータに使用する文字について

URLクエリパラメータにおいて使用可能な文字は、数字、アルファベット小文字と一部の記号のみである。これらの文字以外を使用する場合は、変換対象の文字を16進数で表したものを「%」に続けて表記する必要がある、これをURLエンコーディングという。

なお、変換する際に使用する文字コードは、1バイト文字はJIS8ビットコード、2バイト文字はShift-JISコードとする。

(1) URLクエリパラメータに使用可能な文字

項番	半角文字	文字名
1	0 ~ 9	数字
2	a ~ z	アルファベット小文字
3	?	疑問符、クエスチョンマーク
4	=	等号、イコール
5	&	アンパサンド
6	%	パーセント

(2) URLエンコーディングを行う文字列等

本仕様で使用する出力データのShift-JISコードへのURLエンコーディングを示す。

① 国年納付状況（上段）

項番	収録データ	出力データ	URLエンコーディング後
1	納付済	納付済	%94%5b%95%74%8d%cf
2	未納	未納	%96%a2%94%5b
3	未加入	未加入	%96%a2%89%c1%93%fc
4	全額免除	全額免除	%91%53%8a%7a%96%c6%8f%9c
5	3号納付	3号	%82%52%8d%86
6	3号未納	3号未	%82%52%8d%86%96%a2
7	半額未納	半額未納	%94%bc%8a%7a%96%a2%94%5b
8	半額免除	半額免除	%94%bc%8a%7a%96%c6%8f%9c
9	学生特例	学特	%8a%77%93%c1
10	納付猶予	猶予	%97%50%97%5c
11	3／4未納	3／4未納	%82%52%81%5e%82%53%96%a2%94%5b
12	3／4免除	3／4免除	%82%52%81%5e%82%53%96%c6%8f%9c
13	1／4未納	1／4未納	%82%50%81%5e%82%53%96%a2%94%5b
14	1／4免除	1／4免除	%82%50%81%5e%82%53%96%c6%8f%9c
15	合算	合算	%8d%87%8e%5a
16	確認中	確認中	%8a%6d%94%46%92%86
17	産前産後	産前産後	%8e%59%91%4f%8e%59%8c%e3

② 国年納付状況（下段）

項番	収録データ	出力データ	URLエンコーディング後
1	付加	付加	%95%74%89%c1

③ 加入制度

項番	収録データ	出力データ	URLエンコーディング後
1	厚年	厚年	%8c%fa%94%4e
2	基金	基金	%8a%ee%8b%e0
3	船保	船保	%91%44%95%db
4	公共	公共	%8c%f6%8b%a4
5	私学	私学	%8e%84%8a%77

④ その他

項番	文字	出力データ	URLエンコーディング後
1	年	年	%94%4e
2	月	月	%8c%8e

4. 抽出年月と格納対象となる期間及び出力イメージ

(1) 抽出年月と格納対象となる期間等

誕生月 (発送月)	抽出年月	ai1～ai13の出力データを格納する対象期間		abに設定する年月および ae, af, ag, ahの出力データの収録されている年月
		開始年・月 ～ 終了年・月		最新記録の年月
令和8年4月	令和8年2月	令和6年12月 ～ 令和7年12月		令和7年12月
令和8年5月	令和8年3月	令和7年1月 ～ 令和8年1月		令和8年1月
令和8年6月	令和8年4月	令和7年2月 ～ 令和8年2月		令和8年2月
令和8年7月	令和8年5月	令和7年3月 ～ 令和8年3月		令和8年3月
令和8年8月	令和8年6月	令和7年4月 ～ 令和8年4月		令和8年4月
令和8年9月	令和8年7月	令和7年5月 ～ 令和8年5月		令和8年5月
令和8年10月	令和8年8月	令和7年6月 ～ 令和8年6月		令和8年6月
令和8年11月	令和8年9月	令和7年7月 ～ 令和8年7月		令和8年7月
令和8年12月	令和8年10月	令和7年8月 ～ 令和8年8月		令和8年8月
令和9年1月	令和8年11月	令和7年9月 ～ 令和8年9月		令和8年9月
令和9年2月	令和8年12月	令和7年10月 ～ 令和8年10月		令和8年10月
令和9年3月	令和9年1月	令和7年11月 ～ 令和8年11月		令和8年11月

(2) 出力データ作成変換イメージ

令和8年4月発送の場合

- ⇒ 抽出年月 : 令和8年2月
- ⇒ 出力対象期間 : 令和6年12月 ～ 令和7年12月
- ⇒ 最新記録の年月 : 令和7年12月

① データの収録イメージ (直近1年月別状況レコード)

レコード	1記録目							2記録目							3記録目						
	項番 73～76	項番 78	項番 82	項番 83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73～76	項番 78	項番 82～83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73～76	項番 78	項番 82～83	項番 85	項番 86	項番 87		
①	△6年12月	△未納	△	△	△	△	△	△6年12月	△厚年	△	△△△320,000	△	△△△27,956	△7年1月	△未納	△	△	△	△		
②	△7年2月	△未納	△	△	△	△	△	△7年2月	△公共	△	△△△320,000	△△△900,000	△△△37,956	△7年3月	△未納	△	△	△	△		
③	△7年3月	△公共	△	△	△△△320,000	△15,000,000	△△△97,956	△7年4月	△3号納付	△	△	△	△	△7年5月	△3号納付	△	△	△	△		
④	△7年6月	△3号納付	△付加	△	△	△	△	△7年7月	△3号納付	△	△	△	△	△7年8月	△3号納付	△	△	△	△		
⑤	△7年9月	△3号納付	△付加	△	△	△	△	△7年10月	△3号納付	△	△	△	△	△7年11月	△3号納付	△	△	△	△		
⑥	△7年12月	△確認中	△付加	△	△	△	△	△7年12月	△基金	△	△△△320,000	△	△△△27,956	△	△	△	△	△	△		

※ △ : 半角スペースまたは半角ALLスペース

② 項目の設定イメージ

項目名	値	説明	項目名	値	説明
ab	7年12月	最新記録の年月を設定	ai13	(データなし)	該当月 (6年12月) の標準賞与額がALLスペース
ae	確認中	抽出年月に対応する最新の年月の国年納付状況 (上段) を設定 ALLスペースもしくは該当月の記録なしの場合データなしとする	ai12	(データなし)	該当月 (7年1月) の標準賞与額の記録なし
af	付加	抽出年月に対応する最新の年月の国年納付状況 (下段) を設定 ALLスペースもしくは該当月の記録なしの場合データなしとする	ai11	900000	該当月 (7年2月) の標準賞与額を設定 (カンマ無の下8桁)
ag	基金	抽出年月に対応する最新の年月の加入区分を設定 ALLスペースもしくは該当月の記録なしの場合データなしとする	ai10	15000000	該当月 (7年3月) の標準賞与額を設定 (カンマ無の下8桁)
ah	320000	抽出年月に対応する最新の年月の標準報酬月額を設定 (カンマ無の下8桁) ALLスペースもしくは該当月の記録なしの場合データなしとする	ai9	(データなし)	該当月 (7年4月) の標準賞与額の記録なし
			ai8	(データなし)	該当月 (7年5月) の標準賞与額の記録なし
			ai7	(データなし)	該当月 (7年6月) の標準賞与額の記録なし
			ai6	(データなし)	該当月 (7年7月) の標準賞与額の記録なし
			ai5	(データなし)	該当月 (7年8月) の標準賞与額の記録なし
			ai4	(データなし)	該当月 (7年9月) の標準賞与額の記録なし
			ai3	(データなし)	該当月 (7年10月) の標準賞与額の記録なし
			ai2	(データなし)	該当月 (7年11月) の標準賞与額の記録なし
			ai1	(データなし)	該当月 (7年12月) の標準賞与額がALLスペース

③ 出力データイメージ (URLエンコーディング前) ※ "□" は値のイメージ

https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp?aa=□&ab=7年12月&ac=&ad=&ae=確認中&af=付加
&ag=基金&ah=320000&ai1=&ai2=&ai3=&ai4=&ai5=&ai6=&ai7=&ai8=&ai9=&ai10=15000000&ai11=900000&ai12=&ai13=
&aj=□ … &bk=□

④ 出力データイメージ (URLエンコーディング後) ※ "□" は値のイメージ

https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp?aa=□&ab=7%94%4e12%8c%8e&ac=&ad=&ae=%8a%6d%94%46%92%86&af=%95%74%89%c1
&ag=%8a%ee%8b%e0&ah=320000&ai1=&ai2=&ai3=&ai4=&ai5=&ai6=&ai7=&ai8=&ai9=&ai10=15000000&ai11=900000&ai12=&ai13=
&aj=□ … &bk=□

5. 直近1年月別状況レコードにおけるデータの設定について

(1) 項目 ae (国年納付状況)、項目 ag (加入区分) および項目 ah (標準報酬月額) の設定
令和8年4月発送の場合

- ⇒ 抽出年月 : 令和8年△2月
- ⇒ 出力対象期間 : 令和6年12月 ~ 令和7年12月
- ⇒ 最新記録の年月 : 令和7年12月

■パターン1

最新記録の年月において、国年および厚年記録が重複して収録されている場合

レコード	1記録目							2記録目					3記録目						
	項番 73~76	項番 78	項番 82	項番 83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73~76	項番 78	項番 82~83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73~76	項番 78	項番 82~83	項番 85	項番 86	項番 87
①	△6年12月	△	△未納	△	△	△	△	△6年12月	△厚年	△	△320,000	△	△27,956	△7年△1月	△	△未納	△	△	△
②	△7年△2月	△	△未納	△	△	△	△	△7年△2月	△公共	△	△320,000	△900,000	△37,956	△7年△3月	△	△未納	△	△	△
③	△7年△3月	△公共	△	△	△320,000	15,000,000	△37,956	△7年△4月	△	△3号納付	△	△	△	△7年△5月	△	△3号納付	△	△	△
④	△7年△6月	△	△3号納付	付加	△	△	△	△7年△7月	△	△3号納付	△	△	△	△7年△8月	△	△3号納付	△	△	△
⑤	△7年△9月	△	△3号納付	付加	△	△	△	△7年10月	△	△3号納付	△	△	△	△7年11月	△	△3号納付	△	△	△
⑥	△7年12月	△	△未納	付加	△	△	△	△7年12月	△基金	△	△320,000	△	△27,956	△	△	△	△	△	△

※ △ : 半角スペースまたは半角ALLスペース

⇒ ae=確認中&af=付加&ag=基金&ah=320000

※同年月で国年記録と厚年記録が重複している場合、国年記録に収録されている項番78 (半角オールスペース) ではなく、次の厚年記録に収録されている項番78 を加入区分 (=ag) として出力する。

※厚年記録が国年記録より先に収録されている場合は、厚年記録に収録されている項番78 を加入区分 (=ag) として出力する。

※国年記録に収録されている項番82 を国年月別状況 (=ae) として出力する。

■パターン2

最新記録の年月において、厚年記録のみ収録されている場合

レコード	1記録目							2記録目						3記録目					
	項番 73~76	項番 78	項番 82	項番 83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73~76	項番 78	項番 82~83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73~76	項番 78	項番 82~83	項番 85	項番 86	項番 87
①	△6年12月	△	△未納	△	△	△	△	△6年12月	△厚年	△	△320,000	△	△27,956	△7年1月	△	△未納	△	△	△
②	△7年2月	△	△未納	△	△	△	△	△7年2月	△公共	△	△320,000	△900,000	△27,956	△7年3月	△	△未納	△	△	△
③	△7年3月	△公共	△	△	△320,000	15,000,000	△37,956	△7年4月	△	△3号納付	△	△	△	△7年5月	△	△3号納付	△	△	△
④	△7年6月	△	△3号納付	付加	△	△	△	△7年7月	△	△3号納付	△	△	△	△7年8月	△	△3号納付	△	△	△
⑤	△7年9月	△	△3号納付	付加	△	△	△	△7年10月	△	△3号納付	△	△	△	△7年11月	△	△3号納付	△	△	△
⑥	△7年12月	△厚年	△	△	△650,000	△	△27,956	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

※ △ : 半角スペースまたは半角ALLスペース

⇒ ae=&af=&ag=厚年&ah=650000

※該当する年月の国年記録が存在しないため、国年月別状況 (=ae) はデータなしとして出力する。

※該当する年月の厚年記録に収録されている項番78 を加入区分 (=ag) として出力する。

■パターン3

最新記録の年月において、国年記録のみ収録されている場合

レコード	1記録目							2記録目						3記録目					
	項番 73~76	項番 78	項番 82	項番 83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73~76	項番 78	項番 82~83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73~76	項番 78	項番 82~83	項番 85	項番 86	項番 87
①	△6年12月	△	△未納	△	△	△	△	△6年12月	△厚年	△	△320,000	△	△27,956	△7年△1月	△	△未納	△	△	△
②	△7年△2月	△	△未納	△	△	△	△	△7年△2月	△公共	△	△320,000	△900,000	△37,956	△7年△3月	△	△未納	△	△	△
③	△7年△3月	△公共	△	△	△320,000	15,000,000	△37,956	△7年△4月	△	△3号納付	△	△	△	△7年△5月	△	△3号納付	△	△	△
④	△7年△6月	△	△3号納付	付加	△	△	△	△7年△7月	△	△3号納付	△	△	△	△7年△8月	△	△3号納付	△	△	△
⑤	△7年△9月	△	△3号納付	付加	△	△	△	△7年10月	△	△3号納付	△	△	△	△7年11月	△	△3号納付	△	△	△
⑥	△7年12月	△	△3号納付	付加	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

※ △ : 半角スペースまたは半角ALLスペース

⇒ ae=3号&af=付加&ag=&ah=

※該当する年月の国年記録に収録されている項番82 を国年月別状況 (=ae) として出力する。

※該当する年月の該当する厚年記録がないため、加入区分 (=ag) はデータなしとして出力する。

出力仕様書：直近1年間通知者／50歳未満者用 公的年金シミュレーター二次元コード (令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値(URLエンコーディング前)		仕様																																							
			最大桁数 (半角換算)	出力形式																																								
1	ハガキ 50歳未満	50歳未満 ハガキ	1桁	aa=X	固定値「1」とする。																																							
2	ハガキ 50歳未満	最新記録の年月 (ハガキ)	8桁	ab=Z9年Z9月	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞[27]抽出年、[28]抽出月を参照し、下記表の最新記録の年月を出力する。 <table><tr><th>抽出年月</th><th>最新記録の年月</th><th>備考</th></tr><tr><td>令和8年2月</td><td>7年12月</td><td>令和7年12月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年3月</td><td>8年1月</td><td>令和8年1月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年4月</td><td>8年2月</td><td>令和8年2月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年5月</td><td>8年3月</td><td>令和8年3月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年6月</td><td>8年4月</td><td>令和8年4月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年7月</td><td>8年5月</td><td>令和8年5月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年8月</td><td>8年6月</td><td>令和8年6月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年9月</td><td>8年7月</td><td>令和8年7月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年10月</td><td>8年8月</td><td>令和8年8月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年11月</td><td>8年9月</td><td>令和8年9月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年12月</td><td>8年10月</td><td>令和8年10月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和9年1月</td><td>8年11月</td><td>令和8年11月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr></table> ※最新記録の年月 にスペースを含めないこと。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。	抽出年月	最新記録の年月	備考	令和8年2月	7年12月	令和7年12月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年3月	8年1月	令和8年1月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年4月	8年2月	令和8年2月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年5月	8年3月	令和8年3月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年6月	8年4月	令和8年4月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年7月	8年5月	令和8年5月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年8月	8年6月	令和8年6月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年9月	8年7月	令和8年7月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年10月	8年8月	令和8年8月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年11月	8年9月	令和8年9月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年12月	8年10月	令和8年10月（＝抽出年月の2か月前）	令和9年1月	8年11月	令和8年11月（＝抽出年月の2か月前）
抽出年月	最新記録の年月	備考																																										
令和8年2月	7年12月	令和7年12月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年3月	8年1月	令和8年1月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年4月	8年2月	令和8年2月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年5月	8年3月	令和8年3月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年6月	8年4月	令和8年4月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年7月	8年5月	令和8年5月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年8月	8年6月	令和8年6月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年9月	8年7月	令和8年7月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年10月	8年8月	令和8年8月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年11月	8年9月	令和8年9月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年12月	8年10月	令和8年10月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和9年1月	8年11月	令和8年11月（＝抽出年月の2か月前）																																										
3	ハガキ 50歳未満	最新記録の年月 (封書・厚船)	—	ac=	データなしとして出力する。																																							
4	ハガキ 50歳未満	最新記録の年月 (封書・国年)	—	ad=	データなしとして出力する。																																							
5	ハガキ 50歳未満	国年納付状況	10桁	ae=XXXXXX	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況＞ [82]納付状況(上段)を参照し、出力する。 ※表3. 1－6において、項番[47]納付状況パターン[三号納付]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 3号 ※表3. 1－6において、項番[48]納付状況パターン[三号未納]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 3号未 ※表3. 1－6において、項番[76]納付状況パターン[学生納付特例]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 学特 ※表3. 1－6において、項番[78]納付状況パターン[納付猶予]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 猶予 ※表3. 1－6において、項番[104]納付状況パターン[育児]に該当する場合の[82]納付状況(上段)を参照し、出力すること。 ※表3. 1－6において、項番[105]納付状況パターン[育児]に該当する場合の[82]納付状況(上段)を参照し、出力すること。 ※[82]納付状況(上段)に含まれるスペースは出力しない。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。 ※該当する[82]納付状況(上段)に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ae=																																							
6	ハガキ 50歳未満	国年納付状況(付加)	4桁	af=XX	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況＞ [83]納付状況(下段)を参照し、出力する。 ※[83]納付状況(下段)に含まれるスペースは出力しない。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。 ※該当する[83]納付状況(下段)に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 af=																																							
7	ハガキ 50歳未満	加入区分	4桁	ag=XX	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度＞[78]加入制度を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、半角オールスペースでない1つめ(先頭)の[78]加入制度を出力すること。 ※[78]加入制度に収録される項目は、「厚年」・「基金」・「船保」・「公共」・「私学」となる。 ※[78]加入制度に含まれるスペースは出力しない。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。 ※該当する[78]加入制度に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ag=																																							

出力仕様書：直近1年間通知者／50歳未満者用 公的年金シミュレーター二次元コード (令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値(URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
8	ハガキ 50歳未満	標準報酬月額	8桁	ah=ZZZZZZZ9	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> [85]標準報酬月額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>[78]加入制度 が半角オールスペースでない1つめ(先頭)の[85]標準報酬月額 を出力すること。 ※[85]標準報酬月額 に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※[85]標準報酬月額 は、出力形式の通り下8桁(カンマなし)を出力すること。 ※収録年月に該当する[85]標準報酬月額 に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ah=
9	ハガキ 50歳未満	標準賞与額	8桁	ai1=ZZZZZZZ9 ～ ai13=ZZZZZZZ9	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> [86]標準賞与額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>[78]加入制度 が半角オールスペースでない1つめ(先頭)の[86]標準賞与額 を出力すること。 ※収録年月の新しい順にai1～13まで格納する。 ※[86]標準賞与額 に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※[86]標準賞与額 は、出力形式の通り下8桁(カンマなし)を出力すること。 ※収録年月に該当する[86]標準賞与額 に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ai1=& ... &ai13=
10	ハガキ 50歳未満	第1号被保険者 (国民年金)	3桁	aj=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間> [64]第1号被保険者加入月数(未納除く) を参照し、出力する。 ※[64]第1号被保険者加入月数(未納除く) に含まれるスペースは出力しない。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
11	ハガキ 50歳未満	第3号被保険者 (国民年金)	3桁	ak=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間> [84]第3号被保険者加入月数 を参照し、出力する。 ※[84]第3号被保険者加入月数 に含まれるスペースは出力しない。
12	ハガキ 50歳未満	国民年金計	3桁	al=ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 <基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間>[64]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 <基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間>[84]第3号被保険者加入月数 ※合計月数に含まれるスペースは出力しない。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
13	ハガキ 50歳未満	付加保険料納付済月数	3桁	am=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間> [73]付加納付月数 を参照し、出力する。 ※[73]付加納付月数 に含まれるスペースは出力しない。
14	ハガキ 50歳未満	船員保険	3桁	an=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間> [81]船保期間 を参照し、出力する。 ※[81]船保期間 に含まれるスペースは出力しない。
15	ハガキ 50歳未満	一般厚生年金	3桁	ao=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間> [78]厚年期間 を参照し、出力する。 ※[78]厚年期間 に含まれるスペースは出力しない。
16	ハガキ 50歳未満	公務員厚生年金	3桁	ap=ZZ9	<基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [131]厚年期間(第2・3号) を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。 ※[131]厚年期間(第2・3号) に含まれるスペースは出力しない。
17	ハガキ 50歳未満	私学共済厚生年金	3桁	aq=ZZ9	<基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [135]厚年期間(第4号) を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。 ※[135]厚年期間(第4号) に含まれるスペースは出力しない。
18	ハガキ 50歳未満	厚生年金保険計	3桁	ar=ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 <基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間>[78]厚年期間、 <基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間>[131]厚年期間(第2・3号)、[135]厚年期間(第4号) ※合計月数に含まれるスペースは出力しない。 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、下3桁を出力すること。 <出力例> 厚年期間 △△5、厚年期間(第2・3号) △50、厚年期間(第4号) △10 の場合(△はスペースを表す) → 65 として出力
19	ハガキ 50歳未満	年金加入期間 合計	3桁	as=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部> [62]年金加入期間総合計2 を参照し、出力する。 ※[62]年金加入期間総合計2 に含まれるスペースは出力しない。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。

出力仕様書：直近1年間通知者／50歳未満者用 公的年金シミュレーター二次元コード (令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値(URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
20	ハガキ 50歳未満	合算対象期間等	3桁	at=ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [87]合算対象期間 を参照し、出力する。 ※[87]合算対象期間 に含まれるスペースは出力しない。
21	ハガキ 50歳未満	受給資格期間	3桁	au=ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2、[87]合算対象期間 ※合計月数に含まれるスペースは出力しない。 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、出力形式の通り下3桁を出力すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。 ＜出力例＞ 年金加入期間総合計2 △△9、合算対象期間 △10 の場合(△はスペースを表す) → 19 として出力
22	ハガキ 50歳未満	老齢基礎年金	7桁	av=ZZZZZZ9	① ＜簡易見込額レコード／高井戸検出事事故コード＞[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 av= ② ＜簡易見込額レコード／表示部＞[62]期間重複表示 を参照し、 「1」が収録されている場合は、データなしとして出力する。 av= ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示 を参照し、 [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード に半角オールスペース、 [62]期間重複表示 に「0」が収録されている場合は、 ＜簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢基礎年金見込額＞ [32]見込額年額(基礎) を参照し、出力する。 ※[32]見込額年額(基礎) に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 av= ※[32]見込額年額(基礎) に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※[32]見込額年額(基礎) は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
23	ハガキ 50歳未満	老齢厚生年金 (一般厚生年金期間)	7桁	aw=ZZZZZZ9	① ＜簡易見込額レコード／高井戸検出事事故コード＞[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 aw= ② ＜簡易見込額レコード／表示部＞[62]期間重複表示 を参照し、 「1」が収録されている場合は、データなしとして出力する。 aw= ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示 を参照し、 [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード に半角オールスペース、 [62]期間重複表示 に「0」が収録されている場合は、 ＜簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢厚生年金見込額＞ [41]見込額年額(老厚) を参照し、出力する。 ※[41]見込額年額(老厚) に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 aw= ※[41]見込額年額(老厚) に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※[41]見込額年額(老厚) は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
24	ハガキ 50歳未満	老齢厚生年金 (公務員厚生年金期間)	7桁	ax=ZZZZZZ9	① ＜簡易見込額レコード／高井戸検出事事故コード＞[59]事故内容コード、[60]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 ax= ② ＜簡易見込額レコード／表示部＞[62]期間重複表示 を参照し、 「1」が収録されている場合は、データなしとして出力する。 ax= ③ [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード、[62]期間重複表示 を参照し、 [59]事故内容コード、[60]事故内容サブコード に半角オールスペース、 [62]期間重複表示 に「0」が収録されている場合は、 ＜簡易見込額レコード／共済簡易見込額情報部／老齢厚生年金見込額／2・3号＞ [66]見込額総合計(2・3号) を参照し、出力する。 ※[66]見込額総合計(2・3号) に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 ax= ※[66]見込額総合計(2・3号) に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※[66]見込額総合計(2・3号) は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。

出力仕様書：直近1年間通知者／50歳未満者用 公的年金シミュレーター二次元コード (令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値(URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
25	ハガキ 50歳未満	老齢厚生年金 (私学共済厚生年金期間)	7桁	ay=ZZZZZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事事故コード>【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 ay= ② <簡易見込額レコード／表示部>【62】期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は、データなしとして出力する。 ay= ③ 【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコード、【62】期間重複表示を参照し、 【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコードに半角オールスペース、 【62】期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢厚生年金見込額／4号> 【68】見込額総合計(4号)を参照し、出力する。 ※【68】見込額総合計(4号)に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 ay= ※【68】見込額総合計(4号)に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※【68】見込額総合計(4号)は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
26	ハガキ 50歳未満	<見込額 計> これまでの加入実績に 応じた老齢基礎年金＋ 老齢厚生年金額(年額)	7桁	az=ZZZZZZ9	① <簡易見込額レコード／高井戸検出事事故コード>【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 az= ② <簡易見込額レコード／表示部>【62】期間重複表示を参照し、 「1」が収録されている場合は、データなしとして出力する。 az= ③ 【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコード、【62】期間重複表示を参照し、 【59】事故内容コード、【60】事故内容サブコードに半角オールスペース、 【62】期間重複表示に「0」が収録されている場合は、 <簡易見込額レコード／簡易見込額情報部／老齢年金見込額(基礎・厚年合計)1> 【26】年額(基礎・厚年合計)を参照し、出力する。 ※【26】年額(基礎・厚年合計)に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 az= ※【26】年額(基礎・厚年合計)に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※【26】年額(基礎・厚年合計)は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
27	ハガキ 50歳未満	受給開始年齢	—	ba=	データなしとして出力する。
28	ハガキ 50歳未満	老齢基礎年金	—	bb=	データなしとして出力する。
29	ハガキ 50歳未満	一般厚生年金期間 (報酬比例部分)	—	bc=	データなしとして出力する。
30	ハガキ 50歳未満	一般厚生年金期間 (経過の加算部分)	—	bd=	データなしとして出力する。
31	ハガキ 50歳未満	公務員厚生年金期間 (報酬比例部分)	—	be=	データなしとして出力する。
32	ハガキ 50歳未満	公務員厚生年金期間 (経過の加算部分)	—	bf=	データなしとして出力する。
33	ハガキ 50歳未満	公務員厚生年金期間 (経過の職域加算額)	—	bg=	データなしとして出力する。
34	ハガキ 50歳未満	私学共済厚生年金期間 (報酬比例部分)	—	bh=	データなしとして出力する。
35	ハガキ 50歳未満	私学共済厚生年金期間 (経過の加算部分)	—	bi=	データなしとして出力する。
36	ハガキ 50歳未満	私学共済厚生年金期間 (経過の職域加算額)	—	bj=	データなしとして出力する。
37	ハガキ 50歳未満	<見込額 合計> 老基老厚 開始時	—	bk=	データなしとして出力する。

公的年金シミュレーター二次元コードの作成について (直近1年間通知者用)

1. 二次元コードの要件

(1) 二次元コードの概要

本二次元コードは、公的年金シミュレーターのURL及び試算に必要なURLクエリパラメータによって構成されるものである。

(2) 二次元コードの作成仕様

- ① 種 類：QRコード モデル2※¹

※¹ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

- ② バージョン：本作成仕様及びデータ仕様で作成した最小となるバージョン

- ③ 誤り訂正レベル：M

- ④ モード：混合モード

- ⑤ セル数：バージョンに応じたセル数

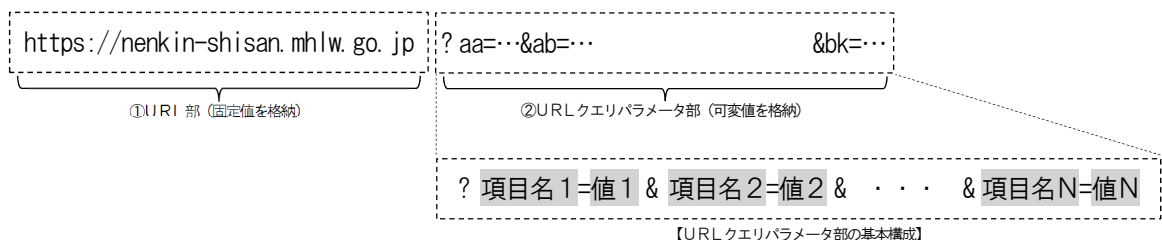
- ⑥ サイズ：二次元コードの1辺は、32mm以内(クワイエットゾーン(余白)を含む)とする。
なお、プリンタの印字性能は、600dpi以上とし、1セルのサイズは、0.29mm以上で作成すること。(600dpiの場合、7dot以上)

- ⑦ その他：スマートフォンで読み取り可能であることを必ず確認すること。

(3) 二次元コードのデータ仕様

- ① 二次元コードに格納するデータはURL及びそれに続くURLクエリパラメータである。
- ② URL部分については、個人に関わらず固定値を格納する。
- ③ URLクエリパラメータ部分については、指定された項目と値のペアで構成され、個人ごとに異なった可変値を格納する。
- ④ 収録されている値が全て空白もしくは半角のアスタリスク(*)、あるいは値が存在しない場合、「項目名=」(=の後ろは何も入れない)の形式で格納すること。
なお、収録されている値が「0」の場合は、「0」を格納すること。
- ⑤ 値に含まれるスペースおよびカンマ(,)は、削除して出力すること。

【基本構成】



名称	説明
URL部	公的年金シミュレーターのURL(固定値): https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp
URLクエリパラメータ部	試算に必要なねんきん定期便の情報(可変値)
?	URLに続くクエリパラメータがあることを示す
項目名1～項目名N	「2. 二次元コードに格納するデータ項目」記載の項目名
=	項目名に値を設定する際に使用する
値1～値N	「2. 二次元コードに格納するデータ項目」記載の内容
&	項目名=値を列挙する際に使用する

2. 二次元コードに格納するデータ項目

(1) データ項目について

内容		項目名	最大桁数 (半角換算)	データ 形式	備考
種別		aa	1	数字	1：50歳未満者用（ハガキ） 2：50歳以上者用（ハガキ）
最近の月別 状況	最新記録の年月（ハガキ）	ab	8	文字	収録されている記録の直近の年月
	最新記録の年月（封書_厚船）	ac	8	文字	データなしとして出力する
	最新記録の年月（封書_国年）	ad	8	文字	データなしとして出力する
	国年納付状況	ae	10(ハガキ)	文字	最新の年月の記録のみ ※対象となる年月は「4.（1）」参照
	国年納付状況(付加)	af	4	文字	最新の年月の記録のみ ※対象となる年月は「4.（1）」参照
	加入区分	ag	4	文字	最新の年月の記録のみ ※対象となる年月は「4.（1）」参照
	標準報酬月額	ah	8	数字	最新の年月の記録のみ ※対象となる年月は「4.（1）」参照
	標準賞与額	ai	8	数字	直近13か月分（ai1～ai13） ※対象となる期間は「4.（1）」参照
これまでの 年金加入期 間	第1号被保険者（国民年金）	aj	3	数字	
	第3号被保険者（国民年金）	ak	3	数字	
	国民年金計	al	3	数字	
	付加保険料納付済月数	am	3	数字	
	船員保険	an	3	数字	
	一般厚生年金	ao	3	数字	
	公務員厚生年金	ap	3	数字	
	私学共済厚生年金	aq	3	数字	
	厚生年金保険計	ar	3	数字	
	年金加入期間 合計	as	3	数字	
	合算対象期間等	at	3	数字	
	受給資格期間	au	3	数字	
これまでの 加入実績に 応じた年金 額	老齢基礎年金	av	7	数字	50歳以上者用は、データなしとして出力
	老齢厚生年金（一般厚生年金期間）	aw	7	数字	50歳以上者用は、データなしとして出力
	老齢厚生年金（公務員厚生年金期間）	ax	7	数字	50歳以上者用は、データなしとして出力
	老齢厚生年金（私学共済厚生年金期間）	ay	7	数字	50歳以上者用は、データなしとして出力
	合計（av～ay の計）	az	7	数字	50歳以上者用は、データなしとして出力
老齢年金の 種類と見込 額	受給開始年齢	ba	2	数字	老齢基礎/厚生部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	老齢基礎年金	bb	7	数字	50歳未満者用は、データなしとして出力
	一般厚生年金期間（報酬比例部分）	bc	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	一般厚生年金期間（経過的加算部分）	bd	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	公務員厚生年金期間（報酬比例部分）	be	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	公務員厚生年金期間（経過的加算部分）	bf	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	公務員厚生年金期間（経過的職域加算額）	bg	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	私学共済厚生年金期間（報酬比例部分）	bh	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	私学共済厚生年金期間（経過的加算部分）	bi	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	私学共済厚生年金期間（経過的職域加算額）	bj	7	数字	老齢厚生年金部分のみ 50歳未満者用は、データなしとして出力
	合計（bb～bj の計）	bk	7	数字	50歳未満者用は、データなしとして出力

※ 最大桁数はURLエンコード前の桁数

3. URLクエリパラメータに使用する文字について

URLクエリパラメータにおいて使用可能な文字は、数字、アルファベット小文字と一部の記号のみである。これらの文字以外を使用する場合は、変換対象の文字を16進数で表したものを「%」に続けて表記する必要がある、これをURLエンコーディングという。

なお、変換する際に使用する文字コードは、1バイト文字はJIS8ビットコード、2バイト文字はShift-JISコードとする。

(1) URLクエリパラメータに使用可能な文字

項番	半角文字	文字名
1	0 ~ 9	数字
2	a ~ z	アルファベット小文字
3	?	疑問符、クエスチョンマーク
4	=	等号、イコール
5	&	アンパサンド
6	%	パーセント

(2) URLエンコーディングを行う文字列等

本仕様で使用する出力データのShift-JISコードへのURLエンコーディングを示す。

① 国年納付状況（上段）

項番	収録データ	出力データ	URLエンコーディング後
1	納付済	納付済	%94%5b%95%74%8d%cf
2	未納	未納	%96%a2%94%5b
3	未加入	未加入	%96%a2%89%c1%93%fc
4	全額免除	全額免除	%91%53%8a%7a%96%c6%8f%9c
5	3号納付	3号	%82%52%8d%86
6	3号未納	3号未	%82%52%8d%86%96%a2
7	半額未納	半額未納	%94%bc%8a%7a%96%a2%94%5b
8	半額免除	半額免除	%94%bc%8a%7a%96%c6%8f%9c
9	学生特例	学特	%8a%77%93%c1
10	納付猶予	猶予	%97%50%97%5c
11	3／4未納	3／4未納	%82%52%81%5e%82%53%96%a2%94%5b
12	3／4免除	3／4免除	%82%52%81%5e%82%53%96%c6%8f%9c
13	1／4未納	1／4未納	%82%50%81%5e%82%53%96%a2%94%5b
14	1／4免除	1／4免除	%82%50%81%5e%82%53%96%c6%8f%9c
15	合算	合算	%8d%87%8e%5a
16	確認中	確認中	%8a%6d%94%46%92%86
17	産前産後	産前産後	%8e%59%91%4f%8e%59%8c%e3
18	育児	育児	%88%e7%8e%99

② 国年納付状況（下段）

項番	収録データ	出力データ	URLエンコーディング後
1	付加	付加	%95%74%89%c1

③ 加入制度

項番	収録データ	出力データ	URLエンコーディング後
1	厚年	厚年	%8c%fa%94%4e
2	基金	基金	%8a%ee%8b%e0
3	船保	船保	%91%44%95%db
4	公共	公共	%8c%f6%8b%a4
5	私学	私学	%8e%84%8a%77

④ その他

項番	文字	出力データ	URLエンコーディング後
1	年	年	%94%4e
2	月	月	%8c%8e

4. 抽出年月と格納対象となる期間及び出力イメージ

(1) 抽出年月と格納対象となる期間等

誕生月 (発送月)	抽出年月	ai1～ai13の出力データを格納する対象期間		abに設定する年月および ae, af, ag, ahの出力データの収録されている年月
		開始年・月 ～ 終了年・月		最新記録の年月
令和8年4月	令和8年2月	令和6年12月 ～ 令和7年12月		令和7年12月
令和8年5月	令和8年3月	令和7年1月 ～ 令和8年1月		令和8年1月
令和8年6月	令和8年4月	令和7年2月 ～ 令和8年2月		令和8年2月
令和8年7月	令和8年5月	令和7年3月 ～ 令和8年3月		令和8年3月
令和8年8月	令和8年6月	令和7年4月 ～ 令和8年4月		令和8年4月
令和8年9月	令和8年7月	令和7年5月 ～ 令和8年5月		令和8年5月
令和8年10月	令和8年8月	令和7年6月 ～ 令和8年6月		令和8年6月
令和8年11月	令和8年9月	令和7年7月 ～ 令和8年7月		令和8年7月
令和8年12月	令和8年10月	令和7年8月 ～ 令和8年8月		令和8年8月
令和9年1月	令和8年11月	令和7年9月 ～ 令和8年9月		令和8年9月
令和9年2月	令和8年12月	令和7年10月 ～ 令和8年10月		令和8年10月
令和9年3月	令和9年1月	令和7年11月 ～ 令和8年11月		令和8年11月

(2) 出力データ作成変換イメージ

令和8年4月発送の場合

- ⇒ 抽出年月 : 令和8年2月
- ⇒ 出力対象期間 : 令和6年12月 ～ 令和7年12月
- ⇒ 最新記録の年月 : 令和7年12月

① データの収録イメージ (直近1年月別状況レコード)

レコード	1記録目							2記録目							3記録目						
	項番 73～76	項番 78	項番 82	項番 83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73～76	項番 78	項番 82～83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73～76	項番 78	項番 82～83	項番 85	項番 86	項番 87		
①	△6年12月	△	△未納	△	△	△	△	△6年12月	△厚年	△	△△△320,000	△	△△△27,956	△7年1月	△	△未納	△	△	△		
②	△7年2月	△	△未納	△	△	△	△	△7年2月	△公共	△	△△△320,000	△△△900,000	△△△37,956	△7年3月	△	△未納	△	△	△		
③	△7年3月	△公共	△	△	△△△320,000	△15,000,000	△△△97,956	△7年4月	△3号納付	△	△	△	△	△7年5月	△	△3号納付	△	△	△		
④	△7年6月	△	△3号納付	△付加	△	△	△	△7年7月	△3号納付	△	△	△	△	△7年8月	△	△3号納付	△	△	△		
⑤	△7年9月	△	△3号納付	△付加	△	△	△	△7年10月	△3号納付	△	△	△	△	△7年11月	△	△3号納付	△	△	△		
⑥	△7年12月	△	△確定中	△付加	△	△	△	△7年12月	△基金	△	△△△320,000	△	△△△27,956	△	△	△	△	△	△		

※ △ : 半角スペースまたは半角ALLスペース

② 項目の設定イメージ

項目名	値	説明	項目名	値	説明
ab	7年12月	最新記録の年月を設定	ai13	(データなし)	該当月 (6年12月) の標準賞与額がALLスペース
ae	確認中	抽出年月に対応する最新の年月の国年納付状況 (上段) を設定 ALLスペースもしくは該当月の記録なしの場合データなしとする	ai12	(データなし)	該当月 (7年1月) の標準賞与額の記録なし
af	付加	抽出年月に対応する最新の年月の国年納付状況 (下段) を設定 ALLスペースもしくは該当月の記録なしの場合データなしとする	ai11	900000	該当月 (7年2月) の標準賞与額を設定 (カンマ無の下8桁)
ag	基金	抽出年月に対応する最新の年月の加入区分を設定 ALLスペースもしくは該当月の記録なしの場合データなしとする	ai10	15000000	該当月 (7年3月) の標準賞与額を設定 (カンマ無の下8桁)
ah	320000	抽出年月に対応する最新の年月の標準報酬月額を設定 (カンマ無の下8桁) ALLスペースもしくは該当月の記録なしの場合データなしとする	ai9	(データなし)	該当月 (7年4月) の標準賞与額の記録なし
			ai8	(データなし)	該当月 (7年5月) の標準賞与額の記録なし
			ai7	(データなし)	該当月 (7年6月) の標準賞与額の記録なし
			ai6	(データなし)	該当月 (7年7月) の標準賞与額の記録なし
			ai5	(データなし)	該当月 (7年8月) の標準賞与額の記録なし
			ai4	(データなし)	該当月 (7年9月) の標準賞与額の記録なし
			ai3	(データなし)	該当月 (7年10月) の標準賞与額の記録なし
			ai2	(データなし)	該当月 (7年11月) の標準賞与額の記録なし
			ai1	(データなし)	該当月 (7年12月) の標準賞与額がALLスペース

③ 出力データイメージ (URLエンコーディング前) ※ "□" は値のイメージ

https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp?aa=□&ab=7年12月&ac=&ad=&ae=確認中&af=付加
&ag=基金&ah=320000&ai1=&ai2=&ai3=&ai4=&ai5=&ai6=&ai7=&ai8=&ai9=&ai10=15000000&ai11=900000&ai12=&ai13=
&aj=□ … &bk=□

④ 出力データイメージ (URLエンコーディング後) ※ "□" は値のイメージ

https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp?aa=□&ab=7%94%4e12%8c%8e&ac=&ad=&ae=%8a%6d%94%46%92%86&af=%95%74%89%c1
&ag=%8a%ee%8b%e0&ah=320000&ai1=&ai2=&ai3=&ai4=&ai5=&ai6=&ai7=&ai8=&ai9=&ai10=15000000&ai11=900000&ai12=&ai13=
&aj=□ … &bk=□

5. 直近1年月別状況レコードにおけるデータの設定について

(1) 項目 ae (国年納付状況)、項目 ag (加入区分) および項目 ah (標準報酬月額) の設定
令和8年4月発送の場合

- ⇒ 抽出年月 : 令和8年△2月
- ⇒ 出力対象期間 : 令和6年12月 ~ 令和7年12月
- ⇒ 最新記録の年月 : 令和7年12月

■パターン1

最新記録の年月において、国年および厚年記録が重複して収録されている場合

レコード	1記録目							2記録目						3記録目					
	項番 73~76	項番 78	項番 82	項番 83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73~76	項番 78	項番 82~83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73~76	項番 78	項番 82~83	項番 85	項番 86	項番 87
①	△6年12月	△	△未納	△	△	△	△	△6年12月	△厚年	△	△320,000	△	△27,956	△7年△1月	△	△未納	△	△	△
②	△7年△2月	△	△未納	△	△	△	△	△7年△2月	△公共	△	△320,000	△900,000	△37,956	△7年△3月	△	△未納	△	△	△
③	△7年△3月	△公共	△	△	△320,000	15,000,000	△37,956	△7年△4月	△	△3号納付	△	△	△	△7年△5月	△	△3号納付	△	△	△
④	△7年△6月	△	△3号納付	付加	△	△	△	△7年△7月	△	△3号納付	△	△	△	△7年△8月	△	△3号納付	△	△	△
⑤	△7年△9月	△	△3号納付	付加	△	△	△	△7年10月	△	△3号納付	△	△	△	△7年11月	△	△3号納付	△	△	△
⑥	△7年12月	△	△未納	付加	△	△	△	△7年12月	△基金	△	△320,000	△	△27,956	△	△	△	△	△	△

※ △ : 半角スペースまたは半角ALLスペース

⇒ ae=確認中&af=付加&ag=基金&ah=320000

※同年月で国年記録と厚年記録が重複している場合、国年記録に収録されている項番78 (半角オールスペース) ではなく、次の厚年記録に収録されている項番78 を加入区分 (=ag) として出力する。

※厚年記録が国年記録より先に収録されている場合は、厚年記録に収録されている項番78 を加入区分 (=ag) として出力する。

※国年記録に収録されている項番82 を国年月別状況 (=ae) として出力する。

■パターン2

最新記録の年月において、厚年記録のみ収録されている場合

レコード	1記録目							2記録目						3記録目					
	項番 73~76	項番 78	項番 82	項番 83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73~76	項番 78	項番 82~83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73~76	項番 78	項番 82~83	項番 85	項番 86	項番 87
①	6年12月	△	未納	△	△	△	△	6年12月	厚年	△	320,000	△	27,956	7年1月	△	未納	△	△	△
②	7年2月	△	未納	△	△	△	△	7年2月	公共	△	320,000	900,000	27,956	7年3月	△	未納	△	△	△
③	7年3月	公共	△	△	320,000	15,000,000	37,956	7年4月	△	3号納付	△	△	△	7年5月	△	3号納付	△	△	△
④	7年6月	△	3号納付	付加	△	△	△	7年7月	△	3号納付	△	△	△	7年8月	△	3号納付	△	△	△
⑤	7年9月	△	3号納付	付加	△	△	△	7年10月	△	3号納付	△	△	△	7年11月	△	3号納付	△	△	△
⑥	7年12月	厚年	△	△	650,000	△	27,956	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

※ △ : 半角スペースまたは半角ALLスペース

⇒ ae=&af=&ag=厚年&ah=650000

※該当する年月の国年記録が存在しないため、国年月別状況 (=ae) はデータなしとして出力する。

※該当する年月の厚年記録に収録されている項番78 を加入区分 (=ag) として出力する。

■パターン3

最新記録の年月において、国年記録のみ収録されている場合

レコード	1記録目							2記録目						3記録目					
	項番 73~76	項番 78	項番 82	項番 83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73~76	項番 78	項番 82~83	項番 85	項番 86	項番 87	項番 73~76	項番 78	項番 82~83	項番 85	項番 86	項番 87
①	6年12月	△	未納	△	△	△	△	6年12月	厚年	△	320,000	△	27,956	7年1月	△	未納	△	△	△
②	7年2月	△	未納	△	△	△	△	7年2月	公共	△	320,000	△	900,000	7年3月	△	未納	△	△	△
③	7年3月	△公共	△	△	320,000	15,000,000	37,956	7年4月	△	3号納付	△	△	△	7年5月	△	3号納付	△	△	△
④	7年6月	△	3号納付	付加	△	△	△	7年7月	△	3号納付	△	△	△	7年8月	△	3号納付	△	△	△
⑤	7年9月	△	3号納付	付加	△	△	△	7年10月	△	3号納付	△	△	△	7年11月	△	3号納付	△	△	△
⑥	7年12月	△	3号納付	付加	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

※ △ : 半角スペースまたは半角ALLスペース

⇒ ae=3号&af=付加&ag=&ah=

※該当する年月の国年記録に収録されている項番82 を国年月別状況 (=ae) として出力する。

※該当する年月の該当する厚年記録がないため、加入区分 (=ag) はデータなしとして出力する。

出力位置：「ねんきん定期便」（直近１年間通知者／５０歳以上者用）表面（令和8年4月～9月発送分）

【別添5-2-1】

料 金 後 納
郵 便

親 展

項番1

項番2

項番3

項番4

項番5

項番6

令和8年度の「ねんきん定期便」です。

開封前にあて名をご確認ください。
お届け先のご住所に、現在、受取人の方がお住まいでない場合には、
お手数をおかけしますが、「誤配」、「転居した」等をハガキに
ご記入いただき、開封せずにそのままポストに入れてください。

日本年金機構

Japan Pension Service

〒168-8505 東京都杉並区高井戸西3丁目5番24号

お知らせは内側にあります。
矢印の方向へゆっくりはがしてご覧ください。

項番1～6及び表面の管理番号の印字範囲

照 会 番 号

項番7

公務員共済の加入者番号

項番8

私学共済の加入者番号

項番9

※お問い合わせの際は、
照会番号をお伝えください。

①年金の受給開始時期は、60歳から75歳まで選択できます。
②年金受給を遅らせた場合、年金額が増額します。
(例) 70歳を選択した場合、65歳と比較して42%増額
75歳を選択した場合、65歳と比較して84%増額(最大)
(注)・65歳以降で厚生年金保険の被保険者等である場合は、在職支給停止額を差し
引いた額が、繰下げによる増額の計算対象となります。
・遺族年金や障害年金を受け取ることができる場合には、老齢年金の受給開始
時期を遅らせることができないことがあります。

項番11-2 円

項番11-1 円

項番11 円

最大
84%増

42%増

老齢年金の見込額
65歳まで遅らせた場合

老齢年金の見込額
70歳まで遅らせた場合

老齢年金の見込額
(項番10) 65歳時点

1. これまでの保険料納付額（累計額）

(1) 国民年金保険料
(第1号被保険者期間)

項番12 円

(2) 厚生年金保険料（被保険者負担額）

一般厚生年金期間

項番13 円

公務員厚生年金期間

項番14 円

私学共済厚生年金期間

項番15 円

(1) と (2) の合計

項番16 円

※厚生年金保険料は事業主も上記の被保険者負担額と同額を負担しています。

最近の月別状況です

下記の月別状況や裏面の年金加入期間に「もれ」
や「誤り」があると思われる方は、お近くの年金
事務所にお問い合わせください。

年月 (和暦)	国民年金 (第1号・第3号) 納付状況	厚生年金保険			
		加入区分	標準報酬月額 (千円)	標準賞与額 (千円)	保険料 納付額
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24
項番18	項番19 項番20	項番21	項番22	項番23	項番24

※国民年金保険料納付猶予等の承認を受けた期間は、追納が承認された月の前10
年以内の猶予等期間に納付することで、年金額を生増することができます。

【公的年金シミュレーター二次元コード】

この二次元コードには、「ねんきん定期便」
に記載されている年金情報の一部が収録され
ており、厚生労働省が提供するWEBサイト
(公的年金シミュレーター) で年金見込額の
簡易試算ができます。
(<https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp>)

二次元コード

項番17

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 表面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
1	ハガキ 50歳以上 表面	郵便番号	8 × 1	XXX-XXXX	① <基本レコード／共通部>[7]郵便番号を参照し、出力する。 ※郵便番号を7桁にて出力する(XXX-XXXX) ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。 ② [7]郵便番号に「999-9999」が収録されている場合、オールスペースとして出力する。
2	ハガキ 50歳以上 表面	住所	3 行	XXXXXXXXXX~XX XXXXXXXXXX~XX XXXXXXXXXX~XX	① 以下の項番を参照し、出力する。 ＜基本レコード／基本情報部／住所情報1行目>[34]住所1行目、 ＜基本レコード／基本情報部／住所情報2行目>[38]住所2行目、 ＜基本レコード／基本情報部／住所情報3行目>[42]住所3行目、 ※住所は3行にて出力する。 ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。 ② <基本レコード／共通部>[7]郵便番号に「999-9999」が収録されている場合、 オールスペースとして出力する。
3	ハガキ 50歳以上 表面	氏名	1行	XXXX~XXXX△様	＜基本レコード／基本情報部／氏名情報>[45]氏名印字桁数、[46]氏名、[47]様の各項目を参照し、出力する。 ※[47]様の前に“△”を付加して印字する。(△はスペースを表す) ※[45]氏名印字桁数によって、[46]氏名、“△”、[47]様を、バランスを考慮した上で下記に示すポイント数以上で印刷する。(△はスペースを表す) ・[45]氏名印字桁数が22以下の場合、16ポイント以上 ・[45]氏名印字桁数が23以上30文字以下の場合、12ポイント以上 ・[45]氏名印字桁数が31文字以上の場合、8ポイント以上
4	ハガキ 50歳以上 表面	カスタマーバーコード	1行		【別添4】「カスタマーバーコードの付与について」を参照し、 カスタマーバーコード付与の判定、カスタマーバーコードの生成・印字を行うこと。
5	ハガキ 50歳以上 表面	共済組合員情報	12 * 1行	XXX-XXXXXXXX	＜基本レコード／基本情報部>[50]共済組合員情報を参照し、出力する。 ※共済組合員情報を設定、編集する。 XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXX ※2つめのハイフン以降は出力しない。出力例 XXX-XXXXXXXX ※最大先頭から12桁を出力する。 ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。
6	ハガキ 50歳以上 表面	二次元コード	29 * 1行		以下の項番を参照し、「合計29桁の数字列」を二次元コードに変換、出力する。 ＜基本レコード／QRコード情報> [109]識別区分、[110]郵便物区分コード、[111]照会番号、[112]作成年月日、 ※＜二次元コードの仕様> QRコード モデル2、バージョン:1、誤り訂正:レベル「M」、モード:数字、 サイズ:1辺が10mm±2mm(クワイエットゾーンを除く)、 余白:二次元コードの各辺から2mm以上もしくは5セル分のいずれか大きい方を余白として確保すること。 スマートフォン、フィーチャーフォン等のデバイスでの読み取りに対応すること。 ※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
7	ハガキ 50歳以上 表面	照会番号	12 * 1行	XXX XXX XXX XXX	＜基本レコード／基本情報部>[52]照会番号を参照し、出力する。 ※照会番号は3桁ごとにスペースを入れ、以下のとおり印字すること。 XXX XXX XXX XXX ※枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
8	ハガキ 50歳以上 表面	公務員共済の 加入者番号	15 * 1行	X ~ XXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／共済基本情報部／通知番号情報>[125]第2・3号加入者番号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合、「*****」を出力する。 ※加入員番号は、「1桁」～「15桁」まで存在するが、いずれの桁数の場合も 枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
9	ハガキ 50歳以上 表面	私学共済の 加入者番号	15 * 1行	X ~ XXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／共済基本情報部／通知番号情報>[126]第4号加入者番号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合、「*****」を出力する。 ※加入員番号は、「1桁」～「15桁」まで存在するが、いずれの桁数の場合も 枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
10	ハガキ 50歳以上 表面	<受給開始年齢> 老齢年金の見込額	1行	99	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事象コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 ＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢> [30]老基老厚支給支給開始年齢を参照し、出力する。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 表面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
11	ハガキ 50歳以上 表面	＜見込額 計＞ 老齢年金の見込額	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部>[44]老基老厚合計見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
11-1	ハガキ 50歳以上 表面	＜見込額 計＞ 老齢年金の見込額 (70歳まで遅らせた場合)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／繰下げ時見込額情報部>[86-2]70歳繰下げ時見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
11-2	ハガキ 50歳以上 表面	＜見込額 計＞ 老齢年金の見込額 (75歳まで遅らせた場合)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／繰下げ時見込額情報部>[86-4]75歳繰下げ時見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
12	ハガキ 50歳以上 表面	国民年金保険料 (第1号被保険者期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	<基本レコード／保険料納付額情報>[91]保険料納付額(国年)を参照し、出力する。
13	ハガキ 50歳以上 表面	厚生年金保険料 (一般厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	<基本レコード／保険料納付額情報>[92]保険料納付額(厚船)を参照し、出力する。
14	ハガキ 50歳以上 表面	厚生年金保険料 (公務員厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	<基本レコード／共済保険料納付額情報>[138]保険料納付額(2・3号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
15	ハガキ 50歳以上 表面	厚生年金保険料 (私学共済厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	<基本レコード／共済保険料納付額情報>[139]保険料納付額(4号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
16	ハガキ 50歳以上 表面	これまでの 保険料納付額 国民年金・船員保険・ 厚生年金 計	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	<基本レコード／保険料納付額情報> [89]保険料納付額合計(国年+厚船+2・3号+4号)1 を参照し、出力する。
17	ハガキ 50歳以上 表面	二次元コード	—		【別添5-2-7】出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード 【別添5-1-7/別添5-2-7(共通)】公的年金シミュレーター二次元コードの作成について(直近1年間通知者用)を参照し、二次元コードを出力する。
18	ハガキ 50歳以上 表面	対象年月	1行	Z9年Z9月	以下の項番を参照し、対象年月を出力する。 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／年月> [73]対象年、[74]年、[75]対象月、[76]月 を参照し、出力する。 ※[73]対象年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※同一年月の記録は、 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>[78]加入制度 に設定されている、「厚年」「基金」「船保」「公共」「私学」より各1記録ずつ収録される可能性があり、最大5記録収録される。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されるが、出力する「対象年月」は常に先頭の1つとする。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 表面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
19	ハガキ 50歳以上 表面	国民年金納付状況	1行	XXXXX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [82]納付状況(上段)を参照し、出力する。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※表3. 1-6において、項番[47]納付状況パターン[三号納付]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△3号△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[48]納付状況パターン[三号未納]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △3号未△(△は全角スペース) ※表3. 1-6において、項番[76]納付状況パターン[学生納付特例]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△学特△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[78]納付状況パターン[納付猶予]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△猶予△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[102]納付状況パターン[産前産後]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △産前産後△(△は半角スペース) <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [83]納付状況(下段)が[付加]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △納付済／(△は全角スペース) 産前産後／ ※出力仕様書・「項番19」と「項番20」は、合わせて文字が 「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※出力仕様書・「項番19」単独となる場合も、文字が「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※詳細は、「別添5-2-2付属」参照。
20	ハガキ 50歳以上 表面	国民年金納付状況 (付加)	1行	XX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [83]納付状況(下段)を参照し、出力する。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※出力仕様書・「項番19」と「項番20」は、合わせて文字が 「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※詳細は、「別添5-2-2付属」参照。
21	ハガキ 50歳以上 表面	加入区分	1行	XX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度> [78]加入制度を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※[78]加入制度に収録される項目は、「厚年」・「基金」・「船保」・「公共」・「私学」となる。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※詳細は、「別添5-2-2付属」参照。
22	ハガキ 50歳以上 表面	標準報酬月額	3 * 1行	ZZ9	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> [85]標準報酬月額を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ.ZZZ.ZZ9”であるが、末尾4桁(カンマを含む)・先頭3桁(カンマを含む)は出力せず、印字形式のとおり出力すること。(標準報酬月額の上限は650千円) ※詳細は、「別添5-2-2付属」参照。
23	ハガキ 50歳以上 表面	標準賞与額	5 * 1行	Z.ZZ9	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> [86]標準賞与額を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ.ZZZ.ZZ9”であるが、末尾4桁(カンマを含む)・先頭1桁は出力せず、印字形式のとおり出力すること。(標準賞与額の上限は1,500千円) ※詳細は、「別添5-2-2付属」参照。
24	ハガキ 50歳以上 表面	保険料納付額	7 * 1行	ZZZ.ZZ9	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> [87]納付額を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ.ZZZ.ZZ9”であるが、実在する保険料納付額が 最大7桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。 ※詳細は、「別添5-2-2付属」参照。

出力位置：「ねんきん定期便」（直近1年間通知者／50歳以上者用）表面（令和8年10月～令和9年3月発送分）【別添5-2-1-1】

料金後納郵便 親展		照会番号 項番7		公務員共済の加入者番号 項番8		私学共済の加入者番号 項番9		※お問い合わせの際は、照会番号をお伝えください。			
令和8年度の「ねんきん定期便」です。 令和8年10月より 帳票レイアウト変更 予定 日本年金機構 Japan Pension Service 〒168-8505 東京都世田谷区西三丁目5番24号 お知らせは内側にあります。 矢印の方向へゆっくりはがしてください。		①年金の受給開始時期は、60歳から75歳まで選択できます。 ②年金受給を遅らせた場合、年金額が増額します。 (例) 70歳を選択した場合、65歳と比較して42%増額 75歳を選択した場合、65歳と比較して84%増額(最大) (注)・65歳以降で厚生年金保険の被保険者等である場合は、在職支給停止額を差し引いた額が、繰下げによる増額の計算対象となります。 ・遺族年金や障害年金を受け取ることができる場合には、老齢年金の受給開始時期を遅らせることができないことがあります。		最近の月別状況です 下記の月別状況や裏面の年金加入期間に「まれ」や「誤り」があると思われる方は、お近くの年金事務所にお問い合わせください。		国民年金 (第1号・第3号) 納付状況 項番18 項番19 項番20		厚生年金保険 加入区分 標準報酬月額(千円) 標準賞与額(千円) 保険料納付額 項番21 項番22 項番23 項番24		※国民年金保険料納付猶予等の承認を受けた期間は、追納が承認された月の前10年以内の猶予等期間に納付することで、年金額を生増増やすことができます。 【公的年金シミュレーター二次元コード】 この二次元コードには、「ねんきん定期便」に記載されている年金情報の一部が収録されており、厚生労働省が提供するWEBサイト(公的年金シミュレーター)で年金見込額の簡易試算ができます。 (https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp) 二次元コード	
		項番1 項番2 項番3 項番4 項番5 項番6		項番11 項番11-1 項番11-2		項番12 項番13 項番14 項番15 項番16		項番17			

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 表面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
1	ハガキ 50歳以上 表面	郵便番号	8 × 1	XXX-XXXX	① <基本レコード／共通部>[7]郵便番号を参照し、出力する。 ※郵便番号を7桁にて出力する(XXX-XXXX) ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。 ② [7]郵便番号に「999-9999」が収録されている場合、オールスペースとして出力する。
2	ハガキ 50歳以上 表面	住所	3 行	XXXXXXXXXX~XX XXXXXXXXXX~XX XXXXXXXXXX~XX	① 以下の項番を参照し、出力する。 <基本レコード／基本情報部／住所情報1行目>[34]住所1行目、 <基本レコード／基本情報部／住所情報2行目>[38]住所2行目、 <基本レコード／基本情報部／住所情報3行目>[42]住所3行目、 ※住所は3行にて出力する。 ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。 ② <基本レコード／共通部>[7]郵便番号に「999-9999」が収録されている場合、 オールスペースとして出力する。
3	ハガキ 50歳以上 表面	氏名	1行	XXXX~XXXX△様	<基本レコード／基本情報部／氏名情報>[45]氏名印字桁数、[46]氏名、[47]様の各項目を参照し、出力する。 ※[47]様の前に“△”を付加して印字する。(△はスペースを表す) ※[45]氏名印字桁数によって、[46]氏名、“△”、[47]様を、バランスを考慮した上で下記に示すポイント数以上で印刷する。(△はスペースを表す) ・[45]氏名印字桁数が22以下の場合、16ポイント以上 ・[45]氏名印字桁数が23以上30文字以下の場合、12ポイント以上 ・[45]氏名印字桁数が31文字以上の場合、8ポイント以上
4	ハガキ 50歳以上 表面	カスタマーバーコード	1行		【別添4】「カスタマーバーコードの付与について」を参照し、 カスタマーバーコード付与の判定、カスタマーバーコードの生成・印字を行うこと。
5	ハガキ 50歳以上 表面	共済組合員情報	12 * 1行	XXX-XXXXXXXX	<基本レコード／基本情報部>[50]共済組合員情報を参照し、出力する。 ※共済組合員情報を設定、編集する。 XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXX ※2つめのハイフン以降は出力しない。出力例 XXX-XXXXXXXX ※最大先頭から12桁を出力する。 ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。
6	ハガキ 50歳以上 表面	二次元コード	29 * 1行		以下の項番を参照し、「合計29桁の数字列」を二次元コードに変換、出力する。 <基本レコード／QRコード情報> [109]識別区分、[110]郵便物区分コード、[111]照会番号、[112]作成年月日、 ※<二次元コードの仕様> QRコード モデル2、バージョン:1、誤り訂正:レベル「M」、モード:数字、 サイズ:1辺が10mm±2mm(クワイエットゾーンを除く)、 余白:二次元コードの各辺から2mm以上もしくは5セル分のいずれか大きい方を余白として確保すること。 スマートフォン、フィーチャーフォン等のデバイスでの読み取りに対応すること。 ※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
7	ハガキ 50歳以上 表面	照会番号	12 * 1行	XXX XXX XXX XXX	<基本レコード／基本情報部>[52]照会番号を参照し、出力する。 ※照会番号は3桁ごとにスペースを入れ、以下のとおり印字すること。 XXX XXX XXX XXX ※枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
8	ハガキ 50歳以上 表面	公務員共済の 加入者番号	15 * 1行	X ~ XXXXXXXXXXXXXXXX	<基本レコード／共済基本情報部／通知番号情報>[125]第2・3号加入者番号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合、「*****」を出力する。 ※加入員番号は、「1桁」～「15桁」まで存在するが、いずれの桁数の場合も 枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
9	ハガキ 50歳以上 表面	私学共済の 加入者番号	15 * 1行	X ~ XXXXXXXXXXXXXXXX	<基本レコード／共済基本情報部／通知番号情報>[126]第4号加入者番号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合、「*****」を出力する。 ※加入員番号は、「1桁」～「15桁」まで存在するが、いずれの桁数の場合も 枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
10	ハガキ 50歳以上 表面	<受給開始年齢> 老齢年金の見込額	1行	99	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事象コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢> [30]老基老厚支給支給開始年齢を参照し、出力する。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 表面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
11	ハガキ 50歳以上 表面	＜見込額 計＞ 老齢年金の見込額	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部>[44]老基老厚合計見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
11-1	ハガキ 50歳以上 表面	＜見込額 計＞ 老齢年金の見込額 (70歳まで遅らせた場合)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／繰下げ時見込額情報部>[86-2]70歳繰下げ時見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
11-2	ハガキ 50歳以上 表面	＜見込額 計＞ 老齢年金の見込額 (75歳まで遅らせた場合)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／繰下げ時見込額情報部>[86-4]75歳繰下げ時見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
12	ハガキ 50歳以上 表面	国民年金保険料 (第1号被保険者期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	<基本レコード／保険料納付額情報>[91]保険料納付額(国年) を参照し、出力する。
13	ハガキ 50歳以上 表面	厚生年金保険料 (一般厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	<基本レコード／保険料納付額情報>[92]保険料納付額(厚船) を参照し、出力する。
14	ハガキ 50歳以上 表面	厚生年金保険料 (公務員厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	<基本レコード／共済保険料納付額情報>[138]保険料納付額(2・3号) を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
15	ハガキ 50歳以上 表面	厚生年金保険料 (私学共済厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	<基本レコード／共済保険料納付額情報>[139]保険料納付額(4号) を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
16	ハガキ 50歳以上 表面	これまでの 保険料納付額 国民年金・船員保険・ 厚生年金 計	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	<基本レコード／保険料納付額情報> [89]保険料納付額合計(国年+厚船+2・3号+4号)1 を参照し、出力する。
17	ハガキ 50歳以上 表面	二次元コード	—		【別添5-2-7-1-1】出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード 【別添5-1-7-1/別添5-2-7-1(共通)】公的年金シミュレーター二次元コードの作成について(直近1年間通知者用)を参照し、二次元コードを出力する。
18	ハガキ 50歳以上 表面	対象年月	1行	Z9年Z9月	以下の項番を参照し、対象年月を出力する。 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／年月> [73]対象年、[74]年、[75]対象月、[76]月 を参照し、出力する。 ※[73]対象年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※同一年月の記録は、 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>[78]加入制度 に設定されている、「厚年」「基金」「船保」「公共」「私学」より各1記録ずつ収録される可能性があり、最大5記録収録される。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されるが、出力する「対象年月」は常に先頭の1つとする。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 表面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
19	ハガキ 50歳以上 表面	国民年金納付状況	1行	XXXXX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [82]納付状況(上段)を参照し、出力する。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※表3. 1-6において、項番[47]納付状況パターン[三号納付]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△3号△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[48]納付状況パターン[三号未納]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △3号未△(△は全角スペース) ※表3. 1-6において、項番[76]納付状況パターン[学生納付特例]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△学特△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[78]納付状況パターン[納付猶予]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△猶予△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[102]納付状況パターン[産前産後]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △産前産後△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[104]納付状況パターン[育児]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△育児△△△(△は半角スペース) ※<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [83]納付状況(下段)が[付加]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △納付済／(△は全角スペース) 産前産後／ △育児／(△は全角スペース) ※出力仕様書・「項番19」と「項番20」は、合わせて文字が 「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※出力仕様書・「項番19」単独となる場合も、文字が「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※詳細は、「別添5-2-2付属」参照。
20	ハガキ 50歳以上 表面	国民年金納付状況 (付加)	1行	XX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [83]納付状況(下段)を参照し、出力する。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※出力仕様書・「項番19」と「項番20」は、合わせて文字が 「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※詳細は、「別添5-2-2付属」参照。
21	ハガキ 50歳以上 表面	加入区分	1行	XX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度> [78]加入制度を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※[78]加入制度に収録される項目は、「厚年」・「基金」・「船保」・「公共」・「私学」となる。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※詳細は、「別添5-2-2付属」参照。
22	ハガキ 50歳以上 表面	標準報酬月額	3 * 1行	ZZ9	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> [85]標準報酬月額を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ.ZZZ.ZZ9”であるが、末尾4桁(カンマを含む)・先頭3桁(カンマを含む)は出力せず、印字形式のとおり出力すること。(標準報酬月額の上限は650千円) ※詳細は、「別添5-2-2付属」参照。
23	ハガキ 50歳以上 表面	標準賞与額	5 * 1行	Z.ZZ9	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> [86]標準賞与額を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ.ZZZ.ZZ9”であるが、末尾4桁(カンマを含む)・先頭1桁は出力せず、印字形式のとおり出力すること。(標準賞与額の上限は1,500千円) ※詳細は、「別添5-2-2付属」参照。
24	ハガキ 50歳以上 表面	保険料納付額	7 * 1行	ZZZ.ZZ9	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> [87]納付額を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ.ZZZ.ZZ9”であるが、実在する保険料納付額が最大7桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。 ※詳細は、「別添5-2-2付属」参照。

項番 18～24の仕様について

○出力仕様書の項番19、20は国民年金にかかる出力部分、項番21～24は厚生年金保険にかかる出力部分であり、それぞれが独立した出力となります。

○直近1年月別状況レコードにおいて、同一年月の記録が複数収録される場合があります。

○同一年月の記録はレコードをまたいで収録される場合があるので、同一の基礎年金番号で連続するすべての直近1年月別状況レコードを判定する必要があります。

※同一年月の記録は連続した状態で収録されます（ただし、レコードをまたぐ場合があります）

○出力仕様書の項番19、20には、「1つめ（先頭）の記録のみ出力すること。」の指定はないので、対象年月の記録（直近1年月別状況レコードの項番82、83）を出力仕様書のとおり印字します。

○出力仕様書の項番21～24には、「1つめ（先頭）の記録のみ出力すること。」の指定があるので、同一年月を判定し、対象年月の記録（直近1年月別状況レコードの項番78、85、86、87）を出力仕様書のとおり印字します。

※あくまでも厚生年金保険にかかる記録を指しています。

○出力例

■直近1年月別状況レコード（直近1年月別情報部内の記録）

レコード番号	1記録目						2記録目						3記録目					
	項番73～76	項番78	項番82～83	項番85	項番86	項番87	項番73～76	項番78	項番82～83	項番85	項番86	項番87	項番73～76	項番78	項番82～83	項番85	項番86	項番87
①	7年12月	△	未納	△	△	△	7年12月	厚年	△	320,000	△	27,958	8年1月	△	未納	△	△	△
②	8年2月	△	未納	△	△	△	8年2月	公共	△	320,000	500,000	37,958	8年3月	△	未納	△	△	△
③	8年3月	公共	△	320,000	500,000	37,958	8年4月	△	3号	△	△	△	8年5月	△	3号	△	△	△
④	8年6月	△	3号	△	△	△	8年7月	△	3号	△	△	△	8年8月	△	3号	△	△	△
⑤	8年9月	△	3号	△	△	△	8年10月	△	3号	△	△	△	8年11月	△	3号	△	△	△
⑥	8年12月	△	確認中	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

※1レコード3記録が格納され、最小5～最大26レコードが格納されます。

△：半角ALLスペース

■印刷イメージ

年月 (和暦)	国民年金 (第1号・第3号) 納付状況	厚生年金保険			
		加入区分	標準報酬月額	標準賞与額	保険料
出力仕様書 項番18	出力仕様書 項番19、20	出力仕様書 項番21	出力仕様書 項番22	出力仕様書 項番23	出力仕様書 項番24
7年12月	未納	厚年	320		27,958
8年1月	未納				
8年2月	未納	公共	320	500	37,958
8年3月	未納	公共	320	500	37,958
(途 中 、 省 略)					
8年12月	確認中				

出力位置：「ねんきん定期便」（直近１年間通知者／５０歳以上者用）裏面（令和８年４月～９月発送分）

【別添５-２-３】

「ねんきん定期便」記載内容についてのお知らせ

○厚生年金保険料は、被保険者と事業主が折半して負担することとされており、被保険者であった時の賃金や期間に応じて年金額が計算されます。「ねんきん定期便」ではご本人の納付実績として被保険者負担分の保険料納付額を記載しており、お手持ちの給与明細等に記載されている保険料額で確認ができます。

○各項目に関する見方の詳細は、日本年金機構のホームページでご案内しています。

ねんきん定期便 見方

検索

(https://www.nenkin.go.jp/service/nenkinkiroku/torikumi/teikibin/teikibin.html)

[データ作成日]

国民年金および一般厚生年金期間

項番53

項番54

項番55

項番56

公務員厚生年金期間
(国家公務員・地方公務員)

項番57

項番58

項番59

項番60

私学共済厚生年金期間
(私立学校の教職員)

項番61

項番62

項番63

項番64

この定期便は、上記データ作成日時時点の前々月までの記録をお知らせしています。
納付記録がデータに反映されるまで日数がかかることがあります。

「ねんきんネット」をご利用しませんか？

○「ねんきんネット」は、スマートフォンやPCからご自身の年金記録や電子版「ねんきん定期便」の確認、年金受給開始を遅らせる場合などの年金見込額の試算、持ち主不明の年金記録の検索（亡くなられた方の年金記録を含む）などができるサービスです。

○マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナポータルから簡単に利用登録ができます。また、お持ちでない方も、基礎年金番号と右記の「お客様のアクセスキー」を使用して日本年金機構ホームページから利用登録ができます。

○「ねんきん定期便」は「ねんきんネット」からペーパーレス化の登録ができます。環境への配慮に、ぜひご協力をお願いします。

スマートフォンでのご利用登録はこちら➡

(https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do)

お問い合わせは「ねんきん定期便・ねんきんネット専用番号」へ

0570-058-555

ナビダイヤル

全国一律の通話料金でご利用いただけます。

通話料金定額プランの対象外です。

050から始まる電話からおかけになる場合

(東京) 03-6700-1144

月曜日※1

火～金曜日

第2土曜日※2

8:30～19:00

8:30～17:15

9:30～16:00

※1

月曜日が祝日の場合は、翌日以降の平日の初日に19:00まで受け付けます。

※2

第2土曜日以外の土・日・祝日12/29～1/3はご利用いただけません。

2. これまでの年金加入期間（老齢年金の受け取りには、原則として120月以上の受給資格期間が必要です）

国民年金（a）

第1号被保険者
(未納月数を除く)

第3号被保険者

国民年金計
(未納月数を除く)

付加保険料
納付済月数

船員保険（c）

年金加入期間 合計
(未納月数を除く)

合算対象期間等

受給資格期間

項番1

月

項番2

月

項番3

月

項番3-1

月

項番4

月

(a+b+c)

(d)

(a+b+c+d)

厚生年金保険（b）

一般厚生年金

公務員厚生年金

私学共済厚生年金

厚生年金保険計

項番5

月

項番6

月

項番7

月

項番8

月

項番9

月

項番10

月

項番11

月

3. 老齢年金の種類と見込額（年額）（60歳未満の方は現在の加入条件が60歳まで継続すると仮定して見込額を計算しています）

受給開始年齢

項番12

歳～

項番13

歳～

項番14

歳～

項番15

歳～

(1) 基礎年金

老齢基礎年金

項番16

円

(2) 厚生年金

特別支給の老齢厚生年金

特別支給の老齢厚生年金

特別支給の老齢厚生年金

老齢厚生年金

一般厚生年金期間

(報酬比例部分)

項番17

円

(定額部分)

項番20

円

(報酬比例部分)

項番23

円

(定額部分)

項番27

円

(経過の職域加算額
(共済年金))

項番31

円

(報酬比例部分)

項番35

円

(定額部分)

項番39

円

(経過の職域加算額
(共済年金))

項番43

円

公務員厚生年金期間

(報酬比例部分)

項番18

円

(定額部分)

項番21

円

(報酬比例部分)

項番24

円

(定額部分)

項番28

円

(経過の職域加算額
(共済年金))

項番32

円

(報酬比例部分)

項番25

円

(定額部分)

項番29

円

(経過の職域加算額
(共済年金))

項番33

円

(報酬比例部分)

項番36

円

(定額部分)

項番40

円

(経過の職域加算額
(共済年金))

項番44

円

私学共済厚生年金期間

(報酬比例部分)

項番19

円

(経過的加算部分)

項番22

円

(報酬比例部分)

項番26

円

(経過的加算部分)

項番30

円

(報酬比例部分)

項番38

円

(経過的加算部分)

項番42

円

(報酬比例部分)

項番37

円

(経過的加算部分)

項番41

円

(経過的加算部分)

項番45

円

(経過的加算部分)

項番46

円

(1)と(2)の合計

項番47

円

項番48

円

項番49

円

項番50

円

※年金見込額は今後の加入状況や経済動向などによって変わります。あくまで目安としてください。
※一般厚生年金期間の報酬比例部分には、厚生年金基金の代行部分を含んでいます。
※基礎年金給付の2分の1相当は国庫から負担されています。

お客様へのお知らせ

項番51

ねんきんネットの「お客様のアクセスキー」

項番52

※「お客様のアクセスキー」の有効期限は、左記データ作成日から5カ月後の月末までです。

右のマークは目の不自由な方のための音声コードです。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
1	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 第1号被保険者 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64]第1号被保険者加入月数(未納除く)を参照し、出力する。
2	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 第3号被保険者	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [84]第3号被保険者加入月数を参照し、出力する。
3	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 国民年金計 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞[64]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 ＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞[84]第3号被保険者加入月数、 ※＜出力例＞ 第1号被保険者加入月数(未納除く) △△1、第3号被保険者加入月数 △△9の場合 → △10 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式のとおり印字すること。
3-1	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 付加保険料 納付済月数	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [73]付加納付月数を参照し、出力する。
4	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 船員保険	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[81]船保期間を参照し、出力する。
5	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 一般厚生年金	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間を参照し、出力する。
6	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 公務員厚生年金 (国家公務員・地方公務員)	1行	ZZ9	＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [131]厚年期間(第2・3号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
7	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 私学共済厚生年金 (私立学校の教職員)	1行	ZZ9	＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [135]厚年期間(第4号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
8	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 厚生年金保険 計	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [131]厚年期間(第2・3号)、[135]厚年期間(第4号)、 ※＜出力例＞ 厚年期間 △△5、厚年期間(第2・3号) △△50、厚年期間(第4号) △△10の場合 → △△65 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式のとおり印字すること。
9	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 合計 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2を参照し、出力する。
10	ハガキ 50歳以上 裏面	合算対象期間等	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞[87]合算対象期間を参照し、出力する。
11	ハガキ 50歳以上 裏面	受給資格期間	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2、[87]合算対象期間、 ※＜出力例＞ 年金加入期間総合計2 △△9、合算対象期間 △△10の場合 → △△19 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式のとおり印字すること。
12	ハガキ 50歳以上 裏面	＜受給開始年齢＞ 特例支給①開始時 (左から1番目)	1行	99	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、 「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 ＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞ [27]特例支給(報酬比例部分)開始年齢1を参照し、出力する。
13	ハガキ 50歳以上 裏面	＜受給開始年齢＞ 特例支給②開始時 (左から2番目)	1行	99	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、 「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 ＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞ [28]特例支給(報酬比例部分)開始年齢2を参照し、出力する。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
14	ハガキ 50歳以上 裏面	＜受給開始年齢＞ 特例支給③開始時 (左から3番目)	1行	99	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞[29]特例支給(定額部分)開始年齢 を参照し、出力する。
15	ハガキ 50歳以上 裏面	＜受給開始年齢＞ 老齢基礎年金 開始時 (左から4番目)	1行	99	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞[30]老基老厚支給支給開始年齢 を参照し、出力する。
16	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額＞ 老齢基礎年金	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部＞[31]基礎年金見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
17	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額＞ 一般厚生年金 報酬比例部分 特例支給②開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／報酬比例見込額＞[34]特例支給(報酬比例部分)開始時2 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
18	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額＞ 一般厚生年金 報酬比例部分 特例支③開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／報酬比例見込額＞[35]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
19	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 一般厚生年金 報酬比例部分 老基老厚生開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／報酬比例見込額> [36]老基老厚生支給開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
20	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 一般厚生年金 定額部分 特例支給②開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額> [37]特例支給(報酬比例部分)見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
21	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 一般厚生年金 定額部分 特例支給③開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額> [38]特例支給(定額部分)見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
22	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 一般厚生年金 経過の加算部分 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額> [39]経過の加算部分見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
23	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額＞ 公務員厚生年金 報酬比例部分 特例支給①開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／報酬比例見込額＞ [57]特例支給(報酬比例部分)開始時1 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
24	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額＞ 公務員厚生年金 報酬比例部分 特例支給②開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／報酬比例見込額＞ [58]特例支給(報酬比例部分)開始時2 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
25	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額＞ 公務員厚生年金 報酬比例部分 特例支給③開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／報酬比例見込額＞ [59]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
26	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額＞ 公務員厚生年金 報酬比例部分 老基老厚生 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／報酬比例見込額＞ [60]老基老厚生支給開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
27	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 定額部分 特例支給① 開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「O」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／特例支給(定額部分)見込額>[67]特例支給(報酬比例部分)開始時1 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
28	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 定額部分 特例支給② 開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「O」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／特例支給(定額部分)見込額>[68]特例支給(報酬比例部分)開始時2 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
29	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 定額部分 特例支給③ 開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「O」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／特例支給(定額部分)見込額>[69]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
30	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 経過の加算部分 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「O」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額>[70]経過の加算部分見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
31	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 経過の職域加算額 (共済年金) 特例支給① 開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「O」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／旧職域加算見込額> [62]旧職域加算見込額(特例支給(報酬比例部分)開始時1)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
32	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 経過の職域加算額 (共済年金) 特例支給② 開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「O」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／旧職域加算見込額> [63]旧職域加算見込額(特例支給(報酬比例部分)開始時2)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
33	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 経過の職域加算額 (共済年金) 特例支給③ 開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「O」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／旧職域加算見込額> [64]旧職域加算見込額(特例支給(定額部分)開始時)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
34	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 経過の職域加算額 (共済年金) 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「O」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／旧職域加算見込額> [65]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
35	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 報酬比例部分 特例支給① 開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／報酬比例見込額> [73]特例支給(報酬比例部分)開始時1 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
36	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 報酬比例部分 特例支給② 開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／報酬比例見込額> [74]特例支給(報酬比例部分)開始時2 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
37	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 報酬比例部分 特例支給③ 開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／報酬比例見込額> [75]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
38	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 報酬比例部分 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／報酬比例見込額> [76]老基老厚支給開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
39	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 定額部分 特例支給① 開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「O」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／特例支給(定額部分)見込額>[83]特例支給(報酬比例部分)開始時1 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
40	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 定額部分 特例支給② 開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「O」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／特例支給(定額部分)見込額>[84]特例支給(報酬比例部分)開始時2 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
41	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 定額部分 特例支給③ 開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「O」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／特例支給(定額部分)見込額>[85]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
42	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 経過の加算部分 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「O」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額>[86]経過の加算部分見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
43	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 経過の職域加算額 (共済年金) 特例支給① 開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／旧職域加算見込額>[78]旧職域加算見込額(特例支給(報酬比例部分)開始時1)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
44	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 経過の職域加算額 (共済年金) 特例支給② 開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／旧職域加算見込額>[79]旧職域加算見込額(特例支給(報酬比例部分)開始時2)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
45	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 経過の職域加算額 (共済年金) 特例支給③ 開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／旧職域加算見込額>[80]旧職域加算見込額(特例支給(定額部分)開始時)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
46	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 経過の職域加算額 (共済年金) 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／旧職域加算見込額>[81]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
47	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額 合計＞ 特例支給① 開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／合計部＞[41]特例支給(報酬比例部分)開始時1 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
48	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額 合計＞ 特例支給② 開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部＞[42]特例支給(報酬比例分)開始時2 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
49	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額 合計＞ 特例支給③ 開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部＞[43]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
50	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額 合計＞ 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部＞[44]老基老厚合計見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
51	ハガキ 50歳以上 裏面	お知らせ	X行	XXX～XXX	[別添1]「お知らせ」欄に印字する文言の条件・内容について(直近1年間通知者用) を参照し、指定された固定文言を出力する。
52	ハガキ 50歳以上 裏面	アクセスキー	17行 × 1行	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／NEKOアクセスキー情報＞[107]NEKOアクセスキー を参照し、出力する。 ※枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上づつ余白が出るように出力すること。
53	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「年元号」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	XX	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日＞[38]抽出年元号 を参照し、出力する。
54	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「年」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9年	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日＞[39]抽出年、[40]年 を参照し、出力する。 ※[39]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。
55	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「月」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9月	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日＞[41]抽出月、[42]月 を参照し、出力する。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
56	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「日」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9日	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日＞[43]抽出日、[44]日を参照し、出力する。
57	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「年元号」 (公務員厚年期間)	1行	XX	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合は、「*****」を出力する。
58	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「年」 (公務員厚年期間)	1行	Z9年	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[116]抽出年を参照し、出力する。 ※[116]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※[116]抽出年の後に「年」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
59	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「月」 (公務員厚年期間)	1行	Z9月	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[117]抽出月を参照し、出力する。 ※[117]抽出月の後に「月」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
60	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「日」 (公務員厚年期間)	1行	Z9日	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[118]抽出日を参照し、出力する。 ※[118]抽出日の後に「日」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
61	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「年元号」 (私学共済厚年期間)	1行	XX	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合は、「*****」を出力する。
62	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「年」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9年	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[121]抽出年を参照し、出力する。 ※[121]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※[121]抽出年の後に「年」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
63	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「月」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9月	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[122]抽出月を参照し、出力する。 ※[122]抽出月の後に「月」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
64	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「日」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9日	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[123]抽出日を参照し、出力する。 ※[123]抽出日の後に「日」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
65	ハガキ 50歳以上 裏面	二次元コード	1行		スマートフォン版の「ねんきんネット(申請用トップページ)」へ遷移する二次元コードを生成し、出力する。 遷移先のアドレス: https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do ※＜二次元コードの仕様＞ モデル2、バージョン5、誤り訂正レベル「M」、モード:バイナリ、 二次元コードの各辺から2mm以上の余白を確保すること。 スマートフォンでの読取りに対応すること。

出力位置：「ねんきん定期便」（直近1年間通知者／50歳以上者用）裏面（令和8年10月～令和9年3月発送分）【別添5-2-3-1】

「ねんきん定期便」 記載内容についてのお知らせ

○厚生年金保険料は、被保険者と事業主が折半して負担することとされており、被保険者であった時の賃金や期間に応じて年金額が計算されます。「ねんきん定期便」ではご本人の納付実績として被保険者負担分の保険料納付額を記載しており、お手持ちの給与明細等に記載されている保険料額で確認ができます。

○各項目に関する見方の詳細は、日本年金機構のホームページでご案内しています。

ねんきん定期便 見方

検索

(<https://www.nenkin.go.jp/service/nenkinkiroku/torikumi/teikibin/teikibin.html>)

【データ作成日】

国民年金および一般厚生年金期間				公務員厚生年金期間 (国家公務員・地方公務員)				私学共済厚生年金期間 (私立学校の教職員)			
項番 53	項番 54	項番 55	項番 56	項番 57	項番 58	項番 59	項番 60	項番 61	項番 62	項番 63	項番 64
この定期便は、上記データ作成日時点の期末日までの記録をお知らせしています。 納付記録がデータに反映されるまでにはかかる場合があります。 令和8年10月より 帳票レイアウト変更 予定 ○「ねんきんネット」は、スマートフォンやPCからご自身の年金記録や電子版「ねんきん定期便」の年金受給開始時期や年金額などの年金情報や、お手持ちのマイナンバーカードをお持ちの方は、マイナポータルから簡単に利用登録ができます。また、お持ちでない方も、スマートフォンで「お客様のアクセスキー」を使用して日本年金機構ホームページから登録できます。 ○「ねんきん定期便」は「ねんきんネット」のバーレス化の登録ができます。環境への配慮に、ぜひご協力をお願いします。 スマートフォンでのご利用登録はこちら 二次元コード 項番65 (https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do)											

お問い合わせは「ねんきん定期便・ねんきんネット専用番号」へ

0570-058-555

全国一律の通話料金でご利用いただけます。
 ナビダイヤル® 通話料金定額プランの対象外です。

050から始める電話からおかけになる場合 (東京) 03-6700-1144

受付時間	月 曜 日※1	8:30～19:00	※1	月曜日が祝日の場合は、翌日以降の 平日の初日に19:00まで受け付けます。
	火～金曜日	8:30～17:15		
	第2土曜日※2	9:30～16:00	※2	第2土曜日以外の土・日・祝日 12/29～1/3はご利用いただけません。

2. これまでの年金加入期間 (老齢年金の受け取りには、原則として120月以上の受給資格期間が必要です)

国民年金 (a)			付加保険料 納付済月数	船員保険 (c)	年金加入期間 合計 (未納月数を除く) (a + b + c)	合算対象期間等 (d)	受給資格期間 (a + b + c + d)
第1号被保険者 (未納月数を除く)	第3号被保険者	国民年金 計 (未納月数を除く)					
項番1 月	項番2 月	項番3 月	項番3-1 月	項番4 月			
厚生年金保険 (b)							
一般厚生年金		公務員厚生年金		私学共済厚生年金	厚生年金保険 計		
項番5 月	項番6 月	項番7 月	項番8 月		項番9 月	項番10 月	項番11 月

3. 老齢年金の種類と見込額 (年額) (60歳未満の方は現在の加入条件が60歳まで継続すると仮定して見込額を計算しています)

受給開始年齢	項番12 歳～	項番13 歳～	項番14 歳～	項番15 歳～
(1) 基礎年金				老齢基礎年金 項番16 円
(2) 厚生年金	特別支給の老齢厚生年金	特別支給の老齢厚生年金	特別支給の老齢厚生年金	老齢厚生年金
一般厚生年金期間	(報酬比例部分) 項番17 円 (定 額 部 分) 項番20 円	(報酬比例部分) 項番18 円 (定 額 部 分) 項番21 円	(報酬比例部分) 項番19 円 (定 額 部 分) 項番22 円	(報酬比例部分) 項番23 円 (定 額 部 分) 項番24 円
	(報酬比例部分) 項番25 円 (定 額 部 分) 項番26 円 (経過的職域加算額 (共 済 年 金)) 項番27 円	(報酬比例部分) 項番28 円 (定 額 部 分) 項番29 円 (経過的職域加算額 (共 済 年 金)) 項番30 円	(報酬比例部分) 項番31 円 (定 額 部 分) 項番32 円 (経過的職域加算額 (共 済 年 金)) 項番33 円	(報酬比例部分) 項番34 円 (定 額 部 分) 項番35 円 (経過的職域加算額 (共 済 年 金)) 項番36 円
公務員厚生年金期間	(報酬比例部分) 項番37 円 (定 額 部 分) 項番38 円 (経過的職域加算額 (共 済 年 金)) 項番39 円	(報酬比例部分) 項番40 円 (定 額 部 分) 項番41 円 (経過的職域加算額 (共 済 年 金)) 項番42 円	(報酬比例部分) 項番43 円 (定 額 部 分) 項番44 円 (経過的職域加算額 (共 済 年 金)) 項番45 円	(報酬比例部分) 項番46 円 (定 額 部 分) 項番47 円 (経過的職域加算額 (共 済 年 金)) 項番48 円
私学共済厚生年金期間	(報酬比例部分) 項番49 円 (定 額 部 分) 項番50 円 (経過的職域加算額 (共 済 年 金)) 項番51 円	(報酬比例部分) 項番52 円 (定 額 部 分) 項番53 円 (経過的職域加算額 (共 済 年 金)) 項番54 円	(報酬比例部分) 項番55 円 (定 額 部 分) 項番56 円 (経過的職域加算額 (共 済 年 金)) 項番57 円	(報酬比例部分) 項番58 円 (定 額 部 分) 項番59 円 (経過的職域加算額 (共 済 年 金)) 項番60 円
(1) と (2) の合計	項番61 円	項番62 円	項番63 円	項番64 円

※年金見込額は今後の加入状況や経済動向などによって変わります。あくまで目安としてください。
 ※一般厚生年金期間の報酬比例部分には、厚生年金基金の代行部分を含んでいます。
 ※基礎年金給付の2分の1相当は国庫から負担されています。

お客様へのお知らせ

項番51

ねんきんネットの「お客様のアクセスキー」

項番52

※「お客様のアクセスキー」の有効期限は、左記データ作成日から5カ月後の月末までです。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
1	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 第1号被保険者 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64]第1号被保険者加入月数(未納除く) を参照し、出力する。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
2	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 第3号被保険者	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [64]第3号被保険者加入月数 を参照し、出力する。
3	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 国民年金計 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞[64]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 ＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞[64]第3号被保険者加入月数、 ※＜出力例＞ 第1号被保険者加入月数(未納除く) △△1、第3号被保険者加入月数 △△9の場合 → △10 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式のとおり印字すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
3-1	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 付加保険料 納付済月数	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [73]付加納付月数 を参照し、出力する。
4	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 船員保険	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[81]船保期間 を参照し、出力する。
5	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 一般厚生年金	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間 を参照し、出力する。
6	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 公務員厚生年金 (国家公務員・地方公務員)	1行	ZZ9	＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [131]厚年期間(第2・3号) を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
7	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 私学共済厚生年金 (私立学校の教職員)	1行	ZZ9	＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [135]厚年期間(第4号) を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
8	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 厚生年金保険 計	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [131]厚年期間(第2・3号)、[135]厚年期間(第4号)、 ※＜出力例＞ 厚年期間 △△5、厚年期間(第2・3号) △50、厚年期間(第4号) △10の場合 → △65 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式のとおり印字すること。
9	ハガキ 50歳以上 裏面	年金加入期間 合計 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2 を参照し、出力する。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
10	ハガキ 50歳以上 裏面	合算対象期間等	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞[87]合算対象期間 を参照し、出力する。
11	ハガキ 50歳以上 裏面	受給資格期間	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2、[87]合算対象期間、 ※＜出力例＞ 年金加入期間総合計2 △△9、合算対象期間 △10の場合 → △19 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式のとおり印字すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
12	ハガキ 50歳以上 裏面	＜受給開始年齢＞ 特例支給①開始時 (左から1番目)	1行	99	① ＜詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード＞[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② ＜詳細見込額レコード／表示部＞[52]期間重複表示 を参照し、 「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 ＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞ [27]特例支給(報酬比例部分)開始年齢1 を参照し、出力する。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
13	ハガキ 50歳以上 裏面	<受給開始年齢> 特例支給②開始時 (左から2番目)	1行	99	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢>[28]特例支給(報酬比例部分)開始年齢2を参照し、出力する。
14	ハガキ 50歳以上 裏面	<受給開始年齢> 特例支給③開始時 (左から3番目)	1行	99	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢>[29]特例支給(定額部分)開始年齢 を参照し、出力する。
15	ハガキ 50歳以上 裏面	<受給開始年齢> 老齢基礎年金 開始時 (左から4番目)	1行	99	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*」(半角)を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*」(半角)を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢>[30]老基老厚支給支給開始年齢 を参照し、出力する。
16	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 老齢基礎年金	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／詳細見込額情報部>[31]基礎年金見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
17	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 一般厚生年金 報酬比例部分 特例支給②開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／報酬比例見込額>[34]特例支給(報酬比例部分)開始時2 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「Z.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
18	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 一般厚生年金 報酬比例部分 特例支③開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／報酬比例見込額> [35]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
19	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 一般厚生年金 報酬比例部分 老基老厚生開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／報酬比例見込額> [36]老基老厚生支給開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
20	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 一般厚生年金 定額部分 特例支給②開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額> [37]特例支給(報酬比例部分)見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
21	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 一般厚生年金 定額部分 特例支給③開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額> [38]特例支給(定額部分)見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
22	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 一般厚生年金 経過の加算部分 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額> [39]経過の加算部分見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
23	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 報酬比例部分 特例支給①開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／報酬比例見込額> [57]特例支給(報酬比例部分)開始時1 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
24	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 報酬比例部分 特例支給②開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／報酬比例見込額> [58]特例支給(報酬比例部分)開始時2 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
25	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 報酬比例部分 特例支給③開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／報酬比例見込額> [59]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
26	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 報酬比例部分 老基老厚生 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／報酬比例見込額>[60]老基老厚生支給開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
27	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 定額部分 特例支給① 開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／特例支給(定額部分)見込額>[67]特例支給(報酬比例部分)開始時1 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
28	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 定額部分 特例支給② 開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／特例支給(定額部分)見込額>[68]特例支給(報酬比例部分)開始時2 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
29	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 定額部分 特例支給③ 開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／特例支給(定額部分)見込額>[69]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
30	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額＞ 公務員厚生年金 経過の加算部分 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額＞ [70]経過の加算部分見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
31	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額＞ 公務員厚生年金 経過の職域加算額 (共済年金) 特例支給① 開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／旧職域加算見込額＞ [62]旧職域加算見込額(特例支給(報酬比例部分)開始時1) を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
32	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額＞ 公務員厚生年金 経過の職域加算額 (共済年金) 特例支給② 開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／旧職域加算見込額＞ [63]旧職域加算見込額(特例支給(報酬比例部分)開始時2) を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
33	ハガキ 50歳以上 裏面	＜見込額＞ 公務員厚生年金 経過の職域加算額 (共済年金) 特例支給③ 開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／旧職域加算見込額＞ [64]旧職域加算見込額(特例支給(定額部分)開始時) を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
34	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 公務員厚生年金 経過の職域加算額 (共済年金) 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／旧職域加算見込額>[65]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
35	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 報酬比例部分 特例支給① 開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／報酬比例見込額>[73]特例支給(報酬比例部分)開始時1 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
36	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 報酬比例部分 特例支給② 開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／報酬比例見込額>[74]特例支給(報酬比例部分)開始時2 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
37	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 報酬比例部分 特例支給③ 開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／報酬比例見込額>[75]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
38	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 報酬比例部分 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／報酬比例見込額>[76]老基老厚支給開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
39	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 定額部分 特例支給① 開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／特例支給(定額部分)見込額>[83]特例支給(報酬比例部分)開始時1 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
40	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 定額部分 特例支給② 開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／特例支給(定額部分)見込額>[84]特例支給(報酬比例部分)開始時2 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
41	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 定額部分 特例支給③ 開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／特例支給(定額部分)見込額>[85]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
42	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 経過的加算部分 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額> [86]経過的加算部分見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
43	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 経過的職域加算額 (共済年金) 特例支給① 開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／旧職域加算見込額> [78]旧職域加算見込額(特例支給(報酬比例部分)開始時1) を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
44	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 経過的職域加算額 (共済年金) 特例支給② 開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／旧職域加算見込額> [79]旧職域加算見込額(特例支給(報酬比例部分)開始時2) を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
45	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 経過的職域加算額 (共済年金) 特例支給③ 開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／旧職域加算見込額> [80]旧職域加算見込額(特例支給(定額部分)開始時) を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
46	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額> 私学共済厚生年金 経過的職域加算額 (共済年金) 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／旧職域加算見込額> [81]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
47	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額 合計> 特例支給① 開始時 (左から1番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／合計部> [41]特例支給(報酬比例部分)開始時1 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
48	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額 合計> 特例支給② 開始時 (左から2番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部> [42]特例支給(報酬比例分)開始時2 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
49	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額 合計> 特例支給③ 開始時 (左から3番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部> [43]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。
50	ハガキ 50歳以上 裏面	<見込額 合計> 老基老厚 開始時 (左から4番目)	1行	Z.ZZZ.ZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、「*****」を出力する。 ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示 を参照し、「1」が表示されている場合は「*****」を出力する。 ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、[52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部> [44]老基老厚合計見込額 を参照し、出力する。 ※収録されている設定値は、「ZZ.ZZZ.ZZ9」であるが、実在する見込額が最大9ケタ(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
51	ハガキ 50歳以上 裏面	お知らせ	X行	XXX～XXX	【別添1】「お知らせ」欄に印字する文言の条件・内容について(直近1年間通知者用)を参照し、指定された固定文言を出力する。
52	ハガキ 50歳以上 裏面	アクセスキー	17行 × 1行	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／NEKOアクセスキー情報＞[107]NEKOアクセスキーを参照し、出力する。 ※枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上づつ余白が出るように出力すること。
53	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「年元号」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	XX	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日＞[38]抽出年元号を参照し、出力する。
54	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「年」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9年	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日＞[39]抽出年、[40]年を参照し、出力する。 ※[39]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。
55	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「月」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9月	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日＞[41]抽出月、[42]月を参照し、出力する。
56	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「日」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9日	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日＞[43]抽出日、[44]日を参照し、出力する。
57	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「年元号」 (公務員厚年期間)	1行	XX	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合は、「*****」を出力する。
58	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「年」 (公務員厚年期間)	1行	Z9年	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[116]抽出年を参照し、出力する。 ※[116]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※[116]抽出年の後に「年」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
59	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「月」 (公務員厚年期間)	1行	Z9月	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[117]抽出月を参照し、出力する。 ※[117]抽出月の後に「月」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
60	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「日」 (公務員厚年期間)	1行	Z9日	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[118]抽出日を参照し、出力する。 ※[118]抽出日の後に「日」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
61	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「年元号」 (私学共済厚年期間)	1行	XX	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合は、「*****」を出力する。
62	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「年」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9年	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[121]抽出年を参照し、出力する。 ※[121]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※[121]抽出年の後に「年」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
63	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「月」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9月	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[122]抽出月を参照し、出力する。 ※[122]抽出月の後に「月」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
64	ハガキ 50歳以上 裏面	作成年月日「日」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9日	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[123]抽出日を参照し、出力する。 ※[123]抽出日の後に「日」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
65	ハガキ 50歳以上 裏面	二次元コード	1行		スマートフォン版の「ねんきんネット(申請用トップページ)」へ遷移する二次元コードを生成し、出力する。 遷移先のアドレス: https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do ※＜二次元コードの仕様＞ モデル2、バージョン5、誤り訂正レベル「M」、モード:バイナリ、 二次元コードの各辺から2mm以上の余白を確保すること。 スマートフォンでの読取りに対応すること。

音声コードへ収録する内容（50歳以上者用）

※この「音声コードへ収録する内容」において参照するファイル名は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）」とする。

〔案内文1〕

ニッポン年金機構から、令和8年度の年金定期便をお送りします。
年金定期便は、毎年、年金加入記録をご確認頂くとともに、年金制度に対するご理解を深めて頂くことを目的として、厚生労働省から委託を受け、年金加入期間などの年金情報をお知らせするものです。

121文字

（注）『毎年』の読み上げは、「まいとし」または「まいねん」のいずれでも可とする。

〔これまでの年金加入期間〕

この年金定期便は、[項番1][項番2]年[項番3]月[項番4]日生まれ、のお客様にお送りしたもので、[項番5][項番6]年[項番7]月[項番8]日時点の年金加入記録にもとづいて作成しています。
これまでの年金加入期間は次の通りです。
国民年金の期間は、未納期間を除く第1号被保険者期間[項番9]ツキ、第3号被保険者期間[項番10]ツキ、合計[項番11]ツキです。
共済制度に加入の場合はこれを含んだ厚生年金保険の期間は[項番12]ツキ、船員保険の期間は[項番13]ツキ、年金加入期間の合計は[項番14]ツキとなります。
また、合算対象期間などが[項番15]ツキあり、受給資格期間は[項番16]ツキとなります。

最大252文字

- ① [項番2] または [項番6] が『1』の場合、漢字『元』に変更すること。
なお、[項番2] または [項番6] に続く漢字『年』を含め、音声コードの読み上げで「がんねん」と読み上げない場合は、[項番2] または [項番6] に続く漢字『年』を含め、カタカナ『ガンネン』に変更すること。

変更例)

変換前：令和1年5月 ⇒ 変換後：令和元年5月

※「元年」を「がんねん」と読み上げない場合 ⇒ 変換後：令和ガンネン5月

〔老齢年金の見込額〕

以下の①及び②の条件に該当する場合は、見込額「ア」「イ」「ウ」「エ」の音声コードを、
③～⑤のいずれかの条件に該当する場合は、見込額算出不可の音声コードを作成する。

① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>

[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードが『スペース』の場合

② <詳細見込額レコード／表示部>

[52]期間重複表示が『1』以外の場合

⇒ 見込額「ア」「イ」「ウ」「エ」の音声コード

③ <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>

[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードが『スペース』以外の場合

④ <詳細見込額レコード／表示部>

[52]期間重複表示が『1』の場合

⑤ <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢>

[30]老基老厚支給開始年齢が『スペースまたはアスタリスク』の場合

⇒ 見込額算出不可の音声コード

見込額「ア」

<詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢>

[27]特例支給（報酬比例部分）開始年齢1、[28]特例支給（報酬比例部分）開始年齢2、
[29]特例支給（定額部分）開始年齢、[30]老基老厚支給開始年齢のすべてが
『スペースまたはアスタリスク』以外の場合

【[27] [28] [29] [30]の全てに数値がある場合】

老齢年金の見込額は次の通りです。

[項番 17] 歳になられた時、共済制度に加入の場合はこれを含んだ特別支給の老齢厚生年金の1年間の受取見込額は [項番 18] 円です。

[項番 19] 歳になられた時、共済制度に加入の場合はこれを含んだ特別支給の老齢厚生年金の1年間の受取見込額は [項番 20] 円です。

[項番 21] 歳になられた時、共済制度に加入の場合はこれを含んだ特別支給の老齢厚生年金の1年間の受取見込額は [項番 22] 円です。

[項番 23] 歳になられた時、老齢基礎年金は [項番 24] 円、共済制度に加入の場合はこれを含んだ老齢厚生年金は [項番 25] 円、1年間の受取見込額は [項番 26] 円です。

最大283文字

(注) [項番 18]、[項番 20]、[項番 22]、[項番 24]、[項番 25]、[項番 26] の値が『*』となっている場合は、
” 0 ” (半角数字) を設定 (収録) すること。

見込額「イ」

< 詳細見込額レコード / 詳細見込額情報部 / 支給開始年齢 >

[28] 特例支給 (報酬比例部分) 開始年齢2、[29] 特例支給 (定額部分) 開始年齢、
[30] 老基老厚支給開始年齢 のすべてが『スペースまたはアスタリスク』以外 の場合
【[28] [29] [30] の全てに数値がある場合】

ろうれいねんきん みこみ つぎ とお
老齢年金の見込額は次の通りです。

[項番 19] 歳になられた時、共 済 制 度 に 加 入 の 場 合 は こ れ を 含 ん だ 特 別 支 給 の 老 齢 厚 生
ねんきん ねんかん うけとりみこみ えん
年金の1年間の受取見込額は [項番 20] 円です。

[項番 21] 歳になられた時、共 済 制 度 に 加 入 の 場 合 は こ れ を 含 ん だ 特 別 支 給 の 老 齢 厚 生
ねんきん ねんかん うけとりみこみ えん
年金の1年間の受取見込額は [項番 22] 円です。

[項番 23] 歳になられた時、老 齢 基 礎 年 金 ガ ク は [項番 24] 円、共 済 制 度 に 加 入 の 場 合
は こ れ を 含 ん だ 老 齢 厚 生 年 金 は [項番 25] 円、1 年 間 の 受 取 見 込 額 は [項番 26] 円です。

最大222文字

(注) [項番 20]、[項番 22]、[項番 24]、[項番 25]、[項番 26] の値が『*』となっている場合は、
” 0 ” (半角数字) を設定 (収録) すること。

見込額「ウ」

< 詳細見込額レコード / 詳細見込額情報部 / 支給開始年齢 >

[29] 特例支給 (定額部分) 開始年齢、[30] 老基老厚支給開始年齢 のすべてが
『スペースまたはアスタリスク』以外 の場合
【[29] [30] の全てに数値がある場合】

ろうれいねんきん みこみ つぎ とお
老齢年金の見込額は次の通りです。

[項番 21] 歳になられた時、共 済 制 度 に 加 入 の 場 合 は こ れ を 含 ん だ 特 別 支 給 の 老 齢 厚 生
ねんきん ねんかん うけとりみこみ えん
年金の1年間の受取見込額は [項番 22] 円です。

[項番 23] 歳になられた時、老 齢 基 礎 年 金 ガ ク は [項番 24] 円、共 済 制 度 に 加 入 の 場 合
は こ れ を 含 ん だ 老 齢 厚 生 年 金 は [項番 25] 円、1 年 間 の 受 取 見 込 額 は [項番 26] 円です。

最大161文字

(注) [項番 22]、[項番 24]、[項番 25]、[項番 26] の値が『*』となっている場合は、
” 0 ” (半角数字) を設定 (収録) すること。

見込額「工」

＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞

[30] 老基老厚支給開始年齢 が『スペースまたはアスタリスク』以外 の場合

【[30] のみに数値がある場合】

ろうれいねんきん みこみ つぎ とお
老齢年金の見込ガクは次の通りです。

[項番 23] さい 歳になられた時、老齢基礎年金ガクは [項番 24] えん 円、共済制度に加入の場合
はこれをふくんだろうれいこうせいねんきん 老齢厚生年金は [項番 25] えん 円、1 年間のうけとりみこみ 受取見込ガクは [項番 26] えん 円です。

最大100文字

(注) [項番 24]、[項番 25]、[項番 26] の値が『*』となっている場合は、
” 0 ” (半角数字) を設定 (収録) すること。

見込額算出不可

ろうれいねんきん みこみ きやくさま ねんきんかにゆうきかん ほけんりょう のうふ きかん ねん
老齢年金の見込ガクは、お客様の年金加入期間のうち、保険料を納付された期間が10年
にみ 満たない、あるいはほけんしゃきろく 不備があるなどの理由により、けいさん 計算することができま
せんでした。つきましては、ろうれいねんきん みこみ 老齢年金の見込ガクをかくにん 確認される場合は、ばあい 大変お手数ですが、
ちか ねんきんじむしょ ねんきんそうだん ちか ねんきんじむしょ ねんきんそうだん
お近くの年金事務所または年金相談センターにご相談ください。

152文字

〔これまでの保険料納付額〕

これまでに納付した保険料のうふ ほけんりょうは、累計るいけいで、国民年金こくみんねんきん **〔項番 27〕** 円、共済制度えん きょうさいせいどに加入かにゆうの場合はこれをばあい含んだ厚生年金保険ふく こうせいねんきんほけん **〔項番 28〕** 円、合計えん ごうけい **〔項番 29〕** 円となります。

最大86文字

〔案内文2〕

この年金定期便ねんきんていきびんの内容ないように関するお問い合わせは、専用番号せんようばんごうへお電話でんわください。

電話番号でんわばんごうは、0570-058-555です。

お客様きやくさまの電話番号でんわばんごうが050から始まる場合は、東京はじ 03-6700-1144へおかけください。お問い合わせの際は、次の12ケタの照会番号しょうかいばんごうをお知らせください。お客様の照会番号しょうかいばんごうは、**〔項番 30〕** 番です。

また、お近くちかの年金事務所ねんきんじむしょにお越しいただければ、書類しょうりの読み上げや、記入よの代筆あなどの支援きにゆうを致だいひつします。

205文字

合計文字数（見込額「ア」の場合）	最大947文字
合計文字数（見込額「イ」の場合）	最大886文字
合計文字数（見込額「ウ」の場合）	最大825文字
合計文字数（見込額「エ」の場合）	最大764文字
合計文字数（見込額算出不可の場合）	最大816文字

音声コード仕様書(50歳以上者用)

(令和8年4月～9月発送分)

※本音声コード仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	表示形式	仕様
1	ハガキ 50以上	生年元号	XX	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [54]生年元号 を参照し、音声コードを作成する。
2	ハガキ 50以上	生年	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [55]生年 を参照し、音声コードを作成する。 ※[55]生年が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す) ※[55]生年が「△1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。(△はスペースを表す)
3	ハガキ 50以上	生年月	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [56]生年月 を参照し、音声コードを作成する。 ※[56]生年月が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
4	ハガキ 50以上	生年日	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [57]生年日 を参照し、音声コードを作成する。 ※[57]生年日が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
5	ハガキ 50以上	抽出年元号	XX	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [26]抽出年元号 を参照し、音声コードを作成する。
6	ハガキ 50以上	抽出年	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [27]抽出年 を参照し、音声コードを作成する。 ※[27]抽出年が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す) ※[27]抽出年が「△1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。(△はスペースを表す)
7	ハガキ 50以上	抽出月	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [28]抽出月 を参照し、音声コードを作成する。 ※[28]抽出月が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
8	ハガキ 50以上	抽出日	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [29]抽出日 を参照し、音声コードを作成する。 ※[29]抽出日が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
9	ハガキ 50以上	第1号被保険者 (未納期間除く)	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64]第1号被保険者加入月数(未納除く) を参照し、音声コードを作成する。
10	ハガキ 50以上	第3号被保険者	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [84]第3号被保険者加入月数 を参照し、音声コードを作成する。
11	ハガキ 50以上	国民年金計 (未納期間除く)	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞[84]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 ＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞[84]第3号被保険者加入月数、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で印字すること。
12	ハガキ 50以上	厚生年金保険 (共済期間を含む)	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[131]厚年期間(第2・3号)、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[135]厚年期間(第4号)、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で印字すること。
13	ハガキ 50以上	船員保険	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [81]船保期間 を参照し、音声コードを作成する。
14	ハガキ 50以上	年金加入期間合計 (未納期間除く)	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [62]年金加入期間総合計2 を参照し、音声コードを作成する。
15	ハガキ 50以上	合算対象期間	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [87]合算対象期間 を参照し、音声コードを作成する。
16	ハガキ 50以上	受給資格期間	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2、 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[87]合算対象期間、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で印字すること。
17	ハガキ 50以上	＜支給開始年齢＞ 特例支給① 開始時	XX	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞ [27]特例支給(報酬比例部分)開始年齢1 の年齢を参照し、音声コードを作成する。
18	ハガキ 50以上	＜見込額計＞ 特例支給① 老齢厚生年金 (共済記録を含む)	ZZZZZZ9	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部＞ [41]特例支給(報酬比例部分)開始時1 の金額を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
19	ハガキ 50以上	＜支給開始年齢＞ 特例支給② 開始時	XX	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞ [28]特例支給(報酬比例部分)開始年齢2 の年齢を参照し、音声コードを作成する。

音声コード仕様書(50歳以上者用)
(令和8年4月～9月発送分)

※本音声コード仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	表示形式	仕様
20	ハガキ 50以上	＜見込額計＞ 特例支給② 老齢厚生年金 (共済記録を含む)	ZZZZZZ9	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部＞ [42]特例支給(報酬比例部分)開始時2 の金額を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
21	ハガキ 50以上	＜支給開始年齢＞ 特例支給③ 開始時	XX	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞ [29]特例支給(定額部分)開始年齢 を参照し、音声コードを作成する。
22	ハガキ 50以上	＜見込額計＞ 特例支給③ 老齢厚生年金 (共済記録を含む)	ZZZZZZ9	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部＞ [43]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
23	ハガキ 50以上	＜支給開始年齢＞ 老基老厚支給開始時	XX	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞ [30]老基老厚支給開始年齢 を参照し、音声コードを作成する。
24	ハガキ 50以上	＜見込額計＞ 老齢基礎年金	ZZZZZZ9	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部＞ [31]基礎年金見込額 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
25	ハガキ 50以上	＜見込額計＞ 老齢厚生年金 老基老厚支給開始時 (共済記録を含む)	ZZZZZZ9	以下の項番を参照し、合計金額を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／報酬比例見込額＞[36]老基老厚支給開始時、 ＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／[39]経過的加算部分見込額、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／報酬比例見込額＞[60]老基老厚支給開始時、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額＞[70]経過的加算部分見込額、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／旧職域加算見込額＞ [65]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／報酬比例見込額＞[76]老基老厚支給開始時、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額＞[86]経過的加算部分見込額、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／旧職域加算見込額＞、 [81]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)、 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いて合計金額を算出し、 そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
26	ハガキ 50以上	＜見込額計＞ 老齢基礎年金 老齢厚生年金 (共済記録を含む)	ZZZZZZ9	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部＞ [44]老基老厚合計見込額 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
27	ハガキ 50以上	国民年金 (第1号被保険者期間 の保険料納付額)	ZZZZZZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞[91]保険料納付額(国年) を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いた“ZZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12,345”⇒“12345”
28	ハガキ 50以上	厚生年金被保険者期間の 保険料納付額 (共済期間を含む)	ZZZZZZZ9	以下の項番を参照し、合計金額を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／保険料納付額情報＞[92]保険料納付額(厚船)、 ＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[138]保険料納付額(2・3号)、 ＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[139]保険料納付額(4号)、 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いて合計金額を算出し、“ZZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12,345”⇒“12345”
29	ハガキ 50以上	これまでの保険料納付額 【国民年金・厚生年金合計】	ZZZZZZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞ [89]保険料納付額合計(国年＋厚船＋2・3号＋4号)1 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いた“ZZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12,345”⇒“12345”
30	ハガキ 50以上	照会番号		＜基本レコード／基本情報部＞ [52]照会番号 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値は“XXXXXXXXXX”であるが、照会番号については、音声コードの仕様に基づき区切り文字(空白を除く)を入れ、数字を1文字ずつ読み上げるように作成すること。

音声コード仕様書(50歳以上者用) (令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本音声コード仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	表示形式	仕様
1	ハガキ 50以上	生年元号	XX	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [54]生年元号 を参照し、音声コードを作成する。
2	ハガキ 50以上	生年	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [55]生年 を参照し、音声コードを作成する。 ※[55]生年が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す) ※[55]生年が「△1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。(△はスペースを表す)
3	ハガキ 50以上	生年月	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [56]生年月 を参照し、音声コードを作成する。 ※[56]生年月が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
4	ハガキ 50以上	生年日	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [57]生年日 を参照し、音声コードを作成する。 ※[57]生年日が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
5	ハガキ 50以上	抽出年元号	XX	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [26]抽出年元号 を参照し、音声コードを作成する。
6	ハガキ 50以上	抽出年	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [27]抽出年 を参照し、音声コードを作成する。 ※[27]抽出年が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す) ※[27]抽出年が「△1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。(△はスペースを表す)
7	ハガキ 50以上	抽出月	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [28]抽出月 を参照し、音声コードを作成する。 ※[28]抽出月が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
8	ハガキ 50以上	抽出日	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [29]抽出日 を参照し、音声コードを作成する。 ※[29]抽出日が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
9	ハガキ 50以上	第1号被保険者 (未納期間除く)	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64]第1号被保険者加入月数(未納除く) を参照し、音声コードを作成する。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
10	ハガキ 50以上	第3号被保険者	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [84]第3号被保険者加入月数 を参照し、音声コードを作成する。
11	ハガキ 50以上	国民年金計 (未納期間除く)	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞[64]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 ＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞[84]第3号被保険者加入月数、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で印字すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
12	ハガキ 50以上	厚生年金保険 (共済期間を含む)	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[131]厚年期間(第2・3号)、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[135]厚年期間(第4号)、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で印字すること。
13	ハガキ 50以上	船員保険	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [81]船保期間 を参照し、音声コードを作成する。
14	ハガキ 50以上	年金加入期間合計 (未納期間除く)	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [62]年金加入期間総合計2 を参照し、音声コードを作成する。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
15	ハガキ 50以上	合算対象期間	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [87]合算対象期間 を参照し、音声コードを作成する。
16	ハガキ 50以上	受給資格期間	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2、 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[87]合算対象期間、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で印字すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
17	ハガキ 50以上	＜支給開始年齢＞ 特例支給① 開始時	XX	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞ [27]特例支給(報酬比例部分)開始年齢1 の年齢を参照し、音声コードを作成する。
18	ハガキ 50以上	＜見込額計＞ 特例支給① 老齢厚生年金 (共済記録を含む)	ZZZZZZ9	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部＞ [41]特例支給(報酬比例部分)開始時1 の金額を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZZZZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
19	ハガキ 50以上	＜支給開始年齢＞ 特例支給② 開始時	XX	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞ [28]特例支給(報酬比例部分)開始年齢2 の年齢を参照し、音声コードを作成する。

音声コード仕様書(50歳以上者用)

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本音声コード仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	表示形式	仕様
20	ハガキ 50以上	＜見込額計＞ 特例支給② 老齢厚生年金 (共済記録を含む)	ZZZZZZ9	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部＞ [42]特例支給(報酬比例部分)開始時2 の金額を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
21	ハガキ 50以上	＜支給開始年齢＞ 特例支給③ 開始時	XX	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞ [29]特例支給(定額部分)開始年齢 を参照し、音声コードを作成する。
22	ハガキ 50以上	＜見込額計＞ 特例支給③ 老齢厚生年金 (共済記録を含む)	ZZZZZZ9	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部＞ [43]特例支給(定額部分)開始時 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
23	ハガキ 50以上	＜支給開始年齢＞ 老老老厚支給開始時	XX	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢＞ [30]老老老厚支給開始年齢 を参照し、音声コードを作成する。
24	ハガキ 50以上	＜見込額計＞ 老齢基礎年金	ZZZZZZ9	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部＞ [31]基礎年金見込額 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
25	ハガキ 50以上	＜見込額計＞ 老齢厚生年金 老老老厚支給開始時 (共済記録を含む)	ZZZZZZ9	以下の項番を参照し、合計金額を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／報酬比例見込額＞[36]老老老厚支給開始時、 ＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／[39]経過的加算部分見込額、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／報酬比例見込額＞[60]老老老厚支給開始時、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額＞[70]経過的加算部分見込額、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／旧職域加算見込額＞ [65]旧職域加算見込額(老老老厚支給開始時)、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／報酬比例見込額＞[76]老老老厚支給開始時、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額＞[86]経過的加算部分見込額、 ＜詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／旧職域加算見込額＞、 [81]旧職域加算見込額(老老老厚支給開始時)、 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いて合計金額を算出し、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
26	ハガキ 50以上	＜見込額計＞ 老齢基礎年金 老齢厚生年金 (共済記録を含む)	ZZZZZZ9	＜詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部＞ [44]老老老厚合計見込額 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除き、そのうえで実在する見込額が最大7桁であることから、“ZZZZZZ9”の形式で表示すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△1,234,567”⇒“1234567”
27	ハガキ 50以上	国民年金 (第1号被保険者期間 の保険料納付額)	ZZZZZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞[91]保険料納付額(国年) を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いた“ZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12,345”⇒“12345”
28	ハガキ 50以上	厚生年金被保険者期間の 保険料納付額 (共済期間を含む)	ZZZZZZ9	以下の項番を参照し、合計金額を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／保険料納付額情報＞[92]保険料納付額(厚船)、 ＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[138]保険料納付額(2・3号)、 ＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[139]保険料納付額(4号)、 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いて合計金額を算出し、“ZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12,345”⇒“12345”
29	ハガキ 50以上	これまでの保険料納付額 【国民年金・厚生年金合計】	ZZZZZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞ [89]保険料納付額合計(国年+厚船+2・3号+4号)1 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いた“ZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12,345”⇒“12345”
30	ハガキ 50以上	照会番号		＜基本レコード／基本情報部＞ [52]照会番号 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値は“XXXXXXXXXX”であるが、照会番号については、音声コードの仕様に基づき区切り文字(空白を除く)を入れ、数字を1文字ずつ読み上げるように作成すること。

出力仕様書：直近1年間通知者／50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値 (URLエンコーディング前)		仕様																																							
			最大桁数 (半角換算)	出力形式																																								
1	ハガキ 50歳以上	50歳以上 ハガキ	1 桁	aa=X	固定値「2」とする。																																							
2	ハガキ 50歳以上	最新記録の年月 (ハガキ)	8 桁	ab=Z9年Z9月	<基本レコード／基本情報部／抽出年月日>【27】抽出年、【28】抽出月 を参照し、下記表の最新記録の年月を出力する。 <table><tr><th>抽出年月</th><th>最新記録の年月</th><th>備考</th></tr><tr><td>令和8年2月</td><td>7年12月</td><td>令和7年12月 (＝抽出年月の2か月前)</td></tr><tr><td>令和8年3月</td><td>8年1月</td><td>令和8年1月 (＝抽出年月の2か月前)</td></tr><tr><td>令和8年4月</td><td>8年2月</td><td>令和8年2月 (＝抽出年月の2か月前)</td></tr><tr><td>令和8年5月</td><td>8年3月</td><td>令和8年3月 (＝抽出年月の2か月前)</td></tr><tr><td>令和8年6月</td><td>8年4月</td><td>令和8年4月 (＝抽出年月の2か月前)</td></tr><tr><td>令和8年7月</td><td>8年5月</td><td>令和8年5月 (＝抽出年月の2か月前)</td></tr><tr><td>令和8年8月</td><td>8年6月</td><td>令和8年6月 (＝抽出年月の2か月前)</td></tr><tr><td>令和8年9月</td><td>8年7月</td><td>令和8年7月 (＝抽出年月の2か月前)</td></tr><tr><td>令和8年10月</td><td>8年8月</td><td>令和8年8月 (＝抽出年月の2か月前)</td></tr><tr><td>令和8年11月</td><td>8年9月</td><td>令和8年9月 (＝抽出年月の2か月前)</td></tr><tr><td>令和8年12月</td><td>8年10月</td><td>令和8年10月 (＝抽出年月の2か月前)</td></tr><tr><td>令和9年1月</td><td>8年11月</td><td>令和8年11月 (＝抽出年月の2か月前)</td></tr></table> ※最新記録の年月 にスペースを含めないこと。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。	抽出年月	最新記録の年月	備考	令和8年2月	7年12月	令和7年12月 (＝抽出年月の2か月前)	令和8年3月	8年1月	令和8年1月 (＝抽出年月の2か月前)	令和8年4月	8年2月	令和8年2月 (＝抽出年月の2か月前)	令和8年5月	8年3月	令和8年3月 (＝抽出年月の2か月前)	令和8年6月	8年4月	令和8年4月 (＝抽出年月の2か月前)	令和8年7月	8年5月	令和8年5月 (＝抽出年月の2か月前)	令和8年8月	8年6月	令和8年6月 (＝抽出年月の2か月前)	令和8年9月	8年7月	令和8年7月 (＝抽出年月の2か月前)	令和8年10月	8年8月	令和8年8月 (＝抽出年月の2か月前)	令和8年11月	8年9月	令和8年9月 (＝抽出年月の2か月前)	令和8年12月	8年10月	令和8年10月 (＝抽出年月の2か月前)	令和9年1月	8年11月	令和8年11月 (＝抽出年月の2か月前)
抽出年月	最新記録の年月	備考																																										
令和8年2月	7年12月	令和7年12月 (＝抽出年月の2か月前)																																										
令和8年3月	8年1月	令和8年1月 (＝抽出年月の2か月前)																																										
令和8年4月	8年2月	令和8年2月 (＝抽出年月の2か月前)																																										
令和8年5月	8年3月	令和8年3月 (＝抽出年月の2か月前)																																										
令和8年6月	8年4月	令和8年4月 (＝抽出年月の2か月前)																																										
令和8年7月	8年5月	令和8年5月 (＝抽出年月の2か月前)																																										
令和8年8月	8年6月	令和8年6月 (＝抽出年月の2か月前)																																										
令和8年9月	8年7月	令和8年7月 (＝抽出年月の2か月前)																																										
令和8年10月	8年8月	令和8年8月 (＝抽出年月の2か月前)																																										
令和8年11月	8年9月	令和8年9月 (＝抽出年月の2か月前)																																										
令和8年12月	8年10月	令和8年10月 (＝抽出年月の2か月前)																																										
令和9年1月	8年11月	令和8年11月 (＝抽出年月の2か月前)																																										
3	ハガキ 50歳以上	最新記録の年月 (封書_厚船)	—	ac=	データなしとして出力する。																																							
4	ハガキ 50歳以上	最新記録の年月 (封書_国年)	—	ad=	データなしとして出力する。																																							
5	ハガキ 50歳以上	国年納付状況	10桁	ae=XXXXXX	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> 【82】納付状況(上段) を参照し、出力する。 ※表3. 1－6において、項番【47】納付状況パターン【三号納付】 に該当する場合の編集内容【納付状況(上段)】は次の通りとすること。 3号 ※表3. 1－6において、項番【48】納付状況パターン【三号未納】 に該当する場合の編集内容【納付状況(上段)】は次の通りとすること。 3号未 ※表3. 1－6において、項番【76】納付状況パターン【学生納付特例】 に該当する場合の編集内容【納付状況(上段)】は次の通りとすること。 学特 ※表3. 1－6において、項番【78】納付状況パターン【納付猶予】 に該当する場合の編集内容【納付状況(上段)】は次の通りとすること。 猶予 ※【82】納付状況(上段) に含まれるスペースは出力しない。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。 ※該当する【82】納付状況(上段) に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ae=																																							
6	ハガキ 50歳以上	国年納付状況(付加)	4桁	af=XX	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> 【83】納付状況(下段) を参照し、出力する。 ※【83】納付状況(下段) に含まれるスペースは出力しない。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。 ※該当する【83】納付状況(下段) に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 af=																																							
7	ハガキ 50歳以上	加入区分	4桁	ag=XX	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>【78】加入制度 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、半角オールスペースでない1つめ(先頭)の【78】加入制度を出力すること。 ※【78】加入制度 に収録される項目は、「厚年」「基金」「船保」「公共」「私学」となる。 ※【78】加入制度 に含まれるスペースは出力しない。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。 ※該当する【78】加入制度 に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ag=																																							
8	ハガキ 50歳以上	標準報酬月額	8桁	ah=ZZZZZZZ9	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> 【85】標準報酬月額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>【78】加入制度が半角オールスペースでない1つめ(先頭)の【85】標準報酬月額 を出力すること。 ※【85】標準報酬月額 に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※【85】標準報酬月額 は、出力形式の通り下8桁(カンマなし)を出力すること。 ※収録年月に該当する【85】標準報酬月額 に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ah=																																							

出力仕様書：直近1年間通知者／50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値(URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
9	ハガキ 50歳以上	標準賞与額	8桁	ai1=ZZZZZZZ9 ～ ai13=ZZZZZZZ9	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況> [86]標準賞与額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>[78]加入制度 が半角オールスペースでない1つめ(先頭)の[86]標準賞与額 を出力すること。 ※収録年月の新しい順にai1～i3まで格納する。 ※[86]標準賞与額 に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※[86]標準賞与額 は、出力形式の通り下8桁(カンマなし)を出力すること。 ※収録年月に該当する[86]標準賞与額 に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月 の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ai1=& ... &ai13=
10	ハガキ 50歳以上	第1号被保険者 (国民年金)	3桁	aj=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間> [64]第1号被保険者加入月数(未納除く) を参照し、出力する。 ※[64]第1号被保険者加入月数(未納除く) に含まれるスペースは出力しない。
11	ハガキ 50歳以上	第3号被保険者 (国民年金)	3桁	ak=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間> [84]第3号被保険者加入月数 を参照し、出力する。 ※[84]第3号被保険者加入月数 に含まれるスペースは出力しない。
12	ハガキ 50歳以上	国民年金計	3桁	al=ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 <基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間> [64]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 <基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間> [84]第3号被保険者加入月数 ※合計月数に含まれるスペースは出力しない。
13	ハガキ 50歳以上	付加保険料納付済月数	3桁	am=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間> [73]付加納付月数 を参照し、出力する。 ※[73]付加納付月数 に含まれるスペースは出力しない。
14	ハガキ 50歳以上	船員保険	3桁	an=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間> [81]船保期間 を参照し、出力する。 ※[81]船保期間 に含まれるスペースは出力しない。
15	ハガキ 50歳以上	一般厚生年金	3桁	ao=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間> [78]厚年期間 を参照し、出力する。 ※[78]厚年期間 に含まれるスペースは出力しない。
16	ハガキ 50歳以上	公務員厚生年金	3桁	ap=ZZ9	<基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [131]厚年期間(第2・3号) を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。 ※[131]厚年期間(第2・3号) に含まれるスペースは出力しない。
17	ハガキ 50歳以上	私学共済厚生年金	3桁	aq=ZZ9	<基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [135]厚年期間(第4号) を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。 ※[135]厚年期間(第4号) に含まれるスペースは出力しない。
18	ハガキ 50歳以上	厚生年金保険計	3桁	ar=ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 <基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間> [78]厚年期間、 <基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間> [131]厚年期間(第2・3号)、[135]厚年期間 (第4号) ※合計月数に含まれるスペースは出力しない。 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、下3桁を出力すること。 <出力例> 厚年期間 △△5、厚年期間(第2・3号) △50、厚年期間(第4号) △10 の場合(△はスペースを表す) → 65 として出力
19	ハガキ 50歳以上	年金加入期間 合計	3桁	as=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部> [62]年金加入期間総合計2 を参照し、出力する。 ※[62]年金加入期間総合計2 に含まれるスペースは出力しない。
20	ハガキ 50歳以上	合算対象期間等	3桁	at=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部> [87]合算対象期間 を参照し、出力する。 ※[87]合算対象期間 に含まれるスペースは出力しない。
21	ハガキ 50歳以上	受給資格期間	3桁	au=ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 <基本レコード／加入月数情報部> [62]年金加入期間総合計2、[87]合算対象期間 ※合計月数に含まれるスペースは出力しない。 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、出力形式の通り下3桁を出力すること。 <出力例> 年金加入期間総合計2 △△9、合算対象期間 △10 の場合(△はスペースを表す) → 19 として出力
22	ハガキ 50歳以上	老齢基礎年金	—	av=	データなしとして出力する。
23	ハガキ 50歳以上	老齢厚生年金 (一般厚生年金期間)	—	aw=	データなしとして出力する。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値(URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
24	ハガキ 50歳以上	老齢厚生年金 (公務員厚生年金期間)	—	ax=	データなしとして出力する。
25	ハガキ 50歳以上	老齢厚生年金 (私学共済厚生年金期間)	—	ay=	データなしとして出力する。
26	ハガキ 50歳以上	<見込額 計> これまでの加入実績に 応じた老齢基礎年金＋ 老齢厚生年金額(年額)	—	az=	データなしとして出力する。
27	ハガキ 50歳以上	受給開始年齢	2桁	ba=Z9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 ba= ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 ba= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢> [30]老基老厚支給開始年齢を参照し、出力する。 ※[30]老基老厚支給開始年齢に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 ba= ※[30]老基老厚支給開始年齢に含まれるスペースは出力しない。
28	ハガキ 50歳以上	老齢基礎年金	7桁	bb=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bb= ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bb= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部>[31]基礎年金見込額を参照し、出力する。 ※[31]基礎年金見込額に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bb= ※[31]基礎年金見込額に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※[31]基礎年金見込額は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
29	ハガキ 50歳以上	一般厚生年金期間 (報酬比例部分)	7桁	bc=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、 半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bc= ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bc= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／報酬比例見込額> [36]老基老厚支給開始時を参照し、出力する。 ※[36]老基老厚支給開始時に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bc= ※[36]老基老厚支給開始時に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※[36]老基老厚支給開始時は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。

出力仕様書：直近1年間通知者／50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値(URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
30	ハガキ 50歳以上	一般厚生年金期間 (経過の加算部分)	7桁	bd=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bd= ② <詳細見込額レコード／表示部>【52】期間重複表示を参照し、「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bd= ③ 【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコード、【52】期間重複表示を参照し、【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードに半角オールスペース、【52】期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額>【39】経過の加算部分見込額を参照し、出力する。 ※【39】経過の加算部分見込額に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bd= ※【39】経過の加算部分見込額に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※【39】経過の加算部分見込額は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
31	ハガキ 50歳以上	公務員厚生年金期間 (報酬比例部分)	7桁	be=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 be= ② <詳細見込額レコード／表示部>【52】期間重複表示を参照し、「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 be= ③ 【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコード、【52】期間重複表示を参照し、【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードに半角オールスペース、【52】期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／報酬比例見込額>【60】老基老厚支給開始時を参照し、出力する。 ※【60】老基老厚支給開始時に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 be= ※【60】老基老厚支給開始時に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※【60】老基老厚支給開始時は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
32	ハガキ 50歳以上	公務員厚生年金期間 (経過の加算部分)	7桁	bf=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bf= ② <詳細見込額レコード／表示部>【52】期間重複表示を参照し、「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bf= ③ 【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコード、【52】期間重複表示を参照し、【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードに半角オールスペース、【52】期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額>【70】経過の加算部分見込額を参照し、出力する。 ※【70】経過の加算部分見込額に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bf= ※【70】経過の加算部分見込額に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※【70】経過の加算部分見込額は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
33	ハガキ 50歳以上	公務員厚生年金期間 (経過の職域加算額)	7桁	bg=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bg= ② <詳細見込額レコード／表示部>【52】期間重複表示を参照し、「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bg= ③ 【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコード、【52】期間重複表示を参照し、【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードに半角オールスペース、【52】期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／旧職域加算見込額>【65】旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)を参照し、出力する。 ※【65】旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bg= ※【65】旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※【65】旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値(URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
34	ハガキ 50歳以上	私学共済厚生年金期間 (報酬比例部分)	7桁	bh=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bh= ② <詳細見込額レコード／表示部>【52】期間重複表示を参照し、「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bh= ③ 【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコード、【52】期間重複表示を参照し、【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードに半角オールスペース、【52】期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／報酬比例見込額>【76】老基老厚支給開始時を参照し、出力する。 ※【76】老基老厚支給開始時に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bh= ※【76】老基老厚支給開始時に含まれるスペーススペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※【76】老基老厚支給開始時は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
35	ハガキ 50歳以上	私学共済厚生年金期間 (経過の加算部分)	7桁	bi=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bi= ② <詳細見込額レコード／表示部>【52】期間重複表示を参照し、「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bi= ③ 【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコード、【52】期間重複表示を参照し、【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードに半角オールスペース、【52】期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額>【86】経過の加算部分見込額を参照し、出力する。 ※【86】経過の加算部分見込額に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bi= ※【86】経過の加算部分見込額に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※【86】経過の加算部分見込額は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
36	ハガキ 50歳以上	私学共済厚生年金期間 (経過の職域加算額)	7桁	bj=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bj= ② <詳細見込額レコード／表示部>【52】期間重複表示を参照し、「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bj= ③ 【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコード、【52】期間重複表示を参照し、【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードに半角オールスペース、【52】期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／旧職域加算見込額>【81】旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)を参照し、出力する。 ※【81】旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bj= ※【81】旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※【81】旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
37	ハガキ 50歳以上	<見込額 合計> 老基老厚 開始時	7桁	bk=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bk= ② <詳細見込額レコード／表示部>【52】期間重複表示を参照し、「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bk= ③ 【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコード、【52】期間重複表示を参照し、【49】事故内容コード、【50】事故内容サブコードに半角オールスペース、【52】期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、<詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部>【44】老基老厚合計見込額を参照し、出力する。 ※【44】老基老厚合計見込額に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bk= ※【44】老基老厚合計見込額に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※【44】老基老厚合計見込額は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知 区分	項目名	パラメータ値 (URLエンコーディング前)		仕様																																							
			最大桁数 (半角換算)	出力形式																																								
1	ハガキ 50歳以上	50歳以上 ハガキ	1 桁	aa=X	固定値「2」とする。																																							
2	ハガキ 50歳以上	最新記録の年月 (ハガキ)	8 桁	ab=Z9年Z9月	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞[27]抽出年、[28]抽出月 を参照し、下記表の最新記録の年月を出力する。 <table><tr><th>抽出年月</th><th>最新記録の年月</th><th>備考</th></tr><tr><td>令和8年2月</td><td>7年12月</td><td>令和7年12月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年3月</td><td>8年1月</td><td>令和8年1月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年4月</td><td>8年2月</td><td>令和8年2月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年5月</td><td>8年3月</td><td>令和8年3月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年6月</td><td>8年4月</td><td>令和8年4月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年7月</td><td>8年5月</td><td>令和8年5月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年8月</td><td>8年6月</td><td>令和8年6月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年9月</td><td>8年7月</td><td>令和8年7月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年10月</td><td>8年8月</td><td>令和8年8月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年11月</td><td>8年9月</td><td>令和8年9月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和8年12月</td><td>8年10月</td><td>令和8年10月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr><tr><td>令和9年1月</td><td>8年11月</td><td>令和8年11月（＝抽出年月の2か月前）</td></tr></table> ※最新記録の年月 にスペースを含めないこと。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。	抽出年月	最新記録の年月	備考	令和8年2月	7年12月	令和7年12月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年3月	8年1月	令和8年1月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年4月	8年2月	令和8年2月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年5月	8年3月	令和8年3月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年6月	8年4月	令和8年4月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年7月	8年5月	令和8年5月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年8月	8年6月	令和8年6月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年9月	8年7月	令和8年7月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年10月	8年8月	令和8年8月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年11月	8年9月	令和8年9月（＝抽出年月の2か月前）	令和8年12月	8年10月	令和8年10月（＝抽出年月の2か月前）	令和9年1月	8年11月	令和8年11月（＝抽出年月の2か月前）
抽出年月	最新記録の年月	備考																																										
令和8年2月	7年12月	令和7年12月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年3月	8年1月	令和8年1月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年4月	8年2月	令和8年2月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年5月	8年3月	令和8年3月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年6月	8年4月	令和8年4月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年7月	8年5月	令和8年5月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年8月	8年6月	令和8年6月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年9月	8年7月	令和8年7月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年10月	8年8月	令和8年8月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年11月	8年9月	令和8年9月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和8年12月	8年10月	令和8年10月（＝抽出年月の2か月前）																																										
令和9年1月	8年11月	令和8年11月（＝抽出年月の2か月前）																																										
3	ハガキ 50歳以上	最新記録の年月 (封書_厚船)	—	ac=	データなしとして出力する。																																							
4	ハガキ 50歳以上	最新記録の年月 (封書_国年)	—	ad=	データなしとして出力する。																																							
5	ハガキ 50歳以上	国年納付状況	10桁	ae=XXXXXX	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況＞ [82]納付状況(上段) を参照し、出力する。 ※表3. 1－6において、項番[47]納付状況パターン[三号納付] に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 3号 ※表3. 1－6において、項番[48]納付状況パターン[三号未納] に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 3号未 ※表3. 1－6において、項番[76]納付状況パターン[学生納付特例] に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 学特 ※表3. 1－6において、項番[78]納付状況パターン[納付猶予] に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 猶予 ※表3. 1－6において、項番[104]納付状況パターン[育児] に該当する場合の[82]納付状況(上段) を参照し、出力すること。 ※表3. 1－6において、項番[105]納付状況パターン[育児] に該当する場合の[82]納付状況(上段) を参照し、出力すること。 ※[82]納付状況(上段) に含まれるスペースは出力しない。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。 ※該当する[82]納付状況(上段) に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ae=																																							
6	ハガキ 50歳以上	国年納付状況(付加)	4桁	af=XX	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況＞ [83]納付状況(下段) を参照し、出力する。 ※[83]納付状況(下段) に含まれるスペースは出力しない。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。 ※該当する[83]納付状況(下段) に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 af=																																							
7	ハガキ 50歳以上	加入区分	4桁	ag=XX	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度＞[78]加入制度 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、半角オールスペースでない1つめ(先頭)の[78]加入制度を出力すること。 ※[78]加入制度 に収録される項目は、「厚年」・「基金」・「船保」・「公共」・「私学」となる。 ※[78]加入制度 に含まれるスペースは出力しない。 ※出力の際は、URLエンコーディングすること。 ※該当する[78]加入制度 に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ag=																																							

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値 (URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
8	ハガキ 50歳以上	標準報酬月額	8桁	ah=ZZZZZZZ9	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況＞ [85]標準報酬月額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、 ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度＞[78]加入制度 が半角オールスペースでない1つめ(先頭)の[85]標準報酬月額 を出力すること。 ※[85]標準報酬月額 に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※[85]標準報酬月額 は、出力形式の通り下8桁(カンマなし)を出力すること。 ※収録年月に該当する[85]標準報酬月額 に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ah=
9	ハガキ 50歳以上	標準賞与額	8桁	ai1=ZZZZZZZ9 ～ ai13=ZZZZZZZ9	抽出年月に応じた最新記録の年月に該当する ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況＞ [86]標準賞与額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、 ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度＞[78]加入制度 が半角オールスペースでない1つめ(先頭)の[86]標準賞与額 を出力すること。 ※収録年月の新しい順にai1～13まで格納する。 ※[86]標準賞与額 に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※[86]標準賞与額 は、出力形式の通り下8桁(カンマなし)を出力すること。 ※収録年月に該当する[86]標準賞与額 に収録されているデータが半角オールスペースもしくは該当する年月の記録が存在しない場合、データなしとして出力する。 ai1=& ... &ai13=
10	ハガキ 50歳以上	第1号被保険者 (国民年金)	3桁	aj=ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64]第1号被保険者加入月数(未納除く) を参照し、出力する。 ※[64]第1号被保険者加入月数(未納除く) に含まれるスペースは出力しない。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
11	ハガキ 50歳以上	第3号被保険者 (国民年金)	3桁	ak=ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [84]第3号被保険者加入月数 を参照し、出力する。 ※[84]第3号被保険者加入月数 に含まれるスペースは出力しない。
12	ハガキ 50歳以上	国民年金計	3桁	al=ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞[64]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 ＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞[84]第3号被保険者加入月数 ※合計月数に含まれるスペースは出力しない。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
13	ハガキ 50歳以上	付加保険料納付済月数	3桁	am=ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [73]付加納付月数 を参照し、出力する。 ※[73]付加納付月数 に含まれるスペースは出力しない。
14	ハガキ 50歳以上	船員保険	3桁	an=ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [81]船保期間 を参照し、出力する。 ※[81]船保期間 に含まれるスペースは出力しない。
15	ハガキ 50歳以上	一般厚生年金	3桁	ao=ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [78]厚年期間 を参照し、出力する。 ※[78]厚年期間 に含まれるスペースは出力しない。
16	ハガキ 50歳以上	公務員厚生年金	3桁	ap=ZZ9	＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [131]厚年期間(第2・3号) を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。 ※[131]厚年期間(第2・3号) に含まれるスペースは出力しない。
17	ハガキ 50歳以上	私学共済厚生年金	3桁	aq=ZZ9	＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [135]厚年期間(第4号) を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。 ※[135]厚年期間(第4号) に含まれるスペースは出力しない。
18	ハガキ 50歳以上	厚生年金保険計	3桁	ar=ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[131]厚年期間(第2・3号)、[135]厚年期間 (第4号) ※合計月数に含まれるスペースは出力しない。 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、下3桁を出力すること。 ＜出力例＞ 厚年期間 △△5、厚年期間(第2・3号) △50、厚年期間(第4号) △10 の場合(△はスペースを表す) → 65 として出力
19	ハガキ 50歳以上	年金加入期間 合計	3桁	as=ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [62]年金加入期間総合計2 を参照し、出力する。 ※[62]年金加入期間総合計2 に含まれるスペースは出力しない。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値 (URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
20	ハガキ 50歳以上	合算対象期間等	3桁	at=ZZ9	<基本レコード／加入月数情報部> [87]合算対象期間を参照し、出力する。 ※[87]合算対象期間 に含まれるスペースは出力しない。
21	ハガキ 50歳以上	受給資格期間	3桁	au=ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 <基本レコード／加入月数情報部> [62]年金加入期間総合計2、[87]合算対象期間 ※合計月数に含まれるスペースは出力しない。 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、出力形式の通り下3桁を出力すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。 <出力例> 年金加入期間総合計2 △△9、合算対象期間 △10 の場合(△はスペースを表す) → 19 として出力
22	ハガキ 50歳以上	老齢基礎年金	—	av=	データなしとして出力する。
23	ハガキ 50歳以上	老齢厚生年金 (一般厚生年金期間)	—	aw=	データなしとして出力する。
24	ハガキ 50歳以上	老齢厚生年金 (公務員厚生年金期間)	—	ax=	データなしとして出力する。
25	ハガキ 50歳以上	老齢厚生年金 (私学共済厚生年金期間)	—	ay=	データなしとして出力する。
26	ハガキ 50歳以上	<見込額 計> これまでの加入実績に 応じた老齢基礎年金＋ 老齢厚生年金額(年額)	—	az=	データなしとして出力する。
27	ハガキ 50歳以上	受給開始年齢	2桁	ba=Z9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード> [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード を参照し、 半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 ba= ② <詳細見込額レコード／表示部> [52]期間重複表示 を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 ba= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示 を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード に半角オールスペース、 [52]期間重複表示 に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／支給開始年齢> [30]老基老厚支給開始年齢 を参照し、出力する。 ※[30]老基老厚支給開始年齢 に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 ba= ※[30]老基老厚支給開始年齢 に含まれるスペースは出力しない。
28	ハガキ 50歳以上	老齢基礎年金	7桁	bb=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード> [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード を参照し、 半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bb= ② <詳細見込額レコード／表示部> [52]期間重複表示 を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bb= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示 を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード に半角オールスペース、 [52]期間重複表示 に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部> [31]基礎年金見込額 を参照し、出力する。 ※[31]基礎年金見込額 に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bb= ※[31]基礎年金見込額 に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※[31]基礎年金見込額 は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
29	ハガキ 50歳以上	一般厚生年金期間 (報酬比例部分)	7桁	bc=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード> [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード を参照し、 半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bc= ② <詳細見込額レコード／表示部> [52]期間重複表示 を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bc= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示 を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード に半角オールスペース、 [52]期間重複表示 に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／報酬比例見込額> [36]老基老厚支給開始時 を参照し、出力する。 ※[36]老基老厚支給開始時 に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bc= ※[36]老基老厚支給開始時 に含まれるスペース及びカンマ(,)は出力しない。 ※[36]老基老厚支給開始時 は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値 (URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
30	ハガキ 50歳以上	一般厚生年金期間 (経過の加算部分)	7桁	bd=ZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bd= ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bd= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額> [39]経過の加算部分見込額を参照し、出力する。 ※[39]経過の加算部分見込額に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bd= ※[39]経過の加算部分見込額に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※[39]経過の加算部分見込額は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
31	ハガキ 50歳以上	公務員厚生年金期間 (報酬比例部分)	7桁	be=ZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 be= ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 be= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／報酬比例見込額> [60]老基老厚支給開始時を参照し、出力する。 ※[60]老基老厚支給開始時に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 be= ※[60]老基老厚支給開始時に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※[60]老基老厚支給開始時は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
32	ハガキ 50歳以上	公務員厚生年金期間 (経過の加算部分)	7桁	bf=ZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bf= ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bf= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額> [70]経過の加算部分見込額を参照し、出力する。 ※[70]経過の加算部分見込額に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bf= ※[70]経過の加算部分見込額に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※[70]経過の加算部分見込額は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
33	ハガキ 50歳以上	公務員厚生年金期間 (経過の職域加算額)	7桁	bg=ZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bg= ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bg= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(2・3号)見込額／旧職域加算見込額> [65]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)を参照し、出力する。 ※[65]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bg= ※[65]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※[65]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。

出力仕様書:直近1年間通知者／50歳以上者用 公的年金シミュレーター二次元コード
(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目名	パラメータ値 (URLエンコーディング前)		仕様
			最大桁数 (半角換算)	出力形式	
34	ハガキ 50歳以上	私学共済厚生年金期間 (報酬比例部分)	7桁	bh=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bh= ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bh= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／報酬比例見込額> [76]老基老厚支給開始時を参照し、出力する。 ※[76]老基老厚支給開始時に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bh= ※[76]老基老厚支給開始時に含まれるスペーススペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※[76]老基老厚支給開始時は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
35	ハガキ 50歳以上	私学共済厚生年金期間 (経過の加算部分)	7桁	bi=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bi= ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bi= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額> [86]経過の加算部分見込額を参照し、出力する。 ※[86]経過の加算部分見込額に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bi= ※[86]経過の加算部分見込額に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※[86]経過の加算部分見込額は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
36	ハガキ 50歳以上	私学共済厚生年金期間 (経過の職域加算額)	7桁	bj=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bj= ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bj= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／共済詳細見込額情報部／厚生年金(4号)見込額／旧職域加算見込額> [81]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)を参照し、出力する。 ※[81]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bj= ※[81]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※[81]旧職域加算見込額(老基老厚支給開始時)は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。
37	ハガキ 50歳以上	<見込額 合計> 老基老厚 開始時	7桁	bk=ZZZZZZ9	① <詳細見込額レコード／高井戸検出事故コード>[49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードを参照し、半角オールスペース以外の場合は、データなしとして出力する。 bk= ② <詳細見込額レコード／表示部>[52]期間重複表示を参照し、 「1」が表示されている場合は、データなしとして出力する。 bk= ③ [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコード、[52]期間重複表示を参照し、 [49]事故内容コード、[50]事故内容サブコードに半角オールスペース、 [52]期間重複表示に、「0」が収録されている場合は、 <詳細見込額レコード／詳細見込額情報部／厚生年金見込額／合計部> [44]老基老厚合計見込額を参照し、出力する。 ※[44]老基老厚合計見込額に全桁半角アスタリスク(*)が収録されている場合は、データなしとして出力する。 bk= ※[44]老基老厚合計見込額に含まれるスペース及びカンマ(.)は出力しない。 ※[44]老基老厚合計見込額は、実在する額が最大7桁(カンマなし)であることから、出力形式の通り下7桁(カンマなし)を出力すること。

出力位置：「ねんきん定期便」（直近１年間通知者／年金受給者用）表面（令和8年4月～9月発送分）

【別添5-3-1】

料金後納郵便

親展

12.5mm

41.5mm

12.5mm

71.5mm

項番1

項番2

項番3

項番4

項番5

項番6

令和8年度の「ねんきん定期便」です。

開封前にあて名をご確認ください。
お届け先のご住所に、現在、受取人の方がお住まいでない場合には、
お手数をおかけしますが、「誤配」、「転居した」等をハガキにご記入いただき、開封せずにそのままポストに入れてください。

日本年金機構

Japan Pension Service

〒168-8505 東京都杉並区高井戸西3丁目5番24号

お知らせは内側にあります。
矢印の方向へゆっくりはがしてご覧ください。

項番1～6及び表面の管理番号の印字範囲

照会番号

公務員共済の加入者番号

私学共済の加入者番号

項番7

項番8

項番9

老齢年金を受給しながら、国民年金および厚生年金保険に加入している皆さまにも、年金加入記録に関する情報をお知らせしています。

※年金受給額に関する情報は、「年金振込通知書」「年金額改定通知書」などにより、お知らせします。

お客様へのお知らせ

項番10

この定期便は、下記データ作成日時点の前々月までの記録をお知らせしています。
納付記録がデータに反映されるまで日数がかかることがあります。

[データ作成日]

国民年金および一般厚生年金期間

公務員厚生年金期間
(国家公務員・地方公務員)

私学共済厚生年金期間
(私立学校の教職員)

項番11

項番12

項番13

項番14

項番15

項番16

項番17

項番18

項番19

項番20

項番21

項番22

最近の月別状況です

下記の月別状況や裏面の年金加入期間に「もれ」や「誤り」があると思われる方は、お近くの年金事務所にお問い合わせください。

年月 (和暦)	国民年金 (第1号・第3号) 納付状況	厚生年金保険			
		加入区分	標準報酬月額 (千円)	標準賞与額 (千円)	保険料 納付額
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29

※国民年金保険料納付猶予等の承認を受けた期間は、追納が承認された月の前10年以内の猶予等期間に納付することで、年金額を生涯増やすことができます。

出力仕様書：直近1年間通知者／年金受給者用 表面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
1	ハガキ 受給者 表面	郵便番号	8 × 1	XXX-XXXX	① <基本レコード／共通部>[7]郵便番号を参照し、出力する。 ※郵便番号を7桁にて出力する(XXX-XXXX) ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。 ② [7]郵便番号に「999-9999」が収録されている場合、オールスペースとして出力する。
2	ハガキ 受給者 表面	住所	3 行	XXXXXXXXXX~XX XXXXXXXXXX~XX XXXXXXXXXX~XX	① 以下の項番を参照し、出力する。 ＜基本レコード／基本情報部／住所情報1行目>[34]住所1行目、 ＜基本レコード／基本情報部／住所情報2行目>[38]住所2行目、 ＜基本レコード／基本情報部／住所情報3行目>[42]住所3行目、 ※住所は3行にて出力する。 ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。 ② <基本レコード／共通部>[7]郵便番号に「999-9999」が収録されている場合、 オールスペースとして出力する。
3	ハガキ 受給者 表面	氏名	1行	XXXX~XXXX△様	＜基本レコード／基本情報部／氏名情報>[45]氏名印字桁数、[46]氏名、[47]様の各項目を参照し、出力する。 ※[47]様の前に“△”を付加して印字する。(△はスペースを表す) ※[45]氏名印字桁数によって、[46]氏名、“△”、[47]様を、バランスを考慮した上で下記に示すポイント数以上で印刷する。(△はスペースを表す) ・[45]氏名印字桁数が22以下の場合、16ポイント以上 ・[45]氏名印字桁数が23以上30文字以下の場合、12ポイント以上 ・[45]氏名印字桁数が31文字以上の場合、8ポイント以上
4	ハガキ 受給者 表面	カスタマーバーコード	1行		【別添4】「カスタマーバーコードの付与について」を参照し、 カスタマーバーコード付与の判定、カスタマーバーコードの生成・印字を行うこと。
5	ハガキ 受給者 表面	共済組合員情報	12 * 1行	XXX-XXXXXXXX	＜基本レコード／基本情報部>[50]共済組合員情報を参照し、出力する。 ※共済組合員情報を設定、編集する。 XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXX ※2つめのハイフン以降は出力しない。出力例 XXX-XXXXXXXX ※最大先頭から12桁を出力する。 ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。
6	ハガキ 受給者 表面	二次元コード	29 * 1行		以下の項番を参照し、「合計29桁の数字列」を二次元コードに変換、出力する。 ＜基本レコード／QRコード情報> [109]識別区分、[110]郵便物区分コード、[111]照会番号、[112]作成年月日、 ※＜二次元コードの仕様> QRコード モデル2、バージョン：1、誤り訂正：レベル「M」、モード：数字、 サイズ：1辺が10mm±2mm(クワイエットゾーンを除く)、 余白：二次元コードの各辺から2mm以上もしくは5セル分のいずれか大きい方を余白として確保すること。 スマートフォン、フィーチャーフォン等のデバイスでの読み取りに対応すること。 ※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
7	ハガキ 受給者 表面	照会番号	12 * 1行	XXX XXX XXX XXX	＜基本レコード／基本情報部>[52]照会番号を参照し、出力する。 ※照会番号は3桁ごとにスペースを入れ、以下のとおり印字すること。 XXX XXX XXX XXX ※枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
8	ハガキ 受給者 表面	公務員共済の 加入者番号	15 * 1行	X ~ XXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／共済基本情報部／通知番号情報>[125]第2・3号加入者番号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合、「*****」を出力する。 ※加入者番号は、「1桁」～「15桁」まで存在するが、いずれの桁数の場合も 枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
9	ハガキ 受給者 表面	私学共済の 加入者番号	15 * 1行	X ~ XXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／共済基本情報部／通知番号情報>[126]第4号加入者番号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合、「*****」を出力する。 ※加入者番号は、「1桁」～「15桁」まで存在するが、いずれの桁数の場合も 枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
10	ハガキ 受給者 表面	お知らせ	X行	XXX~XXX	【別添1】「お知らせ」欄に印字する文言の条件・内容について(直近1年間通知者用)を参照し、 指定された固定文言を出力する。
11	ハガキ 受給者 表面	作成年月日「年元号」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	XX	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日>[38]抽出年元号を参照し、出力する。
12	ハガキ 受給者 表面	作成年月日「年」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9年	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日>[39]抽出年、[40]年を参照し、出力する。 ※[39]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。
13	ハガキ 受給者 表面	作成年月日「月」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9月	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日>[41]抽出月、[42]月を参照し、出力する。
14	ハガキ 受給者 表面	作成年月日「日」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9日	＜直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日>[43]抽出日、[44]日を参照し、出力する。

出力仕様書：直近1年間通知者／年金受給者用 表面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
15	ハガキ受給者表面	作成年月日「年元号」 (公務員厚年期間)	1行	XX	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合は、「*****」を出力する。
16	ハガキ受給者表面	作成年月日「年」 (公務員厚年期間)	1行	Z9年	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[116]抽出年を参照し、出力する。 ※[116]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※[116]抽出年の後に「年」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
17	ハガキ受給者表面	作成年月日「月」 (公務員厚年期間)	1行	Z9月	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[117]抽出月を参照し、出力する。 ※[117]抽出月の後に「月」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
18	ハガキ受給者表面	作成年月日「日」 (公務員厚年期間)	1行	Z9日	＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[118]抽出日を参照し、出力する。 ※[118]抽出日の後に「日」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日＞[115]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
19	ハガキ受給者表面	作成年月日「年元号」 (私学共済厚年期間)	1行	XX	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合は、「*****」を出力する。
20	ハガキ受給者表面	作成年月日「年」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9年	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[121]抽出年を参照し、出力する。 ※[121]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※[121]抽出年の後に「年」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
21	ハガキ受給者表面	作成年月日「月」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9月	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[122]抽出月を参照し、出力する。 ※[122]抽出月の後に「月」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
22	ハガキ受給者表面	作成年月日「日」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9日	＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[123]抽出日を参照し、出力する。 ※[123]抽出日の後に「日」を付加して出力すること。 ※＜基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日＞[120]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
23	ハガキ受給者表面	対象年月	1行	Z9年Z9月	以下の項番を参照し、対象年月を出力する。 ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／年月＞ [73]対象年、[74]年、[75]対象月、[76]月を参照し、出力する。 ※[73]対象年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※同一年月の記録は、 ＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度＞[78]加入制度に設定されている、「厚年」・「基金」・「船保」・「公共」・「私学」より各1記録ずつ収録される可能性があり、最大5記録収録される。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されるが、出力する「対象年月」は常に先頭の1つとする。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。
24	ハガキ受給者表面	国民年金納付状況	1行	XXXXX	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況＞ [82]納付状況(上段)を参照し、出力する。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※表3. 1-6において、項番[47]納付状況パターン[三号納付]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△3号△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[48]納付状況パターン[三号未納]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △3号未△(△は全角スペース) ※表3. 1-6において、項番[76]納付状況パターン[学生納付特例]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△学特△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[78]納付状況パターン[納付猶予]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△猶予△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[102]納付状況パターン[産前産後]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △産前産後△(△は半角スペース) ※＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況＞ [83]納付状況(下段)が[付加]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △納付済／(△は全角スペース) 産前産後／ ※出力仕様書・「項番24」と「項番25」は、合わせて文字が 「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※出力仕様書・「項番24」単独となる場合も、文字が「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。
25	ハガキ受給者表面	国民年金納付状況 (付加)	1行	XX	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況＞ [83]納付状況(下段)を参照し、出力する。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※出力仕様書・「項番24」と「項番25」は、合わせて文字が 「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。

出力仕様書：直近1年間通知者／年金受給者用 表面
(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
26	ハガキ 受給者 表面	加入区分	1行	XX	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度＞ [78]加入制度 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※ [78]加入制度 に収録される項目は、「厚年」・「基金」・「船保」・「公共」・「私学」となる。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。
27	ハガキ 受給者 表面	標準報酬月額	3 * 1行	ZZ9	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況＞ [85]標準報酬月額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ.ZZZ.ZZ9”であるが、末尾4桁(カンマを含む)・先頭3桁(カンマを含む)は出力せず、印字形式のとおり出力すること。(標準報酬月額の上限は650千円)
28	ハガキ 受給者 表面	標準賞与額	5 * 1行	Z.ZZ9	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況＞ [86]標準賞与額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ.ZZZ.ZZ9”であるが、末尾4桁(カンマを含む)・先頭1桁は出力せず、印字形式のとおり出力すること。(標準賞与額の上限は1,500千円)
29	ハガキ 受給者 表面	保険料納付額	7 * 1行	ZZZ.ZZ9	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況＞ [87]納付額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ.ZZZ.ZZ9”であるが、実在する保険料納付額が最大7桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力位置：「ねんきん定期便」（直近１年間通知者／年金受給者用）表面（令和8年10月～令和9年3月発送分）

【別添5-3-1-1】

料 金 後 納
郵 便

親 展

項番1

項番2

項番3

項番4

項番5

項番6

令和8年度の「ねんきん定期便」です。

令和8年10月より
帳票レイアウト変更
予定

〒168-8505 東京都杉並区高井戸西3丁目5番24号

お知らせは内側にあります。
矢印の方向へゆっくりはがしてご覧ください。

項番1～6及び表面の管理番号の印字範囲

照 会 番 号

公務員共済の加入者番号

私学共済の加入者番号

項番7

項番8

項番9

老齢年金を受給しながら、国民年金および厚生年金保険に加入している皆さまにも、年金加入記録に関する情報をお知らせしています。

※年金受給額に関する情報は、「年金振込通知書」「年金額改定通知書」などにより、お知らせします。

お 客 様 へ の お 知 ら せ

項番10

この定期便は、下記データ作成日時点の前々月までの記録をお知らせしています。

納付記録がデータに反映されるまで日数がかかることがあります。

[データ作成日]

国民年金および 一般厚生年金期間	公務員厚生年金期間 (国家公務員・地方公務員)	私学共済厚生年金期間 (私立学校の教職員)
項番11 項番12 項番13 項番14	項番15 項番16 項番17 項番18	項番19 項番20 項番21 項番22

最近の月別状況です

下記の月別状況や裏面の年金加入期間に「もれ」や「誤り」があると思われる方は、お近くの年金事務所にお問い合わせください。

年月 (和暦)	国民年金 (第1号・第3号) 納付状況	厚生年金保険			
		加入区分	標準報酬月額 (千円)	標準賞与額 (千円)	保険料 納付額
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29
項番23	項番24 項番25	項番26	項番27	項番28	項番29

※国民年金保険料納付猶予等の承認を受けた期間は、追納が承認された月の前10年以内の猶予等期間に納付することで、年金額を生涯増やすことができます。

出力仕様書：直近1年間通知者／年金受給者用 表面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
1	ハガキ 受給者 表面	郵便番号	8 × 1	XXX-XXXX	① <基本レコード／共通部>[7]郵便番号を参照し、出力する。 ※郵便番号を7桁にて出力する(XXX-XXXX) ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。 ② [7]郵便番号に「999-9999」が収録されている場合、オールスペースとして出力する。
2	ハガキ 受給者 表面	住所	3 行	XXXXXXXXXX~XX XXXXXXXXXX~XX XXXXXXXXXX~XX	① 以下の項番を参照し、出力する。 <基本レコード／基本情報部／住所情報1行目>[34]住所1行目、 <基本レコード／基本情報部／住所情報2行目>[38]住所2行目、 <基本レコード／基本情報部／住所情報3行目>[42]住所3行目、 ※住所は3行にて出力する。 ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。 ② <基本レコード／共通部>[7]郵便番号に「999-9999」が収録されている場合、 オールスペースとして出力する。
3	ハガキ 受給者 表面	氏名	1行	XXXX~XXXX△様	<基本レコード／基本情報部／氏名情報>[45]氏名印字桁数、[46]氏名、[47]様の各項目を参照し、出力する。 ※[47]様の前に“△”を付加して印字する。(△はスペースを表す) ※[45]氏名印字桁数によって、[46]氏名、“△”、[47]様を、バランスを考慮した上で下記に示すポイント数以上で印刷する。(△はスペースを表す) ・[45]氏名印字桁数が22以下の場合、16ポイント以上 ・[45]氏名印字桁数が23以上30文字以下の場合、12ポイント以上 ・[45]氏名印字桁数が31文字以上の場合、8ポイント以上
4	ハガキ 受給者 表面	カスタマーバーコード	1行		【別添4】「カスタマーバーコードの付与について」を参照し、 カスタマーバーコード付与の判定、カスタマーバーコードの生成・印字を行うこと。
5	ハガキ 受給者 表面	共済組合員情報	12 * 1行	XXX-XXXXXXXX	<基本レコード／基本情報部>[50]共済組合員情報を参照し、出力する。 ※共済組合員情報を設定、編集する。 XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXX ※2つめのハイフン以降は出力しない。出力例 XXX-XXXXXXXX ※最大先頭から12桁を出力する。 ※収録されているスペースはそのままスペースとして出力する。
6	ハガキ 受給者 表面	二次元コード	29 * 1行		以下の項番を参照し、「合計29桁の数字列」を二次元コードに変換、出力する。 <基本レコード／QRコード情報> [109]識別区分、[110]郵便物区分コード、[111]照会番号、[112]作成年月日、 ※<二次元コードの仕様> QRコード モデル2、バージョン：1、誤り訂正：レベル「M」、モード：数字、 サイズ：1辺が10mm±2mm(クワイエットゾーンを除く)、 余白：二次元コードの各辺から2mm以上もしくは5セル分のいずれか大きい方を余白として確保すること。 スマートフォン、フィーチャーフォン等のデバイスでの読み取りに対応すること。 ※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
7	ハガキ 受給者 表面	照会番号	12 * 1行	XXX XXX XXX XXX	<基本レコード／基本情報部>[52]照会番号を参照し、出力する。 ※照会番号は3桁ごとにスペースを入れ、以下のとおり印字すること。 XXX XXX XXX XXX ※枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
8	ハガキ 受給者 表面	公務員共済の 加入者番号	15 * 1行	X ~ XXXXXXXXXXXXXXXX	<基本レコード／共済基本情報部／通知番号情報>[125]第2・3号加入者番号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合、「*****」を出力する。 ※加入者番号は、「1桁」～「15桁」まで存在するが、いずれの桁数の場合も 枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
9	ハガキ 受給者 表面	私学共済の 加入者番号	15 * 1行	X ~ XXXXXXXXXXXXXXXX	<基本レコード／共済基本情報部／通知番号情報>[126]第4号加入者番号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合、「*****」を出力する。 ※加入者番号は、「1桁」～「15桁」まで存在するが、いずれの桁数の場合も 枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上ずつ余白が出るように出力すること。
10	ハガキ 受給者 表面	お知らせ	X行	XXX~XXX	【別添1】「お知らせ」欄に印字する文言の条件・内容について(直近1年間通知者用)を参照し、 指定された固定文言を出力する。
11	ハガキ 受給者 表面	作成年月日「年元号」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	XX	<直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日>[38]抽出年元号を参照し、出力する。
12	ハガキ 受給者 表面	作成年月日「年」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9年	<直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日>[39]抽出年、[40]年を参照し、出力する。 ※[39]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。
13	ハガキ 受給者 表面	作成年月日「月」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9月	<直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日>[41]抽出月、[42]月を参照し、出力する。
14	ハガキ 受給者 表面	作成年月日「日」 (国年、一般厚年期間、 船員保険)	1行	Z9日	<直近1年月別状況レコード／通知対象期間情報部／抽出年月日>[43]抽出日、[44]日を参照し、出力する。

出力仕様書：直近1年間通知者／年金受給者用 表面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
15	ハガキ受給者表面	作成年月日「年元号」 (公務員厚年期間)	1行	XX	<基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日>[115]抽出年元号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合は、「*****」を出力する。
16	ハガキ受給者表面	作成年月日「年」 (公務員厚年期間)	1行	Z9年	<基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日>[116]抽出年を参照し、出力する。 ※[116]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※[116]抽出年の後に「年」を付加して出力すること。 <基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日>[115]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
17	ハガキ受給者表面	作成年月日「月」 (公務員厚年期間)	1行	Z9月	<基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日>[117]抽出月を参照し、出力する。 ※[117]抽出月の後に「月」を付加して出力すること。 <基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日>[115]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
18	ハガキ受給者表面	作成年月日「日」 (公務員厚年期間)	1行	Z9日	<基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日>[118]抽出日を参照し、出力する。 ※[118]抽出日の後に「日」を付加して出力すること。 <基本レコード／共済基本情報部／第2・3号厚年情報抽出年月日>[115]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
19	ハガキ受給者表面	作成年月日「年元号」 (私学共済厚年期間)	1行	XX	<基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日>[120]抽出年元号を参照し、出力する。 ※収録値がスペースの場合は、「*****」を出力する。
20	ハガキ受給者表面	作成年月日「年」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9年	<基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日>[121]抽出年を参照し、出力する。 ※[121]抽出年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※[121]抽出年の後に「年」を付加して出力すること。 <基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日>[120]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
21	ハガキ受給者表面	作成年月日「月」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9月	<基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日>[122]抽出月を参照し、出力する。 ※[122]抽出月の後に「月」を付加して出力すること。 <基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日>[120]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
22	ハガキ受給者表面	作成年月日「日」 (私学共済厚年期間)	1行	Z9日	<基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日>[123]抽出日を参照し、出力する。 ※[123]抽出日の後に「日」を付加して出力すること。 <基本レコード／共済基本情報部／第4号厚年情報抽出年月日>[120]抽出年元号を参照し、収録値がスペースの場合は、本項目を出力しない。
23	ハガキ受給者表面	対象年月	1行	Z9年Z9月	以下の項番を参照し、対象年月を出力する。 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／年月> [73]対象年、[74]年、[75]対象月、[76]月を参照し、出力する。 ※[73]対象年について、「1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。 ※同一年月の記録は、 <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度>[78]加入制度に設定されている、「厚年」「基金」「船保」「公共」「私学」より各1記録ずつ収録される可能性があり、最大5記録収録される。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されるが、出力する「対象年月」は常に先頭の1つとする。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。
24	ハガキ受給者表面	国民年金納付状況	1行	XXXXX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [82]納付状況(上段)を参照し、出力する。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※表3. 1-6において、項番[47]納付状況パターン[三号納付]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△3号△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[48]納付状況パターン[三号未納]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △3号未△(△は全角スペース) ※表3. 1-6において、項番[76]納付状況パターン[学生納付特例]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△学特△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[78]納付状況パターン[納付猶予]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△猶予△△△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[102]納付状況パターン[産前産後]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △産前産後△(△は半角スペース) ※表3. 1-6において、項番[104]納付状況パターン[育児]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △△△育児△△△(△は半角スペース) <直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [83]納付状況(下段)が[付加]に該当する場合の編集内容[納付状況(上段)]は次の通りとすること。 △納付済／(△は全角スペース) 産前産後／ △育児／(△は全角スペース) ※出力仕様書・「項番24」と「項番25」は、合わせて文字が「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。 ※出力仕様書・「項番24」単独となる場合も、文字が「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。
25	ハガキ受給者表面	国民年金納付状況 (付加)	1行	XX	<直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／国年納付状況> [83]納付状況(下段)を参照し、出力する。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※出力仕様書・「項番24」と「項番25」は、合わせて文字が「国民年金納付状況」欄の枠の上下左右に中央となるよう、出力すること。

出力仕様書：直近1年間通知者／年金受給者用 表面
(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
26	ハガキ 受給者 表面	加入区分	1行	XX	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／加入制度＞ [78]加入制度 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※ [78]加入制度 に収録される項目は、「厚年」・「基金」・「船保」・「公共」・「私学」となる。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。
27	ハガキ 受給者 表面	標準報酬月額	3 * 1行	ZZ9	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況＞ [85]標準報酬月額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ.ZZZ.ZZ9”であるが、末尾4桁(カンマを含む)・先頭3桁(カンマを含む)は出力せず、印字形式のとおり出力すること。(標準報酬月額の上限は650千円)
28	ハガキ 受給者 表面	標準賞与額	5 * 1行	Z.ZZ9	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況＞ [86]標準賞与額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ.ZZZ.ZZ9”であるが、末尾4桁(カンマを含む)・先頭1桁は出力せず、印字形式のとおり出力すること。(標準賞与額の上限は1,500千円)
29	ハガキ 受給者 表面	保険料納付額	7 * 1行	ZZZ.ZZ9	＜直近1年月別状況レコード／直近1年月別情報部／納付状況等／厚船納付状況＞ [87]納付額 を参照し、出力する。 ※同一年月の記録は最大5記録収録されているが、1つめ(先頭)の記録のみ出力すること。 ※スペースはそのままスペースとして出力する。 ※収録されている設定値は“ZZ.ZZZ.ZZ9”であるが、実在する保険料納付額が最大7桁(カンマを含む)であることから、印字形式のとおり印字すること。

出力位置：「ねんきん定期便」（直近 1 年間通知者／年金受給者用）裏面（令和8年4月～9月発送分）

【別添5-3-3】

「ねんきん定期便」記載内容についてのお知らせ

○厚生年金保険料は、被保険者と事業主が折半して負担することとされており、被保険者であった時の賃金や期間に応じて年金額が計算されます。「ねんきん定期便」ではご本人の納付実績として被保険者負担分の保険料納付額を記載しており、お手持ちの給与明細等に記載されている保険料額で確認ができます。

○各項目に関する見方の詳細は、日本年金機構のホームページでご案内しています。

ねんきん定期便 見方

検索

(<https://www.nenkin.go.jp/service/nenkinkiroku/torikumi/teikibin/teikibin.html>)

「ねんきんネット」をご利用しませんか？

○「ねんきんネット」は、スマートフォンやPCからご自身の年金記録や電子版「ねんきん定期便」・「年金の支払いに関する通知書」の確認、働きながら年金を受け取る場合の年金見込額の試算、持ち主不明の年金記録の検索（亡くなられた方の年金記録を含む）などができるサービスです。

○マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナポータルから簡単に利用登録ができます。また、お持ちでない方も、基礎年金番号と右記の「お客様のアクセスキー」を使用して日本年金機構ホームページから利用登録ができます。

○「ねんきん定期便」は「ねんきんネット」からペーパーレス化の登録ができます。環境への配慮に、ぜひご協力をお願いします。

スマートフォンでのご利用登録はこちら➡

(https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do)

二次元コード
項番18

お問い合わせは「ねんきん定期便・ねんきんネット専用番号」へ



0570-058-555

全国一律の通話料金でご利用いただけます。
ナビダイヤル 通話料金定額プランの対象外です。

050から始まる電話からおかけになる場合（東京）03-6700-1144

受付時間

月 曜 日※ 1 8 : 30 ~ 19 : 00
火 ~ 金 曜 日 8 : 30 ~ 17 : 15
第 2 土 曜 日※ 2 9 : 30 ~ 16 : 00

※ 1 月曜日が祝日の場合は、翌日以降の平日の初日に19 : 00まで受け付けます。
※ 2 第2土曜日以外の土・日・祝日
1 / 2 / 9 ~ 1 / 3 はご利用いただけません。

1. これまでの保険料納付額（累計額）

(1) 国民年金保険料（第1号被保険者期間）	項番1 円
(2) 厚生年金保険料（被保険者負担額）	
一般厚生年金期間	項番2 円
公務員厚生年金期間	項番3 円
私学共済厚生年金期間	項番4 円
(1) と (2) の合計	項番5 円

※厚生年金保険料は事業主も上記の被保険者負担額と同額を負担しています。

2. これまでの年金加入期間

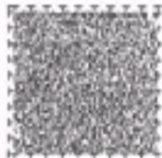
国民年金（a）				付加保険料 納付済月数	船員保険 （c）	年金加入期間 合計 （未納月数を除く） （a+b+c）	合算対象期間等 （d）	受給資格期間 （a+b+c+d）
第1号被保険者 （未納月数を除く）	第3号被保険者	国民年金 計 （未納月数を除く）						
項番6 月	項番7 月	項番8 月	項番8-1 月		項番9 月			
厚生年金保険（b）						項番14 月	項番15 月	項番16 月
一般厚生年金	公務員厚生年金	私学共済厚生年金	厚生年金保険 計					
項番10 月	項番11 月	項番12 月	項番13 月					

ねんきんネットの「お客様のアクセスキー」

項番17

※「お客様のアクセスキー」の有効期限は、表面に記載のデータ作成日から5カ月後の月末までです。

右のマークは目の不自由な方のための音声コードです。



出力仕様書：直近1年間通知者／年金受給者用 裏面

(令和8年4月～9月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
1	ハガキ受給者裏面	国民年金保険料 (第1号被保険者期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞ [91] 保険料納付額(国年)を参照し、出力する。
2	ハガキ受給者裏面	厚生年金保険料 (一般厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞ [92] 保険料納付額(厚船)を参照し、出力する。
3	ハガキ受給者裏面	厚生年金保険料 (公務員厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞ [138] 保険料納付額(2・3号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
4	ハガキ受給者裏面	厚生年金保険料 (私学共済厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞ [139] 保険料納付額(4号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
5	ハガキ受給者裏面	これまでの 保険料納付額 国民年金・船員保険・ 厚生年金 計	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞ [89] 保険料納付額合計(国年+厚船+2・3号+4号)1を参照し、出力する。
6	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 第1号被保険者 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64] 第1号被保険者加入月数(未納除く)を参照し、出力する。
7	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 第3号被保険者	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [64] 第3号被保険者加入月数を参照し、出力する。
8	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 国民年金計 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64] 第1号被保険者加入月数(未納除く)、 ＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [64] 第3号被保険者加入月数、 ※＜出力例＞ 第1号被保険者加入月数(未納除く) △△1、第3号被保険者加入月数 △△9の場合 → △10 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式の通り印字すること。
8-1	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 付加保険料 納付済月数	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [73] 付加納付月数を参照し、出力する。
9	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 船員保険	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [81] 船保期間を参照し、出力する。
10	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 一般厚生年金	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [78] 厚年期間を参照し、出力する。
11	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 公務員厚生年金 (国家公務員・地方公務員)	1行	ZZ9	＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [131] 厚年期間(第2・3号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
12	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 私学共済厚生年金 (私立学校の教職員)	1行	ZZ9	＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [135] 厚年期間(第4号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
13	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 厚生年金保険 計	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [78] 厚年期間、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [131] 厚年期間(第2・3号)、 [135] 厚年期間(第4号)、 ※＜出力例＞ 厚年期間 △△5、厚年期間(第2・3号) △50、厚年期間(第4号) △10 の場合 → △65 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式の通り印字すること。
14	ハガキ受給者裏面	年金加入期間合計 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [62] 年金加入期間総合計2を参照し、出力する。
15	ハガキ受給者裏面	合算対象期間等	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [87] 合算対象期間を参照し、出力する。
16	ハガキ受給者裏面	受給資格期間	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部＞ [62] 年金加入期間総合計2、 [87] 合算対象期間、 ※＜出力例＞ 年金加入期間総合計2 △△9、合算対象期間 △10 の場合 → △19 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式の通り印字すること。
17	ハガキ受給者裏面	アクセスキー	17 × 1行	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／NEKOアクセスキー情報＞ [107] NEKOアクセスキーを参照し、出力する。 ※枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上づつ余白が出るように出力すること。
18	ハガキ受給者裏面	二次元コード	1行		スマートフォン版の「ねんきんネット(申請用トップページ)」へ遷移する二次元コードを生成し、出力する。 遷移先のアドレス： https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp.neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSGR.do ※＜二次元コードの仕様＞ QRコード モデル2、バージョン5、誤り訂正レベル「M」、モード：バイナリ 二次元コードの各辺から2mm以上の余白を確保すること。 スマートフォンでの読取りに対応すること。 ※ QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

出力位置：「ねんきん定期便」（直近１年間通知者／年金受給者用）裏面（令和8年10月～令和9年3月発送分）

【別添5-3-3-1】

「ねんきん定期便」記載内容についてのお知らせ

○厚生年金保険料は、被保険者と事業主が折半して負担することとされており、被保険者であった時の賃金や期間に応じて年金額が計算されます。「ねんきん定期便」ではご本人の納付実績として被保険者負担分の保険料納付額を記載しており、お手持ちの給与明細等に記載されている保険料額で確認ができます。

○各種目に関する見込みの情報は、日本年金機構ホームページでご確認ください。

令和8年10月より
帳票レイアウト変更
予定

○「ねんきんネット」は、スマートフォンやPCからご自身の年金記録や電子版「ねんきん定期便」・「年金支払状況に関する通知書」の確認、働きながら年金を受け取る場合の年金見込額試算、持ち主不明の年金記録の検索（亡くなられた方の年金記録を含む）などができるサービスです。

○マイナンバーカードをお持ちの方は、**マイナポータル**から簡単に利用登録ができます。また、お持ちでない方も、基礎年金番号と右記の「お客様のアクセスキー」を使用して日本年金機構ホームページから利用登録ができます。

○「ねんきん定期便」は「ねんきんネット」からペーパーレス化の登録ができます。環境への配慮に、ぜひご協力をお願いします。

スマートフォンでのご利用登録はこちら➡

(https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do)

二次元コード

項番18

お問い合わせは「ねんきん定期便・ねんきんネット専用番号」へ



0570-058-555

全国一律の通話料金でご利用いただけます。
ナビダイヤル 通話料金定額プランの対象外です。

050から始まる電話からおかけになる場合（東京）03-6700-1144

受付時間
月曜日※1 8:30～19:00
火～金曜日 8:30～17:15
第2土曜日※2 9:30～16:00
※1 月曜日が祝日の場合は、翌日以降の平日の初日に19:00まで受け付けます。
※2 第2土曜日以外の土・日・祝日12/29～1/3はご利用いただけません。

1. これまでの保険料納付額（累計額）

（1）国民年金保険料（第1号被保険者期間）	項番1 円
（2）厚生年金保険料（被保険者負担額）	
一般厚生年金期間	項番2 円
公務員厚生年金期間	項番3 円
私学共済厚生年金期間	項番4 円
（1）と（2）の合計	項番5 円

※厚生年金保険料は事業主も上記の被保険者負担額と同額を負担しています。

2. これまでの年金加入期間

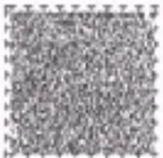
国民年金（a）			付加保険料 納付済月数	船員保険 （c）	年金加入期間 合計 （未納月数を除く） （a+b+c）	合算対象期間等 （d）	受給資格期間 （a+b+c+d）
第1号被保険者 （未納月数を除く）	第3号被保険者	国民年金 計 （未納月数を除く）					
項番6 月	項番7 月	項番8 月	項番8-1 月	項番9 月			
厚生年金保険（b）					項番14 月	項番15 月	項番16 月
一般厚生年金	公務員厚生年金	私学共済厚生年金	厚生年金保険 計				
項番10 月	項番11 月	項番12 月	項番13 月				

ねんきんネットの「お客様のアクセスキー」

項番17

※「お客様のアクセスキー」の有効期限は、表面に記載のデータ作成日から5カ月後の月末までです。

右のマークは目の不自由な
方のための音声コードです。



出力仕様書：直近1年間通知者／年金受給者用 裏面

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
1	ハガキ受給者裏面	国民年金保険料 (第1号被保険者期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞[91]保険料納付額(国年)を参照し、出力する。
2	ハガキ受給者裏面	厚生年金保険料 (一般厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞[92]保険料納付額(厚船)を参照し、出力する。
3	ハガキ受給者裏面	厚生年金保険料 (公務員厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[138]保険料納付額(2・3号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
4	ハガキ受給者裏面	厚生年金保険料 (私学共済厚年期間の 保険料納付額)	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[139]保険料納付額(4号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
5	ハガキ受給者裏面	これまでの 保険料納付額 国民年金・船員保険・ 厚生年金 計	1行	ZZ.ZZZ.ZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞ [89]保険料納付額合計(国年+厚船+2・3号+4号)1を参照し、出力する。
6	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 第1号被保険者 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64]第1号被保険者加入月数(未納除く)を参照し、出力する。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
7	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 第3号被保険者	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [84]第3号被保険者加入月数を参照し、出力する。
8	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 国民年金計 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞[64]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 ＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞[84]第3号被保険者加入月数、 ※＜出力例＞ 第1号被保険者加入月数(未納除く) △△1、第3号被保険者加入月数 △△9の場合 → △10 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式の通り印字すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
8-1	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 付加保険料 納付済月数	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [73]付加納付月数を参照し、出力する。
9	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 船員保険	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[81]船保期間を参照し、出力する。
10	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 一般厚生年金	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間を参照し、出力する。
11	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 公務員厚生年金 (国家公務員・地方公務員)	1行	ZZ9	＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [131]厚年期間(第2・3号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
12	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 私学共済厚生年金 (私立学校の教職員)	1行	ZZ9	＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [135]厚年期間(第4号)を参照し、出力する。 ※共済記録無しの場合は、「0」(ゼロ)が設定される。
13	ハガキ受給者裏面	年金加入期間 厚生年金保険 計	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [131]厚年期間(第2・3号)、[135]厚年期間(第4号)、 ※＜出力例＞ 厚年期間 △△5、厚年期間(第2・3号) △50、厚年期間(第4号) △10 の場合 → △65 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式の通り印字すること。
14	ハガキ受給者裏面	年金加入期間合計 (未納月数を除く)	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2を参照し、出力する。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
15	ハガキ受給者裏面	合算対象期間等	1行	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞[87]合算対象期間を参照し、出力する。
16	ハガキ受給者裏面	受給資格期間	1行	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ出力する。 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2、[87]合算対象期間、 ※＜出力例＞ 年金加入期間総合計2 △△9、合算対象期間 △10 の場合 → △19 として出力(△はスペースを表す) ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、印字形式の通り印字すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
17	ハガキ受給者裏面	アクセスキー	17 × 1行	XXXXXXXXXXXXXXXXX	＜基本レコード／NEKOアクセスキー情報＞[107]NEKOアクセスキーを参照し、出力する。 ※枠に対して上下左右中央となるよう出力すること。 ※左右1文字以上づつ余白が出るように出力すること。

出力仕様書：直近1年間通知者／年金受給者用 裏面
(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本出力仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	桁数 × 行数	印字形式	仕様
18	ハガキ 受給者 裏面	二次元コード	1行		スマートフォン版の「ねんきんネット(申請用トップページ)」へ遷移する二次元コードを生成し、出力する。 遷移先のアドレス: https://www3.idpass-net.nenkin.go.jp/sp_neko/Z06_SP/W_Z0602_SPSCR.do ※<二次元コードの仕様> QRコード モデル2、バージョン5、誤り訂正レベル「M」、モード:バイナリ 二次元コードの各辺から2mm以上の余白を確保すること。 スマートフォンでの読取りに対応すること。 ※ QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

音声コードへ収録する内容（年金受給者用）

※この「音声コードへ収録する内容」において参照するファイル名は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）」とする。

〔案内文1〕

ニッポン年金機構から、令和8年度の年金定期便をお送りします。
年金定期便は、毎年、年金加入記録をご確認頂くとともに、年金制度に対するご理解を深めて頂くことを目的として、厚生労働省から委託を受け、年金加入期間などの年金情報をお知らせするものです。

121文字

（注）『毎年』の読み上げは、「まいとし」または「まいねん」のいずれでも可とする。

〔これまでの年金加入期間〕

この年金定期便は、[項番1][項番2]年[項番3]月[項番4]日、お客様にお送りしたもので、[項番5][項番6]年[項番7]月[項番8]日時点の年金加入記録にもとづいて作成しています。

これまでの年金加入期間は次の通りです。

国民年金の期間は、未納期間を除く第1号被保険者期間[項番9]ツキ、第3号被保険者期間[項番10]ツキ、合計[項番11]ツキです。

共済制度に加入の場合はこれを含んだ厚生年金保険の期間は[項番12]ツキ、船員保険の期間は[項番13]ツキ、年金加入期間の合計は[項番14]ツキとなります。

また、合算対象期間などが[項番15]ツキあり、受給資格期間は[項番16]ツキとなります。

最大252文字

- ① [項番2] または [項番6] が『1』の場合、漢字『元』に変更すること。
なお、[項番2] または [項番6] に続く漢字『年』を含め、音声コードの読み上げで「がんねん」と読み上げない場合は、[項番2] または [項番6] に続く漢字『年』を含め、カタカナ『ガンネン』に変更すること。

変更例)

変換前：令和1年5月 ⇒ 変換後：令和元年5月

※「元年」を「がんねん」と読み上げない場合 ⇒ 変換後：令和ガンネン5月

〔これまでの保険料納付額〕

これまでに納付した保険料のうふ ほけんりょうは、累計るいけいで、国民年金こくみんねんきん **[項番 17]** 円、共済制度きょうさいせいどに加入かにゆうの場合はこれをふく含んだ厚生年金保険こうせいねんきんほけん **[項番 18]** 円、合計えん ごうけい **[項番 19]** 円となります。

最大86文字

〔案内文2〕

この年金定期便ねんきんていきびんの内容ないように関するお問い合わせは、専用番号せんようばんごうへお電話でんわください。

電話番号でんわばんごうは、0570-058-555です。

お客様きやくさまの電話番号でんわばんごうが050から始まる場合は、東京とうきょう03-6700-1144へおかけください。お問い合わせの際は、次の12ケタの照会番号しょうかいばんごうをお知らせください。お客様の照会番号しょうかいばんごうは、**[項番 20]** 番です。

また、お近くちかの年金事務所ねんきんじむしょにお越しこしいただければ、書類しょるいの読み上げや、記入きにゆうの代筆だいひつなどの支援しえんを致いたします。

205文字

合計文字数 最大664文字

音声コード仕様書(年金受給者用)

(令和8年4月～9月発送分)

※本音声コード仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	表示形式	仕様
1	ハガキ受給者	生年元号	XX	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [54]生年元号 を参照し、音声コードを作成する。
2	ハガキ受給者	生年	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [55]生年 を参照し、音声コードを作成する。 ※[55]生年が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す) ※[55]生年が「△1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。(△はスペースを表す)
3	ハガキ受給者	生年月	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [56]生年月 を参照し、音声コードを作成する。 ※[56]生年月が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
4	ハガキ受給者	生年日	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [57]生年日 を参照し、音声コードを作成する。 ※[57]生年日が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
5	ハガキ受給者	抽出年元号	XX	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [26]抽出年元号 を参照し、音声コードを作成する。
6	ハガキ受給者	抽出年	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [27]抽出年 を参照し、音声コードを作成する。 ※[27]抽出年が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す) ※[27]抽出年が「△1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。(△はスペースを表す)
7	ハガキ受給者	抽出月	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [28]抽出月 を参照し、音声コードを作成する。 ※[28]抽出月が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
8	ハガキ受給者	抽出日	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [29]抽出日 を参照し、音声コードを作成する。 ※[29]抽出日が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
9	ハガキ受給者	第1号被保険者 (未納期間除く)	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64]第1号被保険者加入月数(未納除く) を参照し、音声コードを作成する。
10	ハガキ受給者	第3号被保険者	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [84]第3号被保険者加入月数 を参照し、音声コードを作成する。
11	ハガキ受給者	国民年金計 (未納期間除く)	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞[84]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 ＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞[84]第3号被保険者加入月数、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で印字すること。
12	ハガキ受給者	厚生年金保険 (共済期間を含む)	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[131]厚年期間(第2・3号)、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[135]厚年期間(第4号)、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で印字すること。
13	ハガキ受給者	船員保険	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [81]船保期間 を参照し、音声コードを作成する。
14	ハガキ受給者	年金加入期間合計 (未納期間除く)	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [62]年金加入期間総合計2 を参照し、音声コードを作成する。
15	ハガキ受給者	合算対象期間	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [87]合算対象期間 を参照し、音声コードを作成する。
16	ハガキ受給者	受給資格期間	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2、 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[87]合算対象期間、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で印字すること。
17	ハガキ受給者	国民年金 (第1号被保険者期間 の保険料納付額)	ZZZZZZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞[91]保険料納付額(国年) を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いた“ZZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12.345”⇒“12345”
18	ハガキ受給者	厚生年金被保険者期間の 保険料納付額 (共済期間を含む)	ZZZZZZZ9	以下の項番を参照し、合計金額を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／保険料納付額情報＞[92]保険料納付額(厚船)、 ＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[138]保険料納付額(2・3号)、 ＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[139]保険料納付額(4号)、 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いて合計金額を算出し、“ZZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12.345”⇒“12345”

音声コード仕様書(年金受給者用)
(令和8年4月～9月発送分)

※本音声コード仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	表示形式	仕様
19	ハガキ受給者	これまでの保険料納付額 【国民年金・厚生年金合計】	ZZZZZZ9	<基本レコード／保険料納付額情報> [89]保険料納付額合計(国年+厚船+2・3号+4号)1 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いた“ZZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 <出力例>“△△△△△12,345”⇒“12345”
20	ハガキ受給者	照会番号		<基本レコード／基本情報部> [52]照会番号 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値は“XXXXXXXXXX”であるが、照会番号については、音声コードの仕様に基づき区切り文字(空白を除く)を入れ、数字を1文字ずつ読み上げるように作成すること。

音声コード仕様書(年金受給者用)

(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本音声コード仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	表示形式	仕様
1	ハガキ受給者	生年元号	XX	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [54]生年元号 を参照し、音声コードを作成する。
2	ハガキ受給者	生年	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [55]生年 を参照し、音声コードを作成する。 ※[55]生年が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す) ※[55]生年が「△1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。(△はスペースを表す)
3	ハガキ受給者	生年月	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [56]生年月 を参照し、音声コードを作成する。 ※[56]生年月が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
4	ハガキ受給者	生年日	Z9	＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞ [57]生年日 を参照し、音声コードを作成する。 ※[57]生年日が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
5	ハガキ受給者	抽出年元号	XX	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [26]抽出年元号 を参照し、音声コードを作成する。
6	ハガキ受給者	抽出年	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [27]抽出年 を参照し、音声コードを作成する。 ※[27]抽出年が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す) ※[27]抽出年が「△1」の場合は「元」と置き換えて表示すること。(△はスペースを表す)
7	ハガキ受給者	抽出月	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [28]抽出月 を参照し、音声コードを作成する。 ※[28]抽出月が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
8	ハガキ受給者	抽出日	Z9	＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞ [29]抽出日 を参照し、音声コードを作成する。 ※[29]抽出日が1桁(△9)の場合はスペースを除いて作成すること。(△はスペースを表す)
9	ハガキ受給者	第1号被保険者 (未納期間除く)	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞ [64]第1号被保険者加入月数(未納除く) を参照し、音声コードを作成する。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
10	ハガキ受給者	第3号被保険者	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞ [84]第3号被保険者加入月数 を参照し、音声コードを作成する。
11	ハガキ受給者	国民年金計 (未納期間除く)	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第1号被保険者期間＞[64]第1号被保険者加入月数(未納除く)、 ＜基本レコード／加入月数情報部／第3号被保険者期間＞[84]第3号被保険者加入月数、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で印字すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
12	ハガキ受給者	厚生年金保険 (共済期間を含む)	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[78]厚年期間、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[131]厚年期間(第2・3号)、 ＜基本レコード／共済加入月数情報部／第2号被保険者期間＞[135]厚年期間(第4号)、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で印字すること。
13	ハガキ受給者	船員保険	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部／第2号被保険者期間＞ [81]船保期間 を参照し、音声コードを作成する。
14	ハガキ受給者	年金加入期間合計 (未納期間除く)	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [62]年金加入期間総合計2 を参照し、音声コードを作成する。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
15	ハガキ受給者	合算対象期間	ZZ9	＜基本レコード／加入月数情報部＞ [87]合算対象期間 を参照し、音声コードを作成する。
16	ハガキ受給者	受給資格期間	ZZ9	以下の項番を参照し、合計月数を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[62]年金加入期間総合計2、 ＜基本レコード／加入月数情報部＞[87]合算対象期間、 ※合計月数が4桁になる場合は、実在する月数が最大3桁であることから、“ZZ9”の形式で印字すること。 ※令和8年10月～令和9年3月発送分にてロケーションが変更となる。
17	ハガキ受給者	国民年金 (第1号被保険者期間 の保険料納付額)	ZZZZZZ9	＜基本レコード／保険料納付額情報＞[91]保険料納付額(国年) を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いた“ZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12,345”⇒“12345”
18	ハガキ受給者	厚生年金被保険者期間の 保険料納付額 (共済期間を含む)	ZZZZZZ9	以下の項番を参照し、合計金額を算出のうえ音声コードを作成する。 ＜基本レコード／保険料納付額情報＞[92]保険料納付額(厚船)、 ＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[138]保険料納付額(2・3号)、 ＜基本レコード／共済保険料納付額情報＞[139]保険料納付額(4号)、 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いて合計金額を算出し、“ZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 ＜出力例＞“△△△△△12,345”⇒“12345”

音声コード仕様書(年金受給者用)
(令和8年10月～令和9年3月発送分)

※本音声コード仕様書「仕様」欄において参照するファイル名は、特記無い場合は全て、「ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者)」とする。

項番	通知区分	項目	表示形式	仕様
19	ハガキ受給者	これまでの保険料納付額 【国民年金・厚生年金合計】	ZZZZZZ9	<基本レコード／保険料納付額情報> [89]保険料納付額合計(国年＋厚船＋2・3号＋4号)1 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値“ZZ.ZZZ.ZZ9”からカンマを除いた“ZZZZZZ9”の形式で作成すること。 ※収録されている値にスペースが含まれている場合は、スペースを除いて作成すること。 <出力例>“△△△△△12,345”⇒“12345”
20	ハガキ受給者	照会番号		<基本レコード／基本情報部> [52]照会番号 を参照し、音声コードを作成する。 ※収録されている設定値は“XXXXXXXXXX”であるが、照会番号については、音声コードの仕様に基づき区切り文字(空白を除く)を入れ、数字を1文字ずつ読み上げるように作成すること。

事前報告（ファイル）（郵便物管理システム用）作成仕様書

I.作成するファイル及び対象者等

1. 作成するファイル

以下の2つのファイルを作成すること。

- (A) 送付郵便物データ
- (B) 送付抑止郵便物データ

2. 各ファイルの対象者

各ファイルの対象者は以下のとおり。

(A) 送付郵便物データの対象者

- ・委託要領本紙Ⅰ.8.(7)①(本人直送分)に該当する者
- ・委託要領本紙Ⅰ.8.(7)②(引抜依頼分)に該当する者(機構ダミー品を含む)
- ・委託要領本紙Ⅰ.8.(7)④(別送対応分)に該当する者
- ・委託要領本紙Ⅰ.8.(7)⑤(海外居住者分)に該当する者
- ・委託要領本紙Ⅰ.8.(7)⑦(郵便番号不備分)に該当する者

(B) 送付抑止郵便物データの対象者

- ・委託要領本紙Ⅰ.8.(4)①(作成対象外者分「発送対象外者6・7」)に該当する者
- ・委託要領本紙Ⅰ.8.(4)②(作成対象外者分「国年不在者」)に該当する者
- ・委託要領本紙Ⅰ.8.(4)③(作成対象外者分「厚年・船保・共済重複分」)に該当する者
- ・委託要領本紙Ⅰ.8.(4)④(作成対象外者分「作成対象外者情報収録者」)に該当する者

【留意事項】

※(A)送付郵便物データの対象者、(B)送付抑止郵便物データの対象者の対象者は重複することはない。

3. ファイルの作成単位

誕生月分/再発行分、調達区分(1～2)または年齢帯区分にかかわらず、同一納品日に属する「ねんきん定期便」について、2.に基づき、納品日単位で作成すること。調布納品分については、委託要領本紙Ⅰ.8.(8)②アのただし書きは適用せず、本人直送分と合わせて作成すること。

【留意事項】

※【別添6-別紙1】「データの作成単位について」を参照し、正しくファイルを作成すること。

Ⅱ. 作成するファイルの仕様等

1. 共通ソフト仕様

(1) データ属性と内部コード

① データ属性（1バイト文字又は、2バイト文字）

データの各1文字を1バイト(8ビット)で表す形式の文字を1バイト文字、データの各1文字を2バイト(16ビット)で表す形式の文字を2バイト文字といいます。

② 内部コード

1バイト文字は、JIS8単位コードを使用する。詳細は、以下の表を参照。

※表の空白の欄の文字は、使用不可とする。

上位4ビット																
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
下 位 4 ビ ッ ト	0			SP	0											
	1				1											
	2				2											
	3				3											
	4				4											
	5				5											
	6				6											
	7				7											
	8				8											
	9				9											
	A	LF (※1)														
	B															
	C															
	D	CR (※1)														
	E															
	F															

(※1) レコード区切り（改行コード）として使用する。

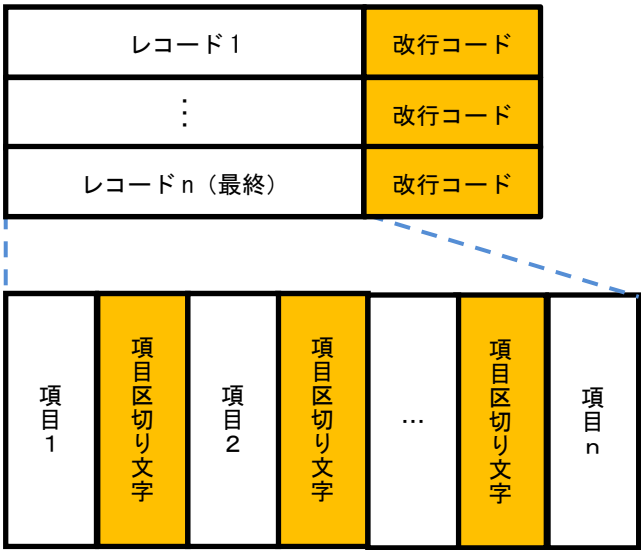
(※2) 項目区切り文字として使用する。

(2) 共通レコード形式

レコード形式

項番	項目	内容	備考
1	データ形式	区切りテキスト形式	
2	項目区切り文字	「 」 (0x7C)	パイプ記号、縦線
3	レコード区切り (改行コード)	CRLF (0x0D0A)	

各レコードは、レコード終端に改行を付与して区切る。EOF の前 (最終レコードの終端) にも改行を付与する。レコードの各項目は、項目区切り文字で区切る。



レコード形式

※レコード格納順序は任意とする。

2. 個別ソフト仕様

(1)(A) 送付郵便物データ

項番	項目	内容
1	ファイル形式	シングルファイル／シングルボリューム
2	ボリューム名	MSIS1 (正) MSIS2 (副)
3	ファイル名	MSIS##.txt ##：ファイル分割通番 (01～99) (※)
4	レコード形式	区切りテキスト形式
5	レコード長 (バイト)	305 バイト (項目区切り含む、改行含まず)
6	ソート順	指定なし (ソート不要)
7	ファイル分割	あり (※)

(※) 格納レコード件数の上限 (5,000,000 件) を超過する場合、ファイル分割する。

(2)(B) 送付抑止郵便物データ

項番	項目	内容
1	ファイル形式	シングルファイル／シングルボリューム
2	ボリューム名	MSIB1 (正) MSIB2 (副)
3	ファイル名	MSIB01. txt
4	レコード形式	区切りテキスト形式
5	レコード長 (バイト)	305 バイト (項目区切り含む、改行含まず)
6	ソート順	指定なし (ソート不要)
7	ファイル分割	なし (※)

(※) レコード件数が増加し、格納レコード件数の上限 (5,000,000 件) を超過し、分割が必要となった場合は、別途調整する。

3. ファイルに収録するデータ仕様

(1)(A) 送付郵便物データ

「別添6ー別紙2」に基づき作成すること。

(2)(B) 送付抑止郵便物データ

「別添6ー別紙3」に基づき作成すること。

4. セキュリティ規定

作成したファイルは、ZIP形式で暗号化すること。

項番	項目	内容	備考
1	パスワード		別途指定する。
2	暗号化方式	Zipcrypto AES-256	別途調整のうえ決定する。
3	暗号化後ファイル名	ファイル名の拡張子を「zip」に変更	ファイル名は2.（1）～（2）を参照。

Ⅲ. ファイルを格納する電子媒体等の仕様

1. ハード仕様

- ① 暗号化ファイルを格納する電子媒体の仕様は、以下のとおり。なお、ファイル別に電子媒体を作成することとし、さらに正1枚、副1枚を作成すること。
- ② ファイルの作成対象者がいない（0件）場合は、作成不要。

項番	項目	内容	備考
1	記録型DVD規格	DVD-R	RWは使用不可。
2	ディスク外径	120 mm	
3	記録方式	相変化記録方式	
4	レーザー波長	650 nm	
5	記憶容量	4.7GB（片面）	記憶可能容量 ディスク1枚あたり：4.37GB 1ファイルあたり：2.00GB
6	記録形式	UDF形式	UDF2.01
7	書込方式	パケットライト	UDF形式でサポート ※書込み時は必ずセッションを閉じること。

2. ディスクラベル及びディスクケースラベル

以下のとおり記載すること。

(A) 送付郵便物データ



格付

担当部署名

タイトル 正／副

受託事業者名

ボリューム名 X:正 1、副 2

ファイル名

ディスクラベル記載例



担当部署名

タイトル (正／副)

枚数

ボリューム名 X:正 1、副 2

ファイル名

作成日：ファイルの作成日

発送日：委託スケジュール

(仕様書別紙 2) の納品日

収録件数

受託事業者名

ディスクケースラベル記載例

(ディスクケースの下半分程度から媒体が確認できるようにすること)

(B) 送付抑止郵便物データ



ディスクラベル記載例

格付

担当部署名

タイトル 正／副

受託事業者名

ボリューム名 X:正 1、副 2

ファイル名



ディスクケースラベル記載例

(ディスクケースの下半分程度から媒体が確認できるようにすること)

担当部署名

タイトル (正／副)

枚数

ボリューム名 X:正 1、副 2

ファイル名

作成日：ファイルの作成日
発送日：委託スケジュール
(仕様書別紙 2) の納品日
収録件数

受託事業者名

IV. 電子媒体の納品

仕様書【別紙 2】(委託スケジュール) の納品日と同日に納品すること。

データの作成単位について

データ作成にあたっては、調達区分、誕生月分/再発行分の別、年齢帯区分及び本人直送分、調布納品分の別にかかわらず、別添6のⅠ. 2. (A)～(B)に基づき、仕様書【別紙2】に示す納品日単位で各データを作成すること。

例1)

- ・調達区分①のみ受託
- ・割り当てられた媒体が以下のとおりであり、4月発送分の場合

ア【PAT01A・B】(15～20歳①)	・・・	納品日：4月 8日
イ【PAT11A・B】(30～34歳・36～39歳①)	・・・	納品日：4月 8日
ウ【PAT16A・B】(40～44歳・46～49歳①)	・・・	納品日：4月 19日

【ア及びイ】

- ◇ アとイが同一納品日（本人直送分及び調布納品分）であることから、この2つの媒体に収録されている全ての者を統合し、(A) 送付郵便物データ、(B) 送付抑止郵便物データに分類し、ファイルをそれぞれ1つずつ作成する。
- ◇ 該当者が存在しない場合は、当該ファイル及び電子媒体の作成は不要。
- ◇ (A) 送付郵便物データを格納した電子媒体2枚（正副）、(B) 送付抑止郵便物データを格納した電子媒体2枚（正副）を格納した電子媒体2枚（正副）を「ねんきん定期便」の納品日と同日の4月8日に記録管理Gへ納品する。

【ウ】

- ◇ 本人直送分の納品日が19日、調布納品分の納品日が18日（委託要領本紙Ⅰ.8.(6)②、アのただし書以降）、機構ダミー品の納品日が指定する日（委託要領本紙Ⅰ.8.(6)②、アのなお書以降）であるが、分割せずに(A) 送付郵便物データ、(B) 送付抑止郵便物データの対象者を判定し、ファイルをそれぞれ1つずつ作成する。
- ◇ 該当者が存在しない場合は、当該ファイル及び電子媒体の作成は不要。
- ◇ (A) 送付郵便物データを格納した電子媒体2枚（正副）、(B) 送付抑止郵便物データを格納した電子媒体2枚（正副）、計4枚の電子媒体を「ねんきん定期便」の本人直送分の納品日と同日の4月19日に記録管理Gへ納品する。

例2)

- ・調達区分①、②を受託
- ・割り当てられた媒体が以下のとおりであり、4月発送分の場合
 - ア【PAT12A・B】(30～34 歳、36～39 歳①) . . . 納品日：4月 8日
 - イ【PAT17A・B】(40～44 歳・46～49 歳①) . . . 納品日：4月 19日
 - ウ【PAT51A・B】(61 歳以上②) . . . 納品日：4月 8日
 - エ【PAT20A・B】(40～44 歳・46～49 歳①) . . . 納品日：4月 19日

【ア及びウ】

- ◇ 調達区分及び年齢帯区分が異なるが、アとウが同一納品日（本人直送分及び調布納品分）であることから、この2つの媒体に収録されている全ての者について、(A) 送付郵便物データ、(B) 送付抑止郵便物データの対象者を判定し、ファイルをそれぞれ1つずつ作成する。
- ◇ 該当者が存在しない場合は、当該ファイル及び電子媒体の作成は不要。
- ◇ (A) 送付郵便物データを格納した電子媒体2枚（正副）、(B) 送付抑止郵便物データを格納した電子媒体2枚（正副）を格納した電子媒体2枚（正副）を「ねんきん定期便」の納品日と同日の4月8日に記録管理Gへ納品する。

【イ及びエ】

- ◇ 誕生月分/再発行分が異なり、また、本人直送分の納品日が19日、調布納品分の納品日が18日（委託要領本紙I.7.(6)②、アのただし書以降）であるが、誕生月分/再発行分の別、年齢帯区分及び本人直送分、調布納品分の別を問わず、この2つの媒体に収録されている全ての者について(A) 送付郵便物データ、(B) 送付抑止郵便物データの対象者を判定し、ファイルをそれぞれ1つずつ作成する。
- ◇ 該当者が存在しない場合は、当該ファイル及び電子媒体の作成は不要。
- ◇ (A) 送付郵便物データを格納した電子媒体2枚（正副）、(B) 送付抑止郵便物データを格納した電子媒体2枚（正副）、計4枚の電子媒体を「ねんきん定期便」の本人直送分の納品日と同日の4月19日に記録管理Gへ納品する。

(A) 送付郵便物データ 作成仕様

1. レコードフォーマット

成果物名称			システム名称			郵便物管理システム		
基本設計書（ソフトウェア）			インタフェース名			送付郵便物情報（個人宛郵便物）（住所情報含む）		
種別	HULFT/電子媒体		文字コード	Shift-JIS		改行コード	CRLF	

項番	項目名		フォーマット					設定値	備考	
			桁数	文字種別	省略可否	可変・固定	繰り返し			
2	送付先区分コード		1	半角数字	不可	固定	-	「1」（個人宛郵便物）固定		
3	項目区切り文字		1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定		
4	基礎年金番号		10	半角数字	不可	固定	-			
5	項目区切り文字		1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定		
6	二次元コード情報	システム識別コード	2	半角数字	不可	固定	-	「03」固定	二次元コード情報は29桁 通知管理番号情報が設定されている場合は、半角スペース固定	
		郵便物区分コード	郵便物種別コード	3	半角数字	不可	固定	-		
			年金コード	4	半角数字	不可	固定	-		
		照会番号		12	半角数字	不可	固定	-		
		作成（抽出）年月日		8	半角数字	不可	固定	-		YYYYMMDD形式
11	項目区切り文字		1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定		
12	通知管理番号情報	通知管理番号	通知管理番号	15	半角数字	不可	固定	-	二次元コード情報が設定されている場合は、半角スペース固定	
			通知管理番号枝番	5	半角数字	不可	固定	-		
		作成（抽出）年月日		8	半角数字	不可	固定	-		YYYYMMDD形式
15	項目区切り文字		1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定		
16	送付先整理番号		10	半角数字	不可	固定	-		通知一本化を行っている （同封の）場合は、郵便物情報の「送付先整理番号」を設定する 指定が無い場合、半角スペース固定	
17	項目区切り文字		1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定		
18	住基更新抑止コード		1	半角数字	不可	固定	-	「1」：有 「2」：無 「3」：＊	データなしの場合は、半角スペース固定	
19	項目区切り文字		1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定		
20	住基更新抑止項目コード		1	半角数字	不可	固定	-		データなしの場合は、半角スペース固定	
21	項目区切り文字		1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定		
22	住基更新抑止理由コード		1	半角数字	不可	固定	-		データなしの場合は、半角スペース固定	
23	項目区切り文字		1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定		
24	送付先住所		160	全角文字	不可	固定	-		媒体仕様書に定める「被保険者住所」情報により作成する 漢字または全角カナ	
25	項目区切り文字		1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定		
26	送達状況コード		2	半角数字	不可	固定	-	「01」：送付 「02」：送付抑止 「03」：引き抜き		
27	項目区切り文字		1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定		
28	予備		52	半角文字	不可	固定	-			

計 305 バイト

2. データ作成仕様

① レコードレイアウト

項目名	送付先区分コード	項目区切り文字	基礎年金番号	項目区切り文字	システム識別コード	郵便物区分コード	照会番号	作成（抽出）年月日	項目区切り文字	通知管理番号	作成（抽出）年月日	項目区切り文字	送付先整理番号	項目区切り文字	住基更新抑止コード	項目区切り文字	住基更新抑止理由コード	項目区切り文字	送付先住所	項目区切り文字	送達状況コード	項目区切り文字	予備		
					二次元コード情報					通知管理番号情報															
バイト数	1	1	10	1	29				1	28		1	10	1	1	1	1	1	1	160	1	2	1	52	
					2	7	12	8		20	8														
バイト位置	1	2	3	13	14	16	23	35	43	44	64	72	73	83	84	85	86	87	88	89	90	250	251	253	254

② 収録データ

項番	項目	バイト数	バイト位置	文字種別	データ収録内容
1	送付先区分コード	1	1	半角数字	「1」を収録する。
2	項目区切り文字	1	2	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
3	基礎年金番号	10	3	半角数字	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード 項番[2]基礎年金番号を参照し、 <u>5バイト目に収録されている「-」（ハイフン）を削除した値</u> を収録する。
4	項目区切り文字	1	13	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。

5	二次元コード情報	29	14	半角数字	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード 項目名[QRコード情報]項番[109] 識別区分、項番[110] 郵便物区分コード、項番[111] 照会番号、項番[112] 作成年月日 を参照し、収録する。
6	項目区切り文字	1	43	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
7	通知管理番号情報	28	44	半角記号	「」（半角スペース）を28個収録する。
8	項目区切り文字	1	72	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
9	送付先整理番号	10	73	半角記号	「」（半角スペース）を10個収録する。
10	項目区切り文字	1	83	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
11	住基更新抑止コード	1	84	半角記号	「」（半角スペース）を収録する。
12	項目区切り文字	1	85	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
13	住基更新抑止項目コード	1	86	半角記号	「」（半角スペース）を収録する。
14	項目区切り文字	1	87	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
15	住基更新抑止理由コード	1	88	半角記号	「」（半角スペース）を収録する。
16	項目区切り文字	1	89	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
17	送付先住所	160	90	全角文字	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード 項目名[住所情報1行目]項番[33] 住所1行目印字桁数 の項番[34] 住所1行目 を、項目名[住所情報2行目] 項番[37] 住所2行目印字桁数 の項番[38] 住所2行目 を、項目名[住所情報3行目] 項番[41] 住所3行目印字桁数 の項番[42] 住所3行目 をそれぞれ取得及び全角文字に変換し、収録する。なお、収録する総バイト数は160バイト固定とし、これを超えて収録は行わないものとする。また、これに満たない場合は、全角スペースを加え、160バイトとして収録すること。
18	項目区切り文字	1	250	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
19	送達状況コード	2	251	半角数字	「01」を収録する。
20	項目区切り文字	1	253	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
21	予備	52	254	半角記号	「」（半角スペース）を52個収録する。

③ データのイメージ

[illegible]

^ : 半角スペース

□：全角スペース

(B) 送付抑止郵便物データ 作成仕様

1. レコードフォーマット

成果物名称				システム名称		郵便物管理システム		
基本設計書（ソフトウェア）				インタフェース名		送付郵便物情報（個人宛郵便物）（住所情報含む）		
種別	HULFT/電子媒体			文字コード	Shift-JIS		改行コード	CRLF

項番	項目名			フォーマット			設定値	備考	
				桁数	文字種別	省略可否			可変・固定
2	送付先区分コード			1	半角数字	不可	固定	-	「1」（個人宛郵便物）固定
3	項目区切り文字			1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定
4	基礎年金番号			10	半角数字	不可	固定	-	
5	項目区切り文字			1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定
6	二次元コード情報	システム識別コード		2	半角数字	不可	固定	-	「03」固定
		郵便物区分コード	郵便物種別コード	3	半角数字	不可	固定	-	
			年金コード	4	半角数字	不可	固定	-	
		照会番号		12	半角数字	不可	固定	-	
		作成（抽出）年月日		8	半角数字	不可	固定	-	YYYYMMDD形式
11	項目区切り文字			1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定
12	通知管理番号情報	通知管理番号	通知管理番号	15	半角数字	不可	固定	-	
			通知管理番号枝番	5	半角数字	不可	固定	-	
		作成（抽出）年月日		8	半角数字	不可	固定	-	YYYYMMDD形式
15	項目区切り文字			1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定
16	送付先整理番号			10	半角数字	不可	固定	-	通知一本化を行っている（同封の）場合は、郵便物情報の「送付先整理番号」を設定する 指定が無い場合、半角スペース固定
17	項目区切り文字			1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定
18	住基更新抑止コード			1	半角数字	不可	固定	-	「1」：有 「2」：無 「3」：*
19	項目区切り文字			1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定
20	住基更新抑止項目コード			1	半角数字	不可	固定	-	データなしの場合は、半角スペース固定
21	項目区切り文字			1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定
22	住基更新抑止理由コード			1	半角数字	不可	固定	-	データなしの場合は、半角スペース固定
23	項目区切り文字			1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定
24	送付先住所			160	全角文字	不可	固定	-	媒体仕様書に定める「被保険者住所」情報により作成する 漢字または全角カナ
25	項目区切り文字			1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定
26	送達状況コード			2	半角数字	不可	固定	-	「01」：送付 「02」：送付抑止 「03」：引き抜き
27	項目区切り文字			1	半角記号	不可	固定	-	「 」（パイプ）」固定
28	予備			52	半角文字	不可	固定	-	

計 305 バイト

2. データ作成仕様

① レコードレイアウト

項目名	送付先区分コード	項目区切り文字	基礎年金番号	項目区切り文字	システム識別コード	郵便物区分コード	照会番号	作成（抽出）年月日	項目区切り文字	通知管理番号	作成（抽出）年月日	項目区切り文字	送付先整理番号	項目区切り文字	住基更新抑止コード	項目区切り文字	住基更新抑止理由コード	項目区切り文字	送付先住所	項目区切り文字	送達状況コード	項目区切り文字	予備		
					二次元コード情報					通知管理番号情報															
バイト数	1	1	10	1	29				1	28		1	10	1	1	1	1	1	1	160	1	2	1	52	
					2	7	12	8		20	8														
バイト位置	1	2	3	13	14	16	23	35	43	44	64	72	73	83	84	85	86	87	88	89	90	250	251	253	254

② 収録データ

項番	項目	バイト数	バイト位置	文字種別	データ収録内容
1	送付先区分コード	1	1	半角数字	「1」を収録する。
2	項目区切り文字	1	2	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
3	基礎年金番号	10	3	半角数字	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード 項番[2]基礎年金番号を参照し、 <u>5バイト目に収録されている「-」（ハイフン）を削除した値</u> を収録する。
4	項目区切り文字	1	13	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。

5	二次元コード情報	29	14	半角数字	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード 項目名[QRコード情報]項番[109] 識別区分、項番[110] 郵便物区分コード、項番[111] 照会番号、項番[112] 作成年月日 を参照し、収録する。
6	項目区切り文字	1	43	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
7	通知管理番号情報	28	44	半角記号	「」（半角スペース）を28個収録する。
8	項目区切り文字	1	72	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
9	送付先整理番号	10	73	半角記号	「」（半角スペース）を10個収録する。
10	項目区切り文字	1	83	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
11	住基更新抑止コード	1	84	半角記号	「」（半角スペース）を収録する。
12	項目区切り文字	1	85	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
13	住基更新抑止項目コード	1	86	半角記号	「」（半角スペース）を収録する。
14	項目区切り文字	1	87	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
15	住基更新抑止理由コード	1	88	半角記号	「」（半角スペース）を収録する。
16	項目区切り文字	1	89	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
17	送付先住所	160	90	全角文字	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード 項目名[住所情報1行目]項番[33] 住所1行目印字桁数 の項番[34] 住所1行目 を、項目名[住所情報2行目] 項番[37] 住所2行目印字桁数 の項番[38] 住所2行目 を、項目名[住所情報3行目] 項番[41] 住所3行目印字桁数 の項番[42] 住所3行目 をそれぞれ取得及び全角文字に変換し、収録する。なお、収録する総バイト数は160バイト固定とし、これを超えて収録は行わないものとする。また、これに満たない場合は、全角スペースを加え、160バイトとして収録すること。
18	項目区切り文字	1	250	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
19	送達状況コード	2	251	半角数字	「02」を収録する。
20	項目区切り文字	1	253	半角記号	「 」（パイプ記号）を収録する。
21	予備	52	254	半角記号	「」（半角スペース）を52個収録する。

③ データのイメージ

[illegible]

^: 半角スペース

□：全角スペース

事前報告データ（DVD-R）ラベル及びディスクケースラベルの作成方法

以下のとおり作成し納品すること

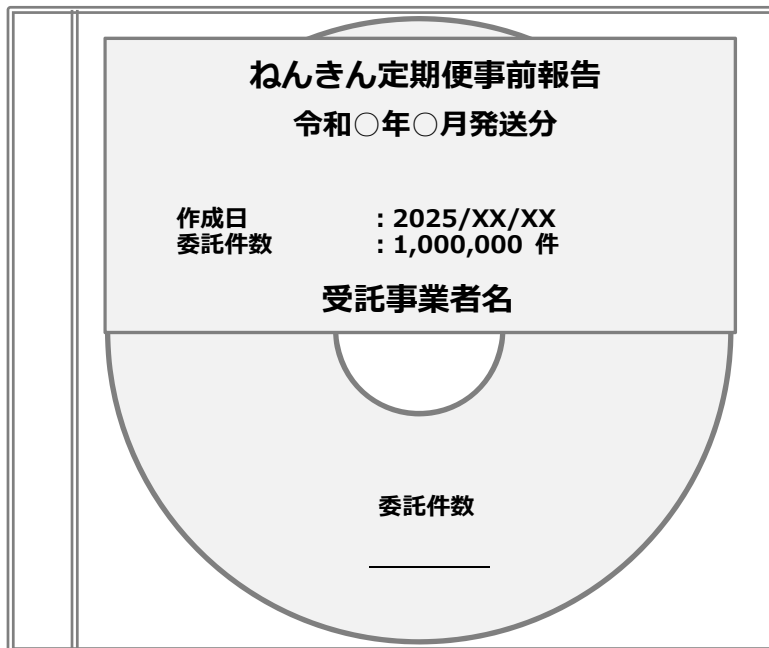


タイトル

受託事業者名

委託件数

ディスクラベル記載例



タイトル

作成日：ファイルを作成した日

委託件数

受託事業者名

ディスクケースラベル記載例

(ディスクケースの下半分から媒体が確認できるようにすること)

ねんきん定期便通知情報DVD
(直近1年出力者)
仕様書
(令和8年4月～9月発送分)

令和5年2月

16.0版

日本年金機構

変更履歴表						ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書		
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V/R	記事
1	H26. 09. 19	H27. 02S	新規		CMT廃止に伴う後継媒体（D VD）対応	CMT廃止に伴う外部関係 機関との「インタフェース 仕様書」改版	1. 0	
2	H27. 01. 28	H27. 02S	変更	表2. 2. 1-2	特定年齢通知、5 9 歳通知の文 言を削除	誤記修正	1. 1	
			変更	表3. 1-1	項番110「カスタマバーコード 印字桁数」、項番111「カスタ マバーコード文字情報」を未使 用項目に変更	カスタマバーコードは、印 刷業者にて生成・印刷する ため（印刷専用社会保険 フォントがカスタマバー コード文字情報には対応し ていないため）		
3	H26. 12. 17	H27. 09. 24S	変更	P13～ P19～ P22～ P25～	表3. 1-1の以下の項目説明に公 務員共済および私学共済の情報 項目を追加 ・ねんきん定期便基本レコード ・ねんきん定期便簡易見込額レ コード ・ねんきん定期便詳細見込額レ コード ・ねんきん定期便直近1 年月別 状況レコード	「被用者年金一元化に伴う システム開発」イベント （開発指示書番号 25-KNR- 0163、25-KNR-0232）	2. 0	
				p29	表3. 1-1の加入制度の説明欄か ら国年、合算を削除			
				P34～ P39～ P44～ P49～	図3. 2-1の以下の項目説明に公 務員共済および私学共済の情報 項目を追加 ・ねんきん定期便基本レコード ・ねんきん定期便簡易見込額レ コード ・ねんきん定期便詳細見込額レ コード ・ねんきん定期便直近1 年月別 状況レコード			
4	H27. 08. 31	H27. 09. 24S	変更	表3. 1-2	被保険者区分から地共現存者を 削除	「被用者年金一元化に伴う システム開発」イベント （開発指示書番号 25-KNR- 0163、25-KNR-0232）	2. 1	
5	H27. 12. 10	H28. 04. 01S	変更	表3. 1-1	基本レコードに対し、 ・新規項目「納付猶予月数（再 掲）」、「特定期間月数（再 掲）」を追加 ・既存項目「学生納付特例等月 数」、「任意加入未納月数」、 「合算対象期間」の設定値等欄 を変更	年金事業運営改善法（国年 保険料の納付猶予制度の対 象者拡大）に伴うシステム 開発（H 2 8 . 4 . 1 s）	3. 0	
				表3. 1-1	直近1 年月別状況レコードに対 し、 ・新規項目「納付猶予月数（再 掲）」を追加 ・既存項目「学生納付特例等月 数」の説明欄を変更			
				表3. 1-6	・納付状況パターンに「納付猶 予」、「納付猶予追納」を追加 ・学生納付特例の編集内容を 「学生特例等」から「△学生特 例△」に変更			
				図3. 2-1	基本レコードに対し、 ・新規項目「納付猶予月数（再 掲）」、「特定期間月数（再 掲）」を追加			
				図3. 2-1	直近1 年月別状況レコードに対 し、 ・新規項目「納付猶予月数（再 掲）」を追加			
6	H28. 06. 15	H28. 10. 03S	変更	表3. 1-6	・納付状況パターンに「抽出年 月日の前々月が未納、半額未 納、1 / 4 額未納、3 / 4 額未 納である場合」を追加	「ねんきん定期便」におけ る国民年金保険料の納付表 示の改善（H28. 10. 3s） （開発指示書番号 28-基シ KR1-0041）	4. 0	

変更履歴表							ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書	
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V/R	記事
7	H29.02.08	H29.02S	変更	P.1 表2.1.2-1 P.7	記録媒体の変更（DVD-RW→DVD-R）に伴う記載の変更	「個人情報保護委員会および内閣サーバセキュリティセンターの監査に伴う問合せ対応」 （開発指示書番号 28-シ企CSI-0506）	5.0	
8	H29.01.26	H29.04.24S	変更	表3.1-1	基本レコードに対し、 ・既存項目「再発行表示」の説明欄を変更	住所変更処理を契機とした「ねんきん定期便」の再発行のハガキ化についてのシステム開発（H29.4.24s） （開発指示書番号 28-基シKR1-0165）	6.0	
				表3.1-1	簡易見込額レコードに対し、 ・既存項目「再発行表示」の説明欄を変更			
				表3.1-1	詳細見込額レコードに対し、 ・既存項目「再発行表示」の説明欄を変更			
				表3.1-1	直近一年月別状況レコードに対し、 ・既存項目「再発行表示」の説明欄を変更			
9	H29.05.09	H29.10.02	追加	P.7	分割区分について機構単独であり、かつ前半者の場合の分割区分を追加	「ねんきん定期便」における作成対象者抽出スケジュールの変更および厚生年金保険料の月別状況表示の対応についてのソフトウェア提供サービス（H29.10.2s） （開発指示書番号 28-シ企CSI-0436）	7.0	
				表2.1.2-5	前半者の通知対象年齢のボリューム名、ファイル名を追加			
			変更	表2.1.2-5	表2.1.2-5に対し、通知対象年齢、ファイル名、及びDVD名称を変更 <通知対象年齢、ファイル名の変更> ・21～26歳→21～29歳 ・27～32歳 →30～34歳、36～39歳 ファイル名：C27Z11～C27Z51 →C30Z11～C30Z51 ・33、34歳、36～39歳 →40～44歳、46歳～49歳 ファイル名：C33Z11～C33Z51 →C40Z11～C40Z51 ・40～44歳→削除 ・46～49歳→削除 ・50歳→削除 ・52～55歳、58歳 →50～54歳 ファイル名：C52K11～C52K51 →C50K11～C50K51 ・51、56、57歳 →55～58歳、60歳 ファイル名：C51K11～C51K51 →C55K11～C55K51 ・60歳→削除 <DVD名称の変更> ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）（60歳以上者通知） →ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）（61歳以上者通知）			
				表2.1.2-6	・前半者通知の設定値欄を下記の通りに変更 最大6年齢→最大9年齢 ・後半者通知の設定値欄を下記の通りに変更 最大6年齢→最大5年齢 ・60歳以上者通知の抽出対象の年齢欄から60歳を削除し、後半者通知の抽出対象の年齢欄へ60歳を追加			
				表2.1.2-7	・60歳以上者通知の通知対象の年齢欄から60歳を削除し、後半者通知の抽出対象の年齢欄へ60歳を追加			

変更履歴表						ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書		
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V／R	記事
10	H29.12.18	H30.3S	変更	表3.1-1 P13 P19 P22 P26	・項番22（住民票コード収録状況）説明のコード値「0」～「3」の記載削除	【下期固有案件】ねんきん定期便住基情報交換ルートの廃止作業（H30.3s） （開発指示書番号：29-基シKR1-0142）	8.0	
11	H30.01.05	H30.4S	変更	表3.1-1	・NEKO申請者表示の説明欄から「1」「2」の記載を削除 ・ねんきん定期便基本レコードに対し、新規項目「年齢情報」を追加	制度改正及び業務改善に伴う「ねんきんネット」のシステム開発についてのシステム開発にかかるソフトウェア提供サービス【記録管理・基礎年金番号管理システム】（2018年4月2日サービス開始）	9.0	
				図3.2-1	・ねんきん定期便基本レコードに対し、新規項目「年齢情報」を追加			
			追加	表3.1-7	・「年齢情報」のコード値一覧を追加			
12	H30.05.23	H31.4S	追加	表3.1-1	基本レコードに対し、新規項目「産前産後月数」を追加	国民年金第1号被保険者の産前産後期間の保険料免除に伴うシステム開発にかかるソフトウェア提供サービス 〈開発指示書番号：29-基シKR1-0207〉	10.0	
			変更		基本レコードを下記の通り変更 ・基本情報部の最終項目「未使用」のバイト数を15から12に変更 ・「納付済月数」は産前産後期間を含まないため説明欄の記載を変更			
			追加	表3.1-1	直近1年月別状況レコードに対し、新規項目「産前産後月数」を追加			
			変更		直近1年月別状況レコードを下記の通り変更 ・「納付済月数」は産前産後期間を含まないため説明欄の記載を変更 ・直近1年月別情報部の「未使用」のバイト数を8から5に変更			
			追加	表3.1-6 図3.2-1	納付状況パターンに「産前産後免除期間である場合」、「産前産後免除期間である場合＋付加納付」を追加			
					基本レコードに対し、新規項目「産前産後月数」を追加			
					直近1年月別状況レコードに対し、新規項目「産前産後月数」を追加			
			13	R01.06.07	R01.10.10S			
変更	基本レコードを下記の通り変更 ・共通部の最終項目「未使用」のバイト数を2から1に変更							
追加	表3.1-1	簡易見込額レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加						
変更		簡易見込額レコードを下記の通り変更 ・共通部の最終項目「未使用」のバイト数を2から1に変更						

変更履歴表						ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書		
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V/R	記事
13	R01.06.07	R01.10.10S	追加	表3.1-1	詳細見込額レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加	共済区分コードに関する「ねんきん定期便」記録抽出エラー対応 ＜開発指示書番号：H31-シ企CSI-0006＞	11.0	
			変更		詳細見込額レコードを下記の通り変更 ・共通部の最終項目「未使用」のバイト数を2から1に変更			
			追加	表3.1-1	直近1年月別状況レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加			
			変更		直近1年月別状況レコードを下記の通り変更 ・共通部の最終項目「未使用」のバイト数を2から1に変更			
			追加	図3.2-1	基本レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加			
					簡易見込額レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加			
					詳細見込額レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加			
					直近1年月別状況レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加			
14	R01.11.15	R02.02.03S	追加	表3.1-1	詳細見込額レコードに対し、新規項目「70歳繰下げ時見込額」を追加	ねんきん定期便にかかる表示の改善等に伴うシステム開発	12.0	
			変更		詳細見込額レコードの「詳細見込額情報部」および「共済詳細見込額情報部」の説明欄について詳細見込額が算出不可の場合の設定値を半角スペースから半角7スタリクに変更			
					詳細見込額レコードの最終項目「未使用」のバイト数およびロケーションを変更 ・バイト数：449→439 ・ロケーション：451→461			
			追加	図3.2-1	詳細見込額レコードに対し、新規項目「70歳繰下げ時見込額」を追加			
			変更		詳細見込額レコードの最終項目「未使用」のバイト数およびロケーションを変更 ・バイト数：449→439 ・ロケーション：451→461			
			追加	表3.1-7	通知年齢に61歳～99歳以上を追加			
			変更		通知年齢の60歳以上を60歳に変更			
15	R02.01.10	R02.08.03S	追加	表3.1-1	簡易見込額レコードに対し、新規項目「昨年簡易見込額」、「昨年抽出年月」、「生年月日訂正表示」、「年金見込額減額表示」を追加	ねんきん定期便にかかる表示の改善等に伴うシステム開発	13.0	

変更履歴表							ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書	
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V/R	記事
15	R02.01.10	R02.08.03S	変更	表3.1-1	簡易見込額レコードの「簡易見込額情報部」および「共済簡易見込額情報部」の説明欄について簡易見込額が算出不可の場合の設定値を半角スペースから半角7スペースに変更	ねんきん定期便にかかる表示の改善等に伴うシステム開発	13.0	
			変更		簡易見込額レコードの最終項目「未使用」のﾊﾞｲﾄ数およびﾎﾟｹｰｼｮﾝを変更 ・ﾊﾞｲﾄ数:591→573 ・ﾎﾟｹｰｼｮﾝ:309→327			
			追加	図3.2-1	簡易見込額レコードに対し、新規項目「昨年簡易見込額」、「昨年抽出年月」、「生年月日訂正表示」、「年金見込額減額表示」を追加			
			変更		簡易見込額レコードの最終項目「未使用」のﾊﾞｲﾄ数およびﾎﾟｹｰｼｮﾝを変更 ・ﾊﾞｲﾄ数:591→573 ・ﾎﾟｹｰｼｮﾝ:309→327			
16	R02.08.27	R03.02.01S	変更	表3.1-1	基本レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更	「ねんきん定期便」のお知らせ内容及び記載の改善についてのシステム開発にかかるソフトウェア提供サービス（R3.2.1s）	14.0	
					簡易見込額レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
					詳細見込額レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
					直近1年月別状況レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
			変更	図3.2-1	基本レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
					簡易見込額レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
					詳細見込額レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
					直近1年月別状況レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
17	R02.11.06	R03.02.01S	変更	表3.1-1	基本レコードに対し、新規項目「住所情報塗替え表示」を追加	「ねんきん定期便」未送達者にかかる対応（R3.2.1s）	14.1	
					基本レコードの最終項目「未使用」のﾊﾞｲﾄ数およびﾎﾟｹｰｼｮﾝを変更 ・ﾊﾞｲﾄ数:2→1 ・ﾎﾟｹｰｼｮﾝ:898→899			
				図3.2-1	基本レコードに対し、新規項目「住所情報塗替え表示」を追加			

変更履歴表						ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書		
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V/R	記事
17	R02.11.06	R03.02.01S	変更	図3.2-1	基本レコードの最終項目「未使用」のﾊﾞｲﾄ数およびﾎﾟｹｰｼｮﾝを変更 ・ﾊﾞｲﾄ数:2→1 ・ﾎﾟｹｰｼｮﾝ:898→899	「ねんきん定期便」未送達者にかかる対応（R3.2.1s）	14.1	
18	R03.08.30	R04.02.01S	変更	表3.1-1	詳細見込額レコードに対し、新規項目「60歳繰上げ時見込額」、「75歳繰下げ時見込額」、「繰上げ下げ時見込額予備1」、「繰上げ下げ時見込額予備2」を追加	繰下げ受給の柔軟化にかかるシステム開発（R4.2.1s）	15.0	
					「70歳繰下げ時見込額」の説明欄の記載を「繰下げ時見込額情報部」の説明欄に集約			
					詳細見込額レコードの最終項目「未使用」のﾊﾞｲﾄ数およびﾎﾟｹｰｼｮﾝを変更 ・ﾊﾞｲﾄ数:439→399 ・ﾎﾟｹｰｼｮﾝ:461→501			
				図3.2-1	詳細見込額レコードに対し、新規項目「60歳繰上げ時見込額」、「75歳繰下げ時見込額」、「繰上げ下げ時見込額予備1」、「繰上げ下げ時見込額予備2」を追加 詳細見込額レコードの最終項目「未使用」のﾊﾞｲﾄ数およびﾎﾟｹｰｼｮﾝを変更 ・ﾊﾞｲﾄ数:439→399 ・ﾎﾟｹｰｼｮﾝ:461→501			
19	R04.10.13	R05.02.13S	変更	表2.1.2-5	ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）（61歳以上者通知）の通知対象年齢を変更 ・61歳以上→61歳以上（被保険者）	ねんきん定期便61歳以上受給者の媒体振り分け（仮）	16.0	
			追加		ねんきん定期便通知情報DVD（61歳以上者通知）の61歳以上（受給者）のボリューム名（正）、ボリューム名（副）、ファイル名、備考に追加。			
			変更		ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）（共済61歳以上者通知）の通知対象年齢を変更 ・61歳以上→61歳以上（被保険者）			
			追加		ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）（共済61歳以上者通知）の61歳以上（受給者）のボリューム名（正）、ボリューム名（副）、ファイル名、備考に追加。			
			変更	表2.1.2-7	項番3の「通知区分」と「通知対象の年齢」を変更 ・通知区分:60歳以上者通知→60歳以上者通知（被保険者） ・通知対象の年齢:61歳以上の全年齢→61歳以上の全年齢（被保険者）			
			追加		項番3-1の「通知区分」に「60歳以上者通知（受給者）」を追加			
			変更		項番6の「通知区分」と「通知対象の年齢」を変更 ・通知区分:共済60歳以上者通知→共済60歳以上者通知（被保険者） ・通知対象の年齢:61歳以上の全年齢→61歳以上の全年齢（被保険者）			
			追加		項番6-1の「通知区分」に「共済61歳以上者通知（受給者）」を追加			

変更履歴表						ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書		
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V／R	記事
19	R04. 10. 13	R05. 02. 13S	変更	表3. 1-1	以下のレコードにおいて、項番23「未使用」を「老齢年金受給者表示」に変更 基本レコード 簡易見込額レコード 詳細見込額レコード 直近1年月別状況レコード	ねんきん定期便61歳以上受給者の媒体振り分け（仮）	16. 0	
					以下のレコードにおいて、表示部の「老齢年金受給者表示」を「未使用」に変更 基本レコード 詳細見込額レコード			
				図3. 2-1	以下のレコードにおいて、共通部の最終項目「未使用」を「老齢年金受給者表示」に変更 基本レコード 簡易見込額レコード 詳細見込額レコード 直近1年月別状況レコード			
					以下のレコードにおいて、表示部の「老齢年金受給者表示」を「未使用」に変更 基本レコード 詳細見込額レコード			

目 次

	頁
第1 基本的事項	1
1. 1 目的	1
1. 2 規定にあたっての基本的な考え方	1
第2 具体的事項	2
2. 1 電子媒体関係	2
2. 1. 1 電子媒体の種類	2
2. 1. 2 共通規定事項	3
(1) ハード仕様	3
(2) ソフト仕様	4
(3) ボリューム名及びファイル名	7
2. 2 データ作成規定	10
2. 2. 1 レコードの種類と格納順序	10
2. 2. 2 レコード構成と詳細	11
2. 2. 3 0件時のファイル作成有無について	11
第3 個別事項	12
3. 1 データレコードの項目説明	12
3. 2 データレコードのレコードフォーマット	12
第4 貼付ラベル規定	57
第5 文字コード規定	59
第6 留意事項	60

印刷専用社会保険フォント一覧（別添）

第 1 基本的事項

1. 1 目的

この仕様書は、日本年金機構が「ねんきん定期便（直近 1 年出力者）」の作成委託を行うにあたり、受託業者に対して行われる作成情報の提供に使用する電子媒体の仕様を定めたものです。

1. 2 規定にあたっての基本的な考え方

規定については、日本工業規格（JIS）に基づいて作成しました。
具体的には、JIS X 6249（DVD-レコーダブルディスク（DVD-R））に準じた仕様としています。

尚、使用する文字コードは 1 バイト文字は JIS 8 ビットコード、2 バイト文字は Shift-JIS コードとしました。

第2 具体的事項

2. 1 電子媒体関係

2. 1. 1 電子媒体の種類

表 2. 1. 1 - 1 電子媒体の種類

DVD種類	ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）
作成元	日本年金機構
送付先	被保険者
収録概要	ねんきん定期便の作成情報

2. 1. 2 共通規定事項

(1) ハード仕様

ハード仕様の項目とその内容は、表 2. 1. 2-1 の通りです。

表 2. 1. 2-1 電子媒体のハード仕様

項番	項目	内容	備考
1	記録型DVD規格	DVD-R	DVD+R、 DVD-R DL、 DVD+R DLは使用不可
2	ディスク外径	120mm	
3	記録方式	有機色素を使用した記録方式	
4	レーザー波長	650nm	
5	記録容量	4.7GB (片面)	記録可能容量 ディスク1枚あたり : 4.37GB 1ファイルあたり : 1.90GB
6	記録方式	UDF方式	UDF2.01
7	書込方式	パケットライト	UDF形式でサポート ※書込み時は必ずセッション を閉じる

(2) ソフト仕様

ア) 電子媒体のソフト仕様

ソフト仕様の項目とその内容は、表 2. 1. 2-2 の通りです。

表 2. 1. 2-2 電子媒体のソフト仕様

項番	項目	内容	備考
1	ボリューム名	半角英数字で10桁以内	
2	ファイル名	半角英数字で19桁以内 (ファイル名後の「. (ドット) + 拡張子」 の計4桁除く)	
3	レコード形式	ねんきん定期便 (直近1年出力者) 固定長レコード (レコード区切り無し) レコード長 900 バイト	
4	データ属性	1 バイト文字または 2 バイト文字	
5	内部コード	1 バイト文字: J I S 8 ビットコード 2 バイト文字: S h i f t - J I S コード	別添の印刷専用社会保険 フォント一覧を参照
6	収録形式	シングルファイル/シングルボリューム	

イ) ソフト仕様の補足説明

ソフト仕様に関する補足説明は、以下の通りです。

① データ属性 (1 バイト文字又は、2 バイト文字)

データの各 1 文字を 1 バイト (8 ビット) で表す形式の文字を 1 バイト文字、
データの各 1 文字を 2 バイト (16 ビット) で表す形式の文字を 2 バイト文字と
いいます。

② 内部コード (J I S 8 ビットコード及び S h i f t - J I S コード)

電子計算組織内の処理において、文字等を表わすために用いる符号です。

③ 収録形式

収録形式は、表 2. 1. 2－3 の通りです。

表 2. 1. 2－3 収録形式

項番	収録形式	データの収録形態	電子媒体の形態
1	シングルファイル／ シングルボリューム	1 枚に 1 暗号化後 ファイルを収録	 ← ファイル (1)

④ レコード形式

- ・固定長レコード（レコード区切り無し）

バイナリ属性を含め、任意のデータ属性を格納したレコードで使用可能な形式。
データ部に関しては、区切りのない一つのファイルとする。

← データ A →	← データ B →	← データ C →
-----------	-----------	-----------

ウ) 暗号化処理方式

電子媒体の暗号化処理方式は、表 2. 1. 2-4 の通りです。

表 2. 1. 2-4 電子媒体の暗号化処理方式

項番	項目	内容	備考
1	自己解凍形式	A E S に準拠した暗号化製品による自己解凍形式とする。	
2	パスワード	1 6 桁の半角英数字とする。	
3	暗号化後 ファイル名	ファイル名の末尾に「. exe」を付与する。	ファイル名は、表 2. 1. 2-5 参照

(3) ボリューム名及びファイル名

DVD-Rのボリューム名及びファイル名は、表2. 1. 2-5の通りです。

DVD-Rには、暗号化後のファイル（ファイル名後の「.（ドット）+拡張子」含む）を収録します。

(注) ファイル名付与規則

<u>C₀</u>	<u>C₁</u>	<u>C₂</u>	<u>C₃</u>	<u>C₄</u>	<u>C₅</u>
①	②	③	④	⑤	⑥

①ファイル種別・・・C（ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者））

②③抽出年齢・・・抽出年齢のうち最小の抽出年齢を表示。

設定値の詳細は表2. 1. 2-6を参照。

例) 抽出年齢が15歳～20歳の場合、“15”を表示

④通知区分・・・通知区分をアルファベット1文字で表示。

設定値の詳細は表2. 1. 2-7を参照。

⑤分割区分・・・分割区分を以下のとおりに表示。

・機構単独であり、かつ前半者の場合

1回の走行にて9ファイルに分割して作成する。

(1ファイル目) “1”：初回抽出①

(2ファイル目) “2”：初回抽出②

(3ファイル目) “3”：初回抽出③

(4ファイル目) “4”：初回抽出④

(5ファイル目) “5”：再発行

(6ファイル目) “6”：初回抽出⑤

(7ファイル目) “7”：初回抽出⑥

(8ファイル目) “8”：初回抽出⑦

(9ファイル目) “9”：初回抽出⑧

・機構単独の場合

1回の走行にて5ファイルに分割して作成する。

(1ファイル目) “1”：初回抽出①

(2ファイル目) “2”：初回抽出②

(3ファイル目) “3”：初回抽出③

(4ファイル目) “4”：初回抽出④

(5ファイル目) “5”：再発行

・共済関連の場合

1回の走行にて2ファイルに分割して作成する。

(1ファイル目) “1”：初回抽出

(2ファイル目) “2”：再発行

⑥分割内通番・・・“1”固定

(⑤分割区分内でファイル分割した場合に、通番を付与予定)

表 2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名

回付方向	DVD名称	通知対象年齢	ボリューム名 (正)	ボリューム名 (副)	ファイル名	備考
日本年金機構 ↓ 受託業者	ねんさん定期便通知情報DVD (直近1年出力者) (前半者通知)	15～20歳	PAT01A	PAT01B	C15Z11	初回抽出①
			PAT02A	PAT02B	C15Z21	初回抽出②
			PAT03A	PAT03B	C15Z31	初回抽出③
			PAT04A	PAT04B	C15Z41	初回抽出④
			PAT05A	PAT05B	C15Z51	再発行
			PATB1A	PATB1B	C15Z61	初回抽出⑤
			PATB2A	PATB2B	C15Z71	初回抽出⑥
			PATB3A	PATB3B	C15Z81	初回抽出⑦
			PATB4A	PATB4B	C15Z91	初回抽出⑧
		21～29歳	PAT06A	PAT06B	C21Z11	初回抽出①
			PAT07A	PAT07B	C21Z21	初回抽出②
			PAT08A	PAT08B	C21Z31	初回抽出③
			PAT09A	PAT09B	C21Z41	初回抽出④
			PAT10A	PAT10B	C21Z51	再発行
			PATC1A	PATC1B	C21Z61	初回抽出⑤
			PATC2A	PATC2B	C21Z71	初回抽出⑥
			PATC3A	PATC3B	C21Z81	初回抽出⑦
			PATC4A	PATC4B	C21Z91	初回抽出⑧
		30～34歳、 36～39歳	PAT11A	PAT11B	C30Z11	初回抽出①
			PAT12A	PAT12B	C30Z21	初回抽出②
			PAT13A	PAT13B	C30Z31	初回抽出③
			PAT14A	PAT14B	C30Z41	初回抽出④
			PAT15A	PAT15B	C30Z51	再発行
			PATD1A	PATD1B	C30Z61	初回抽出⑤
			PATD2A	PATD2B	C30Z71	初回抽出⑥
			PATD3A	PATD3B	C30Z81	初回抽出⑦
			PATD4A	PATD4B	C30Z91	初回抽出⑧
		40～44歳、 46～49歳	PAT16A	PAT16B	C40Z11	初回抽出①
			PAT17A	PAT17B	C40Z21	初回抽出②
			PAT18A	PAT18B	C40Z31	初回抽出③
			PAT19A	PAT19B	C40Z41	初回抽出④
			PAT20A	PAT20B	C40Z51	再発行
			PATE1A	PATE1B	C40Z61	初回抽出⑤
			PATE2A	PATE2B	C40Z71	初回抽出⑥
			PATE3A	PATE3B	C40Z81	初回抽出⑦
			PATE4A	PATE4B	C40Z91	初回抽出⑧
	ねんさん定期便通知情報DVD (直近1年出力者) (後半者通知)	50～54歳	PAT36A	PAT36B	C50K11	初回抽出①
			PAT37A	PAT37B	C50K21	初回抽出②
			PAT38A	PAT38B	C50K31	初回抽出③
			PAT39A	PAT39B	C50K41	初回抽出④
			PAT40A	PAT40B	C50K51	再発行
		55～58歳、 60歳	PAT41A	PAT41B	C55K11	初回抽出①
			PAT42A	PAT42B	C55K21	初回抽出②
			PAT43A	PAT43B	C55K31	初回抽出③
			PAT44A	PAT44B	C55K41	初回抽出④
			PAT45A	PAT45B	C55K51	再発行
	ねんさん定期便通知情報DVD (直近1年出力者) (61歳以上者通知)	61歳以上 (被保険者)	PAT51A	PAT51B	C61R11	初回抽出①
			PAT52A	PAT52B	C61R21	初回抽出②
			PAT53A	PAT53B	C61R31	初回抽出③
			PAT54A	PAT54B	C61R41	初回抽出④
			PAT55A	PAT55B	C61R51	再発行
		61歳以上 (受給者)	PAT5AA	PAT5AB	C61J11	初回抽出①
			PAT5BA	PAT5BB	C61J21	初回抽出②
			PAT5CA	PAT5CB	C61J31	初回抽出③
			PAT5DA	PAT5DB	C61J41	初回抽出④
			PAT5EA	PAT5EB	C61J51	再発行
		15～49歳	PAT71A	PAT71B	C15A11	初回抽出
			PAT72A	PAT72B	C15A21	再発行
	ねんさん定期便通知情報DVD (直近1年出力者) (共済後半者通知)	50～60歳	PAT73A	PAT73B	C50B11	初回抽出
			PAT74A	PAT74B	C50B21	再発行
	ねんさん定期便通知情報DVD (直近1年出力者) (共済61歳以上者通知)	61歳以上 (被保険者)	PAT75A	PAT75B	C61C11	初回抽出
			PAT76A	PAT76B	C61C21	再発行
		61歳以上 (受給者)	PAT7AA	PAT7AB	C61D11	初回抽出
			PAT7BA	PAT7BB	C61D21	再発行

表 2. 1. 2-6 抽出年齢の設定値

通知区分	抽出対象の年齢	設定値
前半者通知	15、16、17、18、19、20、21、 22、23、24、25、26、27、28、 29、30、31、32、33、34、36、 37、38、39、40、41、42、43、 44、46、47、48、49	左記年齢の中で抽出対象とした年 齢（最大9年齢）のうち、最小の 年齢を設定
後半者通知	50、51、52、53、54、55、56、 57、58、60	左記年齢の中で抽出対象とした年 齢（最大5年齢）のうち、最小の 年齢を設定
60歳以上者通知	61以上の全ての年齢	“61” 固定
共済前半者通知	15、16、17、18、19、20、21、 22、23、24、25、26、27、28、 29、30、31、32、33、34、35、 36、37、38、39、40、41、42、 43、44、45、46、47、48、49	“15” 固定
共済後半者通知	50、51、52、53、54、55、56、 57、58、59、60	“50” 固定
共済61歳以上者通知	61以上の全ての年齢	“61” 固定

表 2. 1. 2-7 通知区分の設定値

項番	設定値	通知区分	通知対象の年齢
1	Z	前半者通知	15～34歳、36～44歳、46～49歳
2	K	後半者通知	50～58歳、60歳
3	R	60歳以上者通知 (被保険者)	61歳以上の全年齢（被保険者）
3-1	J	60歳以上者通知 (受給者)	61歳以上の全年齢（受給者）
4	A	共済前半者通知	15～49歳
5	B	共済後半者通知	50～60歳
6	C	共済61歳以上者通知 (被保険者)	61歳以上の全年齢（被保険者）
6-1	D	共済61歳以上者通知 (受給者)	61歳以上の全年齢（受給者）

2. 2 データ作成規定

2. 2. 1 レコードの種類と格納順序

「ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）」は、直近1年の加入状況により、1人当りのレコード数が異なります。

レコード毎に付与された封入封緘コードが同一の間、1被保険者の情報が格納されています。

ファイルに収録されるデータレコードの種類及びソート項目を表2. 2. 1-1に示します。データレコード毎の格納条件を表2. 2. 1-2に示します。

表2. 2. 1-1 データレコードの種類及びソート項目

項番	ファイル名	データレコード名	ソート項目【昇順】
1	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）	注) ねんきん定期便基本レコード	①再発行表示 ②被保険者区分 ③地共現存共済組合員情報 ④カスタマバーコード有無表示 ⑤郵便番号 ⑥基礎年金番号 ⑦レコード区分 ⑧レコード内通番
2		注) ねんきん定期便簡易見込額レコード	
3		注) ねんきん定期便詳細見込額レコード	
4		注) ねんきん定期便直近1年月別状況レコード	

注) ねんきん定期便通知情報レコードと総称する

表 2. 2. 1 - 2 データレコード毎の格納条件

項番	データレコード名	レコード 区分	1 被保険者の格納件数		
			前半者 通知	後半者 通知	6 0 歳 以上者 通知
1	基本レコード	1	1 件		
2	簡易見込額レコード	2	1 件	0 件	
3	詳細見込額レコード	3	0 件	1 件	
4	直近 1 年月別状況レコード	8	5 ～ 2 6 件 ※ 1 レコードに最大 3 件の直近 1 年月別情報を格納		

2. 2. 2 レコード構成と詳細

当仕様書で扱う電子媒体についてのレコード構成及び内容は、「第 3 個別事項」の「3. 1 データレコードの項目説明」を参照願います。

2. 2. 3 0 件時のファイル作成有無について

出力対象となるレコードが 0 件の場合は、空データのファイルを作成します。

第3 個別事項

3. 1 データレコードの項目説明

ねんきん定期便通知情報レコードの項目説明を表3. 1－1に示します。

3. 2 データレコードのレコードフォーマット

ねんきん定期便通知情報レコードのレコードフォーマットを図3. 2－1に示します。

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便基本レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
1	共通部	-	-	-	-	-
2	基礎年金番号	C	11	0	"XXXX-XXXXXX"形式	
3	封入封緘コード	C	13	11	"XXX-XXXXXXXX"形式	設定内容の詳細は表3. 1-2参照
4	地共現存共済組合員情報	C	28	24	"XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXXXXXX"形式	オールスペースの場合がある。
5	レコード区分	C	1	52	"X"形式	1：ねんきん定期便基本レコード
6	レコード内通番	9	3	53	"999"形式	"001"固定
7	郵便番号	C	8	56	"XXX-XXX"形式	左詰めで設定し、残りは半角スペースを設定。（3桁、5桁の場合がある） オールスペースの場合がある。
8	共通表示部	-	-	-	-	-
9	再発行表示	C	1	64	"X"形式	0：初回発送 1：再発行 2：再発行（住所変更契機）
10	ねんきん特別便通知種別	C	1	65	"X"形式	表3. 1-3参照
11	ねんきん特別便確認有無表示	C	1	66	"X"形式	表3. 1-4参照
12	ねんきん特別便未送達表示	C	1	67	"X"形式	表3. 1-5参照
13	NEKO申請者表示	C	1	68	"X"形式	0：年金個人情報提供対象者でない
14	カスタマバーコード有無表示	C	1	69	"X"形式	0：バーコード無し 1：バーコード有り
15	特定被保険者表示	C	1	70	"X"形式	0：特定者でない A：特定被保険者A B：特定被保険者B C：特定被保険者C D：特定被保険者D
16	納付拒否表示	C	1	71	"X"形式	0：納付拒否者でない 1：納付拒否者である
17	国年不在者表示	C	1	72	"X"形式	0：国年不在者でない 1：国年不在者である
18	国年特別一時金表示	C	1	73	"X"形式	0：国年特別一時金保有者でない 1：国年特別一時金保有者である
19	資格記録数超過表示	C	1	74	"X"形式	0：職歴明細超過者でない 1：職歴明細超過者である
20	警告事故者表示	C	1	75	"X"形式	0：警告事故者でない 1：警告事故者である
21	共済記録保有者表示	C	1	76	"X"形式	0：共済記録保有者でない 1：共済記録保有者である
22	マイナンバー収録状況	C	1	77	"X"形式	0：未収録 1：収録済 2：非保有理由者（短期在留外国人） 3：非保有理由者（海外居住） 4：非保有理由者（外国人脱退一時金受給者） 5：非保有理由者（性別変更者） 6：非保有理由者（その他） 7：未収録（基礎年金番号無効）
22-1	地共済未移行（旧三共済）有無表示	C	1	78	"X"形式	0：地共済未移行（旧三共済）でない 1：地共済未移行（旧三共済）である
23	老齢年金受給者表示	C	1	79	"X"形式	0：老齢年金受給者でない 1：老齢年金受給者である ただし、前半者通知の場合、半角スペースを設定。

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便基本レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
24	基本情報部	-	-	-		-
25	抽出年月日	-	-	-		抽出年月日を設定する
26	抽出年元号	C	8	80	"XX"形式	元号を漢字で設定
27	抽出年	C	2	88	"Z9"形式	
28	抽出月	C	2	90	"Z9"形式	
29	抽出日	C	2	92	"Z9"形式	
30	郵便番号	C	8	94	"XXX-XXXX"形式	左詰めで設定し、残りは半角スペースを設定。(3桁、5桁の場合がある) オールスペースの場合がある。
31	住所情報1行目	-	-	-		-
32	住所1行目有効データ長	9	3	102	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
33	住所1行目印字桁数	9	3	105	"999"形式	住所(1行目)の印字桁数。漢字は2桁。セロの場合がある。
34	住所1行目	C	62	108	半角英数文字・全角(漢字)混在	住所(1行目)の実データを左詰めで設定。残りは半角スペースを設定。 オールスペースの場合がある。
35	住所情報2行目	-	-	-		-
36	住所2行目有効データ長	9	3	170	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
37	住所2行目印字桁数	9	3	173	"999"形式	住所(2行目)の印字桁数。漢字は2桁。セロの場合がある。
38	住所2行目	C	62	176	半角英数文字・全角(漢字)混在	住所(2行目)の実データを左詰めで設定。残りは半角スペースを設定。 オールスペースの場合がある。
39	住所情報3行目	-	-	-		-
40	住所3行目有効データ長	9	3	238	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
41	住所3行目印字桁数	9	3	241	"999"形式	住所(3行目)の印字桁数。漢字は2桁。セロの場合がある。
42	住所3行目	C	56	244	半角英数文字・全角(漢字)混在	住所(3行目)の実データを左詰めで設定。残りは半角スペースを設定。 オールスペースの場合がある。
43	氏名情報	-	-	-		-
44	氏名有効データ長	9	3	300	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
45	氏名印字桁数	9	3	303	"999"形式	氏名の印字桁数。漢字は2桁。
46	氏名	C	57	306	半角英数文字・全角(漢字)混在	氏名の実データを左詰めで設定。残りは半角スペースを設定。
47	様	C	6	363	"様"固定	氏名を宛先として使用するための "様"
48	未使用	C	23	369	半角スペース	
49	封入封緘コード	C	13	392	"XXX-XXXXXXXX"形式	設定内容の詳細は表3. 1-2参照

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便基本レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
50	共済組合員情報	C	28	405	"XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXX"形式	オールスペースの場合がある。
51	基礎年金番号	C	11	433	"XXXX-XXXXXX"形式	
52	照会番号	C	12	444	"XXXXXXXXXX"形式	
53	生年月日	-	-	-		
54	生年元号	C	8	456	"X X"形式	元号を漢字で設定
55	生年	C	2	464	"Z9"形式	
56	生年月	C	2	466	"Z9"形式	
57	生年日	C	2	468	"Z9"形式	
58	作成年月日	C	8	470	"99999999"形式	作成年月日（西暦）として 運転日付を設定する
59	未使用	C	12	478	半角スペース	
60	加入月数情報部	-	-	-	-	-
61	年金加入期間総合計1	C	3	490	"ZZ9"形式	
62	年金加入期間総合計2	C	3	493	"ZZ9"形式	-
63	第1号被保険者期間	-	-	-	-	-
64	第1号被保険者加入月数（未納除く）	C	3	496	"ZZ9"形式	
65	納付済月数	C	3	499	"ZZ9"形式	納付済月数の内、産前産後免除期間 に該当しない期間を『ZZ9』形式で設 定
65-1	産前産後月数	C	3	502	"ZZ9"形式	
66	全額免除月数	C	3	505	"ZZ9"形式	
67	4分の3免除月数	C	3	508	"ZZ9"形式	
68	半額免除月数	C	3	511	"ZZ9"形式	
69	4分の1免除月数	C	3	514	"ZZ9"形式	
70	学生納付特例等月数	C	3	517	"ZZ9"形式	学生納付特例月数と納付猶予月数を 加算した値を『ZZ9』形式で設定
70-1	納付猶予月数（再掲）	C	3	520	"ZZ9"形式	納付猶予月数を『ZZ9』形式で設定
71	未納月数	C	3	523	"ZZ9"形式	
72	第1号被保険者加入期間	C	3	526	"ZZ9"形式	
73	付加納付月数	C	3	529	"ZZ9"形式	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便基本レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
74	第2号被保険者期間	-	-	-	-	
75	第2号被保険者加入月数	C	3	532	"ZZ9"形式	
76	厚年月数	C	3	535	"ZZ9"形式	
77	厚年基金月数情報	C	5	538	"(ZZ9)"形式	
78	厚年期間	C	3	543	"ZZ9"形式	
79	厚年基金期間情報	C	5	546	"(ZZ9)"形式	
80	船保月数	C	3	551	"ZZ9"形式	
81	船保期間	C	3	554	"ZZ9"形式	
82	共済組合加入月数	C	3	557	"ZZ9"形式	
83	第3号被保険者期間	-	-	-	-	
84	第3号被保険者加入月数	C	3	560	"ZZ9"形式	
85	任意加入未納月数	C	5	563	"(ZZ9)"形式	任意加入未納月数と特定期間月数を加算した値を『(ZZ9)』形式で設定
85-1	特定期間月数（再掲）	C	5	568	"(ZZ9)"形式	特定期間月数を『(ZZ9)』形式で設定
86	合算対象算入月数	C	5	573	"(ZZ9)"形式	
87	合算対象期間	C	3	578	"ZZ9"形式	該当被保険者の任意加入未納月数、合算対象算入月数及び特定期間月数を加算した値を『ZZ9』形式で設定
88	保険料納付額情報	-	-	-		
89	保険料納付額合計 （国年＋厚船＋2・3号＋4号）1	C	10	581	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
90	保険料納付額合計 （国年＋厚船＋2・3号＋4号）2	C	10	591	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
91	保険料納付額（国年）	C	10	601	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
92	保険料納付額（厚船）	C	10	611	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
93	未使用	C	2	621	半角スペース	
94	表示部	-	-	-		
95	備考記録数超過表示	C	1	623	"X"形式	0：備考欄超過者でない 1：備考欄超過者である
96	未使用	C	1	624	"X"形式	半角スペースを設定
97	簡易見込額有無表示	C	1	625	"X"形式	0：簡易見込額無し 1：簡易見込額有り
98	詳細見込額有無表示	C	1	626	"X"形式	0：詳細見込額無し 1：詳細見込額有り

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便基本レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
99	直近1年月別状況有無表示	C	1	627	"X"形式	"1"固定
100	未使用	C	4	628	半角スペース	
101	期間重複表示	C	1	632	"X"形式	0:制度間期間重複無し 1:制度間期間重複有り
102	カスタマバーコード情報	-	-	-		
103	カスタマバーコード有効データ長	9	3	633	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
104	カスタマバーコード印字桁数	9	3	636	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
105	カスタマバーコード文字情報	C	101	639	半角英数文字・全角(漢字)混在	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
106	NEKOアクセスキー情報	-	-	-		
107	NEKOアクセスキー	C	17	740	"XXXXXXXXXXXXXXXXXX"形式	
108	QRコード情報	-	-	-		
109	識別区分	C	2	757	"XX"形式	
110	郵便物区分コード	C	7	759	"XXXXXXX"形式	
111	照会番号	9	12	766	"999999999999"形式	
112	作成年月日	9	8	778	"99999999"形式	
113	共済基本情報部	-	-	-		
114	第2・3号厚年情報抽出年月日	-	-	-		抽出年月日を設定する ※半角オールスペースの場合がある
115	抽出年元号	C	8	786	"XX"形式	元号を漢字で設定
116	抽出年	C	2	794	"Z9"形式	
117	抽出月	C	2	796	"Z9"形式	
118	抽出日	C	2	798	"Z9"形式	
119	第4号厚年情報抽出年月日	-	-	-		抽出年月日を設定する
120	抽出年元号	C	8	800	"XX"形式	元号を漢字で設定
121	抽出年	C	2	808	"Z9"形式	
122	抽出月	C	2	810	"Z9"形式	
123	抽出日	C	2	812	"Z9"形式	
124	通知番号情報	-	-	-		※半角オールスペースの場合がある

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便基本レコード

項番	項目名			フォーマット			設定値	説明
				属性	バイト数	ロケーション		
125		第2・3号加入者番号	C	15	814	"XXXXXXXXXXXXXX"形式		
126		第4号加入者番号	C	15	829	"XXXXXXXXXXXXXX"形式		
127	共済加入月数情報部			-	-	-		
128		第2号被保険者期間	-	-	-			
129		厚年月数（第2・3号）	C	3	844	"ZZ9"形式		半角オールスペースの場合がある
130		厚年旧職域月数情報（第2・3号）	C	5	847	"(ZZ9)"形式		半角オールスペースの場合がある
131		厚年期間（第2・3号）	C	3	852	"ZZ9"形式		半角オールスペースの場合がある
132		厚年旧職域期間情報（第2・3号）	C	5	855	"(ZZ9)"形式		半角オールスペースの場合がある
133		厚年月数（第4号）	C	3	860	"ZZ9"形式		半角オールスペースの場合がある
134		厚年旧職域月数情報（第4号）	C	5	863	"(ZZ9)"形式		半角オールスペースの場合がある
135		厚年期間（第4号）	C	3	868	"ZZ9"形式		半角オールスペースの場合がある
136		厚年旧職域期間情報（第4号）	C	5	871	"(ZZ9)"形式		半角オールスペースの場合がある
137	共済保険料納付額情報			-	-	-		
138		保険料納付額（2・3号）	C	10	876	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		半角オールスペースの場合がある
139		保険料納付額（4号）	C	10	886	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		半角オールスペースの場合がある
140	年齢情報			C	2	896	"XX"形式	設定内容の詳細は表3. 1-7 参照
141	住所情報塗替え表示			C	1	898	"X"形式	1：住所情報塗替え者である ※住所情報塗替え者でない場合は、 半角スペースを設定する
142	未使用			C	1	899	半角スペース	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便簡易見込額レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
1	共通部	-	-	-	-	-
2	基礎年金番号	C	11	0	"XXXX-XXXXXX"形式	
3	封入封緘コード	C	13	11	"XXX-XXXXXXXX"形式	設定内容の詳細は表3. 1-2 参照
4	地共現存共済組員情報	C	28	24	"XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXXXXXX"形式	オールスペースの場合がある。
5	レコード区分	C	1	52	"X"形式	2：ねんきん定期便簡易見込額レコード
6	レコード内通番	9	3	53	"999"形式	"001" 固定
7	郵便番号	C	8	56	"XXX-XXX"形式	左詰めで設定し、残りは半角スペースを設定。(3桁、5桁の場合がある) オールスペースの場合がある。
8	共通表示部	-	-	-	-	-
9	再発行表示	C	1	64	"X"形式	0：初回発送 1：再発行 2：再発行（住所変更契機）
10	ねんきん特別便通知種別	C	1	65	"X"形式	表3. 1-3 参照
11	ねんきん特別便確認有無表示	C	1	66	"X"形式	表3. 1-4 参照
12	ねんきん特別便未送達表示	C	1	67	"X"形式	表3. 1-5 参照
13	NEKO申請者表示	C	1	68	"X"形式	0：年金個人情報提供対象者でない
14	カスタムバーコード有無表示	C	1	69	"X"形式	0：バーコード無し 1：バーコード有り
15	特定被保険者表示	C	1	70	"X"形式	0：特定者でない A：特定被保険者A B：特定被保険者B C：特定被保険者C D：特定被保険者D
16	納付拒否表示	C	1	71	"X"形式	0：納付拒否者でない 1：納付拒否者である
17	国年不在者表示	C	1	72	"X"形式	0：国年不在者でない 1：国年不在者である
18	国年特別一時金表示	C	1	73	"X"形式	0：国年特別一時金保有者でない 1：国年特別一時金保有者である
19	資格記録数超過表示	C	1	74	"X"形式	0：職歴明細超過者でない 1：職歴明細超過者である
20	警告事故者表示	C	1	75	"X"形式	0：警告事故者でない 1：警告事故者である
21	共済記録保有者表示	C	1	76	"X"形式	0：共済記録保有者でない 1：共済記録保有者である
22	マイナンバー収録状況	C	1	77	"X"形式	0：未収録 1：収録済 2：非保有理由者（短期在留外国人） 3：非保有理由者（海外居住） 4：非保有理由者（外国人脱退一時金受給者） 5：非保有理由者（性別変更者） 6：非保有理由者（その他） 7：未収録（基礎年金番号無効）
22-1	地共済未移行（旧三共済）有無表示	C	1	78	"X"形式	0：地共済未移行（旧三共済）でない 1：地共済未移行（旧三共済）である
23	老齢年金受給者表示	C	1	79	"X"形式	0：老齢年金受給者でない 1：老齢年金受給者である ただし、前半者通知の場合、半角スペースを設定。

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便簡易見込額レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
24	簡易見込額情報部	-	-	-		高井戸検出事故、または期間重複により、簡易見込額が算出不可の場合、項番25～項番56はオール“*”（半角アスタリスク）となる
25	老齢年金見込額（基礎・厚年合計）1	-	-	-		
26	年額（基礎・厚年合計）	C	10	80	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
27	年額（基礎・厚年20年分合計）	C	10	90	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
28	老齢年金見込額（基礎・厚年合計）2	-	-	-		
29	年額（基礎・厚年合計）	C	10	100	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
30	月額（基礎・厚年合計）	C	10	110	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
31	老齢基礎年金見込額	-	-	-		
32	見込額年額（基礎）	C	10	120	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
33	納付済月数（基礎合計）	C	3	130	“ZZ9”形式	
34	基礎年金額	C	10	133	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
35	納付済月数（付加以外）	C	3	143	“ZZ9”形式	
36	見込額合計（付加以外）	C	10	146	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
37	納付済月数（付加）	C	3	156	“ZZ9”形式	
38	見込額合計（付加）	C	10	159	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
39	見込額総合計（基礎）	C	10	169	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	項番32と同値を設定
40	老齢厚生年金見込額	-	-	-		
41	見込額年額（老厚）	C	10	179	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
42	H15.3以前1	-	-	-		
43	平均標準報酬月額（H15.3以前）	C	10	189	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
44	加入月数（H15.3以前）	C	3	199	“ZZ9”形式	
45	H15.4以降1	-	-	-		
46	平均標準報酬額（H15.4以降）	C	10	202	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
47	加入月数（H15.4以降）	C	3	212	“ZZ9”形式	
48	H15.3以前2	-	-	-		
49	平均標準報酬月額（H15.3以前）	C	10	215	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	項番43と同値を設定

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便簡易見込額レコード

項番	項目名				フォーマット			設定値	説明		
					属性	バイト数	ロケーション				
50				給付乗率（H15.3以前）	C	5	225	”9.999”形式			
51				加入月数（H15.3以前）	C	3	230	”ZZ9”形式	項番44と同値を設定		
52				H15.4以降2			-	-	-		
53				平均標準報酬額（H15.4以降）			C	10	233	”ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	項番46と同値を設定
54				給付乗率（H15.4以降）			C	5	243	”9.999”形式	
55				加入月数（H15.4以降）			C	3	248	”ZZ9”形式	項番47と同値を設定
56				見込額総合計（厚年）			C	10	251	”ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	項番41と同値を設定
57				未使用			C	20	261	半角スペース	
58	高井戸検出事故コード				-	-	-				
59		事故内容コード			C	4	281	半角オールスペースの場合がある			
60		事故内容サブコード			C	3	285	半角オールスペースの場合がある			
61	表示部				-	-	-				
62		期間重複表示			C	1	288	”X”形式	0：制度間期間重複無し 1：制度間期間重複有り		
63	共済簡易見込額情報部				-	-	-		高井戸検出事故、または期間重複により、簡易見込額が算出不可の場合、項番64～項番68はオール”*”（半角アスタリスク）となる		
64				老齢厚生年金見込額	-	-	-				
65				2・3号			-	-	-		
66				見込額総合計（2・3号）			C	10	289	”ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
67				4号			-	-	-		
68				見込額総合計（4号）			C	10	299	”ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	
68-1	昨年簡易見込額情報部				-	-	-		昨年の簡易見込額が高井戸検出事故等により見込額が算出不可の場合または昨年のねんきん定期便を通知していない場合、項番68-2～項番68-3はオール”*”（半角アスタリスク）となる		
68-2		昨年簡易見込額			C	10	309	”ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	昨年のねんきん定期便で通知した年額（基礎・厚年合計）を設定する。		
68-3		昨年抽出年月			C	6	319	”999999”形式	昨年の見込額算出時の抽出年月を西暦形式（YYYYMM）で設定する。		
68-4		生年月日訂正表示			C	1	325	”X”形式	0：生年月日訂正なし 1：生年月日訂正あり		
68-5		年金見込額減額表示			C	1	326	”X”形式	0：年金見込額減額なし 1：年金見込額減額あり		
69	未使用				C	573	327	半角スペース			

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便詳細見込額レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
1	共通部	-	-	-	-	-
2	基礎年金番号	C	11	0	"XXXX-XXXXXX"形式	
3	封入封緘コード	C	13	11	"XXX-XXXXXXXX"形式	設定内容の詳細は表3. 1-2参照
4	地共現存共済組合員情報	C	28	24	"XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXXXXXX"形式	オールスペースの場合がある。
5	レコード区分	C	1	52	"X"形式	3: ねんきん定期便詳細見込額レコード
6	レコード内通番	9	3	53	"999"形式	"001"固定
7	郵便番号	C	8	56	"XXX-XXXX"形式	左詰めで設定し、残りは半角スペースを設定。(3桁、5桁の場合がある) オールスペースの場合がある。
8	共通表示部	-	-	-	-	-
9	再発行表示	C	1	64	"X"形式	0: 初回発送 1: 再発行 2: 再発行（住所変更契機）
10	ねんきん特別便通知種別	C	1	65	"X"形式	表3. 1-3参照
11	ねんきん特別便確認有無表示	C	1	66	"X"形式	表3. 1-4参照
12	ねんきん特別便未送達表示	C	1	67	"X"形式	表3. 1-5参照
13	NEKO申請者表示	C	1	68	"X"形式	0: 年金個人情報提供対象者でない
14	カスタマバーコード有無表示	C	1	69	"X"形式	0: バーコード無し 1: バーコード有り
15	特定被保険者表示	C	1	70	"X"形式	0: 特定者でない A: 特定被保険者A B: 特定被保険者B C: 特定被保険者C D: 特定被保険者D
16	納付拒否表示	C	1	71	"X"形式	0: 納付拒否者でない 1: 納付拒否者である
17	国年不在者表示	C	1	72	"X"形式	0: 国年不在者でない 1: 国年不在者である
18	国年特別一時金表示	C	1	73	"X"形式	0: 国年特別一時金保有者でない 1: 国年特別一時金保有者である
19	資格記録数超過表示	C	1	74	"X"形式	0: 職歴明細超過者でない 1: 職歴明細超過者である
20	警告事故者表示	C	1	75	"X"形式	0: 警告事故者でない 1: 警告事故者である
21	共済記録保有者表示	C	1	76	"X"形式	0: 共済記録保有者でない 1: 共済記録保有者である
22	マイナンバー収録状況	C	1	77	"X"形式	0: 未収録 1: 収録済 2: 非保有理由者（短期在留外国人） 3: 非保有理由者（海外居住） 4: 非保有理由者（外国人脱退一時金受給者） 5: 非保有理由者（性別変更者） 6: 非保有理由者（その他） 7: 未収録（基礎年金番号無効）
22-1	地共済未移行（旧三共済）有無表示	C	1	78	"X"形式	0: 地共済未移行（旧三共済）でない 1: 地共済未移行（旧三共済）である
23	老齢年金受給者表示	C	1	79	"X"形式	0: 老齢年金受給者でない 1: 老齢年金受給者である ただし、前半者通知の場合、半角スペースを設定。

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便詳細見込額レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
24	詳細見込額情報部	-	-	-	-	高井戸検出事故、または期間重複により、詳細見込額が算出不可の場合、項番25はオール半角スペース、項番26～項番44はオール“*”（半角アスタリスク）となる
25	延長年齢	C	2	80	“99”形式	全桁半角スペースの場合がある
26	支給開始年齢	-	-	-	-	全桁“*”（半角アスタリスク）の場合がある
27	特例支給（報酬比例部分）開始年齢1	C	2	82	“99”形式	
28	特例支給（報酬比例部分）開始年齢2	C	2	84	“99”形式	
29	特例支給（定額部分）開始年齢	C	2	86	“99”形式	
30	老基老厚支給開始年齢	C	2	88	“99”形式	
31	基礎年金見込額	C	10	90	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	全桁“*”（半角アスタリスク）の場合がある
32	厚生年金見込額	-	-	-	-	全桁“*”（半角アスタリスク）の場合がある
33	報酬比例見込額	-	-	-	-	-
34	特例支給（報酬比例部分）開始時2	C	10	100	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
35	特例支給（定額部分）開始時	C	10	110	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
36	老基老厚支給開始時	C	10	120	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
37	特例支給（報酬比例部分）見込額	C	10	130	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
38	特例支給（定額部分）見込額	C	10	140	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
39	経過の加算部分見込額	C	10	150	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
40	合計部	-	-	-	-	-
41	特例支給（報酬比例部分）開始時1	C	10	160	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
42	特例支給（報酬比例部分）開始時2	C	10	170	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
43	特例支給（定額部分）開始時	C	10	180	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
44	老基老厚合計見込額	C	10	190	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便詳細見込額レコード

項番	項目名		フォーマット			設定値	説明
			属性	バイト数	ロケーション		
45		延長メッセージ	-	-	-	-	-
46		延長制度表示	C	1	200	"X"形式	以下のいずれかを設定 ・国年（" 1"） ・厚年（" 2"） ・船保（" 3"） ・共済（" 4"） ・その他（半角スペース）
47		延長納付状況	C	1	201	"X"形式	項番44「延長制度表示」が 国年（" 1"）の場合、以下のい れかを設定 ・納付（" 1"） ・免除（" 2"） ・付加（" 3"） ・半額免除（" 4"） ・1/4免除（" 5"） ・3/4免除（" 6"） ・延長無し（スペース） その他の場合、半角スペースを設定
48		高井戸検出事故コード	-	-	-	-	-
49		事故内容コード	C	4	202	半角オールスペースの場合がある	
50		事故内容サブコード	C	3	206	半角オールスペースの場合がある	
51		表示部	-	-	-	-	-
52		期間重複表示	C	1	209	"X"形式	0：制度間期間重複無し 1：制度間期間重複有り
53		未使用	C	1	210	"X"形式	半角スペースを設定
54		共済詳細見込額情報部	-	-	-	-	高井戸検出事故、または期間重複により、詳細見込額が算出不可の場合、項番55～項番86はオール"*"（半角アスタリスク）となる
55		厚生年金（2・3号）見込額	-	-	-	-	全桁"*"（半角アスタリスク）の場合がある
56		報酬比例見込額	-	-	-	-	-
57		特例支給（報酬比例部分）開始時1	C	10	211	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	-
58		特例支給（報酬比例部分）開始時2	C	10	221	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	-
59		特例支給（定額部分）開始時	C	10	231	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
60		老基老厚支給開始時	C	10	241	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
61		旧職域加算見込額	-	-	-	-	-
62		旧職域加算見込額 （特例支給（報酬比例部分）開始時1）	C	10	251	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	-
63		旧職域加算見込額 （特例支給（報酬比例部分）開始時2）	C	10	261	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	-
64		旧職域加算見込額 （特例支給（定額部分）開始時）	C	10	271	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
65		旧職域加算見込額 （老基老厚支給開始時）	C	10	281	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便詳細見込額レコード

項番	項目名			フォーマット			設定値	説明
				属性	バイト数	ロケーション		
66		特例支給（定額部分）見込額	-	-	-	-		
67		特例支給（報酬比例部分）開始時1	C	10	291	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
68		特例支給（報酬比例部分）開始時2	C	10	301	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
69		特例支給（定額部分）開始時	C	10	311	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
70		経過の加算部分見込額	C	10	321	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
71	厚生年金（4号）見込額			-	-	-		全桁"*"（半角アスタリスク）の場合がある
72		報酬比例見込額	-	-	-	-		
73		特例支給（報酬比例部分）開始時1	C	10	331	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
74		特例支給（報酬比例部分）開始時2	C	10	341	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
75		特例支給（定額部分）開始時	C	10	351	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
76		老基老厚支給開始時	C	10	361	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
77		旧職域加算見込額	-	-	-	-		
78		旧職域加算見込額 （特例支給（報酬比例部分）開始時1）	C	10	371	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
79		旧職域加算見込額 （特例支給（報酬比例部分）開始時2）	C	10	381	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
80		旧職域加算見込額 （特例支給（定額部分）開始時）	C	10	391	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
81		旧職域加算見込額 （老基老厚支給開始時）	C	10	401	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
82		特例支給（定額部分）見込額	-	-	-	-		
83		特例支給（報酬比例部分）開始時1	C	10	411	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
84		特例支給（報酬比例部分）開始時2	C	10	421	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
85		特例支給（定額部分）開始時	C	10	431	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
86		経過の加算部分見込額	C	10	441	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式		
86-1	繰下げ時見込額情報部			-	-	-		高井戸検出事故、または期間重複により、詳細見込額が算出不可の場合、および老基老厚支給開始年齢が65歳でない場合、項番86-2～4はオール"*"（半角アスタリスク）となる。
86-2	70歳繰下げ時見込額			C	10	451	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	老基老厚合計見込額の1.42倍の金額を設定。老基老厚支給開始年齢が65歳でない場合、オール"*"（半角アスタリスク）を設定。
86-3	60歳繰上げ時見込額			C	10	461	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便詳細見込額レコード

項番	項目名		フォーマット			設定値	説明
			属性	バイト数	ロケーション		
86-4		75歳繰下げ時見込額	C	10	471	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
86-5		繰上げ下げ時見込額予備1	C	10	481	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	予備項目のため全桁半角スペースを設定。
86-6		繰上げ下げ時見込額予備2	C	10	491	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	予備項目のため全桁半角スペースを設定。
87		未使用	C	399	501	半角スペース	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便直近1年月別状況レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
1	共通部	-	-	-	-	-
2	基礎年金番号	C	11	0	"XXXX-XXXXXX"形式	
3	封入封緘コード	C	13	11	"XXX-XXXXXXXX"形式	設定内容の詳細は表3. 1-2参照
4	地共現存共済組合員情報	C	28	24	"XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXXXXXX"形式	オールスペースの場合がある。
5	レコード区分	C	1	52	"X"形式	8:ねんきん定期便直近1年月別レコード
6	レコード内通番	9	3	53	"999"形式	"001"からの通番("001"～"026")
7	郵便番号	C	8	56	"XXX-XXXX"形式	左詰めで設定し、残りは半角スペースを設定。(3桁、5桁の場合がある) オールスペースの場合がある。
8	共通表示部	-	-	-	-	-
9	再発行表示	C	1	64	"X"形式	0:初回発送 1:再発行 2:再発行(住所変更契機)
10	ねんきん特別便通知種別	C	1	65	"X"形式	表3. 1-3参照
11	ねんきん特別便確認有無表示	C	1	66	"X"形式	表3. 1-4参照
12	ねんきん特別便未送達表示	C	1	67	"X"形式	表3. 1-5参照
13	NEKO申請者表示	C	1	68	"X"形式	0:年金個人情報提供対象者でない
14	カスタマバーコード有無表示	C	1	69	"X"形式	0:バーコード無し 1:バーコード有り
15	特定被保険者表示	C	1	70	"X"形式	0:特定者でない A:特定被保険者A B:特定被保険者B C:特定被保険者C D:特定被保険者D
16	納付拒否表示	C	1	71	"X"形式	0:納付拒否者でない 1:納付拒否者である
17	国年不在者表示	C	1	72	"X"形式	0:国年不在者でない 1:国年不在者である
18	国年特別一時金表示	C	1	73	"X"形式	0:国年特別一時金保有者でない 1:国年特別一時金保有者である
19	資格記録数超過表示	C	1	74	"X"形式	0:職歴明細超過者でない 1:職歴明細超過者である
20	警告事故者表示	C	1	75	"X"形式	0:警告事故者でない 1:警告事故者である
21	共済記録保有者表示	C	1	76	"X"形式	0:共済記録保有者でない 1:共済記録保有者である
22	マイナンバー収録状況	C	1	77	"X"形式	0:未収録 1:収録済 2:非保有理由者(短期在留外国人) 3:非保有理由者(海外居住) 4:非保有理由者(外国人脱退一時金受給者) 5:非保有理由者(性別変更者) 6:非保有理由者(その他) 7:未収録(基礎年金番号無効)
22-1	地共済未移行(旧三共済)有無表示	C	1	78	"X"形式	0:地共済未移行(旧三共済)でない 1:地共済未移行(旧三共済)である
23	老齢年金受給者表示	C	1	79	"X"形式	0:老齢年金受給者でない 1:老齢年金受給者である ただし、前半者通知の場合、半角スペースを設定。

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便直近1年月別状況レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
24	通知対象期間情報部	-	-	-		
25	通知対象期間（自）	-	-	-		通知対象期間（自）を設定する
26	通知対象期間（自）年元号	C	8	80	"X X"形式	元号を漢字で設定
27	通知対象期間（自）年	C	2	88	"Z9"形式	
28	年	C	6	90	"年"を設定	
29	通知対象期間（自）月	C	2	96	"Z9"形式	
30	月	C	6	98	"月"を設定	
31	通知対象期間（至）	-	-	-		通知対象期間（至）を設定する
32	通知対象期間（至）年元号	C	8	104	"X X"形式	元号を漢字で設定
33	通知対象期間（至）年	C	2	112	"Z9"形式	
34	年	C	6	114	"年"を設定	
35	通知対象期間（至）月	C	2	120	"Z9"形式	
36	月	C	6	122	"月"を設定	
37	抽出年月日	-	-	-		抽出年月日を設定する
38	抽出年元号	C	8	128	"X X"形式	元号を漢字で設定
39	抽出年	C	2	136	"Z9"形式	
40	年	C	6	138	"年"を設定	
41	抽出月	C	2	144	"Z9"形式	
42	月	C	6	146	"月"を設定	
43	抽出日	C	2	152	"Z9"形式	
44	日	C	6	154	"日"を設定	
45	加入月数情報部	-	-	-	-	-
46	国年月数	-	-	-	-	-
47	納付済等月数計	C	3	160	"ZZ9"形式	
48	納付済月数	C	3	163	"ZZ9"形式	納付済月数の内、産前産後免除期間に該当しない期間を『ZZ9』形式で設定
49	全額免除月数	C	3	166	"ZZ9"形式	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便直近1年月別状況レコード

項番	項目名			フォーマット			設定値	説明
				属性	バイト数	ロケーション		
50			4分の3免除月数	C	3	169	"ZZ9"形式	
51			半額免除月数	C	3	172	"ZZ9"形式	
52			4分の1免除月数	C	3	175	"ZZ9"形式	
53			学生納付特例等月数	C	3	178	"ZZ9"形式	学生納付特例月数と納付猶予月数を加算した値を『ZZ9』形式で設定
53-1			納付猶予月数（再掲）	C	3	181	"ZZ9"形式	納付猶予月数を『ZZ9』形式で設定
54			第3号被保険者加入月数	C	3	184	"ZZ9"形式	
55			付加納付月数	C	3	187	"ZZ9"形式	
56			未納月数	C	3	190	"ZZ9"形式	
57			納付期限未到来の月数	-	-	-	-	
58			前納月数	C	3	193	"ZZ9"形式	
59			付加月数	C	3	196	"ZZ9"形式	
60			第2号被保険者期間	-	-	-	-	
61			第2号被保険者加入月数	C	3	199	"ZZ9"形式	
62			厚年月数	C	3	202	"ZZ9"形式	
63			厚年基金月数情報	C	5	205	"(ZZ9)"形式	
64			厚年期間	C	3	210	"ZZ9"形式	
65			厚年基金期間情報	C	5	213	"(ZZ9)"形式	
66			船保月数	C	3	218	"ZZ9"形式	
67			船保期間	C	3	221	"ZZ9"形式	
68			合算対象期間	C	3	224	"ZZ9"形式	
69			年金加入期間合計	C	3	227	"ZZ9"形式	
70			直近1年月別情報部	-	-	-		項番70～項番97までを3回繰り返す。直近1年月別情報が3記録に満たない場合、不足分の各項目には初期値半角スペースまたはゼロを設定。同一年月の情報を複数編集する場合がある。
71			年月	-	-	-		
72			対象元号	C	8	230	"X X"形式	元号を漢字で設定
73			対象年	C	2	238	"Z9"形式	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便直近1年月別状況レコード

項番	項目名			フォーマット			設定値	説明
				属性	バイト数	ロケーション		
74		年	C	6	240	"年"を設定		
75		対象月	C	2	246	"Z9"形式		
76		月	C	6	248	"月"を設定		
77	加入制度		-	-	-			
78	加入制度		C	8	254	"X X"形式		以下のいずれかを設定 ・国年 ・厚年 ・基金 ・船保 ・公共 ・私学 ・合算 ・△△ (△は全角スペースを示す)
78-1	産前産後月数		C	3	262	"ZZ9"形式		直近1年月別情報部の繰返し1回目の場合のみ月数を設定する。繰返し2回目以降の場合は初期値半角スペースを設定する
79	未使用		C	5	265	半角スペース		
80	納付状況等		-	-	-	-		
81	国年納付状況		-	-	-	-		
82	納付状況（上段）		C	14	270	"X X X X X"形式		納付状況を設定 (納付状況の詳細は表3. 1-6 参照のこと) 半角文字と全角文字が混在することがある。 印字桁数 : 10バイト 但し、オール半角スペースの場合は下記のとおりである 印字桁数 : 0バイト
83	納付状況（下段）		C	8	284	"X X"形式		付加納付有りの場合、漢字2桁で"付加"を設定 印字桁数 : 4バイト 但し、オール半角スペースの場合は下記のとおりである 印字桁数 : 0バイト
84	厚船納付状況		-	-	-	-		
85	標準報酬月額		C	10	292	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式		半角オールスペースの場合がある。
86	標準賞与額		C	10	302	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式		半角オールスペースの場合がある。
87	納付額		C	10	312	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式		半角オールスペースの場合がある。
88	事業所名称等		-	-	-	-		
89	事業所名称等上段		-	-	-	-		-
90	事業所名称等上段有効データ長		9	3	322	"999"形式		未使用項目 ※当該項目は使用しないこと

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便直近1年月別状況レコード

項番	項目名				フォーマット			設定値	説明	
					属性	バイト数	ロケーション			
91				事業所名称等上段印字桁数	9	3	325	“999”形式	事業所名称等(上段)の印字桁数。漢字は2桁。ゼロの場合がある。	
92				事業所名称等上段	C	62	328	半角英数文字・全角(漢字)混在	事業所名称等(上段)の実データを左詰めで設定。残りは半角スペースを設定。オールスペースの場合がある。	
93			事業所名称等下段			-	-	-	-	-
94				事業所名称等下段有効データ長	9	3	390	“999”形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと	
95				事業所名称等下段印字桁数	9	3	393	“999”形式	事業所名称等(下段)の印字桁数。漢字は2桁。ゼロの場合がある。	
96				事業所名称等下段	C	56	396	半角英数文字・全角(漢字)混在	事業所名称等(下段)の実データを左詰めで設定。残りは半角スペースを設定。オールスペースの場合がある。	
97			基金加入表示			C	1	452	“X”形式	0：基金加入でない 1：基金加入である
98	未使用				C	1	899	半角スペース		

表 3. 1 - 2 封入封緘コード体系

項目名	設定値(13桁)	意味		説明
封入封緘 コード	abb- ccccddddd	a	被保険者区分	A:一般者 B:特別一時金保有者 ※納付拒否者、特定者、不在者を含む F:納付拒否者 ※特定者を含む G:特定者 ※不在者を含む H:不在者
		b	年齢表示	年齢区分を示す値を付与する。
		c	処理単位区分	3桁の数字
		d	一連番号	被保険者区分、処理単位区分毎に一連番号を付与する。

表 3. 1 - 3 ねんきん特別便通知種別

コード値	コード値内容	コード値	コード値内容
SPACE	通知なし	C	名寄せのみ記録
1	受給者名寄せ通知	D	ねんきん特別便送付可
2	被保険者名寄せ通知	E	送付対象外 1
3	受給者名寄せ対象外通知	F	送付対象外 2
4	被保険者名寄せ対象外通知	G	送付対象外 3
5	受給者名寄せ通知事故	H	送付対象外 4
6	被保険者名寄せ通知事故	I	送付対象外 5
7	受給者名寄せ対象外通知事故	J	送付対象外 6
8	被保険者名寄せ対象外通知事故	K	送付対象外 7
A	受給者名寄せ未通知	L	送付対象外 8
B	被保険者名寄せ未通知	M	送付対象外 9

表 3. 1 - 4 ねんきん特別便確認有無表示

コード値	コード値内容
SPACE	未確認
1	記録正常
2	調査中 1
3	調査中 2
4	調査中 3
5	調査中 4
6	調査中 5
7	記録統合
8	統合なし
9	一部確認
A	特定処理

表 3. 1 - 5 ねんきん特別便未送達表示

コード値	コード値内容
SPACE	通知なし（但し、ねんきん特別便が通知済の場合、“送達済”を示す）
1	未送達
2	住所調査
3	再送済
4	送付可
5	解明不能
6	死亡疑い
7	確認 1
8	確認 2
9	確認 3

表3. 1－6 納付状況編集内容

【凡例】”△”:全角スペース
”△”:半角スペース

項番	納付状況パターン	編集内容	
		納付状況(上段)	納付状況(下段)
1	定額納付(印紙)	△納付済△	
2	定額納付(印紙)＋付加納付(印紙)		付加
3	定額納付(印紙)＋付加納付(現金)		付加
4	定額納付(印紙)＋付加前納(印紙)		付加
5	定額納付(印紙)＋付加前納(現金)		付加
6	定額前納(印紙)		
7	定額前納(印紙)＋付加前納(印紙)		付加
8	定額前納(印紙)＋付加納付(印紙)		付加
9	定額前納(印紙)＋付加納付(現金)		付加
10	定額前納(印紙)＋付加前納(現金)		付加
11	定額納付(現金)		
12	定額納付(現金)＋付加納付(現金)		付加
13	定額前納(現金)		
14	定額前納(現金)＋付加前納(現金)		付加
15	定額前納(現金)＋付加納付(印紙)		付加
16	定額前納(現金)＋付加納付(現金)		付加
17	定額前納(現金)＋付加前納(印紙)		付加
18	定額納付(充当)		
19	定額納付(充当)＋付加納付(充当)		付加
20	定額納付(充当)＋付加納付(現金)		付加
21	定額納付(印紙)＋付加納付(充当)		付加
22	定額納付(現金)＋付加納付(充当)		付加
23	定額前納(印紙)＋付加納付(充当)		付加
24	定額前納(現金)＋付加納付(充当)		付加
25	全額追納		
26	定額納付(充当)＋付加未納(付加強制加入)		
27	定額納付(印紙)＋付加未納(付加強制加入)		
28	定額納付(現金)＋付加未納(付加強制加入)		
29	定額前納(印紙)＋付加未納(付加強制加入)		
30	定額前納(現金)＋付加未納(付加強制加入)		
31	定額納付(印紙)＋付加未納(付加任意加入)		
32	定額納付(現金)＋付加未納(付加任意加入)		
33	定額前納(印紙)＋付加未納(付加任意加入)		
34	定額前納(現金)＋付加未納(付加任意加入)		
35	定額未納＋付加未納(付加強制加入)	△△△未納△△△	
36	定額未納＋付加未納(付加任意加入)		
37	定額未納	△未加入△	
38	無資格		
39	法定免除	△全額免除△	
40	全額免除(申請免除)		
41	みなし免除		
42	特例納付(改正法附則18条)	△納付済△	
43	特例納付(改正法附則4条)		
44	定額未納＋付加未納(付加強制加入)【前住所地納付】	△△△未納△△△	
45	定額未納＋付加未納(付加任意加入)【前住所地納付】		
46	定額未納【前住所地納付】		
47	三号納付	△3号納付△	
48	三号未納	△3号未納△	
49	中国残留邦人特例措置に係る免除	△全額免除△	
50	中国残留邦人特例措置に係る追納	△納付済△	
51	定額納付(口振)		
52	定額前納(口振)		
53	定額納付(現金)＋付加前納(現金)		付加
54	定額納付(口振)＋付加納付(現金)		付加

表3. 1-6 納付状況編集内容

【凡例】”△”:全角スペース
”△”:半角スペース

項番	納付状況パターン	編集内容	
		納付状況(上段)	納付状況(下段)
55	定額納付(口振)+付加納付(口振)	△納付済△	付加
56	定額前納(口振)+付加納付(現金)		付加
57	定額前納(口振)+付加前納(現金)		付加
58	定額前納(口振)+付加前納(口振)		付加
59	定額納付(口振)+付加未納(付加任意加入)		
60	定額納付(口振)+付加未納(付加強制加入)		
61	定額前納(口振)+付加未納(付加任意加入)		
62	定額前納(口振)+付加未納(付加強制加入)		
63	定額納付(口振)+付加納付(充当)		付加
64	定額前納(口振)+付加納付(充当)		付加
65	半額未納	△半額未納△	
66	半額納付(現金)【半額免除】	△半額免除△	
67	半額納付(口振)【半額免除】		
68	半額前納(現金)【半額免除】		
69	半額前納(口振)【半額免除】		
70	半額納付(充当)【半額免除】		
71	半額追納(半額納付(現金)【半額免除】済)	△納付済△	
72	半額追納(半額納付(口振)【半額免除】済)		
73	半額追納(半額前納(現金)【半額免除】済)		
74	半額追納(半額前納(口振)【半額免除】済)		
75	半額追納(半額納付(充当)【半額免除】済)		
76	学生納付特例	△学生特例△	
77	学生納付特例追納	△納付済△	
78	納付猶予	△納付猶予△	
79	納付猶予追納	△納付済△	
80	1/4額未納	3/4未納	
81	1/4額納付(現金)【3/4免除】	3/4免除	
82	1/4額納付(口振)【3/4免除】		
83	1/4額前納(現金)【3/4免除】		
84	1/4額納付(充当)【3/4免除】		
85	1/4額追納(3/4額納付(現金)【1/4免除】済)	△納付済△	
86	1/4額追納(3/4額納付(口振)【1/4免除】済)		
87	1/4額追納(3/4額前納(現金)【1/4免除】済)		
88	1/4額追納(3/4額納付(充当)【1/4免除】済)		
89	3/4額未納	1/4未納	
90	3/4額納付(現金)【1/4免除】	1/4免除	
91	3/4額納付(口振)【1/4免除】		
92	3/4額前納(現金)【1/4免除】		
93	3/4額納付(充当)【1/4免除】		
94	3/4額追納(1/4額納付(現金)【3/4免除】済)	△納付済△	
95	3/4額追納(1/4額納付(口振)【3/4免除】済)		
96	3/4額追納(1/4額前納(現金)【3/4免除】済)		
97	3/4額追納(1/4額納付(充当)【3/4免除】済)		
98	該当月に国年・厚年・船保の3制度全てに未加入である場合	△未加入△	
99	任意加入未納期間である場合	△△△合算△△△	
100	合算対象算入期間である場合		
101	抽出年月日の前々月が未納、半額未納、1/4額未納、3/4額未納である場合	△確認中△	
102	産前産後免除期間である場合	△産前産後△	
103	産前産後免除期間である場合+付加納付		付加

表3. 1－7 年齢情報編集内容

項番	通知年齢	編集内容 年齢情報	項番	通知年齢	編集内容 年齢情報
1	15歳	15	44	58歳	58
2	16歳	16	45	59歳	59
3	17歳	17	46	60歳	60
4	18歳	18	47	61歳	61
5	19歳	19	48	62歳	62
6	20歳	20	49	63歳	63
7	21歳	21	50	64歳	64
8	22歳	22	51	65歳	65
9	23歳	23	52	66歳	66
10	24歳	24	53	67歳	67
11	25歳	25	54	68歳	68
12	26歳	26	55	69歳	69
13	27歳	27	56	70歳	70
14	28歳	28	57	71歳	71
15	29歳	29	58	72歳	72
16	30歳	30	59	73歳	73
17	31歳	31	60	74歳	74
18	32歳	32	61	75歳	75
19	33歳	33	62	76歳	76
20	34歳	34	63	77歳	77
21	35歳	35	64	78歳	78
22	36歳	36	65	79歳	79
23	37歳	37	66	80歳	80
24	38歳	38	67	81歳	81
25	39歳	39	68	82歳	82
26	40歳	40	69	83歳	83
27	41歳	41	70	84歳	84
28	42歳	42	71	85歳	85
29	43歳	43	72	86歳	86
30	44歳	44	73	87歳	87
31	45歳	45	74	88歳	88
32	46歳	46	75	89歳	89
33	47歳	47	76	90歳	90
34	48歳	48	77	91歳	91
35	49歳	49	78	92歳	92
36	50歳	50	79	93歳	93
37	51歳	51	80	94歳	94
38	52歳	52	81	95歳	95
39	53歳	53	82	96歳	96
40	54歳	54	83	97歳	97
41	55歳	55	84	98歳	98
42	56歳	56	85	99歳以上	99
43	57歳	57			

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
ファイルID	－	ラベル形式	－	レコード長	900バイト	ｼﾝｸﾞﾙ／ﾏﾙﾁの別	ｼﾝｸﾞﾙ	(1 / 5)
		レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	ｼﾝｸﾞﾙ／ﾏﾙﾁﾎﾞﾘｭｰﾑの別	ｼﾝｸﾞﾙ	

項目名	共通部		地共現存共済組合員情報																										
属性	C		C		C																								
バイト	11		13		28																								
	5		10		38																								

項目名	レコード区分	レコード内通番	郵便番号	共通表示部													基本情報部										郵便番号				
属性	C	9	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
バイト	1	3	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8	3	3	3	3	
	5	10	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	41	44	47	50	

項目名	住所情報1行目	住所1行目																												
属性	9	9	C																											
バイト	3	3	62																											
	5	10	30																											

項目名	住所情報2行目	住所情報3行目																												
属性	9	9																												
バイト	3	3																												
	5	10																												

図3.2-1 ねんきん定期便基本レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	9 0 0 バイト	ｼﾝｸﾞﾙ／マルチの別	ｼﾝｸﾞﾙ	
ファイル I D	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	ｼﾝｸﾞﾙ／マルチボリュームの別	ｼﾝｸﾞﾙ	(2 / 5)

	項 目 名									住所情報3行目		
										効住 デ所 1 3 タ行 長目 有	字住 桁所 数 3 行目 印	
		住所2行目										
		属性	C								9	9
バイト	62								3	3		
<												

図3.2-1 ねんきん定期便基本レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
ファイルID	－	ラベル形式	－	レコード長	900バイト	ｼﾝｸﾞﾙ／ﾏﾙﾁの別	ｼﾝｸﾞﾙ	(3 / 5)
		レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	ｼﾝｸﾞﾙ／ﾏﾙﾁﾎﾞﾘｭｰﾑの別	ｼﾝｸﾞﾙ	

項目名	共済組合員情報										基礎年金番号										照会番号									
属性	C										C										C									
バイト	5										11										12									

項目名	生年月日										加入月数情報部										第1号被保険者期																
	生年元号										生年	生年月	生年日	作成年月日										未使用										合年計1加入期間総	合年計2加入期間総	第1号被保険者期へ第1納入号除く被保険	
属性	C										C	C	C	C										C										C	C	C	
バイト	5										2	2	2	8										12										3	3	3	

項目名	第1号被保険者期間										第2号被保険者期間										第3号被保険者期間									
	納付済月数	産前産後月数	全額免除月数	月4数分の3免除	半額免除月数	月4数分の1免除	等学生数納付特例	(納付掲猶)予月数	未納月数	第1号加入期間被保険	付加納付月数	第2号加入月被数被保険	厚年月数	厚年基金月数情報										厚年期間	厚年基金期間情報					
属性	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C										C	C					
バイト	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5										3	2					

項目名	第3号被保険者期間										保険料納付額情報										号2(計保)・国険料納付額合															
	船保月数	船保期間	月共済組合加入	第3号加入月被数被保険	任意加入未納月数										(特定掲猶)月数	合算対象算入月数										合算対象期間	号1(国年+厚船+)									
属性	C	C	C	C	C										C	C										C	C									
バイト	3	3	3	3	5										5	5										3	10									

図3.2-1 ねんきん定期便基本レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(4 / 5)

項目名	(国年+厚船+)					表示部						カスタマバーコード情報						
		保険料納付額(国年)		保険料納付額(厚船)		未使用		表示部 表示 備考 記録 数 超過	未使用	表示部 表示 簡易 見込 額有無	表示部 表示 詳細 見込 額有無	表示部 表示 直近 1年 月別 状況	未使用	期間 重複 表示	カスタ マ バ ー コ ー ド 有 効 デ ー タ 長	カスタ マ バ ー コ ー ド 印 字 マ ス ケ ット 数	カスタ マ バ ー コ ー ド 印 字 マ ス ケ ット 数	
属性	C	C		C		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	9	9	
ハバ	10	5		10		15	20	25	30	35	40	45	50					

項目名	カスタマバーコード文字情報
属性	C
単位	個

項目名																																									NEKOアクセスキー情報									
																																									NEKOアクセスキー									
属性 ハッシュ																																									C 47									

項目名	QRコード情報				共済基本情報部					
	識別区分	郵便物区分コード	照会番号	作成年月日	第2・3号厚年情報抽出年月日					
属性	C	C	9	9	C	C	C	C		
ハ	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50

図3.2-1 ねんきん定期便基本レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード			ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
				ラベル形式	－	レコード長	9 0 0 バイト	ｼﾝｸﾞﾙ／ﾏﾙﾁの別	ｼﾝｸﾞﾙ	
ファイル I D	－			レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	ｼﾝｸﾞﾙ／ﾏﾙﾁﾌｵｰﾐｰﾄﾞの別	ｼﾝｸﾞﾙ	(5 / 5)

	項 目 名	第4号厚生情報抽出年月日								通知番号情報								共済加入月数情報部													
																		第2号被保険者期間													
		抽出年元号								抽出年	抽出月	抽出日	第2・3号加入者番号								第4号加入者番号								2 ・ 年 3 月 号 数 （ 第		
		属性								C	C	C	C	C								C								C	
バイト		5								2	2	2	2	15								15								3	

	項 目 名									共済保険料納付額情報								年 齢 情 報	住 所 情 報 塗 替 え 表	未 使 用															
		2 数厚 ・ 情年 3 報旧 号 職 号 号 （ 第 域 域 月 月	2 厚 ・ 年 3 号 間 ） 第	2 間厚 ・ 情年 3 報旧 号 職 号 号 （ 第 域 域 期 期	4 厚 号 年 ） 月 数 数 （ 第	号 数厚 ） 情年 報 旧 （ 職 域 域 4 月	4 厚 号 年 ） 期 間 間 （ 第	号 間厚 ） 情年 報 旧 （ 職 域 域 4 期	保険料納付額(2・3号)								保険料納付額(4号)																		
		属性								C	C	C	C	C	C	C	C				C								C	C	C				
		バイト		5								3	3	5	3	5	3				5	10								10					

	項 目 名																																																		
属性																																																			
バイト		5																																																	

	項 目 名																																																		
属性																																																			
バイト		5																																																	

図3.2-1 ねんきん定期便基本レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）簡易見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(3 / 5)
項目名 属性 未使用 項目名 属性 未使用 項目名 属性 未使用 項目名 属性 未使用								

図3.2-1 簡易見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）簡易見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(4/ 5)

項目名

属性

バイト

5

10

15

20

25

30

35

40

45

50

未使用

項目名

属性

バイト

5

10

15

20

25

30

35

40

45

50

未使用

項目名

属性

バイト

5

10

15

20

25

30

35

40

45

50

未使用

項目名

属性

バイト

5

10

15

20

25

30

35

40

45

50

未使用

図3.2-1 簡易見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）詳細見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(1 / 5)

項目名	共通部		地共現存共済組合員情報																																
属性	C		C																																
バイト	1	1	5	11	10	15	13	20	25	30	35	38	40	45	50																				

項目名	詳細見込額情報部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	レコード区分	番コード内通	郵便番号	共通表示部																支給開始年齢																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				再発行表示	別便通知有種	別便確認有種	別便未送達有種	読者表示	NEKコード	バスコード	特定被保険	納付拒否表	表国不在者	時金表別一	超資格記録数	警告事故者	共済記録保	録イ況ンバ	（旧三共済）	者表示金受給	者年齢	延長年齢	年部（特例1）	年部（特例2）	年部（特例3）	分（特例）	分（特例）	給老厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
属性	C	9	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C

項目名	厚生年金見込額		報酬比例見込額		特例支給(報酬比例部分)開始時2		特例支給(定額部分)開始時		老基老厚支給開始時		特例支給(報酬比例部分)見込額		特例支給(定額部分)見込額	
属性	C		C		C		C		C		C		C	
バイト	10		10		10		10		10		10		10	

項目名	経過の加算部分見込額		合計部		特例支給(報酬比例部分)開始時1		特例支給(報酬比例部分)開始時2		特例支給(定額部分)開始時		老基老厚合計見込額	
属性	C		C		C		C		C		C	
バイト	10		10		10		10		10		10	

図3.2-1 詳細見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）詳細見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
ファイルID	－	ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
		レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチホリウムとの別	シングル	(2 / 5)

			高井戸検出事故コード				表示部		共済詳細見込額情報部																					
項 目 名	延長メッセージ		事故内容コード	コ 事 故 内 容 サ ブ	期 間 重 複 表 示	未 使 用	厚生年金(2・3号)見込額																							
	示 延 長 制 度 表						報酬比例見込額																							
	特例支給(報酬比例部分)開始時1										特例支給(報酬比例部分)開始時2										特例支給(定額部分)開始時									
属性	C	C	C	C	C	C	C	C										C												
バイト	1	1	5	3	1	1	10	10	10										10	10	10									

項目名	旧職域加算見込額					特例支給(定額部分)見込額				
	時分比給へ算旧 1へ例へ特見職 へ開部報例込域 始 酬支額加		時分比給へ算旧 2へ例へ特見職 へ開部報例込域 始 酬支額加		始部給へ算旧 時分へ特見職 へ定例込域 開額支額加		始厚へ算旧 時支老見職 へ給基込域 開老額加			
属性	C	C		C		C		C		
バイト	10	10		10		10		10		

項目名	厚生年金(4号)見込額				報酬比例見込額			
	特例支給(報酬比例部分)開始時2		特例支給(定額部分)開始時		経過の加算部分見込額		特例支給(報酬比例部分)開始時1	
属性	C	C	C	C	C	C	C	C
バイト	10	10	10	10	10	10	10	10

項目名	旧職域加算見込額							
	特例支給(定額部分)開始時		老基老厚支給開始時		時分比給へ算旧 1へ例へ特見職 へ開部報例込域 始 酬支額加		時分比給へ算旧 2へ例へ特見職 へ開部報例込域 始 酬支額加	
属性	C	C	C	C	C	C	C	C
バイト	10	10	10	10	10	10	10	10

図3.2-1 詳細見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）詳細見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
ファイルID	－	ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
		レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(3 / 5)

項目名	給（特 ～定例 額支	始厚（算旧 時支老見職 ～給基込域 開老額加	特例支給（報酬比例部分）見込額	特例支給（報酬比例部分）開始時1	特例支給（報酬比例部分）開始時2	特例支給（定額部分）開始時	経過的加算部分見込額
属性 バイト	C 10	C 40	C 40	C 40	C 40	C 40	C 10

項目名	繰下げ時見込額情報部	70歳繰下げ時見込額	60歳繰上げ時見込額	75歳繰下げ時見込額	繰上げ下げ時見込額予備1	繰上げ下げ時見込額予備2
属性 バイト		C 40	C 40	C 40	C 40	C 10

項目名	未使用
属性 バイト	

項目名	未使用
属性 バイト	

図3.2-1 詳細見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近 1 年出力者）詳細見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	9 0 0 バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイル I D	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチホリユームの別	シングル	(4 / 5)

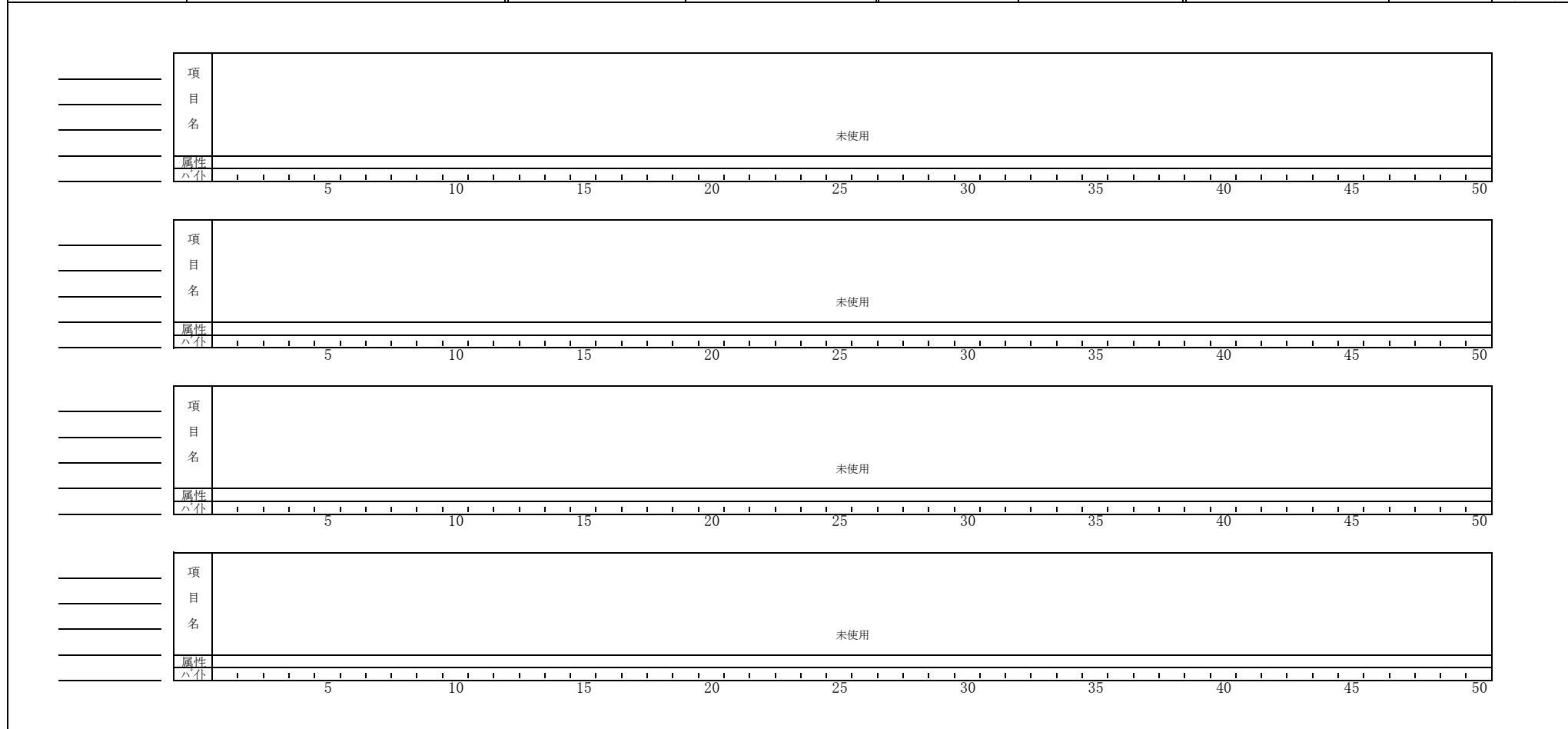


図3.2-1 詳細見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）詳細見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	9 0 0 バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(5 / 5)

項目名	未使用
属性	
バイト	5 10 15 20 25 30 35 40 45 50

項目名	未使用
属性	C
バイト	3 5 9 10 15 20 25 30 35 40 45 50

項目名	
属性	
バイト	5 10 15 20 25 30 35 40 45 50

項目名	
属性	
バイト	5 10 15 20 25 30 35 40 45 50

図3.2-1 詳細見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）直近1年月別情報レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ	
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	ｼﾝｸﾞﾙ／ﾏﾙﾁの別	ｼﾝｸﾞﾙ		
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	ｼﾝｸﾞﾙ／ﾏﾙﾁﾎﾞﾘｭｰﾑの別	ｼﾝｸﾞﾙ	(1/ 5)	
	項目名	共通部							
		基礎年金番号		封入封緘コード		地共現存共済組合員情報			
		C		C		C			
		11		13		38			
	項目名								
		レコード区分	番コード内通	郵便番号		通知対象期間(自)		間通(自対)象年	間通(自対)象月
		C	9	C		C		C	C
		1	3	8		8		2	2
	項目名								
		通知対象期間(至)	間通(自対)象年	年	間通(自対)象月	月	抽出年元号	抽出年	抽出月
		C	C	C	C	C	C	C	C
		6	8	2	2	6	8	2	6
	項目名								
		抽出日	日	数納計付済等月	納付済月数	数全額免除月	除4月分数の3免	数半額免除月	除4月分数の1免
		C	C	C	C	C	C	C	C
		2	6	3	3	3	3	3	3

図3.2-1 直近1年月別状況レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）直近1年月別情報レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(2/ 5)

項目名	号被保険者期間								合算対象期間	合年計金加入期間	直近1年月別情報部(1)				
	数換第2加号入被月保	厚年月数	厚年基金月数情報	厚年期間	厚年基金期間情報	船保月数	船保期間	年月			対象元号	対象年	年	対象月	
属性	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C		C	C	C	C
バイト	2	3	5	3	5	3	3	3	3	3		8	2	6	2

項目名	加入制度		産 前 産 後 月 数	未 使 用	納付状況等		
	月	加入制度			国 年 納 付 状 況	納 付 状 況 (上 段)	厚 船 納 付 状 況
属性	C	C	C	C	C	C	
バイト	6	8	3	5	14	8	

項目名	事業所名称等				事業所名称等上段	
	月 標 額 準 報 酬	標準賞与額	納付額	夕 有 称 事 長 効 等 業 ア 上 所 1 段 名	印 称 事 字 等 業 桁 上 所 数 段 名	
属性	C	C	C	9	9	
バイト	10	10	10	3	3	

項目名	事業所名称等上段					事業所名称等下段	
						夕 有 称 事 長 効 等 業 ア 下 所 1 段 名	印 称 事 字 等 業 桁 下 所 数 段 名
属性	C					9	9
バイト	62					3	3

図3.2-1 直近1年月別状況レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）直近1年月別情報レコード		ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
			ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－		レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(3 / 5)
	項								
	目								
	名								
	属性								
	バイト								
			5		10		15		20
									25
									30
									35
									40
									45
									50
	項	直近1年月別情報部(2)							
	目		年月					加入制度	産前産後月数
	名	称事等業下所段名	基金加入表示	対象元号	対象年	年	対象月	月	加入制度
									未使用
	属性	C	C	C	C	C	C	C	C
	バイト	56	1	8	2	6	2	8	3
			5		10		15		20
									25
									30
									35
									40
									45
									50
	項								事業所名称等
	目								事業所名称等上段
	名	納付状況(上段)	納付状況(下段)	厚船納付状況		標準報酬月額	標準賞与額	納付額	事業所名称等下所1段名
	属性	C	C	C	C	C	C	C	9
	バイト	14	8	10	10	10	10	10	3
			5		10		15		20
									25
									30
									35
									40
									45
									50
	項								
	目								
	名	称事等業上段4							
	属性	9							
	バイト	3							
			5		10		15		20
									25
									30
									35
									40
									45
									50

図3.2-1 直近1年月別状況レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近１年出力者）直近１年別情報レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シグナル／マルチの別	シグナル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シグナル／マルチホールドの別	シグナル	(5/ 5)

項目名			
	事業所名称等下段		
	事業所名称等上段	タ有称事 長効等業 デ下所 ！段名	印称事 字等業 桁下所 数段名
属性 ハ付	C 62	9 3	9 3

[illegible]

項目名	
属性	
単位	

項目名	
属性	
単位	

図3.2-1 直近1年月別状況レコード

第4 貼付ラベル規定

DVDを貸出す際にDVDに収録されている内容を明確にするため、DVDディスクラベル及びDVDディスクケース貼付ラベルの貼付けを行います。

DVDディスクラベルの記載内容については表4. 1-1に、
DVDディスクラベルの記載方法については図4. 1-1に、
DVDディスクラベルの記載例については図4. 1-2に示します。

表4. 1-1 DVDディスクラベルの記載内容

項番	項 目	内 容	備 考
①	タイトル	表2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名の「DVD名称」及び「通知対象年齢」を記載する。	
②	正／副	正 または 副	
③	ボリューム名	表2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名の「ボリューム名」を記載する。	
④	ファイル名	表2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名の「ファイル名」を記載する。	

図4. 1-1 DVDディスクラベルの記載方法

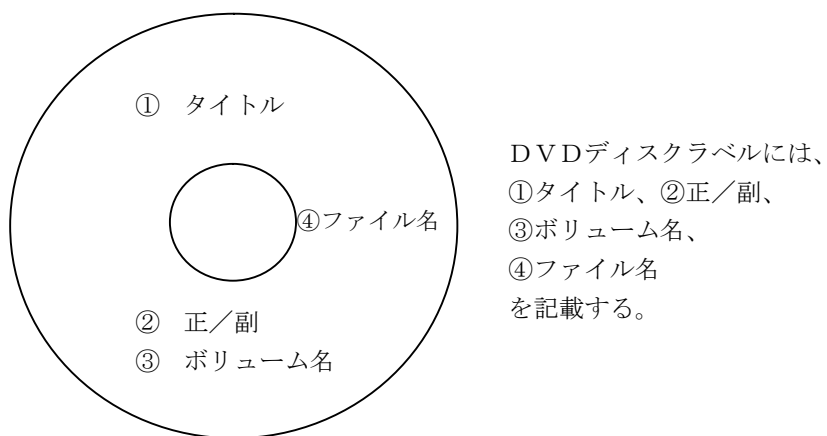


図4. 1-2 DVDディスクラベルの記載例



DVDディスクケース貼付ラベルの記載内容については表4. 1-2に、
DVDディスクケース貼付ラベルの記載方法については図4. 1-3に、
DVDディスクケース貼付ラベルの記載例については図4. 1-4に示します。

表4. 1-2 DVDディスクケース貼付ラベルの記載内容

項番	項 目	内 容	備 考
①	タイトル	表2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名の「DVD名称」及び「通知対象年齢」を記載する。	
②	正／副	正 または 副	
③	ボリューム名	表2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名の「ボリューム名」を記載する。	
④	ファイル名	表2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名の「ファイル名」を記載する。	
⑤	作成年月日	DVDを作成した年月日を記載する。 (平成99年99月99日)	
⑥	機構担当名	日本年金機構の担当名を記載する。	

図4. 1-3 DVDディスクケース貼付ラベルの記載方法

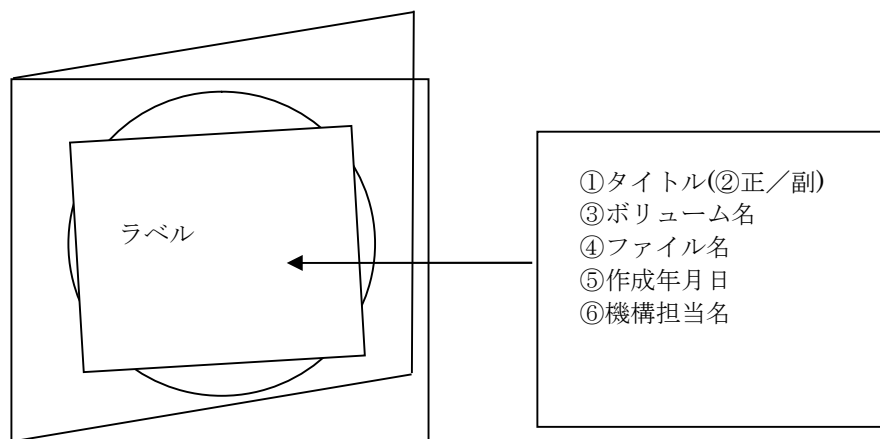


図4. 1-4 DVDディスクケース貼付ラベルの記載例

ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）
（前半者通知）
<15～20歳>
（正）

ボリューム名：PAT01A
ファイル名：C15Z11

作成年月日：平成27年02月13日
日本年金機構 三鷹分室

第5 文字コード規定

5. 1 文字コードについて

本情報交換で使用する文字コードはJ I S 8ビットコード及びS h i f t - J I Sコードです。

つきましては、ご使用のコンピュータの使用文字コードが次項の規定に基づいている事を必ず確認し、必要に応じてコード変換等の対処を行って下さい。

5. 2 文字コード規定

①本仕様書で規定する文字コード規定は、別添の印刷専用社会保険フォント一覧のとおりです。

第6 留意事項

6. 1 項目設定共通事項

6. 1. 1 有効データ長について

有効データ長は、未使用項目となります。

6. 1. 2 漢字項目と印字桁数について

漢字項目には左詰めで文字が格納されていて、右側に余白が含まれております。

印字桁数には文字の先頭から有効なバイト数（右側の余白を含まない）を設定しています。

6. 2 各種コード値の扱い

下記項目については、「ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）」にはコード値のみを編集しているため、帳票印字時にコード値を基に文言編集する必要があります。
帳票印字時に文言編集する項目の一覧を表6. 2-1に示します。

表6. 2-1 帳票印字時に文言編集する項目

項番	レコード名（記録部名）		編集内容
	項目名		
1	基本レコード 他（共通部）		
	①ねんきん特別便通知種別 ②ねんきん特別便確認有無表示 ③ねんきん特別便未送達表示		ねんきん特別便の通知状況を編集
	NEKO申請者表示		年金個人情報提供システム利用者であるかについて編集
	資格記録数超過表示		加入履歴（空白期間を除く）の資格期間数が300記録を超過した場合、その旨を編集
4	共済記録保有者表示		共済記録保有者である場合、その旨を編集
5	基本レコード（表示部）		
	備考欄超過表示		備考欄情報数が12記録を超過した場合、その旨を編集
6	基本レコード（表示部）または詳細見込額レコード（表示部）		
	老齢年金受給者表示		老齢年金受給権者である場合、その旨を編集
7	期間重複有無表示		期間重複判定結果について編集
8	詳細見込額レコード（延長メッセージ部）		
	①延長制度表示 ②延長納付状況		詳細見込額を算出した際の期間延長の状況を編集
9	簡易見込額レコード（表示部）または詳細見込額レコード（表示部）		
	高井戸検出事故コード		年金給付システムにて検出した事故について編集
10	直近1年月別状況レコード（直近1年月別情報部）		
	基金加入表示		基金加入である場合、その旨を編集

ねんきん定期便通知情報DVD
(直近1年出力者)
仕様書
(令和8年10月～令和9年3月発送分)

令和8年10月
17.0版

日本年金機構

変更履歴表						ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書		
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V/R	記事
1	H26. 09. 19	H27. 02S	新規		CMT廃止に伴う後継媒体（D VD）対応	CMT廃止に伴う外部関係 機関との「インタフェース 仕様書」改版	1. 0	
2	H27. 01. 28	H27. 02S	変更	表2. 2. 1-2	特定年齢通知、5 9 歳通知の文 言を削除	誤記修正	1. 1	
			変更	表3. 1-1	項番110「カスタマバーコード 印字桁数」、項番111「カスタ マバーコード文字情報」を未使 用項目に変更	カスタマバーコードは、印 刷業者にて生成・印刷する ため（印刷専用社会保険 フォントがカスタマバー コード文字情報には対応し ていないため）		
3	H26. 12. 17	H27. 09. 24S	変更	P13～ P19～ P22～ P25～	表3. 1-1の以下の項目説明に公 務員共済および私学共済の情報 項目を追加 ・ねんきん定期便基本レコード ・ねんきん定期便簡易見込額レ コード ・ねんきん定期便詳細見込額レ コード ・ねんきん定期便直近1 年月別 状況レコード	「被用者年金一元化に伴う システム開発」イベント （開発指示書番号 25-KNR- 0163、25-KNR-0232）	2. 0	
				p29	表3. 1-1の加入制度の説明欄か ら国年、合算を削除			
				P34～ P39～ P44～ P49～	図3. 2-1の以下の項目説明に公 務員共済および私学共済の情報 項目を追加 ・ねんきん定期便基本レコード ・ねんきん定期便簡易見込額レ コード ・ねんきん定期便詳細見込額レ コード ・ねんきん定期便直近1 年月別 状況レコード			
4	H27. 08. 31	H27. 09. 24S	変更	表3. 1-2	被保険者区分から地共現存者を 削除	「被用者年金一元化に伴う システム開発」イベント （開発指示書番号 25-KNR- 0163、25-KNR-0232）	2. 1	
5	H27. 12. 10	H28. 04. 01S	変更	表3. 1-1	基本レコードに対し、 ・新規項目「納付猶予月数（再 掲）」、「特定期間月数（再 掲）」を追加 ・既存項目「学生納付特例等月 数」、「任意加入未納月数」、 「合算対象期間」の設定値等欄 を変更	年金事業運営改善法（国年 保険料の納付猶予制度の対 象者拡大）に伴うシステム 開発（H 2 8 . 4 . 1 s）	3. 0	
				表3. 1-1	直近1 年月別状況レコードに対 し、 ・新規項目「納付猶予月数（再 掲）」を追加 ・既存項目「学生納付特例等月 数」の説明欄を変更			
				表3. 1-6	・納付状況パターンに「納付猶 予」、「納付猶予追納」を追加 ・学生納付特例の編集内容を 「学生特例等」から「△学生特 例△」に変更			
				図3. 2-1	基本レコードに対し、 ・新規項目「納付猶予月数（再 掲）」、「特定期間月数（再 掲）」を追加			
				図3. 2-1	直近1 年月別状況レコードに対 し、 ・新規項目「納付猶予月数（再 掲）」を追加			
6	H28. 06. 15	H28. 10. 03S	変更	表3. 1-6	・納付状況パターンに「抽出年 月日の前々月が未納、半額未 納、1 / 4 額未納、3 / 4 額未 納である場合」を追加	「ねんきん定期便」におけ る国民年金保険料の納付表 示の改善（H28. 10. 3s） （開発指示書番号 28-基シ KR1-0041）	4. 0	

変更履歴表							ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書	
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V/R	記事
7	H29.02.08	H29.02S	変更	P.1 表2.1.2-1 P.7	記録媒体の変更（DVD-RW→DVD-R）に伴う記載の変更	「個人情報保護委員会および内閣サーバセキュリティセンターの監査に伴う問合せ対応」 （開発指示書番号 28-シ企CSI-0506）	5.0	
8	H29.01.26	H29.04.24S	変更	表3.1-1	基本レコードに対し、 ・既存項目「再発行表示」の説明欄を変更	住所変更処理を契機とした「ねんきん定期便」の再発行のハガキ化についてのシステム開発（H29.4.24s） （開発指示書番号 28-基シKR1-0165）	6.0	
				表3.1-1	簡易見込額レコードに対し、 ・既存項目「再発行表示」の説明欄を変更			
				表3.1-1	詳細見込額レコードに対し、 ・既存項目「再発行表示」の説明欄を変更			
				表3.1-1	直近一年月別状況レコードに対し、 ・既存項目「再発行表示」の説明欄を変更			
9	H29.05.09	H29.10.02	追加	P.7	分割区分について機構単独であり、かつ前半者の場合の分割区分を追加	「ねんきん定期便」における作成対象者抽出スケジュールの変更および厚生年金保険料の月別状況表示の対応についてのソフトウェア提供サービス （H29.10.2s） （開発指示書番号 28-シ企CSI-0436）	7.0	
				表2.1.2-5	前半者の通知対象年齢のボリューム名、ファイル名を追加			
			変更	表2.1.2-5	表2.1.2-5に対し、通知対象年齢、ファイル名、及びDVD名称を変更 ＜通知対象年齢、ファイル名の変更＞ ・21～26歳→21～29歳 ・27～32歳 →30～34歳、36～39歳 ファイル名：C27Z11～C27Z51 →C30Z11～C30Z51 ・33、34歳、36～39歳 →40～44歳、46歳～49歳 ファイル名：C33Z11～C33Z51 →C40Z11～C40Z51 ・40～44歳→削除 ・46～49歳→削除 ・50歳→削除 ・52～55歳、58歳 →50～54歳 ファイル名：C52K11～C52K51 →C50K11～C50K51 ・51、56、57歳 →55～58歳、60歳 ファイル名：C51K11～C51K51 →C55K11～C55K51 ・60歳→削除 ＜DVD名称の変更＞ ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）（60歳以上者通知） →ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）（61歳以上者通知）			
				表2.1.2-6	・前半者通知の設定値欄を下記の通りに変更 最大6年齢→最大9年齢 ・後半者通知の設定値欄を下記の通りに変更 最大6年齢→最大5年齢 ・60歳以上者通知の抽出対象の年齢欄から60歳を削除し、後半者通知の抽出対象の年齢欄へ60歳を追加			
				表2.1.2-7	・60歳以上者通知の通知対象の年齢欄から60歳を削除し、後半者通知の抽出対象の年齢欄へ60歳を追加			

変更履歴表						ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書		
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V／R	記事
10	H29.12.18	H30.3S	変更	表3.1-1 P13 P19 P22 P26	・項番22（住民票コード収録状況）説明のコード値「0」～「3」の記載削除	【下期固有案件】ねんきん定期便住基情報交換ルートの廃止作業（H30.3s） （開発指示書番号：29-基シKR1-0142）	8.0	
11	H30.01.05	H30.4S	変更	表3.1-1	・NEKO申請者表示の説明欄から「1」「2」の記載を削除 ・ねんきん定期便基本レコードに対し、新規項目「年齢情報」を追加	制度改正及び業務改善に伴う「ねんきんネット」のシステム開発についてのシステム開発にかかるソフトウェア提供サービス【記録管理・基礎年金番号管理システム】（2018年4月2日サービス開始）	9.0	
				図3.2-1	・ねんきん定期便基本レコードに対し、新規項目「年齢情報」を追加			
			追加	表3.1-7	・「年齢情報」のコード値一覧を追加			
12	H30.05.23	H31.4S	追加	表3.1-1	基本レコードに対し、新規項目「産前産後月数」を追加	国民年金第1号被保険者の産前産後期間の保険料免除に伴うシステム開発にかかるソフトウェア提供サービス 〈開発指示書番号：29-基シKR1-0207〉	10.0	
			変更		基本レコードを下記の通り変更 ・基本情報部の最終項目「未使用」のバイト数を15から12に変更 ・「納付済月数」は産前産後期間を含まないため説明欄の記載を変更			
			追加	表3.1-1	直近1年月別状況レコードに対し、新規項目「産前産後月数」を追加			
			変更		直近1年月別状況レコードを下記の通り変更 ・「納付済月数」は産前産後期間を含まないため説明欄の記載を変更 ・直近1年月別情報部の「未使用」のバイト数を8から5に変更			
			追加	表3.1-6 図3.2-1	納付状況パターンに「産前産後免除期間である場合」、「産前産後免除期間である場合＋付加納付」を追加			
					基本レコードに対し、新規項目「産前産後月数」を追加			
					直近1年月別状況レコードに対し、新規項目「産前産後月数」を追加			
			13	R01.06.07	R01.10.10S			
変更	基本レコードを下記の通り変更 ・共通部の最終項目「未使用」のバイト数を2から1に変更							
追加	表3.1-1	簡易見込額レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加						
変更		簡易見込額レコードを下記の通り変更 ・共通部の最終項目「未使用」のバイト数を2から1に変更						

変更履歴表						ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書		
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V／R	記事
13	R01.06.07	R01.10.10S	追加	表3.1-1	詳細見込額レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加	共済区分コードに関する「ねんきん定期便」記録抽出エラー対応 ＜開発指示書番号：H31-シ企CSI-0006＞	11.0	
			変更		詳細見込額レコードを下記の通り変更 ・共通部の最終項目「未使用」のバイト数を2から1に変更			
			追加	表3.1-1	直近1年月別状況レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加			
			変更		直近1年月別状況レコードを下記の通り変更 ・共通部の最終項目「未使用」のバイト数を2から1に変更			
			追加	図3.2-1	基本レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加			
					簡易見込額レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加			
					詳細見込額レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加			
					直近1年月別状況レコードに対し、新規項目「地共済未移行（旧三共済）有無表示」を追加			
14	R01.11.15	R02.02.03S	追加	表3.1-1	詳細見込額レコードに対し、新規項目「70歳繰下げ時見込額」を追加	ねんきん定期便にかかる表示の改善等に伴うシステム開発	12.0	
			変更		詳細見込額レコードの「詳細見込額情報部」および「共済詳細見込額情報部」の説明欄について詳細見込額が算出不可の場合の設定値を半角スペースから半角7スタリクに変更			
					詳細見込額レコードの最終項目「未使用」のバイト数およびロケーションを変更 ・バイト数：449→439 ・ロケーション：451→461			
			追加	図3.2-1	詳細見込額レコードに対し、新規項目「70歳繰下げ時見込額」を追加			
			変更		詳細見込額レコードの最終項目「未使用」のバイト数およびロケーションを変更 ・バイト数：449→439 ・ロケーション：451→461			
			追加	表3.1-7	通知年齢に61歳～99歳以上を追加			
			変更		通知年齢の60歳以上を60歳に変更			
15	R02.01.10	R02.08.03S	追加	表3.1-1	簡易見込額レコードに対し、新規項目「昨年簡易見込額」、「昨年抽出年月」、「生年月日訂正表示」、「年金見込額減額表示」を追加	ねんきん定期便にかかる表示の改善等に伴うシステム開発	13.0	

変更履歴表							ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書	
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V/R	記事
15	R02.01.10	R02.08.03S	変更	表3.1-1	簡易見込額レコードの「簡易見込額情報部」および「共済簡易見込額情報部」の説明欄について簡易見込額が算出不可の場合の設定値を半角スペースから半角7スペースに変更	ねんきん定期便にかかる表示の改善等に伴うシステム開発	13.0	
			変更		簡易見込額レコードの最終項目「未使用」のﾊﾞｲﾄ数およびﾎﾟｹｰｼｮﾝを変更 ・ﾊﾞｲﾄ数:591→573 ・ﾎﾟｹｰｼｮﾝ:309→327			
			追加	図3.2-1	簡易見込額レコードに対し、新規項目「昨年簡易見込額」、「昨年抽出年月」、「生年月日訂正表示」、「年金見込額減額表示」を追加			
			変更		簡易見込額レコードの最終項目「未使用」のﾊﾞｲﾄ数およびﾎﾟｹｰｼｮﾝを変更 ・ﾊﾞｲﾄ数:591→573 ・ﾎﾟｹｰｼｮﾝ:309→327			
16	R02.08.27	R03.02.01S	変更	表3.1-1	基本レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更	「ねんきん定期便」のお知らせ内容及び記載の改善についてのシステム開発にかかるソフトウェア提供サービス（R3.2.1s）	14.0	
					簡易見込額レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
					詳細見込額レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
					直近1年月別状況レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
			変更	図3.2-1	基本レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
					簡易見込額レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
					詳細見込額レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
					直近1年月別状況レコードに対し、既存項目「住民票コード収録状況」を「マイナンバー収録状況」に変更			
17	R02.11.06	R03.02.01S	変更	表3.1-1	基本レコードに対し、新規項目「住所情報塗替え表示」を追加	「ねんきん定期便」未送達者にかかる対応（R3.2.1s）	14.1	
					基本レコードの最終項目「未使用」のﾊﾞｲﾄ数およびﾎﾟｹｰｼｮﾝを変更 ・ﾊﾞｲﾄ数:2→1 ・ﾎﾟｹｰｼｮﾝ:898→899			
				図3.2-1	基本レコードに対し、新規項目「住所情報塗替え表示」を追加			

変更履歴表						ねんきん定期便通知情報 DVD（直近1年出力者）仕様書		
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V/R	記事
17	R02.11.06	R03.02.01S	変更	図3.2-1	基本レコードの最終項目「未使用」のﾊﾞｲﾄ数およびﾚｰｼﾞｮﾝを変更 ・ﾊﾞｲﾄ数:2→1 ・ﾚｰｼﾞｮﾝ:898→899	「ねんきん定期便」未送達者にかかる対応（R3.2.1s）	14.1	
18	R03.08.30	R04.02.01S	変更	表3.1-1	詳細見込額レコードに対し、新規項目「60歳繰上げ時見込額」、「75歳繰下げ時見込額」、「繰上げ下げ時見込額予備1」、「繰上げ下げ時見込額予備2」を追加	繰下げ受給の柔軟化にかかるシステム開発（R4.2.1s）	15.0	
					「70歳繰下げ時見込額」の説明欄の記載を「繰下げ時見込額情報部」の説明欄に集約			
				図3.2-1	詳細見込額レコードの最終項目「未使用」のﾊﾞｲﾄ数およびﾚｰｼﾞｮﾝを変更 ・ﾊﾞｲﾄ数:439→399 ・ﾚｰｼﾞｮﾝ:461→501			
					詳細見込額レコードに対し、新規項目「60歳繰上げ時見込額」、「75歳繰下げ時見込額」、「繰上げ下げ時見込額予備1」、「繰上げ下げ時見込額予備2」を追加 詳細見込額レコードの最終項目「未使用」のﾊﾞｲﾄ数およびﾚｰｼﾞｮﾝを変更 ・ﾊﾞｲﾄ数:439→399 ・ﾚｰｼﾞｮﾝ:461→501			
19	R04.10.13	R05.02.13S	変更	表2.1.2-5	ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）（61歳以上者通知）の通知対象年齢を変更 ・61歳以上→61歳以上（被保険者）	ねんきん定期便61歳以上受給者の媒体振り分け（R5.2.13s）	16.0	
			追加		ねんきん定期便通知情報DVD（61歳以上者通知）の61歳以上（受給者）のボリューム名（正）、ボリューム名（副）、ファイル名、備考に追加。			
			変更		ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）（共済61歳以上者通知）の通知対象年齢を変更 ・61歳以上→61歳以上（被保険者）			
			追加		ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）（共済61歳以上者通知）の61歳以上（受給者）のボリューム名（正）、ボリューム名（副）、ファイル名、備考に追加。			
			変更	表2.1.2-7	項番3の「通知区分」と「通知対象の年齢」を変更 ・通知区分:60歳以上者通知→60歳以上者通知（被保険者） ・通知対象の年齢:61歳以上の全年齢→61歳以上の全年齢（被保険者）			
			追加		項番3-1の「通知区分」に「60歳以上者通知（受給者）」を追加			
			変更		項番6の「通知区分」と「通知対象の年齢」を変更 ・通知区分:共済60歳以上者通知→共済60歳以上者通知（被保険者） ・通知対象の年齢:61歳以上の全年齢→61歳以上の全年齢（被保険者）			
			追加		項番6-1の「通知区分」に「共済61歳以上者通知（受給者）」を追加			

変更履歴表						ねんきん定期便通知情報 DVD（直近１年出力者）仕様書		
項番	変更年月日	サービス時期	変更区分	変更箇所	変更内容	変更理由	V／R	記事
19	R04. 10. 13	R05. 02. 13S	変更	表3. 1-1	以下のレコードにおいて、項番23「未使用」を「老齢年金受給者表示」に変更	ねんきん定期便61歳以上受給者の媒体振り分け (R5. 2. 13s)	16. 0	
					基本レコード 簡易見込額レコード 詳細見込額レコード 直近１年月別状況レコード			
				図3. 2-1	以下のレコードにおいて、表示部の「老齢年金受給者表示」を「未使用」に変更 基本レコード 詳細見込額レコード			
					以下のレコードにおいて、共通部の最終項目「未使用」を「老齢年金受給者表示」に変更 基本レコード 簡易見込額レコード 詳細見込額レコード 直近１年月別状況レコード			
20	R07. 03. 11	R08. 10. 1S	追加	表3. 1-1	基本レコードに対し、新規項目「育児月数」を追加	国民年金第１号被保険者の育児期間に係る免除制度創設に伴うシステム開発にかかるソフトウェア提供サービス【記録管理・基礎年金番号管理システム】 (R8. 10. 1s) 〈開発指示書番号：R6-基シKR-0323〉	17. 0	
			変更		基本レコードを下記の通り変更 ・基本情報部の最終項目「未使用」のバイト数を12から9に変更 ・「納付済月数」は育児免除期間を含まないため説明欄の記載を変更			
			変更		「未使用」項目のバイト数変更に伴い、下記項目のロケーションを変更 ・「年金加入期間総合計１」 ・「年金加入期間総合計２」 ・「第１号被保険者加入月数（未納除く）」 ・「納付済月数」 ・「産前産後月数」			
			追加	表3. 1-1	直近１年月別状況レコードに対し、新規項目「育児月数」を追加			
			変更		直近１年月別状況レコードを下記の通り変更 ・「納付済月数」育児免除期間を含まないため説明欄の記載を変更 ・直近１年月別情報部の「未使用」のバイト数を5から2に変更			
			追加	表3. 1-6	納付状況パターンに「育児免除期間である場合」、「育児免除期間である場合＋付加納付」を追加			
			追加	図3. 2-1	基本レコードに対し、新規項目「育児月数」を追加			
					直近１年月別状況レコードに対し、新規項目「育児月数」を追加			

目 次

	頁
第 1 基本的事項	1
1. 1 目的	1
1. 2 規定にあたっての基本的な考え方	1
第 2 具体的事項	2
2. 1 電子媒体関係	2
2. 1. 1 電子媒体の種類	2
2. 1. 2 共通規定事項	3
(1) ハード仕様	3
(2) ソフト仕様	4
(3) ボリューム名及びファイル名	7
2. 2 データ作成規定	10
2. 2. 1 レコードの種類と格納順序	10
2. 2. 2 レコード構成と詳細	11
2. 2. 3 0 件時のファイル作成有無について	11
第 3 個別事項	12
3. 1 データレコードの項目説明	12
3. 2 データレコードのレコードフォーマット	12
第 4 貼付ラベル規定	57
第 5 文字コード規定	59
第 6 留意事項	60

印刷専用社会保険フォント一覧（別添）

第 1 基本的事項

1. 1 目的

この仕様書は、日本年金機構が「ねんきん定期便（直近 1 年出力者）」の作成委託を行うにあたり、受託業者に対して行われる作成情報の提供に使用する電子媒体の仕様を定めたものです。

1. 2 規定にあたっての基本的な考え方

規定については、日本工業規格（JIS）に基づいて作成しました。
具体的には、JIS X 6249（DVDレコーダブルディスク（DVD-R））に準じた仕様としています。

尚、使用する文字コードは 1 バイト文字は JIS 8 ビットコード、2 バイト文字は Shift-JIS コードとしました。

第2 具体的事項

2. 1 電子媒体関係

2. 1. 1 電子媒体の種類

表 2. 1. 1 - 1 電子媒体の種類

DVD種類	ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）
作成元	日本年金機構
送付先	被保険者
収録概要	ねんきん定期便の作成情報

2. 1. 2 共通規定事項

(1) ハード仕様

ハード仕様の項目とその内容は、表 2. 1. 2-1 の通りです。

表 2. 1. 2-1 電子媒体のハード仕様

項番	項目	内容	備考
1	記録型DVD規格	DVD-R	DVD+R、 DVD-R DL、 DVD+R DLは使用不可
2	ディスク外径	120mm	
3	記録方式	有機色素を使用した記録方式	
4	レーザー波長	650nm	
5	記録容量	4.7GB (片面)	記録可能容量 ディスク1枚あたり : 4.37GB 1ファイルあたり : 1.90GB
6	記録方式	UDF方式	UDF2.01
7	書込方式	パケットライト	UDF形式でサポート ※書込み時は必ずセッション を閉じる

(2) ソフト仕様

ア) 電子媒体のソフト仕様

ソフト仕様の項目とその内容は、表 2. 1. 2-2 の通りです。

表 2. 1. 2-2 電子媒体のソフト仕様

項番	項目	内容	備考
1	ボリューム名	半角英数字で10桁以内	
2	ファイル名	半角英数字で19桁以内 (ファイル名後の「. (ドット) + 拡張子」 の計4桁除く)	
3	レコード形式	ねんきん定期便 (直近1年出力者) 固定長レコード (レコード区切り無し) レコード長 900 バイト	
4	データ属性	1 バイト文字または 2 バイト文字	
5	内部コード	1 バイト文字: J I S 8 ビットコード 2 バイト文字: S h i f t - J I S コード	別添の印刷専用社会保険 フォント一覧を参照
6	収録形式	シングルファイル/シングルボリューム	

イ) ソフト仕様の補足説明

ソフト仕様に関する補足説明は、以下の通りです。

① データ属性 (1 バイト文字又は、2 バイト文字)

データの各 1 文字を 1 バイト (8 ビット) で表す形式の文字を 1 バイト文字、
データの各 1 文字を 2 バイト (16 ビット) で表す形式の文字を 2 バイト文字と
いいます。

② 内部コード (J I S 8 ビットコード及び S h i f t - J I S コード)

電子計算組織内の処理において、文字等を表わすために用いる符号です。

③ 収録形式

収録形式は、表 2. 1. 2－3 の通りです。

表 2. 1. 2－3 収録形式

項番	収録形式	データの収録形態	電子媒体の形態
1	シングルファイル／ シングルボリューム	1 枚に 1 暗号化後 ファイルを収録	 ← ファイル (1)

④ レコード形式

- ・固定長レコード（レコード区切り無し）

バイナリ属性を含め、任意のデータ属性を格納したレコードで使用可能な形式。
データ部に関しては、区切りのない一つのファイルとする。

← データ A →	← データ B →	← データ C →
-----------	-----------	-----------

ウ) 暗号化処理方式

電子媒体の暗号化処理方式は、表 2. 1. 2-4 の通りです。

表 2. 1. 2-4 電子媒体の暗号化処理方式

項番	項目	内容	備考
1	自己解凍形式	A E S に準拠した暗号化製品による自己解凍形式とする。	
2	パスワード	1 6 桁の半角英数字とする。	
3	暗号化後 ファイル名	ファイル名の末尾に「. exe」を付与する。	ファイル名は、表 2. 1. 2-5 参照

(3) ボリューム名及びファイル名

DVD-Rのボリューム名及びファイル名は、表2. 1. 2-5の通りです。

DVD-Rには、暗号化後のファイル（ファイル名後の「.（ドット）+拡張子」含む）を収録します。

(注) ファイル名付与規則

<u>C₀</u>	<u>C₁</u>	<u>C₂</u>	<u>C₃</u>	<u>C₄</u>	<u>C₅</u>
①	②	③	④	⑤	⑥

①ファイル種別・・・C（ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者））

②③抽出年齢・・・抽出年齢のうち最小の抽出年齢を表示。

設定値の詳細は表2. 1. 2-6を参照。

例) 抽出年齢が15歳～20歳の場合、“15”を表示

④通知区分・・・通知区分をアルファベット1文字で表示。

設定値の詳細は表2. 1. 2-7を参照。

⑤分割区分・・・分割区分を以下のとおりに表示。

・機構単独であり、かつ前半者の場合

1回の走行にて9ファイルに分割して作成する。

(1ファイル目) “1”：初回抽出①

(2ファイル目) “2”：初回抽出②

(3ファイル目) “3”：初回抽出③

(4ファイル目) “4”：初回抽出④

(5ファイル目) “5”：再発行

(6ファイル目) “6”：初回抽出⑤

(7ファイル目) “7”：初回抽出⑥

(8ファイル目) “8”：初回抽出⑦

(9ファイル目) “9”：初回抽出⑧

・機構単独の場合

1回の走行にて5ファイルに分割して作成する。

(1ファイル目) “1”：初回抽出①

(2ファイル目) “2”：初回抽出②

(3ファイル目) “3”：初回抽出③

(4ファイル目) “4”：初回抽出④

(5ファイル目) “5”：再発行

・共済関連の場合

1回の走行にて2ファイルに分割して作成する。

(1ファイル目) “1”：初回抽出

(2ファイル目) “2”：再発行

⑥分割内通番・・・“1”固定

(⑤分割区分内でファイル分割した場合に、通番を付与予定)

表 2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名

回付方向	DVD名称	通知対象年齢	ボリューム名 (正)	ボリューム名 (副)	ファイル名	備考
日本年金機構 ↓ 受託業者	ねんさん定期便通知情報DVD (直近1年出力者) (前半者通知)	15～20歳	PAT01A	PAT01B	C15Z11	初回抽出①
			PAT02A	PAT02B	C15Z21	初回抽出②
			PAT03A	PAT03B	C15Z31	初回抽出③
			PAT04A	PAT04B	C15Z41	初回抽出④
			PAT05A	PAT05B	C15Z51	再発行
			PATB1A	PATB1B	C15Z61	初回抽出⑤
			PATB2A	PATB2B	C15Z71	初回抽出⑥
			PATB3A	PATB3B	C15Z81	初回抽出⑦
			PATB4A	PATB4B	C15Z91	初回抽出⑧
		21～29歳	PAT06A	PAT06B	C21Z11	初回抽出①
			PAT07A	PAT07B	C21Z21	初回抽出②
			PAT08A	PAT08B	C21Z31	初回抽出③
			PAT09A	PAT09B	C21Z41	初回抽出④
			PAT10A	PAT10B	C21Z51	再発行
			PATC1A	PATC1B	C21Z61	初回抽出⑤
			PATC2A	PATC2B	C21Z71	初回抽出⑥
			PATC3A	PATC3B	C21Z81	初回抽出⑦
			PATC4A	PATC4B	C21Z91	初回抽出⑧
		30～34歳、 36～39歳	PAT11A	PAT11B	C30Z11	初回抽出①
			PAT12A	PAT12B	C30Z21	初回抽出②
			PAT13A	PAT13B	C30Z31	初回抽出③
			PAT14A	PAT14B	C30Z41	初回抽出④
			PAT15A	PAT15B	C30Z51	再発行
			PATD1A	PATD1B	C30Z61	初回抽出⑤
			PATD2A	PATD2B	C30Z71	初回抽出⑥
			PATD3A	PATD3B	C30Z81	初回抽出⑦
			PATD4A	PATD4B	C30Z91	初回抽出⑧
		40～44歳、 46～49歳	PAT16A	PAT16B	C40Z11	初回抽出①
			PAT17A	PAT17B	C40Z21	初回抽出②
			PAT18A	PAT18B	C40Z31	初回抽出③
			PAT19A	PAT19B	C40Z41	初回抽出④
			PAT20A	PAT20B	C40Z51	再発行
			PATE1A	PATE1B	C40Z61	初回抽出⑤
			PATE2A	PATE2B	C40Z71	初回抽出⑥
			PATE3A	PATE3B	C40Z81	初回抽出⑦
			PATE4A	PATE4B	C40Z91	初回抽出⑧
	ねんさん定期便通知情報DVD (直近1年出力者) (後半者通知)	50～54歳	PAT36A	PAT36B	C50K11	初回抽出①
			PAT37A	PAT37B	C50K21	初回抽出②
			PAT38A	PAT38B	C50K31	初回抽出③
			PAT39A	PAT39B	C50K41	初回抽出④
			PAT40A	PAT40B	C50K51	再発行
		55～58歳、 60歳	PAT41A	PAT41B	C55K11	初回抽出①
			PAT42A	PAT42B	C55K21	初回抽出②
			PAT43A	PAT43B	C55K31	初回抽出③
			PAT44A	PAT44B	C55K41	初回抽出④
			PAT45A	PAT45B	C55K51	再発行
	ねんさん定期便通知情報DVD (直近1年出力者) (61歳以上者通知)	61歳以上 (被保険者)	PAT51A	PAT51B	C61R11	初回抽出①
			PAT52A	PAT52B	C61R21	初回抽出②
			PAT53A	PAT53B	C61R31	初回抽出③
			PAT54A	PAT54B	C61R41	初回抽出④
			PAT55A	PAT55B	C61R51	再発行
		61歳以上 (受給者)	PAT5AA	PAT5AB	C61J11	初回抽出①
			PAT5BA	PAT5BB	C61J21	初回抽出②
			PAT5CA	PAT5CB	C61J31	初回抽出③
			PAT5DA	PAT5DB	C61J41	初回抽出④
			PAT5EA	PAT5EB	C61J51	再発行
	ねんさん定期便通知情報DVD (直近1年出力者) (共済前半者通知)	15～49歳	PAT71A	PAT71B	C15A11	初回抽出
			PAT72A	PAT72B	C15A21	再発行
	ねんさん定期便通知情報DVD (直近1年出力者) (共済後半者通知)	50～60歳	PAT73A	PAT73B	C50B11	初回抽出
			PAT74A	PAT74B	C50B21	再発行
	ねんさん定期便通知情報DVD (直近1年出力者) (共済61歳以上者通知)	61歳以上 (被保険者)	PAT75A	PAT75B	C61C11	初回抽出
			PAT76A	PAT76B	C61C21	再発行
		61歳以上 (受給者)	PAT7AA	PAT7AB	C61D11	初回抽出
			PAT7BA	PAT7BB	C61D21	再発行

表 2. 1. 2-6 抽出年齢の設定値

通知区分	抽出対象の年齢	設定値
前半者通知	15、16、17、18、19、20、21、 22、23、24、25、26、27、28、 29、30、31、32、33、34、36、 37、38、39、40、41、42、43、 44、46、47、48、49	左記年齢の中で抽出対象とした年 齢（最大9年齢）のうち、最小の 年齢を設定
後半者通知	50、51、52、53、54、55、56、 57、58、60	左記年齢の中で抽出対象とした年 齢（最大5年齢）のうち、最小の 年齢を設定
60歳以上者通知	61以上の全ての年齢	“61” 固定
共済前半者通知	15、16、17、18、19、20、21、 22、23、24、25、26、27、28、 29、30、31、32、33、34、35、 36、37、38、39、40、41、42、 43、44、45、46、47、48、49	“15” 固定
共済後半者通知	50、51、52、53、54、55、56、 57、58、59、60	“50” 固定
共済61歳以上者通知	61以上の全ての年齢	“61” 固定

表 2. 1. 2-7 通知区分の設定値

項番	設定値	通知区分	通知対象の年齢
1	Z	前半者通知	15～34歳、36～44歳、46～49歳
2	K	後半者通知	50～58歳、60歳
3	R	60歳以上者通知 (被保険者)	61歳以上の全年齢（被保険者）
3-1	J	60歳以上者通知 (受給者)	61歳以上の全年齢（受給者）
4	A	共済前半者通知	15～49歳
5	B	共済後半者通知	50～60歳
6	C	共済61歳以上者通知 (被保険者)	61歳以上の全年齢（被保険者）
6-1	D	共済61歳以上者通知 (受給者)	61歳以上の全年齢（受給者）

2. 2 データ作成規定

2. 2. 1 レコードの種類と格納順序

「ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）」は、直近1年の加入状況により、1人当りのレコード数が異なります。

レコード毎に付与された封入封緘コードが同一の間、1被保険者の情報が格納されています。

ファイルに収録されるデータレコードの種類及びソート項目を表2. 2. 1-1に示します。データレコード毎の格納条件を表2. 2. 1-2に示します。

表2. 2. 1-1 データレコードの種類及びソート項目

項番	ファイル名	データレコード名	ソート項目【昇順】
1	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）	注) ねんきん定期便基本レコード	①再発行表示 ②被保険者区分 ③地共現存共済組合員情報 ④カスタマバーコード有無表示 ⑤郵便番号 ⑥基礎年金番号 ⑦レコード区分 ⑧レコード内通番
2		注) ねんきん定期便簡易見込額レコード	
3		注) ねんきん定期便詳細見込額レコード	
4		注) ねんきん定期便直近1年月別状況レコード	

注) ねんきん定期便通知情報レコードと総称する

表 2. 2. 1-2 データレコード毎の格納条件

項番	データレコード名	レコード 区分	1 被保険者の格納件数		
			前半者 通知	後半者 通知	6 0 歳 以上者 通知
1	基本レコード	1	1 件		
2	簡易見込額レコード	2	1 件	0 件	
3	詳細見込額レコード	3	0 件	1 件	
4	直近 1 年月別状況レコード	8	5 ～ 2 6 件 ※ 1 レコードに最大 3 件の直近 1 年月別情報を格納		

2. 2. 2 レコード構成と詳細

当仕様書で扱う電子媒体についてのレコード構成及び内容は、「第 3 個別事項」の「3. 1 データレコードの項目説明」を参照願います。

2. 2. 3 0 件時のファイル作成有無について

出力対象となるレコードが 0 件の場合は、空データのファイルを作成します。

第3 個別事項

3. 1 データレコードの項目説明

ねんきん定期便通知情報レコードの項目説明を表3. 1－1に示します。

3. 2 データレコードのレコードフォーマット

ねんきん定期便通知情報レコードのレコードフォーマットを図3. 2－1に示します。

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便基本レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
1	共通部	-	-	-	-	-
2	基礎年金番号	C	11	0	"XXXX-XXXXXX"形式	
3	封入封緘コード	C	13	11	"XXX-XXXXXXXX"形式	設定内容の詳細は表3. 1-2 参照
4	地共現存共済組合員情報	C	28	24	"XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXXXX"形式	オールスペースの場合がある。
5	レコード区分	C	1	52	"X"形式	1：ねんきん定期便基本レコード
6	レコード内通番	9	3	53	"999"形式	"001"固定
7	郵便番号	C	8	56	"XXX-XXXX"形式	左詰めで設定し、残りは半角スペースを設定。(3桁、5桁の場合がある)オールスペースの場合がある。
8	共通表示部	-	-	-	-	-
9	再発行表示	C	1	64	"X"形式	0：初回発送 1：再発行 2：再発行（住所変更契機）
10	ねんきん特別便通知種別	C	1	65	"X"形式	表3. 1-3 参照
11	ねんきん特別便確認有無表示	C	1	66	"X"形式	表3. 1-4 参照
12	ねんきん特別便未送達表示	C	1	67	"X"形式	表3. 1-5 参照
13	NEKO申請者表示	C	1	68	"X"形式	0：年金個人情報提供対象者でない
14	カスタマバーコード有無表示	C	1	69	"X"形式	0：バーコード無し 1：バーコード有り
15	特定被保険者表示	C	1	70	"X"形式	0：特定者でない A：特定被保険者A B：特定被保険者B C：特定被保険者C D：特定被保険者D
16	納付拒否表示	C	1	71	"X"形式	0：納付拒否者でない 1：納付拒否者である
17	国年不在者表示	C	1	72	"X"形式	0：国年不在者でない 1：国年不在者である
18	国年特別一時金表示	C	1	73	"X"形式	0：国年特別一時金保有者でない 1：国年特別一時金保有者である
19	資格記録数超過表示	C	1	74	"X"形式	0：職歴明細超過者でない 1：職歴明細超過者である
20	警告事故者表示	C	1	75	"X"形式	0：警告事故者でない 1：警告事故者である
21	共済記録保有者表示	C	1	76	"X"形式	0：共済記録保有者でない 1：共済記録保有者である
22	マイナンバー収録状況	C	1	77	"X"形式	0：未収録 1：収録済 2：非保有理由者（短期在留外国人） 3：非保有理由者（海外居住） 4：非保有理由者（外国人脱退一時金受給者） 5：非保有理由者（性別変更者） 6：非保有理由者（その他） 7：未収録（基礎年金番号無効）
22-1	地共済未移行（旧三共済）有無表示	C	1	78	"X"形式	0：地共済未移行（旧三共済）でない 1：地共済未移行（旧三共済）である
23	老齢年金受給者表示	C	1	79	"X"形式	0：老齢年金受給者でない 1：老齢年金受給者である ただし、前半者通知の場合、半角スペースを設定。

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便基本レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
24	基本情報部	-	-	-		-
25	抽出年月日	-	-	-		抽出年月日を設定する
26	抽出年元号	C	8	80	"XX"形式	元号を漢字で設定
27	抽出年	C	2	88	"Z9"形式	
28	抽出月	C	2	90	"Z9"形式	
29	抽出日	C	2	92	"Z9"形式	
30	郵便番号	C	8	94	"XXX-XXXX"形式	左詰めで設定し、残りは半角スペースを設定。(3桁、5桁の場合がある)オールスペースの場合がある。
31	住所情報1行目	-	-	-		-
32	住所1行目有効データ長	9	3	102	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
33	住所1行目印字桁数	9	3	105	"999"形式	住所(1行目)の印字桁数。 漢字は2桁。ゼロの場合がある。
34	住所1行目	C	62	108	半角英数文字・全角(漢字)混在	住所(1行目)の実データを左詰めで設定。残りは半角スペースを設定。オールスペースの場合がある。
35	住所情報2行目	-	-	-		-
36	住所2行目有効データ長	9	3	170	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
37	住所2行目印字桁数	9	3	173	"999"形式	住所(2行目)の印字桁数。漢字は2桁。ゼロの場合がある。
38	住所2行目	C	62	176	半角英数文字・全角(漢字)混在	住所(2行目)の実データを左詰めで設定。残りは半角スペースを設定。オールスペースの場合がある。
39	住所情報3行目	-	-	-		-
40	住所3行目有効データ長	9	3	238	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
41	住所3行目印字桁数	9	3	241	"999"形式	住所(3行目)の印字桁数。漢字は2桁。ゼロの場合がある。
42	住所3行目	C	56	244	半角英数文字・全角(漢字)混在	住所(3行目)の実データを左詰めで設定。残りは半角スペースを設定。オールスペースの場合がある。
43	氏名情報	-	-	-		-
44	氏名有効データ長	9	3	300	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
45	氏名印字桁数	9	3	303	"999"形式	氏名の印字桁数。漢字は2桁。
46	氏名	C	57	306	半角英数文字・全角(漢字)混在	氏名の実データを左詰めで設定。残りは半角スペースを設定。
47	様	C	6	363	"様"固定	氏名を宛先として使用するための "様"
48	未使用	C	23	369	半角スペース	
49	封入封緘コード	C	13	392	"XXX-XXXXXXXX"形式	設定内容の詳細は表3. 1-2 参照

表 3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近 1 年出力者） ねんきん定期便基本レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
50	共済組合員情報	C	28	405	"XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXX"形式	オールスペースの場合がある。
51	基礎年金番号	C	11	433	"XXXX-XXXXXX"形式	
52	照会番号	C	12	444	"XXXXXXXXXXXX"形式	
53	生年月日	-	-	-		
54	生年元号	C	8	456	"X X"形式	元号を漢字で設定
55	生年	C	2	464	"Z9"形式	
56	生年月	C	2	466	"Z9"形式	
57	生年日	C	2	468	"Z9"形式	
58	作成年月日	C	8	470	"99999999"形式	作成年月日（西暦）として 運転日付を設定する
59	未使用	C	9	478	半角スペース	
60	加入月数情報部	-	-	-	-	-
61	年金加入期間総合計 1	C	3	487	"ZZ9"形式	
62	年金加入期間総合計 2	C	3	490	"ZZ9"形式	-
63	第 1 号被保険者期間	-	-	-	-	-
64	第 1 号被保険者加入月数（未納除く）	C	3	493	"ZZ9"形式	
65	納付済月数	C	3	496	"ZZ9"形式	納付済月数の内、産前産後免除期 間、育児免除期間に該当しない期間 を『ZZ9』形式で設定
65-1	産前産後月数	C	3	499	"ZZ9"形式	
65-2	育児月数	C	3	502	"ZZ9"形式	
66	全額免除月数	C	3	505	"ZZ9"形式	
67	4 分の 3 免除月数	C	3	508	"ZZ9"形式	
68	半額免除月数	C	3	511	"ZZ9"形式	
69	4 分の 1 免除月数	C	3	514	"ZZ9"形式	
70	学生納付特例等月数	C	3	517	"ZZ9"形式	学生納付特例月数と納付猶予月数を 加算した値を『ZZ9』形式で設定
70-1	納付猶予月数（再掲）	C	3	520	"ZZ9"形式	納付猶予月数を『ZZ9』形式で設定
71	未納月数	C	3	523	"ZZ9"形式	
72	第 1 号被保険者加入期間	C	3	526	"ZZ9"形式	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便基本レコード

項番	項目名		フォーマット			設定値	説明
			属性	バイト数	ロケーション		
73		付加納付月数	C	3	529	"ZZ9"形式	
74		第2号被保険者期間	-	-	-	-	
75		第2号被保険者加入月数	C	3	532	"ZZ9"形式	
76		厚年月数	C	3	535	"ZZ9"形式	
77		厚年基金月数情報	C	5	538	"(ZZ9)"形式	
78		厚年期間	C	3	543	"ZZ9"形式	
79		厚年基金期間情報	C	5	546	"(ZZ9)"形式	
80		船保月数	C	3	551	"ZZ9"形式	
81		船保期間	C	3	554	"ZZ9"形式	
82		共済組合加入月数	C	3	557	"ZZ9"形式	
83		第3号被保険者期間	-	-	-	-	
84		第3号被保険者加入月数	C	3	560	"ZZ9"形式	
85		任意加入未納月数	C	5	563	"(ZZ9)"形式	任意加入未納月数と特定期間月数を加算した値を『(ZZ9)』形式で設定
85-1		特定期間月数（再掲）	C	5	568	"(ZZ9)"形式	特定期間月数を『(ZZ9)』形式で設定
86		合算対象算入月数	C	5	573	"(ZZ9)"形式	
87		合算対象期間	C	3	578	"ZZ9"形式	該当被保険者の任意加入未納月数、合算対象算入月数及び特定期間月数を加算した値を『ZZ9』形式で設定
88		保険料納付額情報	-	-	-		
89		保険料納付額合計 （国年＋厚船＋2・3号＋4号）1	C	10	581	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	
90		保険料納付額合計 （国年＋厚船＋2・3号＋4号）2	C	10	591	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	
91		保険料納付額（国年）	C	10	601	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	
92		保険料納付額（厚船）	C	10	611	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	
93		未使用	C	2	621	半角スペース	
94		表示部	-	-	-		
95		備考記録数超過表示	C	1	623	"X"形式	0：備考欄超過者でない 1：備考欄超過者である
96		未使用	C	1	624	"X"形式	半角スペースを設定
97		簡易見込額有無表示	C	1	625	"X"形式	0：簡易見込額無し 1：簡易見込額有り

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便基本レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
98	詳細見込額有無表示	C	1	626	"X"形式	0：詳細見込額無し 1：詳細見込額有り
99	直近1年月別状況有無表示	C	1	627	"X"形式	"1" 固定
100	未使用	C	4	628	半角スペース	
101	期間重複表示	C	1	632	"X"形式	0：制度間期間重複無し 1：制度間期間重複有り
102	カスタマバーコード情報	-	-	-		
103	カスタマバーコード有効データ長	9	3	633	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
104	カスタマバーコード印字桁数	9	3	636	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
105	カスタマバーコード文字情報	C	101	639	半角英数文字・全角(漢字)混在	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
106	NEKOアクセスキー情報	-	-	-		
107	NEKOアクセスキー	C	17	740	"XXXXXXXXXXXXXXXXXX"形式	
108	QRコード情報	-	-	-		
109	識別区分	C	2	757	"XX"形式	
110	郵便物区分コード	C	7	759	"XXXXXXX"形式	
111	照会番号	9	12	766	"999999999999"形式	
112	作成年月日	9	8	778	"99999999"形式	
113	共済基本情報部	-	-	-		
114	第2・3号厚年情報抽出年月日	-	-	-		抽出年月日を設定する ※半角オールスペースの場合がある
115	抽出年元号	C	8	786	"XX"形式	元号を漢字で設定
116	抽出年	C	2	794	"Z9"形式	
117	抽出月	C	2	796	"Z9"形式	
118	抽出日	C	2	798	"Z9"形式	
119	第4号厚年情報抽出年月日	-	-	-		抽出年月日を設定する
120	抽出年元号	C	8	800	"XX"形式	元号を漢字で設定
121	抽出年	C	2	808	"Z9"形式	
122	抽出月	C	2	810	"Z9"形式	
123	抽出日	C	2	812	"Z9"形式	

表 3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近 1 年出力者） ねんきん定期便基本レコード

項番	項目名		フォーマット			設定値	説明
			属性	バイト数	ロケーション		
124	通知番号情報		-	-	-		※半角オールスペースの場合がある
125		第 2・3 号加入者番号	C	15	814	"XXXXXXXXXXXXXX"形式	
126		第 4 号加入者番号	C	15	829	"XXXXXXXXXXXXXX"形式	
127	共済加入月数情報部		-	-	-		
128	第 2 号被保険者期間		-	-	-		
129		厚年月数（第 2・3 号）	C	3	844	"ZZ9"形式	半角オールスペースの場合がある
130		厚年旧職域月数情報（第 2・3 号）	C	5	847	"(ZZ9)"形式	半角オールスペースの場合がある
131		厚年期間（第 2・3 号）	C	3	852	"ZZ9"形式	半角オールスペースの場合がある
132		厚年旧職域期間情報（第 2・3 号）	C	5	855	"(ZZ9)"形式	半角オールスペースの場合がある
133		厚年月数（第 4 号）	C	3	860	"ZZ9"形式	半角オールスペースの場合がある
134		厚年旧職域月数情報（第 4 号）	C	5	863	"(ZZ9)"形式	半角オールスペースの場合がある
135		厚年期間（第 4 号）	C	3	868	"ZZ9"形式	半角オールスペースの場合がある
136		厚年旧職域期間情報（第 4 号）	C	5	871	"(ZZ9)"形式	半角オールスペースの場合がある
137	共済保険料納付額情報		-	-	-		
138		保険料納付額（2・3 号）	C	10	876	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	半角オールスペースの場合がある
139		保険料納付額（4 号）	C	10	886	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	半角オールスペースの場合がある
140	年齢情報		C	2	896	"XX"形式	設定内容の詳細は表 3. 1-7 参照
141	住所情報塗替え表示		C	1	898	"X"形式	1：住所情報塗替え者である ※住所情報塗替え者でない場合は、 半角スペースを設定する
142	未使用		C	1	899	半角スペース	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便簡易見込額レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
1	共通部	-	-	-	-	-
2	基礎年金番号	C	11	0	"XXXX-XXXXXX"形式	
3	封入封緘コード	C	13	11	"XXX-XXXXXXXX"形式	設定内容の詳細は表3. 1-2 参照
4	地共現存共済組合員情報	C	28	24	"XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXXXX"形式	オールスペースの場合がある。
5	レコード区分	C	1	52	"X"形式	2：ねんきん定期便簡易見込額レコード
6	レコード内通番	9	3	53	"999"形式	"001"固定
7	郵便番号	C	8	56	"XXX-XXXX"形式	左詰めで設定し、残りは半角スペースを設定。(3桁、5桁の場合がある) オールスペースの場合がある。
8	共通表示部	-	-	-		-
9	再発行表示	C	1	64	"X"形式	0：初回発送 1：再発行 2：再発行（住所変更契機）
10	ねんきん特別便通知種別	C	1	65	"X"形式	表3. 1-3 参照
11	ねんきん特別便確認有無表示	C	1	66	"X"形式	表3. 1-4 参照
12	ねんきん特別便未送達表示	C	1	67	"X"形式	表3. 1-5 参照
13	NEKO申請者表示	C	1	68	"X"形式	0：年金個人情報提供対象者でない
14	カスタマバーコード有無表示	C	1	69	"X"形式	0：バーコード無し 1：バーコード有り
15	特定被保険者表示	C	1	70	"X"形式	0：特定者でない A：特定被保険者A B：特定被保険者B C：特定被保険者C D：特定被保険者D
16	納付拒否表示	C	1	71	"X"形式	0：納付拒否者でない 1：納付拒否者である
17	国年不在者表示	C	1	72	"X"形式	0：国年不在者でない 1：国年不在者である
18	国年特別一時金表示	C	1	73	"X"形式	0：国年特別一時金保有者でない 1：国年特別一時金保有者である
19	資格記録数超過表示	C	1	74	"X"形式	0：職歴明細超過者でない 1：職歴明細超過者である
20	警告事故者表示	C	1	75	"X"形式	0：警告事故者でない 1：警告事故者である
21	共済記録保有者表示	C	1	76	"X"形式	0：共済記録保有者でない 1：共済記録保有者である
22	マイナンバー収録状況	C	1	77	"X"形式	0：未収録 1：収録済 2：非保有理由者（短期在留外国人） 3：非保有理由者（海外居住） 4：非保有理由者（外国人脱退一時金受給者） 5：非保有理由者（性別変更者） 6：非保有理由者（その他） 7：未収録（基礎年金番号無効）
22-1	地共済未移行（旧三共済）有無表示	C	1	78	"X"形式	0：地共済未移行（旧三共済）でない 1：地共済未移行（旧三共済）である
23	老齢年金受給者表示	C	1	79	"X"形式	0：老齢年金受給者でない 1：老齢年金受給者である ただし、前半者通知の場合、半角スペースを設定。

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便簡易見込額レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
24	簡易見込額情報部	-	-	-		高井戸検出事故、または期間重複により、簡易見込額が算出不可の場合、項番25～項番56はオール"*"（半角7文字）となる
25	老齢年金見込額（基礎・厚年合計）1	-	-	-		
26	年額（基礎・厚年合計）	C	10	80	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
27	年額（基礎・厚年20年分合計）	C	10	90	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
28	老齢年金見込額（基礎・厚年合計）2	-	-	-		
29	年額（基礎・厚年合計）	C	10	100	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
30	月額（基礎・厚年合計）	C	10	110	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
31	老齢基礎年金見込額	-	-	-		
32	見込額年額（基礎）	C	10	120	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
33	納付済月数（基礎合計）	C	3	130	"ZZ9"形式	
34	基礎年金額	C	10	133	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
35	納付済月数（付加以外）	C	3	143	"ZZ9"形式	
36	見込額合計（付加以外）	C	10	146	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
37	納付済月数（付加）	C	3	156	"ZZ9"形式	
38	見込額合計（付加）	C	10	159	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
39	見込額総合計（基礎）	C	10	169	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	項番32と同値を設定
40	老齢厚生年金見込額	-	-	-		
41	見込額年額（老厚）	C	10	179	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
42	H15.3以前1	-	-	-		
43	平均標準報酬月額（H15.3以前）	C	10	189	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
44	加入月数（H15.3以前）	C	3	199	"ZZ9"形式	
45	H15.4以降1	-	-	-		
46	平均標準報酬月額（H15.4以降）	C	10	202	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	
47	加入月数（H15.4以降）	C	3	212	"ZZ9"形式	
48	H15.3以前2	-	-	-		
49	平均標準報酬月額（H15.3以前）	C	10	215	"ZZ,ZZZ,ZZ9"形式	項番43と同値を設定

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便簡易見込額レコード

項番	項目名				フォーマット			設定値	説明		
					属性	バイト数	ロケーション				
50				給付乗率（H15.3以前）	C	5	225	“9.999”形式			
51				加入月数（H15.3以前）	C	3	230	“ZZ9”形式	項番44と同値を設定		
52				H15.4以降2			-	-	-		
53				平均標準報酬額（H15.4以降）			C	10	233	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	項番46と同値を設定
54				給付乗率（H15.4以降）			C	5	243	“9.999”形式	
55				加入月数（H15.4以降）			C	3	248	“ZZ9”形式	項番47と同値を設定
56				見込額総合計（厚年）			C	10	251	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	項番41と同値を設定
57				未使用			C	20	261	半角スペース	
58	高井戸検出事故コード				-	-	-				
59		事故内容コード			C	4	281	半角オールスペースの場合がある			
60		事故内容サブコード			C	3	285	半角オールスペースの場合がある			
61	表示部				-	-	-				
62		期間重複表示			C	1	288	“X”形式	0：制度間期間重複無し 1：制度間期間重複有り		
63	共済簡易見込額情報部				-	-	-		高井戸検出事故、または期間重複により、簡易見込額が算出不可の場合、項番64～項番68はオール“*”（半角アスタリスク）となる		
64		老齢厚生年金見込額			-	-	-				
65		2・3号			-	-	-				
66			見込額総合計（2・3号）		C	10	289	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式			
67		4号			-	-	-				
68			見込額総合計（4号）		C	10	299	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式			
68-1	昨年簡易見込額情報部				-	-	-		昨年の簡易見込額が高井戸検出事故等により見込額が算出不可の場合または昨年のねんきん定期便を通知していない場合、項番68-2～項番68-3はオール“*”（半角アスタリスク）となる		
68-2		昨年簡易見込額			C	10	309	“ZZ,ZZZ,ZZ9”形式	昨年のねんきん定期便で通知した年額（基礎・厚年合計）を設定する。		
68-3		昨年抽出年月			C	6	319	“999999”形式	昨年の見込額算出時の抽出年月を西暦形式（YYYYMM）で設定する。		
68-4		生年月日訂正表示			C	1	325	“X”形式	0：生年月日訂正なし 1：生年月日訂正あり		
68-5		年金見込額減額表示			C	1	326	“X”形式	0：年金見込額減額なし 1：年金見込額減額あり		
69	未使用				C	573	327	半角スペース			

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便詳細見込額レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
1	共通部	-	-	-	-	-
2	基礎年金番号	C	11	0	"XXXX-XXXXXX"形式	
3	封入封緘コード	C	13	11	"XXX-XXXXXXXX"形式	設定内容の詳細は表3. 1-2 参照
4	地共現存共済組合員情報	C	28	24	"XXX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXX"形式	オールスペースの場合がある。
5	レコード区分	C	1	52	"X"形式	3：ねんきん定期便詳細見込額レコード
6	レコード内通番	9	3	53	"999"形式	"001"固定
7	郵便番号	C	8	56	"XXX-XXXX"形式	左詰めで設定し、残りは半角スペースを設定。(3桁、5桁の場合がある)オールスペースの場合がある。
8	共通表示部	-	-	-	-	-
9	再発行表示	C	1	64	"X"形式	0：初回発送 1：再発行 2：再発行（住所変更契機）
10	ねんきん特別便通知種別	C	1	65	"X"形式	表3. 1-3 参照
11	ねんきん特別便確認有無表示	C	1	66	"X"形式	表3. 1-4 参照
12	ねんきん特別便未送達表示	C	1	67	"X"形式	表3. 1-5 参照
13	NEKO申請者表示	C	1	68	"X"形式	0：年金個人情報提供対象者でない
14	カスタマバーコード有無表示	C	1	69	"X"形式	0：バーコード無し 1：バーコード有り
15	特定被保険者表示	C	1	70	"X"形式	0：特定者でない A：特定被保険者A B：特定被保険者B C：特定被保険者C D：特定被保険者D
16	納付拒否表示	C	1	71	"X"形式	0：納付拒否者でない 1：納付拒否者である
17	国年不在者表示	C	1	72	"X"形式	0：国年不在者でない 1：国年不在者である
18	国年特別一時金表示	C	1	73	"X"形式	0：国年特別一時金保有者でない 1：国年特別一時金保有者である
19	資格記録数超過表示	C	1	74	"X"形式	0：職歴明細超過者でない 1：職歴明細超過者である
20	警告事故者表示	C	1	75	"X"形式	0：警告事故者でない 1：警告事故者である
21	共済記録保有者表示	C	1	76	"X"形式	0：共済記録保有者でない 1：共済記録保有者である
22	マイナンバー収録状況	C	1	77	"X"形式	0：未収録 1：収録済 2：非保有理由者（短期在留外国人） 3：非保有理由者（海外居住） 4：非保有理由者（外国人脱退一時金受給者） 5：非保有理由者（性別変更者） 6：非保有理由者（その他） 7：未収録（基礎年金番号無効）
22-1	地共済未移行（旧三共済）有無表示	C	1	78	"X"形式	0：地共済未移行（旧三共済）でない 1：地共済未移行（旧三共済）である
23	老齢年金受給者表示	C	1	79	"X"形式	0：老齢年金受給者でない 1：老齢年金受給者である ただし、前半者通知の場合、半角スペースを設定。

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便詳細見込額レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
24	詳細見込額情報部	-	-	-	-	高井戸検出事故、または期間重複により、詳細見込額が算出不可の場合、項番25はオール半角スペース、項番26～項番44はオール“*”（半角アスタリスク）となる
25	延長年齢	C	2	80	“99”形式	全桁半角スペースの場合がある
26	支給開始年齢	-	-	-	-	全桁“*”（半角アスタリスク）の場合がある
27	特例支給（報酬比例部分）開始年齢1	C	2	82	“99”形式	
28	特例支給（報酬比例部分）開始年齢2	C	2	84	“99”形式	
29	特例支給（定額部分）開始年齢	C	2	86	“99”形式	
30	老基老厚支給開始年齢	C	2	88	“99”形式	
31	基礎年金見込額	C	10	90	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	全桁“*”（半角アスタリスク）の場合がある
32	厚生年金見込額	-	-	-	-	全桁“*”（半角アスタリスク）の場合がある
33	報酬比例見込額	-	-	-	-	-
34	特例支給（報酬比例部分）開始時2	C	10	100	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
35	特例支給（定額部分）開始時	C	10	110	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
36	老基老厚支給開始時	C	10	120	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
37	特例支給（報酬比例部分）見込額	C	10	130	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
38	特例支給（定額部分）見込額	C	10	140	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
39	経過的加算部分見込額	C	10	150	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
40	合計部	-	-	-	-	-
41	特例支給（報酬比例部分）開始時1	C	10	160	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
42	特例支給（報酬比例部分）開始時2	C	10	170	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
43	特例支給（定額部分）開始時	C	10	180	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	
44	老基老厚合計見込額	C	10	190	“ZZ, ZZZ, ZZ9”形式	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便詳細見込額レコード

項番	項目名		フォーマット			設定値	説明
			属性	バイト数	ロケーション		
45		延長メッセージ	-	-	-	-	-
46		延長制度表示	C	1	200	"X"形式	以下のいずれかを設定 ・国年（" 1"） ・厚年（" 2"） ・船保（" 3"） ・共済（" 4"） ・その他（半角スペース）
47		延長納付状況	C	1	201	"X"形式	項番44「延長制度表示」が 国年（" 1"）の場合、以下のいずれかを設定 ・納付（" 1"） ・免除（" 2"） ・付加（" 3"） ・半額免除（" 4"） ・1／4免除（" 5"） ・3／4免除（" 6"） ・延長無し（スペース） その他の場合、半角スペースを設定
48	高井戸検出事故コード		-	-	-	-	-
49		事故内容コード	C	4	202	半角オールスペースの場合がある	
50		事故内容サブコード	C	3	206	半角オールスペースの場合がある	
51	表示部		-	-	-	-	-
52		期間重複表示	C	1	209	"X"形式	0：制度間期間重複無し 1：制度間期間重複有り
53		未使用	C	1	210	"X"形式	半角スペースを設定
54	共済詳細見込額情報部		-	-	-	-	高井戸検出事故、または期間重複により、詳細見込額が算出不可の場合、項番55～項番86はオール"*"（半角アスタリスク）となる
55		厚生年金（2・3号）見込額	-	-	-	-	全桁"*"（半角アスタリスク）の場合がある
56		報酬比例見込額	-	-	-	-	-
57		特例支給（報酬比例部分）開始時1	C	10	211	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-
58		特例支給（報酬比例部分）開始時2	C	10	221	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-
59		特例支給（定額部分）開始時	C	10	231	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	
60		老基老厚支給開始時	C	10	241	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	
61		旧職域加算見込額	-	-	-	-	-
62		旧職域加算見込額 （特例支給（報酬比例部分）開始時1）	C	10	251	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-
63		旧職域加算見込額 （特例支給（報酬比例部分）開始時2）	C	10	261	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-
64		旧職域加算見込額 （特例支給（定額部分）開始時）	C	10	271	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	
65		旧職域加算見込額 （老基老厚支給開始時）	C	10	281	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者） ねんきん定期便詳細見込額レコード

項番	項目名			フォーマット			設定値	説明	
				属性	バイト数	ロケーション			
66			特例支給（定額部分）見込額	-	-	-	-	-	
67			特例支給（報酬比例部分）開始時 1	C	10	291	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-	
68			特例支給（報酬比例部分）開始時 2	C	10	301	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-	
69			特例支給（定額部分）開始時	C	10	311	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-	
70			経過の加算部分見込額	C	10	321	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式		
71		厚生年金（4号）見込額		-	-	-	-	全桁"＊"（半角アスタリスク）の場合がある	
72		報酬比例見込額		-	-	-	-	-	
73				特例支給（報酬比例部分）開始時 1	C	10	331	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-
74				特例支給（報酬比例部分）開始時 2	C	10	341	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-
75				特例支給（定額部分）開始時	C	10	351	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	
76				老基老厚支給開始時	C	10	361	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	
77		旧職域加算見込額		-	-	-	-	-	
78				旧職域加算見込額 （特例支給（報酬比例部分）開始時 1）	C	10	371	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-
79				旧職域加算見込額 （特例支給（報酬比例部分）開始時 2）	C	10	381	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-
80				旧職域加算見込額 （特例支給（定額部分）開始時）	C	10	391	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	
81				旧職域加算見込額 （老基老厚支給開始時）	C	10	401	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	
82		特例支給（定額部分）見込額		-	-	-	-	-	
83				特例支給（報酬比例部分）開始時 1	C	10	411	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-
84				特例支給（報酬比例部分）開始時 2	C	10	421	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-
85				特例支給（定額部分）開始時	C	10	431	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	-
86		経過の加算部分見込額		C	10	441	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式		
86-1	繰下げ時見込額情報部			-	-	-	-	高井戸検出事故、または期間重複により、詳細見込額が算出不可の場合、および老基老厚支給開始年齢が65歳でない場合、項番86-2～4はオール"＊"（半角アスタリスク）となる。	
86-2	70歳繰下げ時見込額			C	10	451	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	老基老厚合計見込額の1.42倍の金額を設定。老基老厚支給開始年齢が65歳でない場合、オール"＊"（半角アスタリスク）を設定。	
86-3	60歳繰上げ時見込額			C	10	461	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式		

表 3. 1 - 1 ねんきん定期便通知情報ファイル（直近 1 年出力者） ねんきん定期便詳細見込額レコード

項番	項目名		フォーマット			設定値	説明
			属性	バイト数	ロケーション		
86-4		7 5 歳繰下げ時見込額	C	10	471	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	
86-5		繰上げ下げ時見込額予備 1	C	10	481	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	予備項目のため全桁半角スペースを設定。
86-6		繰上げ下げ時見込額予備 2	C	10	491	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式	予備項目のため全桁半角スペースを設定。
87	未使用		C	399	501	半角スペース	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者) ねんきん定期便直近1年月別状況レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
1	共通部	-	-	-	-	-
2	基礎年金番号	C	11	0	"XXXX-XXXXXX"形式	
3	封入封緘コード	C	13	11	"XX-XXXXXXXX"形式	設定内容の詳細は表3. 1-2 参照
4	地共現存共済組合員情報	C	28	24	"XX-XXXXXXXX-XXXXXXXXXXXXXX"形式	オールスペースの場合がある。
5	レコード区分	C	1	52	"X"形式	8:ねんきん定期便直近1年月別レコード
6	レコード内通番	9	3	53	"999"形式	"001"からの通番("001"~"026")
7	郵便番号	C	8	56	"XX-XX"形式	左詰めで設定し、残りは半角スペースを設定。(3桁、5桁の場合がある)オールスペースの場合がある。
8	共通表示部	-	-	-		-
9	再発行表示	C	1	64	"X"形式	0:初回発送 1:再発行 2:再発行(住所変更契機)
10	ねんきん特別便通知種別	C	1	65	"X"形式	表3. 1-3 参照
11	ねんきん特別便確認有無表示	C	1	66	"X"形式	表3. 1-4 参照
12	ねんきん特別便未送達表示	C	1	67	"X"形式	表3. 1-5 参照
13	NEKO申請者表示	C	1	68	"X"形式	0:年金個人情報提供対象者でない
14	カスタムバーコード有無表示	C	1	69	"X"形式	0:バーコード無し 1:バーコード有り
15	特定被保険者表示	C	1	70	"X"形式	0:特定者でない A:特定被保険者A B:特定被保険者B C:特定被保険者C D:特定被保険者D
16	納付拒否表示	C	1	71	"X"形式	0:納付拒否者でない 1:納付拒否者である
17	国年不在者表示	C	1	72	"X"形式	0:国年不在者でない 1:国年不在者である
18	国年特別一時金表示	C	1	73	"X"形式	0:国年特別一時金保有者でない 1:国年特別一時金保有者である
19	資格記録数超過表示	C	1	74	"X"形式	0:職歴明細超過者でない 1:職歴明細超過者である
20	警告事故者表示	C	1	75	"X"形式	0:警告事故者でない 1:警告事故者である
21	共済記録保有者表示	C	1	76	"X"形式	0:共済記録保有者でない 1:共済記録保有者である
22	マイナンバー収録状況	C	1	77	"X"形式	0:未収録 1:収録済 2:非保有理由者(短期在留外国人) 3:非保有理由者(海外居住) 4:非保有理由者(外国人脱退一時金受給者) 5:非保有理由者(性別変更者) 6:非保有理由者(その他) 7:未収録(基礎年金番号無効)
22-1	地共済未移行(旧三共済)有無表示	C	1	78	"X"形式	0:地共済未移行(旧三共済)でない 1:地共済未移行(旧三共済)である
23	老齢年金受給者表示	C	1	79	"X"形式	0:老齢年金受給者でない 1:老齢年金受給者である ただし、前半者通知の場合、半角スペースを設定。

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者) ねんきん定期便直近1年月別状況レコード

項番	項目名	フォーマット			設定値	説明
		属性	バイト数	ロケーション		
24	通知対象期間情報部	-	-	-		
25	通知対象期間(自)	-	-	-		通知対象期間(自)を設定する
26	通知対象期間(自)年元号	C	8	80	"X X"形式	元号を漢字で設定
27	通知対象期間(自)年	C	2	88	"Z9"形式	
28	年	C	6	90	"年"を設定	
29	通知対象期間(自)月	C	2	96	"Z9"形式	
30	月	C	6	98	"月"を設定	
31	通知対象期間(至)	-	-	-		通知対象期間(至)を設定する
32	通知対象期間(至)年元号	C	8	104	"X X"形式	元号を漢字で設定
33	通知対象期間(至)年	C	2	112	"Z9"形式	
34	年	C	6	114	"年"を設定	
35	通知対象期間(至)月	C	2	120	"Z9"形式	
36	月	C	6	122	"月"を設定	
37	抽出年月日	-	-	-		抽出年月日を設定する
38	抽出年元号	C	8	128	"X X"形式	元号を漢字で設定
39	抽出年	C	2	136	"Z9"形式	
40	年	C	6	138	"年"を設定	
41	抽出月	C	2	144	"Z9"形式	
42	月	C	6	146	"月"を設定	
43	抽出日	C	2	152	"Z9"形式	
44	日	C	6	154	"日"を設定	
45	加入月数情報部	-	-	-	-	-
46	国年月数	-	-	-	-	-
47	納付済等月数計	C	3	160	"ZZ9"形式	
48	納付済月数	C	3	163	"ZZ9"形式	納付済月数の内、産前産後免除期間、育児免除期間に該当しない期間を『ZZ9』形式で設定
49	全額免除月数	C	3	166	"ZZ9"形式	

表 3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者) ねんきん定期便直近1年月別状況レコード

項番	項目名			フォーマット			設定値	説明
				属性	バイト数	ロケーション		
50			4 分の 3 免除月数	C	3	169	”ZZ9”形式	
51			半額免除月数	C	3	172	”ZZ9”形式	
52			4 分の 1 免除月数	C	3	175	”ZZ9”形式	
53			学生納付特例等月数	C	3	178	”ZZ9”形式	学生納付特例月数と納付猶予月数を加算した値を『ZZ9』形式で設定
53-1			納付猶予月数（再掲）	C	3	181	”ZZ9”形式	納付猶予月数を『ZZ9』形式で設定
54			第 3 号被保険者加入月数	C	3	184	”ZZ9”形式	
55			付加納付月数	C	3	187	”ZZ9”形式	
56			未納月数	C	3	190	”ZZ9”形式	
57			納付期限未到来の月数	-	-	-	-	
58			前納月数	C	3	193	”ZZ9”形式	
59			付加月数	C	3	196	”ZZ9”形式	
60			第 2 号被保険者期間			-	-	-
61			第 2 号被保険者加入月数	C	3	199	”ZZ9”形式	
62			厚年月数	C	3	202	”ZZ9”形式	
63			厚年基金月数情報	C	5	205	”(ZZ9)”形式	
64			厚年期間	C	3	210	”ZZ9”形式	
65			厚年基金期間情報	C	5	213	”(ZZ9)”形式	
66			船保月数	C	3	218	”ZZ9”形式	
67			船保期間	C	3	221	”ZZ9”形式	
68	合算対象期間			C	3	224	”ZZ9”形式	
69	年金加入期間合計			C	3	227	”ZZ9”形式	
70	直近 1 年月別情報部			-	-	-		項番70～項番97までを 3 回繰り返す。直近 1 年月別情報が 3 記録に満たない場合、不足分の各項目には初期値半角スペースまたはゼロを設定。同一年月の情報を複数編集する場合がある。
71		年月		-	-	-		
72		対象元号		C	8	230	”X X”形式	元号を漢字で設定
73		対象年		C	2	238	”Z9”形式	

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者) ねんきん定期便直近1年月別状況レコード

項番	項目名			フォーマット			設定値	説明
				属性	バイト数	ロケーション		
74		年	C	6	240	"年"を設定		
75		対象月	C	2	246	"Z9"形式		
76		月	C	6	248	"月"を設定		
77	加入制度		-	-	-			
78		加入制度	C	8	254	"X X"形式		以下のいずれかを設定 ・国年 ・厚年 ・基金 ・船保 ・公共 ・私学 ・合算 ・△△ (△は全角スペースを示す)
78-1		産前産後月数	C	3	262	"ZZ9"形式		直近1年月別情報部の繰返し1回目の場合のみ月数を設定する。繰返し2回目以降の場合は初期値半角スペースを設定する
78-2		育児月数	C	3	265	"ZZ9"形式		直近1年月別情報部の繰返し1回目の場合のみ月数を設定する。繰返し2回目以降の場合は初期値半角スペースを設定する
79	未使用		C	2	268	半角スペース		
80	納付状況等		-	-	-	-		
81	国年納付状況		-	-	-	-		
82		納付状況(上段)	C	14	270	"X X X X X"形式		納付状況を設定 (納付状況の詳細は表3. 1-6参照のこと) 半角文字と全角文字が混在することがある。 印字桁数 : 10バイト 但し、オール半角スペースの場合は下記のとおりである 印字桁数 : 0バイト
83		納付状況(下段)	C	8	284	"X X"形式		付加納付有りの場合、漢字2桁で"付加"を設定 印字桁数 : 4バイト 但し、オール半角スペースの場合は下記のとおりである 印字桁数 : 0バイト
84	厚船納付状況		-	-	-	-		
85		標準報酬月額	C	10	292	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式		半角オールスペースの場合がある。
86		標準賞与額	C	10	302	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式		半角オールスペースの場合がある。
87		納付額	C	10	312	"ZZ, ZZZ, ZZ9"形式		半角オールスペースの場合がある。

表3. 1-1 ねんきん定期便通知情報ファイル(直近1年出力者) ねんきん定期便直近1年月別状況レコード

項番	項目名		フォーマット			設定値	説明
			属性	バイト数	ロケーション		
88	事業所名称等	事業所名称等	-	-	-		
89		事業所名称等上段	-	-	-	-	-
90		事業所名称等上段有効データ長	9	3	322	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
91		事業所名称等上段印字桁数	9	3	325	"999"形式	事業所名称等(上段)の印字桁数。漢字は2桁。ゼロの場合がある。
92		事業所名称等上段	C	62	328	半角英数文字・全角(漢字)混在	事業所名称等(上段)の実データを左詰めで設定。残りは半角スペースを設定。オールスペースの場合がある。
93		事業所名称等下段	-	-	-	-	-
94		事業所名称等下段有効データ長	9	3	390	"999"形式	未使用項目 ※当該項目は使用しないこと
95		事業所名称等下段印字桁数	9	3	393	"999"形式	事業所名称等(下段)の印字桁数。漢字は2桁。ゼロの場合がある。
96		事業所名称等下段	C	56	396	半角英数文字・全角(漢字)混在	事業所名称等(下段)の実データを左詰めで設定。残りは半角スペースを設定。オールスペースの場合がある。
97	基金加入表示		C	1	452	"X"形式	0：基金加入でない 1：基金加入である
98	未使用		C	1	899	半角スペース	

表 3. 1 - 2 封入封緘コード体系

項目名	設定値(13桁)	意味		説明
封入封緘 コード	abb- ccccddddd	a	被保険者区分	A:一般者 B:特別一時金保有者 ※納付拒否者、特定者、不在者を含む F:納付拒否者 ※特定者を含む G:特定者 ※不在者を含む H:不在者
		b	年齢表示	年齢区分を示す値を付与する。
		c	処理単位区分	3桁の数字
		d	一連番号	被保険者区分、処理単位区分毎に一連番号を付与する。

表 3. 1 - 3 ねんきん特別便通知種別

コード値	コード値内容	コード値	コード値内容
SPACE	通知なし	C	名寄せのみ記録
1	受給者名寄せ通知	D	ねんきん特別便送付可
2	被保険者名寄せ通知	E	送付対象外 1
3	受給者名寄せ対象外通知	F	送付対象外 2
4	被保険者名寄せ対象外通知	G	送付対象外 3
5	受給者名寄せ通知事故	H	送付対象外 4
6	被保険者名寄せ通知事故	I	送付対象外 5
7	受給者名寄せ対象外通知事故	J	送付対象外 6
8	被保険者名寄せ対象外通知事故	K	送付対象外 7
A	受給者名寄せ未通知	L	送付対象外 8
B	被保険者名寄せ未通知	M	送付対象外 9

表 3. 1 - 4 ねんきん特別便確認有無表示

コード値	コード値内容
SPACE	未確認
1	記録正常
2	調査中 1
3	調査中 2
4	調査中 3
5	調査中 4
6	調査中 5
7	記録統合
8	統合なし
9	一部確認
A	特定処理

表 3. 1 - 5 ねんきん特別便未送達表示

コード値	コード値内容
SPACE	通知なし（但し、ねんきん特別便が通知済の場合、“送達済”を示す）
1	未送達
2	住所調査
3	再送済
4	送付可
5	解明不能
6	死亡疑い
7	確認 1
8	確認 2
9	確認 3

表3. 1－6 納付状況編集内容

【凡例】”△”:全角スペース
”△”:半角スペース

項番	納付状況パターン	編集内容	
		納付状況(上段)	納付状況(下段)
1	定額納付(印紙)	△納付済△	
2	定額納付(印紙)＋付加納付(印紙)		付加
3	定額納付(印紙)＋付加納付(現金)		付加
4	定額納付(印紙)＋付加前納(印紙)		付加
5	定額納付(印紙)＋付加前納(現金)		付加
6	定額前納(印紙)		
7	定額前納(印紙)＋付加前納(印紙)		付加
8	定額前納(印紙)＋付加納付(印紙)		付加
9	定額前納(印紙)＋付加納付(現金)		付加
10	定額前納(印紙)＋付加前納(現金)		付加
11	定額納付(現金)		
12	定額納付(現金)＋付加納付(現金)		付加
13	定額前納(現金)		
14	定額前納(現金)＋付加前納(現金)		付加
15	定額前納(現金)＋付加納付(印紙)		付加
16	定額前納(現金)＋付加納付(現金)		付加
17	定額前納(現金)＋付加前納(印紙)		付加
18	定額納付(充当)		
19	定額納付(充当)＋付加納付(充当)		付加
20	定額納付(充当)＋付加納付(現金)		付加
21	定額納付(印紙)＋付加納付(充当)		付加
22	定額納付(現金)＋付加納付(充当)		付加
23	定額前納(印紙)＋付加納付(充当)		付加
24	定額前納(現金)＋付加納付(充当)		付加
25	全額追納		
26	定額納付(充当)＋付加未納(付加強制加入)		
27	定額納付(印紙)＋付加未納(付加強制加入)		
28	定額納付(現金)＋付加未納(付加強制加入)		
29	定額前納(印紙)＋付加未納(付加強制加入)		
30	定額前納(現金)＋付加未納(付加強制加入)		
31	定額納付(印紙)＋付加未納(付加任意加入)		
32	定額納付(現金)＋付加未納(付加任意加入)		
33	定額前納(印紙)＋付加未納(付加任意加入)		
34	定額前納(現金)＋付加未納(付加任意加入)		
35	定額未納＋付加未納(付加強制加入)	△△△未納△△△	
36	定額未納＋付加未納(付加任意加入)		
37	定額未納	△未加入△	
38	無資格		
39	法定免除	△全額免除△	
40	全額免除(申請免除)		
41	みなし免除		
42	特例納付(改正法附則18条)	△納付済△	
43	特例納付(改正法附則4条)		
44	定額未納＋付加未納(付加強制加入)【前住所地納付】	△△△未納△△△	
45	定額未納＋付加未納(付加任意加入)【前住所地納付】		
46	定額未納【前住所地納付】		
47	三号納付	△3号納付△	
48	三号未納	△3号未納△	
49	中国残留邦人特例措置に係る免除	△全額免除△	
50	中国残留邦人特例措置に係る追納	△納付済△	
51	定額納付(口振)		
52	定額前納(口振)		
53	定額納付(現金)＋付加前納(現金)		付加
54	定額納付(口振)＋付加納付(現金)		付加

表3.1-6 納付状況編集内容

【凡例】”△”:全角スペース
”△”:半角スペース

項番	納付状況パターン	編集内容	
		納付状況(上段)	納付状況(下段)
55	定額納付(口振)+付加納付(口振)	△納付済△	付加
56	定額前納(口振)+付加納付(現金)		付加
57	定額前納(口振)+付加前納(現金)		付加
58	定額前納(口振)+付加前納(口振)		付加
59	定額納付(口振)+付加未納(付加任意加入)		
60	定額納付(口振)+付加未納(付加強制加入)		
61	定額前納(口振)+付加未納(付加任意加入)		
62	定額前納(口振)+付加未納(付加強制加入)		
63	定額納付(口振)+付加納付(充当)		付加
64	定額前納(口振)+付加納付(充当)		付加
65	半額未納	△半額未納△	
66	半額納付(現金)【半額免除】	△半額免除△	
67	半額納付(口振)【半額免除】		
68	半額前納(現金)【半額免除】		
69	半額前納(口振)【半額免除】		
70	半額納付(充当)【半額免除】		
71	半額追納(半額納付(現金)【半額免除】済)	△納付済△	
72	半額追納(半額納付(口振)【半額免除】済)		
73	半額追納(半額前納(現金)【半額免除】済)		
74	半額追納(半額前納(口振)【半額免除】済)		
75	半額追納(半額納付(充当)【半額免除】済)		
76	学生納付特例	△学生特例△	
77	学生納付特例追納	△納付済△	
78	納付猶予	△納付猶予△	
79	納付猶予追納	△納付済△	
80	1/4額未納	3/4未納	
81	1/4額納付(現金)【3/4免除】	3/4免除	
82	1/4額納付(口振)【3/4免除】		
83	1/4額前納(現金)【3/4免除】		
84	1/4額納付(充当)【3/4免除】		
85	1/4額追納(3/4額納付(現金)【1/4免除】済)	△納付済△	
86	1/4額追納(3/4額納付(口振)【1/4免除】済)		
87	1/4額追納(3/4額前納(現金)【1/4免除】済)		
88	1/4額追納(3/4額納付(充当)【1/4免除】済)		
89	3/4額未納	1/4未納	
90	3/4額納付(現金)【1/4免除】	1/4免除	
91	3/4額納付(口振)【1/4免除】		
92	3/4額前納(現金)【1/4免除】		
93	3/4額納付(充当)【1/4免除】		
94	3/4額追納(1/4額納付(現金)【3/4免除】済)	△納付済△	
95	3/4額追納(1/4額納付(口振)【3/4免除】済)		
96	3/4額追納(1/4額前納(現金)【3/4免除】済)		
97	3/4額追納(1/4額納付(充当)【3/4免除】済)		
98	該当月に国年・厚年・船保の3制度全てに未加入である場合	△未加入△	
99	任意加入未納期間である場合	△△△合算△△△	
100	合算対象算入期間である場合		
101	抽出年月日の前々月が未納、半額未納、1/4額未納、3/4額未納である場合	△確認中△	
102	産前産後免除期間である場合	△産前産後△	
103	産前産後免除期間である場合+付加納付		付加
104	育児免除期間である場合	△△△育児△△△	
105	育児免除期間である場合+付加納付		付加

表3. 1－7 年齢情報編集内容

項番	通知年齢	編集内容 年齢情報	項番	通知年齢	編集内容 年齢情報
1	15歳	15	44	58歳	58
2	16歳	16	45	59歳	59
3	17歳	17	46	60歳	60
4	18歳	18	47	61歳	61
5	19歳	19	48	62歳	62
6	20歳	20	49	63歳	63
7	21歳	21	50	64歳	64
8	22歳	22	51	65歳	65
9	23歳	23	52	66歳	66
10	24歳	24	53	67歳	67
11	25歳	25	54	68歳	68
12	26歳	26	55	69歳	69
13	27歳	27	56	70歳	70
14	28歳	28	57	71歳	71
15	29歳	29	58	72歳	72
16	30歳	30	59	73歳	73
17	31歳	31	60	74歳	74
18	32歳	32	61	75歳	75
19	33歳	33	62	76歳	76
20	34歳	34	63	77歳	77
21	35歳	35	64	78歳	78
22	36歳	36	65	79歳	79
23	37歳	37	66	80歳	80
24	38歳	38	67	81歳	81
25	39歳	39	68	82歳	82
26	40歳	40	69	83歳	83
27	41歳	41	70	84歳	84
28	42歳	42	71	85歳	85
29	43歳	43	72	86歳	86
30	44歳	44	73	87歳	87
31	45歳	45	74	88歳	88
32	46歳	46	75	89歳	89
33	47歳	47	76	90歳	90
34	48歳	48	77	91歳	91
35	49歳	49	78	92歳	92
36	50歳	50	79	93歳	93
37	51歳	51	80	94歳	94
38	52歳	52	81	95歳	95
39	53歳	53	82	96歳	96
40	54歳	54	83	97歳	97
41	55歳	55	84	98歳	98
42	56歳	56	85	99歳以上	99
43	57歳	57			

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード	ファイル編集方法	—	ブロック長	—	記録媒体	DVD	ページ
ファイルID	—	ラベル形式	—	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	(1 / 5)
		レコード形式	固定長	ブロック化係数	—	シングル／マルチボリュームの別	シングル	

項目名	共通部																											
属性	C										C										C							
バイト	511										13										28							

項目名	レコード区分	番レコード内通	郵便番号	共通表示部																基本情報部							
				再発行表示	別便通知種別	別便確認種別	別便未送達種別	請求者表示	NEKコード	バースト	者特定	示納付拒否表	表示金不在者	国年特	超格記	資格表示	警告事故者	有共済	録状況	マイナ	有旧三	者表示	抽出年月日	郵便番号			
属性	C	9	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
バイト	1	3	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8	2	2	2	8

項目名	住所情報 1 行目																											
属性	9		9		C																							
バイト	3		3		62																							

項目名	住所情報 2 行目																											
属性	9		9		C																							
バイト	3		3		62																							

図3. 2-1 ねんきん定期便基本レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近 1 年出力者）基本レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
ファイル I D	－	ラベル形式	－	レコード長	9 0 0 バイト	ｼﾝｸﾞﾙ／マルチの別	ｼﾝｸﾞﾙ	
		レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	ｼﾝｸﾞﾙ／マルチホﾞリュームの別	ｼﾝｸﾞﾙ	(2/ 5)

項目名	住所 2 行目						住所情報 3 行目	長有住所 3 行目	印住所 3 行目	
属性	C						9	9		
バイト	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50

項目名	住所 3 行目									
属性	C									
バイト	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50

項目名	氏名情報		氏名							
属性	9	9	C							
バイト	3	5	10	15	20	25	30	35	40	45

項目名	様		未使用					封入封緘コード		
属性	C		C					C		
バイト	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50

図3. 2-1 ねんきん定期便基本レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード		ファイル編集方法	—	ブロック長	—	記録媒体	D V D	ページ
ファイル I D	—		ラベル形式	—	レコード長	9 0 0 バイト	ｼﾝｸﾞﾙ／マルチの別	ｼﾝｸﾞﾙ	(3 / 5)
			レコード形式	固定長	ブロック化係数	—	ｼﾝｸﾞﾙ／マルチホﾞリュームの別	ｼﾝｸﾞﾙ	

項目名	共済組合員情報										基礎年金番号										照会番号									
属性	C										C										C									
バイト	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

項目名	生年月日										加入月数情報部										第1号被保険者期間															
	生年元号										生年	生年月	生年日	作成年月日												未使用						総年 合金 計加 1入 期間	総年 合金 計加 2入 期間	第1号被保険者期間 （ 数除第 者1 未加号 納入被 除月保	納付済月数	
属性	C										C	C	C	C												C						C	C	C	C	
バイト	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						

項目名	第2号被保険者期間										第2号被保険者期間										第2号被保険者期間										第2号被保険者期間									
	数産 前産 後月	育児月数	数全 額免 除月	除4 月分 数の 3免	数半 額免 除月	除4 月分 数の 1免	例学 等生 月納 数付 特	数納 （再 猶予 月	未納月数	間険第 者1 加号 入被 期保	数付 加納 付月	数除第 者2 加号 入被 月保	厚年月数	厚年基金月数情報	厚年期間	厚年基金期間情報																								
属性	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C																								
バイト	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16																								

項目名	第3号被保険者期間										第3号被保険者期間										第3号被保険者期間										第3号被保険者期間									
	船保月数	船保期間	入共 月済 数組 合加	数除第 者3 加号 入被 月保	任意加入未納月数	（特 定再 掲） 期間 月数	合算 対象 算入 月数	合算 対象 期間	4+（合保 号）・年 13+納付 額 号厚+船																															
属性	C	C	C	C	C	C	C	C	C																															
バイト	1	2	3	4	5	6	7	8	9																															

図3. 2-1 ねんきん定期便基本レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近１年出力者）基本レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチホリウム ^① の別	シングル	(4 / 5)

図3.2-1 ねんきん定期便基本レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）基本レコード			ファイル編集方法	—	ブロック長	—	記録媒体	DVD	ページ	
ファイルID	—			ラベル形式	—	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	(5/ 5)	
				レコード形式	固定長	ブロック化係数	—	シングル／マルチボリュームの別	シングル		
	項	第4号厚生情報抽出年月日						通知番号情報			共済加入月数情報部
	目							第2号被保険者期間			
	名	抽出年元号		抽出年	抽出月	抽出日	第2・3号加入者番号		第4号加入者番号		
	属性	C		C	C	C	C		C		
	バイト	5		2	2	2	15		3		

図3. 2-1 ねんきん定期便基本レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）簡易見込額レコード		ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
			ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シグナル／マルチの別	シグナル	
ファイルID	－		レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シグナル／マルチボリュームの別	シグナル	(1 / 5)
項目名	共通部								
	基礎年金番号			封入封緘コード			地共現存共済組合員情報		
属性	C			C			C		
バイト	1	1	1	1	1	1	28	1	1
項目名	レコード区分	番コード内通	郵便番号		簡易見込額情報部				
					老齢年金見込額（基礎・厚年合計）1				
					年額（基礎・厚年合計）				
					年額（基礎・厚年20年分合計）				
属性	C	9	C		C				
バイト	1	3	1	1	1	1	1	1	1
項目名	老齢年金見込額（基礎・厚年合計）2				老齢基礎年金見込額				
	年額（基礎・厚年合計）				見込額年額（基礎）				
属性	C				C				
バイト	10				10				
項目名	見込額合計（付加以外）		（納付加済）月数	見込額合計（付加）		見込額総合計（基礎）		見込額年額（老厚）	
								H15.3以前1	
								平均標準報酬月額（H15.3以前）	
属性	C		C	C		C		C	
バイト	10		3	10		10		10	

図3. 2-1 簡易見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）簡易見込額記録	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
ファイルID	－	ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シグナル／マルチの別	シグナル	
		レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シグナル／マルチフォーマットの別	シグナル	(2 / 5)

項目名	前・（加） 3H入 以1月 5数	H15.4以降1 平均標準報酬額（H15.4以降）	降・（加） 4H入 以1月 5数	H15.3以前2 平均標準報酬月額（H15.3以前）	前・（給） 3H付 以1乗 5率	前・（加） 3H入 以1月 5数	H15.4以降2 平均標準報酬額（H15.4以降）	降・（給） 4H付 以1乗 5率	
属性	C	C	C	C	C	C	C	C	
バイト	2	5	3	10	5	3	10	5	50

項目名	見込額総合計（厚年）	未使用	高井戸検出事象コード 事故内容コード	表示 期間重複表示	共済簡易見込額情報部 老齢厚生年金見込額 2・3号	4号
属性	C	C	C	C	C	C
バイト	3	20	4	3	1	10

項目名	見込額総合計（4号）	昨年簡易見込額	昨年抽出年月	表示 生年月日 訂正	額表示 年金見込額 減	未使用
属性	C	C	C	C	C	
バイト	10	10	6	1	1	50

項目名	未使用
属性	
バイト	50

図3. 2-1 簡易見込額記録

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）簡易見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(3 / 5)
項目名 属性 バイト 5101520253035404550 未使用 項目名 属性 バイト 5101520253035404550 未使用 項目名 属性 バイト 5101520253035404550 未使用 項目名 属性 バイト 5101520253035404550 未使用								

図3. 2-1 簡易見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）簡易見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(4/ 5)
項目名 属性 バイト 5101520253035404550 未使用								
項目名 属性 バイト 5101520253035404550 未使用								
項目名 属性 バイト 5101520253035404550 未使用								
項目名 属性 バイト 5101520253035404550 未使用								

図3. 2-1 簡易見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）簡易見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
ファイルID	－	ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
		レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチホリユームの別	シングル	(5/ 5)

項目名	未使用
属性	
バイト	5 10 15 20 25 30 35 40 45 50

項目名	未使用
属性	
バイト	5 10 15 20 25 30 35 40 45 50

項目名	
属性	
バイト	5 10 15 20 25 30 35 40 45 50

項目名	
属性	
バイト	5 10 15 20 25 30 35 40 45 50

図3. 2-1 簡易見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）詳細見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
ファイルID	－	ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
		レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(2 / 5)

項目名	高井戸検出事象コード				表示部		共済詳細見込額情報部																																	
	延長メッセージ				コ 事 故 内 容 サ ブ	期 間 重 複 表 示	未 使 用	厚生年金（2・3号）見込額																																
	事故内容コード							報酬比例見込額																																
					特例支給（報酬比例部分）開始時 1				特例支給（報酬比例部分）開始時 2				特例支給（定額部分）開始時																											
属性	C	C		C	C	C	C																																	
バイト	1	1			1	1	10	10																																
	5				10				15				20				25				30				35				40				45				50			

項目名	旧職域加算見込額					特例支給（定額部分）見込額		
	時分比給（算旧1）例（特見職）開部報例込域始 酬支額加	時分比給（算旧2）例（特見職）開部報例込域始 酬支額加	始部給（算旧時分）例（特見職）定例込域開額支額加	始厚（算旧時支老見職）給基込域開老額加				
	時分比給（算旧1）例（特見職）開部報例込域始 酬支額加	時分比給（算旧2）例（特見職）開部報例込域始 酬支額加	始部給（算旧時分）例（特見職）定例込域開額支額加	始厚（算旧時支老見職）給基込域開老額加				
	時分比給（算旧1）例（特見職）開部報例込域始 酬支額加	時分比給（算旧2）例（特見職）開部報例込域始 酬支額加	始部給（算旧時分）例（特見職）定例込域開額支額加	始厚（算旧時支老見職）給基込域開老額加				
属性	C	C	C	C	C	C		
バイト	10	10	10	10	10	10		

項目名	厚生年金（4号）見込額			報酬比例見込額	
	特例支給（報酬比例部分）開始時2			特例支給（定額部分）開始時	経過的加算部分見込額
	特例支給（報酬比例部分）開始時2			特例支給（定額部分）開始時	経過的加算部分見込額
	特例支給（報酬比例部分）開始時2			特例支給（定額部分）開始時	経過的加算部分見込額
属性	C	C	C	C	C
バイト	10	10	10	10	10

項目名	旧職域加算見込額			
	特例支給（定額部分）開始時	老基老厚支給開始時	時分比給（算旧1）例（特見職）開部報例込域始 酬支額加	時分比給（算旧2）例（特見職）開部報例込域始 酬支額加
	特例支給（定額部分）開始時	老基老厚支給開始時	時分比給（算旧1）例（特見職）開部報例込域始 酬支額加	時分比給（算旧2）例（特見職）開部報例込域始 酬支額加
	特例支給（定額部分）開始時	老基老厚支給開始時	時分比給（算旧1）例（特見職）開部報例込域始 酬支額加	時分比給（算旧2）例（特見職）開部報例込域始 酬支額加
属性	C	C	C	C
バイト	10	10	10	10

図3. 2-1 詳細見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）詳細見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(3 / 5)

項目名	属性	給（特 定例 額支	始厚（算旧 時支老見職 給基込域 開老額加	特例支給（定額部分）見込額	特例支給（報酬比例部分）開始時1	特例支給（報酬比例部分）開始時2	特例支給（定額部分）開始時	経過的加算部分見込額
バイト	C 10	C 10	C 10	C 10	C 10	C 10	C 10	C 10

項目名	属性	繰下げ時見込額情報部	70歳繰下げ時見込額	60歳繰上げ時見込額	75歳繰下げ時見込額	繰上げ下げ時見込額予備1	繰上げ下げ時見込額予備2
バイト	C 10	C 10	C 10	C 10	C 10	C 10	C 10

項目名	属性	未使用
バイト		

項目名	属性	未使用
バイト		

図3. 2-1 詳細見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）詳細見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(4 / 5)

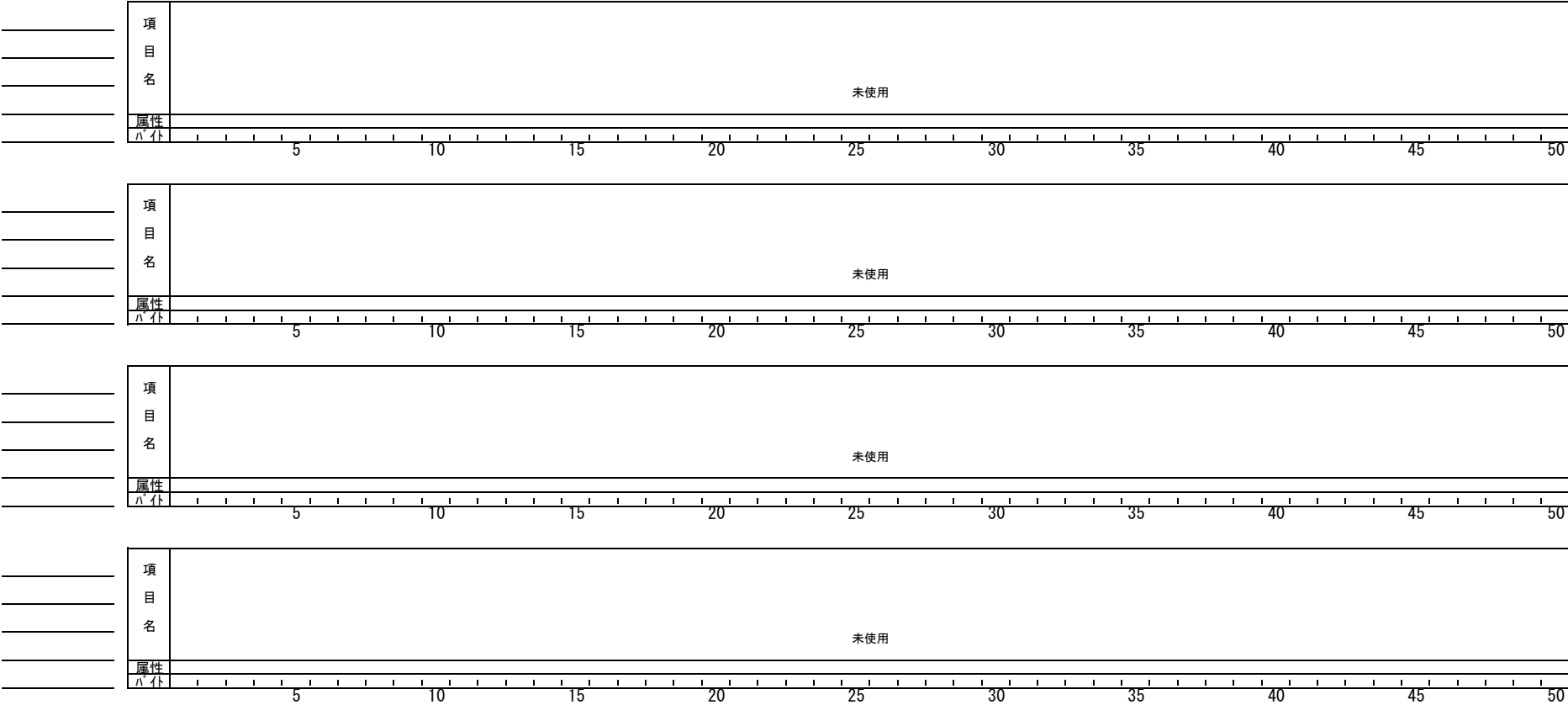


図3. 2-1 詳細見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）詳細見込額レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	9 0 0 バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイル I D	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(5 / 5)

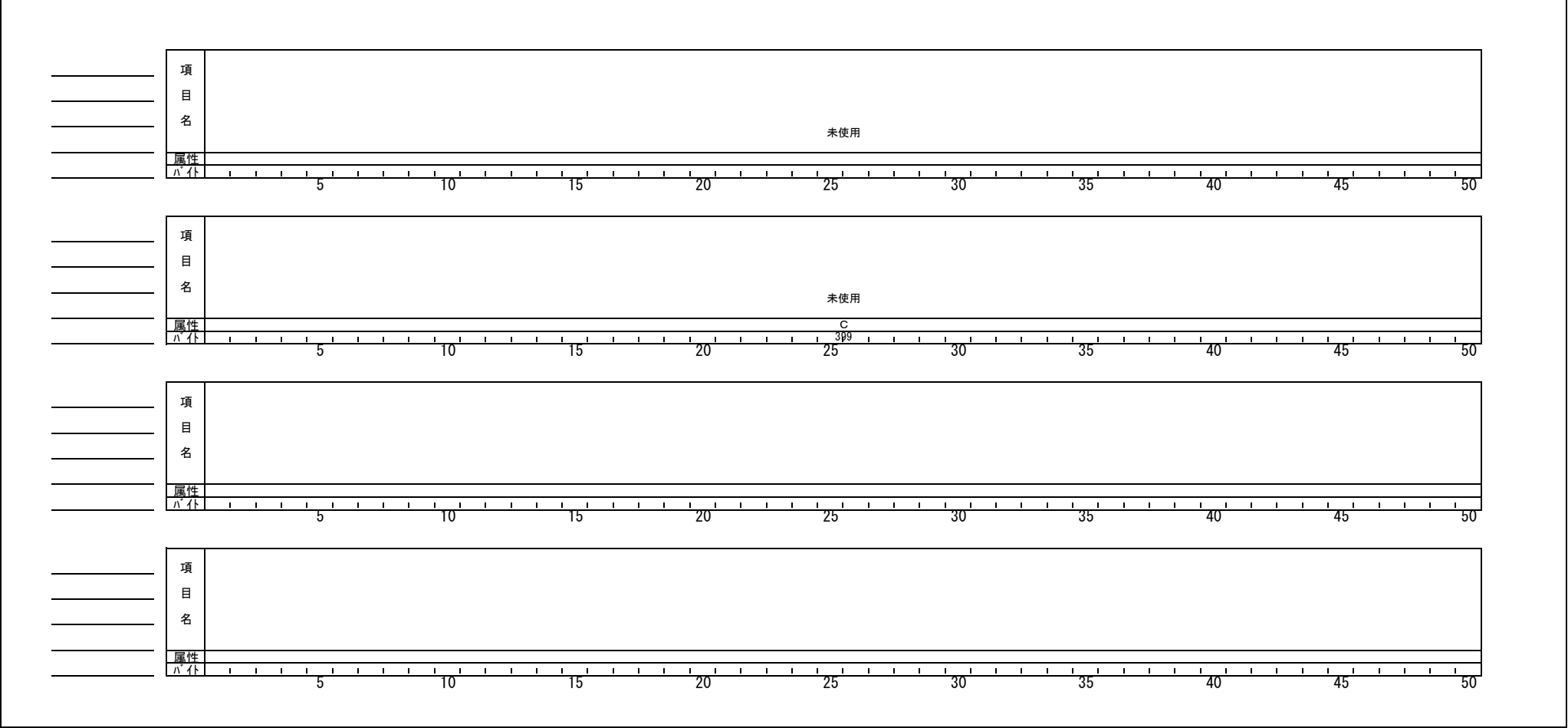


図3. 2-1 詳細見込額レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近１年出力者）直近１年別情報レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチホリウム ^① の別	シングル	(1 / 5)

図3.2-1 直近1年月別状況レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近１年出力者）直近１年別情報レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	９００バイト	ｼﾝｸﾞﾙ／マルチの別	ｼﾝｸﾞﾙ	
ファイルＩＤ	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	ｼﾝｸﾞﾙ／マルチホﾞリュームの別	ｼﾝｸﾞﾙ	（ ２／ ５ ）

項目名	号被保険者期間								合算対象期間	合年計金加入期間	直近1年月別情報部（1）				
	数險第者2加号入被月保	厚年月数	厚年基金月数情報	厚年期間	厚年基金期間情報	船保月数	船保期間	年月			対象元号	対象年	年	対象月	
属性	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
バイト	2	3	5	3	5	3	3	3	3	3	8	2	6	2	

項目名	加入制度		産前産後月数	育児月数	未使用	納付状況等		
	月	加入制度				国年納付状況	厚船納付状況	
属性	C	C	C	C	C	C	C	
バイト	6	5	3	3	2	14	8	

項目名	事業所名称等				事業所名称等上段	
	月標準報酬	標準賞与額	納付額	タ有称事長効等業デ下所Ⅰ段名	印称事字等業桁上所数段名	
属性	C	C	C	9	9	
バイト	10	10	10	3	3	

項目名	事業所名称等下段			
	事業所名称等上段	タ有称事長効等業デ下所Ⅰ段名	印称事字等業桁下所数段名	
属性	C	9	9	
バイト	62	3	3	

図3. 2-1 直近１年別状況レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）直近1年月別情報レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
ファイルID	－	ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
		レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(3 / 5)

項目名												
属性												
バイト		5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	

項目名		基金加入表示	直近1年月別情報部（2）					加入制度		産前産後月数	育児月数	未使用	納付状況等
	称事等業下所段名		年月	対象元号	対象年	年	対象月	月	加入制度				国年納付状況
属性	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
バイト	56	1	5	8	2	6	2	6	8	3	3	2	

項目名											事業所名称等	
	納付状況（上段）		納付状況（下段）		標準報酬月額		標準賞与額		納付額		事業所名称等上段	
属性	C	C	C	C	C	C	C	C	C	9		
バイト	14	8	10	10	10	10	10	10	10	3		

項目名												
	称事等業下所段名											
属性	9											
バイト	3											

図3. 2-1 直近 1 年月別状況レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近１年出力者）直近１年月別情報レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
ファイルID	－	ラベル形式	－	レコード長	900バイト	ｼﾝｸﾞﾙ／マルチの別	ｼﾝｸﾞﾙ	
		レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	ｼﾝｸﾞﾙ／マルチホﾞリュームの別	ｼﾝｸﾞﾙ	(4/ 5)

項目名	事業所名称等下段			
属性	C	9	9	
バイト	5	3	3	20

項目名	事業所名称等下段				直近１年月別情報部（３）				
属性	C	C	C	C	C	C	C	C	C
バイト	5	1	1	1	8	2	6	2	6

項目名	加入制度	産前産後月数	育児月数	未使用	納付状況等	厚船納付状況
属性	C	C	C	C	C	C
バイト	8	3	3	2	14	10

項目名	標準賞与額	納付額	タ有称事 長効等業 デ上所 ！段名	印称事 字等業 桁上所 数段名
属性	C	C	9	9
バイト	10	10	3	3

図3. 2-1 直近１年月別状況レコード

ファイル名	ねんきん定期便通知情報ファイル（直近１年出力者）直近１年別情報レコード	ファイル編集方法	－	ブロック長	－	記録媒体	DVD	ページ
		ラベル形式	－	レコード長	900バイト	シングル／マルチの別	シングル	
ファイルID	－	レコード形式	固定長	ブロック化係数	－	シングル／マルチボリュームの別	シングル	(5/ 5)

項目名																																				
属性																																				
単位																																				

	項目名		基金加入表示	未使用
		事業所名称等下段		
	属性	C	C	C
	バ付	56	1	10

項目名	
属性	

項目名	
属性	

図3.2-1 直近1年月別状況レコード

第4 貼付ラベル規定

DVDを貸出す際にDVDに収録されている内容を明確にするため、DVDディスクラベル及びDVDディスクケース貼付ラベルの貼付けを行います。

DVDディスクラベルの記載内容については表4. 1-1に、
DVDディスクラベルの記載方法については図4. 1-1に、
DVDディスクラベルの記載例については図4. 1-2に示します。

表4. 1-1 DVDディスクラベルの記載内容

項番	項 目	内 容	備 考
①	タイトル	表2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名の「DVD名称」及び「通知対象年齢」を記載する。	
②	正／副	正 または 副	
③	ボリューム名	表2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名の「ボリューム名」を記載する。	
④	ファイル名	表2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名の「ファイル名」を記載する。	

図4. 1-1 DVDディスクラベルの記載方法

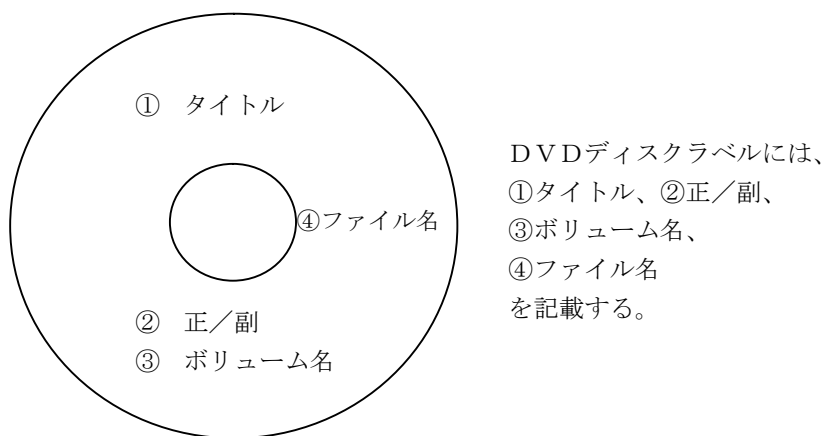


図4. 1-2 DVDディスクラベルの記載例



DVDディスクケース貼付ラベルの記載内容については表4. 1-2に、
DVDディスクケース貼付ラベルの記載方法については図4. 1-3に、
DVDディスクケース貼付ラベルの記載例については図4. 1-4に示します。

表4. 1-2 DVDディスクケース貼付ラベルの記載内容

項番	項 目	内 容	備 考
①	タイトル	表2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名の「DVD名称」及び「通知対象年齢」を記載する。	
②	正／副	正 または 副	
③	ボリューム名	表2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名の「ボリューム名」を記載する。	
④	ファイル名	表2. 1. 2-5 ボリューム名及びファイル名の「ファイル名」を記載する。	
⑤	作成年月日	DVDを作成した年月日を記載する。 (平成99年99月99日)	
⑥	機構担当名	日本年金機構の担当名を記載する。	

図4. 1-3 DVDディスクケース貼付ラベルの記載方法

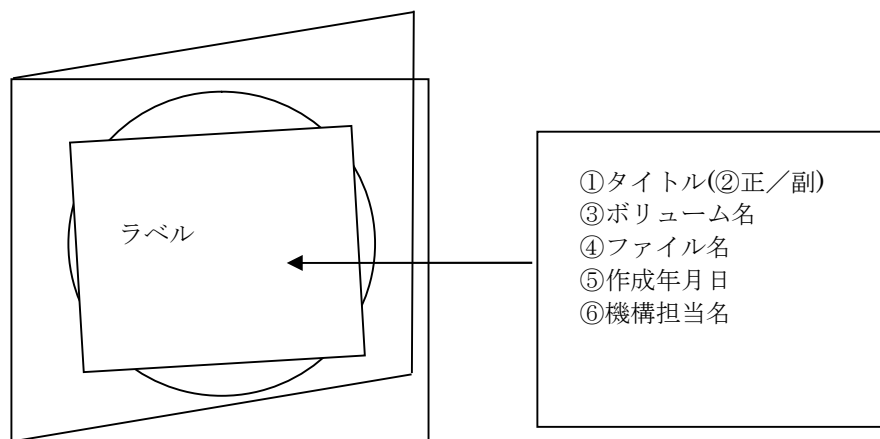


図4. 1-4 DVDディスクケース貼付ラベルの記載例

ねんきん定期便通知情報DVD（直近1年出力者）
（前半者通知）
<15～20歳>
（正）

ボリューム名：PAT01A
ファイル名：C15Z11

作成年月日：平成27年02月13日
日本年金機構 三鷹分室

第5 文字コード規定

5. 1 文字コードについて

本情報交換で使用する文字コードはJ I S 8ビットコード及びS h i f t - J I Sコードです。

つきましては、ご使用のコンピュータの使用文字コードが次項の規定に基づいている事を必ず確認し、必要に応じてコード変換等の対処を行って下さい。

5. 2 文字コード規定

①本仕様書で規定する文字コード規定は、別添の印刷専用社会保険フォント一覧のとおりです。

第6 留意事項

6. 1 項目設定共通事項

6. 1. 1 有効データ長について

有効データ長は、未使用項目となります。

6. 1. 2 漢字項目と印字桁数について

漢字項目には左詰めで文字が格納されていて、右側に余白が含まれております。

印字桁数には文字の先頭から有効なバイト数（右側の余白を含まない）を設定しています。

6. 2 各種コード値の扱い

下記項目については、「ねんきん定期便通知情報ファイル（直近1年出力者）」にはコード値のみを編集しているため、帳票印字時にコード値を基に文言編集する必要があります。

帳票印字時に文言編集する項目の一覧を表6. 2-1に示します。

表6. 2-1 帳票印字時に文言編集する項目

項番	レコード名（記録部名）		編集内容
	項目名		
1	基本レコード 他（共通部）		
	①ねんきん特別便通知種別 ②ねんきん特別便確認有無表示 ③ねんきん特別便未送達表示		ねんきん特別便の通知状況を編集
	NEKO申請者表示		年金個人情報提供システム利用者であるかについて編集
	資格記録数超過表示		加入履歴（空白期間を除く）の資格期間数が300記録を超過した場合、その旨を編集
4	共済記録保有者表示		共済記録保有者である場合、その旨を編集
5	基本レコード（表示部）		
	備考欄超過表示		備考欄情報数が12記録を超過した場合、その旨を編集
6	基本レコード（表示部）または詳細見込額レコード（表示部）		
	老齢年金受給者表示		老齢年金受給権者である場合、その旨を編集
7	期間重複有無表示		期間重複判定結果について編集
8	詳細見込額レコード（延長メッセージ部）		
	①延長制度表示 ②延長納付状況		詳細見込額を算出した際の期間延長の状況を編集
9	簡易見込額レコード（表示部）または詳細見込額レコード（表示部）		
	高井戸検出事故コード		年金給付システムにて検出した事故について編集
10	直近1年月別状況レコード（直近1年月別情報部）		
	基金加入表示		基金加入である場合、その旨を編集

[別送対象者情報]

[illegible]

※1 生年月日欄の記入にあたっては、元号「01(明治)」「03(大正)」「05(昭和)」「07(平成)」「09(令和)」を先頭に記入されている。
(例:昭和25年4月18日生まれの方)を記入の場合、「05250418」と記入。)

[作成対象外者情報]

[illegible]

1.1. ソフト仕様

1.1.1. 作成対象外者情報

レコードが存在しない場合は、回付票のみを回付する。レコードの詳細については、「1.2.レコード仕様」を参照。

表 1.1－1 ソフト仕様

項番	項目	内容
1	ファイル形式	シングルファイル／シングルボリューム
2	ボリューム名	MBTI1 (正) MBTI2 (副)
3	ファイル名	MBTI YYYYMMDD01.dat
4	レコード形式	区切りテキスト形式
5	レコード長 (バイト)	12 バイト (項目区切り含む、改行含まず)
6	ソート順	基礎年金番号
7	ファイル分割	なし

1.2. レコード仕様

表 1.2-1 レコード仕様

項番		フォーマット				設定値等	備考
		バイト数	文字種別	省略可否	可変・固定		
1	送付先区分コード	1	半角数字	不可	固定	「1」固定	
2	項目区切り文字	1	半角記号	不可	固定	「 」固定（パイプ記号）	
3	基礎年金番号	10	半角数字	不可	固定		

計 12 バイト

レコードのイメージ

1 1234567890
1 2134567890
1 3214567890
1 4321567890
1 5432167890

※赤枠のデータが作成対象外者の基礎年金番号（ハイフンなし）

※「ねんきん定期便通知情報ファイル（直近 1 年出力者）」・基本レコード項番[2]基礎年金番号 と本ファイルの基礎年金番号を突合し、一致する基礎年金番号の定期便は作成しないこと。

※「定期便DVD」に収録されている基礎年金番号は、XXXX - XXXXXX 形式であるので、作成対象外者の判定にあたっては、「ねんきん定期便通知情報ファイル（直近 1 年出力者）」・基本レコード項番[2]基礎年金番号 の 5 バイト目の -（ハイフン）を除いた値で判定すること。

レコードレイアウト

項目名

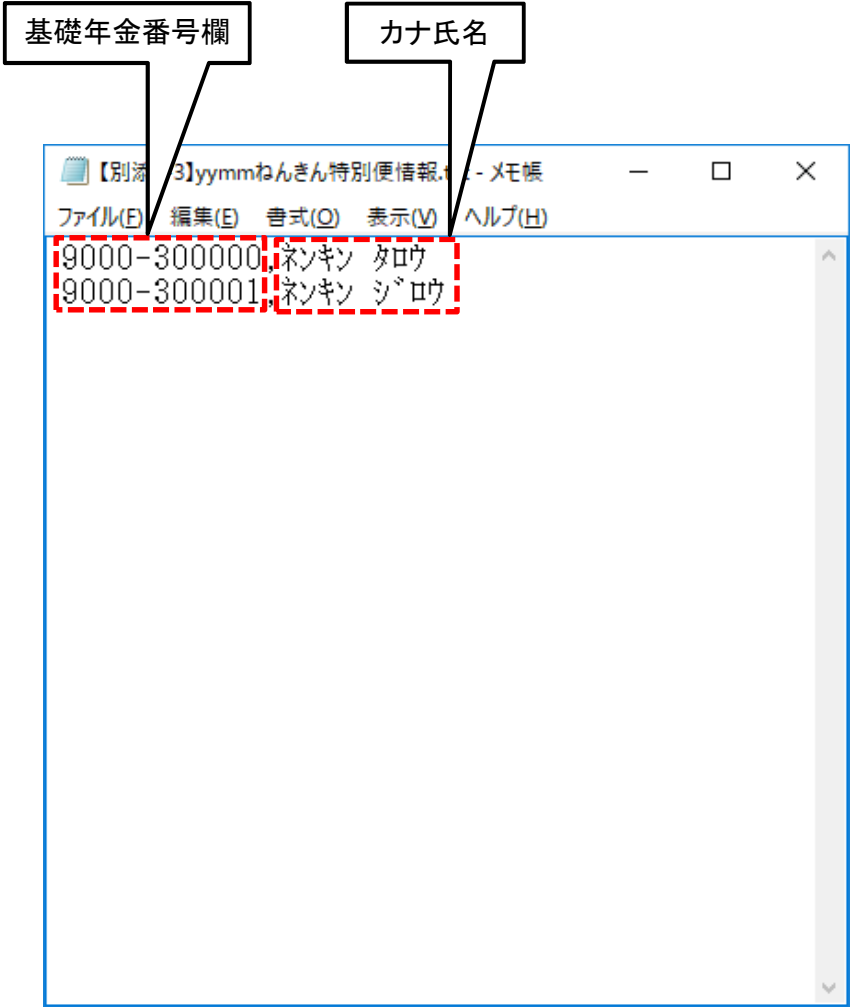
送付先区分コード	項目区切り文字	基礎年金番号
1	1	10
1	2	3

バイト数

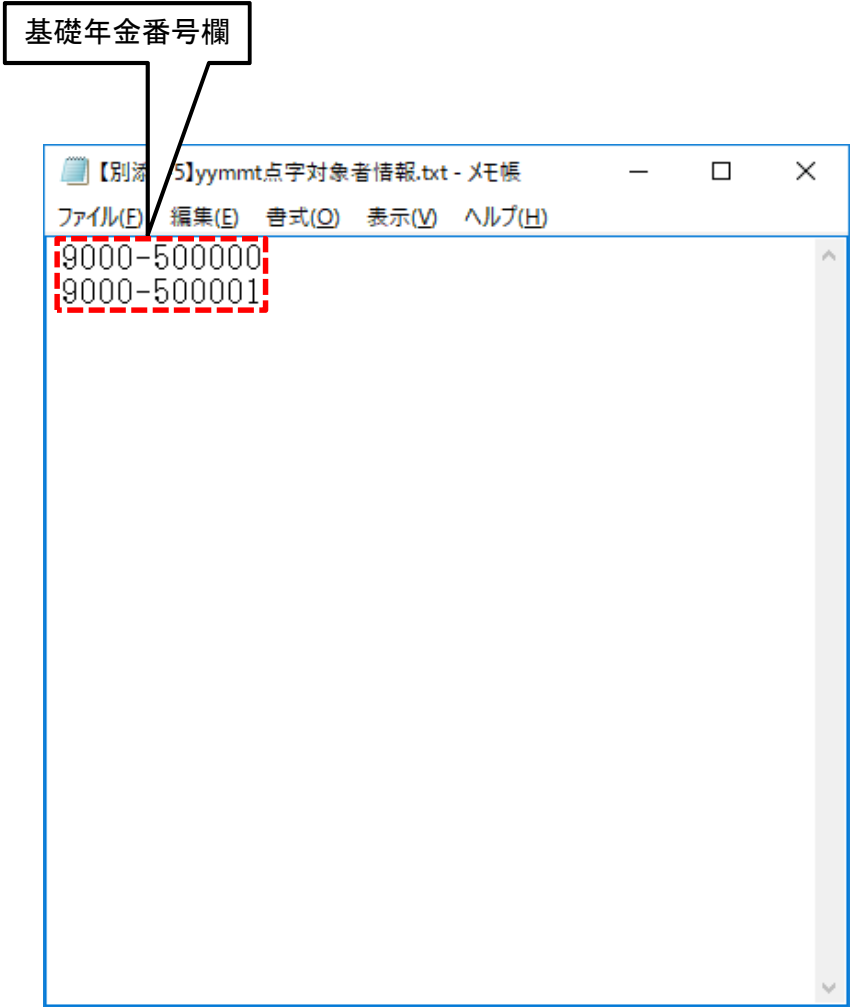
バイト位置

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

ねんきん特別便情報



点字対象者情報



郵便番号－統一事務所コードテーブル(イメージ)

郵便番号	事務所コード	事務所名	事務センター名	重複フラグ
2590100	9999	平塚年金事務所	神奈川事務センター	1
3300000	9999	浦和年金事務所	埼玉事務センター	1
3300000	9999	大宮年金事務所	埼玉事務センター	1
3540000	9999	川越年金事務所	埼玉事務センター	1
3540000	9999	所沢年金事務所	埼玉事務センター	1
3550300	9999	川越年金事務所	埼玉事務センター	1
3550300	9999	秩父年金事務所	埼玉事務センター	1
4110000	9999	沼津年金事務所	静岡事務センター	1
4110000	9999	三島年金事務所	静岡事務センター	1
4220000	9999	清水年金事務所	静岡事務センター	1
4220000	9999	静岡年金事務所	静岡事務センター	1
4300854	9999	浜松西年金事務所	静岡事務センター	1
4300854	9999	浜松東年金事務所	静岡事務センター	1
4320000	9999	浜松東年金事務所	静岡事務センター	1
4320000	9999	浜松西年金事務所	静岡事務センター	1
4328053	9999	浜松東年金事務所	静岡事務センター	1
4328053	9999	浜松西年金事務所	静岡事務センター	1
4980000	9999	中村年金事務所	愛知事務センター	1
4980000	9999	四日市年金事務所	三重事務センター	1
6180000	9999	京都西年金事務所	京都事務センター	1
6180000	9999	吹田年金事務所	大阪事務センター	1
6300000	9999	桜井年金事務所	奈良事務センター	1
6300000	9999	奈良年金事務所	奈良事務センター	1
6360000	9999	大和高田年金事務所	奈良事務センター	1
6360000	9999	奈良年金事務所	奈良事務センター	1
6500000	9999	三宮年金事務所	兵庫事務センター	1
6500000	9999	須磨年金事務所	兵庫事務センター	1
7090800	9999	岡山西年金事務所	岡山事務センター	1
7090800	9999	岡山東年金事務所	岡山事務センター	1
8020000	9999	小倉北年金事務所	福岡事務センター	1
8020000	9999	小倉南年金事務所	福岡事務センター	1
8710000	9999	別府年金事務所	大分事務センター	1
8710000	9999	小倉南年金事務所	福岡事務センター	1
9500000	9999	新潟西年金事務所	新潟事務センター	1
9500000	9999	新潟東年金事務所	新潟事務センター	1
9500145	9999	新潟西年金事務所	新潟事務センター	1
9500145	9999	新潟東年金事務所	新潟事務センター	1
9500157	9999	新潟西年金事務所	新潟事務センター	1

差出可能郵便局一覧

No.	郵便局名
1	道央札幌郵便局
2	秋田中央郵便局
3	盛岡中央郵便局
4	岩手郵便局
5	青森中央郵便局
6	青森西郵便局
7	函館中央郵便局
8	苫小牧郵便局
9	札幌中央郵便局
10	旭川東郵便局
11	帯広郵便局
12	北見郵便局
13	銀座郵便局
14	新東京郵便局
15	杉並南郵便局
16	東京北部郵便局
17	板橋北郵便局
18	三鷹郵便局
19	調布郵便局
20	東京多摩郵便局
21	川崎港郵便局
22	川崎東郵便局
23	神奈川郵便局
24	神奈川西郵便局
25	綾瀬郵便局
26	千葉中央郵便局
27	松戸南郵便局
28	浦安郵便局
29	市川南郵便局
30	土浦郵便局
31	筑波学園郵便局
32	水戸中央郵便局
33	宇都宮東郵便局

No.	郵便局名
34	さいたま新都心郵便局
35	新岩槻郵便局
36	新越谷郵便局
37	川越西郵便局
38	高崎郵便局
39	群馬南郵便局
40	長野東郵便局
41	松本南郵便局
42	甲府中央郵便局
43	沼津郵便局
44	静岡郵便局
45	静岡南郵便局
46	浜松西郵便局
47	豊橋南郵便局
48	名古屋神宮郵便局
49	岐阜中央郵便局
50	四日市西郵便局
51	大津中央郵便局
52	新大阪郵便局
53	京都中央郵便局
54	京都郵便局
55	福知山郵便局
56	奈良中央郵便局
57	和歌山中央郵便局
58	神戸中央郵便局
59	尼崎郵便局
60	姫路郵便局
61	米子郵便局
62	松江中央郵便局
63	岡山中央郵便局
64	倉敷郵便局
65	岡山郵便局
66	福山東郵便局

No.	郵便局名
67	広島中央郵便局
68	広島郵便局
69	徳山郵便局
70	下関郵便局
71	山口郵便局
72	高松南郵便局
73	徳島中央郵便局
74	高知東郵便局
75	松山西郵便局
76	北九州中央郵便局
77	新福岡郵便局
78	久留米東郵便局
79	大村郵便局
80	植木郵便局
81	熊本北郵便局
82	大分東郵便局
83	宮崎中央郵便局
84	鹿児島中央郵便局
85	鹿児島郵便局
86	那覇中央郵便局
87	福井南郵便局
88	新金沢郵便局
89	富山西郵便局
90	富山南郵便局
91	長岡郵便局
92	新潟中央郵便局
93	新潟郵便局
94	福島東郵便局
95	郡山郵便局
96	郡山東郵便局
97	仙台中央郵便局
98	新仙台郵便局
99	山形南郵便局

※地域区分局かの確認は別途行う

決裁欄		
決裁者		担当者

外部電磁的記録媒体移送許可申請書兼回付書 (職員による携行の場合)

申請日

所 属

氏 名

印

管理番号	管理番号・バーコード一覧のとおり			媒体の種類			
媒体の数量				/			
移送(回付)年月日				移送(回付)先			
移送(回付)手段	☐ 職員による携行(業務用車両) ☐ 職員による携行(公共交通機関・徒歩(同一建物内)) ☐ その他(回付)						
媒体受領者(※1)	☐ 有り ・ ☐ 無し			/			
移送目的(※2)				収録データの内容 (データ名)(※2)			
情報の区分(※2)	機密性	2	完全性	2	可用性	2	重要な設計書(※3) ☐
保護対策(※4)	☐ 暗号化済である。 ☐ パスワード通知と分けて移送すること。 ☐ 移送する際に紛失、毀損等がないように安全配慮を行うこと。						

(注1) 媒体を移送(回付)する前に担当者が作成し決裁を受けること。なお原本は作成部署で管理すること。

(注2) 課室等の長が移送(回付)する場合、情報セキュリティ管理者又は情報セキュリティ責任者の決裁を受けること。

(注3) 回付: 外部より受領した媒体を庶務担当部署から担当部署へ払出す場合。

(※1) 移送(回付)先の媒体受領者の有無についてチェックをすること。なお、媒体を倉庫等へ移送する場合等、移送先に媒体の受領者がいない場合は受領者欄への記載は不要とする。

(※2) 回付の場合は記載不要。移送時に担当者が記載すること。

(※3) 移送する媒体が重要な設計書の場合に担当者がチェックをすること。

(※4) 回付の場合は記載不要。移送時の保護対策を取っているか確認して、担当者がチェックをすること。

上記の外部電磁的記録媒体を受領しました。

受領日

所 属

(受領相手先)

氏 名

印

◎個人情報授受管理票（回付書補助票）

令和 年 月 日

○月誕生月分・○月再発行分 ※R○.○月納品

[illegible]

R〇.〇月(抽出分)引渡 → R〇.〇月納品【〇月誕生月分・〇月再発行分】

個人情報授受管理票（返却）

返却日：令和〇年〇月〇日

受託事業者名

委託者 日本年金機構

回付データ名称	ファイル名	V S N	巻 数	備 考

備考	※年齢区分については下記を参照のこと。					受領年月日 令和 年 月 日	受領印
	☐ 15歳～20歳	☐ 35・45歳	☐ 61歳以上	☐ 共済あり15～49			
	☐ 21歳～29歳	☐ 50歳～54歳	☐ 61歳以上(受給者)	☐ 共済あり50～60			
	☐ 30歳～34歳・36歳～39歳	☐ 55歳～58歳・60歳	☐	☐ 共済あり61以上			
	☐ 40歳～44歳・46歳～49歳	☐ 59歳	☐	☐ 共済あり61以上(受給者)			

令和 99 年 99 月 99 日

引 抜 依 頼 書

以下の通り、「ねんきん定期便」の引抜きを依頼します。

※個人情報が含まれるため、本紙は必ずご返却ください。

帳 票 区 分	
年 齢 区 分	
D V D 貸与日	
基礎年金番号	
氏 名 (カ ナ)	
氏 名 (漢 字)	
住 所	
備 考	

令和 99 年 99 月 99 日

※個人情報が含まれるため、本紙は必ずご返却ください。

[illegible]

料金後納郵便物差出票

付

日

印

差出人 東京都杉並区高井戸西 3-5-24
氏名・印 日 本 年 金 機 構
1000XXXXXX-000001-0000000001-000XXX

(ねんきん定期便)

立会省略書面提出済

次のとおり、後納郵便物等を差し出します。
なお、この郵便物等は、郵便法等の法令に違反した内容の郵便物等ではないことを確約します。

郵便物の種類	量 目 別	個 数	1個の料金	合 計 料 金	減額率	減額する額	差引納付額	摘 要
第二種	6 g以内	0	85	0	13%	△ 0.0	0.00	特特割(7日程度) 区分割(3・5桁) バーコード有
第二種	6 g以内	0	85	0	10%	△ 0.0	0.00	特特割(7日程度) 区分割(3・5桁) バーコード無
小計		0		0		0	0.00	※減額する額:小数点以下切上げ 差引納付額:小数点以下切捨て
第一種定形	50 g以内	0	110	0	3%	△ 0.0	0.00	バーコード有
第一種定形	50 g以内	0	110	0	0%	△ 0.0	0.00	バーコード無
小計		0		0		0	0.00	※減額する額:小数点以下切上げ 差引納付額:小数点以下切捨て
第一種定形外	100 g以内	0	180	0	12%	△ 0.0	0.00	特特割(7日程度) 区分割(3・5桁)
第一種定形外	150 g以内	0	270	0	12%	△ 0.0	0.00	特特割(7日程度) 区分割(3・5桁)
第一種定形外	250 g以内	0	320	0	12%	△ 0.0	0.00	特特割(7日程度) 区分割(3・5桁)
小計		0		0		0	0.00	※減額する額:小数点以下切上げ 差引納付額:小数点以下切捨て
合 計		0		0		0	0	

「ねんきん定期便」 差出通数票

3ケタ、5ケタ区分(発送地域(県)名)

日本年金機構

府県	郵便番号	差出通数	府県	郵便番号	差出通数	府県	郵便番号	差出通数	府県	郵便番号	差出通数
発送地域（県）名			発送地域（県）名			発送地域（県）名			発送地域（県）名		
小計		0	小計		0	小計		0	小計		0
									総計		0

令和 年 月 日

日本年金機構 理事長代理人
年金記録企画部年金記録業務室長 殿

所 在 地
法人名又は商号
氏 名

印

本番検証品にかかる品質保証並びに 作成誤り防止にかかる報告書

「ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月発送分）
[直近 1 年間通知者用]」にかかる本番検証品について、当社において検証を行った結果、校了後の印刷原稿並びに委託要領の出力仕様書に基づいたデータ印字となっていることを証明します。

また、本番作業について、本番検証品作成時と同一の環境を使用する等、仕様書どおりとなるよう措置を講ずることを報告します。

【実施方法】

どのように実施したか、簡潔に記載してください。

○品質検証の内容

○作成誤り防止の内容

業 務 完 了 報 告 書

(令 和 9 9 年 9 9 月 発 送 分)

委託者 日本年金機構 殿

受託事業者名

印

以下の通り、ねんきん定期便の作成及び発送準備業務が完了しましたのでご報告いたします。

年 齢 帯 区 分	郵便局納品分		記録管理G納品分		備 考 欄
	郵便局差出日	郵便局差出件数	記録管理G納品日	記録管理G納品件数	
61歳以上	令和 年 月 日	〇 件	令和 年 月 日	〇 件	
61歳以上（受給者）	令和 年 月 日	〇 件	令和 年 月 日	〇 件	
共済後半者	令和 年 月 日	〇 件	令和 年 月 日	〇 件	
共済61歳以上	令和 年 月 日	〇 件	令和 年 月 日	〇 件	
共済61歳以上（受給者）	令和 年 月 日	〇 件	令和 年 月 日	〇 件	
50～54歳	令和 年 月 日	〇 件	令和 年 月 日	〇 件	
55～58歳・60歳	令和 年 月 日	〇 件	令和 年 月 日	〇 件	
再発行分	令和 年 月 日	〇 件	令和 年 月 日	〇 件	
再発行分	令和 年 月 日	〇 件	令和 年 月 日	〇 件	
小 計		〇		〇	
合計				〇	

作成状況報告書

令和 99 年 99 月 99 日

委託者 日本年金機構 殿

受託事業者

「ねんきん定期便」の作成状況について、以下の通り報告いたします。(単位：件)

年齢帯区分	DVD受領日	作成状況 更新日	作成区分	納品予定日	作成予定件数	帳票作成作業	印字作業	圧着作業	発送準備作業
歳			誕生月分						
			再発行分						
歳			誕生月分						
			再発行分						
歳			誕生月分						
			再発行分						
歳			誕生月分						
			再発行分						
歳			誕生月分						
			再発行分						
歳			誕生月分						
			再発行分						
歳			誕生月分						
			再発行分						
歳			誕生月分						
			再発行分						
歳			誕生月分						
			再発行分						
歳			誕生月分						
			再発行分						
歳			誕生月分						
			再発行分						

※ DVD受領日の属する月ごとに作成すること
※ 担当する年齢帯区分について、事前報告データ納品日時点の作成状況を報告すること。（完了していない場合は、作業完了時点で再度、提出すること。）

「ねんきん定期便」通知情報対象者一覧表

【〇〇～〇〇歳】

項番	統一事務所コード	照会番号	基礎年金番号	作成対象外者表示	納品区分	カスタマーコード付与	ねんきん特別便通知種別	国年不在者表示	国年特別一時金表示	資格記録数超過表示	海外居住者表示	ねんきん特別便表示	お知らせ欄に印字する文言表示	点字対象者情報	抽出年月日	生年月日	氏名	年齢帯区分	再発行表示	老齢年金受給者表示	年齢情報	郵便番号	住所1	住所2	住所3
1	9999	XXXXXXXXXXXX	XXXX-XXXXXX	X	1本人直送	X	X	X	X	X	X	X	X	X	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	年金 太郎	XX	X	X	XX	XXX-XXXX	XXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXX
2		統一事務所コード・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部＞【7】郵便番号を参照し、「ねんきん定期便」委託要領：【別添9－6】「郵便番号統一事務所コードテーブル」に基づき、郵便番号に対応した「統一事務所コード（数字4桁）」を収録する。																							
3		照会番号・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／基本情報部＞【52】照会番号を参照し、収録する。																							
4		基礎年金番号・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部＞【2】基礎年金番号を参照し、収録する。																							
4		作成対象外者表示・・・・・・・・・委託要領本紙Ⅰ.7（3）①に該当する者＝「1」を収録する。 ※複数の条件に該当する場合の優先順位は ④→③→②→① とする。																							
5		委託要領本紙Ⅰ.7（3）②に該当する者＝「2」を収録する。 ※複数の条件に該当する場合の優先順位は ④→③→②→① とする。																							
6		委託要領本紙Ⅰ.7（3）③に該当する者＝「3」を収録する。 ※複数の条件に該当する場合の優先順位は ④→③→②→① とする。																							
7		委託要領本紙Ⅰ.7（3）④に該当する者＝「4」を収録する。 ※複数の条件に該当する場合の優先順位は ④→③→②→① とする。																							
8		納品区分・・・・・・・・・委託要領本紙Ⅰ.7（5）①に該当する者＝「1本人直送」を収録する。 ※複数の条件に該当する場合の優先順位は ②→③→④→⑤→⑥→⑦→① とする。																							
9		委託要領本紙Ⅰ.7（5）②に該当する者＝「2引抜依頼」を収録する。 ※複数の条件に該当する場合の優先順位は ②→③→④→⑤→⑥→⑦→① とする。																							
10		委託要領本紙Ⅰ.7（5）③に該当する者＝「3国特一分」を収録する。 ※複数の条件に該当する場合の優先順位は ②→③→④→⑤→⑥→⑦→① とする。																							
11		委託要領本紙Ⅰ.7（5）④に該当する者＝「4別送対応」を収録する。 ※複数の条件に該当する場合の優先順位は ②→③→④→⑤→⑥→⑦→① とする。																							
12		委託要領本紙Ⅰ.7（5）⑤に該当する者＝「5海外居住」を収録する。 ※複数の条件に該当する場合の優先順位は ②→③→④→⑤→⑥→⑦→① とする。																							
13		委託要領本紙Ⅰ.7（5）⑥に該当する者＝「6資格超過」を収録する。 ※複数の条件に該当する場合の優先順位は ②→③→④→⑤→⑥→⑦→① とする。																							
14		委託要領本紙Ⅰ.7（5）⑦に該当する者＝「7郵番不備」を収録する。 ※複数の条件に該当する場合の優先順位は ②→③→④→⑤→⑥→⑦→① とする。																							
15		カスタマーコード付与・・・・・・・・・【別添4】「カスタマーコード付与について」に基づき、カスタマーコードを付与した場合は「1」、付与しなかった場合は「0」を収録する。																							
16		※「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部＞【14】カスタマーコード有無表示の値を収録するのではなく、カスタマーコードを付与したかどうかを収録すること。																							
17		ねんきん特別便通知種別・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部／共通表示部＞【10】ねんきん特別便通知種別を参照し、収録する。																							
18		国年不在者表示・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部／共通表示部＞【17】国年不在者表示を参照し、収録する。																							
19		国年特別一時金表示・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部／共通表示部＞【18】国年特別一時金表示を参照し、収録する。																							
20		資格記録数超過表示・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部／共通表示部＞【19】資格記録数超過表示を参照し、収録する。																							
21		海外居住者表示・・・・・・・・・基礎年金番号が「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部＞【7】郵便番号が「999-9999」の場合、「1」を収録する。																							
22		ねんきん特別便表示・・・・・・・・・基礎年金番号が「ねんきん定期便 関係情報」【別添9－3】ねんきん特別便情報に収録された基礎年金番号と一致する場合、「1」を収録する。																							
23		お知らせ欄に印字する文言表示・・・・・・・・・委託要領【別添1】の文例番号を半角数値で収録する。 ※複数の条件に該当する場合の優先順位は、【別添1】Ⅱ.「複数の条件に該当した場合」を参照とする。																							
24		※作成対象外者等でねんきん定期便を作成しない場合は、「0」を収録する。																							
25		点字対象者情報・・・・・・・・・基礎年金番号が「ねんきん定期便 関係情報」【別添9－1】点字対象者情報に収録された基礎年金番号と一致する場合、「1」を収録する。																							
26		抽出年月日・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／基本情報部／抽出年月日＞【26】抽出年元号、【27】抽出年、【28】抽出月、【29】抽出日を参照し、 「yyyy/mm/dd」 形式で収録する。																							
27		※【26】抽出年元号・【27】抽出年・【28】抽出月・【29】抽出日にスペースがある場合・・・・・・・・・＜抽出年月日＞令和2年4月1日 ＜データ＞令和2△4△1（△はスペース）＞ → ＜収録＞2020/04/01																							
28		生年月日・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／基本情報部／生年月日＞【54】生年元号、【55】生年、【56】生年月、【57】生年日を参照し、 「yyyy/mm/dd」 形式で収録する。																							
29		氏名・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／基本情報部／氏名情報＞【46】氏名を参照し、収録する。																							
30		年齢帯区分・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部＞【3】封入封綴コードを参照し、設定値「 XXX-XXXXXXXX 」の先頭（左）から「 2・3番目の数値 」－（マイナス）「 15 」の計算結果を収録する。																							
31		※設定値は最大で「 76 」、設定値が「 △（スペース） 」の場合は、「 △（スペース） 」のまま収録する。																							
32		再発行表示・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部／共通表示部＞【9】再発行表示を参照し、収録する。																							
33		老齢年金受給者表示・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部＞【23】老齢年金受給者表示を参照し、収録する。																							
34		年齢情報・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード＞【140】年齢情報を参照し、収録する。																							
35		郵便番号・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／共通部＞【7】郵便番号を参照し、収録する。																							
36		住所・・・・・・・・・「定期便通知情報（DVD仕様書）」＜基本レコード／基本情報部／住所情報1行目＞【34】住所1行目																							
37		＜基本レコード／基本情報部／住所情報2行目＞【38】住所2行目																							
38		＜基本レコード／基本情報部／住所情報3行目＞【42】住所3行目を参照し、収録する。																							
5		最終データの行番号を入力すること。 “最終行”と記載しないでください。																							
最終行		合計件数を入れること。 0件～最終行の数値 件																							
合計	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 誕生月分・再発行分は、年齢帯区分ごとに、一つのファイルにマージ（結合）して作成すること。（貸与される「定期便DVD」（正・副）は、複数組を貸与する場合がある。）
※ 「ねんきん定期便通知情報DVD」データのみにより作成すること。
※ ファイル形式：CSVファイル（拡張子：「.csv」）
※ 先頭行には以下の「1」内の文言を設定すること。・・・「機密性2 完全性2 可用性2（年金記録業務室）【機年】」（先頭行に設定する文言は変更する場合がある。）
※ 2行目に「項目名」を設定すること。先頭（左端）の列に「項番」を設定し、以降、右端の「住所3」まで様式例の順番通りに「項目名」を設定すること。
※ 指定された項目名（「項番」～「住所3」）以外の項目名は設定しないこと。「合計」件数を収録する行より下にデータを収録しないこと。

対象者一覧表(点字対応分)

【〇〇～〇〇歳】

項番	統一事務所コード	照会番号	基礎年金番号	点字対象者情報	抽出年月日	生年月日	氏名	年齢帯区分	再発行表示	老齢年金受給者表示	年齢情報	郵便番号	住所1	住所2	住所3
1	9999	xxxxxxxxxxxx	xxxx-xxxxxx	1	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	年金 太郎	xx	x	x	xx	xxx-xxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx
2	統一事務所コード…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／共通部>[7]郵便番号を参照し、 「ねんきん定期便」委託要領:[別添9-6]「郵便番号-統一事務所コードテーブル」に基づき、郵便番号に対応した「統一事務所コード(数字4桁)」を収録する。 対応する「統一事務所コード」が存在しない場合または紐づいた郵便番号が複数収録されている場合、「9999」を収録する。														
3	照会番号…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／基本情報部>[52]照会番号を参照し、収録する。														
4	基礎年金番号…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／共通部>[2]基礎年金番号を参照し、収録する。														
5	点字対象者情報…………基礎年金番号が「ねんきん定期便 関係情報」[別添9-1]点字対象者情報に収録された基礎年金番号と一致する場合、「1」を収録する。														
6	抽出年月日…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／基本情報部／抽出年月日>[26]抽出年元号、[27]抽出年、[28]抽出月、[29]抽出日を参照し、 「yyyy/mm/dd」形式で収録する。 ※[26]抽出年元号・[27]抽出年・[28]抽出月・[29]抽出日にスペースがある場合 ……<抽出年月日>令和2年4月1日<データ:令和△2△4△1 (△はスペース)>→<収録>2020/04/01														
7	生年月日…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／基本情報部／生年月日>[54]生年元号、[55]生年、[56]生年月、[57]生年日を参照し、 「yyyy/mm/dd」形式で収録する。														
8	氏名…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／基本情報部／氏名情報>[46]氏名を参照し、収録する。														
9	年齢帯区分…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／共通部>[3]封入封緘コードを参照し、 設定値「xxx-xxxxxxxx」の先頭(左)から「2・3番目の数値」- (マイナス)「15」の計算結果を収録する。 ※設定値は最大で「76」、設定値が「△(スペース)」の場合は、「△(スペース)」のまま収録する。														
10	再発行表示…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／共通部／共通表示部>[9]再発行表示を参照し、収録する。														
11	老齢年金受給者表示…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／共通部>[23]老齢年金受給者表示を参照し、収録する。														
12	年齢情報…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード>[140]年齢情報を参照し、収録する。														
13	郵便番号…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／共通部>[7]郵便番号を参照し、収録する。														
14	住所…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／基本情報部／住所情報1行目>[34]住所1行目 <基本レコード／基本情報部／住所情報2行目>[38]住所2行目 <基本レコード／基本情報部／住所情報3行目>[42]住所3行目を参照し、収録する。														
最終行	最終データの行番号を入力すること。 "最終行"と記載しないでください。														
合計	件	合計件数を入れること。 0件～最終行の数値 件			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 誕生月分・再発行分は、年齢帯区分ごとに、一つのファイルにマージ(結合)して作成すること。(貸与される「定期便DVD」(正・副)は、複数組を貸与する場合がある。)

※ データ形式:CSVファイル(拡張子:「.csv」)

※ 先頭行には以下の「」内の文言を設定すること。…「機密性2 完全性2 可用性2 (年金記録業務室)【機年】」(先頭行に設定する文言は変更する場合がある。)

※ 2行目に「項目名」を設定すること。先頭(左側)の列に「項番」を設定し、以降、右端の「住所3」まで様式例の順番通りに「項目名」を設定すること。

※ 指定された項目名(「項番」～「住所3」)以外の項目名は設定しないこと。「合計」件数を収録する行より下にデータを収録しないこと。

対象者一覧表(国年特別一時金表示者分)

【〇〇～〇〇歳】

項番	統一事務所コード	照会番号	基礎年金番号	点字対象者情報	抽出年月日	生年月日	氏名	年齢帯区分	再発行表示	老齢年金受給者表示	年齢情報	郵便番号	住所1	住所2	住所3
1	9999	xxxxxxxxxxxx	xxxx-xxxxxx	x	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	年金 太郎	xx	x	x	xx	xxx-xxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx
2	統一事務所コード ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/共通部>[7]郵便番号 を参照し、 「ねんきん定期便」委託要領:[別添9-6]「郵便番号-統一事務所コードテーブル」に基づき、郵便番号に対応した「統一事務所コード(数字4桁)」を収録する。 対応する「統一事務所コード」が存在しない場合または紐づいた郵便番号が複数収録されている場合、「9999」を収録する。														
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
最終行															
合計	件	合計件数を入れること。 0件～最終行の数値 件			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 誕生月分・再発行分は、年齢帯区分ごとに、一つのファイルにマージ(結合)して作成すること。(貸与される「定期便DVD」(正・副)は、複数組を貸与する場合がある。)

※ データ形式:CSVファイル(拡張子:「.csv」)

※ 先頭行には以下の「」内の文言を設定すること。・・・「機密性2完全性2可用性2(年金記録業務室)【機年】」(先頭行に設定する文言は変更する場合がある。)

※ 2行目に「項目名」を設定すること。先頭(左側)の列に「項番」を設定し、以降、右端の「住所3」まで様式例の順番通りに「項目名」を設定すること。

※ 指定された項目名(「項番」～「住所3」)以外の項目名は設定しないこと。「合計」件数を収録する行より下にデータを収録しないこと。

対象者一覧表(別送対応分)

【〇〇～〇〇歳】

項番	統一事務所コード	照会番号	基礎年金番号	点字対象者情報	抽出年月日	生年月日	氏名	年齢帯区分	再発行表示	老齢年金受給者表示	年齢情報	郵便番号	住所1	住所2	住所3
1	9999	xxxxxxxxxxxx	xxxx-xxxxxx	x	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	年金 太郎	xx	x	x	xx	xxx-xxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx
2	統一事務所コード ……「ねんきん定期便」委託要領:7(5)発送準備(納品区分「④」)の仕分けで使用する、【別添9-1】「別送対象者情報」に収録してある統一事務所コードを収録する。 ※【別添9-1】「別送対象者情報」は、「定期便DVD」の引渡月毎に、当該月専用の「別送対象者情報」が用意されるため、取り違え等発生しないよう留意すること。														
3	照会番号 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/基本情報部>【52】照会番号 を参照し、収録する。														
4	基礎年金番号 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/共通部>【2】基礎年金番号 を参照し、収録する。														
5	点字対象者情報 ……基礎年金番号が「ねんきん定期便 関係情報」【別添9-1】点字対象者情報に収録された基礎年金番号と一致する場合、「1」を収録する。														
6	抽出年月日 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/基本情報部/抽出年月日>【26】抽出年元号、【27】抽出年、【28】抽出月、【29】抽出日 を参照し、 「yyyy/mm/dd」形式で収録する。 ※【26】抽出年元号・【27】抽出年・【28】抽出月・【29】抽出日 にスペースがある場合 ……<抽出年月日>令和2年4月1日<データ:令和△2△4△1 (△はスペース)>→<収録>2020/04/01														
7	生年月日 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/基本情報部/生年月日>【54】生年元号、【55】生年、【56】生年月、【57】生年日 を参照し、 「yyyy/mm/dd」形式で収録する。														
8	氏名 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/基本情報部/氏名情報>【46】氏名 を参照し、収録する。														
9	年齢帯区分 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/共通部>【3】封入封緘コードを参照し、 設定値「xxx-xxxxxxxx」の先頭(左)から「2・3番目の数値」- (マイナス)「15」の計算結果を収録する。 ※設定値は最大で「76」、設定値が「△(スペース)」の場合は、「△(スペース)」のまま収録する。														
10	再発行表示 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/共通部/共通表示部>【9】再発行表示 を参照し、収録する。														
11	老齢年金受給者表示 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/共通部>【23】老齢年金受給者表示 を参照し、収録する。														
12	年齢情報 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード>【140】年齢情報 を参照し、収録する。														
13	郵便番号 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/共通部>【7】郵便番号 を参照し、収録する。														
最終行	住所 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/基本情報部/住所情報1行目>【34】住所1行目 <基本レコード/基本情報部/住所情報2行目>【38】住所2行目 <基本レコード/基本情報部/住所情報3行目>【42】住所3行目 を参照し、収録する。														
合計	件	合計件数を入れること。 0件～最終行の数値 件			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 誕生月分・再発行分は、年齢帯区分ごとに、一つのファイルにマージ(結合)して作成すること。(貸与される「定期便DVD」(正・副)は、複数組を貸与する場合がある。)

※ データ形式:CSVファイル(拡張子:「.csv」)

※ 先頭行には以下の「」内の文言を設定すること。…「機密性2完全性2可用性2(年金記録業務室)【機年】」(先頭行に設定する文言は変更する場合がある。)

※ 2行目に「項目名」を設定すること。先頭(左側)の列に「項番」を設定し、以降、右端の「住所3」まで様式例の順番通りに「項目名」を設定すること。

※ 指定された項目名(「項番」～「住所3」)以外の項目名は設定しないこと。「合計」件数を収録する行より下にデータを収録しないこと。

対象者一覧表(郵便番号不備分)

【〇〇～〇〇歳】

項番	統一事務所コード	照会番号	基礎年金番号	点字対象者情報	抽出年月日	生年月日	氏名	年齢帯区分	再発行表示	老齢年金受給者表示	年齢情報	郵便番号	住所1	住所2	住所3
1	9999	xxxxxxxxxxxx	xxxx-xxxxxx	x	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	年金 太郎	xx	x	x	xx	xxx-xxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx
2	統一事務所コード ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/共通部>[7]郵便番号 を参照し、														
3	「ねんきん定期便」委託要領:[別添9-6]「郵便番号-統一事務所コードテーブル」に基づき、郵便番号に対応した「統一事務所コード(数字4桁)」を収録する。														
4	対応する「統一事務所コード」が存在しない場合または紐づいた郵便番号が複数収録されている場合、「9999」を収録する。														
5	照会番号 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/基本情報部>[52]照会番号 を参照し、収録する。														
6	基礎年金番号 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/共通部>[2]基礎年金番号 を参照し、収録する。														
7	点字対象者情報 ……基礎年金番号が「ねんきん定期便 関係情報」[別添9-1]点字対象者情報に収録された基礎年金番号と一致する場合、「1」を収録する。														
8	抽出年月日 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/基本情報部/抽出年月日>[26]抽出年元号、[27]抽出年、[28]抽出月、[29]抽出日 を参照し、														
9	「yyyy/mm/dd」形式で収録する。														
10	※[26]抽出年元号・[27]抽出年・[28]抽出月・[29]抽出日 にスペースがある場合 ……<抽出年月日>令和2年4月1日<データ:令和△2△4△1 (△はスペース)>→<収録>2020/04/01														
11	生年月日 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/基本情報部/生年月日>[54]生年元号、[55]生年、[56]生年月、[57]生年日 を参照し、														
12	「yyyy/mm/dd」形式で収録する。														
13	氏名 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/基本情報部/氏名情報>[46]氏名 を参照し、収録する。														
14	年齢帯区分 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/共通部>[3]封入封緘コードを参照し、														
15	設定値「XXX-XXXXXXXX」の先頭(左)から「2・3番目の数値」- (マイナス)「15」の計算結果を収録する。														
16	※設定値は最大で「78」、設定値が「△(スペース)」の場合は、「△(スペース)」のまま収録する。														
17	再発行表示 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/共通部/共通表示部>[9]再発行表示 を参照し、収録する。														
18	老齢年金受給者表示 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/共通部>[23]老齢年金受給者表示 を参照し、収録する。														
19	年齢情報 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード>[140]年齢情報 を参照し、収録する。														
20	郵便番号 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/共通部>[7]郵便番号 を参照し、収録する。														
21	住所 ……「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード/基本情報部/住所情報1行目>[34]住所1行目														
22	最終データの行番号を入力すること。														
23	「最終行」と記載しないでください。														
24	<基本レコード/基本情報部/住所情報2行目>[38]住所2行目														
25	<基本レコード/基本情報部/住所情報3行目>[42]住所3行目 を参照し、収録する。														
26	合計件数を入れること。														
27	0件～最終行の数値 件														
合計	件				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 誕生月分・再発行分は、年齢帯区分ごとに、一つのファイルにマージ(結合)して作成すること。(貸与される「定期便DVD」(正・副)は、複数組を貸与する場合がある。)

※ データ形式:CSVファイル(拡張子:「.csv」)

※ 先頭行には以下の「」内の文言を設定すること。 ……「機密性2完全性2可用性2(年金記録業務室)【機年】」(先頭行に設定する文言は変更する場合がある。)

※ 2行目に「項目名」を設定すること。先頭(左側)の列に「項番」を設定し、以降、右端の「住所3」まで様式例の順番通りに「項目名」を設定すること。

※ 指定された項目名(「項番」～「住所3」)以外の項目名は設定しないこと。「合計」件数を収録する行より下にデータを収録しないこと。

対象者一覧表(厚年・船保・共済重複分)

【〇〇～〇〇歳】

項番	統一事務所コード	照会番号	基礎年金番号	点字対象者情報	抽出年月日	生年月日	氏名	年齢帯区分	再発行表示	老齢年金受給者表示	年齢情報	郵便番号	住所1	住所2	住所3
1	9999	xxxxxxxxxxxx	xxxx-xxxxxx	x	yyyy/mm/dd	yyyy/mm/dd	年金 太郎	xx	x	x	xx	xxx-xxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx	xxxxxxxxxxxxxxxx
2	統一事務所コード…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／共通部>[7]郵便番号を参照し、 「ねんきん定期便」委託要領:[別添9-6]「郵便番号-統一事務所コードテーブル」に基づき、郵便番号に対応した「統一事務所コード(数字4桁)」を収録する。 対応する「統一事務所コード」が存在しない場合または紐づいた郵便番号が複数収録されている場合、「9999」を収録する。														
3	照会番号…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／基本情報部>[52]照会番号を参照し、収録する。														
4	基礎年金番号…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／共通部>[2]基礎年金番号を参照し、収録する。														
5	点字対象者情報…………基礎年金番号が「ねんきん定期便 関係情報」[別添9-1]点字対象者情報に収録された基礎年金番号と一致する場合、「1」を収録する。														
6	抽出年月日…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／基本情報部／抽出年月日>[26]抽出年元号、[27]抽出年、[28]抽出月、[29]抽出日を参照し、 「yyyy/mm/dd」形式で収録する。 ※[26]抽出年元号・[27]抽出年・[28]抽出月・[29]抽出日にスペースがある場合 ……<抽出年月日>令和2年4月1日<データ:令和△2△4△1 (△はスペース)>→<収録>2020/04/01														
7	生年月日…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／基本情報部／生年月日>[54]生年元号、[55]生年、[56]生年月、[57]生年日を参照し、 「yyyy/mm/dd」形式で収録する。														
8	氏名…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／基本情報部／氏名情報>[46]氏名を参照し、収録する。														
9	年齢帯区分…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／共通部>[3]封入封緘コードを参照し、 設定値「xxx-xxxxxxxx」の先頭(左)から「2・3番目の数値」-(マイナス)「15」の計算結果を収録する。 ※設定値は最大で「76」、設定値が「△(スペース)」の場合は、「△(スペース)」のまま収録する。														
10	再発行表示…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／共通部／共通表示部>[9]再発行表示を参照し、収録する。														
11	老齢年金受給者表示…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／共通部>[23]老齢年金受給者表示を参照し、収録する。														
12	年齢情報…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード>[140]年齢情報を参照し、収録する。														
13	郵便番号…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／共通部>[7]郵便番号を参照し、収録する。														
14	住所…………「定期便通知情報(DVD仕様書)」<基本レコード／基本情報部／住所情報1行目>[34]住所1行目 <基本レコード／基本情報部／住所情報2行目>[38]住所2行目 <基本レコード／基本情報部／住所情報3行目>[42]住所3行目を参照し、収録する。														
最終行	最終データの行番号を入力すること。 "最終行"と記載しないでください。														
合計	件	合計件数を入れること。 0件～最終行の数値 件			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 誕生月分・再発行分は、年齢帯区分ごとに、一つのファイルにマージ(結合)して作成すること。(貸与される「定期便DVD」(正・副)は、複数組を貸与する場合がある。)

※ データ形式:CSVファイル(拡張子:「.csv」)

※ 先頭行には以下の「」内の文言を設定すること。 ……「機密性2完全性2可用性2(年金記録業務室)【機年】」(先頭行に設定する文言は変更する場合がある。)

※ 2行目に「項目名」を設定すること。先頭(左側)の列に「項番」を設定し、以降、右端の「住所3」まで様式例の順番通りに「項目名」を設定すること。

※ 指定された項目名(「項番」～「住所3」)以外の項目名は設定しないこと。「合計」件数を収録する行より下にデータを収録しないこと。

作成件数総括表(全件)(令和 99 年 99 月発送分)

受託事業者名

(単位:件)

区分	項番	年齢帯区分	委託件数	作成対象外者 件数	うち 厚年・船保・共済 重複分	①郵便局納品分 本人直送件数	記録管理G納品分						記録管理G 納品分件数 ②～⑦計	送付郵便物 データ件数 ①～⑤計	作成件数合計 ①～⑦計
							②郵便番号 不備分	③引抜依頼分	④海外居住者分	⑤別送対応分	⑥国年特別一時 金表示者分	⑦資格記録 超過者分			
誕生月分	1	15～20歳	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999
	2	21～29歳													
	3	30～34歳・36～39歳													
	4	35・45歳													
	5	40～44歳・46～49歳													
	6	50～54歳													
	7	55～58歳・60歳													
	8	59歳													
	9	61歳以上													
	10	61歳以上(受給者)													
	11	共済前半者15～49歳													
	12	共済後半者50～60歳													
	13	共済61歳以上													
	14	共済61歳以上(受給者)													
誕生月分 計			9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999
再発行分	15	15～20歳	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999
	16	21～29歳													
	17	30～34歳・36～39歳													
	18	35・45歳													
	19	40～44歳・46～49歳													
	20	50～54歳													
	21	55～58歳・60歳													
	22	59歳													
	23	61歳以上													
	24	61歳以上(受給者)													
	25	共済前半者15～49歳													
	26	共済後半者50～60歳													
	27	共済61歳以上													
	28	共済61歳以上(受給者)													
再発行分 計			9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999
合計			9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999

※ 納品区分が重複していた場合の優先順位は次の通り。(引抜依頼分 > 国年特別一時金表示者分 > 別送対応分 > 海外居住者分 > 資格記録超過者分 > 郵便番号不備分)

※ 担当する年齢帯区分についてすべての欄に件数を入力すること。(該当する件数が0件であっても空欄ではなく「0」を入力すること。)

※ 数式やリンクの使用は不可とする。(すべて値を入力すること。)

作成件数総括表(点字対応分)(令和 99 年 99 月発送分)

受託事業者名

(単位:件)

区分	項番	年齢帯区分	委託件数	作成対象外者 件数	うち 厚年・船保・共済 重複分	①郵便局納品分 本人直送件数	記録管理G納品分						記録管理G 納品分件数 ②～⑦計	送付郵便物 データ件数 ①～⑤計	作成件数合計 ①～⑦計
							②郵便番号 不備分	③引抜依頼分	④海外居住者分	⑤別送対応分	⑥国年特別一時 金表示者分	⑦資格記録 超過者分			
誕生月分	1	15～20歳	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999
	2	21～29歳													
	3	30～34歳・36～39歳													
	4	35・45歳													
	5	40～44歳・46～49歳													
	6	50～54歳													
	7	55～58歳・60歳													
	8	59歳													
	9	61歳以上													
	10	61歳以上(受給者)													
	11	共済前半者15～49歳													
	12	共済後半者50～60歳													
	13	共済61歳以上													
	14	共済61歳以上(受給者)													
誕生月分 計			9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999
再発行分	15	15～20歳	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999
	16	21～29歳													
	17	30～34歳・36～39歳													
	18	35・45歳													
	19	40～44歳・46～49歳													
	20	50～54歳													
	21	55～58歳・60歳													
	22	59歳													
	23	61歳以上													
	24	61歳以上(受給者)													
	25	共済前半者15～49歳													
	26	共済後半者50～60歳													
	27	共済61歳以上													
	28	共済61歳以上(受給者)													
再発行分 計			9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999
合計			9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999

※ 納品区分が重複していた場合の優先順位は次の通り。(引抜依頼分 > 国年特別一時金表示者分 > 別送対応分 > 海外居住者分 > 資格記録超過者分 > 郵便番号不備分)

※ 担当する年齢帯区分についてすべての欄に件数を入力すること。(該当する件数が0件であっても空欄ではなく「0」を入力すること。)

※ 数式やリンクの使用は不可とする。(すべて値を入力すること。)

「ねんきん定期便」発送件数内訳表（令和 99 年 99 月発送分）

受託事業者名

(単位:件)

			はがき		定形		(単位:件)									
区分	項番	年齢帯区分	6g(BC有)	6g(BC無)	50g以内(BC有)	50g以内(BC無)	①本人差出件数	②郵便番号不備分	③引抜依頼分	④海外居住者分	⑤別送対応分	⑥国年特別一時金表示者分	⑦資格記録超過者分	記録管理G納品件数②～⑦計	総合計①～⑦計	発送予定日
誕生月分	1	15～20歳	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	
	2	21～29歳														
	3	30～34歳・36～39歳														
	4	35・45歳														
	5	40～44歳・46～49歳														
	6	50～54歳														
	7	55～58歳・60歳														
	8	59歳														
	9	61歳以上														
	10	61歳以上(受給者)														
	11	共済前半者15～49歳														
	12	共済後半者50～60歳														
	13	共済61歳以上														
	14	共済61歳以上(受給者)														
	誕生月分 計			9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	
再発行分	15	15～20歳	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	
	16	21～29歳														
	17	30～34歳・36～39歳														
	18	35・45歳														
	19	40～44歳・46～49歳														
	20	50～54歳														
	21	55～58歳・60歳														
	22	59歳														
	23	61歳以上														
	24	61歳以上(受給者)														
	25	共済前半者15～49歳														
	26	共済後半者50～60歳														
	27	共済61歳以上														
	28	共済61歳以上(受給者)														
	再発行分 計			9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	
合計			9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999	9,999,999,999		

※ 納品区分が重複していた場合の優先順位は次の通り。(引抜依頼分 > 国年特別一時金表示者分 > 別送対応分 > 海外居住者分 > 資格記録超過者分 > 郵便番号不備分)

※ 担当する年齢帯区分についてすべての欄に件数を入力すること。(該当する件数が0件であっても空欄ではなく「0」を入力すること。)

事務所別件数表(本人直送分)

		統一 事務所 コード	年金事務所	年齢別														再発行分	共済 再発行分	事務所 (事務センター) 別件数
				15～20歳	21～29歳	30～34歳・ 36～39歳	40～44歳・ 46～49歳	50～54歳	55～58・ 60歳	61歳 以上	35・45歳	59歳	共済前半 者 15～49歳	共済後半 者 50～60歳	共済 61歳以上					
1	0101		札幌東年金事務所														-			
2	0103		札幌西年金事務所														-			
3	0105		函館年金事務所														-			
4	0107		旭川年金事務所														-			
5	0109		釧路年金事務所														-			
6	0111		岩見沢年金事務所														-			
7	0113		室蘭年金事務所														-			
8	0115		小樽年金事務所														-			
9	0117		北見年金事務所														-			
10	0119		帯広年金事務所														-			
11	0121		砂川年金事務所														-			
12	0123		稚内年金事務所														-			
13	0125		留萌年金事務所														-			
14	0127		苫小牧年金事務所														-			
15	0129		札幌北年金事務所														-			
16	0131		新さっぽろ年金事務所														-			
17	0201		青森年金事務所														-			
18	0203		八戸年金事務所														-			
19	0205		弘前年金事務所														-			
20	0207		むつ年金事務所														-			
21	0301		盛岡年金事務所														-			
22	0303		一関年金事務所														-			
23	0305		宮古年金事務所														-			
24	0307		二戸年金事務所														-			
25	0309		花巻年金事務所														-			
26	0401		仙台南年金事務所														-			
27	0403		仙台北年金事務所														-			
28	0405		石巻年金事務所														-			
29	0407		古川年金事務所														-			
30	0409		仙台東年金事務所														-			
31	0411		大河原年金事務所														-			
32	0501		秋田年金事務所														-			
33	0503		鷹巣年金事務所														-			
34	0505		大曲年金事務所														-			
35	0507		本荘年金事務所														-			
36	0601		山形年金事務所														-			
37	0603		鶴岡年金事務所														-			
38	0605		米沢年金事務所														-			
39	0607		新庄年金事務所														-			
40	0609		寒河江年金事務所														-			
41	0701		東北福島年金事務所														-			
42	0703		平年金事務所														-			
43	0705		郡山年金事務所														-			
44	0707		会津若松年金事務所														-			
45	0709		相馬年金事務所														-			
46	0711		白河年金事務所														-			
47	0801		水戸南年金事務所														-			
48	0803		土浦年金事務所														-			
49	0805		日立年金事務所														-			
50	0807		下館年金事務所														-			
51	0809		水戸北年金事務所														-			

	統一 事務所 コード	年金事務所	年齢別・所得別・再発行別														
			15～20歳	21～29歳	30～34歳・ 36～39歳	40～44歳・ 46～49歳	50～54歳	55～58・ 60歳	61歳 以上	35・45歳	59歳	共済前半 者 15～49歳	共済後半 者 50～60歳	共済 61歳以上	再発行分	共済 再発行分	事務所 (事務センター) 別件数
52	0901	宇都宮西年金事務所															-
53	0903	栃木年金事務所															-
54	0905	大田原年金事務所															-
55	0907	今市年金事務所															-
56	0909	宇都宮東年金事務所															-
57	1001	前橋年金事務所															-
58	1003	桐生年金事務所															-
59	1005	高崎年金事務所															-
60	1007	渋川年金事務所															-
61	1009	太田年金事務所															-
62	1101	浦和年金事務所															-
63	1103	熊谷年金事務所															-
64	1105	川越年金事務所															-
65	1107	大宮年金事務所															-
66	1109	春日部年金事務所															-
67	1111	秩父年金事務所															-
68	1113	所沢年金事務所															-
69	1115	越谷年金事務所															-
70	1201	千葉年金事務所															-
71	1203	船橋年金事務所															-
72	1205	木更津年金事務所															-
73	1207	佐原年金事務所															-
74	1209	松戸年金事務所															-
75	1211	幕張年金事務所															-
76	1213	市川年金事務所															-
77	2113	千代田年金事務所															-
78	2117	港年金事務所															-
79	2121	中央年金事務所															-
80	2123	上野年金事務所															-
81	2125	文京年金事務所															-
82	2127	足立年金事務所															-
83	2129	江東年金事務所															-
84	2131	江戸川年金事務所															-
85	2133	墨田年金事務所															-
86	2135	葛飾年金事務所															-
87	2137	板橋年金事務所															-
88	2139	池袋年金事務所															-
89	2141	新宿年金事務所															-
90	2143	杉並年金事務所															-
91	2145	渋谷年金事務所															-
92	2147	世田谷年金事務所															-
93	2149	品川年金事務所															-
94	2151	大田年金事務所															-
95	2153	立川年金事務所															-
96	2155	武蔵野年金事務所															-
97	2159	八王子年金事務所															-
98	2161	練馬年金事務所															-
99	2163	目黒年金事務所															-
100	2165	荒川年金事務所															-
101	2167	北年金事務所															-
102	2169	中野年金事務所															-
103	2171	府中年金事務所															-
104	2173	青梅年金事務所															-

	統一 事務所 コード	年金事務所	15～20歳	21～29歳	30～34歳・ 36～39歳	40～44歳・ 46～49歳	50～54歳	55～58・ 60歳	61歳 以上	35・45歳	59歳	共済前半 者 15～49歳	共済後半 者 50～60歳	共済 61歳以上	再発行分	共済 再発行分	事務所 (事務センター) 別件数
105	3101	鶴見年金事務所															-
106	3103	横浜中年金事務所															-
107	3105	横浜南年金事務所															-
108	3107	港北年金事務所															-
109	3109	横浜西年金事務所															-
110	3111	川崎年金事務所															-
111	3113	平塚年金事務所															-
112	3115	相模原年金事務所															-
113	3117	小田原年金事務所															-
114	3119	横須賀年金事務所															-
115	3121	高津年金事務所															-
116	3123	厚木年金事務所															-
117	3125	藤沢年金事務所															-
118	3201	新潟西年金事務所															-
119	3203	長岡年金事務所															-
120	3205	上越年金事務所															-
121	3207	三条年金事務所															-
122	3209	新発田年金事務所															-
123	3211	柏崎年金事務所															-
124	3213	新潟東年金事務所															-
125	3215	六日町年金事務所															-
126	3301	富山年金事務所															-
127	3303	高岡年金事務所															-
128	3305	魚津年金事務所															-
129	3307	礪波年金事務所															-
130	3401	金沢北年金事務所															-
131	3403	七尾年金事務所															-
132	3405	小松年金事務所															-
133	3407	金沢南年金事務所															-
134	3501	福井年金事務所															-
135	3503	敦賀年金事務所															-
136	3505	武生年金事務所															-
137	3601	甲府年金事務所															-
138	3603	大月年金事務所															-
139	3605	竜王年金事務所															-
140	3701	長野南年金事務所															-
141	3703	岡谷年金事務所															-
142	3705	飯田年金事務所															-
143	3707	松本年金事務所															-
144	3709	小諸年金事務所															-
145	3711	伊那年金事務所															-
146	3713	長野北年金事務所															-
147	3801	岐阜南年金事務所															-
148	3803	多治見年金事務所															-
149	3805	大垣年金事務所															-
150	3807	高山年金事務所															-
151	3809	美濃加茂年金事務所															-
152	3811	岐阜北年金事務所															-
153	3901	静岡年金事務所															-
154	3903	浜松東年金事務所															-
155	3905	浜松西年金事務所															-
156	3907	沼津年金事務所															-
157	3909	島田年金事務所															-

[illegible]

	統一 事務所 コード	年金事務所	15～20歳	21～29歳	30～34歳・ 36～39歳	40～44歳・ 46～49歳	50～54歳	55～58・ 60歳	61歳 以上	35・45歳	59歳	共済前半 者 15～49歳	共済後半 者 50～60歳	共済 61歳以上	再発行分	共済 再発行分	事務所 (事務センター) 別件数
211	5205	松阪年金事務所															-
212	5207	尾鷲年金事務所															-
213	5209	伊勢年金事務所															-
214	5301	大津年金事務所															-
215	5303	彦根年金事務所															-
216	5305	草津年金事務所															-
217	5401	上京年金事務所															-
218	5403	中京年金事務所															-
219	5405	下京年金事務所															-
220	5407	京都南年金事務所															-
221	5409	京都西年金事務所															-
222	5411	舞鶴年金事務所															-
223	5501	奈良年金事務所															-
224	5503	大和高田年金事務所															-
225	5505	桜井年金事務所															-
226	5601	和歌山東年金事務所															-
227	5603	田辺年金事務所															-
228	5605	和歌山西年金事務所															-
229	5701	鳥取年金事務所															-
230	5703	米子年金事務所															-
231	5705	倉吉年金事務所															-
232	5801	松江年金事務所															-
233	5803	浜田年金事務所															-
234	5805	出雲年金事務所															-
235	5901	岡山西年金事務所															-
236	5903	倉敷東年金事務所															-
237	5905	津山年金事務所															-
238	5907	高梁年金事務所															-
239	5909	岡山東年金事務所															-
240	5911	倉敷西年金事務所															-
241	6001	広島東年金事務所															-
242	6003	広島西年金事務所															-
243	6005	福山年金事務所															-
244	6007	呉年金事務所															-
245	6009	三原年金事務所															-
246	6011	三次年金事務所															-
247	6013	広島南年金事務所															-
248	6015	備後府中年金事務所															-
249	6101	山口年金事務所															-
250	6103	下関年金事務所															-
251	6105	徳山年金事務所															-
252	6107	宇部年金事務所															-
253	6109	岩国年金事務所															-
254	6111	萩年金事務所															-
255	7101	徳島北年金事務所															-
256	7103	阿波半田年金事務所															-
257	7105	徳島南年金事務所															-
258	7201	高松東年金事務所															-
259	7203	高松西年金事務所															-
260	7205	善通寺年金事務所															-
261	7301	松山西年金事務所															-
262	7303	今治年金事務所															-
263	7305	宇和島年金事務所															-

	統一 事務所 コード	年金事務所	15～20歳	21～29歳	30～34歳・ 36～39歳	40～44歳・ 46～49歳	50～54歳	55～58・ 60歳	61歳 以上	35・45歳	59歳	共済前半 者 15～49歳	共済後半 者 50～60歳	共済 61歳以上	再発行分	共済 再発行分	事務所 (事務センター) 別件数
264	7307	松山東年金事務所															-
265	7309	新居浜年金事務所															-
266	7401	高知東年金事務所															-
267	7403	幡多年金事務所															-
268	7407	南国年金事務所															-
269	7409	高知西年金事務所															-
270	7501	博多年金事務所															-
271	7503	中福岡年金事務所															-
272	7505	南福岡年金事務所															-
273	7507	小倉北年金事務所															-
274	7509	久留米年金事務所															-
275	7511	直方年金事務所															-
276	7513	八幡年金事務所															-
277	7515	大牟田年金事務所															-
278	7517	東福岡年金事務所															-
279	7519	小倉南年金事務所															-
280	7521	西福岡年金事務所															-
281	7601	佐賀年金事務所															-
282	7603	唐津年金事務所															-
283	7605	武雄年金事務所															-
284	7701	長崎南年金事務所															-
285	7703	長崎北年金事務所															-
286	7705	佐世保年金事務所															-
287	7707	諫早年金事務所															-
288	7801	熊本東年金事務所															-
289	7803	熊本西年金事務所															-
290	7805	八代年金事務所															-
291	7807	本渡年金事務所															-
292	7809	玉名年金事務所															-
293	7901	大分年金事務所															-
294	7903	別府年金事務所															-
295	7905	佐伯年金事務所															-
296	7907	日田年金事務所															-
297	8001	宮崎年金事務所															-
298	8003	延岡年金事務所															-
299	8005	都城年金事務所															-
300	8007	高鍋年金事務所															-
301	8101	鹿児島南年金事務所															-
302	8103	川内年金事務所															-
303	8105	鹿屋年金事務所															-
304	8107	奄美大島年金事務所															-
305	8109	鹿児島北年金事務所															-
306	8111	加治木年金事務所															-
307	8201	那覇年金事務所															-
308	8203	コザ年金事務所															-
309	8205	名護年金事務所															-
310	8207	平良年金事務所															-
311	8209	石垣年金事務所															-
312	8211	浦添年金事務所															-
313	9999																-
314		郵便番号統一事務所コードテーブルに 該当の郵便番号登録無し															-
315		北海道事務センター															-
316		青森事務センター															-

[illegible]